理学研究院・理学部・理学院の第3期中期目標期間における中期計画一覧

大学の中期目標	大学の中期計画	理学研究院・理学部・理学院の中期計画
Ⅰ 大学の教育研究等の質の向上に関する目標 **1 教育に関する目標** **（1）教育内容及び教育の成果等に関する目標** ①専門的知識に裏づけられた総合的判断力と高い識見並びに異文化理解力と国際的コミュニケーション能力を有し，国際社会の発展に寄与する指導的・中核的な人材を育成する。	①－1 グローバルに活躍する力を養うため，第2期中期目標期間に開設した全学横断的な教育プログラムである「新渡戸カレッジ（学士課程）」及び「新渡戸スクール（大学院課程）」をさらに充実させた教育内容で実施し，両プログラムにおいて合わせて延べ1,000名以上の修了者を輩出する。また，新渡戸カレッジ及び新渡戸スクールにおいて，学生の学修過程を可視化できる修学ポートフォリオを開発し，各学部・研究科等においても順次導入する。	・異文化理解力，英語での交渉力，専門知識活用力を併せ持つ国際性豊かな人材を育成するために，理学系の大学院教育における異分野連携・グローバル化の中心の場を設置。
		・リーディング大学院プログラムを発展させ，異分野を有機的に融合したグローバルな大学院教育を展開。
		・変化する社会の要請に応え，学生のニーズに対応した魅力あるカリキュラムへの改訂。
	①－2 学生の主体的な学びを促進させるため，教育環境の整備を進め，アクティブ・ラーニング及び情報コミュニケーション技術等を活用した授業科目の開講数を増加させる。また，社会的ニーズに対応し，全学部を横断する新たな共通科目群を開設するとともに，ビジネス・スキル，専門職倫理等の授業科目を開設する。	・理学研究院アクティブ・ラーニング推進室と新渡戸スクールが連携してアクティブ・ラーニング教育を進め，特に専門理学教育への応用を推進する。さらに，理学系分野の学生に最も適したアクティブ・ラーニングやICTに関連する教育技法の開発と実践。
		・ICT（Information and Communication Technology）を導入することにより，学生が快適に学べる環境を整備・充実。
	①－4 国際社会の発展に寄与する人材を育成するため，ジョイント・ディグリー・プログラムをはじめとする海外大学との共同教育プログラムを新たに10件以上開設するなど，国際通用性のある大学院教育を実施する。	・DD，コチュテル（博士論文国際共同指導）等の共同教育プログラムを展開。
（2）教育の実施体制等に関する目標 ①教育の質を向上させるため，教育力・教育支援力を高度化する体制を整備する。	①－1 教職員等の教育力・教育支援力を高めるため，平成27年度に開設した「高等教育研修センター」において，ニーズに対応したファカルティ・ディベロップメント（FD），スタッフ・ディベロップメント（SD）等の研修プログラムを一元的に開発し，実施する。また，英語による授業を拡充するため，英語を母語とする講師によるFDプログラムを拡充する。	・英語による授業の大幅な拡大と外国人教員の積極的な採用による大学院のグローバル化や大学間国際ネットワークの構築と連携強化を推進する教育組織への再編。
		・教員組織と大学院教育組織の分離により分野連携を推進し，異分野を有機的に融合したグローバルな大学院教育を展開。
（3）学生への支援に関する目標 ①総合的な学生支援体制の下，多様な背景を持つ学生への支援を充実させる。	①－1 学生が安心・安全で充実したキャンパスライフを送ることができるようにするため，学生支援組織間の連携を強化し，進路・履修相談，経済的支援，就 職支援，キャリア支援等の取組を実施する。また，奨学金及び授業料免除については，既存制度の検証を行い，よりきめ細かな支援制度に改善する。	・理学部／理学院において臨床心理士の雇用を含め，学生の心のケアのための各種方策を実施する。
		・日本人学生の留学前相談体制の充実，留学生のキャリア支援，経済的支援及び生活支援などをワンストップで提供し，教育研究支援体制の国際化対応力強化。
（4）入学者選抜に関する目標 ①広く世界に優秀な人材を求め，本学の教育を受けるにふさわしい学力・能力を備えた人材を多様な選抜制度により受け入れる。	①－1 第2期中期目標期間に導入した，入学後に所属する学部を決める「総合入試」制度を検証する。また，ボーダレスなグローバル社会をリードする意欲と資質を持った人材を人物本位で選抜するため，平成30年度入試から国際バカロレア等を用いた「国際総合入試」を開始する。さらに，大学院課程を中心に，テレビ会議システム，海外オフィスを活用した渡日前入試を拡大するなど，国際化に対応した入学者選抜を実施する。	・外国人特別選抜（渡日前入試），オンライン出願，Skype等を活用した口頭試験実施など，グローバル化に対応した入試改革により留学生受入数の増加。
		・学術的・社会的なニーズ等を踏まえるとともに，大学院教育の質の維持・向上を図るために，理学院博士後期課程の各専攻の入学定員を適正化。
2 研究に関する目標 **（2）研究実施体制等に関する目標** ①研究力を強化するための基盤となる体制を整備する。	①－1 第2期中期目標期間に導入したURA，産学協働マネージャー等を活用した研究開発マネジメント体制をさらに拡充するとともに，平成30年度までに技術職員組織の一元化を行うなど，研究支援体制を強化する。また，産学協働ファシリテーター育成プログラム等の各種研修プログラムを充実させ，それらを担う人材を育成する。	・世界トップレベルの研究を推進するために英語対応も可能な先端理学（教育）研究推進室を設置し，研究力を強化するための研究者支援体制の整備とその効果的運用で実現される世界トップレベルの研究を推進。
	①－2 本学の特長である高度な研究設備を学内外に共用するシステム「オープンファシリティ」において，最先端設備等の登録台数，利用者数を，平成27年度比で10%以上，また，設備共用に係る連携・協力機関等を新たに10機関以上増加させるなど，世界水準の研究基盤共用プラットフォームに拡充する。	・最先端設備，特殊施設などのオープン化を推進し，本学が目指す世界トップレベルの研究基盤共用プラットホームの構築に積極的に参画。
3 社会との連携や社会貢献及び地域を指向した教育・研究に関する目標 ①大学の教育研究活動の成果を活用し，地域・社会の活性化，課題解決及び新たな価値創造に貢献する。	①－1 知の還元と教育のオープン化を推進するため，社会人及び高校生を対象とした教育プログラム，高等学校との連携事業等を実施するとともに，様々な教育コンテンツをオープンコースウェア・MOOC（Massive Open Online Course）等で公開する。また，「HUSCAP（北海道大学学術成果コレクション）」において，本学の教育研究成果を年間3,000コンテンツ以上発信する。	・高大連携事業，SSH，出前講義，体験入学などを通して高校との連携を深め，高校教育へ大学の有する教育リソースを還元。
	①－2 平成28年度に公開スペースを大幅に拡充する総合博物館，国内屈指の蔵書数を誇る図書館，札幌市民の憩いの場である植物園等，多様な学内施設を活用し，地域交流を推進する。	・市民講演会等を積極的に開催することによる社会の科学的リテラシー向上に貢献。
	①－3 地方自治体等との協働により，政策提言等を行うとともに，地域企業との事業化に向けた共同研究を平成27年度比で10%以上増加させる。	・大学の研究リソースを社会に還元するための積極的な産学官連携の推進と地域社会に根ざしたイノベーションの創出。
		・地域が直面する自然災害被害軽減のため自治体との共同研究を推進，自治体防災担当者を含む教育を実施，また，自治体に対し防災に係る政策提言を行う。
4 その他の目標 **（1）グローバル化に関する目標** ①徹底した「大学改革」と「国際化」を全学的に断行することで国際通用性を高め，ひいては国際競争力を強化するとともに，世界的に魅力的なトップレベルの教育研究を行い，世界大学ランキングトップ100を目指すための取組を進める。	①－2 学際的な知的交流を促進するため，世界の研究者と協力して夏の北海道で国内外の学生を教育する「サマー・インスティテュート」，連携した海外大学で，本学と世界の学生が共に学ぶ「ラーニング・サテライト」等，多様な教育プログラムを展開する。これらにより，日本人学生の海外留学経験者を1,250名以上，外国人留学生の年間受入数を2,200名以上に増加させる。	・理学部はISPにおける自然科学基礎科目の教育（数学，物理，化学，生物），及び理学専門科目（物理，化学，生物）の教育において中心的役割を担うとともに，理学院においても学部教育と連携した教育を実施。

Ⅱ 業務運営の改善及び効率化に関する目標 **1 組織運営の改善に関する目標** ①総長のリーダーシップの下，持続的発展を見据えた大学運営を推進する。	①－1 総長のリーダーシップの下，総長補佐体制の整備，監事による業務監査，経営協議会，海外アドバイザリーボード，大学力強化推進本部での学外委員の意見の活用等により，ガバナンス機能をより強化する。また，平成27年度に設置した「総合IR室」において，教育，研究，管理運営等の諸活動に関する情報を収集・分析し，経営戦略策定を支援する。	・理学研究院長の下に業績評価委員会を常置することによる理学研究院教員の公平で透明性の高い業績評価制度を確立。
		・教員それぞれの個性を持った総合力の向上を目指しての教育・社会貢献・大学行政等の貢献も総合的に勘案した業績評価制度の確立。
②次世代を担う優秀な教職員の採用により，組織の活性化・国際化・男女共同参画を促進するとともに，各教職員が働きやすい環境を整備する。	②－1 優れた業績を持つ教員の獲得，教員の職務に対するモチベーションの更なる向上及び流動性の促進のため，第2期中期目標期間に創設した正規教員の年俸制，クロスアポイントメント（混合給与）制度，ディスティングイッシュトプロフェッサー制度等，柔軟な人事・給与制度の適用を促進する。特に，年俸制については，より公平かつ透明性のある制度として推進し，正規教員の適用者を800名以上に増加させる。	・年俸制，混合給与などの給与体系を用いて，国際的に優れた研究者，外国人教員，優秀な若手研究者，女性研究者を積極的に採用。
2 教育運営組織の見直しに関する目標 ①社会の変化に対応しつつ，本学の強み・特色をいかすために教育研究組織を最適化する。	①－1 教育研究組織の機能を強化するため，平成29年度までに組織等の在り方を不断に検証し改革する仕組みを導入する。また，教員組織と大学院教育組織の分離，国際大学院の設置等に取り組み，8大学院以上の組織再編を行う。	・必要に応じて理学部の学科を見直し，急速な科学の進歩と現代社会の要請に対応できる教育を実践する組織へ再編。
Ⅳ 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標 **2 情報公開や情報発信等の推進に関する目標** ①社会と大学をつなぐ双方向の広報活動を展開し，教育研究活動及びその成果を広く国内外に発信する。	①－1 グローバル社会における情報ニーズに対応した広報体制を整備し，広報媒体の多言語化，ソーシャル・ネットワーキング・サービス，同窓会組織との連携等を活用した戦略的広報活動を実施する。	・国際化支援室と先端理学（教育）研究支援室が連携して戦略的国際広報活動を実施し，理学系研究分野の研究成果を国際社会に向けて迅速かつ積極的に発信し，世界に存在感を示すとともに，グローバルに産学官連携を推進しイノベーション創出を展開。
		・社会と大学をつなぐ双方向の広報活動を充実させることで，教育研究の成果を世界に広く発信し，産学官連携へも展開することでイノベーションを創出。
Ⅴ その他業務運営に関する重要目標 **4 法令遵守等に関する目標** ①公平・公正な大学運営を行うため，コンプライアンスを推進する。	①－1 研究費不正使用及び研究活動上の不正行為を防止するため，第2期中期目標期間に構築した独自のeラーニングシステムによる不正防止研修の受講を義務化し，受講率100%を堅持する。また，物品検収体制の徹底，ハンドブックによる啓発活動等を実施する。	・研究に係る不正防止への積極的な対応と構成員への周知。
5 他大学等との連携に関する目標 ①他大学，自治体等，広く関係機関と連携し，効果的・効率的な大学運営を行う。	その他	・サバティカル制度を含めた柔軟で多様な研修制度の導入により，教員のグローバル化並びに研究促進のための環境を整備。

出典：理学・生命科学事務部庶務担当データ

理学部の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

理学部では，本学の４つの基本理念（フロンティア精神，国際性の涵養，全人教育，実学の重視）の下，自然科学全般にわたる基礎的な知識及び技術を教授することにより，大学院における修学及び研究に必要な観察力及び創造性を有し，並びに社会に貢献するために必要な自然科学に関する基礎的素養を有する人材を育成することを教育目標としています。

理学部では，この目標とする人材像に求められる具体的な能力（学位授与水準）を学科毎に定め，当該能力を身につけ，かつ所定の基準を満たした学生に学士の学位を授与します。

数学科の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

数学は人類が長い年月をかけて築き上げた学問であり，真理の探究を通して文化を豊かなものとし，文明の進歩を支えてきました。高度に進化し，範囲を広げながら発展する現代数学は，その普遍性から諸科学の礎としての役割も果たしています。

数学科では，世界共通の理論体系を備えた現代数学の基礎を学び，培った数学的能力や科学的素養などをもとに，社会のさまざまな分野において活躍できる人材を養成することを目標とします。下記の能力を有すると認めた学生に対し，学士の学位を授与します。

【知識・理解】
・現代数学の基礎理論における数学的概念を正しく理解している。
・修得した理論や知識を正しく運用し，問題解決等に役立てることができる。

【論理的思考力】
・数学の学修等を通して，論理的に分析や考察を行うことができる。
・抽象的な概念を具体化して適切に扱うことができる。

【汎用的技能】
・必要に応じて計算機を活用し，学習等に役立てることができる。
・身につけた知識や概念を工夫して他者に正しく伝えることができる。

【態度・志向性】
・多様な知識に対する価値を理解し，尊重できる。
・向上心を持って積極的に学ぶ姿勢を有し，主体的な学習ができる。

本学科においては，難しい概念の理解を伴う数学科目，数学が関係している事象を含む科目等を意欲的に履修することを推奨し，学生が積極的に学ぶ姿勢を適切に評価しうるような卒業認定基準を設けます。

物理学科の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

自然界のすべてのものが従う普遍的な法則や原理を追及する物理学を学ぶことは，未知の現象を根本的に分析・理解する素養を身に着けることにつながります。物理学科の教育スタッフは「創造的研究活動と教育実践の融合」という理念のもと，質の高い教育・研究活動を行い，つぎのような人材の育成を目指します。

１．物理学的知識と思考法：

今日の科学技術の発展に大きな貢献をしてきた現代物理学，およびその基盤をなす基礎的知識を体系的に理解している。

２．問題解決能力：

習得した物理学的知識に基づき，物理的思考法を用いた問題解決能力を具えている。

３．科学的論理の表現力：

わかりやすい論理的説明能力やプレゼンテーション能力を有する。

化学科の学位授与水準（ディプロマ・ポリシー）

化学科では、自然界における化学現象の基本原理を学ぶとともに、社会に大きく貢献する広範な科学技術と密接にかかわる先端的化学に貢献できる能力を身に付けます。また、幅広い教養に基づいた自己管理力や、社会の一員としての責任や倫理観を身に付けます。本学科では、このような教育課程により、理学部の教育目標に基づき、批判的思考や論理に基づいた行動ができ、社会の広い分野で活躍できる人材を養成することを目標としており、次の能力をもつと認められ、かつ、必要な単位を修得した学生に対し、学士の学位を授与します。

【知識・理解】

- 原子から生命体までを対象として、分子や物質を扱う化学分野の基本的な知識を修得し、また体系的に理解することができる。
- 化学の体系的な知識に基づき、科学技術の発展や時代背景に対応して、化学の重要性や安全性・危険性を理解し、論じることができる。
- 広範な科学技術と密接に関わる化学の幅広さと重要性を理解し、新たな社会的ニーズを生み出すシーズの創造をめざして、化学分野の基本的な知識を新たな学習に生かすことができる。
- 世界における化学の先端について、情報を集めて理解することができる。

【志向性】

- 化学の幅広い基礎知識を基盤とし、自らの個性に応じて知識を深化させ、自らの能力を伸ばすことができる。

【問題解決力】

- 広範な化学の基礎的素養を授業・演習・実験を通じて身に付けることにより、化学に関する問題を解決に導くことができる。
- 自然界や人間社会における分子・物質の性質やそれらの活用などについて、問題を見出し、解決に必要な情報や実験結果を集め分析し、また他者と協力して問題を解決に導くことができる。

【学習力】

- 自らの知識を深め主体的に学習することができる。
- 学習した事項を、自然界や人間社会のさまざまな課題に適用することができる。

生物科学科（生物学専修）学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

生物科学科（生物学専修）では，分子・細胞から個体・集団レベルにおける様々な生命現象の共通性および多様性の基礎原理や法則を理解し，発展が著しい医学・農学・環境学・工学などの応用科学と強く結びついている最先端の生物科学を学びます。また，幅広い教養に加えて生涯学習のための自己管理力や，市民としての責任や倫理観を身につけます。本学科では，体系的な教育課程により，分子から生態系，基礎から応用に至る様々なレベルでの生命原理を理解する人材の養成をめざすとともに，学部の教育目標に基づき，論理的ならびに批判的な思考力を備え，広範な分野で活躍できる人材の養成を目標としており，次の能力をもつと認められる学生に対し，学士の学位を授与します。

【知識・理解】
・人文科学，社会科学，自然科学全般について幅広い知識を備え，かつ，それぞれの事項に潜む機構を洞察することができる。
・生物の多様性およびそれら多様な生物に見られる生命現象を深く理解し，それをもとに様々な分野の新たな学習ができる。
【論理的思考力】
・分子・細胞から個体・集団レベルの知識と実験・調査データに基づき多面的に生命現象を考察し，新たな理論の構築や技術開発に発展させることができる。
・生物学は基礎科学に留まらず，医学・農学・環境学・工学などの応用科学の基礎でもあり，将来，応用的学問分野に進んだ際にも論理的思考によりその知識と技術を応用できる。
【問題解決力】
・論理的および批判的思考に基づき，生物学における様々な問題を解き，さらに新たな課題を見出すことができる。
・演習や実験により，数量的スキル，実験技術，情報リテラシーを修得し，それらを駆使して新たな問題を解決することができる。
【生涯学習力】
・卒業後も生涯にわたり学び続けることを可能にする自己管理に基づく主体的学習ができる。
・市民としての責任を自覚し倫理観を身につけ，それらを規範に社会の様々な課題に取り組むことができる。

生物科学科（高分子機能学専修分野）の学位授与水準（ディプロマ・ポリシー）

生物科学科（高分子機能学専修分野）では，生命現象の基本法則を広い視野の下に学ぶとともに、最先端の科学技術を用いて物質科学と生命科学の学際領域の高度な学問的素養を修得します。また、幅広い教養に加えて生涯学習のための自己管理力や、市民としての責任や倫理観を身につけます。
本専修分野では、こうした教育課程を経て、学部の教育目標に基づき、批判的思考や論理的思考力など汎用的技能をそなえ広範な分野で活躍できる人材を養成することを目標としており、次の能力をもつと認められる学生に対し、学士の学位を授与します。

知識・理解
　社会、文化、自然科学全般について幅広い知識を身につけ理解することができる。
生命科学と物質科学の高度な学問的素養を修得し、それをもとに自律的に知的活動を展開することができる。
論理的思考力
　情報や知識を複眼的、論理的・批判的に分析し、表現できる。
問題解決力
　生命科学と物質科学の学際領域の問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を確実に解決できる。
生命科学と物質科学の学際領域の演習や実験により定量的思考、基本的な分析・実験技術、情報リテラシーを用いて、多様な情報を収集・分析して適正に判断し、モラルに則って効果的に活用することができる。
自己管理力
　市民としての社会的責任や倫理観を身につけ、社会の発展のために積極的に関与できる。
　チームワーク・リーダーシップを発揮できる。
生涯学習力
　世界における市民としての自覚をもって社会に参加でき、学問やコミュニケーション・スキルを身につけることができる。
卒業後も生涯にわたり学び続けるために、自己管理し主体的学習ができる。
統合的な学習経験と創造的思考力
　これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題にそれらを適用し、その課題を解決することができる。

地球惑星科学科の学位授与水準（ディプロマ・ポリシー）

地球惑星科学科では，基礎的な数学的手法や物理学･化学･生物学の法則に基づいて，地球と惑星を対象として，それらで生起する様々な時空間スケールの現象について学びます．

本学科では，学部の教育目標に基づき，地球および惑星で生じる諸現象に関する幅広い教養を身につけ，それらについて主体的に科学的判断を下せるような人材の養成を目標として，次の能力をもつと認められる学生に対し，学士の学位を授与します．

【知識・理解】

･地球と惑星におけるさまざまな現象を理解するための基礎となる数学的手法，現象の背景にある物理学的･化学的･生物学的な原理や法則を理解しており，それらを元に地球惑星科学のさまざまな分野の新たな学習ができる．

･地球と惑星の現在や過去の姿や構造に関する基礎知識を習得している．

【データの取得と解析】

･地球惑星科学で扱うさまざまなデータを取得するための観測技術や実験技術の原理を理解し，それらの技術や手法を用いてデータを取得できる．

･取得したデータを科学的に解析するための数量的スキルや情報リテラシーを身につけ，新たなデータに適用して解析できる．

【論理的思考力】

･データや情報を論理的に整理し，多面的に分析できる論理的思考力を身につけている．

【問題解決力】

･基礎的な知識，情報，関連する技術を総合的に活用して，さまざまな地球惑星科学の問題を分析，整理し，解決できる．

【表現・伝達】

･文書や口頭で学習内容や研究成果を分かりやすく表現し，論理的に伝達できるコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を有している．

【態度・志向性】

・自らを律して行動でき，また他者と協調・協働して行動できる．

・自ら学習目的を認識し，学習の計画を立て，主体的に学習できる．

出典：理学部教務委員会資料

理学部の教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

理学部では，学位授与の方針に掲げた教育目標を達成するため，「数学科」，「物理学科」，「化学科」，「生物科学科」，「地球惑星科学科」の５学科を設置し，このうち生物科学科には履修上の区分として「生物学専修分野」と「高分子機能学専修分野」の２専修分野を設置しています。

これらの学科では，専攻分野によらない共通の素養を身につけるための「全学教育科目」及び広い視野を養いながら専門性を高めるために体系的に配置された「学部専門科目」をもって，４年間の学士課程における教育課程を編成します。

本学部の学部専門科目については，学科毎に教育課程編成・実施の方針を定め，それぞれ育成する人材像に沿ったカリキュラムを編成し，実施します。

数学科の教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

数学科では，学位授与水準に定めた能力を持つ人材を育成するために，以下のようなカリキュラムを編成し実行します。

・１年次総合教育部において，本学が定める全学教育のカリキュラム・ポリシーのもとで，「全学教育科目」の履修を要請します。
・２～４年次現代数学を学ぶ上で必要性の高い内容を扱う基礎的な講義科目および演習・講究科目を「選択必修科目Ｂ」として設定します。比較的専門性の高い科目は，「選択科目」として配置します。主な履修対象学年を示し，順に履修していけるような体系的科目編成にします。これらの講義科目と演習・講究科目を通して，学生は現代数学の基礎概念を学び，定理や公式を適用する能力を養います。学生が自身でテーマを選び，学習した内容を発表する講読科目は選択科目に属し，２，３年次学生を対象に開講されます。この科目を通して，学生は数学的な考察力，自ら学ぶ積極性，コミュニケーション能力，等を養います。科学の一般基礎教養に関しては，「選択必修科目Ａ」として理学の諸分野にわたる科目を開講します。多様な知識の重要性を理解し，幅広い知識を身に付けるために，複数分野にわたり履修し単位を取得することを要請します。
・４年次４年次学生を対象として，卒業研究（通年）を必修科目として設定します。卒業研究を通して，学位授与水準に定めた能力の向上を図ります。

物理学科の教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

力学、物理数学、熱力学、電磁気学、量子力学、統計力学を「コア科目」（物理学を学ぶのに必要な基本となる科目）と考え、全てに対応する演習が選択科目として開講されます。これらのコア科目群を習得することにより物理学という共通の言語で様々な現象を議論し理解することができるようになり、素粒子・原子核の極微な世界から、半導体や超伝導や磁性などの種々の凝縮系物質、そして、最もスケールの大きな宇宙まで、さまざまな研究を進めるスタートライン立つことができるようになります。

特徴：

【専門コア科目制度】

専門科目の軸として，コア科目を体系的・重点的に学習し，対応する演習科目でそれらの理解を深めます。

【外国語文献講読】

少人数のグループにわかれ英語文献を読解し，語学と専門（物理）双方の観点から英語で表現された物理学を読破する力を養います。また、発表を通じてプレゼンテーション能力、説明能力の向上を目指します。

【物理学実験】

少人数のグループに分かれて、実験、データ解析、考察などによりそれぞれのテーマに取り組みます。

【早期卒業制度】

優秀な成績を修めた学生は半年間卒業を短縮する制度があり，より早く大学院での研究活動を開始することができます。

成績評価と教育方法の向上：

【成績評価】

試験・レポートなどに基づいた達成度の評価を厳格に行います。

【授業アンケート】

理学部として独自の授業アンケートを行い，学生による評価を受けながら講義を改善して行きます。

化学科の教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

理学部化学科では、学位授与水準に定めた能力を持つ人材を育成することを目標として、以下のとおりカリキュラムを編成し、実施します。

主に１年次学生を対象とする全学教育科目では、専攻する分野にかかわらず、本学の学生であれば当然身につけておかなければならない共通の素養として、高いコミュニケーション能力、人間や社会の多様性への理解、独創的かつ批判的に考える能力、社会的な責任と倫理を身につけることを目的として、カリキュラムを編成しています。具体的には「一般教育演習」、「総合科目」、「主題別科目」、「外国語科目」、「外国語演習」、「共通科目」に区分される教養科目（コアカリキュラム）を開講します。また、専門科目を学ぶ心構え、基礎知識を身につけることができるように、基礎科目を開講します。

２年次以降では、化学に関する専門性を深め、化学分野における問題解決能力を養うため、学部専門科目を体系的に開講します。これとともに、理学の他分野との関わりを理解できるようにするため、理学部共通の選択必修科目を開講し、異分野の学習も促します。

2 年次では、広範な化学の素養を身に付けるため、「物理化学」、「有機化学」、「無機化学」、「分析化学」、「生物化学」を必修科目として開講するとともに、実践的問題解決能力と応用力を養うため、これら必修科目には学習支援として「演習」を併設して開講します。

世界の化学に英語で接することができる能力を養うために化学英語を学ぶ「化学講読」を必修科目として開講します。

実験を通じて課題を解決できる基礎的能力を養うため、2 年次から 3 年次にかけて、必修科目に対応する「化学実験」を開講します。さらに、計算化学の素養を養うため「計算機実習」を開講します。

3 年次では、学生の個性と興味の深化に対応し、より深い理解を促すために、原子・分子から生命にいたる広範な化学の領域を細分化した授業科目を選択科目として開講します。これらの科目により、学生は自らの個性に応じた化学の能力を伸ばすことができます。

4 年次では、化学における実践的なスキルの向上を促すために、一年を通じて「化学研究実験」を行い、専門分野ごとにきめ細かなサポートを行います。また、「化学文献講読」を通じて、世界における化学の最先端の研究に触れて理解し、さらに批判的な議論ができるようになるための指導を行います。これにより、将来の研究者を目指すことや、科学技術の発展に貢献する技術者やその人材を育成する教育者を目指すことができます。

生物科学科（生物学専修）教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

理学部生物科学科（生物学専修）では，学位授与水準に定めた能力を持つ人材を育成することを目標として，以下のとおりカリキュラムを編成し，実施します。

・主に１年次学生を対象とする全学教育科目では，専攻する分野にかかわらず，本学の学生であれば当然身につけておかなければならない共通の素養として，高いコミュニケーション能力，人間や社会の多様性への理解，独創的かつ批判的に考える能力，社会的な責任と倫理を身につけることを目的として，カリキュラムを編成しています。具体的には「一般教育演習」,「総合科目」,「主題別科目」,「外国語科目」,「外国語演習」,「共通科目」に区分される教養科目（コアカリキュラム）を開講します。また，専門科目を学ぶ心構え，基礎知識を身につけることができるように，基礎科目を開講します。

・２年次以降では，生物学に関する専門性を深めるため，学部専門科目を開講します。

・２年次では，まず，生物学の基本概念を理解し，データ解析に必要となる理論や技術的手法を身につけることができるように，分子・細胞から個体・集団レベルまでの生物学の基礎分野の講義と総合的な実習を開講します。また，生物学において日常的に必要となるライティングとプレゼンテーションのスキルを実践的に学ぶ科目も開講します。さらに，自然科学の広い分野を理解するため，他学科が開講する理学部共通科目の履修を選択必修とします。逆に，他学科の学生に現代生物学の概要を理解させるため，オムニバス形式で各担当教員の専門分野における最新の話題を紹介する講義を開講します。

・３年次では，２年次に学修した内容に基づいてさらに深く生物学の各分野を学ぶことができるように，専門分野の講義と実習を開講します。

・４年次では，基本的に，各研究室において特定の研究実習テーマに取り組み，研究姿勢および技術的手法を修得するとともに，複眼的に分析する論理的思考力，修得した知識と技術を基盤とする問題解決力，既存の考えにとらわれない論理的・批判的思考力，成果をわかりやすく伝える発表能力を養成します。

生物科学科（高分子機能学専修分野）の教育課程編成・実施の方針
（カリキュラム・ポリシー）

理学部生物科学科（高分子機能学専修分野）では、学位授与水準に定めた能力を持つ人材を育成することを目標として、以下のとおりカリキュラムを編成・実施します。

1 年次

主に１年次学生を対象とする全学教育科目では、専攻する分野にかかわらず、本学の学生であれば当然身につけておかなければならない共通の素養として、高いコミュニケーション能力、人間や社会の多様性への理解、独創的かつ批判的に考える能力、社会的な責任と倫理を身につけることを目的として、カリキュラムを編成しています。

具体的には「一般教育演習」、「総合科目」、「主題別科目」、「外国語科目」、「外国語演習」、「共通科目」に区分される教養科目（コアカリキュラム）を開講します。また、専門科目を学ぶ心構え、基礎知識を身につけることができるように、基礎科目を開講します。

2 年次以降

２年次以降では、生物科学科（高分子機能学専修分野）の専門性を深めるため、１年次全学教育科目の基礎科目から化学、物理学、生物学の科目を幅広く履修することを推奨します。

理学部共通開講科目から幅広い分野を履修することを推奨します。

専門科目（講義・演習）は「物理・物理化学系」、「化学・物理化学系」、「生物科学系」からなり、それぞれ複数の科目を４学期制で集中開講します。

全ての専門科目（講義・演習・実験）は体系的に基礎的科目、発展的科目、実践的科目として学期ごとに開講します。

英語で学ぶ専門科目を２～４年次に開講します。

実験科目は２−３年次のグループ学習と、３−４年次の個別実践学習として開講します。

個別実践型実験科目では、研究室配属型指導体制とし、主体的な学習経験を利用しやすい環境を提供します。

在学中の海外留学による学修成果は、学位授与水準に定めた能力を持つ人材として評価します。

地球惑星科学科の教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

理学部地球惑星科学科では，学位授与水準に定めた能力を持つ人材を育成することを目標として，以下のとおりカリキュラムを編成し，実施します。

・主に１年次学生を対象とする全学教育科目では，専攻する分野にかかわらず，本学の学生であれば当然身につけておかなければならない共通の素養として，高いコミュニケーション能力，人間や社会の多様性への理解，独創的かつ批判的に考える能力，社会的な責任と倫理を身につけることを目的として，カリキュラムを編成しています。具体的には「一般教育演習」,「総合科目」,「主題別科目」,「外国語科目」,「外国語演習」,「共通科目」に区分される教養科目（コアカリキュラム）を開講します。(物理学科と同じ）また，地球惑星科学の基礎知識を習得できるように,「地球惑星科学Ⅰ」「地球惑星科学Ⅱ」を開講します.
・２年次以降は，専門性を深めるため，学部専門科目を開講します.
・２年次の「地球惑星科学セミナー」は必修科目で，一泊二日の学外演習と地球惑星科学の様々な分野の講義演習を通じて，広い地球惑星科学の個別分野を学ぶ前段階として，全体を俯瞰しながら，基礎知識を学びます.
・２年次には選択必修科目 B および C として，地球惑星科学の基礎となる数学，物理学，化学を習得するための講義，データ取得と解析の基礎を学ぶための講義，地球惑星科学の基礎知識を習得するための講義が開講されます．また，これらに関連する演習，実習，実験も開講されます．演習科目や実習科目では，座学の講義で教わった知識や手法を実際の問題に適用していくことによって，論理的思考力や問題解決力の向上を目指します．実習科目や実験科目では，さまざまなデータの取得と解析を行い，科学的に解析するための数量的スキルや情報リテラシーを習得します．また実習や実験では，レポートの作成と提出を通じて，表現･伝達能力の向上も図ります.
・３年次からは，２年次に習得した基礎知識，手法や技術を前提として，より専門的な科目が開講されます.
・３年前期には選択必修 D として，地球と惑星の現在や過去の姿や構造に関する基礎知識の習得を目指した講義が開講されます．また，関連する分野の実験や実習科目が開講され，さまざまなデータを取得技術や手法を学ぶとともに，科学的に解析するための数量的スキルや情報リテラシー，論理的思考力，問題解決力の一層の向上を図ります．またレポートの作成と提出を通じて，表現･伝達能力の向上を図ります.
・３年後期は全て選択科目となり，個別専門分野への各自の興味に応じて，履修科目を選択します．より専門的な地球惑星科学の知識の習得を目指す講義科目および，関連する実習科目･実験科目が開講され，より専門的で高度なデータ取得や解析手法の習得を目指すとともに，レポート課題の作成と提出を通じて表現･伝達能力の一層の向

上を図ります.

・４年に進級する際に，各研究室に分属します。分属の希望調査は３年後期の１月頃に行われ，分属先の研究室が決定するのは，3 月末頃です．各研究室に分属して，通年の「地球惑星科学文献講読」といわゆる卒業研究である「地球惑星科学研究」とを履修します．これらの履修によって，知識をさらに拡充するだけでなく，最先端の研究課題に取り組むことによって，データの取得と解析能力のトレーニング，論理的思考力や問題解決力の向上を目指します．また，分属先研究室でのセミナーや卒業研究発表会では，自分の研究内容や成果について発表することによって，分かりやすく表現し，伝達する能力を養成します．

出典：理学部教務委員会資料

理学部数学科 カリキュラム・マップ イメージ

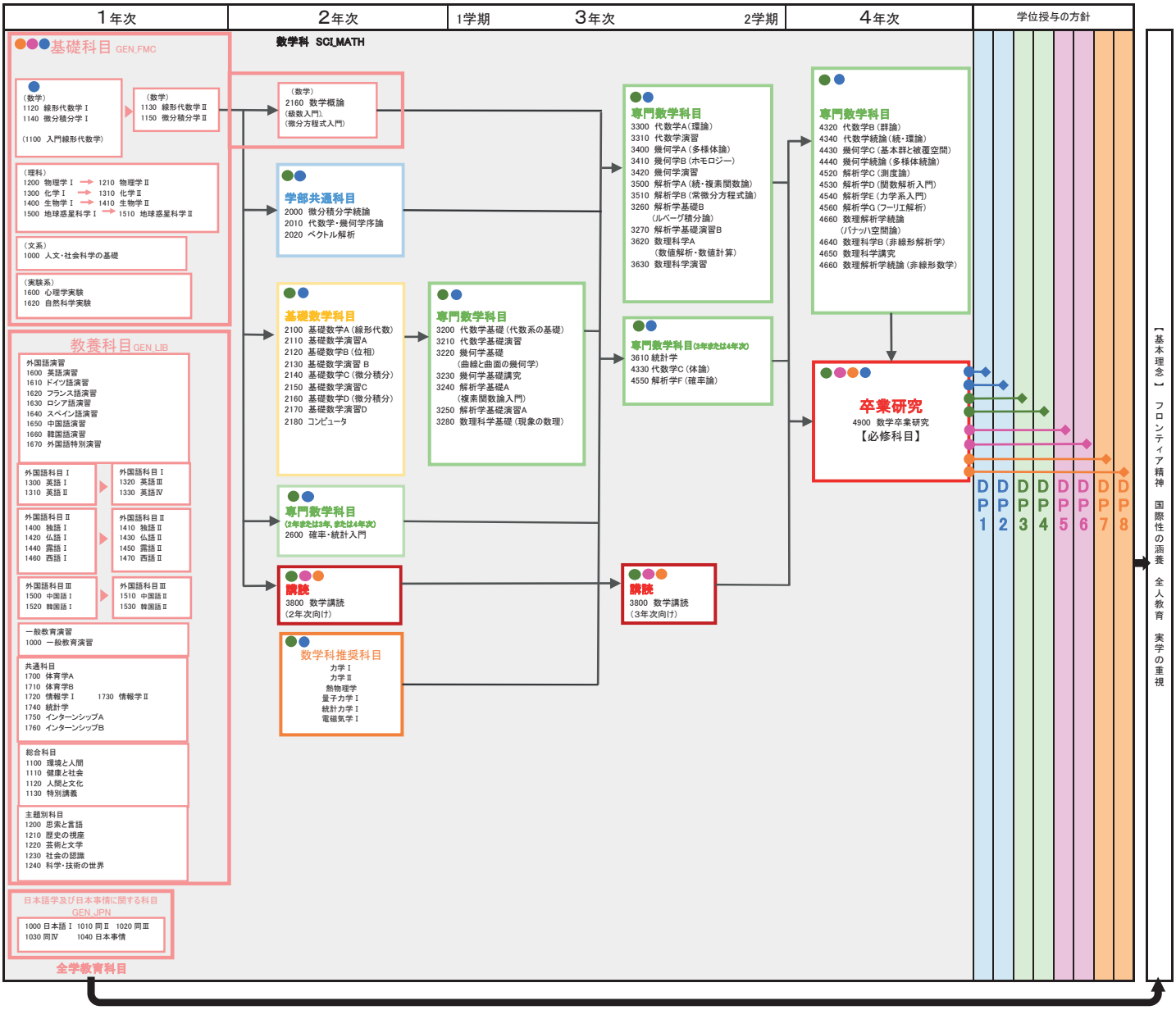
1．フロンティア精神 DP1 DP4 DP7 DP8	2．国際性の涵養 DP2 DP3 DP8	3．全人教育 DP1 DP2 DP6 DP7 DP8	4．実学の重視 DP1 DP4 DP5 DP6 DP7

【知識・理解】
DP1 現代数学の基礎理論における数学的概念を正しく理解している。
DP2 修得した理論や知識を正しく運用し，問題解決等に役立てることができる。

【論理的思考力】
DP3 数学の学修等を通して，論理的に分析や考察を行うことができる。
DP4 抽象的な概念を具体化して適切に扱うことができる。

【汎用的技能】
DP5 必要に応じて計算機を活用し，学習等に役立てることができる。
DP6 身につけた知識や概念を工夫して他者に正しく伝えることができる。

【態度・志向性】
DP7 多様な知識に対する価値を理解し，尊重できる。
DP8 向上心を持って積極的に学ぶ姿勢を有し，主体的な学習ができる。



出典：理学部ホームページ

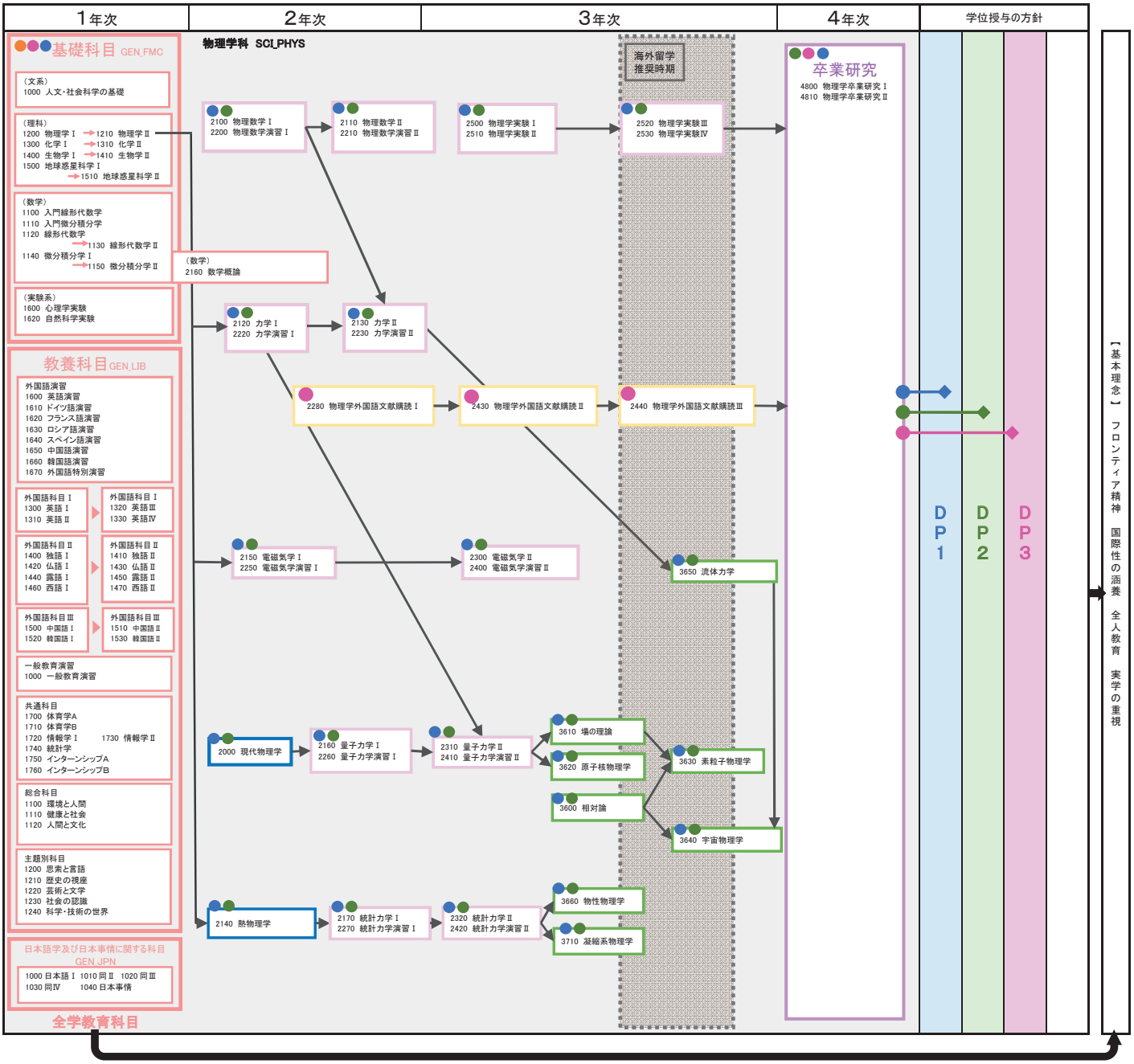
理学部物理学科 カリキュラム・マップ イメージ

1．フロンティア精神 DP1 DP2	2．国際性の涵養 DP1 DP3	3．全人教育 DP1 DP2 DP3	4．実学の重視 DP2 DP3

【物理学的知識と思考法】
DP1 今日の科学技術の発展に大きな貢献をしてきた現代物理学，およびその基盤をなす基 礎的知識を体系的に理解している。

【問題解決能力】
DP2 習得した物理学的知識に基づき，物理的思考法を用いた問題解決能力を具えている。

【科学的論理の表現力】
DP3 わかりやすい論理的説明能力やプレゼンテーション能力を有する。



出典：理学部ホームページ

理学部化学科 カリキュラム・マップ イメージ

1．フロンティア精神 DP4 DP5 DP6 DP8 DP9	2．国際性の涵養 DP4 DP7 DP9	3．全人教育 DP3 DP6 DP7	4．実学の重視 DP1 DP2 DP9

【知識・理解】

DP1　原子から生命体までを対象として，分子や物質を扱う化学分野の基本的な知識を修得し，また体系的に理解することができる。

DP2　化学の体系的な知識に基づき，科学技術の発展や時代背景に対応して，化学の重要性や安全性・危険性を理解し，論じることができる。

DP3　広範な科学技術と密接に関わる化学の幅広さと重要性を理解し，新たな社会的ニーズを生み出すシーズの想像をめざして，化学分野の基本的な知識を新たな学習に生かすことができる。

DP4　世界における化学の先端について，情報を集めて理解することができる。

【志向性】

DP5　化学の幅広い基礎知識を基盤とし，自らの個性に応じて知識を深化させ，自らの能力を伸ばすことができる。

【問題解決力】

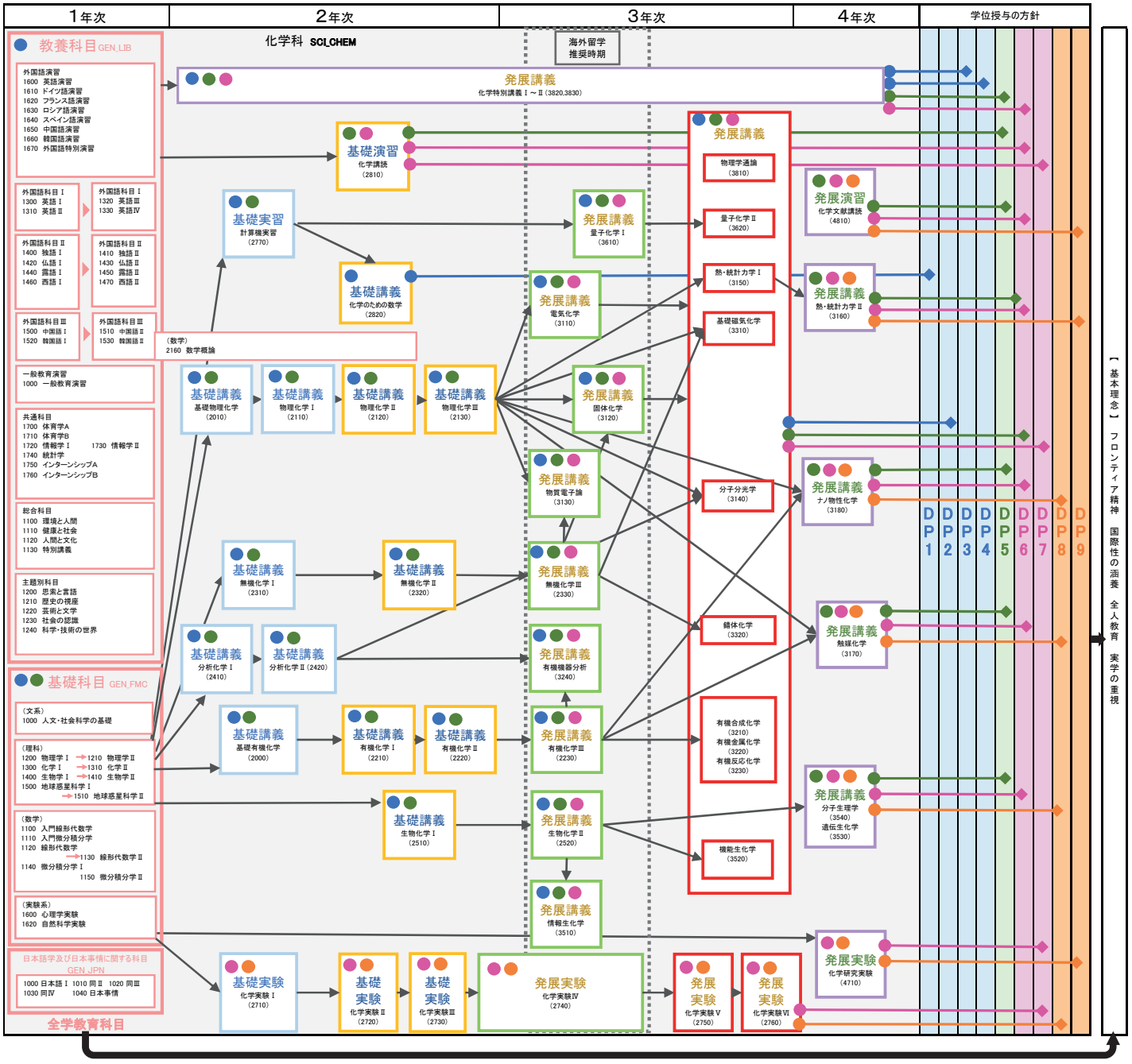
DP6　広範な化学の基礎的素養を授業・演習・実験を通じて身に付けることにより，化学に関する問題を解決に導くことができる。

DP7　自然界や人間社会における分子・物質の性質やそれらの活用などについて，問題を見出し，解決に必要な情報や実験結果を集め分析し，また他者と協力して問題を解決に導くことができる。

【学習力】

DP8　自らの知識を深め主体的に学習することができる。

DP9　学習した事項を，自然界や人間社会のさまざまな課題に適用することができる。



出典：理学部ホームページ

理学部生物科学科（生物学）カリキュラム・マップ イメージ

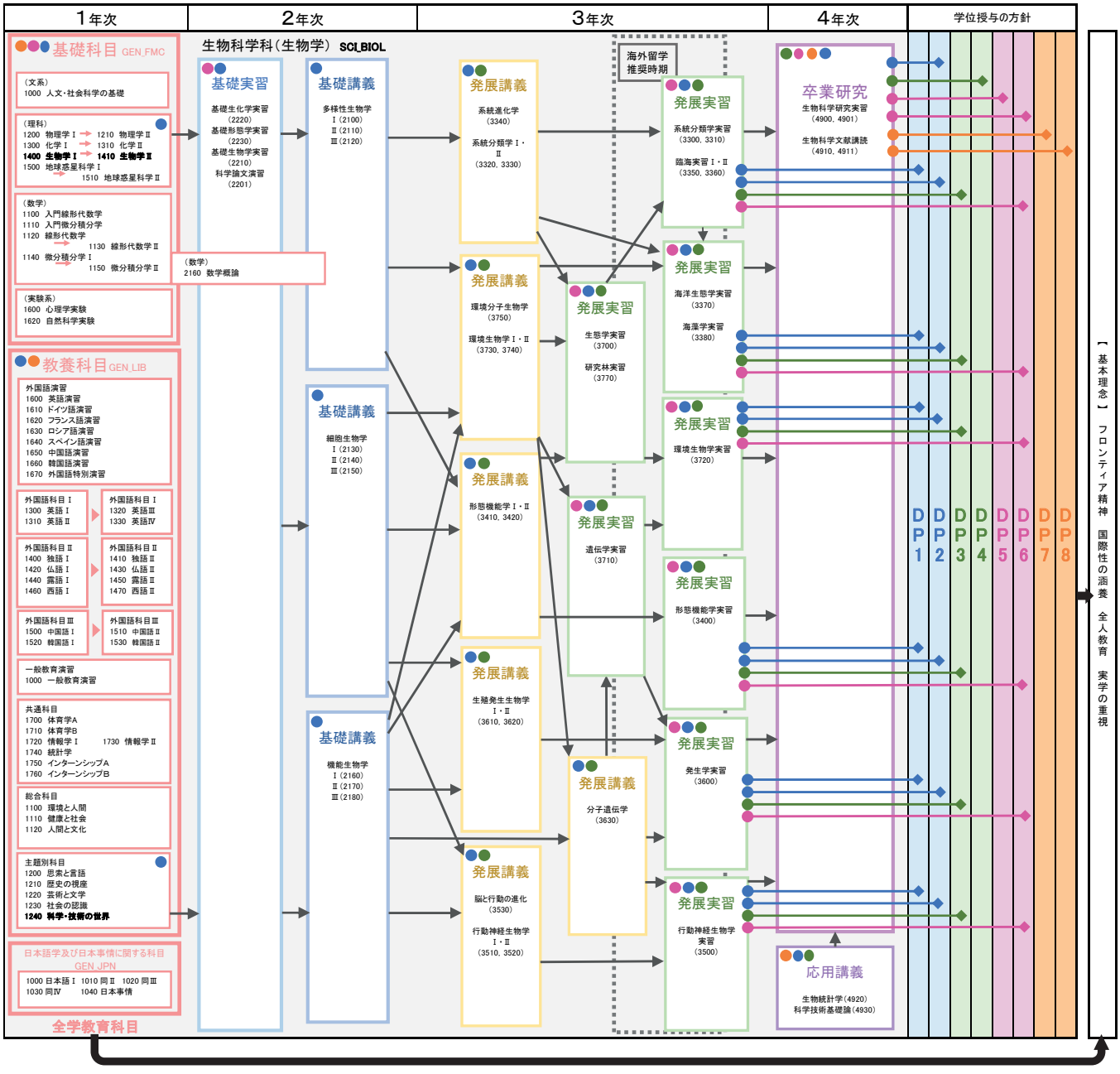
1．フロンティア精神 DP1 DP4 DP7 DP8	2．国際性の涵養 DP2 DP3 DP8	3．全人教育 DP1 DP2 DP6 DP7 DP8	4．実学の重視 DP1 DP4 DP5 DP6 DP7

【知識・理解】
DP1　人文科学，社会科学，自然科学全般について幅広い知識を備え，かつ，それぞれの事項に潜む機構を洞察することができる。
DP2　生物の多様性およびそれら多様な生物に見られる生命現象を深く理解し，それをもとに様々な分野の新たな学習ができる。

【論理的思考力】
DP3　分子・細胞から固体・集団レベルの知識と実験・調査データに基づき多面的に生命現象を考察し，新たな理論の構築や技術開発に発展させることができる。
DP4　生物学は基礎科学に留まらず，医学・農学・環境学・工学などの応用科学の基礎でもあり，将来，応用的学問分野に進んだ際にも論理的思考によりその知識と技術を応用できる。

【問題解決力】
DP5　論理的および批判的思考に基づき，生物学における様々な問題を解き，さらに新たな課題を見出すことができる。
DP6　演習や実験により，数量的スキル，実験技術，情報リテラシーを修得し，それらを駆使して新たな問題を解決することができる。

【生涯学習力】
DP7　卒業後も生涯にわたり学び続けることを可能にする自己管理に基づく主体的学習ができる。
DP8　市民としての責任を自覚し倫理観を身につけ，それらを規範に社会の様々な課題に取り組むことができる。



出典：理学部ホームページ

資料Ⅰ（理学部）-8 理学部生物科学科（高分子機能学専修分野）カリキュラム・マップ（2019年度）

＜理系＞理学部 生物科学科(高分子機能学専修分野) カリキュラム・マップ

1．フロンティア精神 DP2 DP6 DP9 DP10	2．国際性の涵養 DP1 DP6 DP8 DP10	3．全人教育 DP2 DP5 DP6 DP7 DP8	4．実学の重視 DP3 DP4 DP5 DP6 DP10

【知識・理解】
DP1 社会，文化，自然科学全般について幅広い知識を身につけ理解することができる。
DP2 生命科学と物質科学の高度な学問的素養を修得し，それをもとに自律的に知的活動を展開することができる。

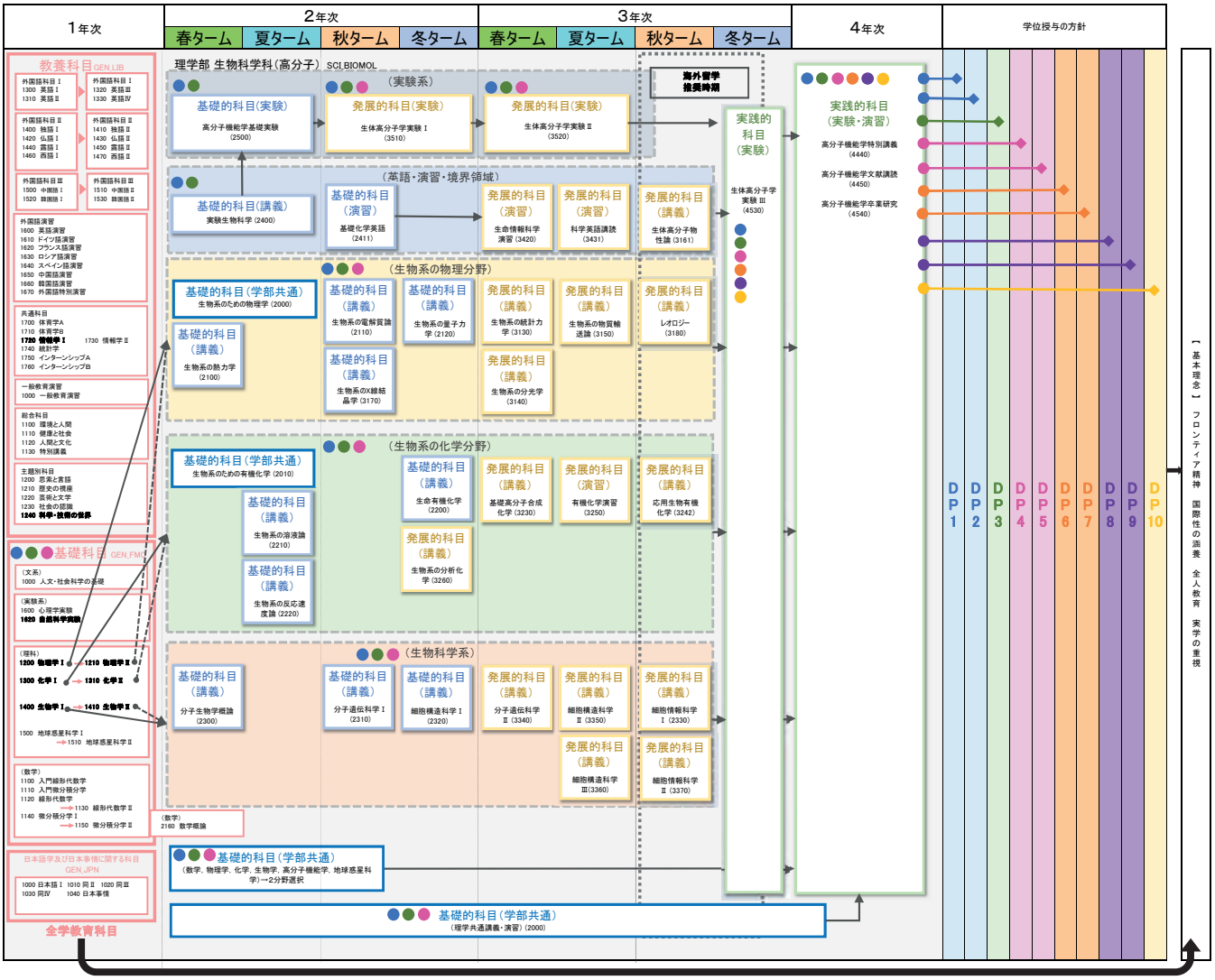
【論理的思考力】
DP3 情報や知識を複眼的，論理的・批判的に分析し，表現できる。

【問題解決力】
DP4 生命科学と物質科学の学際領域の問題を発見し，解決に必要な情報を収集・分析・整理し，その問題を確実に解決できる。
DP5 生命科学と物質科学の学際領域の演習や実験により定量的思考，基本的な分析・実験技術，情報リテラシーを用いて，多様な情報を収集・分析して適正に判断し，モラルに則って効果的に活用することができる。

【自己管理力】
DP6 市民としての社会的責任や倫理観を身につけ，社会の発展のために積極的に関与できる。
DP7 チームワーク・リーダーシップを発揮できる。

【生涯学習力】
DP8 世界における市民としての自覚をもって社会に参加でき，学問やコミュニケーション・スキルを身につけることができる。
DP9 卒業後も生涯にわたり学び続けるために，自己管理し主体的学習ができる。

【総合的な学習経験と創造的思考力】
DP10 これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し，自らが立てた新たな課題にそれらを適用し，その課題を解決することができる。



出典：理学部ホームページ

資料Ⅰ（理学部）-9 理学部地球惑星科学科カリキュラム・マップ（2019年度）

＜理系＞理学部 地球惑星科学科　カリキュラム・マップ

1．フロンティア精神 DP1 DP4 DP5 DP8 DP9	2．国際性の涵養 DP7 DP8	3．全人教育 DP4 DP7 DP8	4．実学の重視 DP1 DP2 DP3 DP6

【知識・理解】
DP1　地球と惑星における様々な現象を理解するための基礎となる数学的手法，現象の背景にある物理学的・化学的・生物学的な原理や法則を理解しており，それらを元に地球惑星科学のさまざまな分野の新たな学習ができる。
DP2　地球と惑星の現在や過去の姿や変遷に関する基礎知識を習得している。

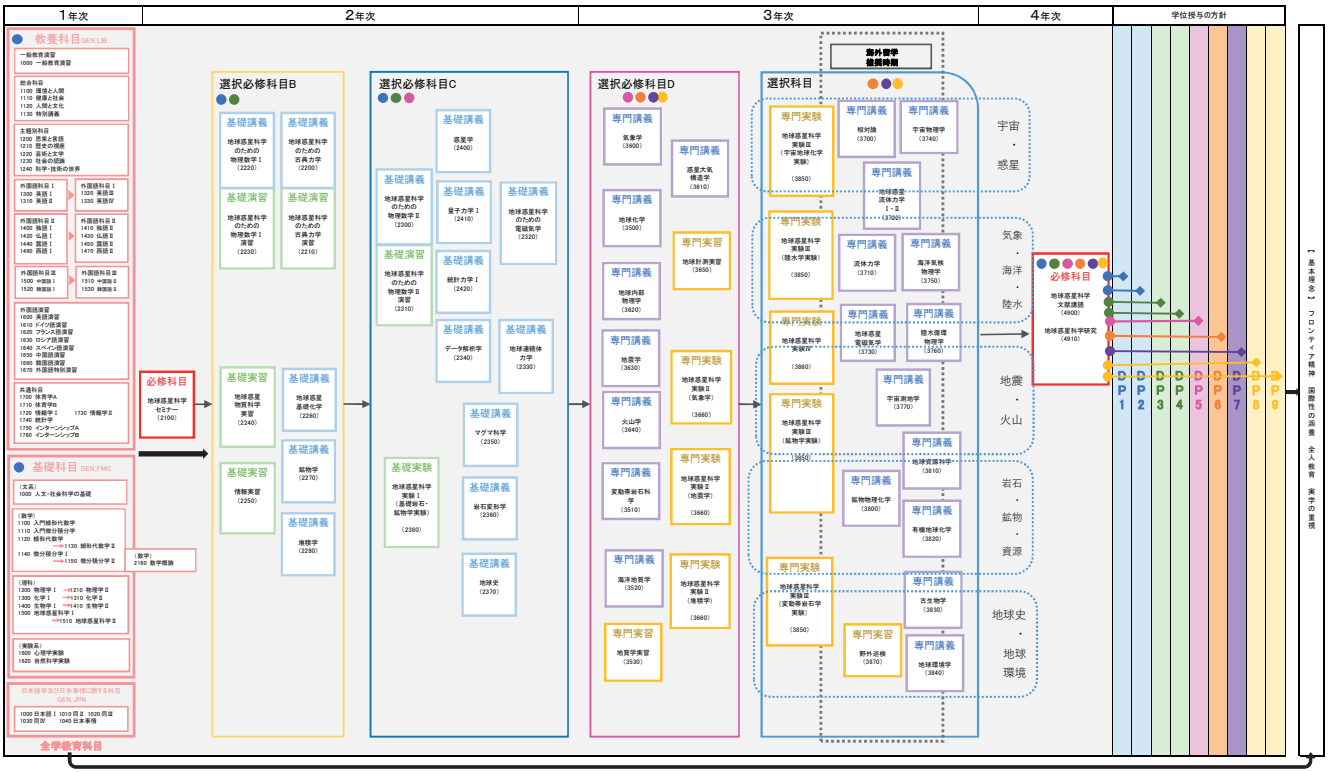
【データの取得と解析】
DP3　地球惑星科学で扱うさまざまなデータを取得するための観測技術や実験技術の原理を理解し，それらの技術や手法を用いてデータを取得できる。
DP4　取得したデータを科学的に解析するための数量的スキルや情報リテラシーを身につけ，得たなデータに適用して解析できる。

【論理的思考】
DP5　データや情報を論理的に整理し，多面的に分析できる論理的思考力を身につけている。

【問題解決力】
DP6　基礎的な知識，技術，関連する技術を総合的に適用して，さまざまな地球惑星科学の問題を分析，理解し，解決できる。

【表現・伝達】
DP7　文章や口頭で学習内容や習得成果を分かりやすく表現し，論理的に推論できるコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を有している。

【態度・志向性】
DP8　自ら主体的で行動でき，また他者と協調・協働して行動できる。
DP9　自ら学習目的を開設し，学習の計画を立て，主体的に学習できる。



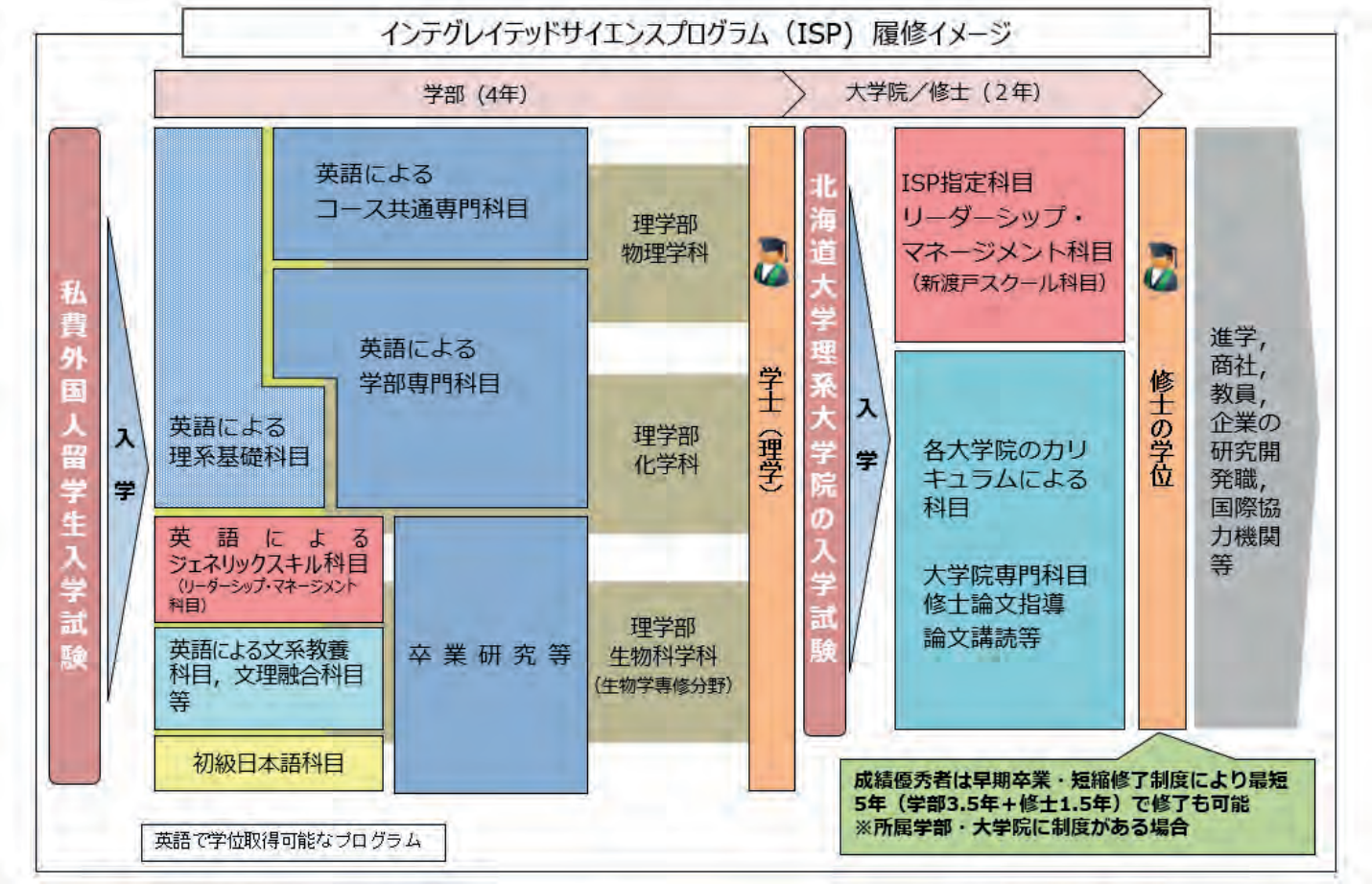
出典：理学部ホームページ

理学部卒業時アンケートによる年度別教育満足度の比較

（「習得できたか/満足したか」の設問に対する「そう思う・強くそう思う」の回答の割合）

項目	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	第2期平均	第3期平均
専門知識	48.4%	56.2%	56.3%	63.8%	54.4%	58.7%	50.6%	64.2%	55.8%	57.9%
問題発見能力	51.2%	56.7%	52.1%	59.0%	53.5%	65.1%	59.6%	68.3%	54.5%	64.3%
卒業研究	90.2%	88.8%	86.2%	82.5%	74.7%	84.0%	83.1%	87.0%	84.5%	84.7%
全学教育	32.0%	36.1%	39.5%	47.6%	39.2%	50.8%	42.8%	51.2%	38.9%	48.3%
学部共通科目	34.0%	38.6%	47.3%	45.0%	53.9%	57.1%	57.2%	62.6%	43.8%	59.0%
学部専門科目	62.7%	66.1%	70.1%	64.2%	64.1%	66.1%	66.3%	69.9%	65.4%	67.4%
学生生活	53.7%	63.1%	58.1%	66.8%	51.2%	50.8%	46.4%	42.3%	58.6%	46.5%

（H23～H30理学部卒業時アンケートによる）



出典：インテグレイテッドサイエンスプログラム学生便覧

理学共通講義・理学共通演習関連の開講実績がわかる資料

＜理学共通講義・理学共通演習開講実績＞

開講年度	科目名	講義題目名	教員名	履修者	備考
2018	理学共通演習Ⅱ	アクティブ・ラーニングで学ぶ自然科学 2018	小田　研	23	物理学特別講義, 物理学特別講義 A と合同開講
2019	理学共通講義Ⅰ	How to make and keep a habitable planet – biogeochemistry-climate feedbacks and astrobiology	Maria Helena Fortunato Martins	0	LS2019
2019	理学共通講義Ⅰ	人為的影響下の海洋生物多様性（公害、過剰暴露、気候変動）	Maria Helena Fortunato Martins	18	HSI2019 専門横断科目と合同開講
2019	理学共通演習Ⅰ	理学分野における特定課題研究 2019	河村　裕	5	HSI2019 専門横断科目と合同開講
2019	理学共通演習Ⅰ	キャリアシンキング「現代社会の課題発見と解決策の提案」～理学部の先輩と未来を考える～	中冨晶子	20	キャリアカフェ集中講義
2019	理学共通演習Ⅱ	アクティブ・ラーニングで学ぶ自然科学 2019	小田　研	27	

＜ラーニングサテライト・サマーインスティテュート実績＞

・ラーニングサテライト

開講年度	事業名	責任者	授業科目名	履修者
2017	沿岸の生物多様性と生態学 – 海洋資源の	Helana	生物学特別講義Ⅵ	5

2018	持続可能な利用のための学習と経験の共有	Fortunato	生物学特別講義VI	3
2019	生物多様性と気候変動：バルト海からの教訓	Helana Fortunato	生物学特別講義VI 理学共通講義 I	6
2020			生物学特別講義VI 理学共通講義 I	未実施

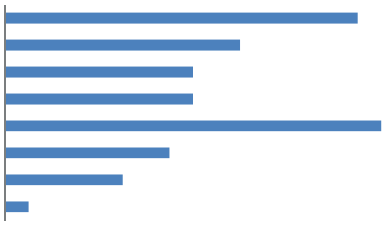
・サマーインスティテュート

開 講 年度	事業名	責任者	授業科目名	履修者（学内）	履修者（海外）
2019	地球規模の海洋と資源の持続可能性 (1) 人為的影響下の海洋生物多様性（公害，過剰暴露，気候変動）	Helana Fortunato	理学共通講義 I 専門横断科目	9	9
	理学分野における特定課題研究 2019	河村　裕	理学共通演習 I 専門横断科目	0	5

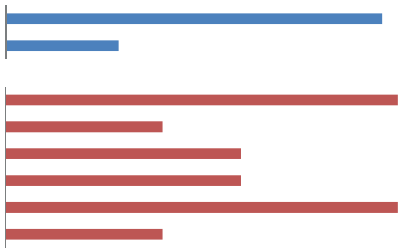
出典：理学・生命科学事務部教務担当データ

アクティブラーニングで学ぶ自然科学2019　授業前アンケート集計

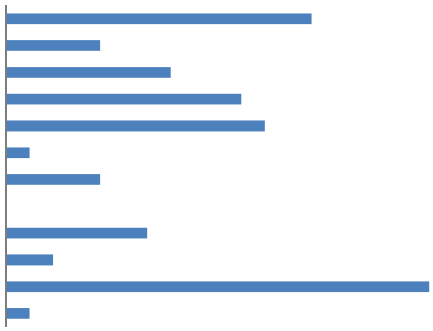
AL授業に期待すること	回答数	率
様々な学科の内容を扱うこと	15	21%
様々な学科の学生と交流できること	10	14%
様々な学科の教員の授業が受けられること	8	11%
座学（普通の講義）がつまらないから	8	11%
単位が取やすそうなこと	16	23%
自分で考えて意見を言うこと	7	10%
他人と意見交換できること	5	7%
教育実習の参考として	1	1%



グループ学習の経験	人数	率
あり	20	77%
なし	6	23%
いつ、どの様な授業で（ありと答えた人のみ）		
以前のアクティブラーニング	5	25%
理学部の通常授業	2	10%
１年次の教養科目	3	15%
他の集中講義	3	15%
高校以前	5	25%
その他	2	10%

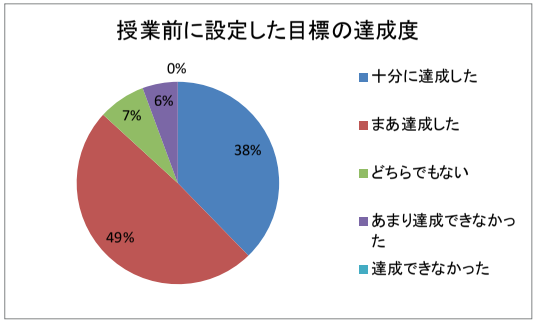


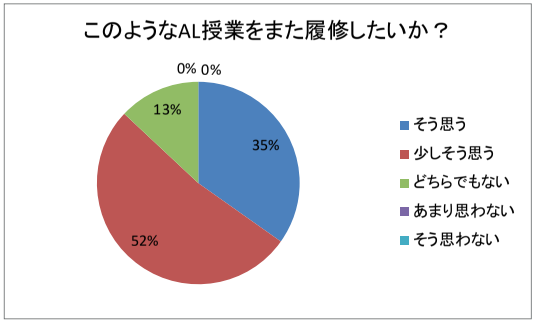
AL授業における目標	回答数	率
様々な学科の知識を学ぶこと	13	17%
様々な学科の学生と友達になること	4	5%
積極的に意見を言う力	7	9%
相手の意見を聞く力	10	13%
じっくり考える力	11	14%
質問する力	1	1%
メンバーの意見や考えを引き出す力	4	5%
グループをまとめる力	0	0%
プレゼンテーション力	6	8%
自分の考えを言語化する力	2	3%
単位取得	18	23%
特にない	1	1%

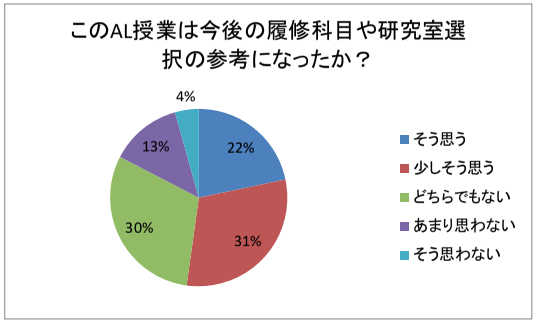


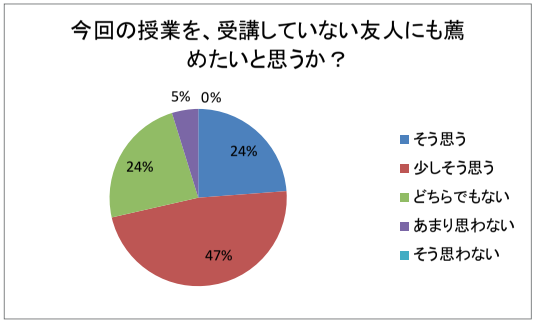
アクティブラーニングで学ぶ自然科学2019　授業後アンケート集計

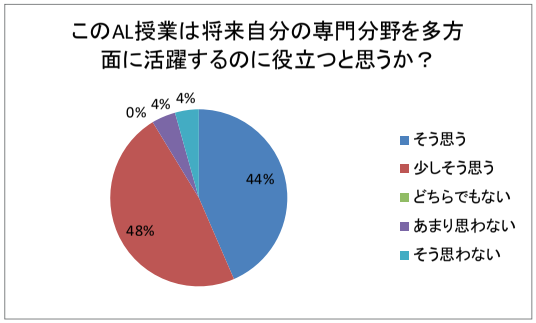
授業前に設定した目標の達成度	
十分に達成した	20
まあ達成した	26
どちらでもない	4
あまり達成できなかった	3
達成できなかった	0
このAL授業は今後の履修科目や	
研究室の選択の参考になったか？	
そう思う	5
少しそう思う	7
どちらでもない	7
あまり思わない	3
そう思わない	1
このAL授業は将来自分の専門分野を	
多方面に応用するのに役立つと思うか？	
そう思う	10
少しそう思う	11
どちらでもない	0
あまり思わない	1
そう思わない	1
このようなAL授業をまた履修したいか？	
そう思う	8
少しそう思う	12
どちらでもない	3
あまり思わない	0
そう思わない	0
今回の授業を、受講していない友人にも	
薦めたいと思うか？	
そう思う	5
少しそう思う	10
どちらでもない	5
あまり思わない	1
そう思わない	0
教員のサポートはグループ学習の助けになったか？	
役に立った	12
まあ役に立った	8
どちらでもない	2
あまり役に立たない	1
役に立たない	0

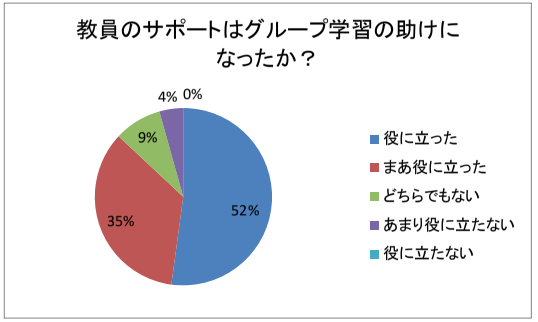












出典：理学部専門科目授業アンケート

【２０１９－２０２０】

〔第１学期〕

４月

日	月	火	水	木	金	土
	1 理入学	2 生入学	3 1年ガ	4 2年ガ	5①	6
7	8①	9①	10①	11①	12②	13
14	15②	16②	17②	18②	19③	20
21	22③	23③	24③	25③	26④	27
28	29	30				

↑4/4学部入学式も実施

５月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7④	8④	9④	10⑤	11
12	13④	14⑤	15⑤	16⑤	17⑥	18
19	20⑤	21⑥	22⑥	23⑥	24⑦	25
26	27⑥	28⑦	29⑦	30⑦	31⑧	

６月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3⑦	4⑧	5⑧	6⑧	7休 大学祭	8
9	10⑧	11⑨	12⑨	13⑨	14⑨	15
16	17⑨	18⑩	19⑩	20⑩	21⑩	22
23	24⑩	25⑪	26⑪	27⑪	28⑪	29
30						

７月

日	月	火	水	木	金	土
	1⑪	2⑫	3⑫	4⑫	5⑫	6
7	8⑫	9⑬	10⑬	11⑬	12⑬	13
14	15	16⑭	17⑭	18⑭	19⑭	20
21	22⑬	23⑮	24⑮	25⑮	26⑮	27
28	29⑭	30⑯	31⑯			

８月

日	月	火	水	木	金	土
				1⑯	2⑯	3
4	5⑮	6月⓰	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

９月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27①	28
29	30①					

〔第２学期〕

１０月

日	月	火	水	木	金	土
		1①	2①	3①	4②	5
6	7②	8②	9②	10②	11③	12
13	14	15③	16③	17③	18④	19
20	21③	22	23④	24④	25⑤	26
27	28④	29④	30⑤	31⑤		

１１月

日	月	火	水	木	金	土
					1月⓰	2
3	4	5⑤	6⑥	7⑥	8⑥	9
10	11⑤	12⑥	13⑦	14⑦	15⑦	16
17	18⑥	19⑦	20⑧	21⑧	22⑧	23
24	25⑦	26⑧	27⑨	28⑨	29⑨	30

１２月

日	月	火	水	木	金	土
1	2⑧	3⑨	4⑩	5⑩	6⑩	7
8	9⑨	10⑩	11⑪	12⑪	13⑪	14
15	16⑩	17⑪	18⑫	19⑫	20⑫	21
22	23⑪	24⑫	25	26	27	28
29	30	31				

１月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6⑫	7⑬	8⑬	9⑬	10⑬	11
12	13	14金⓰	15⑭	16⑭	17休	18
19	20⑬	21⑭	22⑮	23⑮	24⑭	25
26	27⑭	28⑮	29⑯	30⑯	31⑮	

２月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3⑮	4⑯	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

３月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2019/3/11現在

全学教育関係

天皇退位・即位関係

曜日入替日：全学教育の入替日に理学も従う。8/6は理学独自設定

休業期間

①～⑯：授業日

⓰：補講日（16週目）

ターム区切り

出典：理学・生命科学事務部教務担当データ

歓　　迎

理学部へ進学された皆さん，北海道大学理学部へようこそ！

理学部へようこそ！と聞いて皆さんの中には若干の違和感を覚える人もいるかも知れません。なぜなら，皆さんが目指していたのは，学部というよりはそれぞれの学科であるという意識が強いかもしれないと思うからです。確かに，理学部の各学科は，研究対象も研究手法もそれぞれ大いに異なり，共通点もほとんど無いように思えます。しかしながらこれらの学科に通底する「理学」の精神といったものを皆さんには是非，理解してもらいたいと思います。それは，各人の自由な「知的好奇心」に基づき，自然界や数理における未解明の謎を解き明かしていくことを目指すという点です。知的好奇心こそが新たな発見・研究の原動力であり，私たちが最も大切にしているものです。この精神に基づき，北海道大学理学部では 1930 年の創立以来，数々の素晴らしい研究成果を生み出してきました。皆さんがその一員に加わってくれたこと，心より歓迎いたします。

理学の研究は一般に基礎研究と呼ばれます。実際，理学研究は最初から応用を目指すものではありませんが，かと言って全く応用と無縁という訳でもありません。理学における研究テーマは極めて多様です。従って中にはもともとは個人の知的好奇心に発する研究が，その後，応用面での大きな発展につながることもしばしばあります。本学部の卒業生で，2010 年にノーベル化学賞を受賞された鈴木章先生のクロスカップリングの研究などもその例です。応用につながるか否かに関わらず，知的好奇心から始まる全ての研究成果は，やがて知の体系に組み込まれ，人類共通の財産としてさらなる研究の発展のための礎となります。

皆さんはどのような自然現象，どのような謎に心惹かれるでしょうか。理学部ではすでに知られた自然界を支配する基礎的な法則や理論・原理を学ぶだけでなく，それぞれの知的好奇心を大切にし，自然現象に向き合い，そこに潜む法則を見抜く力を養うことを教育の目標としています。複雑な現代社会では，直面する新たな問題，予期せぬ課題に対応するための洞察力，問題解決能力が強く求められています。理学部は研究者志向の人のための学部と思われがちですが，理学部の教育は，研究職に従事するか否かに関わらず，社会に求められるこのような人材の育成に力を発揮します。現に理学部の教育を受けた卒業生の皆さんはありとあらゆる方面で活躍しています。

理学部の各学科では，さまざまな自然界や数理の問題に取り組んでいます。きっと皆さんの知的好奇心を刺激する研究分野・研究課題が見つかることでしょう。これから皆さんの理学部での日々が始まります。先ずは基礎をしっかり固め，それから知的好奇心の芽を大きく育てていってください。他の誰でもない，自分自身が世界で最初に発見することの喜びを是非，味わってほしいものだと思います。

私たち教職員は，皆さんが理学部で充実した学生生活を送ることができるよう全力でサポートします。一緒に頑張っていきましょう。

平成３１年４月

北海道大学理学部長　堀口　健雄

この便覧の利用方法

この便覧は，理学部に移行したみなさんがどのように学修を進めればよいのか，どのような点に注意したらよいのかについて，重要なことを説明しています。
知っておかなければならない内容ばかりですので，折に触れて読み返し，卒業まで大切に使用してください。

なお，全学教育科目については入学時に配付されている「総合教育部便覧」で説明されていますので，引き続きそちらをご覧ください。

また，図書館をはじめとする全学の施設，奨学金をはじめとする学生生活上の留意点については，入学時に配付されている「学生生活の案内」などに説明されていますので，そちらをご覧ください。

※　最新の情報は理学部公用掲示板に掲示しますので，こまめに確認してください。

平成31年度　理学部行事予定表

（理学部専門科目行事予定：2～4年次対象）

4月	3月上旬～4月上旬	≪教職関係≫　介護等体験受付期間（H31 年度分）
	4日(木)	2年次進級ガイダンス
	5日(金)	第1学期授業開始（春ターム開始）（理学部専門科目）
	10 日（水）午後	日本学生支援機構奨学金募集説明会（2年次以上）
	11 日(木)午前	健康診断（3年生）　午前
	12 日(金)午前	健康診断（2年生）　午前
	16 日(火)午後	健康診断（4年生）　午後
	17 日(水)～23 日(火)	履修登録期間（Web 入力）
5月	4月 27 日（土）～5月6日（月）	休祝日のため授業無し
6月	6月上旬～9月末	≪教職関係≫　教育実習参加希望者受付期間（H32 年度分）
	7日(金)～9日(日)	大学祭【7日(金) 休講】
	春ターム終了日	春ターム終了日：月 10 日，火 4日，水 5日，木 6日，金 5/31 日
	夏ターム開始日	夏ターム開始日：月 17 日，火 11 日，水 12 日，木 13 日，金 14 日
	10 日(月)～12 日(水)	第1学期履修登録した科目の取消し受付 （4学期制春ターム，夏タームは欄外参照）
7月	30 日(火)	火曜日の授業終了日
	31 日(水)	水曜日の授業終了日 （注：全学教育科目は初習外国語統一試験日で休講）
8月	8月上旬～9月下旬	授業料免除申請受理期間（後期分）
	1日(木)	木曜日の授業終了日
	2日(金)	金曜日の授業終了日
	4日(日)～5日(月)（予定）	オープンキャンパス【5日（月）は授業日】
	6日(火)	月曜日授業実施日（火曜日授業は行わない） 第1学期終了（夏ターム終了）
	7日（水）～9月 26 日（木）	夏季休業日

9月	25 日(水)	ISP 入学式
	27 日(金)	第2学期授業開始(秋ターム開始)
10月	10 月上旬～10 月下旬	≪教職関係≫ 教員免許一括申請受付期間(4年次卒業予定者対象)
	8日(火)～15 日(火)	履修登録期間(Web 入力)
11月	1日(金)	月曜日授業実施日(金曜日授業は行わない・全学教育科目も同じ)
	秋ターム終了日	秋ターム終了日:月 25 日, 火 26 日, 水 20 日, 木 21 日, 金 22 日
	冬ターム開始日	冬ターム開始日:月 12/2日, 火 12/3日, 水 27 日, 木 28 日, 金 29 日
	25 日(月)～27 日(水)	第2学期履修登録した科目の取消し受付 (4学期制秋ターム, 冬タームは欄外参照)
12月	25 日(水)～1月3日(金)	冬季休業日(全学教育科目は 25 日(水)は実施)
1月	6日(月)	授業再開
	14 日(火)	金曜日授業実施日(火曜日授業は行わない・全学教育科目も同じ)
	18 日(土)・19 日(日)	大学入試センター試験 【17 日(金) 休講】
	29 日(水)	水曜日の授業終了日(注:全学教育科目は初習外国語統一試験日で休講)
	30 日(木)	木曜日の授業終了日
	31 日(金)	金曜日の授業終了日
2月	2月上旬～3月下旬	授業料免除申請受理期間(次年度前・後期分)
	3日(月)	月曜日の授業終了日
	4日(火)	火曜日の授業終了日 第2学期終了(冬ターム終了)
	14 日(金)	本学私費外国人留学生入試【13 日(木) 試験場設営】
	25 日(火)	本学一般入試(前期日程)【24 日(月) 試験場設営】
3月	12 日(木)	本学一般入試(後期日程)【11 日(水) 試験場設営】
	25 日(水)	学位記授与式

※4学期制履修取消期間:春ターム 5/13-5/15, 夏ターム 7/8-7/10, 秋ターム 11/5-11/7, 冬ターム 1/6-1/8
※各タームの開始・終了については, 学科や科目によって上記と異なる場合があるので, 各授業の開始日及び終了日については, 授業担当者へ確認すること。

理学部・理学院・理学研究院の沿革

昭和 5 年　理学部設置。
数学科に数学第一（のち数学第二・幾何学）・数学第二（のち数学第三・解析学・函数方程式論），物理学科に物理学第一（のち物理学第二・固体物理学第二）・物理学第二（のち物理学第四・数理物理学第一），化学科に化学第一（のち物理化学）・化学第二（のち分析化学）・化学第三（のち生物化学），地質学鉱物学科に地質学鉱物学第一（のち岩石学）・地質学鉱物学第二（のち層位学），植物学科（のち生物学科）に植物学第一（のち植物生理学），動物学科（のち生物学科）に動物学第一（のち動物学第二・動物形態学）の６学科１１講座を設置。

昭和 6 年　理学部に附属臨海実験所を設置。
物理学科に物理学第一（のち固体物理学第一）・物理学第三（のち固体物理学第三），化学科に化学（のち化学第四・有機化学第一），地質学鉱物学科に地質学鉱物学第三（のち鉱床学），植物学科に植物学第二（のち植物分類学），動物学科に動物学第一（のち動物系統分類学）の各講座を増設。

昭和 7 年　数学科に数学第一（のち位相解析学），化学科に化学第五（のち無機化学），地質学鉱物学科に地質学鉱物学第四（のち鉱物学），植物学科に植物学第三（のち植物形態学）の各講座を増設。

昭和 8 年　理学部に附属海藻研究所を設置。
物理学科に物理第五（のち数理物理学第二）講座を増設。

昭和 16 年　数学科に数学第四（のち代数学）講座を増設。

昭和 20 年　地質学鉱物学科に石油地質学（のち燃料地質学）講座を増設。

昭和 24 年　植物学科と動物学科を統合し，生物学科を設置。

昭和 27 年　理学部に附属海草研究施設（現附属海藻研究施設）を設置。
化学科に有機合成化学（のち有機化学第二）講座を増設。
博物館に相当する施設として，附属臨海実験所水族館を指定。

昭和 28 年　大学院理学研究科設置。
数学・物理学・化学・地質学鉱物学・植物学・動物学の６専攻（博士課程・修士課程）を設置。理学部に地球物理学科を設置。
地球物理学科に地球物理学第一（のち陸水学）講座を設置。

昭和 29 年　地球物理学科に地球物理学第二（のち地震学及び火山学）講座を増設。

昭和 30 年　博物館に相当する施設として，厚岸博物館（現附属臨海実験所博物館）を指定。
生物学科に動物学第三（のち動物生理学），地球物理学科に地球物理学第三（のち気象学）の各講座を増設。

昭和 31 年　地球物理学科に地球物理学第四（のち応用地球物理学）講座を増設。

昭和 32 年　理学研究科に地球物理学専攻を設置。

昭和 33 年　物理学科に原子核理論講座を増設。

昭和 34 年　理学部に高分子学科を設置。高分子学第一（のち高分子固体物理学）講座を設置。

昭和 35 年　高分子学科に高分子学第二（のち高分子物理化学）・高分子学第三（のち高分子溶液物理学）講座を増設。

昭和 36 年　高分子学科に高分子学第四（のち高分子化学）講座を増設。

昭和 37 年　高分子学科に高分子学第五（のち生体高分子学）講座を増設。

昭和 38 年　理学部に化学第二学科を設置。
理学研究科に高分子学専攻を増設。

昭和 39 年　化学第二学科に量子化学・構造化学・平衡論の各講座を設置。

昭和 40 年　理学部に極低温液化センターを設置。
化学第二学科に液体化学・固体化学の各講座を増設。

昭和 41 年　理学部に附属浦河地震観測所を設置。
化学第二学科に生物有機化学・放射化学（のち錯体化学）の各講座を増設。

昭和 42 年　数学科に多様体論講座を増設。
理学研究科に化学第二専攻を設置。

昭和 43 年　数学科に函数論講座を増設。

昭和 44 年　理学部に附属動物染色体研究施設を設置。数学科に整数論，化学第二学科に反応論（のち有機反応論）の各講座を増設。

昭和 45 年　理学部に附属襟裳岬地殻変動観測所（のち附属えりも地殻変動観測所）を設置。
昭和 47 年　理学部に附属札幌地震観測所を設置。
昭和 51 年　理学部に附属地震予知観測地域センターを設置。
理学研究科に環境構造学専攻を設置。
昭和 52 年　理学部に附属有珠火山観測所を設置。
理学研究科の環境構造学専攻が廃止され，環境科学研究科へ振替。
昭和 54 年　理学部に附属海底地震観測施設を設置。
昭和 55 年　地球物理学科に海洋物理学講座を増設。
理学部創立５０周年記念式典を挙行。
昭和 56 年　理学部に高分解能核磁気共鳴装置研究室を設置。
物理学科に理論物理学講座を増設。
昭和 57 年　物理学科に実験物理学講座を増設。
昭和 58 年　附属海藻研究施設創設５０周年記念式典を挙行。
昭和 60 年　理学部にエネルギー分散・波長分散螢光X線分析研究室を設置。
化学科に環境化学講座を増設。
昭和 61 年　化学第二学科平衡論講座を遺伝生化学講座に名称変更。
昭和 62 年　数学科に応用数理講座を増設。
理学部で全学共同利用施設忍路臨海実験所を管理。
昭和 63 年　理学部に量子干渉方式広温度領域磁化測定研究室を設置。
平成元年　生物学科に細胞生物学講座を増設。
平成 3 年　地質学鉱物学科に地球変遷学講座を増設。
平成 4 年　数学科に計算数理学講座を増設。
平成 5 年　理学研究科の植物学専攻，動物学専攻及び高分子学専攻を再編成，生物科学専攻設置。
系統進化学，形態機能学，行動知能学，生体情報分子学，生体高分子解析学，生体高分子設計学の６大講座と海洋生物科学，資源海藻学の２協力講座を設置。
理学部の生物学科及び高分子学科を再編成し，生物科学科を設置。「生物学」，「高分子機能学」の２学科目を設置。
大学院地球環境科学研究科の設置に伴い，化学科環境化学講座，地質学鉱物学科地球変遷学講座の一部，生物学科及び高分子学科の一部が同研究科に移行。
学部教育組織として「化学」，「地球惑星物質科学」の学科目を設置。
地球物理学科に地球圏物質循環学講座を増設。
平成 6 年　理学研究科の物理学専攻を再編成し，新たに物理学専攻を設置。
量子物理学，電子物性物理学，凝縮系物理学，非線形物理学の４大講座と量子物性物理学（電子科学研究所），相転移物性物理学（電子科学研究所）の２協力講座を設置。
地質学鉱物学専攻と地球物理学専攻を再編成し，地球惑星科学専攻を設置。
地球惑星物質圏科学，地球惑星進化科学，地球惑星流体科学，地球惑星物理科学の４大講座と地球惑星変動学（附属地震火山研究観測センター）の協力講座を設置。
理学部の物理学科を再編成し，新たな物理学科を設置。
学科目「物理学」を設置。
地質学鉱物学科と地球物理学科を再編成し，地球科学科を設置。
学科目「地球物理学」を設置，「地球惑星物質科学」と併せて２学科目となる。
平成 7 年　理学研究科の数学専攻を再編成し，新たに数学専攻を設置。
代数構造学，空間構造学，数理解析学の３大講座と情報数理（電子科学研究所）の協力講座を設置。
化学専攻と化学第二専攻を再編成し，新たな化学専攻を設置。分子構造化学，物性解析化学，機能分子化学，生命分子化学，分子変換化学の５大講座と超分子化学（電子科学研究所），生体防御化学（免疫科学研究所）の２協力講座を設置。
５専攻全てが大学院重点化されたことにより，理学研究科が部局化される。
理学部の数学科を再編成し，新たな数学科を設置。
学科目「数学」を設置。
化学科と化学第二学科を再編成し，新たな化学科を設置。（学科目「化学」は，平成５年度設置。）
平成 8 年　附属臨海実験所水族館が博物館に相当する施設の指定を取消す。

平成 10 年　理学部附属の浦河地震観測所，えりも地殻変動観測所，札幌地震観測所，地震予知観測地域センター，有珠火山観測所及び海底地震観測施設が理学研究科附属地震火山研究観測センターとして転換。

平成 13 年　北方生物圏フィールド科学センターの設置に伴い，理学部附属の臨海実験所，海藻研究施設及び全学共同利用施設忍路臨海実験所が同センターに移行。
先端科学技術共同研究センターの整備に伴い，理学部附属の染色体研究施設が同センターに移行。

平成 14 年　化学専攻に触媒化学（触媒化学研究センター）の協力講座を設置。
理学研究科に宇宙電波望遠鏡（口径１１メートル）を設置。

平成 15 年　生物科学専攻に基礎産業生物科学講座（連携講座）を設置。
生物科学専攻に糖鎖精密化学講座（寄附講座），計算分子生命科学講座（寄附講座）及び生命分子機能学（塩野義）講座（寄附講座）を設置。

平成 17 年　大学院地球環境科学研究院の設置に伴い，生物科学専攻の海洋生物科学，資源海藻学の２協力講座を同研究院に移行。
生物科学専攻に分子細胞遺伝学講座（先端科学技術共同研究センター）の協力講座設置。
理学部創立７５周年記念式典を挙行。

平成 18 年　理学研究科を「理学研究院」と「理学院」に改組。
理学研究院に数学部門，化学部門，物理学部門，自然史科学部門，生命理学部門の５部門を設置。
理学院に数学専攻，化学専攻，量子理学専攻，宇宙理学専攻，自然史科学専攻，生命理学専攻の６専攻を設置。
理学院への改組に伴い，他部局から参加する教員も基幹講座の教員として取り扱うため協力講座を廃止。
理学部の学科目「地球惑星物質科学」と「地球物理学」を統合し，「地球科学」を設置。
理学研究科附属地震火山研究観測センターは，理学研究院附属となる。
理学研究科生物科学専攻の大学院連携講座「基礎産業生物科学」（(独)産業技術総合研究所)は，理学院生命理学専攻の大学院連携分野となる。
理学研究科生物科学専攻の糖鎖精密化学，計算分子生命科学，生命分子機能学(塩野義）の３寄附講座は，大学院先端生命科学研究院の設置に伴い，同研究院の寄附分野に移行。

平成 19 年　理学研究院に原子核反応データ研究開発センター(研究院内措置)を設置。
理学院の宇宙理学専攻に大学院連携分野「核データ」((独)日本原子力研究開発機構)を設置。
理学研究院に分子情報連携研究センター(研究院内措置)を設置。
理学研究院に宇宙観測基礎データセンター(研究院内措置)を設置。

平成 20 年　理学院化学専攻に大学院連携分野「先端機能化学」((独)物質・材料研究機構)を設置。
理学研究院に附属ゲノムダイナミクス研究センターを設置。

平成 21 年　理学院の量子理学専攻に大学院連携分野「先端機能物質物理」（(独) 物質・材料研究機構）を設置。
理学院の宇宙理学専攻に大学院連携分野「飛翔体観測」（(独) 宇宙航空研究開発機構）を設置。

平成 22 年　大学院総合化学院の設置に伴い，化学専攻は同学院に移行。
大学院生命科学院の改組に伴い，生命理学専攻は同学院に移行。
理学院量子理学専攻が物性物理学専攻に名称変更。

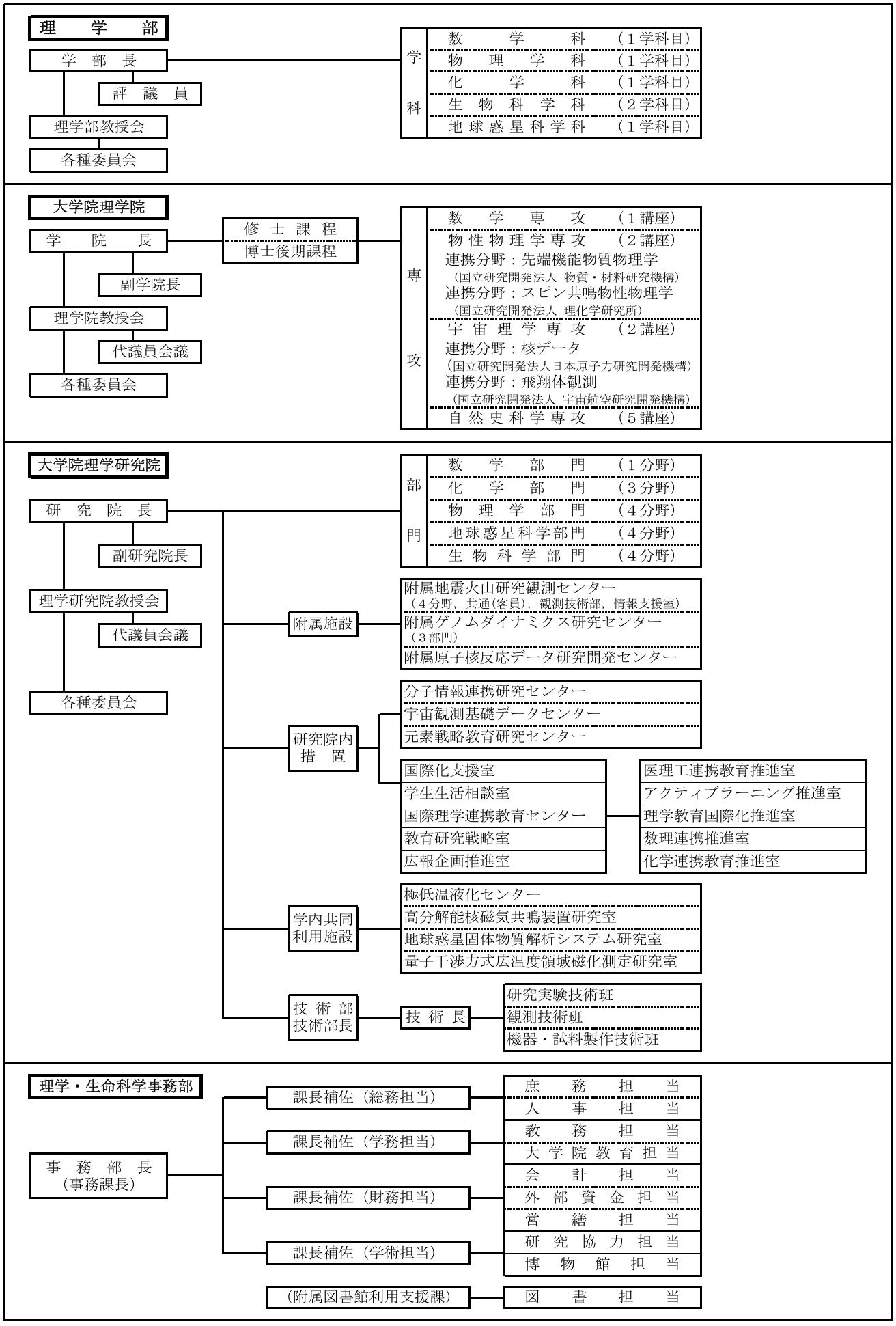
平成 23 年　理学部地球科学科が地球惑星科学科へ名称変更。
理学研究院に附属原子核反応データベース研究開発センターを設置。

平成 24 年　理学研究院に国際化支援室を設置。

平成 27 年　理学研究院自然史科学部門が地球惑星科学部門へ名称変更。
理学院の物性物理学専攻に大学院連携分野「スピン共鳴性物理学」（(独) 理化学研究所）を設置。
理学研究院にアクティブラーニング推進室を設置。
学内共同利用施設のエネルギー分散・波長分散蛍光Ｘ線分析研究室が地球惑星固体物質解析システム研究室に名称変更。

平成 28 年　理学研究院に学生生活相談室，国際理学連携教育センター，研究戦略室，広報企画推進室を設置。
国際理学連携教育センターに医理工連携教育推進室，理学教育国際化推進室を設置。
国際理学連携教育センター設置に伴い，アクティブラーニング推進室を同センターへ移行。
平成 29 年　国際理学連携教育センターに数理連携推進室を設置。
平成 31 年　地球惑星科学部門に北海道気象予測技術開発分野（北海道気象技術センター）（寄附分野）を設置。
国際理学連携教育センターに化学連携教育推進室を設置。
研究戦略室が教育研究戦略室へ名称変更。

理学部・理学院・理学研究院　組織概要



目　　次

歓　迎

便覧の利用方法

平成３１年度　理学部行事予定表

理学部・理学院・理学研究院の沿革

理学部・理学院・理学研究院　組織概要

第１部　教育課程等
１．理学部専門科目　実行教育課程表（平成３１年度２年次進級者用）･･･ 1
２．在学年限及び休学可能期間･･･12
３．卒業認定及び学位の取扱い･･･12
４．早期卒業について･･･14

第２部　学修に関する事項
１．理学部の学位授与の方針と教育課程編成・実施の方針
（１）学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）･･･15
（２）教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）･･･15
２．学修の仕組み
（１）学年及び学期･･･15
（２）授業時間帯と授業時間割･･･16
（３）授業科目の種類と単位数･･･16
３．履修の手続き
（１）授業時間割による学修計画の作成･･･17
（２）科目の履修登録について･･･17
（３）履修登録時の上限設定単位数について･･･18
（４）履修登録結果の確認と訂正等･･･20
（５）履修登録した科目の取消しについて･･･20
４．成績評価
（１）成績評価の方法と種類･･･21
（２）成績評価とＧＰＡについて･･･21
（３）成績の確認･･･22
（４）成績評価に関する申立て制度･･･22
（５）既修得単位の認定･･･22
（６）成績証明書の記載について･･･23
５．自由設計科目制度について･･･23
６．留学について（主として交換留学）･･･24
７．教育職員免許状の取得について
（１）教員免許を取得しようとする学生諸君へ･･･25
（２）理学部における教育職員免許状の取得について･･･34
８．学芸員の資格取得について･･･40
９．その他，理学部で取得可能な資格等について･･･41
１０．図書室の利用等について･･･42

１１．理学部情報端末室について……45

第３部　学生生活に必要な事項
１．公用掲示について……47
２．相談について……48
３．休学，復学及び退学の手続きについて……49
４．各種「願」と「届」及び「証明書」について……50
５．授業料及び奨学金について……51
６．健康診断と健康管理について……51
７．犯罪，不正行為（非違行為）と処分について……52
８．夜間及び休日の事故等発生について……53
９．学生教育研究災害傷害保険・学研災付帯賠償責任保険について……53
１０．Ｘ線装置，放射性同位元素等の使用について……53
１１．その他留意事項……54

付録
１．各種委員会委員等一覧……55
（１）学部長・評議員・学科長・学科委員
（２）教務委員会
（３）学生委員会
２．理学部担当教員一覧……57
３．理学部関係校舎案内
（１）配置図……65
（２）各校舎平面図……66
４．関係規程等
（１）北海道大学通則……82
（２）北海道大学理学部規程……95
（３）北海道大学における授業料未納者に係る
除籍の取扱いに関する内規……112
（４）北海道大学における休学，退学，卒業及び
修了並びに単位認定の取扱いに関する要項……114
５．関連大学院の紹介……115
６．附属教育研究施設等の紹介……117
７．欠席届（様式）……121

第　1　部

教　育　課　程　等

第１部　教育課程等

１．理学部専門科目 実行教育課程表（平成３１年度２年次進級者用）

実行教育課程表とは，卒業するための要件を示すものである。実行教育課程表は全学教育科目と理学部専門科目から成る。全学教育科目については総合教育部便覧を確認すること。理学部専門科目は各学科毎に定められているため，自学科の実行教育課程表を確認すること。

数　学　科　№.１　　北海道大学理学部

授業科目		単位	開講学期	週当配当時間数			主な対象学年	備考
				講義	演習	実験実習		
（必修科目） 数学卒業研究		16	通　年		8		4	卒業必要単位数　16単位
（選択必修科目Ａ）	（分野）							卒業必要単位数　６単位
微分積分学続論	数学	2	第１学期	2			2	［表の末尾の(注)を参照］
代数学・幾何学序論	数学	2	第１学期	2			2	
ベクトル解析	数学	2	第２学期	2			2	
現代物理学	物理学	2	第１学期	2			2	ただし，２以上の分野に わたって修得すること。
振動と波動の物理	物理学	2	第２学期	2			2	
現代天文学	物理学	2	第２学期	2			2	
基礎有機化学	化学	2	第１学期	2			2	
基礎物理化学	化学	2	第１学期	2			2	
細胞生物学概論	生物学	2	第１学期	2			2	
生物多様性概論	生物学	2	第２学期	2			2	
生物系のための有機化学	高分子機能学	2	第１学期	2			2	
生物系のための物理学	高分子機能学	2	第１学期	2			2	
現代地球惑星科学概論１	地球惑星科学	2	第１学期	2			2	
現代地球惑星科学概論２	地球惑星科学	2	第２学期	2			2	
（選択必修科目Ｂ） 基礎数学Ａ		4	第１学期	4			2	卒業必要単位数　32単位 ［表の末尾の(注)を参照］
基礎数学演習Ａ		2	第１学期		4		2	
基礎数学Ｂ		4	第２学期	4			2	
基礎数学演習Ｂ		2	第２学期		4		2	
基礎数学Ｃ		4	第１学期	4			2	
基礎数学演習Ｃ		2	第１学期		4		2	
基礎数学Ｄ		4	第２学期	4			2	
基礎数学演習Ｄ		2	第２学期		4		2	
コンピュータ		2	第２学期		4		2	
代数学基礎		4	第１学期	4			3	
代数学基礎演習		2	第１学期		4		3	
幾何学基礎		4	第１学期	4			3	
幾何学基礎講究		2	第１学期		4		3	
解析学基礎Ａ		2	第１学期	2			3	
解析学基礎演習Ａ		2	第１学期		4		3	
解析学基礎Ｂ		2	第２学期	2			3	
解析学基礎演習Ｂ		2	第２学期		4		3	
数理科学基礎		2	第１学期	2			3	
確率・統計入門		2	第２学期	2			2～4	
統計学		2	第２学期	2			3～4	
（選択科目） 代数学Ａ		2	第２学期	2			3	卒業必要単位数 26単位 ［表の末尾の(注)を参照］
代数学演習		2	第２学期		4		3	
代数学Ｂ		2	第１学期	2			4	
代数学Ｃ		2	第２学期	2			3～4	
幾何学Ａ		2	第２学期	2			3	
幾何学Ｂ		2	第２学期	2			3	
幾何学演習		2	第２学期		4		3	
幾何学Ｃ		2	第１学期	2			4	次頁の備考も参照のこと→

授　業　科　目	単位	開講学期	週当配当時間数			主な対象学年	備　　考
			講義	演習	実験実習		
解析学Ａ	2	第２学期	2			3	選択科目の単位には，左の各科目の修得単位に加えて，以下の①～⑦を含むことができる。 ①全学教育科目の卒業必要単位数を超えて修得した分 18単位以内（３年次編入学生は対象外） ②選択必修科目Ａの卒業必要単位数を超えて修得した分 10単位以内 ③選択必修科目Ｂの卒業必要単位数を超えて修得した全単位 ④他学科授業科目の修得全単位 ⑤他学部授業科目の修得全単位 ⑥国際交流科目の修得全単位 ⑦専門横断科目の修得全単位
解析学Ｂ	2	第２学期	2			3	
解析学Ｃ	2	第１学期	2			4	
解析学Ｄ	2	第１学期	2			4	
解析学Ｅ	2	第１学期	2			4	
解析学Ｆ	2	第２学期	2			3～4	
解析学Ｇ	2	第２学期	2			4	
数理科学Ａ	2	第２学期	2			3	
数理科学演習	2	第２学期		4		3	
数理科学Ｂ	2	第１学期	2			4	
数理科学講究	2	第１学期		4		4	
代数学続論	[2]	不　定	2			4	
幾何学続論	[2]	不　定	2			4	
数理解析学続論	[2]	不　定	2			4	
数学特別講義	[2]	集　中	2			4	
数学総合講義Ⅰ	[1]	不　定	1			2～4	
数学総合講義Ⅱ	[2]	不　定	2			2～4	
数学講読	[2]	不　定		4		2～3	
理学共通講義Ⅰ	[1]	不　定	1			2～4	
理学共通講義Ⅱ	[2]	不　定	2			2～4	
理学共通演習Ⅰ	[1]	不　定		1		2～4	
理学共通演習Ⅱ	[2]	不　定		2		2～4	
理学特別講義Ⅰ	[1]	不　定				2～4	
理学特別講義Ⅱ	[2]	不　定				2～4	
理学特別講義Ⅲ	[3]	不　定				2～4	
理学特別講義Ⅳ	[4]	不　定				2～4	
卒業必要単位数の合計	80						全学教育科目の卒業必要単位数：46単位 卒業必要単位数の総合計：126単位

＊ 開講学期は都合により変更することがある。

＊「単位」の欄の数字に［　］のついている授業科目は，講義題目等が異なるものであれば複数個の履修が可能な授業科目である。

（注）「教職科目」(25頁参照)の卒業に必要な単位の算入については，理学部教務担当窓口に問い合わせること。

※数学科では，全学教育科目が専門科目の卒業に必要な単位に算入されるが，「自由設計科目(23頁参照)」は卒業に必要な単位には算入されないことに注意すること。

数学科推奨科目群（物理学科開講科目）

授　業　科　目	単位	開講学期	週当配当時間数			主な対象学年	備　　考
			講義	演習	実験実習		
力学Ⅰ	2	第１学期	2			2～4	
力学Ⅱ	2	第２学期	2			2～4	
熱物理学	2	第１学期	2			2～4	
量子力学Ⅰ	2	第２学期	2			2～4	
統計力学Ⅰ	2	第２学期	2			2～4	
電磁気学Ⅰ	2	第１学期	2			2～4	

＊　開講学期は都合により変更することがある。

授業科目		単位	開講学期	週当配当時間数			主な対象学年	備考
				講義	演習	実験実習		
（必修科目）								卒業必要単位数　46単位
物理数学Ⅰ		2	第１学期	2			2	
物理数学Ⅱ		2	第２学期	2			2	
力学Ⅰ		2	第１学期	2			2	
力学Ⅱ		2	第２学期	2			2	
熱物理学		2	第１学期	2			2	
電磁気学Ⅰ		2	第１学期	2			2	
電磁気学Ⅱ		2	第１学期	2			3	
量子力学Ⅰ		2	第２学期	2			2	
量子力学Ⅱ		2	第１学期	2			3	
統計力学Ⅰ		2	第２学期	2			2	
統計力学Ⅱ		2	第１学期	2			3	
物理学実験Ⅰ		2	第１学期			4	3	
物理学実験Ⅱ		2	第１学期			4	3	
物理学実験Ⅲ		2	第２学期			4	3	
物理学実験Ⅳ		2	第２学期			4	3	
物理学外国語文献講読Ⅰ		2	第２学期		4		2	
物理学外国語文献講読Ⅱ		2	第１学期		4		3	
物理学外国語文献講読Ⅲ		2	第２学期		4		3	
物理学卒業研究Ⅰ		5	第１学期			5	4	
物理学卒業研究Ⅱ		5	第２学期			5	4	
（選択必修科目）	（分野）							卒業必要単位数　６単位
微分積分学続論	数学	2	第１学期	2			2	［表の末尾の(注)を参照］
代数学・幾何学序論	数学	2	第１学期	2			2	
ベクトル解析	数学	2	第２学期	2			2	ただし，２以上の分野にわたって修得すること。
現代物理学	物理学	2	第１学期	2			2	
振動と波動の物理	物理学	2	第２学期	2			2	
現代天文学	物理学	2	第２学期	2			2	
基礎有機化学	化学	2	第１学期	2			2	
基礎物理化学	化学	2	第１学期	2			2	
細胞生物学概論	生物学	2	第１学期	2			2	
生物多様性概論	生物学	2	第２学期	2			2	
生物系のための有機化学	高分子機能学	2	第１学期	2			2	
生物系のための物理学	高分子機能学	2	第１学期	2			2	
現代地球惑星科学概論１	地球惑星科学	2	第１学期	2			2	
現代地球惑星科学概論２	地球惑星科学	2	第２学期	2			2	
（選択科目）								卒業必要単位数　28単位
物理数学演習Ⅰ		2	第１学期		4		2	［表の末尾の(注)を参照］
物理数学演習Ⅱ		2	第２学期		4		2	
電磁気学演習Ⅰ		2	第１学期		4		2	選択科目の単位には，左の各科目の修得単位に加えて，以下の①～⑤までの合計６単位以内を含むことができる。
電磁気学演習Ⅱ		2	第１学期		4		3	
力学演習Ⅰ		2	第１学期		4		2	
力学演習Ⅱ		2	第２学期		4		2	
熱物理学演習		2	第１学期		4		2	①選択必修科目の卒業必要単位数を超えて修得した単位
量子力学演習Ⅰ		2	第２学期		4		2	②他学科授業科目の修得単位
量子力学演習Ⅱ		2	第１学期		4		3	③他学部授業科目の修得単位
統計力学演習Ⅰ		2	第２学期		4		2	④国際交流科目の修得単位
統計力学演習Ⅱ		2	第１学期		4		3	⑤専門横断科目の修得単位
相対論		2	秋ターム	4			3	
場の理論		2	冬ターム	4			3	
原子核物理学		2	秋ターム	4			3	
素粒子物理学		2	春ターム	4			4	
宇宙物理学		2	第２学期	2			3～4	
流体力学		2	第２学期	2			3～4	
物性物理学		[2]	不　定	2			3～4	
量子力学特論		[2]	不　定	2			3～4	

授　業　科　目	単位	開講学期	週当配当時間数			主な対象学年	備　　考
			講義	演習	実験実習		
凝縮系物理学特論	[2]	不　定	2			3～4	
現代物理学特論	[2]	不　定	2			3～4	
物理学実験Ａ	[2]	不　定			4	2～4	
物理学実験Ｂ	[1]	不　定			4	2～4	
物理学特別講義Ａ	[2]	(集中)	2			2～4	
物理学特別講義Ｂ	[1]	(集中)	1			2～4	
理学共通講義Ⅰ	[1]	不　定	1			2～4	
理学共通講義Ⅱ	[2]	不　定	2			2～4	
理学共通演習Ⅰ	[1]	不　定		1		2～4	
理学共通演習Ⅱ	[2]	不　定		2		2～4	
理学特別講義Ⅰ	[1]	不　定				2～4	
理学特別講義Ⅱ	[2]	不　定				2～4	
理学特別講義Ⅲ	[3]	不　定				2～4	
理学特別講義Ⅳ	[4]	不　定				2～4	
卒業必要単位数の合計	80						全学教育科目の 卒業必要単位数：46単位 卒業必要単位数の 総合計：126単位

＊ 開講学期は都合により変更することがある。
＊「単位」の欄の数字に［　］のついている授業科目は，講義題目等が異なるものであれば複数個の履修が可能な授業科目である。
（注）「教職科目」(25頁参照)の卒業に必要な単位の算入については，理学部教務担当窓口に問い合わせること。

物理学科推奨科目群（数学科開講科目）

授　業　科　目	単位	開講学期	週当配当時間数			主な対象学年	備　　考
			講義	演習	実験実習		
コンピュータ	2	第２学期		4		2～4	
数理科学基礎	2	第１学期	2			3～4	
数理科学Ａ	2	第２学期	2			3～4	
数理科学演習	2	第２学期		4		3～4	
数理科学Ｂ	2	第１学期	2			4	

＊ 開講学期は都合により変更することがある。

授　業　科　目		単位	開講学期	週当配当時間数			主な対象学年	備　　考
				講義	演習	実験実習		
（必修科目）								卒業必要単位数　48単位
物理化学Ⅰ		2	第１学期	1.5	0.5		2	
物理化学Ⅱ		2	第２学期	1.5	0.5		2	
物理化学Ⅲ		2	第２学期	1.5	0.5		2	
有機化学Ⅰ		2	第２学期	1.5	0.5		2	
有機化学Ⅱ		2	第２学期	1.5	0.5		2	
有機化学Ⅲ		2	第１学期	1.5	0.5		3	
無機化学Ⅰ		2	第１学期	1.5	0.5		2	
無機化学Ⅱ		2	第２学期	1.5	0.5		2	
分析化学Ⅰ		2	第１学期	1.5	0.5		2	
生物化学Ⅰ		2	第２学期	1.5	0.5		2	
化学実験Ⅰ		2	第２学期			4	2	
化学実験Ⅱ		1	第１学期			2	2	
化学実験Ⅲ		1	第２学期			2	2	
化学実験Ⅳ		3	秋ターム			12	3	
化学実験Ⅴ		2	第１学期			4	3	
化学実験Ⅵ		3	第１学期			6	3	
計算機実習		1	第１学期			2	2	
化学講読		1	第１学期		1		2	
化学文献講読		2	通　年		2		4	
化学研究実験		12	通　年			12	4	
（選択必修科目）	（分野）							卒業必要単位数　６単位
微分積分学続論	数学	2	第１学期	2			2	［表の末尾の（注）を参照］
代数学・幾何学序論	数学	2	第１学期	2			2	
ベクトル解析	数学	2	第２学期	2			2	
現代物理学	物理学	2	第１学期	2			2	ただし，２以上の分野に
振動と波動の物理	物理学	2	第２学期	2			2	わたって修得すること。
現代天文学	物理学	2	第２学期	2			2	
基礎有機化学	化学	2	第１学期	2			2	
基礎物理化学	化学	2	第１学期	2			2	
細胞生物学概論	生物学	2	第１学期	2			2	
生物多様性概論	生物学	2	第２学期	2			2	
生物系のための有機化学	高分子機能学	2	第１学期	2			2	
生物系のための物理学	高分子機能学	2	第１学期	2			2	
現代地球惑星科学概論１	地球惑星科学	2	第１学期	2			2	
現代地球惑星科学概論２	地球惑星科学	2	第２学期	2			2	
（選択科目）								卒業必要単位数　26単位
無機化学Ⅲ		2	第１学期	2			3	［表の末尾の（注）を参照］
基礎磁気化学		2	第２学期	2			3	
錯体化学		2	第２学期	2			3	選択科目の単位には，左の各
分析化学Ⅱ		2	第１学期	2			2	科目の修得単位に加えて，以下
有機合成化学		2	第１学期	2			3	の①～④までの合計４単位以内
有機金属化学		2	第２学期	2			3	を含むことができる。
有機反応化学		2	第２学期	2			3	①他学科授業科目の修得単位
有機機器分析		2	第２学期	2			2,3	②他学部授業科目の修得単位
化学のための数学		2	第１学期	2			2	③国際交流科目の修得単位
物理学通論		2	第１学期	2			2,3	④専門横断科目の修得単位
量子化学Ⅰ		2	第１学期	2			3	
量子化学Ⅱ		2	第２学期	2			3	
電気化学		2	第１学期	2			3	
固体化学		2	第２学期	2			3	
物質電子論		2	第２学期	2			3	
分子分光学		2	第２学期	2			3	
熱・統計力学Ⅰ		2	第２学期	2			3	
熱・統計力学Ⅱ		2	第１学期	2			4	

授　業　科　目	単位	開講学期	週当配当時間数			主な対象学年	備　　考
			講義	演習	実験実習		
生物化学Ⅱ	2	第１学期	2			3	
情報生化学	2	第１学期	2			3	
機能生化学	2	第２学期	2			3	
遺伝生化学	2	第１学期	2			4	
分子生理学	2	第１学期	2			4	
触媒化学	2	第１学期	2			4	
ナノ物性化学	2	第１学期	2			4	
化学特別講義Ⅰ	[2]	(集中)	2			2～4	
化学特別講義Ⅱ	[1]	(集中)	1			2～4	
理学共通講義Ⅰ	[1]	不　定	1			2～4	
理学共通講義Ⅱ	[2]	不　定	2			2～4	
理学共通演習Ⅰ	[1]	不　定		1		2～4	
理学共通演習Ⅱ	[2]	不　定		2		2～4	
理学特別講義Ⅰ	[1]	不　定				2～4	
理学特別講義Ⅱ	[2]	不　定				2～4	
理学特別講義Ⅲ	[3]	不　定				2～4	
理学特別講義Ⅳ	[4]	不　定				2～4	
卒業必要単位数の合計	80						全学教育科目の 卒業必要単位数：46単位 卒業必要単位数の 総合計：126単位

＊ 開講学期は都合により変更することがある。

＊「単位」の欄の数字に［　］のついている授業科目は，講義題目等が異なるものであれば複数個の履修が可能な授業科目である。

（注）「教職科目」(25頁参照)の卒業に必要な単位の算入については，理学部教務担当窓口に問い合わせること。

授業科目		単位	開講学期	週当配当時間数			主な対象学年	備考
				講義	演習	実習		
（選択必修科目Ａ）	（分野）							卒業必要単位数　６単位
微分積分学続論	数学	2	第１学期	2			2	［表の末尾の(注)を参照］
代数学・幾何学序論	数学	2	第１学期	2			2	
ベクトル解析	数学	2	第２学期	2			2	
現代物理学	物理学	2	第１学期	2			2	ただし，２以上の分野に
振動と波動の物理	物理学	2	第２学期	2			2	わたって修得すること。
現代天文学	物理学	2	第２学期	2			2	
基礎有機化学	化学	2	第１学期	2			2	
基礎物理化学	化学	2	第１学期	2			2	
細胞生物学概論	生物学	2	第１学期	2			2	
生物多様性概論	生物学	2	第２学期	2			2	
生物系のための有機化学	高分子機能学	2	第１学期	2			2	
生物系のための物理学	高分子機能学	2	第１学期	2			2	
現代地球惑星科学概論１	地球惑星科学	2	第１学期	2			2	
現代地球惑星科学概論２	地球惑星科学	2	第２学期	2			2	
（選択必修科目Ｂ）								卒業必要単位数
生物科学研究実習		6	通　年			6	4	６単位又は２単位
生物科学文献講読		2	通　年		2		4	［表の末尾の(注)を参照］
（選択必修科目Ｃ）								卒業必要単位数　18単位
多様性生物学Ⅰ		2	第１学期	2			2	［表の末尾の(注)を参照］
多様性生物学Ⅱ		2	第２学期	2			2	
多様性生物学Ⅲ		2	第２学期	2			2	
細胞生物学Ⅰ		2	第１学期	2			2	
細胞生物学Ⅱ		2	第１学期	2			2	
細胞生物学Ⅲ		2	第２学期	2			2	
機能生物学Ⅰ		2	第１学期	2			2	
機能生物学Ⅱ		2	第２学期	2			2	
機能生物学Ⅲ		2	第２学期	2			2	
科学論文演習		2	第１学期		4		2	
（選択必修科目Ｄ）								卒業必要単位数　６単位
基礎生物学実習		3	第１学期			8	2	［表の末尾の(注)を参照］
基礎生化学実習		3	第２学期			6	2	
基礎形態学実習		3	第２学期			6	2	
（選択必修科目Ｅ）								卒業必要単位数　４単位
植物系統分類学実習		2	第１学期			6	3	［表の末尾の(注)を参照］
動物系統分類学実習		2	第１学期			6	3	
生態学実習		2	第１学期			6	3	
遺伝学実習		2	第１学期			6	3	
研究林実習		2	（集中）			6	3	
（選択必修科目Ｆ）								卒業必要単位数　４単位
形態機能学実習		2	第２学期			6	3	［表の末尾の(注)を参照］
環境生物学実習		2	第２学期			6	3	
行動神経生物学実習		2	第２学期			6	3	
発生学実習		2	第２学期			6	3	
（選択科目）								卒業必要単位数
系統分類学Ⅰ		2	第１学期	2			3	選択必修科目Ｂの６単位
系統分類学Ⅱ		2	第２学期	2			3	を選択した場合　36単位
形態機能学Ⅰ		2	第１学期	2			3	
形態機能学Ⅱ		2	第２学期	2			3	選択必修科目Ｂの２単位
行動神経生物学Ⅰ		2	第１学期	2			3	を選択した場合　40単位
行動神経生物学Ⅱ		2	第２学期	2			3	
生殖発生生物学Ⅰ		2	第１学期	2			3	［表の末尾の(注)を参照］
生殖発生生物学Ⅱ		2	第２学期	2			3	
環境生物学Ⅰ		2	第１学期	2			3	
環境生物学Ⅱ		2	第２学期	2			3	
分子遺伝学		2	第１学期	2			3	
系統進化学		2	第１学期	2			3	次頁の備考も参照のこと→

授業科目	単位	開講学期	週当配当時間数 講義	演習	実習	主な対象学年	備考
脳と行動の進化	2	第１学期	2			3	選択科目の単位には，左の各科目の修得単位に加えて，以下の①～③を含むことができる。 ①選択必修科目Ａの卒業必要単位数を超えて修得した分４単位以内 ②選択必修科目Ｃ，Ｄ，Ｅ，Ｆの卒業必要単位数を超えて修得した全単位 ③以下のものから合計14単位以内 ・他学科授業科目の修得単位 ・他学部授業科目の修得単位 ・国際交流科目の修得単位 ・専門横断科目の修得単位
環境分子生物学	2	第１学期	2			3	
生物統計学	1	（集中）	1			4	
生物科学技術基礎論	1	（集中）	1			4	
臨海実習Ⅰ	1	（集中）			2	3	
臨海実習Ⅱ	1	（集中）			2	3	
海洋生態学実習	1	（集中）			2	3	
海藻学実習	1	（集中）			2	3	
生物学特別実習Ⅰ	[1]	不　定			2	2～4	
生物学特別実習Ⅱ	[2]	不　定			4	2～4	
生物学特別講義Ⅰ	[1]	（集中）	1			3～4	
生物学特別講義Ⅱ	[1]	（集中）	1			3～4	
生物学特別講義Ⅲ	[1]	（集中）	1			3～4	
生物学特別講義Ⅳ	[1]	（集中）	1			3～4	
生物学特別講義Ⅴ	[1]	（集中）	1			3～4	
生物学特別講義Ⅵ	[2]	（集中）	2			2～4	
理学共通講義Ⅰ	[1]	不　定	1			2～4	
理学共通講義Ⅱ	[2]	不　定	2			2～4	
理学共通演習Ⅰ	[1]	不　定		1		2～4	
理学共通演習Ⅱ	[2]	不　定		2		2～4	
理学特別講義Ⅰ	[1]	不　定				2～4	
理学特別講義Ⅱ	[2]	不　定				2～4	
理学特別講義Ⅲ	[3]	不　定				2～4	
理学特別講義Ⅳ	[4]	不　定				2～4	
卒業必要単位数の合計	80						全学教育科目の卒業必要単位数：46単位 卒業必要単位数の総合計：126単位

＊ 開講学期は都合により変更することがある。

＊「単位」の欄の数字に［　］のついている授業科目は，講義題目等が異なるものであれば複数個の履修が可能な授業科目である。

（注）「教職科目」(25頁参照)の卒業に必要な単位の算入については，理学部教務担当窓口に問い合わせること。

授業科目		単位	開講学期	週当配当時間数 講義	演習	実験実習	主な対象学年	備考
（必修科目）								卒業必要単位数　30単位
高分子機能学基礎実験		2	第１学期			4	2	
生体高分子学実験Ⅰ		4	第２学期			8	2	
生体高分子学実験Ⅱ		4	第１学期			8	3	
生体高分子学実験Ⅲ		4	第２学期			8	3	
高分子機能学文献講読		4	通　年		4		4	
高分子機能学卒業研究		12	通　年			12	4	
（選択必修科目）	（分野）							卒業必要単位数　６単位
微分積分学続論	数学	2	第１学期	2			2	［表の末尾の(注)を参照］
代数学・幾何学序論	数学	2	第１学期	2			2	
ベクトル解析	数学	2	第２学期	2			2	
現代物理学	物理学	2	第１学期	2			2	ただし，２以上の分野にわたって修得すること。
振動と波動の物理	物理学	2	第２学期	2			2	
現代天文学	物理学	2	第２学期	2			2	
基礎有機化学	化学	2	第１学期	2			2	
基礎物理化学	化学	2	第１学期	2			2	
細胞生物学概論	生物学	2	第１学期	2			2	
生物多様性概論	生物学	2	第２学期	2			2	
生物系のための有機化学	高分子機能学	2	第１学期	2			2	
生物系のための物理学	高分子機能学	2	第１学期	2			2	
現代地球惑星科学概論１	地球惑星科学	2	第１学期	2			2	
現代地球惑星科学概論２	地球惑星科学	2	第２学期	2			2	
（選択科目）								卒業必要単位数　44単位
分子生物学概論		2	春ターム	4			2	［表の末尾の(注)を参照］
生物系の熱力学		2	春ターム	4			2	
生物系の溶液論		2	夏ターム	4			2	選択科目の単位には，左の各科目の修得単位に加えて，以下の①，②を含むことができる。
生物系の反応速度論		2	夏ターム	4			2	
生物系の電解質論		2	秋ターム	4			2	
生物系の量子力学		2	冬ターム	4			2	
生物系の分光学		2	春ターム	4			3	①選択必修科目の卒業必要単位数を超えて修得した分　４単位以内
生物系の物質輸送論		2	夏ターム	4			3	
生物系の統計力学		2	春ターム	4			3	②以下のものから合計６単位以内
生体高分子物性論		2	秋ターム	4			3	
生命有機化学		2	冬ターム	4			2	・他学科授業科目の修得単位
基礎高分子合成化学		2	春ターム	4			3	・他学部授業科目の修得単位
応用生物有機化学		2	秋ターム	4			3	・国際交流科目の修得単位
分子遺伝科学Ⅰ		2	秋ターム	4			2	・専門横断科目の修得単位
分子遺伝科学Ⅱ		2	春ターム	4			3	
実験生物科学		2	第１学期	2			2	
細胞構造科学Ⅰ		2	冬ターム	4			2	
細胞構造科学Ⅱ		2	夏ターム	4			3	
細胞構造科学Ⅲ		2	夏ターム	4			3	
細胞情報科学Ⅰ		2	秋ターム	4			3	
細胞情報科学Ⅱ		2	秋ターム	4			3	
生物系の分析化学		2	冬ターム	4			2	
生物系のＸ線結晶学		2	秋ターム	4			2	
生命情報科学演習		2	春ターム		8		3	
有機化学演習		2	夏ターム		8		3	
レオロジー		2	秋ターム	2			3	
科学英語講読		2	（集中）		4		3	
基礎化学英語		2	秋ターム		8		2	
高分子機能学特別講義		［1］	（集中）	1			4	
理学共通講義Ⅰ		［1］	不　定	1			2～4	
理学共通講義Ⅱ		［2］	不　定	2			2～4	
理学共通演習Ⅰ		［1］	不　定		1		2～4	
理学共通演習Ⅱ		［2］	不　定		2		2～4	
理学特別講義Ⅰ		［1］	不　定				2～4	
理学特別講義Ⅱ		［2］	不　定				2～4	
理学特別講義Ⅲ		［3］	不　定				2～4	
理学特別講義Ⅳ		［4］	不　定				2～4	
卒業必要単位数の合計		80						全学教育科目の卒業必要単位数：46単位 卒業必要単位数の総合計：126単位

＊ 開講学期は都合により変更することがある。

＊「単位」の欄の数字に［　］のついている授業科目は，講義題目等が異なるものであれば複数個の履修が可能な授業科目である。

（注）「教職科目」(25頁参照)の卒業に必要な単位の算入については，理学部教務担当窓口に問い合わせること。

授業科目		単位	開講学期	週当配当時間数			主な対象学年	備考
				講義	演習	実験実習		
(必修科目)								卒業必要単位数　17単位
地球惑星科学セミナー		1	第１学期		2		2	
地球惑星科学文献講読		4	通　年		4		4	
地球惑星科学研究		12	通　年			12	4	
(選択必修科目Ａ)	(分野)							卒業必要単位数　６単位
微分積分学続論	数学	2	第１学期	2			2	[表の末尾の(**注**)を参照]
代数学・幾何学序論	数学	2	第１学期	2			2	
ベクトル解析	数学	2	第２学期	2			2	
現代物理学	物理学	2	第１学期	2			2	ただし，２以上の分野に
振動と波動の物理	物理学	2	第２学期	2			2	わたって修得すること。
現代天文学	物理学	2	第２学期	2			2	
基礎有機化学	化学	2	第１学期	2			2	
基礎物理化学	化学	2	第１学期	2			2	
細胞生物学概論	生物学	2	第１学期	2			2	
生物多様性概論	生物学	2	第２学期	2			2	
生物系のための有機化学	高分子機能学	2	第１学期	2			2	
生物系のための物理学	高分子機能学	2	第１学期	2			2	
現代地球惑星科学概論１	地球惑星科学	2	第１学期	2			2	
現代地球惑星科学概論２	地球惑星科学	2	第２学期	2			2	
(選択必修科目Ｂ)								卒業必要単位数　８単位
地球惑星科学のための物理数学Ⅰ		2	第１学期	2			2	[表の末尾の(**注**)を参照]
地球惑星科学のための物理数学Ⅰ演習		1	第１学期		2		2	
地球惑星科学のための古典力学		2	第１学期	2			2	
地球惑星科学のための古典力学演習		1	第１学期		2		2	
地球惑星基礎化学		2	第１学期	2			2	
堆積学		2	第１学期	2			2	
鉱物学		2	第１学期	2			2	
地球惑星物質科学実習		3	第１学期		6		2	
情報実習		2	第１学期			4	2～4	
(選択必修科目Ｃ)								卒業必要単位数　10単位
地球惑星科学のための物理数学Ⅱ		2	第２学期	2			2	[表の末尾の(**注**)を参照]
地球惑星科学のための物理数学Ⅱ演習		1	第２学期		2		2	
地球惑星科学のための電磁気学		2	第２学期	2			2	
地球連続体力学		2	第２学期	2			2	
データ解析学		2	第２学期	2			2	
惑星学		2	第２学期	2			2	
マグマ科学		2	第２学期	2			2	
岩石変形学		2	第２学期	2			2	
地球史		2	第２学期	2			2	
量子力学Ⅰ		2	第２学期	2			2	
統計力学Ⅰ		2	第２学期	2			2	
地球惑星科学実験Ⅰ		2	第２学期			4	2	
(選択必修科目Ｄ)								卒業必要単位数　10単位
惑星大気構造学		2	第１学期	2			3	[表の末尾の(**注**)を参照]
海洋地質学		2	第１学期	2			3	
地球化学		2	第１学期	2			3	
火山学		2	第１学期	2			3	
地震学		2	第１学期	2			3	
変動帯岩石科学		2	第１学期	2			3	
地球内部物理学		2	第１学期	2			3	
気象学		2	第１学期	2			3	
地球惑星科学実験Ⅱ		2	第１学期			4	3	
地球計測実習		2	第１学期			4	3～4	
地質学実習		4	第１学期			8	3	

授業科目	単位	開講学期	週当配当時間数			主な対象学年	備考
			講義	演習	実験実習		
（選択科目）							卒業必要単位数　29単位
地球惑星電磁気学	2	第２学期	2			3	［表の末尾の(注)を参照］
陸水循環物理学	2	不　定	2			3	
鉱物物理化学	2	第２学期	2			3	選択科目の単位には，左の各科目の修得単位に加えて，以下の①～④を含むことができる。
地球環境学	2	第２学期	2			3	
古生物学	2	第２学期	2			3	
有機地球化学	2	不　定	2			3	①選択必修科目Ａの卒業必要単位数を超えて修得した分６単位以内
海洋気候物理学	2	第２学期	2			3	
流体力学	2	第２学期	2			3～4	②選択必修科目Ｂ，Ｃ，Ｄの卒業必要単位数を超えて修得した全単位
地球資源科学	2	不　定	2			3	
宇宙測地学	2	第２学期	2			3	③他学科授業科目の修得全単位
宇宙物理学	2	第２学期	2			3	④以下のものから合計８単位以内
地球惑星科学実験Ⅲ	2	第２学期			4	3	・他学部授業科目の修得単位
地球惑星科学実験Ⅳ	2	第２学期			4	3	・国際交流科目の修得単位
野外巡検	2	（集中）			4	3	・専門横断科目の修得単位
地球惑星流体力学Ⅰ	1	春ターム	2			4	
地球惑星流体力学Ⅱ	1	夏ターム	2			4	
相対論	2	第２学期	2			4	
地球惑星科学特別講義	［1］	（集中）	1			2～4	
理学共通講義Ⅰ	［1］	不　定	1			2～4	
理学共通講義Ⅱ	［2］	不　定	2			2～4	
理学共通演習Ⅰ	［1］	不　定		1		2～4	
理学共通演習Ⅱ	［2］	不　定		2		2～4	
理学特別講義Ⅰ	［1］	不　定				2～4	
理学特別講義Ⅱ	［2］	不　定				2～4	
理学特別講義Ⅲ	［3］	不　定				2～4	
理学特別講義Ⅳ	［4］	不　定				2～4	
卒業必要単位数の合計	80						全学教育科目の卒業必要単位数：46単位 卒業必要単位数の総合計：126単位

＊ 開講学期は都合により変更することがある。

＊「単位」の欄の数字に［　］のついている授業科目は，講義題目等が異なるものであれば複数個の履修が可能な授業科目である。

（注）「教職科目」(25頁参照)の卒業に必要な単位の算入については，理学部教務担当窓口に問い合わせること。

２．在学年限 及び 休学可能期間

（１）在学年限

１）進級又は卒業の要件を満たさないまま在学できる最長の年数を「在学年限」という。
　在学年限に対し，卒業するために在学しなければならない最短の年数を「修業年限」という。
　ただし，休学期間及び停学期間は，在学年数に算入しない。

２）北海道大学の「修業年限」は総合教育部在学時も含めた４年であり，理学部における「在学年限」については，次のとおり定められている。
　「本学部においては，第２年次進級以降に６年を超えて在学することはできない。」
　２年次進級後，６年間在学して卒業できない場合は，除籍となる。なお，在学年限内に自主退学することはできる。

※ 退学手続きは，「第３部３．休学，復学及び退学の手続きについて」を参照のこと。

（２）休学可能期間

理学部の「休学可能期間」については，次のとおり定められている。
「本学部においては，第２年次進級以降に３年を超えて休学することはできない。ただし，通算して４年（第１年次において休学した期間を含む。）を超えて休学することはできない。」

※ 休学手続きは，「第３部３．休学，復学及び退学の手続きについて」を参照のこと。

３．卒業認定及び学位の取扱い

（１）本学部において，所定の授業科目を履修し，所定の単位を修得した者で，かつ，学科ごとに定める卒業に必要な基準を満たした者について，総長が卒業を認定する。

【卒業要件】

１．卒業に必要な単位を修得していること。

①全学教育科目　本学部では卒業に必要な全学教育科目の単位数を４６単位と定めている。
ただし，必修科目及び選択必修科目等の定めがあるので，「総合教育部便覧」を参照すること。

②理学部専門科目　卒業要件は学科によって異なるが，全学教育科目と理学部専門科目との必要単位数の合計は１２６単位とされている。ただし，学科により必修科目及び選択必修科目等の定めがあるので，「第１部１．理学部専門科目 実行教育課程表」を参照すること。

２．学科ごとに以下のとおり定める卒業に必要な基準を満たしていること。

	卒業時の通算ＧＰＡ	左記基準に満たない場合の基準
数　学　科	２．０以上	卒業時における通算ＧＰＡの対象科目となる科目のＧＰの総和が卒業に必要な単位数の 2.2 倍以上であること
物 理 学 科	２．０以上	なし
化　学　科	２．０以上	なし
生 物 科 学 科 ［生物学専修分野］	２．０以上	なし
生 物 科 学 科 ［高分子機能学専修分野］	２．０以上	なし
地球惑星科学科	２．０以上	卒業時における通算ＧＰＡの対象科目となる科目のＧＰの総和が 260 以上であること

（２）総長が卒業を認定した者について，学士（理学）の学位を授与する。

４．早期卒業について

本学部では，「早期卒業」の制度があり，物理学科２年次に進級後，２年６ヶ月（通算３年６ヶ月）以上在学し，卒業に必要な単位を優秀な成績で修得したと認められ，かつ，学科ごとに定める卒業に必要な基準を満たした場合は，４年次第１学期末で卒業することができる。ただし，転部・転学科及び編入学した者は，早期卒業の対象にはならない。

申請時期，要件等の概要については以下のとおりである。

なお，詳細については理学部教務担当及び学科に確認すること。

【対象学科】物理学科（物理学科以外の学科には同制度は適用されない）

【申　　請】申請時期：第３年次第１学期の所定期間（別途指示）

早期卒業候補者としての認定要件：

１．全学教育科目に係る卒業に必要な単位を修得していること。

２．１以外に卒業に必要な８０単位のうち，５６単位以上を修得していること。

３．１及び２に規定した単位の通算ＧＰＡが３．５０以上であること。

４．所属学科において早期卒業の候補者として相応しいと判断された者。

【卒　　業】卒業時期：第４年次第１学期末

卒業要件：１．卒業に必要な単位を修得していること。

２．通算ＧＰＡが３．５０以上であること。

第　２　部

学修に関する事項

第２部　学修に関する事項

ここに記載する内容は，理学部専門科目に関することである。全学教育科目を履修する場合には，総合教育部便覧を確認すること。

１．理学部の学位授与の方針と教育課程編成・実施の方針

（１）学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

理学部では，本学の４つの基本理念（フロンティア精神，国際性の涵養，全人教育，実学の重視）の下，自然科学全般にわたる基礎的な知識及び技術を教授することにより，大学院における修学及び研究に必要な観察力及び創造性を有し，並びに社会に貢献するために必要な自然科学に関する基礎的素養を有する人材を育成することを教育目標としています。

理学部では，この目標とする人材像に求められる具体的な能力（学位授与水準）を学科毎に定め，当該能力を身につけ，かつ所定の基準を満たした学生に学士の学位を授与します。

（２）教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

理学部では，学位授与の方針に掲げた教育目標を達成するため，「数学科」，「物理学科」，「化学科」，「生物科学科」，「地球惑星科学科」の５学科を設置し，このうち生物科学科には履修上の区分として「生物学専修分野」と「高分子機能学専修分野」の２専修分野を設置しています。

これらの学科では，専攻分野によらない共通の素養を身につけるための「全学教育科目」及び広い視野を養いながら専門性を高めるために体系的に配置された「学部専門科目」をもって，４年間の学士課程における教育課程を編成します。

本学部の学部専門科目については，学科毎に教育課程編成・実施の方針を定め，それぞれ育成する人材像に沿ったカリキュラムを編成し，実施します。

理学部では各学科においてもディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーを定めておりますので，詳細は北海道大学理学部ＨＰ（http://www.sci.hokudai.ac.jp/about/3policies.html）をご覧ください。

２．学修の仕組み

（１）学年及び学期

１）学年は，４月１日に始まり，翌年３月３１日に終わる。

２）学年を分けて次の２学期とする。

第１学期　　４月１日　～　９月３０日

第２学期　　１０月１日～翌年３月３１日

※ ただし，授業回数確保のために，変則的に第２学期の開始が９月中になることがあるので，年間の予定表を掲示によりあらかじめ確認すること。

３）各学期を分割した授業実施期間の呼称

各学期を分割した授業実施期間の呼称は次のとおりとする。

※１タームは８週である。

第１学期前半：春ターム
第１学期後半：夏ターム
第２学期前半：秋ターム
第２学期後半：冬ターム

（２）授業時間帯と授業時間割

授業時間は，次のとおりである。

１講時	２講時	３講時	４講時	５講時
8:45～ 10:15	１０：３０～ １２：００	１３：００～ １４：３０	１４：４５～ １６：１５	１６：３０～ １８：００

※ 授業時間割は，各学期のはじめに配付するほか，掲示にて周知する。

※ 授業時間割は，公表後に変更することがある。変更はすべて掲示で知らせる。

※ 通常の授業以外に，期間を限定して，集中して行われる授業もある。その授業の時間割は，別に掲示で知らせる。

（３）授業科目の種類と単位数

１）授業科目の種類

① 授業科目は，必修科目，選択必修科目又は選択科目に区分して開設されており，卒業の要件等は，それぞれの区分ごとに定められている。

ａ．必修科目は，指定された開講期において，必ず修得を要する科目を示す。

ｂ．選択必修科目は，指定された開講期において，指定されたいくつかの科目の中から各人が選択し，それを必修科目として取扱う科目を示す。

ｃ．選択科目は，指定された，いくつかの科目の中から各人が選択する科目を示す。

※ 卒業の要件等の詳細については，「第１部１．理学部専門科目 実行教育課程表」を参照すること。

なお，他学科又は他学部の授業科目についても，一定の条件の範囲内で，卒業に要する単位の一部として認めることがある。ただし，他学部科目のうち「教職に関する科目」は卒業要件に含まれない。詳細は，「第１部１．理学部専門科目 実行教育課程表」及び「第２部７．教育職員免許状の取得について」を参照すること。

② 各授業科目の主な対象学年及び開講学期は，「第１部１．理学部専門科目 実行教育課程表」において定められているので，参照すること。

２）授業科目の単位数

① 各授業科目の単位数は，「第１部１．理学部専門科目 実行教育課程表」に示されている。

② 単位数は，次のように計算される。

ａ．講義科目･･･１５時間の授業をもって１単位

ｂ．演習科目･･･１５時間又は３０時間の授業をもって１単位

ｃ．実験及び実習科目･･･３０時間又は４５時間の授業をもって１単位

※ 授業科目ごとの週当たり配当時間数は，学科毎の実行教育課程表に示されている。

なお，単位は，所定の履修をして試験等に合格した者に対して与えられるものであり，教室内における授業だけでなく，予習・復習等を含んで１単位当たり４５時間の学修が必要とされている。

３．履修の手続き

（１）授業時間割による学修計画の作成

１）学期ごとに自分の計画表を作成する。
２）履修登録ができる単位数等については「（３）履修登録時の上限設定単位数について」を必ず参照すること。
３）「実行教育課程表」をよく読んで，必修科目を優先して履修する。
４）空いた時間に選択科目を履修する。
５）卒業要件等に留意して，計画的に学修する。
６）登録した科目の取消しについては，「（５）履修登録した科目の取消しについて」を参照すること。
７）同一時間帯に別の科目を選択した場合，両方の科目の履修が無効となる。
８）既に単位を修得した科目（同一科目名，同一授業内容）は，それ以後履修することはできない。

※　その他，学修計画の作成にあたっての注意事項
①集中講義については，開講時期等の理由で，成績評価が翌学期の公開となる講義があるので，注意すること。
②特定の学期に学修の負担が偏らないように，学期毎に，均衡のとれた計画を立てること。
③理解できない点があれば安易に決断せず，各学科教務委員，授業科目担当教員または理学部教務担当窓口で相談すること。
④理学部専門科目の一部については，それぞれの授業に講義題目が付けられている。これらの授業のうち，同一の授業科目で講義題目が同じ場合には，重複して履修することはできない。
⑤その他，学科毎の注意点・要点等については，学科（専修分野）ごとに実施されるガイダンスにおいて詳しく説明する。

（２）科目の履修登録について

Ｗｅｂ履修登録システムにより，オンライン入力で所定の期間内に各自で登録する。日時等の詳細については，掲示等で周知する。

また，登録方法に関しては入学時に配付している「Ｗｅｂ履修登録システム操作マニュアル」を参照すること。

（３）履修登録時の上限設定単位数について

授業時間外の学習時間の確保など，学生の主体的な学習を促し，十分な学修時間を確保する工夫によって，単位の実質化を図ること等を主な目的として，履修登録にあたり，学期ごと・学科ごとに以下のとおり履修登録単位数に上限を設けている。

１）履修登録単位数の１学期あたりの上限単位

	２年次		３年次		４年次	
	１学期	２学期	１学期	２学期	１学期	２学期
数　学　科	２０	２０	２０	２５	２５	２５
物　理　学　科	２５	２５	２５	２５	２５	２５
化　学　科	２２	２２	２２	２２	２２	２２
生物科学科 ［生物学専修分野］	２５	２５	２５	２５	２５	２５
生物科学科 ［高分子機能学専修分野］	２５	２５	２５	２５	２５	２５
地球惑星科学科	２５	２５	２５	２５	２５	２５
特例措置（成績特例）	6					
特例措置（留学特例）						
自由設計科目単位数	自由設計科目は適用しない					

なお，以下の①～⑥に該当する科目は，先の表の上限単位に含まれない。

①時間割上で「集中」扱いとなっている科目
②教職科目
　ここでいう教職科目とは，教育職員免許状取得のための「教職に関する科目」を指し，卒業に必要な単位数に参入できない科目である。
③再履修科目
　ａ．理学部専門科目に係る必修科目及び選択必修科目の再履修
　ｂ．２年次以降における全学教育科目の再履修（上限４単位）
　　（全学教育科目の再履修については別途手続きが必要になるため，「総合教育部便覧」を参照すること。）
④本学あるいは本学以外の大学等（短期大学，高等専門学校を含む。）において，本学入学（編入学）以前に修得し，その後本学部において既修得単位として認定された科目
⑤本学在学中に留学先の大学等で修得し，その後本学部において単位認定された科目
⑥英語単位優秀認定制度により認定された科目

※　国際交流科目，専門横断科目及び他学部・他学科授業科目を履修登録した場合，本学部では上限設定単位数に含まれる。

２）特例措置について

特例措置とは，次の要件を満たす者に対して，特例として履修登録の上限設定単位数を超えて６単位まで追加の履修登録をすることができる制度である。

なお，成績優秀特例が適用される学生に対し，同じ学期に留学特例措置を適用することは認められない。

① 成績優秀特例

「直前学期のＧＰＡ算入単位が１１単位以上の者」かつ「直前の学期ＧＰＡが３．５０以上の者」

② 留学特例

大学間交流協定，または部局間交流協定に基づく交換留学を予定する者。留学する学生について，成績優秀者と同等とみなし，各学科以下のとおり上限設定単位数を超えて追加の履修登録ができる。

・留学特例措置について

	特例措置（留学特例）	
	適用時期及び学期数	特例措置を適用する回数
数　学　科	適用時期：問わない 適用学期数：留学する学期数と同じ学期数	制限あり （※１）
物 理 学 科	適用時期：問わない 適用学期数：留学する学期数の２倍	特に制限は設けない
化　学　科	適用時期：留学後 適用学期数：留学する学期数の２倍	特に制限は設けない
生物科学科 ［生物学専修分野］	適用時期：留学後 適用学期数：留学する学期数と同じ学期数	特に制限は設けない
生物科学科 ［高分子機能学専修分野］	適用時期：問わない 適用学期数：留学する学期数と同じ学期数 （※２）	特に制限は設けない
地球惑星科学科	適用時期：問わない 適用学期数：留学する学期数と同じ学期数 （※３）	２学期分の適用を上限とする

※１　数学科において留学特例措置を適用する留学の回数は，半年間の留学の場合は２回まで，１年間の留学の場合は１回までである。

※２　半年未満の留学の場合は，当該学期と前後１学期分。

※３　半年間の留学の場合は１学期分，１年間の留学の場合は２学期分を適用学期として認める。

（４）履修登録結果の確認と訂正等

１）履修登録結果の確認と訂正

①　授業科目が正確に登録されているかを確認するため，登録締め切り後に，Ｗｅｂ履修登録システム上で登録された科目が，自分の履修計画と一致しているかを再度確認する期間を設ける。確認の結果，訂正が必要な場合は，期限までに受付窓口に申し出ること。

履修登録がエラー（下記「エラー表示」参照）となっている科目については，履修ができないので，履修登録にエラーがある場合は，必ず期限までに受付窓口に申し出ること。

なお，履修登録されていない科目を履修しても，単位は認定されない。

②　履修登録を確認するための所定の期間が終了すると，履修登録は完了となる。登録内容の確認を怠ったり，期限を守らなかったりした場合は，どのような不利益が生じても本人の過失として自らその責任を負わなければならない。

２）エラー表示

履修登録の画面上に次のように表示された授業科目は，履修条件などに不備があるため，当該科目は登録されていないので，再確認のうえ必ず期限までに受付窓口に訂正の申し出をすること。

エラー「Ａ１」:「該当科目がありません」
エラー「Ａ２」:「この科目は後期開講のため履修できません」
エラー「Ａ３」:「この科目は前期又は通年開講のため履修できません」
エラー「Ｃ１」:「指定された基礎クラス以外は履修できません」
エラー「Ｃ２」:「指定された外国語クラス以外は履修できません」
エラー「Ｃ３」:「指定された年次以外は履修できません」
エラー「Ｃ４」:「指定された受講者以外は履修できません」
エラー「Ｃ５」:「指定された学科（コース）以外は履修できません」
エラー「Ｃ６」:「指定された学生番号以外は履修できません」
エラー「Ｃ７」:「履修できない科目です」（※カリキュラム適用年度範囲外のため）
エラー「　Ｄ　」:「重複履修できない科目です」
エラー「Ｆ１」:「この科目は既に修得済みです」
エラー「Ｆ２」:「この講義題目は既に修得済みです」
エラー「　Ｈ　」:「１コマに複数科目履修できません」
エラー「Ｊ１」:「履修不可な外国語です」
エラー「Ｋ１」:「上限内科目として指定できません」
エラー「Ｋ２」:「集中科目として指定できません」
エラー「Ｋ５」:「上限外再履修の科目として指定できません」
エラー「Ｌ１」:「上限単位数オーバー，何れかの科目を削除してください」
エラー「Ｌ２」:「上限外再履修の上限単位数を超えています」
エラー「　Ｗ　」:「同一時間割は重複申請できません」
エラー「　Ｚ　」:「実行教育課程表にありません」

（５）履修登録した科目の取消しについて

履修登録した科目の取消しについては，Ｗｅｂ上から学生本人が入力する形で行う。

ただし，取消した科目の代わりに新たな科目を追加登録することはできない。

１）取消しを申請できる時期：

第１学期及び第２学期の所定期間（期日等の詳細については掲示により別途周知する。）

２）取消しができる科目

選択科目及び選択必修科目

※別途掲示等で指示のある場合には，当該掲示等に従い手続きすること。

４．成績評価

（１）成績評価の方法と種類

１）成績は，授業の履修状況，レポート及び試験等の結果を総合して判定される。
２）成績の評価は，「A⁺」，「A」，「A⁻」，「B⁺」，「B」，「B⁻」，「C⁺」，「C」，「D」，「D⁻」及び「F」で判定され，「A⁺」，「A」，「A⁻」，「B⁺」，「B」，「B⁻」，「C⁺」及び「C」が合格となる。
３）理学部は，試験期間を特に定めていないので，授業中又は掲示による担当教員の指示に注意すること。

（２）成績評価とＧＰＡについて

ＧＰＡ(grade point average)とは，米国の大学で一般的に行われている成績評価方法で，学生一人ひとりの履修科目の成績の平均を数値により表すものである。学期ごとに，学生が履修した各科目の評価に一定のＧＰを与え，このＧＰにその科目の単位数を乗じ，その合計を，履修科目の単位数の合計で除して算出する。

１）成績評価の方法
授業科目の成績は，授業の履修状況と試験の評点を総合して判定する。

２）成績評価とＧＰ
成績は，「A⁺」，「A」，「A⁻」，「B⁺」，「B」，「B⁻」，「C⁺」，「C」，「D」，「D⁻」及び「F」の１１段階で評価され，各評価に対するＧＰは，以下のとおりである。

成績評価	A⁺	A	A⁻	B⁺	B	B⁻	C⁺	C	D	D⁻	F
ＧＰ	4.3	4.0	3.7	3.3	3.0	2.7	2.3	2.0	1.0	0.7	0

３）ＧＰＡ（科目成績平均値）
ＧＰＡとは，単位当たりの成績の平均値で，以下の計算式によって算出する。
ＧＰＡ算出の対象科目：
①全学教育科目（教養科目，基礎科目，日本語科目及び日本事情に関する科目），学部専門科目，教職科目，国際交流科目，専門横断科目のうち，学部において，
※１　１１段階評価によって成績を認定された科目であって，かつ，
※２　卒業要件に算入できる科目を対象とする（他学部履修，再履修を含む）
②本学在学中に他大学での履修（留学を含む）によって修得した単位も，上記の２要件（※１及び※２）を満たす場合は，対象とする。
③「合格・不合格」による評価は，対象としない。
④自由設計科目制度により卒業要件に算入しないこととした科目は，対象としない。
⑤英語単位「優秀認定」制度により認定された単位は，上記①の２要件（※１及び※２）を満たす場合は，学期ＧＰＡには算入せず，通算ＧＰＡに算入する。
⑥既修得単位として認定された科目は，対象としない。

＊ＧＰＡ算出の対象科目においては，卒業必要単位数における「○単位まで」等の制限に関わらず，ＧＰＡに算入される。

【学期ＧＰＡ】（その学期のＧＰＡ）

$$\frac{\text{(その学期に評価を受けた科目で得たＧＰ)}\times\text{(その科目の単位数)の合計}}{\text{その学期に評価を受けた科目の単位数の合計}}$$

※　ＧＰＡの計算は，小数点第３位以下を切り捨てとする。

【通算ＧＰＡ】（在学中の各学期を通算したＧＰＡ）

$$\frac{\text{((各学期に評価を受けた科目で得たＧＰ)×(その科目の単位数)の合計)の総和}}{\text{(各学期に評価を受けた科目の単位数の合計)の総和}}$$

※　ＧＰＡの計算は，小数点第３位以下を切り捨てとする。

ＧＰＡは各学期末にＷｅｂ上から閲覧可能になる。全学及び学部ごとのＧＰＡの平均値が付記され，学生が自分の学習状況を数値で客観的に知り，次の学期の履修計画等に役立てることができる。

なお，ＧＰＡは，成績証明書にも記載される。

（３）成績の確認

１）履修の手続きをした科目の単位及び評価を確認するため，次の時期に成績をＷｅｂ上から閲覧可能にする。なお，学期毎の成績公開日及び成績確認期間は掲示にて周知する。

（成績が閲覧可能となる時期）

第１学期　　９月下旬　　第２学期　　３月下旬

※４年次第２学期については，別途期日が設定されるため，掲示をよく確認すること。

Ｗｅｂ上から成績を確認し，不明な点がある場合は，速やかに理学部教務担当窓口に問い合わせること。

（４）成績評価に関する申立て制度

理学部授業科目について，学生が成績評価に関する質問や異議申立てを必要とする場合に，学生からの申立てを受け付ける制度を実施する。

（申立てを受け付ける場合）

学生からの申立てを受け付ける場合は，次のとおりとする。

１）シラバスに記載してある成績評価方法や授業中に指示のあった成績評価方法と，異なる成績評価方法により評価されたことを，学生が客観的・具体的事実をもって示すことが出来る場合

２）明らかに誤記入によるものと思われる場合で，学生が客観的・具体的事実をもって示すことができる場合

（申立ての受付）

学生からの申立ては，理学部教務担当窓口に所定の様式を用意し，当該学期の所定の期間に受け付ける。受付の期間については，学期ごとに定める。

（５）既修得単位の認定

本学入学前に本学，他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位（外国の大学又は短期大学における学修の成果を含む）については，本学部の授業科目を履修したものとみなし，単位を認定することがある。手続きは，２年次進級時に行うので，希望者はすみやかに理学部教務担当へ申し出ること。

１）全学教育科目の既修得単位認定について

２年次学生が申請可能な全学教育科目は，「基礎科目：数学概論」（２年次以降開講科目）のみである。

２）理学部専門科目の既修得単位認定について

２年次以降の所属学科において理学部専門科目の既修得単位認定を行うことがある。

３）認定可能な単位数について
理学部において，本件手続きにより認定可能な単位数は３０単位までである。
なお，本件の認定単位と下記①～⑧による認定・修得単位の合計が３０単位を超えることは出来ないので，注意すること。
① １年次における既修得単位認定手続きによる認定単位(総合教育部において実施：上限２０単位)
② 英語優秀認定及び海外語学研修による全学教育科目「外国語科目」ならびに「外国語演習」の認定単位
③ 他学部及び他学科授業科目の修得単位(教職科目除く)のうち，各学科で定める上限までの単位
④ 国際交流科目の修得単位のうち，各学科で定める上限までの単位
⑤ 専門横断科目の修得単位のうち，各学科で定める上限までの単位
⑥ 在学中の他大学もしくは短期大学(海外含む)での学修による認定単位
⑦ 在学中の短期大学専攻科もしくは高等専門学校専攻科での学修による認定単位
⑧ 休学中の海外他大学での学修による認定単位
ただし，入学前に本学において修得した単位の認定分については，上記の３０単位には含まない。

４）注意事項
① 単位が認定される場合，成績評価は「認定」となる。
② 単位の認定については，試験等により審査担当教員が判断する。
③ 認定を受けようとする者は，所定の申請書に，卒業証明書又は在学期間を明記した退学証明書，成績証明書及び講義内容がわかるシラバス等を添付し，所定の期間内に申請すること。
④ 既修得単位として認定された単位は，通算ＧＰＡ，学期ＧＰＡいずれにも算入しない。

注）再入学，編入学又は学士入学 若しくは 転部又は転入学により，本学部の２年次以降の学年に入学した者の既修得単位認定等は，入学・編入手続き時に窓口で確認のこと。

（６）成績証明書の記載について

１）成績評価の登録区分
成績証明書における各科目の成績評価は，以下３通りの登録区分別に記載される。
①「卒業要件に算入する科目・ＧＰＡ対象科目」
②「卒業要件に算入する科目・ＧＰＡ対象外科目」
③「卒業要件に算入しない科目・ＧＰＡ対象外科目」

２）「D」，「D⁻」，「Ｆ」の科目（不合格評価の科目）について
・上記１）①の場合，科目数及び単位数が成績証明書に記載される。
・上記１）②，③の場合，科目数及び単位数が成績証明書に記載されない。

３）ＧＰＡについて
成績証明書には，ＧＰＡが記載される。

５．自由設計科目制度について

自由設計科目制度は，学生に幅広い学習を促すことを目的として学生の申請によって，ＧＰＡ適用除外科目を選択できるよう，導入された制度である。
本学部では２年次以降，自由設計科目は適用しない。

※ 本制度の詳細については，「自由設計科目制度ガイドブック」（総合教育部便覧内付録）を参照すること。

６．留学について（主として交換留学）

（１）制度の概要

本学部においては，教育上有益と認めるとき（例：学生交流協定締結大学への交換留学の場合）は，本学部学生が外国の大学又は短期大学に留学することを認めている。

（２）単位の認定

本学部学生が留学先で履修した授業科目について修得した単位は，所定の単位数を超えない範囲で本学部における授業科目の履修により修得したものとみなす場合がある。また，一定の条件（単位修得状況等）が整えば，留年せずに卒業することができる場合がある。

【特例措置（留学特例）について】

留学する学生について，成績優秀者と同等とみなし，６単位まで，上限設定単位数を超えて履修登録ができる制度である（詳細は，「第２部３．履修の手続き」を参照のこと）。

留学特例を希望する場合は，留学特例の適用を希望する学期の履修登録期間前までに，所属する学科へ相談のうえ，理学部教務担当窓口へ申し出ること。

なお，留学特例適用後に，留学をしなかった場合の取扱いについては，留学特例適用前に必ず各学科へ確認すること。

（３）留学中の身分及び授業料

留学中の学籍上の身分は「留学」となり，留学期間は在学年数に算入される。また，留学前に本学に授業料を納入すれば，留学先の大学に授業料を支払う必要はない。

（４）留学に関する情報提供

本学の留学制度や留学プログラムの奨学金情報等は，理学部掲示板や学務部より提供している。また，学務部においては例年，次年度の交換留学に関する説明会を開催している（説明会の開催については，随時，掲示により周知する）。

（５）理学部での留学手続き

留学を希望する学生は，学務部における交換留学の選考により「可」となった場合は，事前に所属する学科の承認を得た上で，以下の書類を添えて理学部教務担当窓口に願い出ること。

①留学願（所定様式）
②留学先大学からの受入許可書
③授業内容の詳細が記載された資料（シラバス等）
※③は既に留学先で履修を予定している科目があり，帰国後に単位認定を希望する場合。

また，留学希望者は，所属学科の教務委員等と事前に相談の上，卒業までの学修の計画を早めに立てておくこと。

※　その他，国際交流課発行の「北大生のための留学ハンドブック」及び北海道大学国際教育研究センターＨＰを参照すること。

７．教育職員免許状の取得について

（１）教員免許を取得しようとする学生諸君へ

はじめに

諸君の中には北海道大学で教育職員免許状（教員免許）を取得できることを知って，自分も教員となるための免許状を取得したいと考えた人がいるかもしれない。その考えは，北海道大学で学んだ専門性を生かして教員となることで，教育界で果たす役割も大きいものとなりうる可能性を秘めている。

今，教員は国際化，高度な情報化など時代に適応できる資質が求められている。さらに，幅広い視野，深い知識及び豊かな人間性を備えなければならない。また，教員一人ですべての分野をカバーすることは難しく，それぞれの得意分野で活躍することが望まれる。

幸い諸君は基幹総合大学である北海道大学に学ぶことで，多様な資質を身につけて社会に巣立つことになるので，教員となってそれらを最大限に生かして社会に還元することもすばらしいことである。

ここでは，北海道大学で取得できる教育職員免許状とはどのようなもので，どのような仕組みになっているかを説明する。

１）教育職員免許状とは？

教育職員〔小・中・高等学校，特別支援学校及び幼稚園の教員〕となるためには，教育職員免許法で定められた一定の資格要件を満たした上で免許状を授与されることが必要である。この後，教育職員としての活動を行うことができる。教員養成は基本的に大学において行うことになっており，幅広い視野と高度の専門的知識を備えた人材を広く求めるため，教員養成大学・学部のみならず，一般大学・学部においても教員養成を行っている（開放制の教員養成という)。これは画一的な教員像を求めるのではなく，多様な資質を持つ個性豊かな人材を求めるためである。

北海道大学では，現在，９学部・11 大学院において免許状を取得できる教職課程を開設している（詳細は，後頁の**表４**及び**表５**を参照)。

教職課程で教員となるための必要単位数を修得し，本人からの申請で教育委員会から中学校教諭または高等学校教諭普通免許状（教科別に）あるいは特別支援学校教諭免許状が授与される（一種または専修免許状)。なお，北海道大学には小学校及び幼稚園の教員になるための教職課程はない。

２）普通免許状の種類と基礎資格

現行の教育職員免許法では，普通免許状に以下の３種類のものがあり，それぞれの基礎資格は次のように定められている。

（１）二種免許状　短期大学卒業程度を基礎資格とするもの
（２）一種免許状　学士の学位を有すること
（３）専修免許状　修士の学位を有すること

これらの免許状はすべての都道府県で有効である。

なお，普通免許状の外に，特別免許状及び臨時免許状があるが，それらは“大学における養成による免許状”ではないので説明は省略する。

３）免許状の有効期間について

平成 21 年４月から教員免許更新制が導入されている。更新制導入後に普通免許状及び特別免許状を授与される場合，有効期間は免許状の授与に必要な資格を得た日から 10 年後の年度末までとなる（平成 31 年３月 25 日に所要資格を得た免許状は平成 41 年３月 31 日まで有効)。有効期間を更新するためには，免許状更新講習を受講・修了し，有効期間の更新を受ける必要がある。決められた期間内に免許状更新講習を修了できなかった場合には，免許状は失効する。ただし，免許状が失効した場合でも，免許状を取得した際に授与の基礎となった教職課程の単位まで無効にはならない。よって，改めて大学で教職課程を受講する必要はなく，免許状更新講習を受講・修了すれば，有効な免許状を授与されること

ができる。なお，校長，教頭などの教員を指導する立場にある人や，優秀教員表彰を受けた人については，免許状更新講習を免除されることもある。

４）教育職員免許状取得に必要な科目の種類と単位数

「教科に関する科目」，「教職に関する科目」等を履修することで教育職員免許状の取得に必要な単位を修得できる。これらの科目を履修することは，卒業に必要とされるよりも多くの単位を取ることになるので，十分考えて計画的に履修する必要がある。それぞれの免許状に必要な単位数は**表１**のとおりである。

表１　教育職員免許状取得に必要な科目の種類と単位数

<table>
<tr><td rowspan="3">免許状の種類</td><td colspan="5">修得することを必要とする最低単位数</td></tr>
<tr><td>①</td><td>②</td><td>③</td><td>④</td><td>⑤</td></tr>
<tr><td>教科に
関する科目</td><td>教職に
関する科目</td><td>教科又は教職
に関する科目</td><td>免許法施行規則
第 66 条の 6
に定める科目</td><td>特別支援
教育に
関する科目</td></tr>
<tr><td>中学校教諭一種免許状</td><td rowspan="4">20</td><td rowspan="2">31</td><td>8*1</td><td rowspan="4">8*2</td><td rowspan="4">―</td></tr>
<tr><td>中学校教諭専修免許状</td><td>32(8*1＋24)</td></tr>
<tr><td>高等学校教諭一種免許状</td><td rowspan="2">23</td><td>16</td></tr>
<tr><td>高等学校教諭専修免許状</td><td>40(16＋24)</td></tr>
<tr><td>特別支援学校教諭一種免許状
(知的障害者に関する教育の領域)*3</td><td colspan="4" rowspan="2">中学校又は高等学校教諭の
普通免許状授与資格を有すること</td><td>26</td></tr>
<tr><td>特別支援学校教諭専修免許状*4</td><td>50</td></tr>
</table>

注＊１　中学校教員免許を取得しようとする場合は，「教科又は教職に関する科目」として「介護等体験実習」（１単位）の履修が必要である〔小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律（介護等体験特例法）〕。

注＊２　日本国憲法（２単位），体育（２単位），外国語コミュニケーション（２単位），情報機器の操作（２単位）の８単位である。

注＊３　教育学部のみ

注＊４　教育学院のみ

専修免許状は，取得した一種免許状に定められている教育領域について取得できる。

例）一種免許状に知的障害者・肢体不自由者・病弱者の３領域を定めている場合

→専修免許状には知的障害者・肢体不自由者・病弱者の３領域が定められる。

５）「教科に関する科目」の履修について（表１の①欄）

教科に関する科目は，各学部の教職課程で異なり，それぞれの学部から配付される『学生便覧』に掲載されている。20 単位以上を修得する必要がある。

「教科に関する科目」の修得することを必要とする最低単位数（中・高等学校教諭免許状では 20 単位）を超えて履修した単位数は，項目７）で説明する「教科又は教職に関する科目」の単位として算入することができる。

６）「教職に関する科目」の履修について（表１の②欄）

教職に関する科目は，中学校教諭免許状では 31 単位以上，高等学校教諭免許状では 23 単位以上履修する必要がある。教職に関する科目として開講されている科目は**表２**のとおりである。開講時期・教室などについては教職関連の掲示板に掲示される。

「教職に関する科目」の修得することを必要とする最低単位数（中学校教諭免許状では 31 単位，高等学校教諭免許状では 23 単位）を超えて履修した単位数は，項目７）で説明する「教科又は教職に関する科目」の単位として算入することができる。

表２　教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等				左記に対応する本学での開設授業科目			中学一種	高校一種
第一欄	教職に関する科目	各科目に含める必要事項	必要単位数	教職に関する専門教育科目	単位数	受講可能年次		
第二欄	教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容(研修，服務及び身分保障等を含む。) ・進路選択に資する各種の機会の提供等	2	教職入門	2	1～	○	○
第三欄	教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	教育学	2	2～	○	○
		・幼児，児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児，児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)		教育心理学	2	2～	○	○
		・教育に関する社会的，制度的又は経営的事項		教育制度論	2	2～	○	○
第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法	中 12 高 6	教育課程論Ⅰ	1	3～	○	○
				教育課程論Ⅱ	1	3～	○	
		・各教科の指導法		教科教育法(各教科Ⅰ)	2	2～	○	○
				教科教育法(各教科Ⅱ)	2	2～		
		・道徳の指導法		道徳教育論	2	3～	○	
		・特別活動の指導法		教科外教育論Ⅰ	1	3～	○	○
				教科外教育論Ⅱ	1	3～	○	
		・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		教育方法論Ⅰ	1	2～	○	○
				教育方法論Ⅱ	1	2～	○	
				教育技術論Ⅰ	1	3～	○	○
				教育技術論Ⅱ	1	3～	○	
	生徒指導，教育相談及び進路指導等に関する科目	・生徒指導の理論及び方法	4	教育関係論Ⅰ	1	2～	○	○
				教育関係論Ⅱ	1	2～	※	※
		・進路指導の理論及び方法		進路指導論Ⅰ	1	3～	○	○
				進路指導論Ⅱ	1	3～	※	※
		・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談論Ⅰ	1	3～	○	○
				教育相談論Ⅱ	1	3～	※	※
第五欄	教育実習		中 5 高 3	教育実習Ａ(高等学校)	2	4～	○	○
				教育実習Ｂ(中学校)	2	4～	○	
				教育実習Ｃ(事前･事後指導)	1	4～	○	○
第六欄	教職実践演習		2	教職実践演習	2	4～	○	○
中学一種・高校一種ともに最低必要単位数合計を超えて修得した単位は，「教科又は教職に関する科目」の単位として算入される →				最低必要単位数合計			31以上	23以上

○印は，本学教職課程における必修科目を示す。

※印は，「教育関係論Ⅱ」「進路指導論Ⅱ」「教育相談論Ⅱ」の３科目から１科目以上を修得したうえで，「生徒指導，教育相談及び進路指導等に関する科目」として，○印とあわせて４単位以上を修得すること。

① 教職入門は１年次に開講されるので，高等教育推進機構の履修掲示板の指示に従うこと。
② 教科教育法については，取得しようとする免許教科によって異なるので，各学部の学生便覧を参照すること。
③ 道徳教育論については，中学校の免許状を取得しようとする場合は必ず修得しなければならない（教育職員免許法施行規則第６条表備考五の関係)。なお，高等学校の免許状を取得しようとする学生が，道徳教育論を修得した場合，その単位は「教科又は教職に関する科目」の単位として算入することができる。
④ 教育実習Ａ（高等学校）は，中・高等学校の免許状を取得しようとする場合に必要とする２単位である。
教育実習Ｂ（中学校）は，中学校の免許状を取得しようとする場合にのみ必要とする２単位である。なお，中学校または高等学校での３週間の教育実習をもって，教育実習Ａ及び教育実習Ｂの合計４単位が認定される。
⑤ 教育実習Ｃ（事前・事後指導）は，中・高等学校の免許状を取得しようとする場合に必要とする１単位である。
⑥ 中学校の免許状を取得しようとする場合は教育実習Ａ，Ｂ，Ｃ（合わせて５単位）を，高等学校の免許状を取得しようとする場合は教育実習Ａ及びＣ（合わせて３単位）を修得しなければならない。
⑦ 教職実践演習の受講は，教育実習を終了した者に限る。

７）「教科又は教職に関する科目」の履修について（表１の③欄）

教科又は教職に関する科目として開講されている科目は次表のとおりである。

教科又は教職に関する科目

教科又は教職に関する科目（最低修得単位数） 中 学 校　8 単位 高等学校　16 単位	授業科目	単位数	備考
	学校インターンシップ	2	「教科又は教職に関する科目」又は最低修得単位を越えて履修した「教科に関する科目」もしくは「教職に関する科目」について，併せて中８，高 16 単位以上修得
	新聞づくりを生かしたシティズンシップ教育	2	
	介護等体験実習《中一種免必修》※	1	

（１）中学校一種免許状を取得しようとする場合：「教科又は教職に関する科目」の必要単位数は８単位である。この単位の修得方法は，上表の「教科又は教職に関する科目」を履修し修得した単位数と「教科に関する科目」に指定されている科目（各学部で異なる）から 20 単位あるいは「教職に関する科目」のうち 31 単位を超えて修得している単位数の合計が８単位に達している必要がある。なお，「教科又は教職に関する科目」のうち「介護等体験実習」１単位は必ず修得しなければならない（「介護等体験実習」の詳細は，項目 12）で説明する)。

（２）高等学校一種免許状を取得しようとする場合：「教科又は教職に関する科目」の必要単位数は 16 単位である。この単位の修得方法は，上表の「教科又は教職に関する科目」を履修し修得した単位数と「教科に関する科目」に指定されている科目（各学部で異なる）から 20 単位あるいは「教職に関する科目」のうち 23 単位を超えて修得している単位数の合計が 16 単位に達している必　要がある。

（３）中学校又は高等学校専修免許状を取得しようとする場合：この単位の修得方法は，一種免許状を取得しようとする場合の修得要件（中学校では８単位，高等学校では 16 単位）に加えて，大学院の課程で開設される科目（大学院ごとに異なる）もしくは「教職に関する科目」（大学院に入学後，新たに履修する科目）から合わせて 24 単位を修得しなければならない。すなわち，中学校では 32（８＋24）単位，高等学校では 40（16＋24）単位である。

８）教育職員免許状取得に必要とする４科目の履修について（表１の④欄）

「教科に関する科目」，「教職に関する科目」及び「教科又は教職に関する科目」の他に，**表１**の④欄に定める８単位に相当する４科目（教育職員免許法施行規則第 66 条の６に定める科目）を履修しなければならない。実際には，全学教育科目あるいは学部専門科目として開講されている科目のうち，**表３**に掲げる授業科目から修得する。日本国憲法は全学教育科目のなかで「社会の認識（日本国憲法)」として開講されている。

表３　教育職員免許状取得に必要とする４科目
（教育職員免許法施行規則第 66 条の６に定める科目）

教育職員免許法施行規則 第 66 条の 6 に定める科目		左記に対応する 本学での開設授業科目		備　　考
科　　目	必要単位数	科　目　名	単位数	
日本国憲法	2	社会の認識（日本国憲法）	2	法学部を除く（全学教育科目）
		憲法Ⅰ	4	法学部のみ（学部専門科目）
体育	2	体育学Ａ 体育学Ｂ	1 2	2 単位以上選択必修 （いずれも全学教育科目）
外国語 コミュニケーション	2	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ ロシア語Ⅰ ロシア語Ⅱ スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ	1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 単位以上選択必修 （いずれも全学教育科目）
情報機器の操作	2	情報学Ⅰ	2	（全学教育科目）

９）「特別支援教育に関する科目」の履修について（表１の⑤欄）

中学校又は高等学校教諭の普通免許状授与資格を有する者で，特別支援学校教諭免許状の取得を希望する場合に必要となる科目である。なお，北海道大学では，特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者に関する教育の領域）を取得できる（「視覚障害者」，「聴覚障害者」，「肢体不自由者」及び「病弱者」に関する教育の領域についての一種免許状は取得できない）。専修免許状は，取得した一種免許状に定められている教育領域について取得できる。詳細は，教育学部の『学生便覧』を参照すること。

10）教育実習について

「教科に関する科目」及び「教職に関する科目」を受講し，一定条件（各学部の教職担当で確認する）を満たした者が，教育実習事前指導を受けた後に教育実習を行うことができる。教職課程の最終コースに位置している教育実習の意義は，実習生としての実践を通して，教えることの充実感や生徒と分かち合える新しい発見の喜びを実感し，自らの成長の機会とすることである。

教育実習を希望する学生は多いが，実習態度によっては実習校の正常な教育活動に支障をきたすことも考えられる。したがって，ただ漫然と単位を取ればよいのではなく，誠意をもって実習に参加し，教育に対して情熱を有することが求められる。

教育実習の受講を希望する者は，実習を行う前年度の９月末までに（詳細は掲示等で確認すること）所属する学部の教職担当へ受講申込みを行う。受講申込みまでに，実習校から受入れの内諾を得ておく必要があるので，できるだけ早めに出身校などと交渉して内諾を得ておくこと。教育実習の受講申込み方法や各種手続き等については，各自の所属する学部の教職担当から指示がある。

特に，中学校の免許状を取得する場合には，３週間にわたる実習を行うことになるので，卒業に必要な専門教育科目の履修に支障が生じないように計画的な履修を心掛ける必要がある。

また，特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者に関する教育の領域）を取得する場合は，基礎とな

る免許状取得のための教育実習（高等学校は教育実習Ａ及びＣ，中学校は教育実習Ａ，Ｂ及びＣ）に加えて，教育実習Ｄ（特別支援学校）を履修する必要がある。履修計画を立てる際は，所属する学部の教職担当に相談すること。

11）取得免許状の種類と教育実習先について

中学校又は高等学校教諭の普通免許状の取得を希望する場合の教育実習先は，中学校又は高等学校である。特別支援学校教諭の場合は，特別支援学校で実習を受講する。

12)「介護等体験実習」について（表１の脚注＊１）

中学校の教育職員免許状を取得しようとする者は，「教科又は教職に関する科目」として介護等体験実習（１単位）を修得する必要がある。

なお，高等学校の教員免許状を取得しようとする学生が，介護等体験実習を修得しても，その単位を「教科又は教職に関する科目」の単位として算入することはできないので，注意されたい。

介護等体験実習の受講を希望する者は，所属する学部の教職担当へ受講申込みを行い，介護等体験実習事前指導を受ける必要がある。受講申込み方法や介護等体験実習事前指導の時期等については，掲示等によって指示するので注意されたい。

内　　容：介護等体験実習とは，特別支援学校，養護老人ホームなどの社会福祉施設等で，障害者・高齢者に対する介護・介助・交流などの体験を行うことである。

対 象 者：中学校の教育職員免許状を取得しようとする者が対象となる。ただし，介護等に関する専門的知識・技術を有すると認められる者，または身体上の障害により介護体験等を行うことが困難な者は，対象とならない。

期　　間：７日間以上の体験を行うことが必要である（現状では，特別支援学校で連続２日以上，社会福祉施設等で連続５日以上となっている)。

資　　格：18 歳に達した者が，介護等体験実習を履修出来る。

申し込み：所属する学部の教職担当に申し込む（毎年実習を行う年の４月初旬)。

そ の 他：介護等体験実習を履修するためには経費が必要となる。

13）教職課程における履修の実際

教職課程では４年間の学士課程（一種免許状）あるいは大学院の博士前期課程（２年間，専修免許状）を含めて履修することになる。教職課程の単位はどの学年でも履修可能であるが，基礎的な教職科目は低学年の時間割のなかで開講されているので，各自の全学教育科目と専門教育科目の履修計画を考慮しながら計画的に履修することが望まれる。すなわち，教育職員を理解するための「教職入門」が１年次で，教育の基礎理論に関する「教育学」,「教育心理学」,「教育制度論」,「教育関係論」,「教育方法論」などが２年次で，それ以外の科目は３年次以降に順次履修できるように設計されている。

「教科教育法」は，各学部の教職課程で必要な教科に応じて２年次以降に履修できるようになっている。「教科教育法Ⅰ」のみ必修であるが，教育実習に備えて「教科教育法Ⅱ」も履修しておくことが望まれる。

教育実習については**表２**の欄外の注意事項及び項目 **10**）を参考にしながら，実習先の学校の学事予定及び各自の専門教育科目の履修を考えながら注意深い計画を心掛けなければならない。

「教職実践演習」については，教育実習終了後に履修する。詳細については，それぞれの学部の教職関連掲示板で指示がある。

14）免許状授与申請と教員採用試験など

免許状を授与されるためには，各学部の教職担当で必要単位数の確認等を受け，指示に従って申請手続きをしなければならない。

実際に公立学校の教員となるためには，別に各都道府県や市の教育委員会が実施している教員採用候補者検査（教養，教科，面接試験など）を受験して候補者名簿に登録される必要がある（普通免許状を

持っていること又は取得見込みが条件)。また，私立学校の教員を目指す場合は，それぞれ希望の学校の募集要領に基づいて出願する必要がある。

上述の教員採用候補者検査実施要領や募集要領等は，教務関係の掲示板あるいは各自で資料を取り寄せて確認しなければならない。

15）教職課程の運営・事務の体制

教職課程の認定を受けている各学部がそれぞれ責任をもって必要なカリキュラムを組まなければならないが，過密化している全学教育科目及び専門科目のカリキュラムに支障をきたす恐れがある。そこで，北海道大学の教職課程の運営体制は，総合大学として責任ある教員養成を進めるため，北海道大学教務委員会の下に関連する学部・大学院からの委員で構成する教職課程専門委員会を設置し，全学的な支援で取組む方式を取っている。そこでは，教育職員免許状取得のために必要な科目開講を含めたカリキュラムの編成，課程認定を受けている学部間の調整，全学教育部との調整等を行っている。

教育実習の受講申込みは，教育学事務部教務担当が中心となって取りまとめ，関連学部と連絡をとりながら事務処理の円滑化を図り，教職課程専門委員会が責任をもって実習校へ正式な依頼を行っている。また，教育委員会への免許状授与申請は，各学部で受け付けた申請書を北海道大学学務部学務企画課で一括して取りまとめを行っている。

16）その他

教員免許に関連した疑問や質問の問合せ先は，すべて各学部の教職担当である。

教職課程に関連する掲示は，全学教育科目及び学部専門科目とは別に掲示されるので，見落としのないように日頃から特に注意する必要がある。

学部別及び大学院別の取得可能な免許状は**表４**及び**表５**に示す。

おわりに

以上のように教員免許の取得方法はたいへん複雑であるので，疑問を感じた時にはすぐに所属学部の教職担当に問い合わせることが大切である。特に，履修単位の不足や手続き期日に間違いが生じないように心掛けると同時に，全学教育科目及び学部専門科目の履修に支障が生じないように計画的な履修を心掛けなければならない。

表４　学部別取得可能な免許状の種類

学　　部	中学校教諭一種	高等学校教諭一種	その他
文学部	国語 社会 英語	国語 地理歴史 公民 英語	
教育学部	社会 保健体育	地理歴史 公民 保健体育	特別支援学校教諭一種 （知的障害者に関する教育の領域）
法学部	社会	地理歴史 公民	
経済学部	社会	公民 商業	
理学部	数学 理科	数学 理科	
薬学部	理科	理科	
工学部	理科	数学 理科 情報 工業	
農学部	社会	公民 理科 農業	
水産学部		理科 水産	

表５　大学院別取得可能な免許状の種類

大　学　院	中学校教諭専修	高等学校教諭専修	その他
法学研究科	社会	公民	
水産科学院		水産	
環境科学院	理科	理科	
理学院	数学 理科	数学 理科	
農学院		農業	
生命科学院	理科	理科	
教育学院	社会 保健体育	地理歴史 公民 保健体育	特別支援学校教諭専修 （知的障害者に関する教育の領域）
工学院		工業 理科	
総合化学院	理科	理科	
経済学院		公民 商業	
文学院	国語 社会 英語	国語 地理歴史 公民 英語	

（２）理学部における教育職員免許状の取得について

《理学部において取得可能な教育職員免許状の種類》

数学科
中学校教諭一種免許状（数学）
高等学校教諭一種免許状（数学）

物理学科，化学科，生物科学科[生物学・高分子機能学]，地球惑星科学科
中学校教諭一種免許状（理科）
高等学校教諭一種免許状（理科）

学部を卒業し,「教科に関する科目」,「教職に関する科目」,「教科又は教職に関する科目」及び「教育職員免許法施行規則第６６条の６に定める科目」のそれぞれについて所定の単位を修得した者は，該当する中学教諭一種免許状または高等学校教諭一種免許状(以下「一種免許状」という。)を申請することができる。

次頁以降では，一種免許状取得に必要となる「教科に関する科目」の一覧表を掲載している。「教科に関する科目」は，学科ごとに設定科目や修得要件が異なるので，該当部分を十分に確認し，修得もれ等がないよう注意すること。

なお，一種免許状の取得に必要な所定の単位を修得した者が大学院修士課程を修了し，該当する「教科又は教職に関する科目」(大学院授業科目)を２４単位以上修得した者は，当該科目の専修免許状を申請することができる。

理学部において，教職課程科目の履修，介護等体験実習，教育実習(事前・事後指導を含む)及び教育職員免許状(以下「教員免許」という。)の申請等にかかる諸手続きについては，全て掲示により連絡をするので，教員免許取得を希望する者は，こまめに理学部中央掲示板(２号館１Ｆロビー)を確認すること。

※ 教員免許取得について不明なことが生じた場合には，自身でそのままにせず，随時本冊子の内容を確認するとともに，理学部教務担当窓口へ問い合わせること。

数　学　科

中学一種(数学)		教科に関する科目 (中学一種・高校一種共通)	単位	高校一種(数学)	
免許法施行規則上の 科目区分	修得要件			修得要件	免許法施行規則上の 科目区分
代数学	必　修	基礎数学A	4	必　修	代数学
		代数学・幾何学序論	2		
		代数学基礎	4		
		代数学A	2		
		代数学B	2		
		代数学C	2		
		代数学続論	[2]		
		数学特別講義(代数学)	[2]		
幾何学	必　修	基礎数学B	4	必　修	幾何学
		ベクトル解析	2		
		幾何学基礎	4		
		幾何学A	2		
		幾何学B	2		
		幾何学C	2		
		幾何学続論	[2]		
		数学特別講義(幾何学)	[2]		
解析学	必　修	基礎数学C	4	必　修	解析学
		微分積分学続論	2		
		基礎数学D	4		
		解析学基礎A	2		
		解析学基礎B	2		
		解析学A	2		
		解析学B	2		
		解析学C	2		
		解析学D	2		
		解析学E	2		
		解析学F	2		
		解析学G	2		
		数理解析学続論	[2]		
		数学特別講義(解析学)	[2]		
「確率論・統計学」	必　修	確率・統計入門	2	必　修	「確率論・統計学」
		統計学	2		
コンピュータ	必　修	コンピュータ	2	必　修	コンピュータ
		数理科学基礎	2		
		数理科学A	2		
		数理科学B	2		

備考:
① 「教科に関する科目」は,「免許法施行規則上の科目区分」の各カテゴリから1単位以上(それぞれに免許法施行規則で定める「一般的包括的内容を含む科目」を含む), 合計20単位を修得すること。
② 上表でグレーの網掛けになっている科目は, 各学科の免許課程における「一般的包括的内容を含む科目」であり, 中学一種, 高校一種それぞれの「修得要件」に従い単位を修得すること。
③ 「修得要件」欄に「必修」と記載のあるものは, 教員免許取得にかかる要件である(卒業要件については別途「実行教育課程表」を確認すること)。
④ 「教科に関する科目」に指定されている科目から20単位を超えて修得した分は,「教科又は教職に関する科目」の必要単位数に算入することができる。
⑤ 単位数に[　]のついている授業科目は, 講義題目等が異なるものであれば複数個の履修が可能な授業科目である。

物　理　学　科

中学一種(理科)		教科に関する科目 (中学一種・高校一種共通)	単位	高校一種(理科)	
免許法施行規則上の 科目区分	修得要件			修得要件	免許法施行規則上の 科目区分
物理学	右の2科目から 1科目選択必修	現代物理学	2	左の2科目から 1科目選択必修	物理学
		生物系のための物理学	2		
		振動と波動の物理	2		
		現代天文学	2		
		力学Ⅰ	2		
		力学Ⅱ	2		
		熱物理学	2		
		電磁気学Ⅰ	2		
		電磁気学Ⅱ	2		
		量子力学Ⅰ	2		
		量子力学Ⅱ	2		
		統計力学Ⅰ	2		
		統計力学Ⅱ	2		
		相対論	2		
		場の理論	2		
		原子核物理学	2		
		素粒子物理学	2		
		宇宙物理学	2		
		流体力学	2		
		物性物理学	[2]		
		量子力学特論	[2]		
		凝縮系物理学特論	[2]		
		現代物理学特論	[2]		
		物理学特別講義A	[2]		
化学	右の3科目から 1科目選択必修	基礎有機化学	2	左の3科目から 1科目選択必修	化学
		基礎物理化学	2		
		生物系のための有機化学	2		
生物学	右の2科目から 1科目選択必修	細胞生物学概論	2	左の2科目から 1科目選択必修	生物学
		生物多様性概論	2		
地学	右の2科目から 1科目選択必修	現代地球惑星科学概論1	2	左の2科目から 1科目選択必修	地学
		現代地球惑星科学概論2	2		
物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)	右の3科目から 1科目選択必修	自然科学実験(物理)[全学教育]	1	左の6科目から 1科目選択必修	「物理学実験(コンピュータ活用を含む。)、化学実験(コンピュータ活用を含む。)、生物学実験(コンピュータ活用を含む。)、地学実験(コンピュータ活用を含む。)」
		物理学実験Ⅰ	2		
		物理学実験Ⅱ	2		
化学実験 (コンピュータ活用を含む。)	必　修	自然科学実験(化学)[全学教育]	1		
生物学実験 (コンピュータ活用を含む。)	必　修	自然科学実験(生物)[全学教育]	1		
地学実験 (コンピュータ活用を含む。)	必　修	自然科学実験(地球惑星科学)[全学教育]	1		

備考:
① 上表「教科に関する科目」欄において[全学教育]と記載のあるものは，全学教育科目として開講される科目を指す。
②「教科に関する科目」は，「免許法施行規則上の科目区分」の各カテゴリから1単位以上(それぞれに免許法施行規則で定める「一般的包括的内容を含む科目」を含む)，合計20単位を修得すること。
③ 上表でグレーの網掛けになっている科目は，各学科の免許課程における「一般的包括的内容を含む科目」であり，中学一種，高校一種それぞれの「修得要件」に従い単位を修得すること。
④「修得要件」欄に「必修」「選択必修」と記載のあるものは，教員免許取得にかかる要件である(卒業要件については別途「実行教育課程表」を確認すること)。
⑤「教科に関する科目」に指定されている科目から20単位を超えて修得した分は，「教科又は教職に関する科目」の必要単位数に算入することができる。
⑥ 単位数に[　]のついている授業科目は，講義題目等が異なるものであれば複数個の履修が可能な授業科目である。

化　学　科

中学一種(理科)		教科に関する科目 (中学一種・高校一種共通)	単位	高校一種(理科)	
免許法施行規則上の科目区分	修得要件			修得要件	免許法施行規則上の科目区分
物理学	必　修	物理学通論	2	必　修	物理学
		量子化学Ⅰ	2		
		量子化学Ⅱ	2		
		熱・統計力学Ⅰ	2		
		熱・統計力学Ⅱ	2		
化学	右の3科目から1科目選択必修	基礎有機化学	2	左の3科目から1科目選択必修	化学
		基礎物理化学	2		
		生物系のための有機化学	2		
		物理化学Ⅰ	2		
		物理化学Ⅱ	2		
		物理化学Ⅲ	2		
		有機化学Ⅰ	2		
		有機化学Ⅱ	2		
		有機化学Ⅲ	2		
		無機化学Ⅰ	2		
		無機化学Ⅱ	2		
		分析化学Ⅰ	2		
		化学講読	1		
		無機化学Ⅲ	2		
		基礎磁気化学	2		
		錯体化学	2		
		分析化学Ⅱ	2		
		有機合成化学	2		
		有機金属化学	2		
		有機反応化学	2		
		有機機器分析	2		
		電気化学	2		
		固体化学	2		
		物質電子論	2		
		分子分光学	2		
		触媒化学	2		
		ナノ物性化学	2		
生物学	右の2科目から1科目選択必修	細胞生物学概論	2	左の2科目から1科目選択必修	生物学
		生物多様性概論	2		
		生物化学Ⅰ	2		
		生物化学Ⅱ	2		
		情報生化学	2		
		機能生化学	2		
		遺伝生化学	2		
		分子生理学	2		
地学	右の2科目から1科目選択必修	現代地球惑星科学概論1	2	左の2科目から1科目選択必修	地学
		現代地球惑星科学概論2	2		
物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)	必　修	自然科学実験(物理)［全学教育］	1	左の6科目から1科目選択必修	「物理学実験(コンピュータ活用を含む。)、化学実験(コンピュータ活用を含む。)、生物学実験(コンピュータ活用を含む。)、地学実験(コンピュータ活用を含む。)」
化学実験 (コンピュータ活用を含む。)	右の3科目から1科目選択必修	自然科学実験(化学)［全学教育］	1		
		化学実験Ⅲ	1		
		化学実験Ⅵ	3		
生物学実験 (コンピュータ活用を含む。)	必　修	自然科学実験(生物)［全学教育］	1		
地学実験 (コンピュータ活用を含む。)	必　修	自然科学実験(地球惑星科学)［全学教育］	1		

備考:
① 上表「教科に関する科目」欄において［全学教育］と記載のあるものは，全学教育科目として開講される科目を指す。
② 「教科に関する科目」は，「免許法施行規則上の科目区分」の各カテゴリから1単位以上(それぞれに免許法施行規則で定める「一般的包括的内容を含む科目」を含む)，合計20単位を修得すること。
③ 上表でグレーの網掛けになっている科目は，各学科の免許課程における「一般的包括的内容を含む科目」であり，中学一種，高校一種それぞれの「修得要件」に従い単位を修得すること。
④ 「修得要件」欄に「必修」「選択必修」と記載のあるものは，教員免許取得にかかる要件である(卒業要件については別途「実行教育課程表」を確認すること)。
⑤ 「教科に関する科目」に指定されている科目から20単位を超えて修得した分は，「教科又は教職に関する科目」の必要単位数に算入することができる。

生　物　科　学　科　（生物学・高分子機能学）

中学一種(理科)		教科に関する科目 (中学一種・高校一種共通)	開講	単位	高校一種(理科)	
免許法施行規則上の科目区分	修得要件				修得要件	免許法施行規則上の科目区分
物理学	右の2科目から1科目選択必修	現代物理学	生/高	2	左の2科目から1科目選択必修	物理学
		生物系のための物理学	生/高	2		
		生物系の分光学	高	2		
		生物系の物質輸送論	高	2		
		生物系の統計力学	高	2		
		生体高分子物性論	高	2		
化学	右の3科目から1科目選択必修	基礎有機化学	生/高	2	左の3科目から1科目選択必修	化学
		基礎物理化学	生/高	2		
		生物系のための有機化学	生/高	2		
		生物系の熱力学	高	2		
		生物系の溶液論	高	2		
		生物系の反応速度論	高	2		
		生物系の電解質論	高	2		
		生物系の量子力学	高	2		
		生命有機化学	高	2		
		基礎高分子合成化学	高	2		
		応用生物有機化学	高	2		
		生物系の分析化学	高	2		
生物学	右の6科目から1科目選択必修	多様性生物学Ⅰ	生	2	左の6科目から1科目選択必修	生物学
		細胞生物学Ⅰ	生	2		
		機能生物学Ⅰ	生	2		
		分子生物学概論	高	2		
		分子遺伝科学Ⅰ	高	2		
		分子遺伝科学Ⅱ	高	2		
		細胞生物学概論	生/高	2		
		生物多様性概論	生/高	2		
		多様性生物学Ⅱ	生	2		
		多様性生物学Ⅲ	生	2		
		細胞生物学Ⅱ	生	2		
		細胞生物学Ⅲ	生	2		
		機能生物学Ⅱ	生	2		
		機能生物学Ⅲ	生	2		
		系統分類学Ⅰ	生	2		
		系統分類学Ⅱ	生	2		
		形態機能学Ⅰ	生	2		
		形態機能学Ⅱ	生	2		
		行動神経生物学Ⅰ	生	2		
		行動神経生物学Ⅱ	生	2		
		生殖発生生物学Ⅰ	生	2		
		生殖発生生物学Ⅱ	生	2		
		環境生物学Ⅰ	生	2		
		環境生物学Ⅱ	生	2		
		分子遺伝学	生	2		
		系統進化学	生	2		
		脳と行動の進化	生	2		
		環境分子生物学	生	2		
		実験生物科学	高	2		
		細胞構造科学Ⅰ	高	2		
		細胞構造科学Ⅱ	高	2		
		細胞構造科学Ⅲ	高	2		
		細胞情報科学Ⅰ	高	2		
		細胞情報科学Ⅱ	高	2		
地学	右の2科目から1科目選択必修	現代地球惑星科学概論1	生/高	2	左の2科目から1科目選択必修	地学
		現代地球惑星科学概論2	生/高	2		
		生物系のX線結晶学	高	2		
物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)	必　修	自然科学実験(物理)	全学	1	左の10科目から1科目選択必修	「物理学実験(コンピュータ活用を含む。)、化学実験(コンピュータ活用を含む。)、生物学実験(コンピュータ活用を含む。)、地学実験(コンピュータ活用を含む。)」
化学実験 (コンピュータ活用を含む。)	右の3科目から1科目選択必修	自然科学実験(化学)	全学	1		
		基礎生化学実習	生	3		
		高分子機能学基礎実験	高	2		
生物学実験 (コンピュータ活用を含む。)	右の5科目から1科目選択必修	自然科学実験(生物)	全学	1		
		基礎生物学実習	生	3		
		基礎形態学実習	生	3		
		生体高分子学実験Ⅰ	高	4		
		生体高分子学実験Ⅱ	高	4		
地学実験 (コンピュータ活用を含む。)	必　修	自然科学実験(地球惑星科学)	全学	1		

備考:
① 上表「開講」欄において「全学」と記載のあるものは全学教育科目として開講される科目，「生」と記載のあるものは生物学専修分野の専門科目として開講される科目，「高」と記載のあるものは高分子機能学専修分野の専門科目として開講される科目を指す。
②「教科に関する科目」は，「免許法施行規則上の科目区分」の各カテゴリから1単位以上(それぞれに免許法施行規則で定める「一般的包括的内容を含む科目」を含む)，合計20単位を修得すること。
③ 上表でグレーの網掛けになっている科目は，各学科の免許課程における「一般的包括的内容を含む科目」であり，中学一種，高校一種それぞれの「修得要件」に従い単位を修得すること。
④「修得要件」欄に「必修」「選択必修」と記載のあるものは，教員免許取得にかかる要件である(卒業要件については別途「実行教育課程表」を確認すること)。
⑤「教科に関する科目」に指定されている科目から20単位を超えて修得した分は，「教科又は教職に関する科目」の必要単位数に算入することができる。

地　球　惑　星　科　学　科

中学一種(理科)		教科に関する科目 (中学一種・高校一種共通)	単位	高校一種(理科)	
免許法施行規則上の科目区分	修得要件			修得要件	免許法施行規則上の科目区分
物理学	右の4科目から1科目選択必修	現代物理学	2	左の4科目から1科目選択必修	物理学
		生物系のための物理学	2		
		地球惑星科学のための古典力学	2		
		地球惑星科学のための電磁気学	2		
		地球惑星科学のための物理数学Ⅰ	2		
		地球惑星科学のための物理数学Ⅱ	2		
		地球連続体力学	2		
		データ解析学	2		
		地球内部物理学	2		
		流体力学	2		
		地球惑星流体力学Ⅰ	1		
		地球惑星流体力学Ⅱ	1		
化学	右の4科目から1科目選択必修	基礎有機化学	2	左の4科目から1科目選択必修	化学
		基礎物理化学	2		
		生物系のための有機化学	2		
		地球惑星基礎化学	2		
		地球化学	2		
		鉱物物理化学	2		
		有機地球化学	2		
生物学	右の2科目から1科目選択必修	細胞生物学概論	2	左の2科目から1科目選択必修	生物学
		生物多様性概論	2		
		古生物学	2		
地学	右の2科目から1科目選択必修	現代地球惑星科学概論1	2	左の2科目から1科目選択必修	地学
		現代地球惑星科学概論2	2		
		堆積学	2		
		鉱物学	2		
		惑星学	2		
		マグマ科学	2		
		岩石変形学	2		
		地球史	2		
		惑星大気構造学	2		
		海洋地質学	2		
		火山学	2		
		地震学	2		
		変動帯岩石科学	2		
		気象学	2		
		地球惑星電磁気学	2		
		陸水循環物理学	2		
		地球環境学	2		
		海洋気候物理学	2		
		地球資源科学	2		
		宇宙測地学	2		
		宇宙物理学	2		
物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)	必　修	自然科学実験(物理)[全学教育]	1	左の6科目から1科目選択必修	「物理学実験(コンピュータ活用を含む。)、化学実験(コンピュータ活用を含む。)、生物学実験(コンピュータ活用を含む。)、地学実験(コンピュータ活用を含む。)」
化学実験 (コンピュータ活用を含む。)	右の2科目から1科目選択必修	自然科学実験(化学)[全学教育]	1		
		地球惑星科学実験Ⅲ	2		
生物学実験 (コンピュータ活用を含む。)	必　修	自然科学実験(生物)[全学教育]	1		
地学実験 (コンピュータ活用を含む。)	右の2科目から1科目選択必修	自然科学実験(地球惑星科学)[全学教育]	1		
		地質学実習	4		

備考:
① 上表「教科に関する科目」欄において[全学教育]と記載のあるものは，全学教育科目として開講される科目を指す。
②「教科に関する科目」は，「免許法施行規則上の科目区分」の各カテゴリから1単位以上(それぞれに免許法施行規則で定める「一般的包括的内容を含む科目」を含む)，合計20単位を修得すること。
③ 上表でグレーの網掛けになっている科目は，各学科の免許課程における「一般的包括的内容を含む科目」であり，中学一種，高校一種それぞれの「修得要件」に従い単位を修得すること。
④「修得要件」欄に「必修」「選択必修」と記載のあるものは，教員免許取得にかかる要件である(卒業要件については別途「実行教育課程表」を確認すること)。
⑤「教科に関する科目」に指定されている科目から20単位を超えて修得した分は，「教科又は教職に関する科目」の必要単位数に算入することができる。

８．学芸員の資格取得について

学芸員とは，「博物館法」に定められた博物館（美術館，科学館，動植物園，水族館などを含む）に勤務する専門的職員です。

主な仕事は，専門分野の調査・研究，資料の収集・整理・保管・展示，利用者へのアドバイス， 地域住民に対する社会教育・生涯学習の指導・助言等。他に博物館の運営等の業務もあり，博物館全般の業務をこなします。

法令の定める「博物館に関する科目」（9 科目 19 単位）を全て修得し，かつ学士の学位を有することで学芸員になるための資格が得られます。

※入学年度により，必要な科目数，単位数および授業科目名が異なります。詳細については，下記ガイダンス等で説明します。

※学部2 年生から4 年生にかけての単位修得が原則とされますが，大学院生での修得も可能です。詳細については下記ガイダンス等で説明します。

《学芸員資格の取得に向けたガイダンスについて》

北海道大学では，学芸員資格の取得にかかる注意事項や授業の履修方法について説明する，「学芸員」資格取得ガイダンスを年２回開催しています。新たに学芸員資格の取得を希望している学生は，必ず出席してください。

なお，ガイダンスの詳細（日程・内容等）については，各学部等の掲示でお知らせしますので，必ず確認してください。

【ガイダンス開催日程および対象者】

	開催 時期	対象者	詳細情報 掲示時期	備考
第 1 回	1 月下旬 ～ 2 月上旬	既に北海道大学に在学中の学生	12 月上旬頃	いずれも同内容のガイダンスのため，どちらか一方に必ず参加すること。
第 2 回	4 月上旬	ガイダンス開催年度の 4 月に ①他大学から本学の大学院に進学した学生 ②3 年次編入学した学生 （第 1 回のガイダンスを欠席した学生）	3 月下旬頃	

《お問い合わせ先》

北海道大学文学研究科・文学部教務担当

電　　話：　011-706-3005

９．その他，理学部で取得可能な資格等について

理学部において，教育職員免許状の他，取得可能な資格等は次のとおりである。

なお，教育職員免許状については「７．教育職員免許状の取得について」，学芸員の資格取得については「８．学芸員の資格取得について」を参照すること。

資格等	該当学科	備考
測量士 （実務経験後取得）	数学科 物理学科 地球惑星科学科	卒業後，測量士補資格を取得のうえ，測量に関する実務経験が１年以上必要
測量士補 （資格）	数学科（※１） 物理学科（※１） 地球惑星科学科（※２）	※１　数学科及び物理学科においては，学科を卒業することにより申請資格を満たす。 ※２　地球惑星科学科においては，下表の指定科目の中から４０単位を修得することにより申請資格を満たす。
甲種危険物取扱者 （受験資格）	化学科 生物科学科 ［高分子機能学専修分野］	
毒物劇物取扱責任者 （資格）	化学科	

【地球惑星科学科における測量士補資格取得のための指定科目一覧】

区分	科目名	単位
選択必修科目A	微分積分学続論	2
	代数学・幾何学序論	2
	ベクトル解析	2
	現代物理学	2
	振動と波動の物理	2
	現代天文学	2
	生物系のための物理学	2
	現代地球惑星科学概論１	2
	現代地球惑星科学概論２	2
選択必修科目B	地球惑星科学のための物理数学Ⅰ	2
	地球惑星科学のための物理数学Ⅰ演習	1
	地球惑星科学のための古典力学	2
	地球惑星科学のための古典力学演習	1
	堆積学	2
	鉱物学	2
	地球惑星物質科学実習	3
選択必修科目C	地球惑星科学のための物理数学Ⅱ	2
	地球惑星科学のための物理数学Ⅱ演習	1
	地球惑星科学のための電磁気学	2
	地球連続体力学	2
	データ解析学	2
	惑星学	2
	マグマ科学	2
	岩石変形学	2
	量子力学Ⅰ	2
	統計力学Ⅰ	2
	地球惑星科学実験Ⅰ	2

区分	科目名	単位
選択必修科目D	惑星大気構造学	2
	海洋地質学	2
	火山学	2
	地震学	2
	変動帯岩石科学	2
	地球内部物理学	2
	気象学	2
	地球惑星科学実験Ⅱ	2
	地球計測実習	2
	地質学実習	4
選択科目	地球惑星電磁気学	2
	陸水循環物理学	2
	古生物学	2
	海洋気候物理学	2
	流体力学	2
	地球資源科学	2
	宇宙測地学	2
	宇宙物理学	2
	地球惑星科学実験Ⅲ	2
	地球惑星科学実験Ⅳ	2
	野外巡検	2
	地球惑星流体力学Ⅰ	1
	地球惑星流体力学Ⅱ	1
	相対論	2

１０．図書室の利用等について

（１）図書室について

本学には附属図書館（本館・北図書館）の他に，各学部・研究科等に各専門分野の学術資料（図書・雑誌等）を扱う図書室があります。理学研究院・理学院・理学部には，中央図書室と部門図書室があり，学術資料を収集し，学生・教職員の皆様の利用に供しています。資料は学生証により借用できます。

各図書室の配置場所は以下のとおりです。建物の場所は，理学部又は附属図書館のホームページ，案内板等でご確認ください。

①中央図書室　　6 号館（高層棟）6-1-05
②数学部門図書室　　3 号館 3-201
③物理学部門図書室　　5 号館 5-2-08
④地震火山研究観測センター（防災情報資料室）4 号館　4-208
※ご利用は資料室となりの事務室へお申込みください。

（２）中央図書室（6 号館 6-1-05）

○月曜日～金曜日　9：00 ～ 17：00 （土日祝日，年末年始は閉室)
※教員，研究員，大学院学生に限り 17：00 ～ 21：00 まで利用できます。（貸出は不可）

○貸出冊数及び期間

資料区分	冊数	期間
図書	5 冊	１５日
製本雑誌	5 冊	７日
未製本雑誌	5 冊	２日

○返却：カウンターまでお持ちください。閉室時はブックポストをご利用ください。

○複写
・校費：コピーカードによるセルフ方式です。(4 年生以上で指導教員の許可が必要)
　コピーカードは図書室カウンターの上のカードケースに収納してあります。複写の際は，複写機使用簿に必要事項を記入してください。
・私費：生協プリペイドカード専用複写機をご利用ください。（要コピーカード）

（３）数学図書室（3 号館 3-201）

○月曜日～金曜日　9：00 ～ 17：00 （土日祝日，年末年始は閉室)
※教員，研究員，大学院学生は 24 時間利用できます。（貸出は時間外借用証にて可）

○貸出冊数及び期間

資料区分	冊数	期間
図書	4 冊	１ヵ月
製本雑誌	当日貸出	
未製本雑誌		

※他学科生は図書が 3 冊 15 日間，雑誌は当日貸出。

○返却：カウンターまでお持ちください。閉室時はブックポストをご利用ください。

○複写
・校費：コピーカードによるセルフ方式です。(指導教員の許可が必要)
・私費：生協中央店，または中央図書室の生協プリペイドカード専用複写機をご利用ください。

（４）物理図書室（５号館 5-2-08）

○月曜日～金曜日　10：15 ～ 17：00 （土日祝日，年末年始，12 時 15 分～13 時は閉室）

○貸出冊数及び期間

資料区分	冊数	期間
図書	５冊	３０日
製本雑誌	当日貸出 カウンターの「貸出表」に記載をお願いします。	
未製本雑誌		

○返却：カウンターまでお持ちください。

○複写：

図書室内にコピー機は用意しておりません。カウンターの一時貸出簿に記載の上，生協等のコピー機をご利用いただきますようお願いします。(当日 17 時までにご返却下さい)

（５）貸出期間の延長・予約

○延長：

貸出期間を延長したい場合は，返却期限日までに当該資料と学生証をカウンターにお持ちいただくか，図書館 Web サービスから手続きを行ってください。（延長は１回限り可能。）返却期限日を過ぎた場合や，当該資料に予約が入っている場合は延長できません。
※数学科の学生は数学図書室利用の場合，自動延長となります。他学科生は除外。

○予約：

貸出中の図書には予約をかけることができます。当該図書が返却されたら連絡を差上げます。取置期間は一週間です。

（６）利用できるサービス

１）図書・雑誌等

中央図書室には理学関係の学生用図書，雑誌，参考図書，新聞等があり，自由に閲覧することができます。

図書は分類番号順（背表紙のラベルに貼付）に，雑誌は誌名のアルファベット順に配架されています。室内の案内図等をご覧ください。北大で所蔵している図書・雑誌等は全て北海道大学蔵書目録で検索できます。

２）電子ジャーナル・電子ブック

北大で契約している電子ジャーナル・電子ブックは，学内 LAN に接続されている端末であれば，どこからでも利用できます。

リモートアクセスサービスにより，自宅等学外からも利用できるものもあります。詳細は附属図書館ホームページをご覧ください。

３）データベース

北大で契約している各種データベースを利用できます。

理学関係では，

- Web of Science
- SciFinder
- Reaxys
- Biological Abstracts
- MarinLit
- Medline
- MathSciNet
- 化学書資料館（実験化学講座等）

等が有用です。詳細は附属図書館ホームページをご覧ください。

専門家によるデータベース使用方法の講習会が随時開催されます。ホームページや図書室の掲示板等でお知らせしますので，奮ってご参加ください。

4）博士学位論文の利用

平成 25 年度以降学位取得の博士論文は，北海道大学学術成果コレクション「HUSCAP」で閲覧可能です。(一部非公開)

平成24年度末までに学位取得された博士論文の利用については，中央図書室カウンターにご相談ください。なお，著者の許諾が無い限り，博士学位論文の複写は出来ません。

5）所蔵資料等の調査

北大に所蔵していない資料の調査や，論文調査，事項調査等も受け付けしています。お気軽にお尋ねください。

6）パソコン・学内 LAN の利用

中央図書室と数学図書室の閲覧机には，手持ちパソコンを学内 LAN に接続するための情報コンセントがあります。利用には DHCP 端末接続申請が必要です。情報基盤センターポータルページをご覧ください。(URL：http://www.hines.hokudai.ac.jp/terminal/) ELMS-ID 認証でネットワークが利用可能なパソコンも設置しています。

（7）他部局の図書室の利用

学生証を持参することで，他部局の図書室も利用することができます。貸出条件等は各図書室により異なります。校費で複写する場合は，指導教員の押印のある「複写機使用伝票」を持参してください。なお，直接出向かずに複写物を取り寄せることが可能な場合があります。詳しくは中央図書室へお問い合わせください。

（8）他大学からの文献の取り寄せ（有料）

1）複写物の取り寄せ

他大学所蔵の図書・雑誌の複写物を取り寄せることが出来ます。

2）図書の借用

北大に所蔵していない図書を他大学等の図書館から借用できます。

中央図書室カウンター（数学科の学生は数学部門図書室）又は図書館 Web サービスでお申し込みください。

（9）図書館 Web サービス

Web 上で，図書の貸出期間の延長や，図書室で購入してほしい図書のリクエスト，複写物の取り寄せ・図書の借用の申込等が出来るサービスです。詳しくは附属図書館ホームページをご覧下さい。

（10）お問い合せ先・図書館ホームページ

ご不明な点等があれば，中央図書室までお問い合わせください。

Tel: 011-706-2667 / E-mail: sci@lib.hokudai.ac.jp

利用できるサービスの詳細や最新情報等は，附属図書館ホームページをご覧ください。
https://www.lib.hokudai.ac.jp

Facebook でも情報を発信しています。
https://www.facebook.com/hokudailibrary/

＜ホームページ＞　＜Facebook＞

１１．理学部情報端末室について

理学部には，下記のような情報端末室があります。ここでは，全学の情報処理教育のための共同施設である「情報基盤センター」教育情報システムのクライアントコンピュータを利用することができます。

	設置場所	利用可能者	パソコン台数
①	理 5 号館 1-12	物理学科 2 年生以上の学部学生	15
②	理 5 号館 3-14	生物科学科(生物・高分子)2 年生以上の学部学生	15
③	理 8 号館 1-04	理学関係学生（理学部、理学院、生命科学院、総合化学院及び医理工学院等）であれば入室可能	20

①～③の場所は次ページを参照すること。

（１）端末室を利用するときに注意すべきこと

・室内は飲食厳禁となっており，飲食物を持ち込む必要がある場合は，必ずカバンの中に入れておいてください。
・端末室は盗難防止等を考慮し，常時施錠されています。ドアに障害物を挿めるなどして，施錠の邪魔をしないようにしてください。
・講義で利用している場合は講義が優先になります。また講義でも使用する場所になりますので，きれいに使用してください。
・私語を控え，打合せ等端末操作に関係のない用件で端末室を利用しないようにしてください。
・ごみは端末室から各自持ち帰るようにしてください。

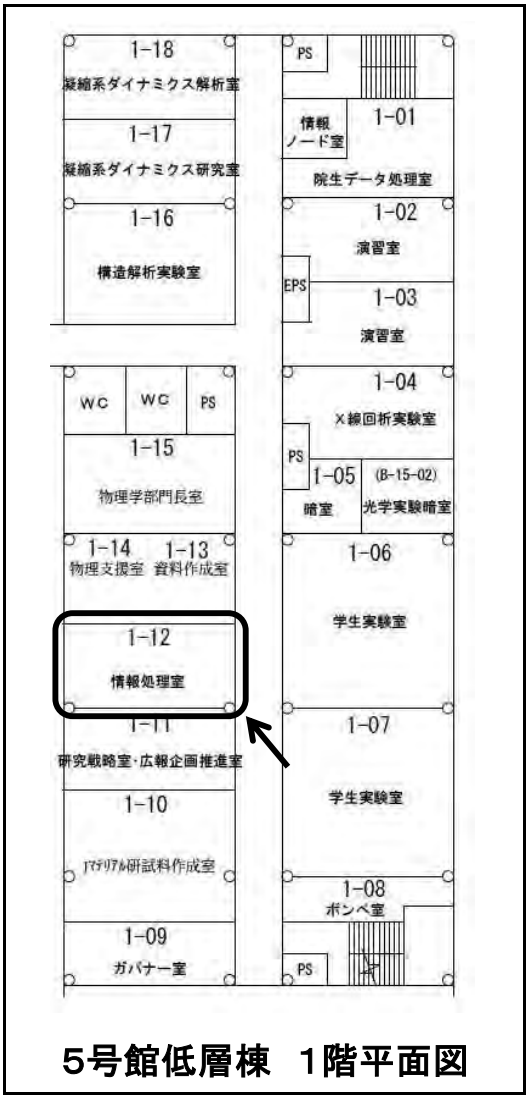
（２）パソコンを利用するときに注意すべきこと

本学では，大学の保有する情報や情報システムの利用に関して，法的あるいは社会的通念から倫理上問題となる行為を防止し，情報及び情報システムの適正かつ円滑な利用を促進することにより，教育・研究の充実を図ることを目的として,「情報倫理ガイドライン」を定めています。

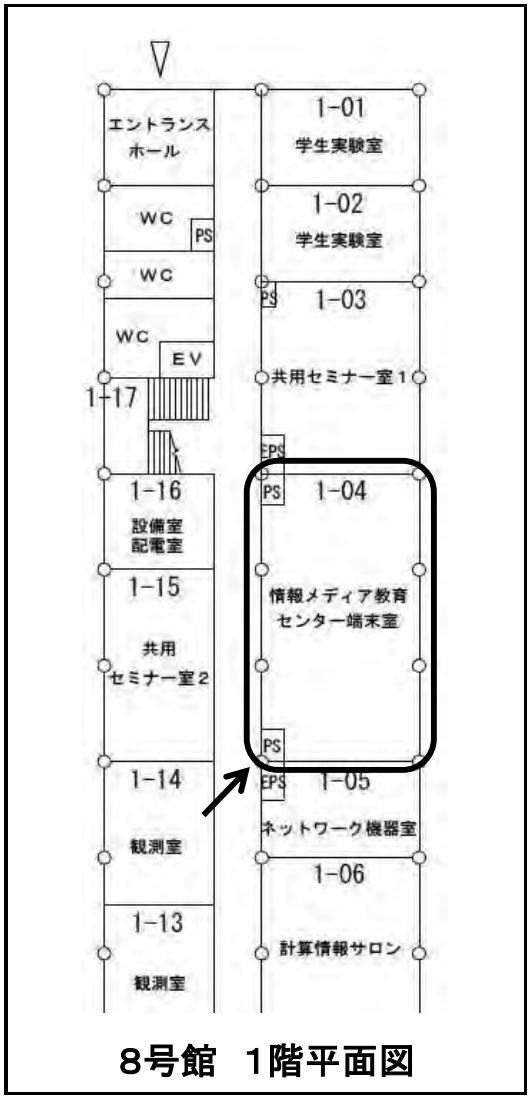
みなさんが大学のパソコンを利用する場合は，以下の事項を必ず遵守してください。

①教育・研究目的並びにそれらに関する業務目的以外の利用を行わない。
②名誉毀損，誹謗中傷，人権侵害，またはハラスメントに当たる行為を行わない。
③公序良俗に反する情報の取得及び情報の発信を行わない。
④個人のプライバシー及び肖像権を侵害しない。
⑤著作権，特許権等の知的所有権を侵害しない。
⑥虚偽の情報を提供する行為，詐欺行為，他人を詐称する行為を行わない。
⑦政治活動，宗教活動及び営利を主たる目的とした行為を行わない。
⑧秘密の保全の必要のある情報を漏洩しない。
⑨身分証及び利用識別番号（ＩＤ）を第三者に譲渡または貸与しない。
⑩パスワードを第三者に開示しない。
⑪情報システムの円滑な利用及び運用の支障となる行為を行わない。
⑫その他法令及び社会的通念に反する行為を行わない。

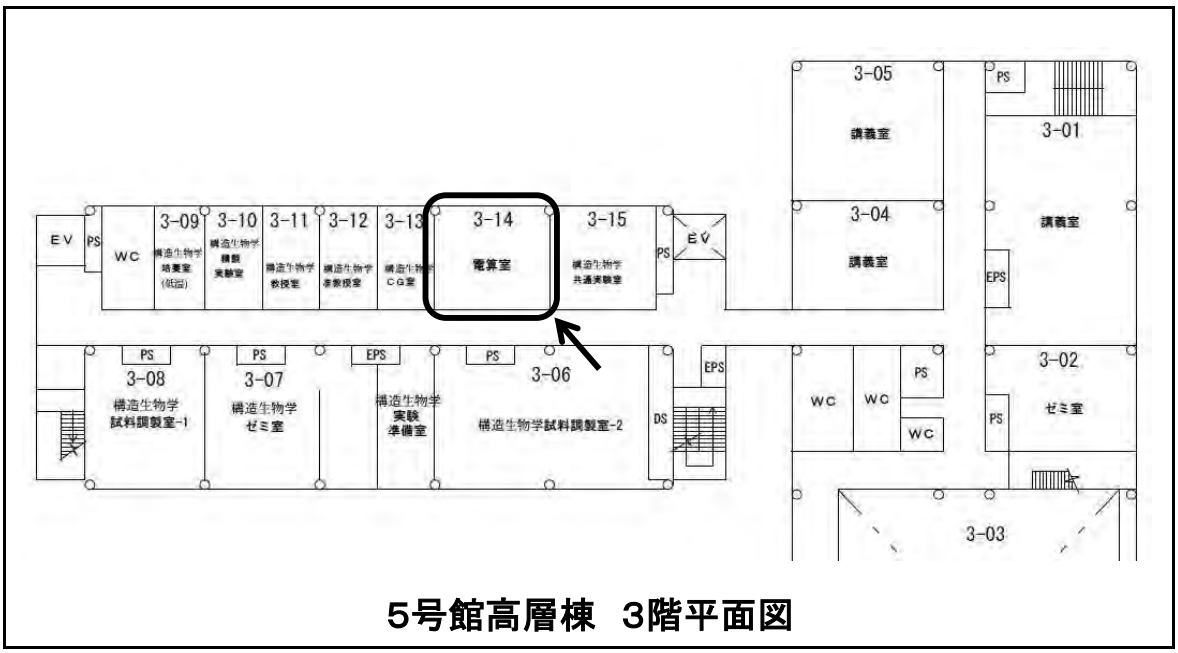
情報端末室設置場所



5号館低層棟　1階平面図



8号館　1階平面図



5号館高層棟　3階平面図

第　３　部

学 生 生 活 に
必 要 な 事 項

第３部　学生生活に必要な事項

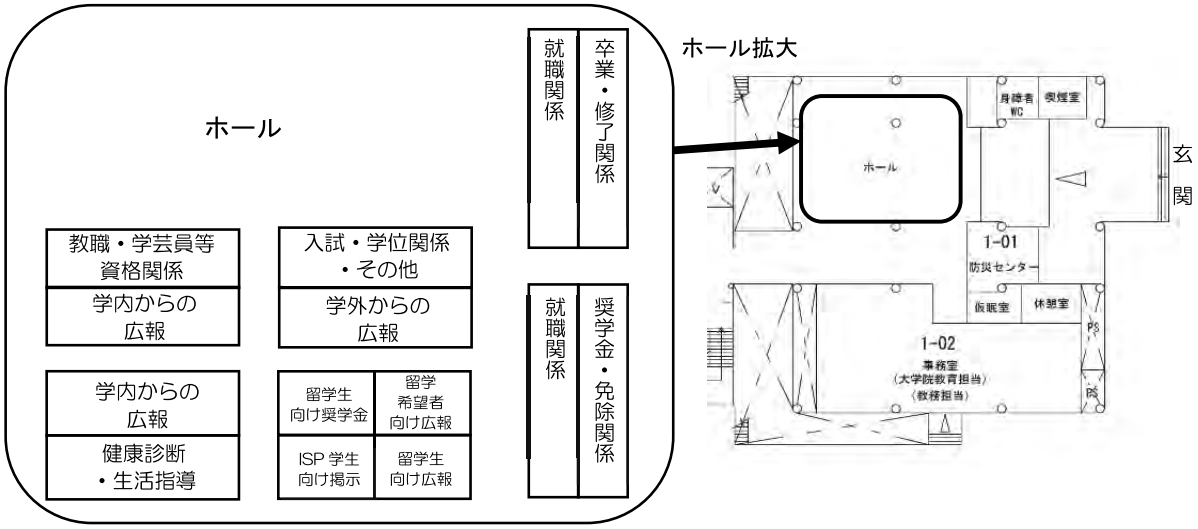
１．公用掲示について

授業に関すること，大学としての重要な連絡，その他学生に通知すべき一切の事項は，掲示により周知される。掲示の見落し，又は誤読は取り返しのつかない事態を生ずることがあるので，通学の際は，自分の不利益にならないよう，常に掲示に留意することが必要である。なお，呼出しの掲示を確認した者は，遅滞なく担当の窓口に出向くこと。

【掲示板の設置場所】

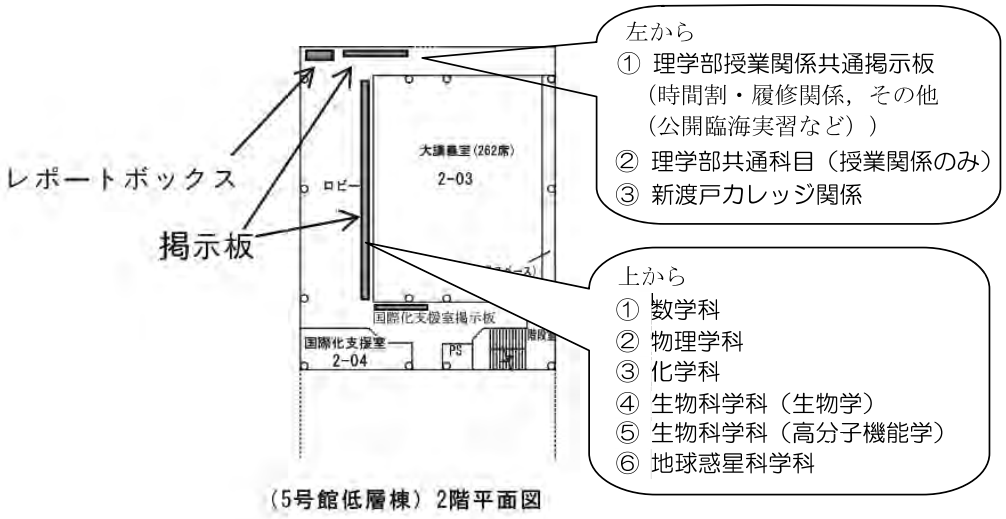
・理学部中央掲示板（２号館低層棟１階ホール）

全学生に対する一般的な通知等の掲示
（奨学金・授業料免除・教職・就職・卒業など）



・授業関係掲示板（５号館低層棟２階大講堂裏ロビー）

理学部の授業に関する掲示，各学科に関する掲示
（時間割・休講・補講など）



（5号館低層棟）2階平面図

※「理学情報システム」について

掲示の他，理学部では「理学情報システム」においても学生向けの重要な情報をお知らせしている。「理学情報システム」へログインするためのＩＤ・パスワードは２年次進級時に配布される。なお，１年に１度更新手続きが必要になるので忘れずに手続きをすること。

また，ＩＤ・パスワードを忘失した場合は，研究協力担当において発行手続きをとること。（研究協力担当の事務室は理学部本館２階Ｎ２２０Ａ※便覧平面図で確認すること。）

２．相談について

（１）教員との接触

修学，課外活動，健康，経済，その他一身上の事柄について問題が生じた場合には，何事によらず教員と相談し，迅速にその解決を図ることが望ましい。各学科の学科長，教務委員，学生委員は 55・56 頁を参照のこと。（年度により担当教員が変更となるため，不明な場合は理学部教務担当まで問い合わせること。）

なお，上記教員，指導教員に限らず，多くの教員と懇談することは，修学上有意義である。

（２）学生相談総合センター

・開室　月曜日～金曜日（祝日・休日を除く）９：００～１８：００
・受付　月曜日～金曜日（祝日・休日を除く）９：００～１７：００（予約優先）
・場所　学生交流ステーション２Ｆ

【予約について】

[E-mail の場合]

・E-mail：yoyaku@sacc.hokudai.ac.jp（予約のみ：共通）
　●メールで予約する場合は，必ず件名を「相談予約」と明記し，本文に①氏名・ふりがな，②所属・学年，③学生番号，④電話番号，⑤（相談したい室が決まっている場合のみ）「○○室」を記載してください。
　●このメールでの相談はできません。
・E-mail：gakusou-yoyaku@sacc.hokudai.ac.jp（予約のみ：学生相談室専用）
　●メールで予約する場合は，必ず件名を「相談予約」と明記し，本文に①氏名・ふりがな，②所属・学年，③学生番号，④電話番号を記載してください。折り返し電話にて相談日時を調整します。
　●このメールでの相談はできません。
・E-mail：aso@sacc.hokudai.ac.jp（予約・相談可：アクセシビリティ支援室専用）

[電話の場合]

・電話：０１１-７０６-７４６３（共通）

○学生相談室

学生生活を送るうえで，履修・勉学方法など修学上の問題，進学・就職などの進路上の問題，家庭や友人関係等様々な問題を抱えて悩むことがあると思います。学内には学生相談室があり，相談員がこのような様々な個人的な問題や悩みごとについての相談に応じ，その解決のため適切な助言・援助を行うことを目的に設置されています。

相談室では，面接の内容など個人にかかわる秘密は厳守し，本人の不利益になることは一切ありません。どんな小さなことについても相談に応じるので，気軽に相談室を利用してください。

○アクセシビリティ支援室

アクセシビリティ支援室では，障害のある学生が，修学や研究上，必要な支援や配慮を行っています。修学上困ったり悩んだりしている方に相談員による修学相談を行っています。教職員，図書館や研究施設等と協働し，障害のある学生の学びの環境を整えています。

障害のある学生とは，視覚障害，聴覚・言語障害，肢体不自由，病弱・虚弱，発達障害，

精神障害等の障害のため，修学及び研究上に困難がある学生のことです。
支援室の利用にあたり，面談及び利用登録等の手続きがありますが，まずは修学や大学生活において困っていることを聴かせてください。

（３）理学部 学生生活相談室

理学部では学修に励んでいる学生を対象とした「学生生活相談室」を平成２８年４月から開室しています。
北海道大学には学生の様々な問題に対応するため，高等教育推進機構「学生相談室」と保健センター「精神衛生相談」がありますが，場所が離れていることもあり，悩みやストレスを感じながらも利用をためらっている学生が多いのではないかと理学部では考えています。
そこで，時間が空いた時に友人や先輩に相談するような感覚で気軽に利用していただけるように理学キャンパスに臨床心理士をカウンセラーとして配置しました。
利用については，基本的に予約制ですが，相談中の札がかかってないときは，ノックして自由に入室して下さい。

【相談の申込み方法等】
・基本はメール，電話等による予約により利用。メールによる相談も可。
・開室日時
時間：火曜日及び木曜日（祝日・休日を除く）１３：００～１７：００
電話：０１１－７０６－３７１６
E-mail：nayami@sci.hokudai.ac.jp
※１回の相談時間は原則的に５０分。
※予約がない場合は来室自由。
・学生生活相談室の場所
理学部本館２階　Ｎ２１５室

３．休学，復学 及び 退学の手続きについて

休学，復学 及び 退学を希望するものは下記により手続きすること。手続き期限等を過ぎると学生生活に支障及び損失を生ずる恐れがあるので，願い出は必ず期限を厳守し理学部教務担当へ提出すること。

（１）休学願

病気その他の事由で休学（２か月以上）を願い出るときは，病気の場合は診断書（療養のための休学を必要とする期間を明記のもの）を提示し，理学部所定の休学願を理学部教務担当で受け取り，所属学科の学生委員又は指導教員に相談のうえ，学部長宛てに願い出（診断書等添付）て許可を受けること。
なお，手続きが遅れるとその期の授業料を納めなければならなくなるので，早めに手続きをすることが望ましい。
また，願い出は年度毎となるため，長期休学を要する場合は，まず当該年度に係る休学を願い出，年度末までに新年度の休学更新分を願い出る必要がある。
※　休学可能期間は，「第１部２．在学年限及び休学可能期間」を参照のこと。

（２）復学願

病気その他の事由により休学中の者が，その事由が消滅して復学しようとする場合には，理学部所定の復学願を理学部教務担当で受け取り，それにより学部長宛てに願い出て許可を受けなければならない。病気により休学していた場合は，医師の診断書が必要となる。

（３）退学願

止むを得ない事情のため退学するときは，理学部所定の退学願を理学部教務担当で受け取り，その事由を詳しく明記し，連帯保証人と連署で学部長宛てに願い出て許可を受けなければならない。

４．各種「願」と「届」及び「証明書」について

種々の願・届出が遅れることにより学生生活に支障及び損失を生ずる恐れがあるので，届け出はすべて迅速を期すこと。

なお，休学，復学 及び 退学に関する手続きは「第３部３．休学，復学 及び 退学の手続きについて」を参照すること。

（１）各種「願」と「届」について

１）学生証再交付願

紛失等のため学生証の再交付を受けようとするときは，理学部教務担当で配付している所定の学生証再交付願(「北大ＩＣカードの発行について」)に再発行手数料支払い（北大生協にて手続き）の領収書を添え願い出ること。交付までには１週間程度要する。交付を受けた後，旧学生証が無効になることは当然であるが，他人の手にわたり悪用されることもあるので，紛失しないよう日常所持には特に注意を払うこと。

２）保証書住所等変更届

本人又は，連帯保証人の住所変更，宛先区分の変更があったときは，所定の保証書住所等変更届により遅滞なく理学部教務担当まで届け出ること。

３）改姓（名）届

改姓名の届け出については，所定の用紙のほか戸籍謄本（抄本）の添付を必要とする。改姓名があった場合には，速やかに理学部教務担当へ申し出ること。

４）欠席届

止むを得ない事情（病気等）により授業を欠席する場合，届出用紙を自作（本便覧最終頁の見本をコピーする等（手書き可）して，本人直筆により作成）し，各担当教員に直接提出すること。

（２）各種証明書について

※「証明書自動発行装置（ＡＣＭ)」について

各種証明書は，証明書自動発行装置（ＡＣＭ）から入手することができる（発行操作には学生証が必要。）

・利用時間

月曜日から金曜日の午前９時から午後６時まで

（ただし，土曜・日曜・祝日，年末年始の期間及び年度始め等のデータ更新時期を除く。）

・設置場所

高等教育推進機構　Ｅ棟１階ロビー
クラーク会館　２階ロビー
文系共同講義棟　２階ホール
工学部　正面玄関ロビー
農学部　正面玄関入ってすぐ
水産学部　函館キャンパス講義棟ロビー
薬学部　正面玄関ホール
環境科学院　正面玄関ロビー

・発行枚数

在学証明書，成績証明書，卒業見込証明書は１日最大４枚まで，健康診断証明書は１日最大５枚まで，学割証は年間１０枚まで発行できる。

・操作方法

ＡＣＭのディスプレイに表示された指示に沿って必要な事項を入力することにより，証

明書の発行あるいはパスワードの変更を行うことができる。(初期パスワードがわからない場合は，高等教育推進機構⑧⑨番窓口又は理学部教務担当に問い合わせること。)

証明書の種類	備考	ＡＣＭでの発行
成績証明書	封筒に入れ，封を閉じる必要がある場合は理学部教務担当窓口に申し出ること。	可
在学証明書		
卒業見込証明書	最終学年に在学している場合のみ取得できる。	
健康診断証明書	当該年度内に限り取得できる。	
学校学生生徒旅客運賃割引証（学割証）	ＪＲ各社の営業キロが１００キロを超える区間を旅行する際に，運賃が割引となることがある。詳しくは「学生生活の案内」を参照すること。	
通学証明書	交通機関によって必要とする場合があるので，詳しくは「学生生活の案内」を参照すること。	不可：理学部教務担当窓口で発行

５．授業料及び奨学金について

（１）授業料について

授業料は年２期に分け，前期は５月中，後期は１１月中に学資支給人宛てに送付する「授業料納入のお知らせ」に従って，納入すること。

授業料

（前期）２６７，９００円

（後期）２６７，９００円

※　入学時及び在学中に授業料改定が行われた場合には，改定時から新授業料が適用される。

各期において納付期限までに授業料を納付せず，督促を受けてもなお納付しない者であって，所定の期日までに退学願を提出しない者は，各期の末日（前期９月 30 日，後期３月 31 日）をもって除籍とする。

なお，授業料が納付されていない学期に履修した授業科目の単位は，退学，除籍を問わず将来に渡って，一切認定しない。

（２）授業料免除について

授業料の納入が困難な学生に対して，授業料の全額，半額若しくは４分の１を免除する制度がある。

手続き等の詳細については，入学時に配付されている「学生生活の案内」及び掲示等を参照すること。

（３）奨学金について

本学では学業・研究に励む学生を経済的に支援するため，日本学生支援機構，その他各種奨学金について取扱っている。奨学金の種類，手続き等の詳細については，入学時に配付されている「学生生活の案内」及び掲示等を参照すること。

６．健康診断と健康管理について

（１）健康診断について

理学部においては実験・実習等が多種多様にあり，健康診断は重要となる。

特に最終年次においては，大学院入学試験や就職試験等を受験する際に健康診断書が必要となる場合があるので，必ず定期健康診断を受けておくこと。

なお，Ｘ線装置や放射性同位元素等を使用する者については，特別な健康診断が必要なので，掲示等による指示に注意すること。

（２）保健センターについて

定期健康診断と共に重要なのは日々の健康管理である。保健センターでは，専門医・カウンセラーによる健康相談と応急的な診療を行っている。積極的な態度で自分自身の健康管理をする心構えを持ち，身体的・精神的に心配なことや気になることがあるときには，保健センターを訪れてください。受診方法等，詳しい内容は入学時に配付されている「学生生活の案内」及び保健センターＨＰを参照すること。

保健センターＨＰ：https://www.hokudai.ac.jp/hoken/

（３）飲酒事故の防止について

北大では，学生の飲酒事故の防止について，機会あるごとに繰り返し注意を喚起しているにも関わらず，残念ながら，未成年者の飲酒行為や過度の飲酒で救急搬送される事故が多く発生している。過度な飲酒は自制し，重大な事故が生ずることのないよう節度ある行動を取ること。未成年者の飲酒は法律違反であり，飲酒を無理強いした者は刑事罰の対象となるので，くれぐれも注意すること。

また，飲酒を伴った社会的モラルを問われる行為により，たびたび一般市民や団体等から苦情が寄せられており，これは飲酒のうえでの行為といえども許されることではなく，一部の学生の行為が本学全体の品位を汚すような重大なことになるので，十分注意のうえ北大生として模範たる行動を取るよう心がけること。

７．犯罪，不正行為（非違行為）と処分について

北海道大学には，学生が犯罪や不正行為（非違行為）を行った場合，「懲戒処分」を行う規程がある。自分の行動が，法律や規則のみならず，大学のルールに違反していないか，十分に注意すること。

「懲戒処分」には，「譴責（文書による注意・指導）」，「停学」，「退学」があり，次のような処分がくだされることがある。なお，懲戒の内容は事案によって変わることがある。

①　教育・研究に関すること

●　定期試験で他人の解答を写す（試験不正行為）　…　停学

出欠を成績評価の基礎とする授業において，他人の出席を代理で行う行為，いわゆる「代返」も不正に成績を得ることと変わらないため，決して行わないこと。

また，レポートの盗用や剽窃についても，不正行為として厳しい処分をもって対応する。レポートや論文の作成にあたっては，ラーニングサポート室（https://lso.high.hokudai.ac.jp/）に掲載されている「引用の仕方」等を参考にすること。

②　学生生活に関すること

●　他人の財物を窃取する（窃盗行為）　……　退学，停学または譴責
●　わいせつな行為や痴漢行為を行う　……　退学，停学または譴責
●　学内ネットワークを不正に使用する，
　またはネットワーク上で他人を誹謗中傷する　……　退学または停学
●　無免許運転や飲酒運転など悪質な交通法規違反　…　停学または譴責
●　飲酒運転と知りながら車に同乗する　……　停学または譴責

悪質な交通法規違反による交通事故で他人を死傷させた場合は，更に処分の内容が重くなることがある。

③　その他に関すること

留学生の場合，一般的には「留学」のビザが与えられている。在留資格は更新が必要で更新を怠ると，「不法滞在」になる。

日本の場合，不法滞在は懲役刑や罰金刑が科せられることがあるほか，日本国内での犯罪行為により１年以上の懲役や禁錮を科せられた者は，日本への再上陸ができなくなる。

事件や事故は，引き起こした本人だけでなく，指導の先生や家族・友人にも大きな悲しみを与える。少しの不注意で快適な学生生活を失ってしまわないよう，良識をもって毎日を過ごすこと。

８．夜間及び休日の事故等発生について

夜間及び休日に事故等が発生した場合は，理学部防災センター（電話 011-706-2660）へ連絡すること。

なお，本便覧内の図面「理学部関係校舎案内」に掲載されている校舎以外の，本学内の建物における事故等については，各建物で緊急時の対応が定められている場合があるので，各建物の定めに従うこと。

９．学生教育研究災害傷害保険・学研災付帯賠償責任保険について

学生教育研究災害傷害保険は，正課中，課外活動中又は学校行事中に生じた事故等による傷害に対し，その程度に応じて保険金が支払われる補償制度である。

学研災付帯賠償責任保険は，正課，学校行事及びその往復中で，他人にケガをさせたり，他人の財物を損壊したりしたことにより被る法律上の損害賠償を補償するものである。

移行後の理学部において保険はますます重要となる。特に実験・実習を伴う学科に移行した者は，全員が加入することを勧める。

未加入の学生で加入を希望する者は，入学時に配付される「学生生活の案内」を参照のうえ，学務部学生支援課保険担当窓口（福利厚生会館内２階北大生協購買北部店またはクラーク会館内２階北大生協共済カウンター）で関係書類を受領し手続きすること。

１０．Ｘ線装置，放射性同位元素等の使用について

Ｘ線装置及び放射性同位元素等を取り扱うためには，所定の手続きが必要となる。研究実験等で取り扱いが必要となる場合は，指導教員と十分打合せをし，４月初旬までに研究協力担当へ申請書を提出すること。

使用のための手続き

①新規の場合　　北海道大学エックス線障害予防規程・放射線障害予防規程に基づき，エックス線障害・放射線障害防止のための教育訓練及び保健センターで特別の健康診断（例年６月頃実施）を受け，その結果により，ガラスバッチと取扱者手帳の交付を受けてからでなければ使用できない。

②継続の場合　　３月中旬までに所定の手続きを行うこと。

使用中の手続き

①ガラスバッチ：　毎月５日までに必ず交換すること。

②健康診断：　申請者に対し，半期毎にお知らせするので，必ず受診すること。

③教育訓練：　毎年必ず受講すること。

（その他）

登録申請・教育訓練については，主に理学情報システムにより周知する。

他部局の施設を利用する場合は，別途申請が必要である。放射性同位元素等取扱者は，利用する施設の教育訓練を併せて受講しなくてはならない。

１１．その他留意事項

（１）遺失物について

理学部内で届いた遺失物（忘れ物，落し物）は，学生証・財布等の貴重品を除き，２号館１階学務担当合同事務室脇の「落し物用陳列棚」に陳列しているので，鍵のかかっている棚の遺失物に心当たりがある場合には，理学部教務担当に申し出ること。なお，貴重品については教務担当窓口で保管しているので，心当たりがある場合には各自申し出ること。

その他不明な点については，理学部教務担当に問い合わせること。

（２）自動車による通学の禁止について

本学では，構内における交通安全を確保し，教育研究の場に相応しい環境を維持するため，自動車（オートバイを含む）による通学を禁止している。

（３）自転車の通行ルール

自転車の運転には，道路交通法上の通行ルールを守らなければならない。キャンパス内外を問わず，安全運転を心掛けること。

なお，自転車は指定された場所に駐輪すること。また壊れた場合でも放置することなく，最後まで責任をもって自転車の面倒をみること。

（４）下駄履などの禁止

理学部校舎における下駄履き及びインラインスケート等は，講義，実験，研究等に多大な支障を及ぼすため厳禁とする。

（５）泥靴に注意

屋内に入るときは靴の泥を十分拭うよう注意する。

（６）喫煙について

喫煙は喫煙指定場所で行うこと。建物の内外を問わず，当該喫煙指定場所以外の喫煙を禁止する。

（７）その他

理学部校舎内での放歌・舞踏は厳禁とする。また，理学部内の共有スペースをサークル又は部活利用等により占有して利用しないこと。

付　　録

１．各種委員会委員等一覧（平成３１年度）

※　年度により変更となるので，担当教員が不明な場合は教務担当へ確認すること。

（１）学部長・評議員・学科長・学科委員

役職等	学科等	職名	氏名	教員室	電話番号	備考
学部長	生物科学(生物学)	教授	堀口健雄	５号館６０９	２７３８	
評議員	数学	教授	齋藤睦	３号館６０５	２６３０	
学科長	数学	教授	本多尚文	４号館４１２	４８２５	
〃	物理学	教授	野嵜龍介	５号館２２１	２６９１	
〃	化学	教授	坂口和靖	６号館５０３	２６９８	
学科長	生物科学(生物学)	教授	小川宏人	５号館１０１４	３５２５	
学科委員	生物科学(高分子機能学)	教授	出村誠	２号館８０５	２７７１	
学科長	地球惑星科学	教授	中川光弘	６号館１１０２	３５２０	

（２）教務委員会

学科等	職名	氏名	教員室	電話番号	備考
委員長	教授	根本幸児	２号館１０１３	３４４１	全学教務委員会委員
数学	教授	洞彰人	４号館５１１	２６７４	
物理学	教授	小林達夫	２号館１１１２	３５３９	
化学	特任教授	武田定	７号館４０３	３５０５	
生物科学(生物学)	教授	加藤敦之	５号館７０６	４４６８	
生物科学(高分子機能学)	教授	黒川孝幸	次世代棟３F	９０１８	
地球惑星科学	准教授	栗谷豪	６号館１１０３	２７２９	
クラス担任代表	准教授	松山秀生	５号館２２０	４４１６	物理
地球環境科学研究院	特任教授	松田冬彦	環Ｂ６０４	４５２０	(化学)
〃	准教授	越川滋行	環実験棟１２	２２３６	(生物学)
〃	教授	久保川厚	環Ｂ４０１	２３６４	(地球惑星科学)
先端生命科学研究院	教授	黒川孝幸	次世代棟３F	９０１８	

（３）学生委員会

専攻・学科等	職名　　氏　　名	教 員 室	電話番号	備　　考
委員長（数学科）	教　授　齋　藤　　睦	３号館６０５	２６３０	評議員
副　委　員　長				全学学生委員会委員
数　学　専　攻	教　授　朝　倉　政　典	４号館５０２	２７２０	
物性物理学専攻	准教授　吉　田　紘　行	５号館２１９	２６８２	
宇宙理学専攻	准教授　鎌　田　俊　一	８号館２０７	３５７１	
自然史科学専攻	教　授　小　亀　一　弘	５号館６０８	２７４５	
数　　学　　科	教　授　朝　倉　政　典	４号館５０２	２７２０	
物　理　学　科	准教授　武　貞　正　樹	５号館２１８	２６８０	
化　　学　　科	准教授　小　林　厚　志	７号館５０８	３４７９	
生物科学科（生物学）	准教授　田　中　暢　明	５号館１０１２	２７４９	
生物科学科（高分子機能学）	教　授　黒　川　孝　幸	次世代棟３Ｆ	９０１８	
地球惑星科学科	教　授　倉　本　　圭	８号館２０２	３８２７	

２．理学部担当教員一覧

（註）研究室は，基本的に理学部関係の教員研究棟を記載

「２－　」：理学部２号館研究棟
「３－　」：理学部３号館研究棟
「４－　」：理学部４号館研究棟
「５－　」：理学部５号館研究棟
「６－　」：理学部６号館研究棟
「７－　」：理学部７号館研究棟
「８－　」：理学部８号館研究棟
「環　」：地球環境科学研究院
「低　」：低温科学研究所
「遺　」：理ゲノム西棟（遺伝子実験棟）
「実　」：理ゲノム東棟（実験生物棟）
「次世代」：次世代物質生命科学研究棟
「創　」：創成科学研究棟
「博　」：総合博物館
「電　」：北キャンパス総合研究棟5号館
「電（中央）」：中央キャンパス総合研究棟2号館

（註）４桁の学内電話番号へ外線電話，携帯電話等からかける場合は，学内電話番号の前に
“０１１－７０６－”をつけること

《数学科》

職　名	氏　名	研究室	学内電話
（代数系）			
理学研究院			
教授	朝倉 政典	4-502	2720
教授	齋藤 睦	3-605	2630
教授	松本 圭司	4-407	2675
教授	山下 博	4-504	2626
准教授	澁川 陽一	3-510	4835
准教授	ｾｯﾃﾊﾟ ﾈｰﾗ，ｼﾓｰﾅ	3-509	2617
准教授	田邊 顕一朗	3-614	2618
准教授	松下 大介	3-618	3515
助教	跡部 発	4-512	3727
（幾何系）			
理学研究院			
教授	秋田 利之	4-415	3747
教授	石川 剛郎	4-503	3728
教授	岩﨑 克則	4-513	3444
教授	大本 亨	3-512	4814
教授	吉永 正彦	3-615	3418
准教授	小林 真平	4-404	3833
准教授	秦泉寺 雅夫	3-607	3530
准教授	古畑 仁	4-406	3729
助教	神田 雄高	3-506	3568
助教	ﾄﾘｴｯﾘ，ﾐｹｰﾚ	3-507	4812
（解析系）			
理学研究院			
教授	洞 彰人	4-511	2674
教授	本多 尚文	4-412	4825
教授	正宗 淳	3-604	3417
准教授	小林 政晴	4-505	2672
准教授	戸松 玲治	3-517	4837
准教授	長谷部 高広	3-606	4823
准教授	浜向 直	4-405	2676
准教授	宮尾 忠宏	3-519	4829
（数理科学系）			
理学研究院			
教授	栄 伸一郎	3-612	4824
教授	久保 英夫	3-518	2649

教授	神保 秀一	3-610	4828
教授	由利 美智子	4-414	3823
准教授	黒田 紘敏	3-603	4822
准教授	坂井 哲	3-513	4669
准教授	行木 孝夫	3-514	4439
准教授	松本 健司	3-505	2627

電子科学研究所

教授	長山 雅晴	電（中央）05-105	3357
准教授	小林 康明	電（中央）05-103-2	2412
准教授	佐藤 譲	電05-102-2	9453
准教授	寺本 央	電05-103-2	9435
助教	秋山 正和	電（中央）05-103-1	3362

《物理学科》

職　名	氏　名	研究室	学内電話

（実験物理学関係）

理学研究院

教授	網塚 浩	5-132	3484
教授	小田 研	5-217	3575
教授	河本 充司	5-129	4423
教授	野嵜 龍介	5-221	2691
准教授	三品 具文	5-131	3551
准教授	松山 秀生	5-220	4416
准教授	柳澤 達也	5-130	4422
准教授	徂徠 和夫	2-316	4435
准教授	松永 悟明	5-127	4427
准教授	武貞 正樹	5-218	2680
准教授	吉田 紘行	5-219	2682
講師	井原 慶彦	5-128	4426
助教	山本 夕可	5-122	4428
助教	日髙 宏之	2-210	3558
助教	延兼 啓純	5-124	4431
助教	黒澤 徹	2-104	2682
助教	福岡 脩平	5-120	4424

電子科学研究所

教授	石橋 晃	電03-101	9423
准教授	近藤 憲治	電03-102-1	9424

（理論物理学関係）

理学研究院

教授	鈴木 久男	2-1108	3438
教授	山本 昌司	2-1115	2681
教授	根本 幸児	2-1013	3441
教授	小林 達夫	2-1112	3539
准教授	北 孝文	2-1114	2687
准教授	中山 隆一	2-1110	2696
准教授	木村 真明	2-1008	2689
講師	末廣 一彦	2-1111	2686
講師	大原 潤	2-315	3668
講師	堀内 渉	2-1009	2684
講師	岡本 崇	2-914	2893
助教	奥田 浩司	2-1015	3442
助教	朴 銀鏡	2-1109	4415
助教	速水 賢	2-1113	2694

（科学史・科学基礎論関係）

理学研究院

教授	松王 政浩	5-215	4420
准教授	川本 思心	5-216	2699

《化学科》

職　名	氏　名	研究室	学内電話
（物理化学分野）			
理学研究院			
教授	石森 浩一郎	7-105	2707
教授	武次 徹也	7-501	3535
教授	村越 敬	6-707	2704
教授	佐田 和己	7-214	3473
教授	前田 理	7-304、フロンティア応用科学研究棟5-04	4921、8118
特任教授	武田 定	7-403	3505
准教授	角五 彰	7-215	3474
准教授	原田 潤	7-302	3563
准教授	内田 毅	7-104	3501
講師	小林 正人	7-504	3502
特任講師	竹内 浩	7-103、5-213	3533
特任講師	丸田 悟朗	5-213	
助教	景山 義之	7-410	3532
助教	高橋 幸裕	7-306	3534
助教	小門 憲太	7-215	3474
助教	岩佐 豪	7-503	3821
助教	齋尾 智英	7-118	3506
助教	南本 大穂	6-709	4684
助教	周 睿風	6-709	4662
助教	李 笑瑋	6-709	3440
助教	原渕　祐	7-305、フロンティア応用科学研究棟5-04	4665、8118
助教	福島知宏	6-709	4811
電子科学研究所			
教授	居城 邦治	創04-304	9360
教授	小松崎 民樹	電05-103-1	9434
教授	西井 準治	創05-306	9377
教授	松尾 保孝	創03-305	9340
准教授	三友 秀之	創04-105-1	9344
助教	藤岡 正弥	創03-304	9346
触媒科学研究所			
教授	福岡 淳	創04-310-2	9140
教授	中野 環	創05-309-1	9155
教授	長谷川 淳也	創05-217-B	9145
准教授	中山 哲	創05-217-C	9145
准教授	中島　清隆	創04-309-2	9136
准教授	宋　志毅	創05-310-2	9157
助教	小林 広和	創04-309-2	9137
助教	Shrotri Abhijit	創04-309-2	9137
助教	高　敏	創05-217-C	9145

（無機・分析化学分野）
理学研究院

教授	加藤 昌子	7-510	3817
教授	上野 貢生	6-705	2697
准教授	分島 亮	6-406	2706
准教授	小林 厚志	7-508	3479
准教授	三浦 篤志	6-702	3222
助教	土井 貴弘	6-406	2715
助教	吉田 将己	7-508	3819
助教	藤井 翔	6-703	2710
助教	諸角 達也	環-B506	2238

（有機・生命化学分野）
理学研究院

教授	澤村 正也	6-605	3434
教授	谷野 圭持	6-602	2705
教授	及川 英秋	7-409	2622
教授	鈴木 孝紀	6-504	2714
教授	坂口 和靖	6-503	2698
教授	村上 洋太	7-208	3813
准教授	鈴木 孝洋	6-601	2703
准教授	髙橋 正行	2-202	3814
准教授	南 篤志	7-407	3429
講師	清水 洋平	6-608	2719
助教	池内 和忠	6-607	2716
助教	高畑 信也	2-203	3815
助教	岩井 智弘	6-608	3432
助教	上遠野 亮	6-505	3396
助教	鎌田 瑠泉	6-507	2721
助教	劉 成偉	7-404	2612
助教	石垣 侑祐	6-509	2701
助教	尾﨑 太郎	7-404	2612
助教	Arteaga Arteaga Fernando	6-609	4647

遺伝子病制御研究所

教授	髙岡 晃教	N1-301	5020
教授	藤田 恭之	N4-208	5527
講師	佐藤 精一	N1-301	5536
講師	田守 洋一郎	N4-111	5530
助教	谷村 信行	N4-111	5530

（化学）
地球環境科学研究院

教授	小西 克明	環-B608	4538
教授	八木 一三	環-C401	4526
教授	沖野 龍文	環-実23	4519
教授	神谷 裕一	環-C409	2217
教授	野呂　真一郎	環-B702	2272
特任教授	松田 冬彦	環-B604	4520
准教授	豊田 和弘	環-C408	4512
准教授	廣川 淳	環-B501	4528
准教授	川口 俊一	環-C511	2289
准教授	梅澤 大樹	環-C601	2358
准教授	七分 勇勝	環-B608	4509
准教授	加藤 優	環-B504	2276
助教	中田 耕	環-C510	4537
助教	大友 亮一	環-B502	2259

《生物科学科（生物学）》

職　名	氏　名	研究室	学内電話
理学研究院			
教授	堀口　健雄	5-609	2738
教授	山口　淳二	5-711	2737
教授	加藤　敦之	5-706	4468
教授	松島　俊也	5-913	3523
教授	水波　誠	5-911	3446
教授	山下　正兼	5-1108	4454
教授	増田　隆一	理ゲ西棟W209	2798
教授	髙木　昌興	5-513	4463
教授	藤田　知道	5-614	2740
教授	小川　宏人	5-1014	3525
教授	勝　義直	5-1008	4908
教授	黒岩　麻里	5-1105	2752
教授	小亀　一弘	5-608	2745
准教授	綿引　雅昭	5-612	4473
准教授	和多　和宏	5-910	4443
准教授	相馬　雅代	5-912	2995
准教授	北田　一博	理ゲ東棟E204	3582
准教授	木村　敦	5-1009	4452
准教授	柁原　宏	5-510	2755
准教授	小谷　友也	5-1109	4455
准教授	田中　暢明	5-1012	2749
准教授	千葉　由佳子	5-702	2744
准教授	ﾌｫﾙﾄｩﾅﾄ　ｴﾚﾅ	5-511	2751
准教授	加藤　徹	理ゲ東棟E201	3581
准教授	荻原　克益	5-1106	2748
特任准教授	髙田　泰弘	5-710	2742
講師	角井　敬知	5-512	2750
助教	伊藤　秀臣	5-707	4469
助教	西田　義憲	理ゲ西棟W210	2881
助教	吉田　郁也	理ゲ西棟W203	3589
助教	佐藤　長緒	5-701	3612
助教	水島　秀成	5-1103	3522
助手	出口　善行	理ゲ東棟E102	3578
地球環境科学研究院			
教授	大原　雅	環-C806	4525
教授	森川　正章	環-C709-1	2253
教授	鈴木　仁	環-B804	2279
准教授	山崎　健一	環-C709-2	4522
准教授	三輪　京子	環-C707-1	4523
准教授	越川　滋行	環-実12	2236
助教	早川　　卓志		
助教	鷲尾　健司	環-C707-2	2281
助手	吉田　磨仁	環-B801	2872
北方生物圏フィールド科学センター			
准教授	四ツ倉　典滋	北方圏研究棟205	2585

室蘭臨海実験所

特任教授	本村 泰三	(0143)22-2846
准教授	長里 千香子	(0143)22-2846

厚岸臨海実験所

教授	仲岡 雅裕	(0153)52-2056
准教授	伊佐田 智規	(0153)52-2056

総合博物館

講師	阿部 剛史	理本館N323B	4507

《生物科学科（高分子機能学）》

職　名	氏　名	研究室	学内電話
先端生命科学研究院			
教授	出村 誠	2-805	2771
教授	相沢 智康	2-713	3806
教授	芳賀 永	2-612	4909
教授	姚 閔	5-311	4481
教授	西村 紳一郎	次世代棟6F	9043
教授	比能 洋	次世代棟6F	9040
教授	金城 政孝	次世代棟6F	9005
教授	綾部 時芳	次世代棟4F	9049
教授	門出 健次	次世代棟4F	9041
教授	黒川 孝幸	次世代棟3F	9018
教授	龔 剣萍	次世代棟2F	9011
教授	幸田 敏明	プラットフォーム3F	9062
准教授	尾瀬 農之	5-312	3221
准教授	上原 亮太	次世代棟5F	9238
准教授	中村 公則	次世代棟4F	9051
准教授	中島 祐	次世代棟3F	9016
講師	菊川 峰志	2-806	3435
講師	北村 朗	次世代棟6F	9542
特任講師	中岡 慎治	2-706	2774
助教	塚本 卓	2-802	4475
助教	石原 誠一郎	2-602	4483
助教	ﾌｧｲﾅ･ﾏﾘｱ･ｶﾞﾙｼｱ･ﾏﾙﾃｨﾝ	次世代棟5F	9033
助教	谷口 透	次世代棟4F	9048
助教	村井 勇太	次世代棟4F	9046
助教	ダニエル・R・キング	次世代棟3F	9016
特任助教	于 健	5-313	3433
特任助教	野々山 貴行	次世代棟3F	9016

電子科学研究所

教授	玉置 信之	創04-302	9356
教授	居城 邦治	創04-304	9360
教授	中垣 俊之	電02-106	9429
准教授	金 ゆ娜	創04-108	9350
准教授	三友 秀之	創04-105	9344
准教授	佐藤 勝彦	電02-107	9443
助教	松尾 和哉	創04-108	9350
助教	相良 剛光	創04-108	9350
助教	与那嶺 雄介	創04-105	9344
助教	西上 幸範	電02-107	9438

地球環境科学研究院

准教授	山田 幸司	環-B701	2254

《地球惑星科学科》

職　名	氏　名	研究室	学内電話
理学研究院			
教授	稲津 將	8-215	3549
教授	倉本 圭	8-202	3827
教授	高橋 幸弘	8-208	9244
特任教授	竹下 徹	6-901	4636
教授	永井 隆哉	6-805	2732
教授	中川 光弘	6-1102	3520
教授	古屋 正人	8-316	2759
教授	日置 幸介	8-317	3826
教授	見延 庄士郎	8-319	2644
教授	坂本 尚義	創02-320	9173
教授	蓬田 清	8-312	2758
准教授	石渡 正樹	8-205	3564
准教授	伊庭 靖弘	6-1005	3538
准教授	亀田 純	6-1002	4642
准教授	川野 潤	6-804	2728
特任准教授	佐藤 陽祐	8-311	
准教授	栗谷 豪	6-1103	2729
准教授	沢田 健	6-905	2733
准教授	高田 陽一郎	8-315	3526
准教授	吉澤 和範	8-310	3620
准教授	佐々木 克徳	8-320	4494
准教授	鎌田 俊一	8-207	3571
講師	佐藤 光輝	8-203	2763
講師	渡邊 剛	6-902	4637
助教	小高 正嗣	8-210	3566
助教	川﨑 教行	6-802	3586
助教	篠崎 彩子	6-806	2727
助教	馬上 謙一	6-801、創02-321	9174
助教	ﾏﾘ･ﾋﾟﾄﾝ	6-1003	4640
助教	吉村 俊平	6-1101	2723
地震火山研究観測センター			
教授	髙橋 浩晃	4-213	3212
教授	谷岡 勇市郎	4-214	2640
教授	橋本 武志	4-313	4677
特任教授	村上 亮	4-303	4484
准教授	勝俣 啓	4-202	2642
准教授	西村 裕一	4-201	4675
准教授	村井 芳夫	4-215	3553
准教授	青山 裕	4-302	4845
講師	大園 真子	4-203	2911
助教	田中 良	4-312	4679

総合博物館

教授	小林 快次	理本館N317	4730
准教授	山本 順司	理本館N314A	4733

地球環境科学研究院

教授	久保川 厚	環-B401	2364
教授	谷本 陽一	環-B303	2367
教授	長谷部 文雄	環-C304	2365
准教授	藤原 正智	環-B405	2362
准教授	堀之内 武	環-B305	2366
准教授	山下 洋平	環-A203	2349
准教授	山本 正伸	環-A204	2379
助教	入野 智久	環-A202	2226
助教	水田 元太	環-A403	2357

低温科学研究所

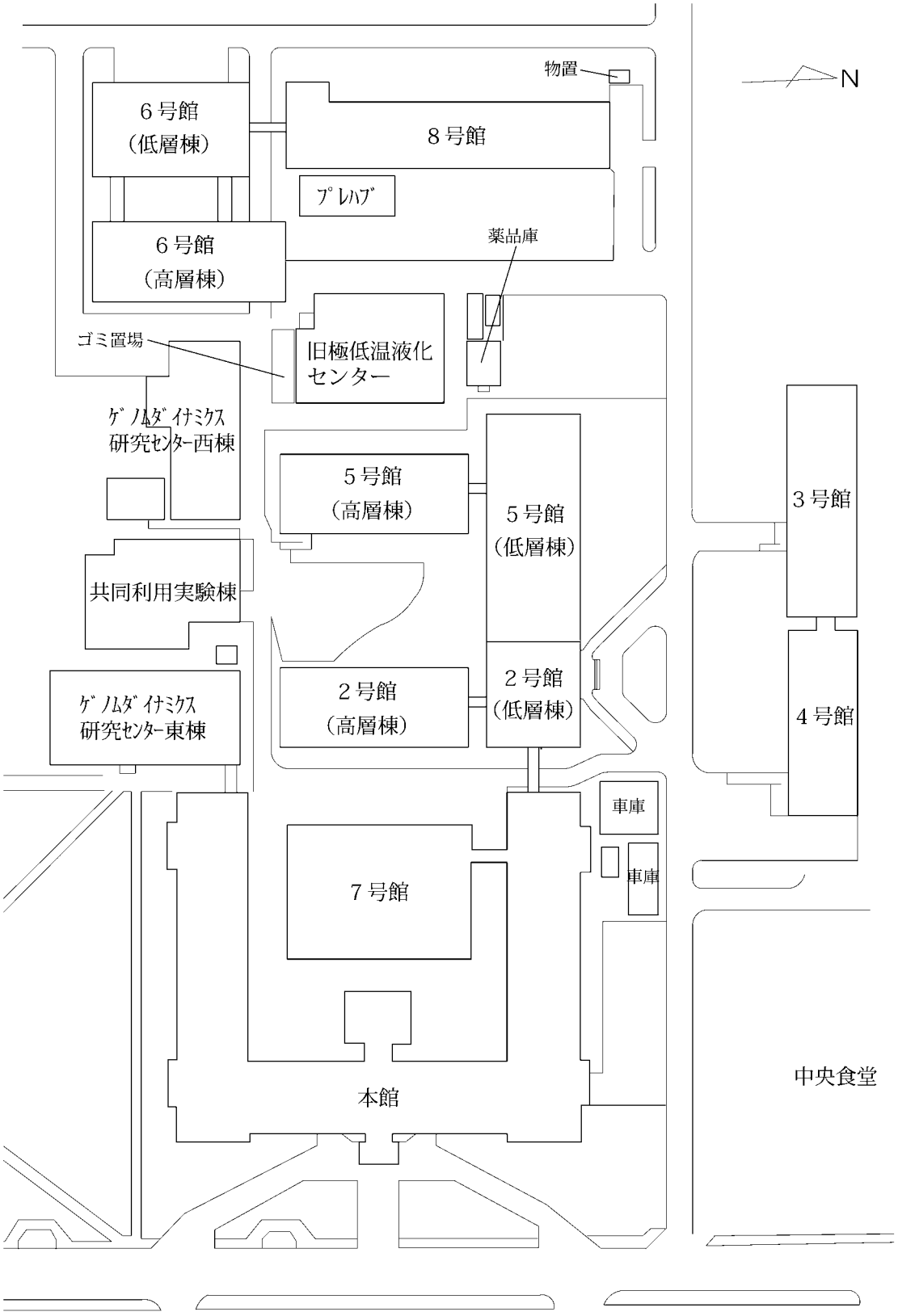
教授	大島 慶一郎	低-N111	5481
教授	香内　晃	低-実験棟2F	5500
教授	三寺 史夫	低-330	5478
准教授	深町 康	低-N112	7432
講師	中村 知裕	低-329	7497

北極域研究センター

教授	杉本 敦子	環-E202	2233

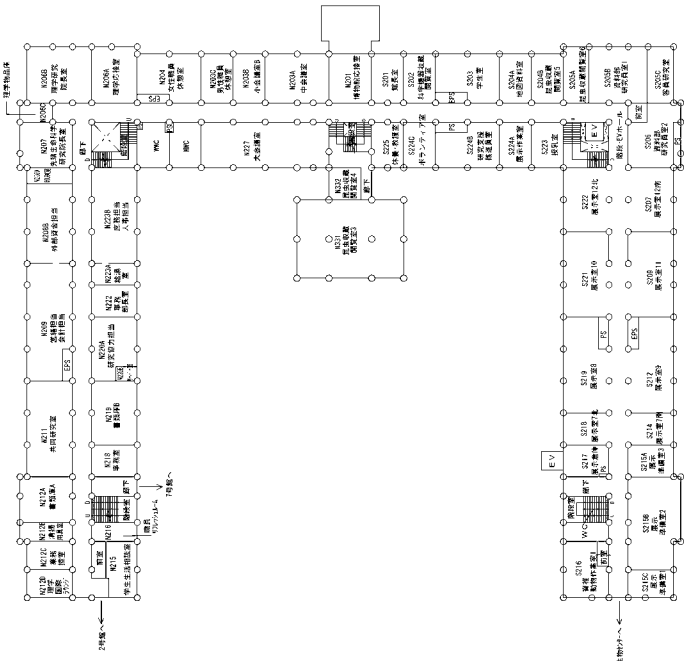
３．理学部関係校舎案内

（１）配置図

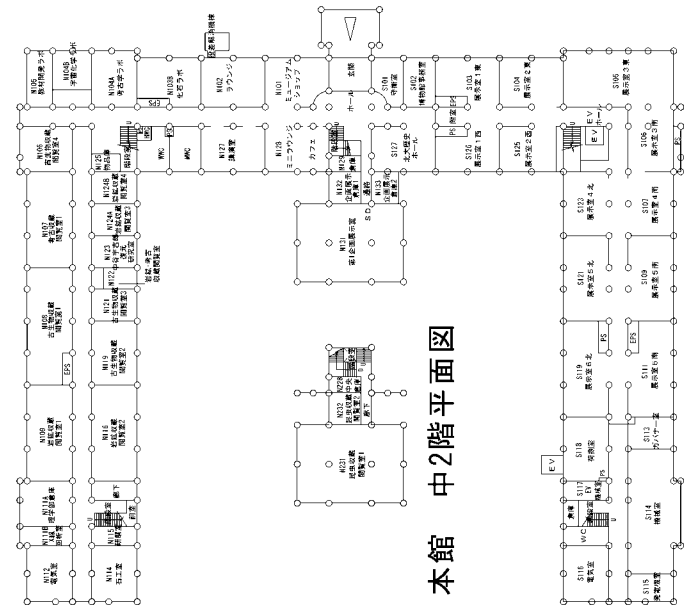


（２）各校舎平面図

本　館
（1階～2階）



本館　2階平面図

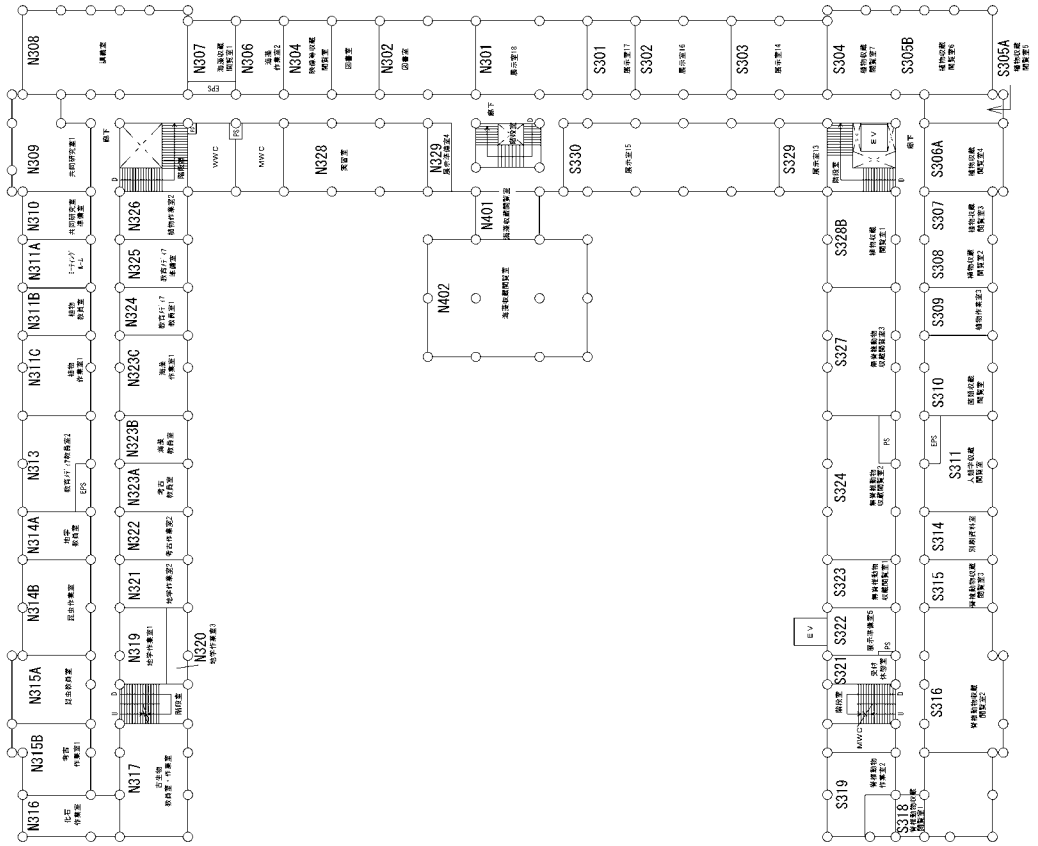


本館　中2階平面図

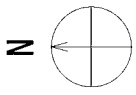
本館　1階平面図

N

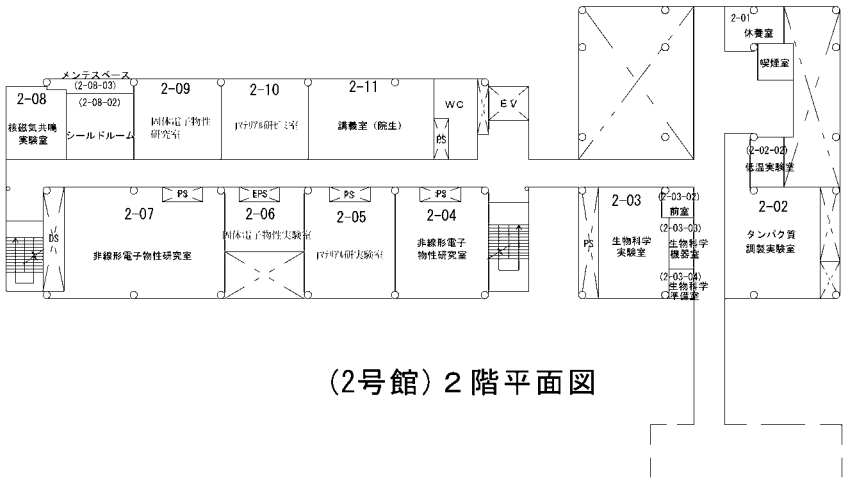
本　館
（3階）



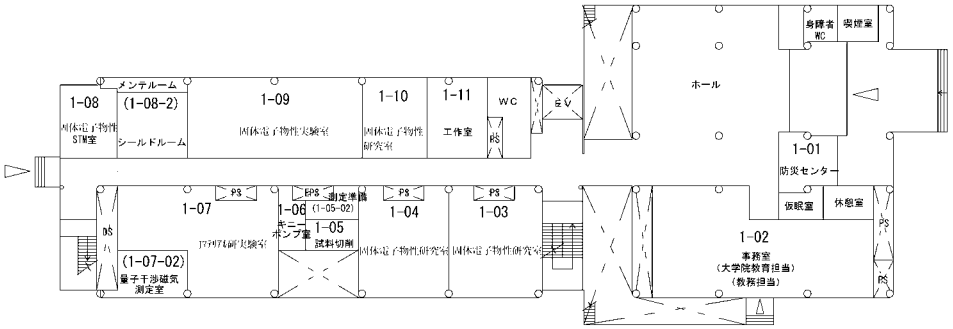
本館　3階平面図



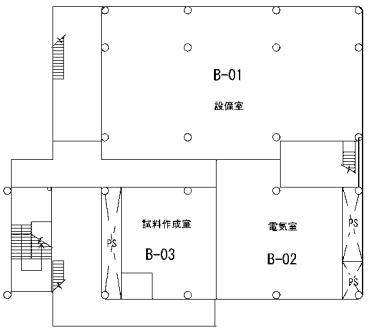
2 号 館
（地階～2階）



（2号館）２階平面図

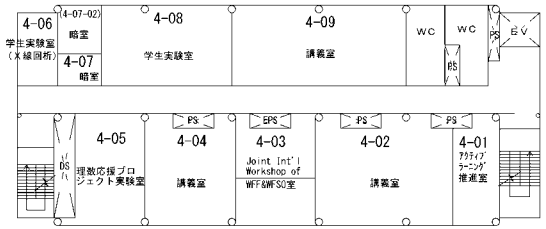


（2号館）１階平面図

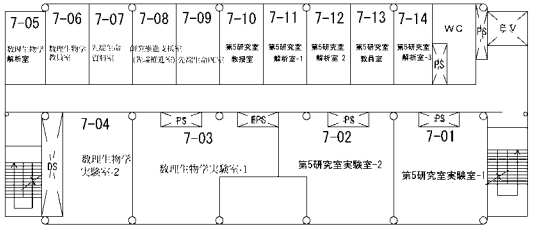


（2号館）地階平面図

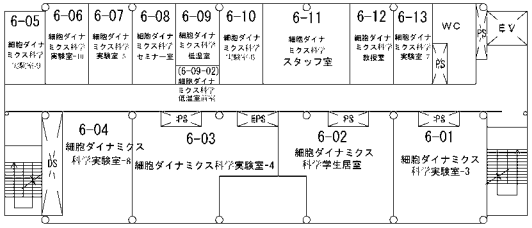
２ 号 館
（3階～7階）



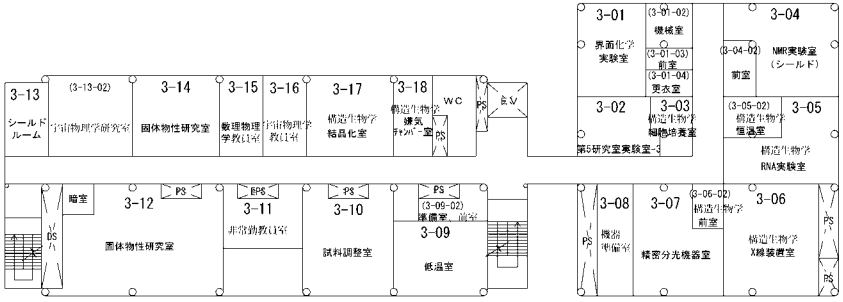
（2号館）４階平面図



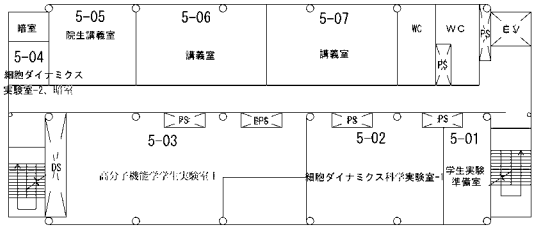
（2号館）７階平面図



（2号館）６階平面図



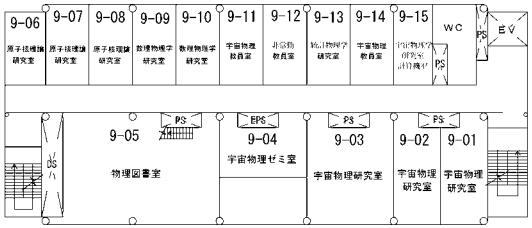
（2号館）３階平面図



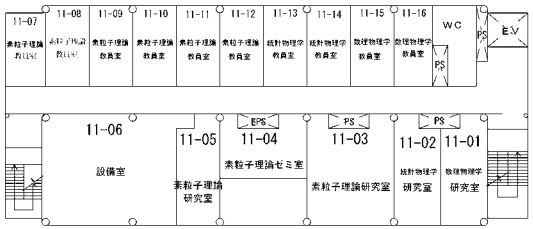
（2号館）５階平面図

N

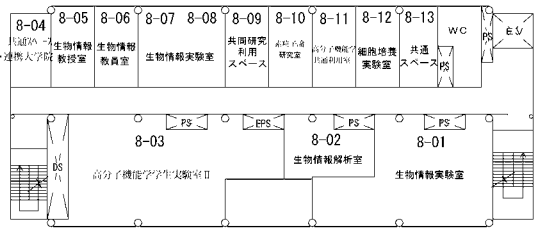
２ 号 館
（8階～11階）



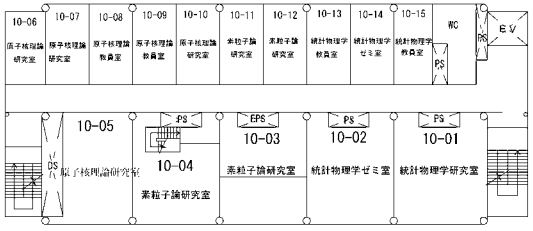
（2号館）９階平面図



（2号館）１１階平面図

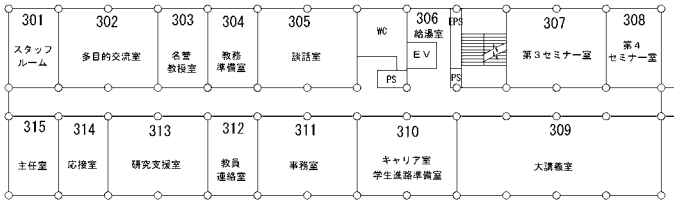


（2号館）８階平面図

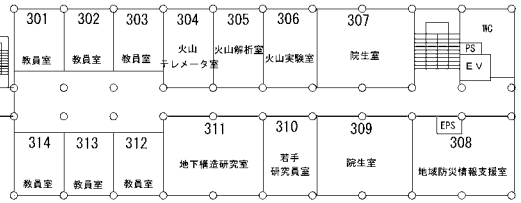


（2号館）１０階平面図

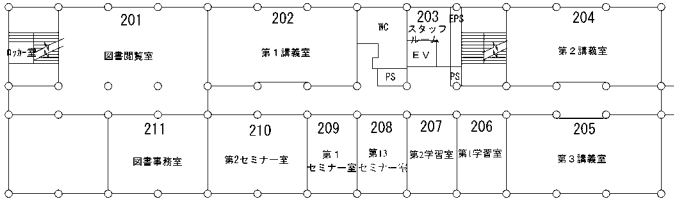
３号館・４号館
（1階～3階）



（3号館）3階平面図

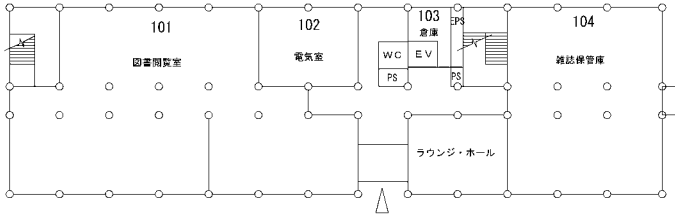


（4号館）3階平面図

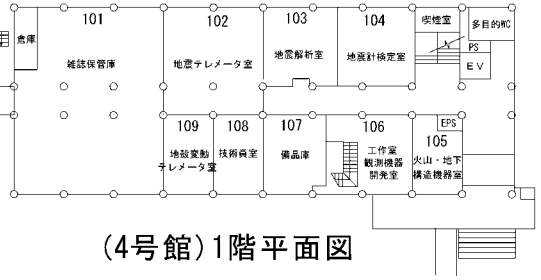


（3号館）2階平面図

（4号館）2階平面図

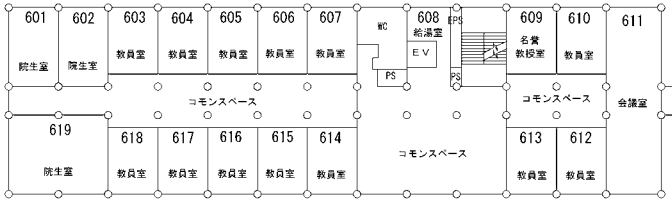


（3号館）1階平面図

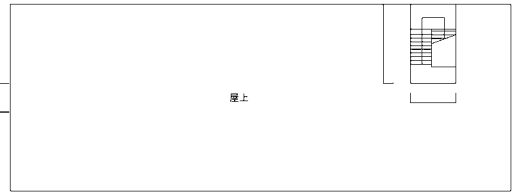


（4号館）1階平面図

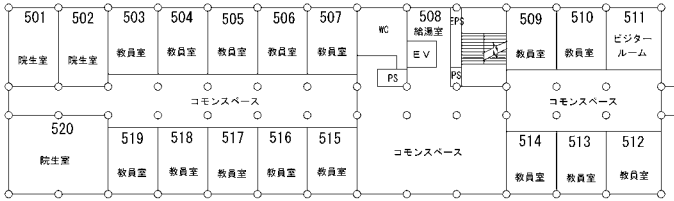
３号館・４号館
（4階～6階）



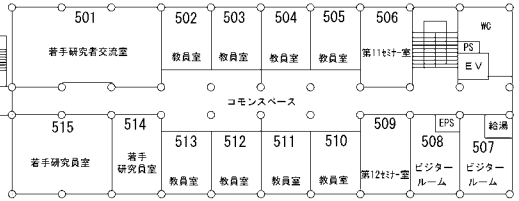
（3号館）6階平面図



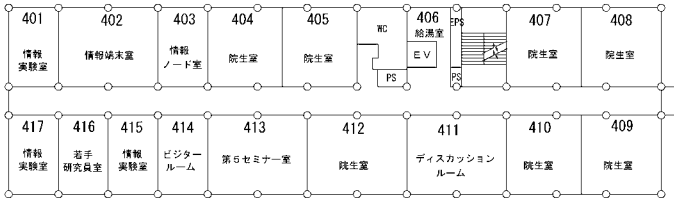
（4号館）6階平面図



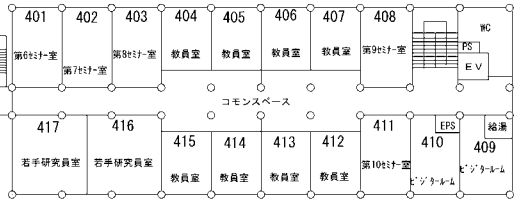
（3号館）5階平面図



（4号館）5階平面図



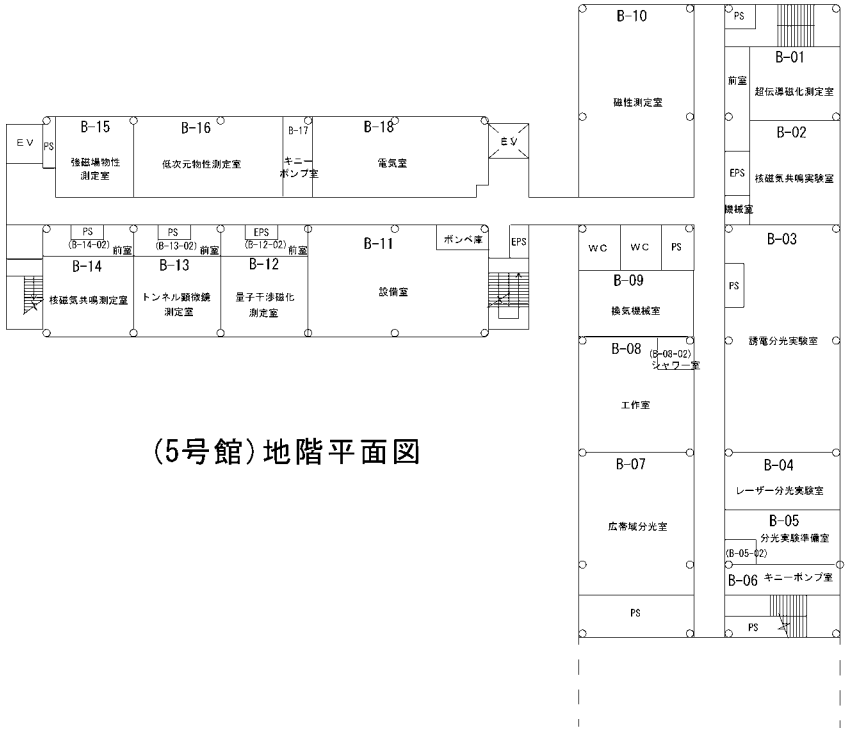
（3号館）4階平面図



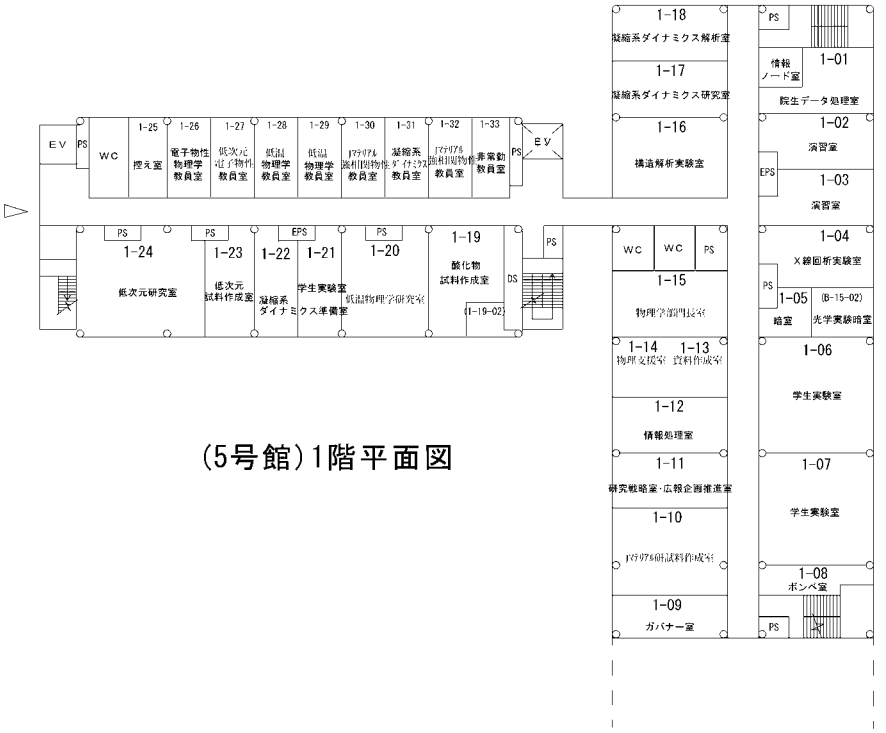
（4号館）4階平面図

N

５ 号 館
（地階～1階）

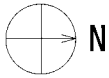


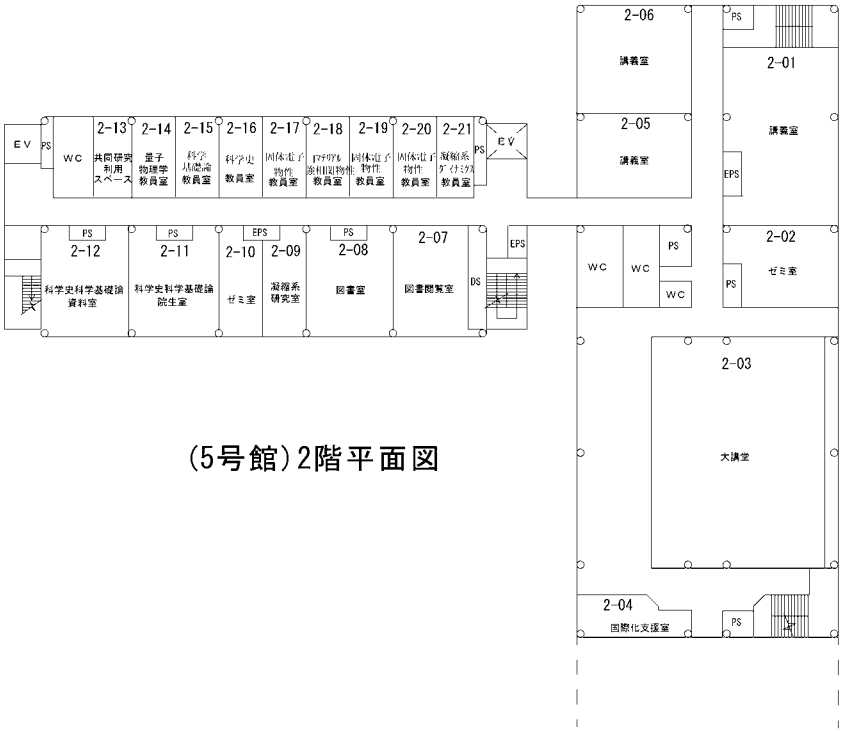
(5号館)地階平面図



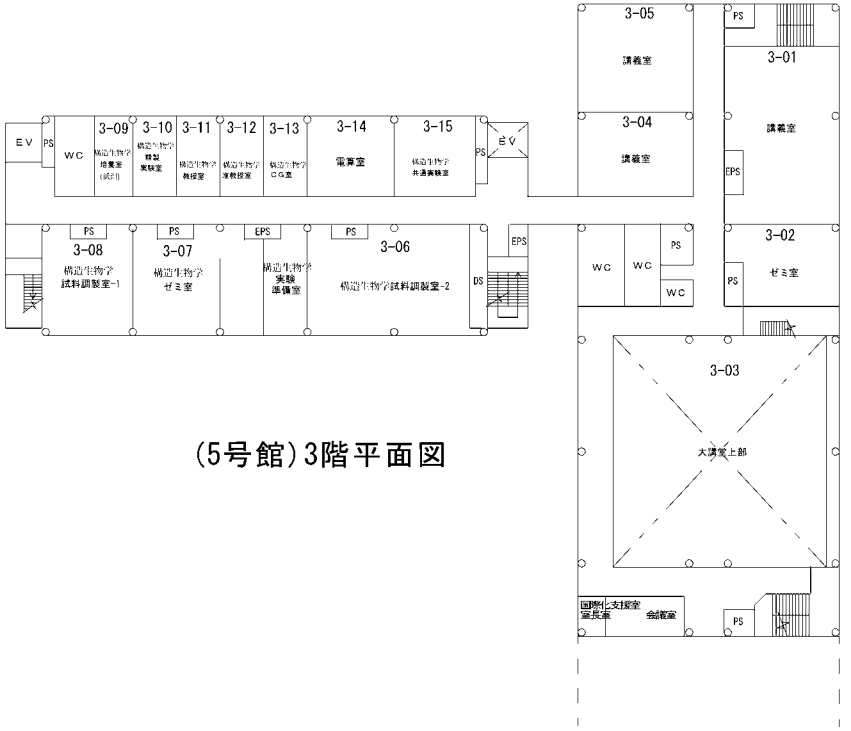
(5号館)1階平面図

５ 号 館
（2階～3階）



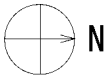


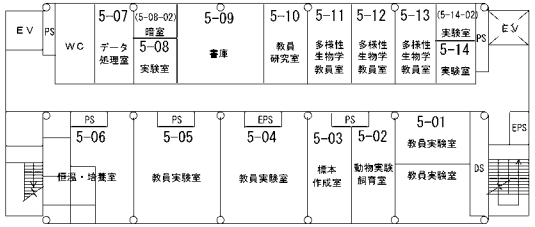
(5号館)2階平面図



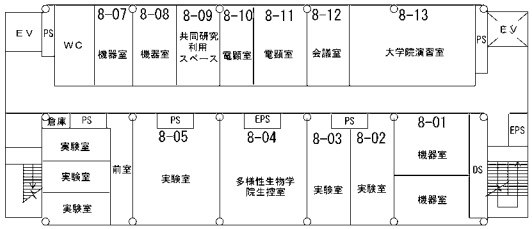
(5号館)3階平面図

５ 号 館
（4階～8階）

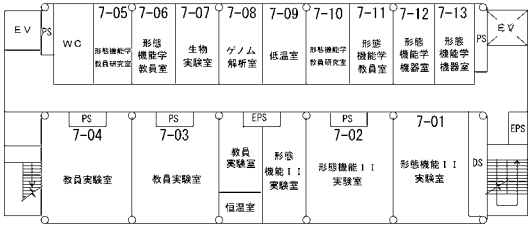




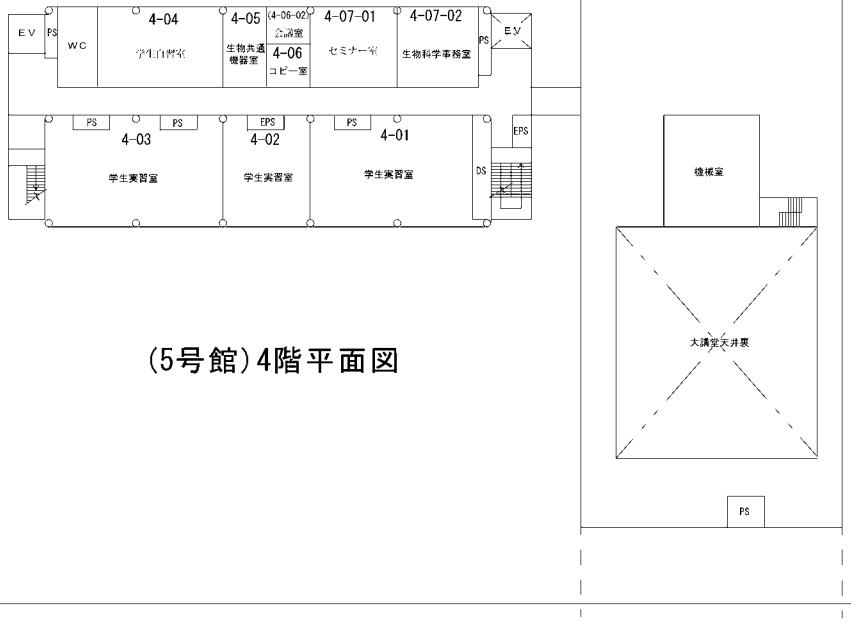
(5号館)5階平面図



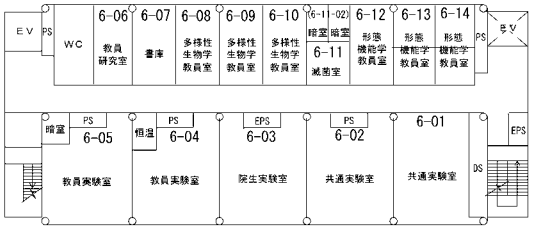
(5号館)8階平面図



(5号館)7階平面図

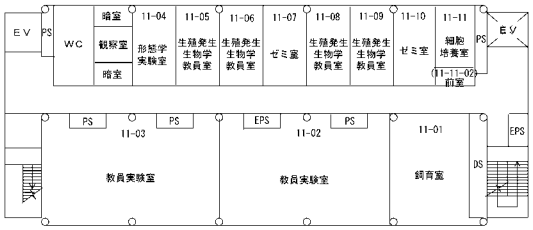


(5号館)4階平面図

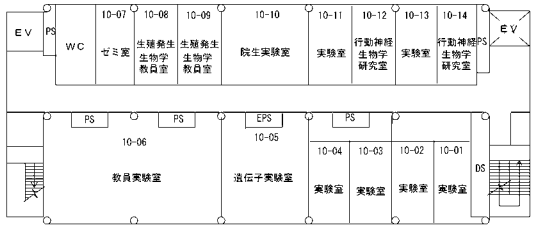


(5号館)6階平面図

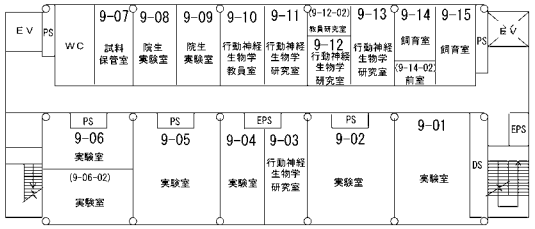
5 号 館
（9階～11階）



(5号館)11階平面図

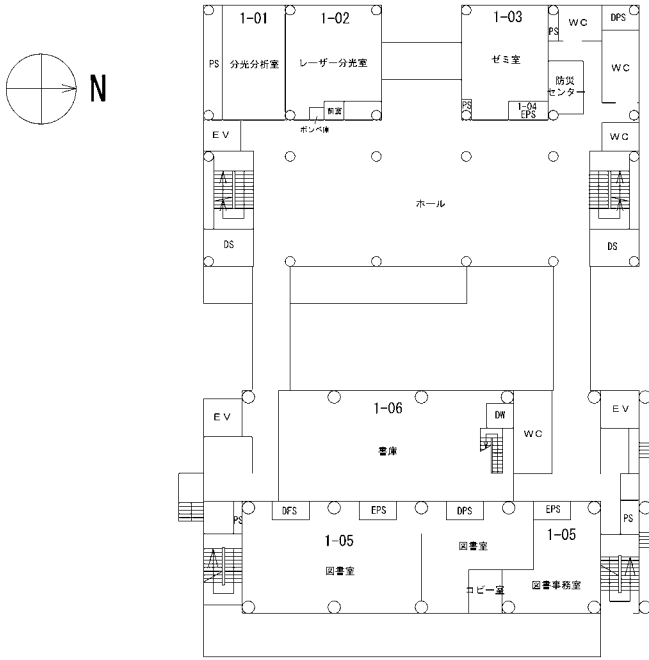


(5号館)10階平面図

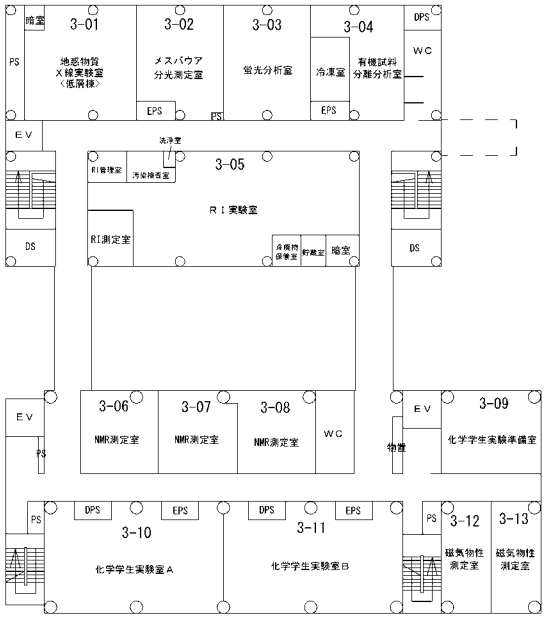


(5号館)9階平面図

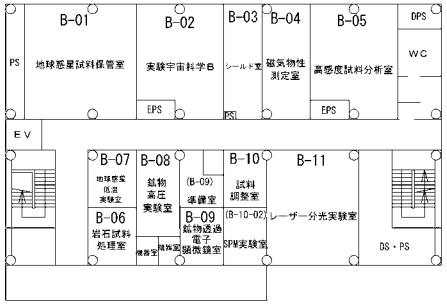
６ 号 館
（地階～3階）



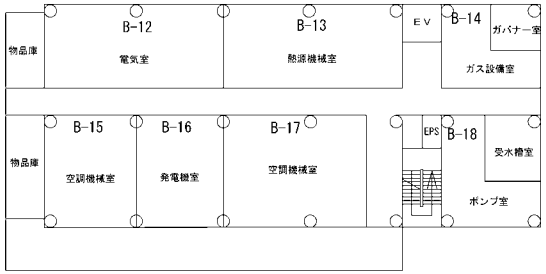
（6号館）1階平面図

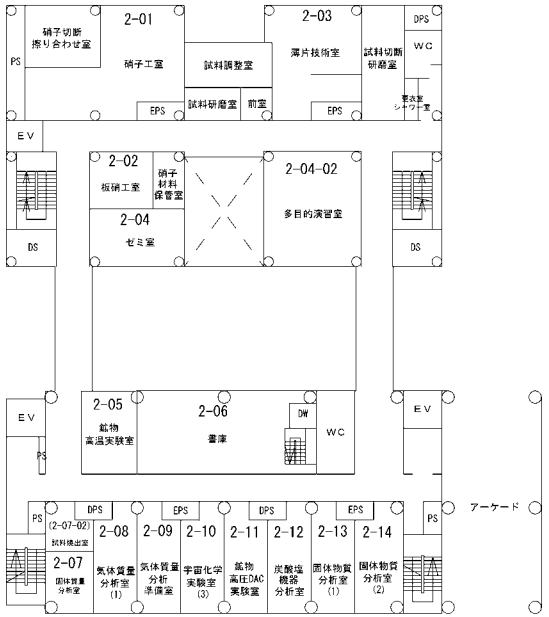


（6号館）3階平面図



（6号館）地階平面図

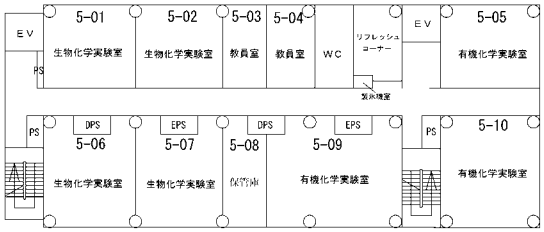




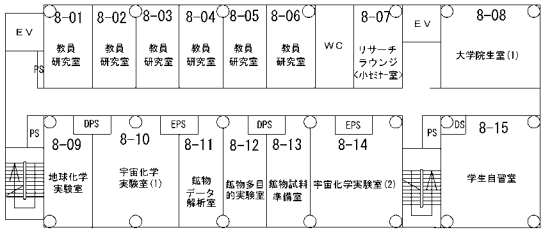
（6号館）2階平面図

６ 号 館
（4階～11階）

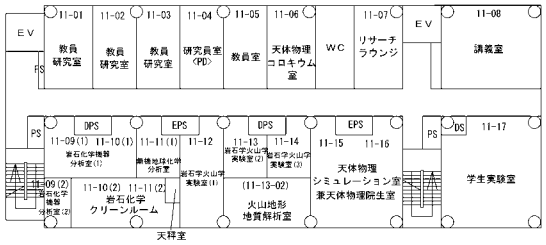
N



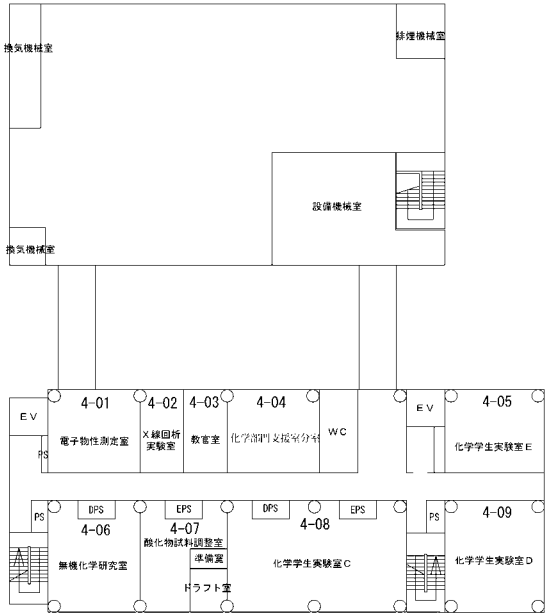
（6号館）5階平面図



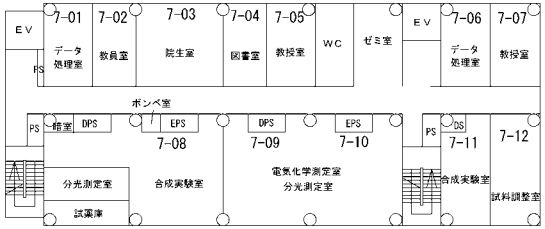
（6号館）8階平面図



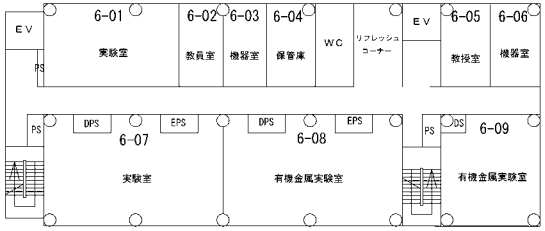
（6号館）11階平面図



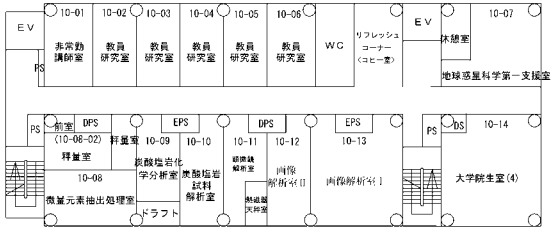
（6号館）4階平面図



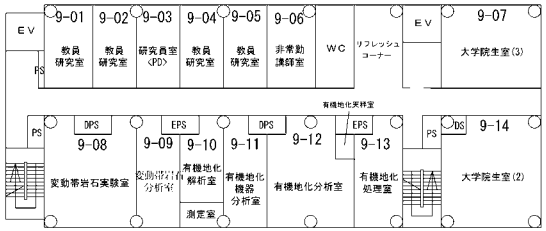
（6号館）7階平面図



（6号館）6階平面図

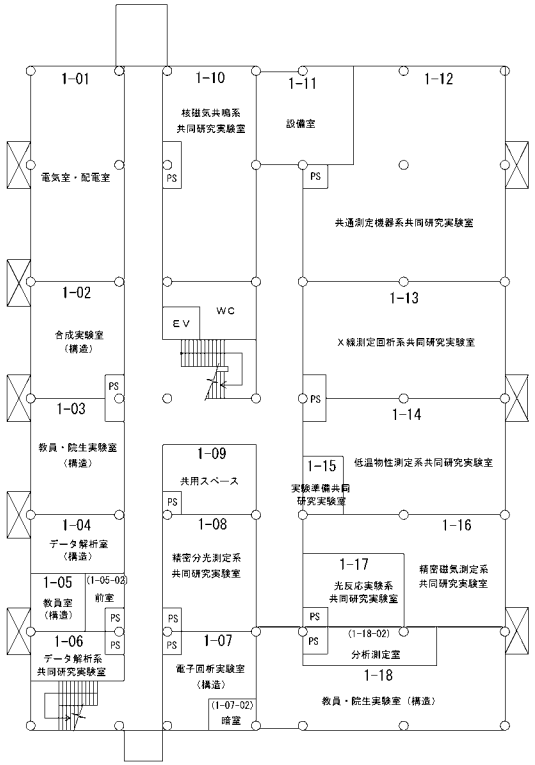


（6号館）10階平面図

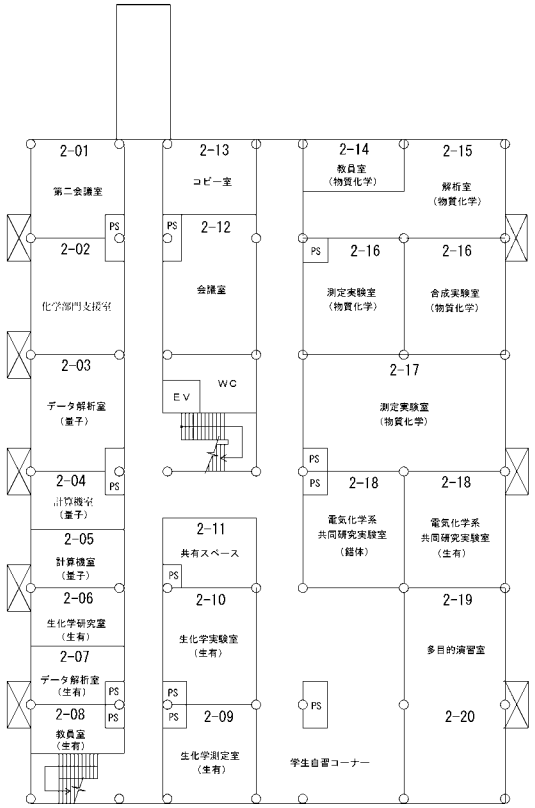


（6号館）9階平面図

7 号 館
（1階～2階）

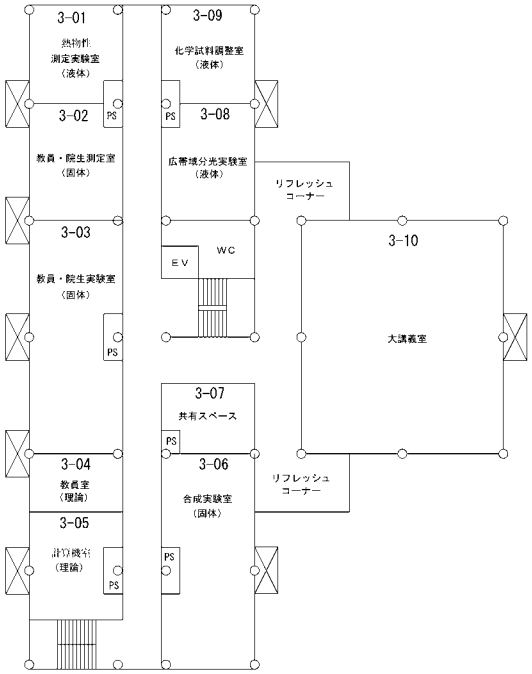


（7号館）1階平面図

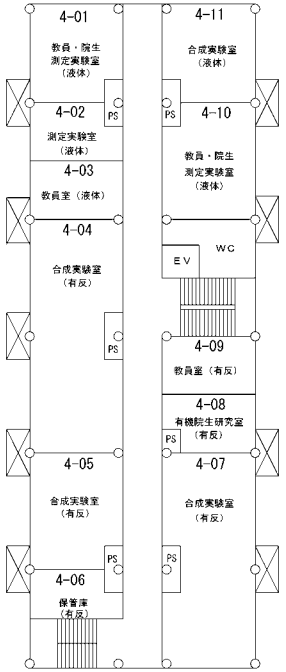


（7号館）2階平面図

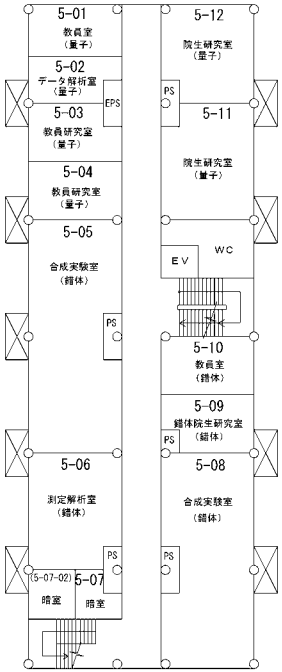
7 号 館
（3階～5階）



（7号館）3階平面図

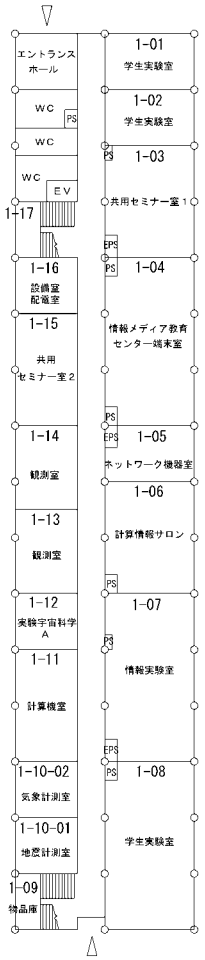


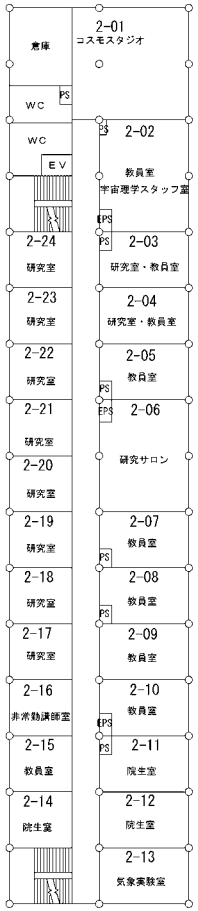
（7号館）4階平面図

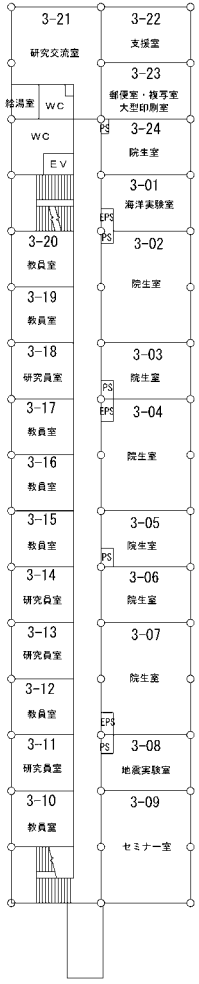


（7号館）5階平面図

8 号 館
（1階～3階）







(8号館)1階平面図　　(8号館)2階平面図　　(8号館)3階平面図

４．関係規程等

北海道大学通則

平成７年４月１日

海大達第２号

第１章　総則

（目的）

第１条　北海道大学（以下「本学」という。）は，教育基本法（平成18年法律第120号）の精神に則り，学術文化の中心として広く知識を授けるとともに，深く専門の学術を教授研究し，平和的民主的な国家社会の形成に寄与することを目的とし，かつ，最高の教育機関として国家社会の向上を図り，もって人類の永遠の平和と福利に貢献することをその使命とする。

（学部及び学科又は課程）

第２条　本学に，次の学部及び学科又は課程を置く。

文学部　人文科学科
教育学部　教育学科
法学部　法学課程
経済学部　経済学科，経営学科
理学部　数学科，物理学科，化学科，生物科学科，地球惑星科学科
医学部　医学科，保健学科
歯学部　歯学科
薬学部　薬科学科，薬学科
工学部　応用理工系学科，情報エレクトロニクス学科，機械知能工学科，環境社会工学科
農学部　生物資源科学科，応用生命科学科，生物機能化学科，森林科学科，畜産科学科，生物環境工学科，農業経済学科
獣医学部　共同獣医学課程
水産学部　海洋生物科学科，海洋資源科学科，増殖生命科学科，資源機能化学科

２　各学部の学生の収容定員は，別表のとおりとする。

（共同教育課程）

第２条の２　前条第１項の学科又は課程のうち，獣医学部共同獣医学課程は，大学設置基準（昭和31年文部省令第28号）第43条第１項の共同教育課程とし，本学及び帯広畜産大学が共同して教育課程を編成するものとする。

（現代日本学プログラム課程）

第２条の３　本学に，第46条に規定する外国人留学生のための学位プログラムとして，現代日本学プログラム課程（以下「現代日本学プログラム」という。）を置く。

（インテグレイテッドサイエンスプログラム）

第２条の４　本学に，第46条に規定する外国人留学生のための教育プログラムとして，インテグレイテッドサイエンスプログラムを置く。

（学部への進級）

第３条　本学に入学した第１年次の学生に係る修学指導，学籍管理等については，国立大学法人北海道大学高等教育推進機構（以下「機構」という。）において行うこととし，第１年次において所定の授業科目を履修し，所定の単位を修得した学生は，第２条第１項に掲げる学部に進級するものとする。

２　前項の規定にかかわらず，現代日本学プログラムの第１年次の学生に係る進級は，別に定めるところによる。

３　第２年次以降に所属する学部，学科等の決定は，別に定めるところによる。

（大学院）

第４条　本学に，大学院を置く。
２　大学院については，別に定める。
第２章　学部
第１節　学年，学期及び休業日
（学年及び学期）
第５条　学年は，４月１日に始まり，翌年３月31日に終わる。
２　学年を分けて，次の２学期とする。
第１学期　４月１日から９月30日まで
第２学期　10月１日から翌年３月31日まで
３　学部，機構及び現代日本学プログラムにおいて必要と認めるときは，前項に定める各学期の開始日及び終了日を変更することができる。
４　学部，機構及び現代日本学プログラムにおいて必要と認めるときは，第２項に定める各学期を分けて，授業を行う期間を定めることができる。
（休業日）
第６条　授業を行わない日（以下「休業日」という。）は，次のとおりとする。
日曜日及び土曜日
国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
春季休業日
夏季休業日
冬季休業日
２　前項の春季休業日，夏季休業日及び冬季休業日は，学部，機構及び現代日本学プログラムにおいて別に定める。
３　臨時の休業日は，その都度総長が定める。
４　学部，機構及び現代日本学プログラムにおいて必要と認めるときは，休業日に授業を行うことができる。
第２節　修業年限及び在学年限
（修業年限）
第７条　修業年限は，４年とする。ただし，医学部医学科，歯学部歯学科，薬学部薬学科及び獣医学部共同獣医学課程にあっては，６年とする。
（在学年限）
第８条　在学年限は，８年とする。ただし，医学部医学科，歯学部歯学科，薬学部薬学科及び獣医学部共同獣医学課程にあっては，12年とする。
２　学部（第１年次の学生にあっては，本学）及び現代日本学プログラムにおいて必要と認めるときは，進級等の基準を設け，同一年次等において在学することのできる年限を定めることができる。
第３節　入学
（入学等の時期）
第９条　入学，再入学，転入学，編入学及び転部の時期は，４月とする。ただし，学部及び現代日本学プログラムにおいて必要と認めたときは，10月とすることができる。
（入学資格）
第10条　本学に入学することのできる者は，次の各号のいずれかに該当する者とする。
(1)　高等学校又は中等教育学校を卒業した者
(2)　通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）
(3)　外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
(4)　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

(5)　専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
(6)　文部科学大臣の指定した者
(7)　高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第１号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第２条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
(8)　本学において，個別の入学資格審査により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，18歳に達したもの

（入学出願手続）

第11条　前条に規定する者で入学を志願するものは，所定の期日までに，別に定める書類に第35条第１項第１号に規定する検定料を添えて提出しなければならない。

（入学試験）

第12条　前条に規定する入学出願手続を行った者に対しては，入学試験を行う。

２　入学試験については，別に定める。

（入学）

第13条　前条に規定する入学試験を受験した者に対して，総長は，北海道大学入学者選抜委員会の議を経て，合格及び不合格の決定を行う。

２　前項の規定により入学試験に合格した者で，所定の期日までに，別に定める書類を提出したもののうち，第35条第１項第２号に規定する入学料を納付した者又は第36条第１項の規定により入学料の免除若しくは第２項の規定により入学料の徴収の猶予を申請した者に対して，総長が入学を許可する。

（編入学等の資格）

第14条　次の各号のいずれかに該当する者については，学部及び現代日本学プログラムにおいて選考し，当該学部の教授会（現代日本学プログラムにあっては，現代日本学プログラム課程運営委員会。第15条第１項において同じ。）の議を経て，総長が入学を許可することができる。
(1)　本学の中途退学者で，再び同一の学部に入学を志願する者
(2)　他の大学に２年以上在学し，所定の授業科目を履修し，所定の単位を修得した中途退学者又は外国において学校教育における16年の課程に14年以上在学し，所定の学修の成果を有する中途退学者で，入学を志願する者
(3)　本学若しくは他の大学を卒業した者又は外国において学校教育における16年の課程を修了した者で，入学を志願する者
(4)　学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第７項の規定により学士の学位を授与された者で，入学を志願する者
(5)　短期大学若しくは高等専門学校を卒業した者又は外国において学校教育における14年の課程を修了した者で，入学を志願する者
(6)　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者で，入学を志願する者
(7)　専修学校の専門課程（修業年限が２年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。第21条第１項及び同条第３項において同じ。）を修了した者（学校教育法第90条第１項に規定する者に限る。）で，入学を志願する者
(8)　高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。第21条第１項及び同条第３項において同じ。）の専攻科の課程（修業年限が２年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。第21条第１項及び同条第３項において同じ。）を修了した者（学校教育法第90条第１項に規定する者に限る。）で，入学を志願する者

２　前項に規定する者のほか，他の大学に１年以上在学し，所定の授業科目を履修し，所定の単位を修得した中途退学者又は外国において学校教育における16年の課程に13年以上在学し，所定の学修の成果を有する中途退学者で，法学部の第２年次に入学を志願する者については，法学部において，選考の上入学を許可することができる。

（転入学）

第15条　他の大学から本学に転入学を志願する者がある場合は，欠員のあるときに限り，学部及び現代日本学プログラムにおいて選考し，当該学部の教授会の議を経て，総長が入学を許可することができる。ただし，当該学部に別段の定めがある場合は，欠員がないときにあっても入学を許可することができる。

２　前項の規定により転入学を志願する者は，その際在学する大学の学部長又は学長の許可証を願書に添えなければならない。

（編入学等の入学出願手続等）

第16条　第11条及び第13条の規定は，前２条の規定により入学する場合に準用する。

（転部）

第16条の２　一の学部の学生であって他の学部に転部を志願する者がある場合は，欠員のあるときに限り，学部において選考の上，学部長が転部を許可することができる。ただし，当該学部に別段の定めがある場合は，欠員がないときにあっても転部を許可することができる。

２　前項の規定により転部を志願する者は，その際在学する学部長の許可証を願書に添えなければならない。

第４節　教育課程及び履修方法等

（教育課程の編成方針）

第16条の３　本学は，本学，学部，学科又は課程及び現代日本学プログラムの教育上の目的を達成するために必要な授業科目を自ら開設し，体系的に教育課程を編成するものとする。

２　教育課程の編成に当たっては，本学は，学部，学科又は課程及び現代日本学プログラムの専攻に係る専門の学芸を教授するとともに，幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い，豊かな人間性を涵養するよう適切に配慮しなければならない。

（教育課程の編成方法）

第17条　教育課程は，次に掲げる授業科目区分により開講する授業科目をもって編成する。

(1)　教養科目
(2)　基礎科目
(3)　専門科目
(4)　国際交流科目

２　前項に規定するもののほか，外国人留学生のための授業科目区分として日本語科目及び日本事情に関する科目を置くことができる。

３　第１項第１号及び第２号並びに前項の授業科目区分の授業科目のうち，複数学部の学生（第１年次の学生を含む。）を対象として共通の教育内容をもって開講される授業科目を全学教育科目（獣医学部共同獣医学課程においては，一般教養教育科目）と称する。

４　第１項第３号の授業科目区分の授業科目のうち，複数学部の学生を対象として共通の教育内容をもって開講される授業科目を専門横断科目と称する。

５　授業科目並びに授業科目の単位数及び履修方法に関し必要な事項は，学部及び現代日本学プログラムの定めるところによる。

６　前項の単位数を定めるに当たっては，１単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし，授業の方法に応じ，当該授業による教育効果，授業時間外に必要な学修等を考慮して，次の基準により単位数を計算するものとする。

(1)　講義及び演習については，15時間から30時間までの範囲で学部及び現代日本学プログラムが定める時間の授業をもって１単位とする。
(2)　実験，実習及び実技については，30時間から45時間までの範囲で学部及び現代日本学プログラムが定める時間の授業をもって１単位とする。ただし，芸術等の分野における個人指導による実技の授業については，学部が定める時間の授業をもって１単位とすることができる。
(3)　一の授業科目について，講義，演習，実験，実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合の単位数を計算するに当たっては，その組み合わせに応じ，前２号に規定する基準を考慮して学部及び現代日本学プログラムが定める時間の授業をもって１単位とする。

７　前項の規定にかかわらず，卒業論文，卒業研究等の授業科目については，これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には，これらに必要な学修等を考慮して，単位数を定めることができる。

８　第３項の全学教育科目に関し必要な事項は，北海道大学全学教育科目規程（平成７年海大達第３号）の定めるところによる。

９　第４項の専門横断科目に関し必要な事項は，北海道大学専門横断科目規程の定めるところによる。

10　第１項第４号の国際交流科目に関し必要な事項は，北海道大学国際交流科目規程（平成９年海大達第50号）の定めるところによる。

（授業の方法）

第17条の２　授業は，講義，演習，実験，実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

２　前項の授業は，文部科学大臣が別に定めるところにより，多様なメディアを高度に利用して，当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

３　第１項の授業を，外国において履修させることができる。前項の規定により，多様なメディアを高度に利用して，当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても，同様とする。

（成績評価基準等の明示等）

第17条の３　学部，機構及び現代日本学プログラムは，学生に対して，授業の方法及び内容並びに１年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。

２　学部，機構及び現代日本学プログラムは，学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては，客観性及び厳格性を確保するため，学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに，当該基準に従って適切に行うものとする。

（教育内容等の改善のための組織的な研修等）

第17条の４　学部は，当該学部の授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

（履修科目登録の上限）

第17条の５　学部，機構及び現代日本学プログラムは，学生が各年次にわたって適切に授業科目を履修するため卒業要件として学生が修得すべき単位数について，学生が１年間又は１学期に履修科目として登録することができる単位数の上限を定めるよう努めるものとする。

２　学部，機構及び現代日本学プログラムは，その定めるところにより，所定の単位を優れた成績をもって修得した学生については，前項に定める上限を超えて履修科目の登録を認めることができる。

（単位の授与等）

第18条　一の授業科目を履修した学生に対しては，試験の上単位を与えるものとする。ただし，卒業論文，卒業研究等の授業科目については，学修の成果を評価して単位を与えることができる。

（他学科又は他学部における授業科目の履修）
第18条の２　学部において，教育上有益と認めるときは，学生が他の学科又は他の学部の専門科目及び専門横断科目並びに国際交流科目を履修することを認めることができる。
２　前項の規定の実施に関し必要な事項は，学部の定めるところによる。
３　第１項の規定により学生が履修した授業科目について修得した単位の取扱いについては，学部の定めるところによる。
（他の大学又は短期大学における授業科目の履修等）
第19条　学部において，教育上有益と認めるときは，学生が他の大学又は短期大学の授業科目を履修することを認めることができる。
２　前項の規定の実施に当たっては，当該大学又は短期大学との間において，履修できる授業科目の範囲等必要な事項について協議するものとする。
３　前２項の規定により学生が履修した授業科目について修得した単位は，60単位を超えない範囲で当該学部における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。
４　前３項の規定は，学生が外国の大学又は短期大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合について準用する。
（大学以外の教育施設等における学修）
第19条の２　学部において，教育上有益と認めるときは，学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を，当該学部における授業科目の履修とみなし，単位を与えることができる。
２　前項の規定により与えることのできる単位数は，前条第３項の規定により修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。
（休学期間中の外国の大学における学修）
第19条の３　学部において教育上有益と認めるときは，学生が休学期間中に外国の大学において学修した成果について，本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。
２　前項の規定により修得したものとみなすことのできる単位数は，第19条第３項，前条第１項及び第28条第２項の規定により当該学部において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。
（入学前の既修得単位等の認定及び在学年数の取扱い）
第20条　学部において，教育上有益と認めるときは，新たに本学の第１年次に入学した学生が，入学前に本学，他の大学若しくは短期大学において履修した授業科目について修得した単位（大学及び短期大学において科目等履修生として履修した授業科目について修得した単位を含む。）又は外国の大学若しくは短期大学において学修した成果を，本学に入学した後の当該学部における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。
２　学部において，教育上有益と認めるときは，新たに本学の第１年次に入学した学生が，入学前に行った第19条の２第１項に規定する学修を，本学に入学した後の当該学部における授業科目の履修とみなし，単位を与えることができる。
３　前２項の規定により修得したものとみなし，又は与えることのできる単位数は，本学において修得した単位以外のものについては，第19条第３項，第19条の２第１項，前条第１項及び第28条第２項の規定により当該学部において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。
４　本学における科目等履修生（大学又は短期大学の学生以外の者に限る。）として一定の単位（学校教育法第90条の規定により入学資格を有した後，修得したものに限る。）を修得した者が，本学に入学する場合において，当該単位の修得により一の学部の教育課程の一部を履修したと認められるときは，第１項の規定により入学した後に修得したものとみなすことのできる当該単位数，その修得した期間その他当該学部が必要と認め

る事項を勘案し，当該学部が定める期間を教授会（教授会に属する職員のうちの一部の者をもって構成される代議員会，専門委員会等を含む。以下同じ。）の議を経て，本学における在学年数に算入することができる。ただし，その期間は，修業年限の２分の１を超えてはならない。

（編入学生等の既修得単位等及び在学年数の取扱い）

第21条　第14条及び第15条の規定により入学を許可された者の，入学前に本学，他の大学，短期大学若しくは高等専門学校において履修した授業科目について修得した単位又は専修学校の専門課程，高等学校の専攻科の課程若しくは外国の大学若しくは短期大学において学修した成果は，その一部又は全部を当該学部の教授会の議を経て，当該学部における授業科目の履修とみなし，単位を与えることができる。

２　学部において，教育上有益と認めるときは，前項に規定する者が，入学前に行った第19条の２第１項に規定する学修（前項の規定を適用したものを除く。）を，本学に入学した後の当該学部における授業科目の履修とみなし，単位を与えることができる。この場合において与えることのできる単位数については，前条第３項の規定を準用する。

３　第１項に規定する者の入学前の本学，他の大学，短期大学，高等専門学校，専修学校の専門課程，高等学校の専攻科の課程又は外国の大学若しくは短期大学における在学年数については，その一部又は全部を当該学部の教授会の議を経て，本学における在学年数に算入することができる。

第５節　休学，転学，留学，退学，除籍及び懲戒

（休学）

第22条　学生が疾病その他の事由により２月以上修学できないときは，休学願に，疾病の場合は医師の診断書を，その他の事由の場合は詳細な事由書を添えて当該学部長（第１年次の学生にあっては国立大学法人北海道大学高等教育推進機構長，現代日本学プログラムの学生（第１年次の学生を除く。）にあっては現代日本学プログラム課程長。以下この節及び第40条第２項において同じ。）に提出し，許可を得てその学年の終わりまで休学することができる。

第23条　疾病のため修学が不適当と認められる学生に対しては，当該学部長は，休学を命ずる。

（復学）

第24条　休学している学生が，休学期間中にその事由が消滅したときは，復学願に医師の診断書又は詳細な事由書を添えて当該学部長に提出し，許可を得て復学することができる。

（休学期間）

第25条　休学期間は，４年を超えることができない。ただし，医学部医学科，歯学部歯学科，薬学部薬学科及び獣医学部共同獣医学課程にあっては，６年を超えることができない。

２　第８条第２項の規定は，休学期間について準用する。

（休学期間の取扱い）

第26条　休学期間は，在学年数に算入しない。

（他大学への転学）

第27条　学生が他の大学に転学を志願するときは，事由を記した書類を当該学部長に提出し，その許可を受けなければならない。

（留学）

第28条　学部において，教育上有益と認めるときは，学生が外国の大学又は短期大学に留学することを認めることができる。

２　第19条第２項及び第３項の規定は，留学の実施及び学修の成果の取扱いについて準用する。

３　留学期間は，在学年数に算入する。

（退学）
第29条　学生が退学しようとするときは，詳細な事由を記した退学願を当該学部長に提出し，その許可を受けなければならない。
（除籍）
第30条　次の各号のいずれかに該当する学生は，当該学部の教授会（第１年次の学生に係るものにあっては国立大学法人北海道大学高等教育推進機構学務委員会，現代日本学プログラムの学生（第１年次の学生を除く。）に係るものにあっては現代日本学プログラム課程運営委員会。次条において同じ。）の議を経て，総長が除籍する。
(1)　第８条に規定する在学年限に達し，なお所定の単位を修得していないとき。
(2)　欠席が長期にわたるとき，又は成業の見込みがないとき。
(3)　第36条第５項，第７項又は第８項の規定により納付すべき入学料を納付しないとき。
(4)　授業料の納付を怠り督促を受け，なお納付しないとき。
（懲戒）
第31条　総長は，学生が本学の規則に違反し，又はその本分に反する行為があったときは，当該学部の教授会の議を経て，懲戒する。ただし，同一の事由により懲戒すべき学生が複数の学部（現代日本学プログラムを含む。）にいるとき及び第１年次の学生が含まれるときは，当該学部の教授会及び教育研究評議会の議を経て，懲戒する。
２　懲戒は，譴責，停学及び退学とする。
（停学期間の取扱い）
第32条　停学期間は，在学年数に算入しない。
（第１年次の学生に関する読み替え）
第32条の２　第18条の２から第20条まで及び第28条の規定は，第１年次の学生（現代日本学プログラムの学生を除く。）の授業科目の履修等について準用する。この場合において，第18条の２第１項，第19条から第20条まで及び第28条中「学部において」とあるのは「本学において」と，第18条の２第１項中「他の学科又は他の学部の専門科目及び専門横断科目並びに国際交流科目」とあるのは「国際交流科目」（インテグレイテッドサイエンスプログラムを履修する学生にあっては「学部の専門科目及び専門横断科目並びに国際交流科目」）と，同条第２項中「学部」とあり，第19条から第19条の３まで及び第20条第１項から第３項まで中「当該学部」とあるのは「本学」と読み替えるものとする。
（現代日本学プログラムの学生に関する読み替え）
第32条の３　第18条の２から第21条まで及び第28条の規定は，現代日本学プログラムの学生の授業科目の履修等について準用する。この場合において，次の表の左欄に掲げる規定中同表の中欄に掲げる字句は，それぞれ同表の右欄に掲げる字句と読み替えるものとする。

第18条の2第1項, 第19条第1項, 第19条の2第1項, 第19条の3第1項, 第20条第1項, 第20条第2項, 第21条第2項, 第28条第1項	学部において	現代日本学プログラムにおいて
第18条の2第1項	他の学科又は他の学部の専門科目及び専門横断科目並びに国際交流科目	学部の専門科目及び専門横断科目並びに国際交流科目

第18条の2第2項, 第18条の2第3項	学部	現代日本学プログラム
第19条第3項, 第19条の2第1項, 第19条の3第2項, 第20条第1項, 第20条第2項, 第20条第3項, 第20条第4項, 第21条第2項	当該学部	現代日本学プログラム
第20条第4項	一の学部	現代日本学プログラム
第20条第4項	教授会	現代日本学プログラム課程運営委員会
第21条第1項, 第21条第3項	当該学部の教授会	現代日本学プログラム課程運営委員会
第21条第1項	当該学部における	現代日本学プログラムにおける

第６節　卒業及び学位

（卒業）

第33条　本学に第７条に規定する年限以上在学し，所定の授業科目を履修し，所定の単位を修得し，かつ，当該学部の定める卒業に必要な基準を満たした学部の学生に対しては，当該学部の教授会の議を経て，総長が卒業を認定する。

２　本学に第７条に規定する年限以上在学し，所定の授業科目を履修し，所定の単位を修得した現代日本学プログラムの学生に対しては，現代日本学プログラム課程運営委員会の議を経て，総長が卒業を認定する。

３　前２項の単位のうち，第17条の２第２項に規定する授業の方法により修得した単位数は，60単位を超えないものとする。ただし，卒業に124単位を超える単位の修得が必要な場合において，同項に規定する授業以外の方法により64単位以上を修得しているときは，この限りでない。

（早期卒業）

第33条の２　医学部医学科，歯学部歯学科，薬学部薬学科及び獣医学部共同獣医学課程を除き本学に３年以上在学した者で，卒業に必要な単位を優秀な成績で修得したと認められ，かつ，当該学部の定める卒業に必要な基準を満たした学部の学生に対しては，前条第１項の規定にかかわらず，当該学部の定めるところにより，教授会の議を経て，総長が卒業を認定することができる。

２　本学に３年以上在学した者で，卒業に必要な単位を優秀な成績で修得したと認めた現代日本学プログラムの学生に対しては，前条第２項の規定にかかわらず，現代日本学プログラムの定めるところにより，現代日本学プログラム課程運営委員会の議を経て，総長が卒業を認定することができる。

（学位）

第34条　前２条の規定により卒業を認定した者に対し，総長が学士の学位を授与する。

２　学士の学位に関し必要な事項は，北海道大学学位規程（昭和33年海大達第12号）の定めるところによる。

第７節　検定料，入学料及び授業料

（検定料，入学料及び授業料の額）

第35条　本学における検定料及び入学料の額並びに授業料の年額は，次のとおりとする。

(1)　検定料　17,000円

(2)　入学料　282,000円

(3)　授業料の年額　535,800円

２　本学の入学者選抜において，出願書類等による選抜（以下「第１段階目の選抜」という。）を行い，その合格者に限り学力検査その他による選抜（以下「第２段階目の選抜」という。）を行う場合の検定料の額は，前項第１号の規定にかかわらず，第１段階目の選抜に係る額は4,000円とし，第２段階目の選抜に係る額は13,000円とする。
３　現代日本学プログラム及びインテグレイテッドサイエンスプログラムにおける入学者選抜に係る検定料の額は，第１項第１号の規定にかかわらず，5,000円とする。
４　第14条及び第15条に規定する編入学等及び転入学に係る検定料の額は，第１項第１号の規定にかかわらず，30,000円とする。

（入学料の免除及び徴収猶予）

第36条　特別な事情により入学料の納付が著しく困難であると認められる者に対しては，その者からの申請に基づき，入学料の全額又は半額を免除することができる。
２　経済的理由により入学料の納付期限までに入学料の納付が困難であり，かつ，学業優秀と認められる者又は特別な事由により入学料の納付期限までに入学料の納付が困難であると認められる者に対しては，その者からの申請に基づき，入学料の徴収を猶予することができる。
３　第１項の規定により入学料の免除又は前項若しくは第６項の規定により入学料の徴収の猶予を申請した者に対しては，入学料の免除若しくは徴収の猶予が許可され，又は不許可とされるまでの間は，入学料の徴収を猶予する。
４　第１項の規定により入学料の免除又は第２項の規定により入学料の徴収の猶予を申請した者が入学前に入学を辞退したときは，納付すべき入学料を納付しなければならない。
５　第１項の規定により入学料の免除又は第２項の規定により入学料の徴収の猶予を申請した者が，入学料の免除の不許可若しくは半額免除の許可又は徴収の猶予の許可若しくは不許可を告知されたときは，所定の期日までに納付すべき入学料を納付しなければならない。
６　前項の規定により入学料の免除の不許可又は半額免除の許可を告知された者は，所定の期日までに納付すべき入学料の徴収の猶予の申請をすることができる。
７　前項の規定により入学料の徴収の猶予を申請した者が，徴収の猶予の許可又は不許可を告知されたときは，所定の期日までに納付すべき入学料を納付しなければならない。
８　第３項の規定により入学料の徴収を猶予された者及び第５項又は前項の規定により入学料の徴収の猶予を申請し，その許可を告知された者が，当該猶予の期間中に退学を願い出たときは，所定の期日までに納付すべき入学料を納付しなければならない。
９　前各項に定めるもののほか，入学料の免除及び徴収猶予の取扱いに関し必要な事項は，別に定める。

（授業料）

第37条　授業料は，各年度に係る授業料について，前期（毎年４月１日から９月30日までとする。以下同じ。）及び後期（毎年10月１日から翌年３月31日までとする。以下同じ。）の２期に区分して納付するものとし，前期にあっては５月，後期にあっては11月にそれぞれ年額の２分の１に相当する額を納付しなければならない。ただし，総長が特に必要と認めた場合には，この項本文の規定による納付の時期を延期することができる。
２　納付期限は，別にこれを定める。
３　前２項の規定にかかわらず，前期に係る授業料を納付するときに，当該年度の後期に係る授業料を併せて納付することができる。
４　入学年度の前期又は前期及び後期に係る授業料については，第１項及び第２項の規定にかかわらず，入学を許可されるときに納付することができる。

（休学者の授業料）

第38条　前期又は後期の全期間を通じて休学するときは，その期分の授業料を免除する。

２　前期又は後期の期間の全部又は一部の期間を休学するときの授業料の免除の取扱いについては，別に定める。
３　休学により授業料を免除された者が前期又は後期の中途において復学したときは，その者の授業料の年額の12分の１に相当する額（その額に10円未満の端数があるときは，これを切り上げるものとする。以下同じ。）に復学した日の属する月から当該前期又は後期の末日までの月数（１月未満の端数があるときは，これを１月とする。）を乗じて得た額を，復学した日の属する月に納付しなければならない。

（学年の中途で卒業する者の授業料）

第38条の２　特別の事情により，学年の中途で卒業する者の授業料の額は，その者の授業料の年額の12分の１に相当する額に在学する月数を乗じて得た額とし，当該学年の５月に納付しなければならない。ただし，卒業する月が10月以後であるときは，後期に在学する期間に係る授業料を11月に納付しなければならない。
２　前項に定めるもののほか，学年の中途で卒業する者の授業料の取扱いについては，別に定める。

（退学者等の授業料）

第39条　前期又は後期の中途において退学し，又は退学を命ぜられ若しくは除籍された場合においては，別に定める場合を除き，これらの場合のいずれかに該当することとなった日の属する期に係る授業料を納付しなければならない。
２　停学を命ぜられた期間中であっても，当該期間分の授業料を納付しなければならない。

（授業料の免除及び徴収の猶予）

第40条　経済的事由により納付が困難であり，かつ，学業優秀と認められる学生又は特別な事情により授業料の納付が著しく困難であると認められる学生に対しては，授業料の全部若しくは一部を免除することができる。
２　前項に規定する授業料の免除の許可を受けようとする学生は，所定の期日までに，事由を付して当該学部長を経て総長に願い出なければならない。
３　授業料の免除を許可する学生は，各期ごとに定める。
４　第２項の規定により授業料の免除の許可を願い出た学生に対しては，授業料の全部若しくは一部の免除が許可され，又は不許可とされるまでの間は，授業料の徴収を猶予する。
５　授業料の免除を申請した学生が，免除の不許可又は一部免除の許可を告知されたときは，所定の期日までに，納付すべき授業料を納付しなければならない。
６　授業料の免除の許可若しくは第４項の規定による徴収の猶予（以下この項において「許可等」という。）を受けている学生の当該許可等を受けることとなった事由が消滅したときは，当該許可等を取り消すものとし，当該学生は，所定の期日までに納付すべき授業料を納付しなければならない。
７　前各項に定めるもののほか，授業料の免除及び徴収の猶予の取扱いに関し必要な事項は，別に定める。

（検定料等の還付）

第41条　既納の検定料，入学料及び授業料は，還付しない。ただし，次の各号のいずれかに該当するときは，納付した者の申出により当該各号に定める額を還付する。
(1)　本学の入学者選抜において，第１段階目の選抜を行い，第２段階目の選抜を行う場合に，検定料を納付した者が，第１段階目の選抜で不合格となったとき　第35条第２項に定める第２段階目の選抜に係る額に相当する額
(2)　大学入試センター試験を受けた者に対して行う本学の入学者を選抜するための試験において，検定料を納付した者が，当該試験の受験に必要な大学入試センター試験の科目を受験しなかったことが明らかとなったとき　第35条第２項に定める第２段階目の選抜に係る額に相当する額

(3)　前期に係る授業料を納付したときに後期に係る授業料を併せて納付した者が，その年の９月末日までに後期の全期間を通じて休学を願い出たとき又は退学し若しくは退学を命ぜられたとき　後期に係る授業料に相当する額
(4)　入学を許可されるときに授業料を納付した者が，その年の３月31日までに入学を辞退したとき　当該授業料に相当する額

第８節　聴講生，科目等履修生，特別聴講学生，日本語研修生，研究生及び外国人留学生

（聴講生）

第42条　本学において一又は複数の授業科目を聴講しようとする者がある場合は，当該学部において適当と認め，かつ，支障のないときに限り，聴講生として許可することができる。

２　聴講生に関して必要な事項は，北海道大学聴講生規程（平成７年海大達第21号）の定めるところによる。

（科目等履修生）

第43条　本学において一又は複数の授業科目を履修し，単位を修得しようとする本学の学生以外の者がある場合は，当該学部において適当と認め，かつ，支障のないときに限り，科目等履修生として許可することができる。

２　科目等履修生に関し必要な事項は，北海道大学科目等履修生規程（平成５年海大達第32号）の定めるところによる。

（特別聴講学生）

第44条　本学において特定の授業科目を履修し，単位を修得しようとする他の大学若しくは短期大学又は外国の大学若しくは短期大学の学生がある場合は，当該大学又は短期大学との協議に基づき，学部において，特別聴講学生として許可することができる。

２　前項の規定によるもののほか，「北海道地区国立大学における教養教育の単位互換に関する協定書（平成26年２月28日締結）」に基づき，本学において特定の全学教育科目を履修し，単位を修得しようとする北海道地区の他の国立大学の学生がある場合は，機構において，特別聴講学生として許可することができる。

３　前２項の規定によるもののほか，本学において専門横断科目又は国際交流科目のうち日本語，日本文化及び日本事情に関する特定の授業科目を履修し，単位を修得しようとする外国の大学の学生がある場合は，当該大学との協議に基づき，機構において，特別聴講学生として許可することができる。

４　前項の特別聴講学生は，日本語・日本文化研修生と称する。

５　第１項から第３項までの規定によるもののほか，Hokkaidoユニバーサルキャンパス・イニシアチブにおいて実施するHokkaidoサマー・インスティテュートに係る専門横断科目を履修し，単位を修得しようとする他の大学又は外国の大学の学生がある場合は，当該他の大学又は外国の大学との協議に基づき，機構において，特別聴講学生として許可することができる。この場合において，外国の大学の学生に係る許可については，当該外国の大学との協議に基づかないことができるものとする。

６　特別聴講学生に係る検定料及び入学料は，徴収しない。

７　特別聴講学生に係る授業料の額は，北海道大学における聴講生等の検定料等の額に関する規程（昭和53年海大達第15号。以下「検定料等規程」という。）の定めるところによる。

８　特別聴講学生に係る授業料は，１単位ごとに，本学が指定する日までに納付しなければならない。ただし，特別聴講学生が北海道大学における特別聴講学生及び特別研究学生に係る授業料等の不徴収に関する規程（平成16年海大達第267号）に基づく学生であるときは，授業料を徴収しない。

９　特別聴講学生に係る既納の授業料は，還付しない。

（日本語研修生）

第44条の２　本学において日本語教育プログラムを受講しようとする外国の国籍を有する者がある場合は，機構において，日本語研修生として許可することができる。
（研究生）
第45条　本学において特定の専門的事項について研究しようとする者がある場合は，当該学部において適当と認め，かつ，支障のないときに限り，研究生として許可することができる。
２　研究生に関し必要な事項は，北海道大学研究生規程（平成３年海大達第３号）の定めるところによる。
（外国人留学生）
第46条　外国人であって第12条又は第14条の規定によらないで本学に入学を志願する者がある場合は，支障のないときに限り，外国人留学生（この条において「留学生」という。）として選考の上，総長が入学を許可することができる。
２　前項に規定する留学生として入学できる者の資格は，別に定める。
３　第１項の規定により入学を許可する留学生について，総長が特に必要と認めた場合には，入学料及び授業料を徴収しないことができる。
４　留学生は，定員外とすることができる。
５　留学生には，本通則を準用する。
第２章の２　特別の課程
第46条の２　総長は，学校教育法第105条に規定する特別の課程として本学の学生以外の者を対象とした履修証明プログラムを編成し，これを修了した者に対し，修了の事実を証する証明書を交付することができる。
２　前項に定めるもののほか，履修証明プログラムに関し必要な事項は，別に定めるところによる。
第３章　教育職員免許
第47条　本学において，教育職員免許法（昭和24年法律第147号）に規定する基礎資格を取得し，かつ，専門科目について所要の単位を修得した者は，同法に規定する教育職員免許状授与の所要資格を取得することができる。
２　前項に規定する所要資格の取得方法及び取得することができる教育職員免許状の種類については，教育職員免許状授与の所要資格の取得に関する規程（昭和51年海大達第29号）の定めるところによる。
第４章　公開講座
第48条　社会人の教養を高め，文化の向上に資するため，本学に公開講座を開設することができる。
２　公開講座講習料の額は，検定料等規程の定めるところによる。
３　公開講座講習料は，受講の申込みをするときに納付しなければならない。
４　既納の公開講座講習料は，還付しない。

附　則
１　この規程は，平成７年４月１日から施行する。
（略）
附　則（平成30年８月１日海大達第117号）
この規則は，平成30年８月１日から施行する。
附　則
１　この規則は，平成31年４月１日から施行する。
２　この規則の施行日の前日までに第30条第４号の規定に該当し除籍となった者に係る復籍については，改正後の北海道大学通則の規定にかかわらず，なお従前の例による。

北海道大学理学部規程

平成７年４月１日

海大達第８号

（趣旨）

第１条　北海道大学理学部（以下「本学部」という。）の教育課程等に関し必要な事項は，北海道大学通則（平成７年海大達第２号。以下「通則」という。）に定めるもののほか，この規程の定めるところによる。

（目的）

第１条の２　本学部は，自然科学全般にわたる基礎的な知識及び技術を教授することにより，大学院における修学及び研究に必要な観察力及び創造力を有し，並びに社会に貢献するために必要な自然科学に関する基礎的素養を有する人材を育成することを目的とする。

（学科及び専修分野）

第２条　本学部に，次の５学科を置く。

数学科
物理学科
化学科
生物科学科
地球惑星科学科

２　前項に規定する学科のうち，生物科学科に履修上の区分として，次に掲げる専修分野を設ける。

生物学専修分野
高分子機能学専修分野

（学科分属）

第３条　通則第３条第１項の規定により本学部の第２年次に進級した者を，学科に配属（以下「学科分属」という。）する。

２　学科分属に関し必要な事項は，学部長が別に定める。

（在学年限）

第４条　本学部においては，第２年次進級以降に６年を超えて在学することはできない。

（授業科目及び単位）

第５条　授業科目及び単位（インテグレイテッドサイエンスプログラムを履修する学生に係るものを除く。）は，別表第１の１及び第２の１のとおりとする。

２　インテグレイテッドサイエンスプログラムを履修する学生の授業科目及び単位については，別表第１の２及び別表第２の２のとおりとする。

（授業の方法）

第５条の２　授業は，講義，演習，実験若しくは実習又は講義及び演習の併用により行う。

２　前項の授業は，文部科学大臣が別に定めるところにより，多様なメディアを高度に利用して，当該授業を行う教室等以外の場所で行うことがある。

（単位数の計算の基準）

第６条　各授業科目の単位数を定めるに当たっては，１単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし，授業の方法に応じ，当該授業による教育効果，授業時間外に必要な学修等を考慮して，次の基準により単位数を計算するものとする。ただし，全学教育科目にあっては，北海道大学全学教育科目規程（平成７年海大達第３号。以下「全学教育科目規程」という。）の定めるところによる。

(1)　講義については，15時間の授業をもって１単位とする。
(2)　演習については，15時間又は30時間の授業をもって１単位とする。
(3)　実験及び実習については，30時間又は45時間の授業をもって１単位とする。
(4)　講義及び演習の併用により行う場合については，第１号及び第２号に規定する基準

を考慮して学部長が定める時間の授業をもって１単位とする。
（履修方法）
第７条　学生は，履修しようとする授業科目について，学期の始めに学部長に届け出なければならない。
２　履修方法の細目について必要な事項（全学教育科目の履修に関するものを除く。）は，学部長が別に定める。
（他学科履修等）
第８条　学生は，他学科及び他学部の授業科目（全学教育科目を除く。），北海道大学専門横断科目規程（平成31年海大達第　号）に定める専門横断科目並びに北海道大学国際交流科目規程（平成９年海大達第50号）に定める国際交流科目（以下「国際交流科目」という。）を履修することができる。
２　他学科の授業科目及び国際交流科目については学部長の，他学部の授業科目については学部長及び当該学部長の許可を受けなければならない。
３　第１項，北海道大学の第１年次の学生に係る履修，修学等に関する規程（平成22年海大達第317号。以下「第１年次規程」という。）第６条及び北海道大学インテグレイテッドサイエンスプログラム規程（平成29年海大達第204号。）第21条の規定により履修した授業科目について修得した単位は，第15条に規定する単位に算入することができる。
４　前項の規定により算入することができる単位数は，学部長が別に定める。
（他の大学又は短期大学における履修等）
第９条　本学部において教育上有益と認めるときは，学生が他の大学若しくは短期大学の授業科目を履修し，又は外国の大学若しくは短期大学に留学することを認めることがある。
２　前項の規定により履修した授業科目について修得した単位又は学修した成果については，第１年次規程第７条第２項の規定により修得したものとみなす単位数と合わせて30単位を超えない範囲で本学部における授業科目の履修により修得した単位とみなすことができる。ただし，前条第３項の規定により算入する単位があるときは，これと合わせて30単位を超えることはできない。
（大学以外の教育施設等における学修）
第９条の２　本学部において教育上有益と認めるときは，学生が行う短期大学，高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を，本学部における授業科目の履修とみなし，単位を与えることがある。
２　前項の規定により与えることのできる単位数は，第８条第３項，前条第２項本文及び第１年次規程第８条第２項の規定の規定により修得したものとみなす単位数と合わせて30単位を超えないものとする。
３　第１項の規定により単位を与えることのできる学修の範囲，単位の認定方法等については，学部長が別に定める。
（休学期間中の外国の大学における学修）
第９条の３　本学部において教育上有益と認めるときは，学生が休学期間中に外国の大学において学修した成果について，本学部における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。
２　前項の規定により修得したものとみなすことのできる単位数は，第８条第３項，第９条第２項本文，前条第２項及び第１年次規程第９条第２項の規定により修得したものとみなす単位数と合わせて30単位を超えないものとする。
（入学前の既修得単位等）
第10条　本学部の第２年次に進級した者の，本学の入学前に本学，他の大学若しくは短期大学において履修した授業科目について修得した単位（大学設置基準（昭和31年文部省令第28号）第31条又は短期大学設置基準（昭和50年文部省令第21号）第17条に規定する科目等履修生として履修した授業科目について修得した単位を含む。）又は外国の大学若しくは短期大学において学修した成果（第１年次規程第10条第１項の規定により第１年次におい

て修得した単位とみなされたものを除く。）については，進級後の本学部における授業科目の履修により修得した単位とみなすことができる。
２　本学部の第２年次に進級した者の，本学の入学前に第９条の２第１項の規定により学修した成果（第１年次規程第10条第２項の規定により第１年次において単位を与えられたものを除く。）については，進級後の本学部における授業科目の履修とみなし，単位を与えることができる。
３　前２項の規定により修得したものとみなし，又は与えることのできる単位数は，本学において修得した単位以外のものについては，第８条第３項，第９条第２項本文，第９条の２第２項及び前条第２項の規定により本学部において修得したものとみなす単位数並びに第１年次規程第10条第３項の規定により修得したものとみなす単位数と合わせて30単位を超えないものとする。
４　第１項の規定により履修したとみなすことのできる授業科目の範囲及び第２項の規定により単位を与えることのできる学修の範囲並びにそれらの単位の認定方法等については，学部長が別に定める。
（編入学等）
第11条　本学部に通則第14条の規定により入学を志願する者又は通則第15条の規定により転入学を志願する者があるときは，教授会の議を経て，総長が入学を許可することがある。
２　編入学等に関し必要な事項は，学部長が別に定める。
（転部）
第11条の２　本学部に通則第16条の２の規定により転部を志願する者があるときは，学部長が転部を許可することがある。
２　転部に関し必要な事項は，学部長が別に定める。
（休学期間）
第12条　本学部においては，第２年次進級以降に３年を超えて休学することはできない。ただし，通算して４年（第１年次において休学した期間を含む。）を超えて休学することはできない。
（試験）
第13条　試験は，科目試験及び論文試験とする。
２　科目試験は，当該授業科目の授業が終了した学期末に行う。ただし，これによりがたい場合は，臨時に行うことがある。
３　論文試験は，所定の科目試験に合格した者に対して行う。
４　前３項の規定にかかわらず，全学教育科目の試験については，全学教育科目規程の定めるところによる。
（成績）
第14条　授業科目の成績の評価は，A^{+}，A，A^{-}，B^{+}，B，B^{-}，C^{+}，C，D，D^{-}及びFのいずれかの評語を付すことにより行うものとし，A^{+}，A，A^{-}，B^{+}，B，B^{-}，C^{+}及びCを合格とする。
２　前項に定めるもののほか，授業科目の成績の評価については，北海道大学の学士課程における授業科目の成績の評価に関する規程（平成27年海大達第49号）の定めるところによる。
（卒業認定）
第15条　本学に４年以上在学し，本学部において，所定の授業科目を履修し，全学教育科目46単位以上及び専門科目80単位以上を修得し，かつ，学部長が別に定める卒業に必要な基準を満たした者について，教授会の議を経て，総長が卒業を認定する。
２　前項の単位のうち，第５条の２第２項に規定する授業の方法により修得した単位数については，30単位を超えないものとする。
（早期卒業の認定）
第15条の２　本学部の第２年次に進級後，本学部に２年６月以上在学した者で，前条第１項

に規定する卒業に必要な単位を優秀な成績で修得したと認められ，かつ，学部長が別に定める卒業に必要な基準を満たした者に対しては，教授会の議を経て，総長が卒業を認定することがある。
２　早期卒業に関し必要な事項は，学部長が別に定める。
（特別聴講学生）
第16条　本学部において，特定の授業科目を履修し，単位を修得しようとする他の大学若しくは短期大学又は外国の大学若しくは短期大学の学生があるときは，特別聴講学生として学部長が受入れを許可することがある。
２　特別聴講学生は，学年又は学期ごとに許可する。
３　特別聴講学生に係る試験については，第13条の規定を準用する。
（外国人留学生）
第17条　通則第46条の規定により入学を許可された外国人留学生は，定員外とすることができる。

附　則

１　この規程は，平成７年４月１日から施行する。

（略）

附　則（平成29年４月１日）

１　この規程は，平成29年４月１日から施行する。
２　平成29年３月31日に本学に在学する者（以下この項において「在学者」という。）及び同年４月１日以降に在学者の属する年次に入学する者については，改正後の別表第１及び別表第２の規定にかかわらず，なお従前の例による。
３　前項の規定にかかわらず，改正後の別表第２の規定（物理学科に係る部分に限る。）は，平成29年４月１日以降に第２年次に進級する者（以下この項において「平成29年度以降進級者」という。）及び平成29年度以降進級者の属する年次に入学する者について適用する。

附　則（平成29年10月１日）

この規程は，平成29年10月１日から施行する。

附　則（平成30年４月１日）

１　この規程は，平成30年４月１日から施行する。
２　平成30年３月31日に本学に在学する者（以下この項において「在学者」という。）及び同年４月１日以降に在学者の属する年次に入学する者については，改正後の別表第２の１の規定にかかわらず，なお従前の例による。
３　前項の規定にかかわらず，改正後の別表第２の１の規定は，平成30年４月１日以降に第２年次に進級する者（以下この項において「平成30年度以降進級者」という。）及び平成30年度以降進級者の属する年次に入学する者について適用する。

附　則（平成31年４月１日）

１　この規程は，平成31年４月１日から施行する。
２　平成31年３月31日に本学に在学する者（以下この項において「在学者」という。）及び同年４月１日以降に在学者の属する年次に入学する者については，改正後の別表第２の１の規定にかかわらず，なお従前の例による。

別表第１の１（第５条関係）

全学教育科目

区分		授業科目	単位	備考	
教養科目	一般教育演習（フレッシュマンセミナー）		[2]	一般教育演習（フレッシュマンセミナー）及び総合科目から4単位以上を修得すること。	46単位以上を修得すること。
		論文指導			
	総合科目	環境と人間	[1]又は[2]		
		健康と社会	[1]又は[2]		
		人間と文化	[1]又は[2]		
		特別講義	[1]又は[2]		
	主題別科目	思索と言語	[1]又は[2]	主題別科目5科目から3科目以上，6単位以上を修得すること。	
		歴史の視座	[1]又は[2]		
		芸術と文学	[1]又は[2]		
		社会の認識	[1]又は[2]		
		科学・技術の世界	[1]又は[2]		
		論文指導			
	外国語科目	英語Ⅰ	1	1　英語Ⅰ，英語Ⅱ，英語Ⅲ及び英語Ⅳの4単位を修得すること。 2　外国語科目のうちから英語以外の1か国語を選択し，4単位を修得すること。	
		英語Ⅱ	1		
		英語Ⅲ	1		
		英語Ⅳ	1		
		ドイツ語Ⅰ	2		
		ドイツ語Ⅱ	2		
		フランス語Ⅰ	2		
		フランス語Ⅱ	2		
		ロシア語Ⅰ	2		
		ロシア語Ⅱ	2		
		スペイン語Ⅰ	2		
		スペイン語Ⅱ	2		
		中国語Ⅰ	2		
		中国語Ⅱ	2		
		韓国語Ⅰ	2		
		韓国語Ⅱ	2		
	外国語演習	英語演習	[2]	2単位以上を修得すること。	
		ドイツ語演習	[2]		
		フランス語演習	[2]		
		ロシア語演習	[2]		
		スペイン語演習	[2]		
		中国語演習	[2]		
		韓国語演習	[2]		
		外国語特別演習	[2]		
	共通科目	体育学A	[1]	1　共通科目から情報学Ⅰを含み4単位以上を修得すること。 2　インターンシップA及びインターンシップBの単位は，卒業に必要な単位数に算入することができない。	
		体育学B	2		
		情報学Ⅰ	2		
		情報学Ⅱ	2		
		統計学	2		
		インターンシップA	[2]		
		インターンシップB	[1]		
基礎科目	（文系）	人文・社会科学の基礎	[2]	1　線形代数学Ⅰ，線形代数学Ⅱ，微分積分学Ⅰ，微分積分学Ⅱ，物理学Ⅰ，物理学Ⅱ，化学Ⅰ，化学Ⅱ，生物学Ⅰ，生物学Ⅱ，地球惑星科学Ⅰ及び地球惑星科学Ⅱのうちから合わせて16単位以上を修得すること。 2　入門線形代数学及び入門微分積分学は，進	
	（数学）	入門線形代数学	2		
		入門微分積分学	2		
		線形代数学Ⅰ	2		
		線形代数学Ⅱ	2		
		微分積分学Ⅰ	2		
		微分積分学Ⅱ	2		
		数学概論	[2]		
	（理科）	物理学Ⅰ	2		
		物理学Ⅱ	2		
		化学Ⅰ	2		
		化学Ⅱ	2		

		生物学Ⅰ 生物学Ⅱ 地球惑星科学Ⅰ 地球惑星科学Ⅱ	2 2 2 2	級及び卒業に必要な単位数に算入することができない。 3　自然科学実験2単位を必修とする。	
	（実験系）	心理学実験 自然科学実験	2 ［1］		
日本語科目及び日本事情に関する科目		日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語Ⅲ 日本語Ⅳ 日本事情	2 2 2 2 2	1　外国人留学生を対象として開講する授業科目である。 2　日本語Ⅰ，日本語Ⅱ，日本語Ⅲ及び日本語Ⅳは，外国語科目又は外国語演習として履修することができる。 3　日本事情は，教養科目（外国語科目及び外国語演習を除く。）として履修することができる。	

注　単位欄中の数字に［　］のつけてある授業科目は，複数の講義題目により行われ，それぞれ一の授業科目として履修することができる。

別表第１の２（第５条関係）

全学教育科目（インテグレイテッドサイエンスプログラム）

区分		授業科目	単位	備考	
教養科目	一般教育演習 （フレッシュマンセミナー）		［2］	一般教育演習（フレッシュマンセミナー）及び総合科目から6単位以上を修得すること。	46単位以上を修得すること。
		論文指導			
	総合科目	環境と人間	［1］又は［2］		
		健康と社会	［1］又は［2］		
		人間と文化	［1］又は［2］		
		特別講義	［1］又は［2］		
	主題別科目	思索と言語	［1］又は［2］	主題別科目5科目から科学・技術の世界4単位を含み3科目以上，8単位以上を修得すること。	
		歴史の視座	［1］又は［2］		
		芸術と文学	［1］又は［2］		
		社会の認識	［1］又は［2］		
		科学・技術の世界	［1］又は［2］		
		論文指導			
	外国語演習	英語演習	［2］	2単位以上を修得すること。	
	共通科目	情報学Ⅰ	2	2単位を修得すること。	
基礎科目	（数学）	線形代数学Ⅰ	2	1　線形代数学Ⅰ，線形代数学Ⅱ，微分積分学Ⅰ，微分積分学Ⅱ，物理学Ⅰ，物理学Ⅱ，化学Ⅰ，化学Ⅱ，生物学Ⅰ及び生物学Ⅱのうちから合せて16単位以上を修得すること。 2　自然科学実験2単位を必修とする。	
		線形代数学Ⅱ	2		
		微分積分学Ⅰ	2		
		微分積分学Ⅱ	2		
	（理科）	物理学Ⅰ	2		
		物理学Ⅱ	2		
		化学Ⅰ	2		
		化学Ⅱ	2		
		生物学Ⅰ	2		
		生物学Ⅱ	2		
	（実験系）	自然科学実験	［1］		
日本語科目及び日本事情に関する科目		初級日本語Ⅰ	2	8単位を修得すること。	
		初級日本語Ⅱ	2		
		初級日本語Ⅲ	2		
		初級日本語Ⅳ	2		

注　単位欄中の数字に［　］のつけてある授業科目は，複数の講義題目により行われ，それぞれ一の授業科目として履修することができる。

別表第２の１（第５条関係）

専門科目

数学科

区分	分野	授業科目	単位	備考
必修科目		数学卒業研究	16	80単位以上を修得すること。
選択必修科目A	数学	微分積分学続論	2	2以上の分野に係る授業科目のうちから6単位以上を修得すること。
		代数学・幾何学序論	2	
		ベクトル解析	2	
	物理学	現代物理学	2	
		振動と波動の物理	2	
		現代天文学	2	
	化学	基礎有機化学	2	
		基礎物理化学	2	
	生物学	細胞生物学概論	2	
		生物多様性概論	2	
	高分子機能学	生物系のための有機化学	2	
		生物系のための物理学	2	
	地球惑星科学	現代地球惑星科学概論1	2	
		現代地球惑星科学概論2	2	
選択必修科目B		基礎数学A	4	32単位以上を修得すること。
		基礎数学演習A	2	
		基礎数学B	4	
		基礎数学演習B	2	
		基礎数学C	4	
		基礎数学演習C	2	
		基礎数学D	4	
		基礎数学演習D	2	
		コンピュータ	2	
		代数学基礎	4	
		代数学基礎演習	2	
		幾何学基礎	4	
		幾何学基礎講究	2	
		解析学基礎A	2	
		解析学基礎演習A	2	
		解析学基礎B	2	
		解析学基礎演習B	2	
		数理科学基礎	2	
		確率・統計入門	2	
		統計学	2	
選択科目		代数学A	2	
		代数学演習	2	
		代数学B	2	
		代数学C	2	
		幾何学A	2	
		幾何学B	2	
		幾何学演習	2	
		幾何学C	2	
		解析学A	2	
		解析学B	2	
		解析学C	2	
		解析学D	2	
		解析学E	2	
		解析学F	2	
		解析学G	2	
		数理科学A	2	
		数理科学演習	2	
		数理科学B	2	

		数理科学講究	2	
		代数学続論	[2]	
		幾何学続論	[2]	
		数理解析学続論	[2]	
		数学特別講義	[2]	
		数学総合講義Ⅰ	[1]	
		数学総合講義Ⅱ	[2]	
		数学講読	[2]	
		理学共通講義Ⅰ	[1]	
		理学共通講義Ⅱ	[2]	
		理学共通演習Ⅰ	[1]	
		理学共通演習Ⅱ	[2]	
		理学特別講義Ⅰ	[1]	
		理学特別講義Ⅱ	[2]	
		理学特別講義Ⅲ	[3]	
		理学特別講義Ⅳ	[4]	

注　単位欄中の数字に［　］のつけてある授業科目は，複数の講義題目により行われ，それぞれ一の授業科目として履修することができる。

物理学科

区分	分野	授業科目	単位	備考
必修科目		物理数学Ⅰ	2	80単位以上を修得すること。
		力学Ⅰ	2	
		力学Ⅱ	2	
		熱物理学	2	
		電磁気学Ⅰ	2	
		量子力学Ⅰ	2	
		統計力学Ⅰ	2	
		物理学実験Ⅰ	2	
		物理学実験Ⅱ	2	
		物理学実験Ⅲ	2	
		物理学実験Ⅳ	2	
		物理学外国語文献講読Ⅰ	2	
		物理学外国語文献講読Ⅱ	2	
		物理学卒業研究Ⅰ	5	
		物理学卒業研究Ⅱ	5	
選択必修科目	数学	微分積分学続論	2	2以上の分野に係る授業科目のうちから6単位以上を修得すること。
		代数学・幾何学序論	2	
		ベクトル解析	2	
	物理学	現代物理学	2	
		振動と波動の物理	2	
		現代天文学	2	
	化学	基礎有機化学	2	
		基礎物理化学	2	
	生物学	細胞生物学概論	2	
		生物多様性概論	2	
	高分子機能学	生物系のための有機化学	2	
		生物系のための物理学	2	
	地球惑星科学	現代地球惑星科学概論1	2	
		現代地球惑星科学概論2	2	
選択科目		物理数学Ⅱ	2	
		電磁気学Ⅱ	2	
		量子力学Ⅱ	2	
		統計力学Ⅱ	2	
		物理数学演習Ⅰ	2	
		物理数学演習Ⅱ	2	
		電磁気学演習Ⅰ	2	
		力学演習Ⅰ	2	

		熱物理学演習	2	
		量子力学演習Ⅰ	2	
		統計力学演習Ⅰ	2	
		物理学総合演習	2	
		相対論	2	
		場の理論	2	
		原子核物理学	2	
		素粒子物理学	2	
		宇宙物理学	2	
		流体力学	2	
		物性物理学	[2]	
		量子力学特論	[2]	
		凝縮系物理学特論	[2]	
		現代物理学特論	[2]	
		物理学実験A	[2]	
		物理学実験B	[1]	
		物理学特別講義A	[2]	
		物理学特別講義B	[1]	
		理学共通講義Ⅰ	[1]	
		理学共通講義Ⅱ	[2]	
		理学共通演習Ⅰ	[1]	
		理学共通演習Ⅱ	[2]	
		理学特別講義Ⅰ	[1]	
		理学特別講義Ⅱ	[2]	
		理学特別講義Ⅲ	[3]	
		理学特別講義Ⅳ	[4]	

注　単位欄中の数字に［　］のつけてある授業科目は，複数の講義題目により行われ，それぞれ一の授業科目として履修することができる。

化学科

区分	分野	授業科目	単位	備考
必修科目		物理化学Ⅰ	2	80単位以上を修得すること。
		物理化学Ⅱ	2	
		物理化学Ⅲ	2	
		有機化学Ⅰ	2	
		有機化学Ⅱ	2	
		有機化学Ⅲ	2	
		無機化学Ⅰ	2	
		無機化学Ⅱ	2	
		分析化学Ⅰ	2	
		生物化学Ⅰ	2	
		化学実験Ⅰ	2	
		化学実験Ⅱ	1	
		化学実験Ⅲ	1	
		化学実験Ⅳ	3	
		化学実験Ⅴ	2	
		化学実験Ⅵ	3	
		計算機実習	1	
		化学講読	1	
		化学文献講読	2	
		化学研究実験	12	
選択必修科目	数学	微分積分学続論	2	2以上の分野に係る授業科目のうちから6単位以上を修得すること。
		代数学・幾何学序論	2	
		ベクトル解析	2	
	物理学	現代物理学	2	
		振動と波動の物理	2	
		現代天文学	2	
	化学	基礎有機化学	2	

		基礎物理化学	2		
	生物学	細胞生物学概論	2		
		生物多様性概論	2		
	高分子機能学	生物系のための有機化学	2		
		生物系のための物理学	2		
	地球惑星科学	現代地球惑星科学概論1	2		
		現代地球惑星科学概論2	2		
選択科目		無機化学Ⅲ	2		
		基礎磁気化学	2		
		錯体化学	2		
		分析化学Ⅱ	2		
		有機合成化学	2		
		有機金属化学	2		
		有機反応化学	2		
		有機機器分析	2		
		化学のための数学	2		
		物理学通論	2		
		量子化学Ⅰ	2		
		量子化学Ⅱ	2		
		電気化学	2		
		固体化学	2		
		物質電子論	2		
		分子分光学	2		
		熱・統計力学Ⅰ	2		
		熱・統計力学Ⅱ	2		
		生物化学Ⅱ	2		
		情報生化学	2		
		機能生化学	2		
		遺伝生化学	2		
		分子生理学	2		
		触媒化学	2		
		ナノ物性化学	2		
		化学特別講義Ⅰ	[2]		
		化学特別講義Ⅱ	[1]		
		理学共通講義Ⅰ	[1]		
		理学共通講義Ⅱ	[2]		
		理学共通演習Ⅰ	[1]		
		理学共通演習Ⅱ	[2]		
		理学特別講義Ⅰ	[1]		
		理学特別講義Ⅱ	[2]		
		理学特別講義Ⅲ	[3]		
		理学特別講義Ⅳ	[4]		

注　単位欄中の数字に［　］のつけてある授業科目は，複数の講義題目により行われ，それぞれ一の授業科目として履修することができる。

生物科学科（生物学）

区分	分野	授業科目	単位	備考	
選択必修科目A		生物科学研究実習	6	6単位又は2単位を修得すること。	80単位以上を修得すること。
		生物科学文献講読	2		
選択必修科目B	数学	微分積分学続論	2	2以上の分野に係る授業科目のうちから6単位以上を修得すること。	
		代数学・幾何学序論	2		
		ベクトル解析	2		
	物理学	現代物理学	2		
		振動と波動の物理	2		
		現代天文学	2		
	化学	基礎有機化学	2		
		基礎物理化学	2		

	生物学	細胞生物学概論	2	
		生物多様性概論	2	
	高分子機能学	生物系のための有機化学	2	
		生物系のための物理学	2	
	地球惑星科学	現代地球惑星科学概論1	2	
		現代地球惑星科学概論2	2	
選択必修科目C		多様性生物学Ⅰ	2	18単位以上を修得すること。
		多様性生物学Ⅱ	2	
		多様性生物学Ⅲ	2	
		細胞生物学Ⅰ	2	
		細胞生物学Ⅱ	2	
		細胞生物学Ⅲ	2	
		機能生物学Ⅰ	2	
		機能生物学Ⅱ	2	
		機能生物学Ⅲ	2	
		科学論文演習	2	
選択必修科目D		基礎生物学実習	3	6単位以上を修得すること。
		基礎生化学実習	3	
		基礎形態学実習	3	
選択必修科目E		植物系統分類学実習	2	4単位以上を修得すること。
		動物系統分類学実習	2	
		生態学実習	2	
		遺伝学実習	2	
		研究林実習	2	
選択必修科目F		形態機能学実習	2	4単位以上を修得すること。
		環境生物学実習	2	
		行動神経生物学実習	2	
		発生学実習	2	
選択科目		系統分類学Ⅰ	2	
		系統分類学Ⅱ	2	
		形態機能学Ⅰ	2	
		形態機能学Ⅱ	2	
		行動神経生物学Ⅰ	2	
		行動神経生物学Ⅱ	2	
		生殖発生生物学Ⅰ	2	
		生殖発生生物学Ⅱ	2	
		環境生物学Ⅰ	2	
		環境生物学Ⅱ	2	
		分子遺伝学	2	
		系統進化学	2	
		脳と行動の進化	2	
		環境分子生物学	2	
		生物統計学	1	
		生物科学技術基礎論	1	
		臨海実習Ⅰ	1	
		臨海実習Ⅱ	1	
		海洋生態学実習	1	
		海藻学実習	1	
		生物学特別実習Ⅰ	[1]	
		生物学特別実習Ⅱ	[2]	
		生物学特別講義Ⅰ	[1]	
		生物学特別講義Ⅱ	[1]	
		生物学特別講義Ⅲ	[1]	
		生物学特別講義Ⅳ	[1]	
		生物学特別講義Ⅴ	[1]	
		生物学特別講義Ⅵ	[2]	
		理学共通講義Ⅰ	[1]	
		理学共通講義Ⅱ	[2]	
		理学共通演習Ⅰ	[1]	
		理学共通演習Ⅱ	[2]	

		理学特別講義Ⅰ 理学特別講義Ⅱ 理学特別講義Ⅲ 理学特別講義Ⅳ	[1] [2] [3] [4]	

注　単位欄中の数字に［　］のつけてある授業科目は，複数の講義題目により行われ，それぞれ一の授業科目として履修することができる。

生物科学科（高分子機能学）

区分	分野	授業科目	単位	備考
必修科目		高分子機能学基礎実験 生体高分子学実験Ⅰ 生体高分子学実験Ⅱ 生体高分子学実験Ⅲ 高分子機能学文献講読 高分子機能学卒業研究	2 4 4 4 4 12	80単位以上を修得すること。
選択必修科目	数学	微分積分学続論 代数学・幾何学序論 ベクトル解析	2 2 2	2以上の分野に係る授業科目のうちから6単位以上を修得すること。
	物理学	現代物理学 振動と波動の物理 現代天文学	2 2 2	
	化学	基礎有機化学 基礎物理化学	2 2	
	生物学	細胞生物学概論 生物多様性概論	2 2	
	高分子機能学	生物系のための有機化学 生物系のための物理学	2 2	
	地球惑星科学	現代地球惑星科学概論1 現代地球惑星科学概論2	2 2	
選択科目		分子生物学概論 生物系の熱力学 生物系の溶液論 生物系の反応速度論 生物系の電解質論 生物系の量子力学 生物系の分光学 生物系の物質輸送論 生物系の統計力学 生体高分子物性論 生命有機化学 基礎高分子合成化学 応用生物有機化学 分子遺伝科学Ⅰ 分子遺伝科学Ⅱ 実験生物科学 細胞構造科学Ⅰ 細胞構造科学Ⅱ 細胞構造科学Ⅲ 細胞情報科学Ⅰ 細胞情報科学Ⅱ 生物系の分析化学 生物系のX線結晶学 生命情報科学演習 有機化学演習 レオロジー 科学英語講読 基礎化学英語 高分子機能学特別講義 理学共通講義Ⅰ	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 [1] [1]	

		理学共通講義Ⅱ	[2]	
		理学共通演習Ⅰ	[1]	
		理学共通演習Ⅱ	[2]	
		理学特別講義Ⅰ	[1]	
		理学特別講義Ⅱ	[2]	
		理学特別講義Ⅲ	[3]	
		理学特別講義Ⅳ	[4]	

注　単位欄中の数字に［　］のつけてある授業科目は，複数の講義題目により行われ，それぞれ一の授業科目として履修することができる。

地球惑星科学科

区分	分野	授業科目	単位	備考
必修科目		地球惑星科学セミナー	1	80単位以上を修得すること。
		地球惑星科学文献講読	4	
		地球惑星科学研究	12	
選択必修科目A	数学	微分積分学続論	2	2以上の分野に係る授業科目のうちから6単位以上を修得すること。
		代数学・幾何学序論	2	
		ベクトル解析	2	
	物理学	現代物理学	2	
		振動と波動の物理	2	
		現代天文学	2	
	化学	基礎有機化学	2	
		基礎物理化学	2	
	生物学	細胞生物学概論	2	
		生物多様性概論	2	
	高分子機能学	生物系のための有機化学	2	
		生物系のための物理学	2	
	地球惑星科学	現代地球惑星科学概論1	2	
		現代地球惑星科学概論2	2	
選択必修科目B		地球惑星科学のための物理数学Ⅰ	2	8単位以上を修得すること。
		地球惑星科学のための物理数学Ⅰ演習	1	
		地球惑星科学のための古典力学	2	
		地球惑星科学のための古典力学演習	1	
		地球惑星基礎化学	2	
		堆積学	2	
		鉱物学	2	
		地球惑星物質科学実習	3	
		情報実習	2	
選択必修科目C		地球惑星科学のための物理数学Ⅱ	2	10単位以上を修得すること。
		地球惑星科学のための物理数学Ⅱ演習	1	
		地球惑星科学のための電磁気学	2	
		地球連続体力学	2	
		データ解析学	2	
		惑星学	2	
		マグマ科学	2	
		岩石変形学	2	
		地球史	2	
		量子力学Ⅰ	2	
		統計力学Ⅰ	2	
		地球惑星科学実験Ⅰ	2	
選択必修科目D		惑星大気構造学	2	10単位以上を修得すること。
		海洋地質学	2	
		地球化学	2	
		火山学	2	
		地震学	2	
		変動帯岩石科学	2	
		地球内部物理学	2	
		気象学	2	
		地球惑星科学実験Ⅱ	2	

		地球計測実習	2	
		地質学実習	4	
選択科目		地球惑星電磁気学	2	
		陸水循環物理学	2	
		鉱物物理化学	2	
		地球環境学	2	
		古生物学	2	
		有機地球化学	2	
		海洋気候物理学	2	
		流体力学	2	
		地球資源科学	2	
		宇宙測地学	2	
		宇宙物理学	2	
		地球惑星科学実験Ⅲ	2	
		地球惑星科学実験Ⅳ	2	
		野外巡検	2	
		地球惑星流体力学Ⅰ	1	
		地球惑星流体力学Ⅱ	1	
		相対論	2	
		地球惑星科学特別講義	[1]	
		理学共通講義Ⅰ	[1]	
		理学共通講義Ⅱ	[2]	
		理学共通演習Ⅰ	[1]	
		理学共通演習Ⅱ	[2]	
		理学特別講義Ⅰ	[1]	
		理学特別講義Ⅱ	[2]	
		理学特別講義Ⅲ	[3]	
		理学特別講義Ⅳ	[4]	

注　単位欄中の数字に［　］のつけてある授業科目は，複数の講義題目により行われ，それぞれ一の授業科目として履修することができる。

別表２の２（第５条関係）

専門科目（インテグレイテッドサイエンスプログラム）

インテグレイテッドサイエンスプログラム共通科目群

区分			分野	授業科目	単位	備考		
物理学科	化学科	生物科学科（生物学専修分野）				物理学科	化学科	生物科学科（生物学専修分野）
必修科目	選択科目	選択科目	数学	常微分方程式入門	1	必修科目から22単位以上及び選択必修科目から10単位以上を修得すること。	必修科目から20単位以上及び選択科目から28単位以上を修得すること。	生物学分野の選択必修科目から18単位以上を修得すること。 2　生物学分野以外の分野（数学，物理学及び化学）から2以上の分野に係る授業科目のうちから6単位以上修得すること。
				常微分方程式入門演習	1			
				ベクトル解析入門	1			
				ベクトル解析入門演習	1			
			物理学	複素関数論入門	1			
				複素関数論入門演習	1			
				フーリエ解析学入門	1			
				フーリエ解析学入門演習	1			
				電磁気学Ⅰ	2			
				電磁気学Ⅱ	2			
				量子力学Ⅰ	2			
				統計力学Ⅰ	2			
選択必修科目				現代物理学	2			
必修科目				電磁気学演習Ⅰ	1			
				電磁気学演習Ⅱ	1			
				量子力学演習Ⅰ	1			
				統計力学演習Ⅰ	1			
				プログラミング入門	1			
				データ処理入門	1			

選択必修科目	必修科目		化学	物理化学A	2			
				物理化学B	2			
				物理化学C	2			
				有機化学A	2			
				有機化学B	2			
				有機化学C	2			
				無機化学A	2			
				無機化学B	2			
				分析化学	2			
				生物化学	2			
	選択科目	選択必修科目	生物学	多様性生物学Ⅰ	2			
				多様性生物学Ⅱ	2			
				多様性生物学Ⅲ	2			
				細胞生物学Ⅰ	2			
				細胞生物学Ⅱ	2			
				細胞生物学Ⅲ	2			
				機能生物学Ⅰ	2			
				機能生物学Ⅱ	2			
				機能生物学Ⅲ	2			
				科学論文演習	2			
		選択科目		科学者倫理	1			
				特別実習Ⅰ	[1]			
				特別実習Ⅱ	[2]			
				ISP特別講義Ⅰ	[1]			
				ISP特別講義Ⅱ	[2]			
				ISP特別講義Ⅲ	[3]			
				ISP特別講義Ⅳ	[4]			

注　単位欄中の数字に［　］のつけてある授業科目は，複数の講義題目により行われ，それぞれ一の授業科目として履修することができる。

物理学科

区分	授業科目	単位	備考	
必修科目	力学Ⅰ	2	36単位以上を修得すること。	インテグレイテッドサイエンスプログラム共通科目群に掲げる授業科目から修得した単位と合わせて，80単位以上を修得すること。
	力学Ⅱ	2		
	量子力学Ⅱ	2		
	統計力学Ⅱ	2		
	物理学実験Ⅰ	2		
	物理学実験Ⅱ	2		
	物理学実験Ⅲ	2		
	物理学実験Ⅳ	2		
	物理学外国語文献講読Ⅰ	2		
	物理学外国語文献講読Ⅱ	2		
	物理学外国語文献講読Ⅲ	2		
	物理学卒業研究Ⅰ	5		
	物理学卒業研究Ⅱ	5		
	力学演習Ⅰ	1		
	力学演習Ⅱ	1		
	量子力学演習Ⅱ	1		
	統計力学演習Ⅱ	1		
選択科目	相対論	2	4単位以上を修得すること。	
	場の理論	2		
	原子核物理学	2		
	素粒子物理学	2		
	宇宙物理学	2		
	物性物理学	[2]		
	量子力学特論	[2]		
	凝縮系物理学特論	[2]		
	現代物理学特論	[2]		
	物理学特別講義	[2]		

	理学特別講義Ⅰ	[1]		
	理学特別講義Ⅱ	[2]		
	理学特別講義Ⅲ	[3]		
	理学特別講義Ⅳ	[4]		

注　単位欄中の数字に［　］のつけてある授業科目は，複数の講義題目により行われ，それぞれ一の授業科目として履修することができる。

化学科

区分	授業科目	単位	備考	
必修科目	化学特別研究A1	3	20単位以上を修得すること。	インテグレイテッドサイエンスプログラム共通科目群に掲げる授業科目から修得した単位と合わせて，80単位以上を修得すること。
	化学特別研究A2	3		
	化学特別研究B1	6		
	化学特別研究B2	6		
	化学文献講読1	1		
	化学文献講読2	1		
選択科目	化学実験A	2	12単位以上を修得すること。	
	化学実験B	2		
	化学実験C	2		
	化学実験D	2		
	化学実験E	2		
	化学実験F	2		
	計算機実習	1		
	化学特別講義Ⅰ	[2]		
	化学特別講義Ⅱ	[1]		
	理学特別講義Ⅰ	[1]		
	理学特別講義Ⅱ	[2]		
	理学特別講義Ⅲ	[3]		
	理学特別講義Ⅳ	[4]		

注　単位欄中の数字に［　］のつけてある授業科目は，複数の講義題目により行われ，それぞれ一の授業科目として履修することができる。

生物科学科（生物学）

区分	授業科目	単位	備考	
選択必修科目B	生物科学研究実習	6	6単位又は2単位を修得すること。	インテグレイテッドサイエンスプログラム共通科目群に掲げる授業科目から修得した単位と合わせて，80単位以上を修得すること。
	生物科学文献講読	2		
選択必修科目D	基礎生物学実習	3	6単位以上を修得すること。	
	基礎生化学実習	3		
	基礎形態学実習	3		
選択必修科目E	植物系統分類学実習	2	4単位以上を修得すること。	
	動物系統分類学実習	2		
	生態学実習	2		
	遺伝学実習	2		
	研究林実習	2		
選択必修科目F	形態機能学実習	2	4単位以上を修得すること。	
	環境生物学実習	2		
	行動神経生物学実習	2		
	発生学実習	2		
選択科目	系統分類学Ⅰ	2		
	系統分類学Ⅱ	2		
	形態機能学Ⅰ	2		
	形態機能学Ⅱ	2		
	行動神経生物学Ⅰ	2		
	行動神経生物学Ⅱ	2		
	生殖発生生物学Ⅰ	2		
	生殖発生生物学Ⅱ	2		
	環境生物学Ⅰ	2		
	環境生物学Ⅱ	2		
	分子遺伝学	2		

	系統進化学	2		
	脳と行動の進化	2		
	環境分子生物学	2		
	生物統計学	1		
	生物科学技術基礎論	1		
	臨海実習Ⅰ	1		
	臨海実習Ⅱ	1		
	海洋生態学実習	1		
	海藻学実習	1		
	生物学特別実習Ⅰ	[1]		
	生物学特別実習Ⅱ	[2]		
	生物学特別講義Ⅰ	[1]		
	生物学特別講義Ⅱ	[1]		
	生物学特別講義Ⅲ	[1]		
	生物学特別講義Ⅳ	[1]		
	生物学特別講義Ⅴ	[1]		
	生物学特別講義Ⅵ	[2]		
	理学特別講義Ⅰ	[1]		
	理学特別講義Ⅱ	[2]		
	理学特別講義Ⅲ	[3]		
	理学特別講義Ⅳ	[4]		

注　単位欄中の数字に［　］のつけてある授業科目は，複数の講義題目により行われ，それぞれ一の授業科目として履修することができる。

北海道大学における授業料未納者に係る除籍の取扱いに関する内規

平成17年４月１日

総長裁定

（趣旨）

第１条　この内規は，北海道大学通則（平成７年海大達第２号。以下「通則」という。）第30条第４号及び北海道大学大学院通則（昭和29年海大達第３号。以下「大学院通則」という。）第20条第４号に規定する授業料の未納による除籍の取扱いに関し必要な事項を定めるものとする。

（授業料の未納による除籍の取扱い）

第２条　北海道大学（以下「本学」という。）の第１年次の学生，学部学生及び現代日本学プログラム課程の学生で通則第30条第４号の規定に該当するものにあっては同条本文の規定により，大学院学生で大学院通則第20条第４号の規定に該当するものにあっては同条本文の規定により，当該授業料の納付に係る学期（通則第５条第２項及び大学院通則第６条第１項に規定する学期をいう。）の末日をもって除籍する。

（除籍手続等）

第３条　授業料を納付しない者（以下「未納者」という。）に対する督促及び前条の規定による除籍等に関する手続は，次に掲げる順序により行うものとする。

(1)　総長は，授業料の納付期限を過ぎたときは，当該学期の未納者に対して掲示により督促する。

(2)　総長は，前号の規定による督促をしてもなお納付しないときは，未納者及び当該未納者の連帯保証人（以下「保証人」という。）に対して文書により督促する。

(3)　未納者の在学する学部若しくは現代日本学プログラム課程又は大学院の研究科，学院若しくは教育部（以下「学部等」という。）の長（第１年次の学生に係るものにあっては，高等教育推進機構長。次条において同じ。）及び当該学部等の事務部（第１年次の学生に係るもの及び現代日本学プログラム課程の学生に係るものにあっては学務部。）は，当該未納者及び保証人に対して面談その他の方法により除籍の取扱いについて説明し，授業料の納付について指導する。

(4)　総長は，前３号の手続を行ってもなお納付しないときは，当該未納者の在学する学部等の教授会（第１年次の学生に係るものにあっては高等教育推進機構学務委員会，現代日本学プログラム課程の学生に係るものにあっては現代日本学プログラム課程運営委員会。次条において同じ。）の議を経て，当該未納者を除籍する。

(5)　総長は，除籍を決定したときは，除籍の通知を当該未納者に送付するとともに，当該通知の写しを保証人に送付する。

（雑則）

第４条　この内規に定めるもののほか，授業料の未納による除籍の取扱いに関し必要な事項は，各学部等の教授会の議を経て，各学部等の長が定める。

附　則

１　この内規は，平成17年４月１日から施行する。ただし，この内規の施行前に除籍した者については，適用しない。

２　平成17年３月31日に本学に在学し，この内規の施行後引き続き本学に在学する者については，第２条及び第３条中「２期」とあるのは，この内規の施行日前における授業料未納の期を算入しないものとする。

３　前項の規定によりこの内規の施行日前における授業料未納の期を算入されなかった者が，第２条の規定により除籍された後に第４条第１項の規定により復籍を願い出るときは，前項の規定により算入されなかった期に係る未納の授業料を含めた額を納付しなければならない。

附　則（平成19年５月９日）

１　この内規は，平成19年５月９日から施行し，平成19年４月１日から適用する。

附　則（平成23年４月１日）

この内規は，平成23年４月１日から施行する。

附　則（平成27年４月１日）

この内規は，平成27年４月１日から施行する。

附　則（平成28年10月１日）

この内規は，平成28年10月１日から施行する。

附　則（平成30年７月１日）

この内規は，平成30年７月１日から施行する。

附　則（平成30年10月１日）

１　この内規は，平成31年４月１日から施行する。ただし，平成31年３月31日までに除籍した者に係る復籍については，改正後の北海道大学における授業料未納者に係る除籍の取扱いに関する内規の規定にかかわらず，なお従前の例による。

２　平成31年３月31日に本学に在学し，この内規の施行の日（以下この項において「施行日」という。）以降引き続き本学に在学する者であって，施行日前における授業料を納付しないものが，施行日以降においてもなお納付しないときは，改正後の第２条及び第３条の規定の例により，平成31年９月30日をもって除籍する。

北海道大学における休学，退学，卒業及び修了並びに単位認定の取扱いに関する要項

平成30年10月１日

総長裁定

（趣旨）

第１条　北海道大学（以下「本学」という。）の第１年次の学生，学部若しくは現代日本学プログラム課程又は大学院の研究科，学院若しくは教育部（以下「学部等」という。）の学生の休学，退学，卒業及び修了並びに単位認定の取扱いについては，北海道大学通則（平成７年海大達第２号。以下「通則」という。），北海道大学大学院通則（昭和29年海大達第３号。以下「大学院通則」という。），北海道大学における授業料未納者に係る除籍の取扱いに関する内規（平成17年４月１日総長裁定）及び北海道大学授業料等免除内規（昭和36年３月30日学長裁定）に定めるもののほか，この要項に定めるところによる。

（休学）

第２条　学部等の長（第１年次の学生に係るものにあっては，高等教育推進機構長。次条及び第５条において同じ。）は，休学願の提出があったときは，第１年次の学生，学部学生及び現代日本学プログラム課程の学生（以下「学部学生等」という。）にあっては通則第22条の規定により，大学院学生にあっては大学院通則第15条の規定により，授業料の納付の有無にかかわらず休学を許可することができる。

（退学）

第３条　学部等の長は，退学願の提出があったときは，学部学生等にあっては通則第29条の規定により，大学院学生にあっては大学院通則第19条の規定により，授業料の納付の有無にかかわらず退学を許可することができる。

２　前項の規定にかかわらず，本学大学院の博士課程において所定の修業年限以上在学し，所定の単位を修得したのみで退学を希望する者（いわゆる単位修得退学を希望する者）については，授業料の納付が確認されるまでは，退学を許可しない。

（卒業及び修了の認定）

第４条　総長は，通則第33条又は第33条の２に規定する卒業要件を満たした場合であっても，授業料の納付が確認されるまでは，卒業を認定しない。

２　総長は，大学院通則第22条，第23条又は第23条の２に規定する修了要件を満たした場合であっても，授業料の納付が確認されるまでは，修了を認定しない。

（単位の認定）

第５条　学部等の長は，授業料が納付されていない学期に履修した単位を認定しない。

附　則

この要項は，平成31年４月１日から実施する。

５．関連大学院の紹介

理学部に関連の深い大学院は，「理学院」「生命科学院」「総合化学院」である。
このうち，「理学院」「生命科学院生命科学専攻及びソフトマター専攻」「総合化学院」は５年の博士課程である。（前期２年の課程と後期３年の課程に区分し，前期２年の課程は，修士課程として取扱われる。）「生命科学院臨床薬学専攻」は４年の博士課程のみである。

【理学院】

専　攻　名	入学定員	
	修士(博士前期) 課程	博士後期 課程
数　　学　　専　　攻	４４	１６
物 性 物 理 学 専 攻	２４	１０
宇　宙　理　学　専　攻	２０	９
自 然 史 科 学 専 攻	３９	２０
合　　計	１２７	５５

【生命科学院】

専　攻　名 (コース名)	入学定員	
	修士(博士前期) 課程	博士後期課程 又は 博士課程
生　命　科　学　専　攻 (生命融合科学コース) (生命システム科学コース) (生命医薬科学コース)	１１６	３８
ソフトマター専攻	１６	６
臨　床　薬　学　専　攻		６
合　　計	１３２	５０

【総合化学院】

専　攻　名 (コース名)	入学定員	
	修士(博士前期) 課程	博士後期 課程
総　合　化　学　専　攻 (分子化学コース) (物質化学コース) (生物化学コース)	１２９	３８
合　　計	１２９	３８

６．附属教育研究施設等の紹介

（１）地震火山研究観測センター

北海道は，世界的に見て地震活動や火山噴火が活発な場所である。太平洋側や日本海側の海底では，巨大地震が数多く発生し，揺れや津波による大きな被害を受けてきた。内陸部では，活断層が多数存在するとともに，巨大なカルデラを含む 20 の活火山があり，頻繁に噴火が発生している。これらの活発な地震や火山活動は，千島海溝からの太平洋プレートの沈み込みと，日本海側で大陸プレートの衝突という，広域テクトニクスで位置づけられる。北海道は，多様な地震火山現象を直接観測することが可能であり，発生メカニズム研究の対象として格好のフィールドとなっている。

本センターでは，北海道をはじめ日本列島とその周辺に起きる地震や火山を観測し，得られたデータを解析することで，地震や噴火の発生メカニズムを明らかにする研究教育を実施している。また，研究成果を活用し，災害軽減を目指す取り組みも積極的に行っている。フィールドに恵まれた北海道の特性を生かし，地震や火山現象を地球科学の広い視野の中で理解することに重点を置くことが教育研究の基本方針となっている。地震や噴火現象を地球科学的に俯瞰し，全地球的な視野に立った教育研究を行うことによって，はじめて日本の地震や火山の研究が進められる。このため本センターでは，北海道に限らず，国際共同研究をはじめとする世界的なスケールの教育研究を推進している。

地震観測研究分野では，北海道内に約 50 ヵ所の地震地殻変動観測点を設置しており，観測データを札幌キャンパスにリアルタイムで伝送して地震発生の仕組みを解明する研究を行っている。超巨大地震と津波の発生が切迫している十勝根室沖での各種観測や，内陸地震発生地域での重点的観測などを実施している。地震や火山活動を支配しているのはプレートの運動である。北海道を含むアジア北東部の広域テクトニクスの研究をロシアや中国と協力して進めている。

海底地震津波研究分野は，海底地震計や数値計算，地質調査などを駆使し，海溝型巨大地震とそれが引き起こす津波の研究を行っている。海底に地震計を配置して震源域の特徴的な地下構造や地震活動を捉える観測を行うとともに，津波観測と数値計算を組み合わせ津波発生メカニズムの研究を進めている。また，地質調査から，過去数千年に及ぶ古津波を復元する研究を実施している。津波災害の軽減を目指し，即時的に津波浸水を予測する研究も行っている。

火山活動分野は，地球物理学的諸観測に基づき，火山活動の包括的な解明を目指した研究を進めている。有珠山，駒ヶ岳，樽前山，十勝岳及び雌阿寒岳では，常時観測を実施している。火山性地震・微動，火山性地殻変動・重力，熱，地球電磁気現象等の様々な観測によって，マグマや熱水系を含む総合的な火山活動をモデル化し，噴火の前兆現象や爆発機構，ダイナミックな構造の理解を進めている。火山噴火予知連絡会や火山防災協議会などを通じて，研究成果を災害軽減に生かす取り組みも積極的に行っている。

地下構造研究分野では，地震学的・地球電磁気学・測地学など，さまざまな地球科学的な調査手法を駆使して，地震発生帯や火山の地下構造を明らかにする研究を進めている。地震が多発する場所では，特異な地下構造が見られる。火山の地下には，マグマ溜まりがあるはずである。これら，地殻やマントルの構造は，地震や火山噴火現象を支配する最も基本的な情報であり，災害ポテンシャルの評価にとって重要な研究分野となっている。また，再生可能エネルギーとして注目されている地熱資源の調査も進めている。

地震火山地域防災情報支援室は，学内外の多様な研究分野や行政機関・社会との協働から，地震火山災害の軽減を目指す組織である。本センターが進める地震や噴火の発生メカニズム研究は災害誘因の評価に直結する。津波の即時的浸水予測の研究は，津波避難計画の基本的情報となる。これらの研究成果を，社会で活用し実際の災害軽減にまで昇華させるためには，多くの研究分野をはじめ，行政や住民など社会組織との連携が必要となる。当室には，そのハブ的な機能を果たすことが期待されている。

このように，本センターはフィールドサイエンスの研究を行いながら教育を行なう施設である。学部生も大学院生も，それぞれのフィールドワークに参加してもらっている。また，本センターの大きな特長は外国との研究協力が盛んなことで，大学院生も積極的に海外での観測に参加している。

６．附属教育研究施設等の紹介

（２）ゲノムダイナミクス研究センター

生物はDNAや染色体に記録された遺伝情報をもとにからだをつくり，様々な生命活動を営んでいる。ひとつの生物をつくるために必要な全遺伝情報のセットがゲノムである。ヒトのDNAは，23対46本の染色体として細胞の核の中に収納されている。1個の受精卵から体が形作られていく発生過程や，個々の細胞が置かれた環境に応じて染色体から必要な遺伝情報が読み出され，その情報にしたがって適切な反応が起こることにより，生物は発生や組織分化を正常に進めることができる。ゲノムに記録された情報が読み出される遺伝子発現の過程は巧妙に制御されており，この過程の異常や，細胞から細胞へとゲノムが受け継がれる過程で遺伝情報自体に異常が起こると，多くの場合，発生異常や病気となって現れる。また，ゲノムは時間の流れの中で少しずつ変化して進化の源となり，多種多様な生物を生み出してきた。現存する多様な生物のゲノムには生命の起源から現在までの歴史が刻まれている。さらに今，私たちの生活を豊かにし，人類の発展を持続可能なものとするために，生物がもつ機能を活用することが期待されている。生物の複雑で巧妙なしくみを理解し，その機能を利用していくためには，ゲノムに記録された情報の機能と制御機構を解析していくことが必要になる。

ゲノムダイナミクス研究センターは学内共同利用施設として，医学や農学などの応用研究を含む現代の生命科学研究に欠くことのできない，ゲノムの構造と機能およびその制御機構の研究のための設備機器と技術を全学に提供している。さらに，研究対象としての様々な生物を飼育・栽培できる設備と技術を提供し，多様な研究に対して支援を行っている。運営に携わる教員は理学研究院生物科学部門に所属し，ゲノムの構造と機能ならびに進化に関する研究プロジェクトを推進している。また，センターは理学部・理学院・生命科学院等の学生教育にも活用されている。

当研究センターには，以下の利用部門が設けられている。

動物染色体共同利用部門：

染色体の構造解析に必要な最新技術の供与・指導，絶滅危惧種を含む脊椎動物の多様な細胞系統の保存を行っている。運営にあたる教員は，哺乳動物の不活性 X 染色体の再活性化機構に関する研究を行っている。

遺伝子実験共同利用部門：

隔離温室，恒温培養室，組換えDNA実験室およびゲノム解析機器を提供している。運営にあたる教員は，絶滅危惧種を含む哺乳類・鳥類の DNA を用いた分子系統進化学および集団遺伝学に関する研究を行っている。

実験生物共同利用部門：

マウス・ラットなどのげっ歯類，昆虫を含む中・小型動物，水棲動物に対応した飼育設備，温室・圃場などの植物栽培設備を提供するとともに，飼育や栽培に関する技術支援も行っている。運営にあたる教員は，減数分裂の制御機構に関する研究や，疾患モデルとなるマウスやラットの変異に関する研究を行っている。また，昆虫のゲノム構造の比較を基に，種の分化や多様性に関する研究を行っている。

－平成１３年４月から北方生物圏フィールド科学センターへ移行した施設－

（３）厚岸臨海実験所

国内唯一の亜寒帯に位置する臨海実験所として 1931 年に設立された。寒流系沿岸海洋生物の分類学，生態学，さらに沿岸生物海洋学などの諸分野の共同利用の教育研究施設として利用されている。実習室・外来実験室・宿泊施設・実習研究船等を備えており，理学部生物科学科生物学専修分野（臨海実習Ⅰ，海洋生態学実習）や他大学の臨海実習，北海道大学１年生対象の一般教育演習集中講義，国公私立大学の生物系の学部学生対象の単位互換の公開臨海実習などの実習教育が実施されている。平成 24 年度からは文部科学省教育関係共同利用拠点として室蘭臨海実験所とともに多様な教育プログラムを行っており，平成 29 年からはさらに 5 年間再認定されている。また，国内外の研究者・院生等の外来利用者を多数受け入れており，別寒辺牛川流域や厚岸湖，厚岸湾，大黒島などの各種周辺フィールドの研究の基地として利用されている。実験所の管理運営を担当する教員・技術職員は，北方生物圏フィールド科学センターに所属し，厚岸湖・厚岸湾の生態系変動の研究や，アマモ場，干潟，岩礁潮間帯，沿岸親潮域の群集生態学・生態系生態学・生物海洋学の研究（生物群集生態領域・群集生態分野）等を行っている。学部教育においては，理学部生物科学科生物学専修分野の卒業研究の受け入れ先となっており，大学院教育においては，環境科学院生物圏科学専攻水圏生物学コースを担当している。

（４）室蘭臨海実験所

1933 年附属海藻研究所として室蘭市舟見町に開設された。その後，1956 年に室蘭市チャラツナイ浜，2012 年に現在の室蘭市舟見町追直漁港近くに移転した。本実験所は，海藻の発生・生理・生態・分類などの研究を中心に行っている本邦唯一の臨海実験所であり，世界にも例を見ないユニークなものである。現在は主に海藻類の培養を通しての生活環制御，栄養生理・生化学，同形配偶子接合から卵生殖に向けての生殖進化の問題，それに伴う細胞微細構造の変化，受精・発生過程におけるゲノム情報を基盤とした分子細胞生物学的解析，環境 DNA を用いた藻場の維持機構について研究が行われている。海洋生物学に関連する様々な研究分野の国内外の大学研究者，本学理学部学生の臨海実習，他大学学生の公開臨海実習にも利用されており，平成 24 年度からは文部科学省教育関係共同利用拠点として厚岸臨海実験所とともに認定され，平成 29 年からはさらに 5 年間再認定されている。学部教育においては理学部生物科学科生物学専修分野の卒業研究の受け入れ先となっており，大学院教育においては，環境科学院生物圏科学専攻水圏生物学コースを担当している。教員・技術職員は北方生物圏フィールド科学センターに所属している。

この欠席届様式は、適宜コピーしてご使用ください。

欠　　席　　届

年　　月　　日

教員　　殿

科　　目：

年入学　　学部　　学科　　年

学生番号：

氏　　名：

下記の理由により欠席しますので，お届けします。

記

欠席理由：

欠席した日（期間）：

年　　月　　日～　　年　　月　　日

出典：理学部学生便覧

・　当該現況分析単位に関する「協定等に基づく留学期間別日本人留学生数」

（単位：人）

	2016 年度	2017 年度	2018 年度	計
学生数	976	996	994	2966
１か月未満	19（18）	22（13）	16（９）	57（40）
１か月以上 ３か月未満	２（１）	１	０（１）	３（２）
３か月以上 ６か月未満	０	１	０	１
６か月以上 １年未満	２	０	２	４
１年以上	０	１	０	１
不明	０	０	０	０

※１　学生数は各年度５月１日時点で２～４年次に在籍する日本人学生数。

※２　（）内の数は総合教育部（１年次）在籍中に留学し，２年次に当該部局に移行した者の数。

出典：評価室資料

公開臨海実習の担当教員数の推移★

	第2期中期目標期間			第3期中期目標期間			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
国際フィールド演習（室蘭）							
担当教員数	7	ー	ー	ー	ー		ー
（うち女性教員）	(2)	ー	ー	ー	ー		ー
他大学教員数	1	ー	ー	ー	ー		ー
国際フィールド演習（厚岸）							
担当教員数	3	8	ー	ー	ー		ー
（うち女性教員）	(0)	(2)	ー	ー	ー		ー
他大学教員数	0	3	ー	ー	ー		ー
国際公開臨海実習Ⅰ							
担当教員数	ー	ー	4	4	5	5	6
（うち女性教員）	ー	ー	(2)	(3)	(0)	(2)	(1)
他大学教員数	ー	ー	0	1	1	2	2
国際公開臨海実習Ⅱ							
担当教員数	ー	ー	7	5	5	7	6
（うち女性教員）	ー	ー	(2)	(0)	(0)	(1)	(1)
他大学教員数	ー	ー	1	2	1	2	2
国際公開臨海実習Ⅲ							
担当教員数	ー	ー	ー	5	5	7	6
（うち女性教員）	ー	ー	ー	(0)	(2)	(1)	(1)
他大学教員数	ー	ー	ー	2	1	2	2
海洋生態学							
担当教員数	4	2	3	4	4	3	4
（うち女性教員）	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
他大学教員数	1	0	0	1	1	1	1
基礎水圏生物学							
担当教員数	4	3	3	4	5	2	4
（うち女性教員）	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
他大学教員数	1	1	0	1	2	0	1
海藻類の分類・生態・細胞生物学							
担当教員数	3	3	3	4	4	4	4
（うち女性教員）	(2)	(2)	(2)	(2)	(1)	(1)	(1)
他大学教員数	0	0	0	0	1	1	1
早春の北海道南部での海藻採集と培養技術の習得							
担当教員数					4	5	ー
（うち女性教員）					(1)	(1)	ー
他大学教員数					0	1	ー

★出典：2012～2018年度 教育関係共同利用拠点 実施状況報告書
2019年度公開臨海実習担当教員一覧

公開臨海実習の参加学生数の推移★

	第2期中期目標期間			第3期中期目標期間			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
国際フィールド演習（室蘭）							
受講人数	10	5	ー	ー	ー	ー	ー
応募大学数	8	3	ー	ー	ー	ー	ー
国際フィールド演習（厚岸）							
受講人数	5	12	ー	ー	ー	ー	ー
応募大学数	4	10	ー	ー	ー	ー	ー
国際公開臨海実習I							
受講人数	ー	ー	8	10	5	4	0
応募大学数	ー	ー	5	7	4	3	0
国際公開臨海実習II							
受講人数	ー	ー	8	6	5	0	2
応募大学数	ー	ー	6	5	4	0	2
国際公開臨海実習III							
受講人数	ー	ー	4	4	6	0	3
応募大学数	ー	ー	4	4	5	0	2
海洋生態学							
受講人数	9	4	5	7	6	5	17
応募大学数	5	*3	5	5	5	*5	*10
基礎水圏生物学							
受講人数	12	3	3	12	12	4	16
応募大学数	9	2	3	*10	11	3	*5
海藻類の分類・生態・細胞生物学							
受講人数	4	7	3	10	7	ー	6
応募大学数	4	6	2	7	7	ー	5
早春の北海道南部での海藻採集と培養技術の習得							
受講人数	ー	ー			6	5	ー
応募大学数	ー	ー			4	3	ー

＊自大学の応募含む

★出典：2012～2018年度 教育関係共同利用拠点 実施状況報告書，2019年度公開臨海実習等実績

共同利用実習の受入数の推移＊

	第2期中期目標期間			第3期中期目標期間			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
室蘭							
受入件数	0	1	1	1	1	1	1
人数	0	19	13	10	15	15	15
厚岸							
受入件数	3	8	6	3	5	4	4
人数	47	69	69	33	53	60	61
合計							
受入件数	3	9	7	4	6	5	5
人数	47	88	82	43	68	75	76

★出典:2012～2018年度 教育関係共同利用拠点 実施状況報告書, 2019年度共同利用実習実績

共同利用研究の受入数の推移＊

	第2期中期目標期間			第3期中期目標期間			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
室蘭							
学生数	1	5	7	10	10	7	13
厚岸							
学生数	3	10	9	9	32	16	39
合計学生数	4	15	16	19	42	23	52

＊出典:2012～2018年度 教育関係共同利用拠点 実施状況報告書, 2019年度共同利用研究実績

・　履修指導の実施状況

取組	実施組織	実施状況
ガイダンス	理学部	○学部全体　2年次対象に4月に実施 ○学科別 ・数学科　毎年4月に実施。 ・物理学科　各学年開始時に実施。2年次進級時には宿泊研修を実施。 ・化学科　毎年実施。 ・生物科学科（生物）　年度当初に学年ごとに実施。3年次は秋にも実施。 ・生物科学科（高分子）　学期ごとに2回実施。 ・地球惑星科学科　3年生12月から2月にかけて全体ガイダンス及び各研究室ガイダンスを実施。
担任制	理学部	・物理学科　２～３年次に設置 ・化学科　設置 ・生物科学科（生物）　ISPのみ設置 ・生物科学科（高分子）　１～３年次に設置 ・地球惑星科学科　２～３年次に設置
能力別クラス分け	理学部	・数学科　一部の演習クラスで実施

出典：理学部教務関係資料

・　学習相談の実施状況

取組	実施組織	実施状況
オフィスアワー	理学部	・数学科　学部講義の担当者は毎週実施 ・物理学科　常時受入 ・化学科　教員の個別対応 ・生物科学科（生物）　週一回は実施
学習相談	理学部	・数学科　単位取得状況が良くない学生に対しては、半期に一度のペースで学修面談を実施。単位取得状況に関わらず、学修面談を希望する学生に対しては随時実施。 ・物理学科　各学年の学生委員が受け入れている。 ・化学科　部門長・教務委員・学生委員が行う。個別の専門科目においては補習等、学習相談を実施している。 ・地球惑星科学科　２－３年生学生については学生委員が，４年生について指導教員が学習相談に当たっている.
クラス担任・副担任によるオフィスアワー設定	総合教育部 学務部教育推進課	学生からの相談等の受入体制として，オフィスアワーを設定しており，新入生オリエンテーション時に，クラス担任，副担任のオフィスアワーについて説明(掲示版にも各クラス担任，副担任のオフィスアワー一覧を掲示)
クラスアワーの実施	総合教育部 学務部教育推進課	クラス担任，副担任により基礎クラス別に年４回実施 第１回は，新入生オリエンテーション時，第２回は６月上旬までに，第３回は９月末に個別面談方式で実施，第４回は，実施時期は２月上旬頃となるが，実施の有無を含めてクラスの状況を見てクラス担任が判断
個別学習相談	ラーニング・サポート室	随時，ラーニングサポートスタッフ（特定専門職員，TA)による個別学習相談対応（利用者数:H29 年度 2,490 名，H30 年度 2,905 名，R１年度 2,092 名） 特に，理科，数学等の理系基礎科目の基礎力をつけるための補講等も実施している。

出典:理学部教務関係資料

・　社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組の実施状況

取組	実施組織	実施状況
キャリア講演会の実施	理学部	大学院生・OB を講師とした講演会を 3 回実施
キャリア関連科目の開設	理学部	理学共通演習Ⅰ（受講者 20 人）
キャリア関連科目の開設	全学教育部 学務部教育推進課	全学教育科目 ・一般教育演習（ﾌﾚｯｼｭﾏﾝｾﾐﾅｰ：キャリアデザインー自分の未来を自分で考えようー）（受講者 22 人） ・一般教育演習（ﾌﾚｯｼｭﾏﾝｾﾐﾅｰ：グローバル・キャリア・デザイン１）　（受講者 20 人） ・一般教育演習（ﾌﾚｯｼｭﾏﾝｾﾐﾅｰ：グローバル・キャリア・デザイン２）　（受講者 28 人） ・一般教育演習（ﾌﾚｯｼｭﾏﾝｾﾐﾅｰ：グローバルキャリアセミナー　１学期）　（受講者 10 人） ・一般教育演習（ﾌﾚｯｼｭﾏﾝｾﾐﾅｰ：グローバルキャリアセミナー　２学期）　（受講者９人） ・総合科目（グローバル基礎科目（リーダーシップとチームワーク）　（受講者 280 人） ・科学・技術の世界（研究者のキャリアデザイン～研究者の実例から学ぶ未来の選択）（受講者８人）
インターンシップ	全学教育部 学務部教育推進課，キャリア支援課	全学教育科目 ・インターンシップ A（国内）　（受講者 49 人） ・インターンシップ B（国内）　（受講者７人） ・インターンシップ A（国際）　（受講者５１人） ・インターンシップ B（国際）　（受講者１人）

出典：理学部教務関係資料

・　履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況が確認できる資料

対象	実施組織	実施状況
障害のある学生	理学部	聴覚障害のある学生のため，火災報知器と連動した，光警報装置を新設した。
障害のある学生	理学部	対象学生の状況を授業担当教員に伝え，学生の希望を踏まえて個別対応している。
障害のある学生及び性別違和の学生（留学生も含む）	学生相談総合センターアクセシビリティ支援室	ノートテーカーの配置，期末テストなどの別室受験の調整，レポートの提出期限延長の調整，支援機器の貸し出し，性別違和への対応，発達障害の学生の配慮願い等
新入生オリエンテーション・ガイダンス	総合教育部 学務部教育推進課	実施日：４月３日（水）（入学式前日）新入生参加必須 午前：新入生向けに基礎クラス（53 クラス）単位で実施 午後：総合入試入学者，学部別入試入学者に分かれて進級，学部移行，学科分属等のガイダンスを実施
全学教育科目の履修調整・登録に関するガイダンス	全学教育部 学務部教育推進課	実施日：４月５日（金）　基本的に自由参加 １回につき１時間強で説明し，合計５回実施 学生は，学部，クラスごとの指定された時刻で参加
履修相談会（MANAVI）	学務部教育推進課 北大生協学生組織委員会	実施期間：４月６日（土）～11 日（木）　自由参加 全体説明会（４月６日（土），７日（日）） 個別相談会（４月７日（日）～11 日（木））
必修科目長期欠席者への対応	総合教育部 学務部教育推進課	必修科目において３回連続で欠席した場合，クラス担任，副担任に出欠確認システムにより，自動的に報告メールが配信され，面談等により状況確認等を行う。
履修相談	ラーニング・サポート室	随時，ラーニングサポートスタッフ（特定専門職員）による履修相談対応（利用者数：H29 年度 739 名，H30 年度 535 名，R１年度 1,029 名） 複数の学問分野にまたがる相談など，対応に高度な知識を要する場合は，アカデミック・アドバイザー教員が対応 特定の学部・学科等に特化した内容の場合には，学部相談員が対応

出典：理学部教務関係資料

・ キャリア講演会の実施が確認できる資料

実施年度	実施月日	講師出身学科・専攻	所属企業	講演タイトル
2017年	12月11日	化学	(株)ソニー	ソニーR&Dの縁の下の力持ち
		生物	北大生命科学研究院	関節治療に材料からアプローチ
	12月20日	数学	(株)アビームコンサルティング	数学者が肌男のコピーも担当
		物理	(株)三菱電機	社会インフラを支えるシステムの開発
2018年	10月26日	（起業家）	合同会社TOKZUM	マスの終焉、そしてワークスタイル選択の時代へ　～生業を複数持つことの重要性～
	11月15日	物理	(株)ニュートンプレス	科学を伝えるプロフェッショナル
		文学	小樽市総合博物館	小樽の芸人？学者？いえいえ○○
	11月21日	生物	花王安全科学研究所	生命科学とレギュラトリーサイエンス　～リスクアセッサーの国際的役割
		地球惑星	(株)マスワークス	技術計算ソフトによって学生たちの多角的に考える力を育てる
2019年	6月27日	数学	札幌北高校教員	資格を持って働く　教員
		文学	九州歴史資料館	資格をもって働く　学芸員
	9月25日	数学	(株)アウトブレイン ジャパン	学部の学びのソノサキ
		生物	花王安全科学研究所	
		化学	(株)ライオン	

出典：理学・生命科学事務部教務担当データ

○北海道大学の学士課程における授業科目の成績の評価に関する規程

平成27年４月１日

海大達第49号

（趣旨）

第１条　この規程は，北海道大学の学士課程における授業科目の成績の評価（以下「成績の評価」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

（成績の評価）

第２条　成績の評価は，次の表の右欄に掲げる学修成果の質に応じて，同表左欄の評語を付すことにより行うものとする。

評語	学修成果の質
A^{+}	授業科目の到達目標のすべての面で秀逸な学修成果をあげた。
A	授業科目の到達目標のすべての面で優秀な学修成果をあげた。
A^{-}	授業科目の到達目標のほとんどの面で優秀な学修成果をあげたが，一部において良好な結果にとどまった。
B^{+}	授業科目の到達目標のすべての面で良好な学修成果をあげた。
B	授業科目の到達目標のほとんどの面で良好な学修成果をあげたが，一部において良好とまではいえない結果にとどまった。
B^{-}	授業科目の到達目標のいくつかの面で良好な学修成果をあげたが，全体として良好とまではいえない結果にとどまった。
C^{+}	授業科目の到達目標のほとんどの面で合格となる最低限の学修成果であったが，良好な面がいくつかあった。
C	授業科目の到達目標のすべての面で合格となる最低限の学修成果であった。
D	授業科目の到達目標全体として合格となる最低限の学修成果より少し低い結果であった。
D^{-}	授業科目の到達目標のほとんどまたはすべての面で合格となる最低限の学修成果はなかった。
F	学修成果を示す証拠はなかった。

２　前項の表の左欄に掲げる評語のうち，A^{+}，A，A^{-}，B^{+}，B，B^{-}，C^{+}及びCを合格とする。

３　前２項の規定にかかわらず，学部（第１年次の学生にあっては，本学）及び現代日本学プログラム課程において必要と認める授業科目の成績の評価は，合格及び不合格とすることができる。

（雑則）

第３条　この規程に定めるもののほか，成績の評価に関し必要な事項は，全学教育科目にあっては高等教育推進機構長が，各学部の専門科目にあっては各学部の長が，現代日本学プログラム課程の専門科目にあっては現代日本学プログラム課程長が別に定める。

附　則

この規程は，平成27年４月１日から施行し，平成27年４月１日以降に北海道大学の第１年次に入学する者（以下この項において「平成27年度以降入学者」という。）及び平成27年度以降入学者の属する年次に入学する者について適用する。

出典：北海道大学規程集

○北海道大学におけるGPA制度の取扱いに関する要項

平成18年４月１日

総長裁定

（目的）

第１条　この要項は，北海道大学（以下「本学」という。）におけるグレードポイントアベレージ（履修科目の成績の平均数値。以下「GPA」という。）を算出する制度を定めることにより,学生の学習意欲を高めるとともに,適切な修学指導に資することを目的とする。

（評語，学修成果の質及びGP）

第２条　各学部規程，現代日本学プログラム課程規程，全学教育科目規程及び国際交流科目規程に定める成績の評価に係る評語，学修成果の質，グレードポイント（各評語に与えられる数値。以下「GP」という。）及び100点方式による素点の目安は，次表のとおりとする。

評語	学修成果の質	GP	100点方式による素点の目安
A^+	授業科目の到達目標のすべての面で秀逸な学修成果をあげた。	4.3	95―100
A	授業科目の到達目標のすべての面で優秀な学修成果をあげた。	4.0	90―94
A^-	授業科目の到達目標のほとんどの面で優秀な学修成果をあげたが，一部において良好な結果にとどまった。	3.7	85―89
B^+	授業科目の到達目標のすべての面で良好な学修成果をあげた。	3.3	80―84
B	授業科目の到達目標のほとんどの面で良好な学修成果をあげたが，一部において良好とまではいえない結果にとどまった。	3.0	75―79
B^-	授業科目の到達目標のいくつかの面で良好な学修成果をあげたが，全体として良好とまではいえない結果にとどまった。	2.7	70―74
C^+	授業科目の到達目標のほとんどの面で合格となる最低限の学修成果であったが，良好な面がいくつかあった。	2.3	65―69
C	授業科目の到達目標のすべての面で合格となる最低限の	2.0	60―64

	学修成果であった。		
D	授業科目の到達目標全体として合格となる最低限の学修成果より少し低い結果であった。	1.0	50―59
D^-	授業科目の到達目標のほとんどまたはすべての面で合格となる最低限の学修成果はなかった。	0.7	0―49
F	学修成果を示す証拠はなかった。 例）試験の未受験，授業出席回数不足	0	評価無

備考　A^+，A，A^-，B^+，B，B^-，C^+及びCを合格の評語とし，D，D^-及びFを不合格の評語とする。

（GPAの種類と算出方法）

第３条　GPAは，当該学期における学修の状況及び成果を示す指標としてのGPA（以下「学期GPA」という。）並びに在学中における全期間の学修の状況及び成果を示す指標としてのGPA（以下「通算GPA」という。）の二種類とする。

２　学期GPA及び通算GPAの計算式は，次の各号の定めるところによるものとし，算出された数値の小数点第３位以下は切り捨てるものとする。

(1)　学期GPAの計算式

学期GPA＝（その学期に評価を受けた科目で得たGP×その科目の単位数）の合計／その学期に評価を受けた科目の単位数の合計

(2)　通算GPAの計算式

通算GPA＝（（各学期に評価を受けた科目で得たGP×その科目の単位数）の合計）の総和／（各学期に評価を受けた科目の単位数の合計）の総和

３　再履修により当該授業科目に係る評語に変更があった場合の取扱いについては，次の各号に定めるところによる。

(1)　再履修の結果，合格の評語となった場合

再履修後の評語に係るGP及び単位数が前項各号のGPA計算式に算入され，再履修前の評語に係るGP及び単位数は除外される。

(2)　再履修の結果，再び不合格の評語となった場合

イ　上位の評語となった場合

再履修後の評語に係るGP及び単位数が前項各号のGPA計算式に算入され，再履修前の評語に係るGP及び単位数は除外される。

ロ　上位の評語とならなかった場合

再履修前の評語に係るGP及び単位数が前項各号のGPA算入式に算入される。

（GPAの対象科目）

第４条　GPAの対象科目は，次に掲げる授業科目とする。

(1)　学部（現代日本学プログラム課程を含むものとし，第１年次の学生にあっては，本学。以下この条において同じ。）において，第２条の表に定める評語によって成績認定される授業科目（他学部履修科目を含む。）であって，卒業要件に算入できる授業科目

(2)　学部在学中に他の大学（短期大学，高等専門学校等を含む。）において履修した授業科目又は外国の大学（短期大学を含む。）において学修した成果であって，前号の要件を満たす授業科目

(3)　入学前に本学，他の大学（短期大学，高等専門学校等を含む。）において履修した授業科目又は外国の大学（短期大学を含む。）において学修した成果であって，学部における授業科目の履修により修得したものとみなされた授業科目であり，かつ，第１号の要件を満たす授業科目

(4)　大学以外の教育施設等における学修のうち文部科学大臣が定める学修を全学教育科目の履修とみなし単位を与える場合の取扱要項(平成31年４月１日高等教育推進機構長裁定）に定める授業科目の履修とみなし，単位を与えられた授業科目であって，第１号の要件を満たす授業科目

（GPAから除く授業科目）

第５条　前条の規定にかかわらず，次の授業科目（あるいは科目群）については，学期GPA又は通算GPAの対象科目から除くものとする。

(1)　学期GPAの対象科目から除く授業科目　前条第３号及び第４号に定める授業科目

(2)　学期GPA及び通算GPAの対象科目から除く授業科目　学生の申請により卒業要件単位数に算入しないこととした授業科目

(3)　学期GPAの対象科目，通算GPAの対象科目又は学期GPA及び通算GPAの対象科目から除く授業科目　各学部において指定した授業科目

２　前項に規定する授業科目のほか，教育職員免許法（昭和24年法律第147号）等の規定に基づく教育職員免許状授与の所要資格の取得に必要な教職に関する科目及び国際交流科目については，第１年次の学生の学期GPA及び通算GPA対象科目から除くものとする。

（雑則）

第６条　この要項に定めるもののほか，GPAの取扱いに関し必要な事項は，教務委員会の議を経て，総長が別に定める。

附　則

1　この要項は，平成18年４月１日から実施し，平成18年度に本学学部の第１年次に入学する者から適用する。

附　則（平成21年４月１日）

1　この要項は，平成21年４月１日から実施し，平成21年度に本学学部の第１年次に入学する者から適用する。

2　平成21年３月31日に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成21年４月１日以降に在学者の属する年次に入学する者については，改正後の規定にかかわらず，なお従前の例による。

附　則（平成23年４月１日）

1　この要項は，平成23年４月１日から実施し，平成23年度に本学の第１年次に入学する者から適用する。

2　平成23年３月31日に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成23年４月１日以降に在学者の属する年次に入学する者については，改正後の規定にかかわらず，なお従前の例による。

附　則（平成27年４月１日）

1　この要項は，平成27年４月１日から実施する。

2　平成27年３月31日に本学に在学する者（以下この項において「在学者」という。）及び平成27年４月１日以降に在学者の属する年次に入学する者については，改正後の規定にかかわらず，なお従前の例による。

附　則（平成31年４月１日）

この要項は，平成31年４月１日から実施する。

出典：北海道大学規程集

理学部数学科における成績評価基準のガイドライン

Ⅰ 成績評価の基準

１．成績評価にあたっては，本学部の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる本学科の「養成する人材像に求められる具体的な能力（学位授与水準)」を踏まえ，授業科目ごとに「到達目標」を設定し，履修者の「学修成果の質」（達成度）に応じて行うこととする。

２．数学科が開講する科目のうち，相対評価的な要素が必要な科目の場合，合格者の成績分布は，「A^+」と「A」を合わせて 25%程度，「A^-」と「B^+」を合わせて 25%程度，「B」と「B^-」を合わせて 30%程度，「C^+」と「C」を合わせて 20%程度を目安として評価する。ただし，「A^+」は履修者全体の 5%以内を目安とする。

３．数学科が開講する科目のうち，絶対評価的な要素が必要な科目の場合，達成度に応じて評価することとし，成績分布の目安は示さない。

４．数学教務委員会は，授業科目ごと（副題のついた科目を除く）に適切な「到達目標」を設定し，当該「到達目標」に基づく成績評価の結果検証を行い，必要に応じて「到達目標」の再検討を行う。

５．副題のついた科目は，授業担当教員が「到達目標」を設定し，数学教務委員会が当該「到達目標」に基づく成績評価の結果検証を行う。

Ⅱ 成績評価の方法

１．成績評価は，試験結果，レポート評価，成果発表，学修態度等により行う。

２．授業への出欠状況を単に点数化し評価に用いることはできない。

３．具体的な評価方法は，授業担当教員が定める。

Ⅲ シラバスへの記載方法

授業担当教員は，下記の例を参考に「成績評価の基準と方法」をシラバスに明記する。

１．（試験のみによる評価の場合）
試験によって，評価する。

２．（試験，レポート，授業での発表等による評価の場合）
授業での発表(x%)，レポート(y%)，試験(z%)によって，評価する。

３．（レポートによる評価の場合）
提出されたレポートの内容によって，評価する。

４．（授業での発表による評価の場合）
授業での発表および質疑応答によって，評価する。

理学部物理学科における成績評価基準のガイドライン

Ⅰ 成績評価の基準

１．成績評価にあたっては，本学部の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる本学科の「養成する人材像に求められる具体的な能力（学位授与水準)」を踏まえ，授業科目ごとに「到達目標」を設定し，履修者の「学修成果の質」（達成度）に応じて行うこととする。

２．（相対評価的な要素が必要な科目の場合）
「A^+」，「A」，「A^-」，「B^+」，「B」，「B^-」，「C^+」，「C」，「D」，「D^-」，「F」の 11 段階で成績評価する。成績評価分布は示さない。

３．（絶対評価的な要素が必要な科目の場合）
絶対評価的な要素が必要な科目は，科目が求める具体的な「到達目標」を定め，達成度に応じて評価することとし，成績分布の目安は示さない。

４．（同一科目を複数教員が開講する等，公平性の担保が必要な科目の場合）
「物理学実験」及び「物理学外国語文献講読」の科目は，成績分布を「A」＝10～20%，「B^+」＝30～40%，「B^-」＝30～40%，「C」=10～20%，「D」=0～10%、「F」を目安とした 6 段階評価に統一して評価する。

５．「物理学実験 A」及び「物理学実験 B」の科目は，「合・否」で成績評価を行うことができることとする。

６．授業科目ごとに適切な「到達目標」が設定されており，当該「到達目標」に基づく成績評価の結果を学期ごとに「成績評価検証委員会」で検証し，必要に応じて担当教員に「到達目標」の再検討を依頼する。

Ⅱ 成績評価の方法

１．成績評価は，試験結果，レポート評価，成果発表（プレゼンテーション)，学修態度等により行う。

２．授業への出欠状況を単に点数化し評価に用いることはできない。

３．具体的な評価方法は，授業担当教員が定める。

Ⅲ シラバスへの記載方法

授業担当教員は，下記の例を参考に「成績評価の基準と方法」をシラバスに明記する。

１．（試験のみによる評価の場合）
学期末試験によって評価する。

２．（試験及び授業への参加度等による評価の場合）
授業回数の 7 割以上の出席を成績評価の条件とする。授業への参加態度(20%)，

レポート(30%)，学期末試験(50%)によって評価する。レポートでは授業のテーマについての理解の深まりを，学期末試験では基礎的な学力を評価する。なお「A^{+}」の割合は，履修者の上位 5%を上限とする。

3．（レポートによる評価の場合）

(1)毎回の授業における質問票，(2)授業への参加態度，(3)学期末レポートの内容によって評価する。それぞれの評価の比率は，(1)＝10%，(2)＝30%，(3)＝60%とする。

4．（アクティブ・ラーニング科目の場合）

(1)事前課題に対する取組状況（情報収集状況と理解度），(2)毎回のグループディスカッション及びグループワークにおける貢献度（積極性・発言内容など），(3)発表及び質疑応答の内容（プレゼンテーション技術・論理性・独創性など），(4)レポートなど提出物の内容によって評価する。

それぞれの評価の比率は(1)＝20%，(2)＝30%，(3)=30%，(4)=20%とする。

5．（上記以外の評価の場合）

「合・否」による評価とする。10 回以上レポートを提出した者について，成果発表（プレゼンテーション）を行い，到達目標に達した者を「合」とする。

理学部化学科における成績評価基準のガイドライン

1 成績評価の基準

1.1　成績評価にあたっては，化学科の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる項目を踏まえ，授業科目ごとに「到達目標」を設定し，履修者の「学修成果の質」（達成度）に応じて行うこととする。

1.2　実験・実習科目以外の授業科目については，履修者の「学修成果の質」（達成度）により合否を絶対評価で行うが，合格者の成績は相対評価とする。この成績分布は，「A^+」及び「A」＝10～20%，「A^-」及び「B^+」＝20～30%，「B」及び「B^-」＝30～50%，「C^+」及び「C」＝5～30%を目安として成績評価する。

1.3　実験・実習科目については，具体的な「到達目標」を定め，達成度に応じて評価することとし，成績分布の目安は示さない。

1.4　授業科目ごとに適切な「到達目標」が設定されており，当該「到達目標」に基づく成績評価の結果を毎年「化学科教務委員会」で検証し，必要に応じて担当教員に「到達目標」の再検討を依頼する。

2 成績評価の方法

2.1　成績評価は，試験結果，レポート評価，学修態度等により行う。

2.2　授業への出欠状況は，試験の受験資格の有無の判定に用いるが，単に点数化して成績評価に用いることはしない。

2.3　各科目の具体的な評価方法は，授業担当教員が定める。

3 シラバスへの記載方法

授業担当教員は，下記の例を参考に「成績評価の基準と方法」をシラバスに明記する。

実験・実習科目以外の授業科目

3.1　（試験のみによる評価の場合）
学期末試験によって評価する。

3.2　（試験及び授業への参加度等による評価の場合）
授業への参加態度，レポート，試験によって行う。なお，評価における各項目の割合は，各授業科目に応じて各担当教員が定める。

参考までに記載内容の例を以下に記す。
授業回数の８割以上の出席を成績評価の条件とする。授業への参加態度(20%)，レポート(30%),学期末試験(50%)によって評価する。レポートでは授業のテーマについての理解の深まりを,学期末試験では基礎的な学力を評価する。なお**「A^+」の割合は,履修者の上位 5%を上限とする。**

3.3　（レポートによる評価の場合）

(1)毎回の授業における質問票，(2)授業への参加態度，(3)学期末レポートの内容を総合して評価する。参考までに記載内容の例を以下に記す。それぞれの評価の比率は，(1)=10%，(2)=30%，(3)=60%とする。提出されたレポートの内容によって，評価する。

3.4　（アクティブ・ラーニング科目の場合）

(1)事前課題に対する取組状況（情報収集状況と理解度），(2) 毎回のグループディスカッション及びグループワークにおける貢献度（積極性・発言内容など），(3) 発表及び質疑応答の内容 （プレゼンテーション技術・論理性・独創性など），(4) レポートなど提出物の内容によって評価する。それぞれの評価の比率は(1)=20%，(2)=30%，(3)=30%，(4)=20%とする。

実験・実習科目

３.5　毎回出席を原則とし，各項目のレポートなど提出物の内容によって評価する。

理学部生物科学科（生物学専修分野）における成績評価基準のガイドライン

Ⅰ 成績評価の基準

１．成績評価にあたっては，本学部の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる本学科の「養成する人材像に求められる具体的な能力(学位授与水準)」を踏まえ，授業科目ごとに「到達目標」を設定し，履修者の「学修成果の質」（達成度）に応じて行うこととする。

２．講義および実習の科目に関する成績評価は，「A^+」，「A」，「A^-」，「B^+」，「B」，「B^-」，「C^+」，「C」，「D」，「D^-」，「F」の 11 段階とし、基本的には絶対評価にする。ただし，「A^+」の割合の目安は履修者の上位 5%とする。

３．授業科目ごとに適切な「到達目標」が設定されており，当該「到達目標」に基づく成績評価の結果を学期ごとに生物学教室会議で検証し，必要に応じて担当教員に「到達目標」の再検討を依頼する。

Ⅱ 成績評価の方法

１．成績評価は，試験結果，レポート評価，成果発表（プレゼンテーション），学修態度等により行う。

２．授業への出欠状況を単に点数化し評価に用いることはできない。

３．具体的な評価方法は，授業担当教員が定める。

Ⅲ シラバスへの記載方法

授業担当教員は，下記の例を参考に「成績評価の基準と方法」をシラバスに明記する。

１．「試験のみによる評価の場合」

学期末試験等によって到達目標の達成度を評価する。

２．「試験及び授業への参加度等による評価の場合」

授業回数の 7 割以上出席した者について，(1)授業への参加態度，(2)レポート，(3)学期末試験によって評価を行う。レポートでは授業のテーマについての理解の深まりを，学期末試験等では基礎的な学力を評価する。それぞれの評価の比率の目安は，(1)＝10%，(2)＝30%，(3)＝60%とする。なお，11 段階評価のうち，「A^+」の割合の目安は履修者の上位 5%とする。

３．「レポートによる評価の場合」

(1)授業における質問票，(2)授業への参加態度，(3)学期末の課題レポートの内容を総合して，到達目標の達成度を評価する。それぞれの評価の比率は，(1)＝10%，(2)＝30%，(3)＝60%とする。なお，11 段階評価のうち，「A^+」の割合の目安は履修者の上位 5%とする。

理学部生物科学科（高分子機能学専修分野）における成績評価基準のガイドライン

Ⅰ 成績評価の基準

１．成績評価にあたっては，本学部の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる本学科の「養成する人材像に求められる具体的な能力（学位授与水準)」を踏まえ，授業科目ごとに「到達目標」を設定し，履修者の「学修成果の質」（達成度）に応じて行うこととする。

２．（相対評価的な要素が必要な科目の場合）
6 段階評価とする「成績分布は，「A^+」は 5%を上限とし，「A」＝10～20%，「A^-」及び「B^+」＝20～40%，「B」及び「B^-」＝20～40%，「C^+」及び「C」＝10～20%を目安として成績評価する。」

３．（実験・実習科目などの絶対評価的な要素が必要な科目の場合）
具体的な「到達目標」を定め，達成度に応じて評価することとし，成績分布の目安は示さない。

４．（同一科目を複数教員が開講する等，公平性の担保が必要な科目の場合，卒業研究，オムニバス形式など）
4 段階評価で行い，「A^+」に関しては，判定会議などにて説明を行う。

５．授業を実習で行う科目に限り，「合・否」で成績評価を行うことができることとする。

Ⅱ 成績評価の方法

１．成績評価は，試験結果，レポート評価，成果発表（プレゼンテーション)，学修態度等により行う。

２．授業への出欠状況を単に点数化し評価に用いることはできない。

３．具体的な評価方法は，授業担当教員が定める。

Ⅲ シラバスへの記載方法

授業担当教員は，下記の例を参考に「成績評価の基準と方法」をシラバスに明記する。

１．（試験のみによる評価の場合）
学期末試験によって到達目標の達成度を評価する。

２．（試験及び授業への参加度等による評価の場合）
授業回数の６割以上出席した者について，授業への参加態度，レポート，学期末試験によって行う。レポートでは授業のテーマについての理解の深まりを，学期末試験では基礎的な学力を評価する。
なお「A^+」の割合は，履修者の上位 5%を上限とする。

３．（レポートによる評価の場合）

(1)毎回の授業における質問票，(2)授業への参加態度，(3)学期末レポートの内容を総合して，到達目標の達成度を評価する。

理学部地球惑星科学科における成績評価基準のガイドライン

Ⅰ 成績評価の基準

1．成績評価にあたっては，理学部および地球惑星科学科の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）を踏まえて，授業科目ごとに「到達目標」を設定し，履修者の「学修成果の質」（達成度）に応じて行うこととする。

2．同一科目を複数教員が開講する科目では，それぞれの科目において評価の段階を統一する。

Ⅱ 成績評価の方法

1．成績評価は，試験結果，レポート評価，成果発表（プレゼンテーション），学修態度等により行う。

2．具体的な評価方法は，授業担当教員が定める。

Ⅲ シラバスへの記載方法

授業担当教員は，地球惑星科学科のディプロマ・ポリシーに定める観点のうち当該授業が寄与する関係する観点をシラバスに記載するとともに，下記の例を参考に「成績評価の基準と方法」をシラバスに明記する。

1．（試験のみによる評価の場合）
学期末試験によって到達目標の達成度を評価する。

2．（試験及び授業への参加度等による評価の場合）
授業回数の○割以上出席した者について，授業への参加態度(20％)，レポート(30％)，学期末試験(50％)によって行う。レポートでは授業のテーマについての理解の深まりを，学期末試験では基礎的な学力を評価する。なお「A^{+}」の割合は，履修者の上位 5%を上限とする。

3．（レポートによる評価の場合）
(1)毎回の授業における質問票，(2)授業への参加態度，(3)学期末レポートの内容を総合して，到達目標の達成度を評価する。それぞれの評価の比率は，(1)＝10％，(2)＝30％，(3)＝60％とする。

4．（上記以外の評価の場合）
「合・否」による評価とする。10 回以上レポートを提出した者について，成果発表（プレゼンテーション）を行い，到達目標に達した者を「合」とする。

出典：理学・生命科学事務部教務担当データ

成績評価分布状況表

令和元年度１学期　専門横断科目（学部）

11段階評価対象者（平成27年度以降入学者）［すべての学籍区分］

令和 2年 3月12日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
専門横断科目（一般科目）：人文社会科学	クリティカル・シンキング：　認知バイアス対策		集中	FIRKOLA PETER	6				33.3	33.3				16.7	16.7		2.38
専門横断科目（一般科目）：人文社会科学	日本法入門		集中	水野　浩二	1											100.0	0.00
専門横断科目（一般科目）：人文社会科学	ESDキャンパスアジアパシフィックプログラム2019－持続発展可能な社会に向けた21世紀の教育的課題－		集中	池田　恵子	1											100.0	0.00
専門横断科目（一般科目）：人文社会科学	ヨーロッパ政治の危機？		集中	吉田　徹	3											100.0	0.00
専門横断科目（一般科目）：人文社会科学	経済発展論		集中	今井　晋	1			100.0									3.70
専門横断科目（一般科目）：人文社会科学	社会学演習：社会言語学―日本における言語とウェルビーイング2019		集中	ホメリヒ　カローラ	3	33.3	33.3	33.3									4.00
専門横断科目（一般科目）：人文社会科学	東洋史学：アラブ近現代史		集中	佐藤　健太郎	3		33.3	33.3		33.3							3.57
専門横断科目（一般科目）：自然科学・応用科学	人為的影響下の海洋生物多様性（公害、過剰暴露、気候変動）		集中	Maria Helena Fortuna	2		100.0										4.00
専門横断科目（一般科目）：自然科学・応用科学	社会生態学：侵入生態学原論 2019		集中	池田　透	1										100.0		0.70
専門横断科目（一般科目）：自然科学・応用科学	アドバンスト演習　応用アドバンスト：野生動物医学		集中	坪田　敏男	2	50.0	50.0										4.15
専門横断科目（一般科目）：複合領域	持続可能な社会実現のための大学の挑戦―大学キャンパスの運営からサステイナブルキャンパスの取組を学ぶ		集中	池上　真紀	1										100.0		0.70
専門横断科目（一般科目）：複合領域	北極域の自然・社会科学入門		集中	深町　康	2	50.0					50.0						3.50
専門横断科目（一般科目）：複合領域	実践英語（上級）2019		木4	繁富　香織	3	33.3			66.7								3.63
専門横断科目（一般科目）：海外留学	短期留学スペシャルプログラム（アラスカ大学フェアバンクス校）		集中	荒井　克俊	7		14.3	71.4	14.3								3.69
専門横断科目（一般科目）：海外留学	短期留学スペシャルプログラム（オウル大学）		集中	荒井　克俊	2		100.0										4.00
専門横断科目（一般科目）：海外留学	短期留学スペシャルプログラム（ジュネーブ大学）		集中	荒井　克俊	12	33.3	33.3	16.7	16.7								3.93
専門横断科目（一般科目）：海外留学	短期留学スペシャルプログラム（ブリティッシュ・コロンビア大学）		集中	荒井　克俊	6		33.3	66.7									3.80
専門横断科目（一般科目）：海外留学	短期留学スペシャルプログラム（ワシントン大学）		集中	上野　洋路	9		44.4	55.6									3.83

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度２学期　専門横断科目（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月12日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
専門横断科目（一般科目）：複合領域	実践英語（上級）2019		木4	繁富　香織	2	100.0											4.30

北海道大学

出典：教務情報システム

成績評価分布状況表

令和元年度１学期　全学教育（学部）
11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月12日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
思索と言語	ことばと意味	基礎1-15,53組	水2	野村　益寛	59	3.4	6.8	6.8	5.1	25.4	20.3	5.1	18.6	1.7		6.8	2.65
思索と言語	ことばの科学入門	基礎1-53組	木1	加藤　重広	48	25.0	10.4	6.3	20.8	4.2	8.3	4.2	8.3		12.5		3.11
思索と言語	アイヌ語を通して文化を学ぶ(1)	基礎1-53組	月5	北原　次郎太	177	5.1	9.6	10.7	13.6	13.6	9.0	6.2	11.3	10.2	10.7		2.64
思索と言語	今に生きる古代ギリシア・ローマ	基礎1-15,53組	水2	近藤　智彦	35	8.6	11.4	17.1	25.7	2.9	14.3	11.4	2.9			5.7	3.10
思索と言語	手話という視点	基礎1-15,53組	水2	土永　孝	17	5.9	29.4	17.6	5.9	5.9	5.9	5.9				23.5	2.75
思索と言語	宗教学入門	基礎1-53組	火1	宮嶋　俊一	96	3.1	18.8	13.5	21.9	17.7	3.1	4.2	4.2	1.0	12.5		3.00
思索と言語	中国哲学と論理学	基礎1-53組	火1	近藤　浩之	21	19.0	23.8	38.1		9.5						9.5	3.47
思索と言語	東西の宗教	基礎1-53組	木1	宮嶋　俊一	47	4.3	25.5	4.3	4.3	8.5	12.8	8.5	17.0		14.9		2.74
思索と言語	日本語の文字表記	基礎1-53組	火1	池田　証壽	44	22.7	27.3	18.2	15.9	4.5	2.3	2.3	4.5		2.3		3.62
思索と言語	北欧の言語と文化	基礎1-53組	木1	清水　誠	266	6.8	13.2	18.4	22.6	14.3	3.4	4.9	3.8	4.5	1.5	6.8	3.01
思索と言語(論文指導)	レポートをどう書くか	基礎1-53組	月5	佐藤　知己	25	28.0	28.0	20.0	8.0		12.0		4.0				3.73
思索と言語(論文指導)	手話と聴覚障害	基礎1-53組	木1	松田　康子	14	7.1	42.9	14.3	7.1	14.3	7.1		7.1				3.55
思索と言語(論文指導)	哲学の問題群	基礎1-53組	月5	野村　恭史	30	3.3	16.7	26.7		23.3	16.7	6.7	6.7				3.23
思索と言語（連携）	言語学（ことばの構造について）（連携科目）	基礎1-53組	集中	連携（小樽商大）	2		50.0		50.0								3.65
歴史の視座	キリスト教とヨーロッパの歴史	基礎1-53組	火1	渡邉　浩	76		2.6	13.2	23.7	19.7	14.5	10.5	9.2			6.6	2.78
歴史の視座	ナショナリズムと冷戦の歴史―現代史から学ぶ政治学入門	基礎1-15,53組	水2	権左　武志	68	4.4	11.8	14.7	14.7	22.1	14.7	8.8		4.4	2.9	1.5	3.02
歴史の視座	考古学入門－現代と過去をつなぐ－	基礎1-53組	火1	小杉　康	35	2.9	22.9		48.6	2.9	2.9			2.9		17.1	2.83
歴史の視座	政党と北海道Ⅰ	基礎1-15,53組	水2	井上　敬介	24	4.2	8.3	33.3	8.3	4.2	12.5	12.5	4.2	4.2		8.3	2.90
歴史の視座	戦後北海道経済史	基礎1-53組	火1	白木沢　旭児	63	6.3	17.5	9.5	20.6	23.8	11.1		1.6			9.5	3.05
歴史の視座	中国民族問題	基礎1-53組	月5	吉開　将人	46	8.7	17.4	17.4	8.7	6.5	13.0	10.9	4.3			13.0	2.88
歴史の視座(論文指導)	イスラームと中東の歴史	基礎1-53組	木1	太田　敬子	18		22.2	38.9	22.2	5.6	5.6					5.6	3.38
歴史の視座(論文指導)	昭和戦前期の日本政治	基礎1-53組	月5	川口　暁弘	15	46.7	33.3	13.3			6.7						4.01
歴史の視座(論文指導)	日本近代史における文学	基礎1-53組	木1	桑原　朝子	7		14.3	14.3	28.6	42.9							3.33
歴史の視座(論文指導)	歴史学的な思考と分析入門	基礎1-15,53組	水2	松嶌　明男	7		100.0										4.00
芸術と文学	《新解釈》現代文芸の研究	基礎1-15,53組	水2	中村　三春	11	9.1	9.1	18.2	9.1	27.3	18.2				9.1		3.10
芸術と文学	『伊勢物語』を読む１９	基礎1-53組	月5	後藤　康文	572	6.8	12.4	20.1	19.9	10.0	7.3	6.8	3.8	5.8	7.0		3.03
芸術と文学	ＰＭＦの響き	基礎1-53組	木5	三浦　洋	19	5.3	10.5	21.1	15.8	10.5	21.1	10.5	5.3				3.18
芸術と文学	パイプオルガンとその音楽	基礎1-53組	集中	藤原　一弘	70	4.3	15.7	11.4	12.9	11.4	15.7	11.4	7.1	2.9		7.1	2.86
芸術と文学	ピアノ音楽の楽しみ・魅力	基礎1-53組	集中	渡辺　健二	70	4.3	12.9	20.0	21.4	21.4	17.1					2.9	3.25
芸術と文学	歌舞伎研究	基礎1-15,53組	水2	冨田　康之	38	5.3	5.3	5.3	13.2	31.6	21.1	13.2	2.6			2.6	2.94
芸術と文学	学芸員から見た美術の世界	基礎1-53組	月5	吉崎　元章	29	3.4	6.9	24.1	20.7	20.7	10.3				13.8		3.00
芸術と文学	古事記を読む	基礎1-53組	火1	金沢　英之	73		20.5	20.5	26.0	8.2	6.8	1.4	8.2		1.4	6.8	3.08
芸術と文学	詩を読む	基礎1-53組	月5	竹内　康浩	8		75.0	12.5		12.5							3.84
芸術と文学	聖書を読む	基礎1-53組	木1	戸田　聡	30		3.3	16.7	13.3	30.0	13.3	13.3				10.0	2.76
芸術と文学	日本美術史入門	基礎1-53組	木1	鈴木　幸人	58	5.2	25.9	8.6	8.6	12.1	13.8	6.9	8.6		10.3		3.00

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度１学期　全学教育（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月12日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
芸術と文学	邦楽の魅力：尺八音楽を中心に	基礎1-53組	集中	菅原　久仁義	70	1.4	11.4	7.1	35.7	8.6	15.7	7.1	8.6		1.4	2.9	2.99
芸術と文学(論文指導)	漢文学入門	基礎1-53組	木1	弓巾　和順	1	100.0											4.30
芸術と文学(論文指導)	日本ミステリを読むⅠ	基礎1-53組	月5	井上　貴翔	33			9.1	9.1	24.2	9.1	12.1	18.2	6.1	6.1	6.1	2.35
芸術と文学(論文指導)	美術館という現場	基礎1-15,53組	水2	北村　清彦	11		9.1	9.1	27.3	45.5	9.1						3.21
芸術と文学(論文指導)	文学と愛のかたち（2019）	基礎1-53組	月5	瀬名波　栄潤	3	66.7										33.3	2.87
社会の認識	アフリカ学入門	基礎1-53組	火1	鍋島　孝子	27		11.1	7.4	18.5	18.5	18.5	3.7		3.7	18.5		2.64
社会の認識	ケアの社会学入門	基礎1-53組	木1	樋口　麻里	12	8.3	8.3	8.3	16.7		16.7	8.3	8.3	16.7		8.3	2.53
社会の認識	マクロ経済学入門	基礎16-52組	火3	代田　豊一郎	76	7.9	25.0	21.1		14.5			21.1	10.5			3.08
社会の認識	医学史・医学概論	基礎1-53組	月5	吉岡　充弘	121	5.8	10.7	12.4	14.0	15.7	12.4	14.9	9.1	5.0			2.98
社会の認識	経営学入門	基礎1-15,53組	水2	岡田　美弥子	42	2.4	7.1	14.3	14.3	9.5	11.9	9.5	11.9	4.8		14.3	2.50
社会の認識	経験と教育	基礎1-15,53組	水2	松尾　睦	8	50.0	37.5	12.5									4.11
社会の認識	現代社会学入門	基礎1-15,53組	水2	ホメリヒ　カローラ	52	11.5	19.2	19.2	25.0	11.5	1.9	3.8			7.7		3.34
社会の認識	考える経営学	基礎1-53組	月5	谷口　勇仁	49	18.4	16.3	4.1	10.2	30.6	4.1	6.1	8.2		2.0		3.28
社会の認識	国と文化	基礎1-53組	月5	ラフェイ　ミシェル	4	25.0		25.0								50.0	2.00
社会の認識	自然と人間のつながり	基礎1-53組	木1	小田　博志	38	5.3	10.5	18.4	28.9	15.8	2.6	7.9	2.6		7.9		3.12
社会の認識	社会学から考える環境と合意形成	基礎16-52組	火3	平川　全機	9	33.3	11.1	22.2	11.1						22.2		3.22
社会の認識	社会現象とゲーム	基礎1-53組	火1	大沼　進	35	11.4	11.4		5.7	14.3	20.0	5.7	17.1	14.3			2.72
社会の認識	人文・社会科学のための統計学入門	基礎1-53組	木1	中島　晃	9	11.1	33.3				11.1					44.4	2.11
社会の認識	世界大恐慌と現代の経済社会	基礎1-53組	金5	岡部　洋實	70	5.7	10.0	15.7	12.9	11.4	10.0	10.0	5.7	2.9	7.1	8.6	2.69
社会の認識	選択と欲望	基礎1-15,53組	水2	橋本　努	16	31.3	31.3	25.0								12.5	3.52
社会の認識	台湾から考える東アジア人類学	基礎16-52組	火3	藤野　陽平	18	5.6	38.9	16.7	16.7							22.2	2.96
社会の認識	大学生活の心理学	基礎1-53組	火1	齋藤　暢一朗	54	3.7	9.3	14.8	16.7	9.3	13.0	9.3	7.4	3.7	1.9	11.1	2.67
社会の認識	都市地理学入門Ⅰ	基礎1-53組	木1	橋本　雄一	109	5.5	30.3	13.8	11.0	4.6	9.2	5.5	9.2			11.0	3.02
社会の認識	日本と世界の高等教育を考える－歴史・比較・現代的課題	基礎1-15,53組	水2	姉崎　洋一	1			100.0									3.70
社会の認識	日本の公教育と学校制度	基礎1-15,53組	水2	篠原　岳司	10	10.0	10.0	60.0	10.0							10.0	3.38
社会の認識	日本国憲法	基礎1-5,10-53組	木1	齊藤　正彰	315	2.9	8.9	12.1	21.3	10.2	10.2	8.3	15.2	1.3	3.5	6.3	2.74
社会の認識	日本国憲法	基礎1-5,10-15,53組	水2	館田　晶子	60	1.7	5.0	6.7	10.0	15.0	18.3	18.3	11.7	3.3	10.0		2.55
社会の認識	民法判例を読む	基礎1-53組	月5	山本　周平	16	6.3	6.3	18.8	25.0	31.3						12.5	2.98
社会の認識(論文指導)	マーケティング戦略入門	基礎1-53組	火1	阿部　智和	12	58.3	16.7	8.3	8.3						8.3		3.82
社会の認識(論文指導)	レポートの書き方入門2019	基礎1-53組	火1	佐々木　亨	37	2.7	10.8	29.7	16.2	16.2	13.5	2.7				8.1	3.10
社会の認識(論文指導)	格差の社会学入門	基礎16-52組	火3	平澤　和司	13	15.4	30.8	7.7	30.8	15.4							3.65
社会の認識(論文指導)	企業法入門	基礎1-53組	月5	野田　耕志	10	30.0	10.0	20.0		20.0	10.0	10.0					3.53
社会の認識(論文指導)	経済思想と現代	基礎1-53組	月5	佐々木　憲介	3	33.3	33.3	33.3									4.00
社会の認識(論文指導)	現代韓国社会論	基礎1-53組	月5	玄　武岩	13	7.7	30.8	15.4	15.4	7.7		7.7				15.4	3.05
社会の認識(論文指導)	文系の学生向け科学論文の書き方	基礎1-15,53組	水2	結城　雅樹	1				100.0								3.30

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度１学期　全学教育（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月12日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
科学・技術の世界	Integrated Science Ⅱ	基礎1-53,54組	火1	瀬戸　治	8	12.5	12.5	50.0		25.0							3.64
科学・技術の世界	これからの原子力利用の展開：エネルギー・医療・宇宙・地球環境	基礎1-53組	月5	千葉　豪	36	5.6	11.1	16.7	19.4	11.1	5.6	5.6	11.1	2.8	11.1		2.88
科学・技術の世界	はじめての生命科学	基礎1-53組	月5	出村　誠	82	3.7	15.9	13.4	13.4	12.2	23.2	3.7	11.0	3.7			3.06
科学・技術の世界	アインシュタインの相対性理論	基礎16-52組	火3	小林　達夫	110	4.5	11.8	10.0	23.6	20.9	17.3		4.5	2.7		4.5	3.03
科学・技術の世界	オゾン層破壊の気象学	基礎16-52組	火3	長谷部　文雄	36	2.8	16.7	30.6	30.6	8.3	2.8		2.8	2.8	2.8		3.35
科学・技術の世界	ゼロからはじめる「科学力」養成講座１（自然科学１）	基礎1-53組	月5	鈴木　久男	14	7.1	42.9	14.3	7.1	7.1			14.3			7.1	3.29
科学・技術の世界	ロボットは感情を持つか	基礎16-52組	火3	小野　哲雄	384	0.5	14.3	27.3	22.9	15.9	7.6	2.9	2.1	2.9	3.6		3.21
科学・技術の世界	科学哲学入門１	基礎1-53組	火1	松王　政浩	21		9.5	23.8	23.8	4.8	9.5				28.6		2.65
科学・技術の世界	基礎心理学を学ぶ	基礎1-53組	火1	森本　琢	356	2.8	10.4	14.9	30.3	20.5	8.1	2.5	4.2		0.8	5.3	3.07
科学・技術の世界	研究者のキャリアデザイン～研究者の実例から学ぶ未来の選択	基礎1-53組	火1	長堀　紀子	8	25.0	62.5		12.5								3.99
科学・技術の世界	現代物理学入門	基礎1-53組	月5	鈴木　久男	31	9.7	19.4	19.4	16.1	12.9	6.5	6.5	3.2	3.2		3.2	3.25
科学・技術の世界	数学のたのしみ	基礎1-53組	火1	神保　秀一	20	10.0		10.0	10.0	20.0	20.0		15.0	15.0			2.72
科学・技術の世界	生活と化学（入門化学）	基礎1-53組	火1	谷野　圭持	35	8.6	14.3	31.4	8.6	2.9	11.4	5.7	5.7	2.9	8.6		3.11
科学・技術の世界	専門志向者のための物理学１	基礎1-53組	木1	羽部　朝男	26	38.5	23.1	11.5	3.8	3.8				19.2			3.44
科学・技術の世界	野生動物保全と人間社会	基礎16-52組	火3	立澤　史郎	250	4.8	7.2	48.8	14.0	8.8	6.4	3.2	2.0		0.8	4.0	3.32
科学・技術の世界(論文指導)	人と野生動物の共存を考える	基礎1-53組	木1	池田　透	23	4.3	8.7	13.0	34.8	13.0	4.3		4.3	4.3	13.0		2.90
科学・技術の世界(論文指導)	北海道大学の「今」を知る	基礎1-53組	木1	川本　思心	29	20.7	51.7	13.8	10.3		3.4						3.90
科学・技術の世界（連携）	心理学（動物と人間の行動）（連携科目）	基礎1-53組	金4	連携（帯広大）	2		100.0										4.00
科学・技術の世界（1単位）	インドとの世界展開力プログラム参加のための言語と文化基礎（1）	基礎1-53組	集中	小林　幸徳	6	33.3	50.0	16.7									4.05
科学・技術の世界（1単位）	ノーベル賞の化学Ⅰ	基礎16-52組	火3	坂口　和靖	76	9.2	9.2	9.2	21.1	15.8	22.4	2.6	6.6	3.9			3.11
科学・技術の世界（1単位）	ノーベル賞の化学Ⅱ	基礎16-52組	火3	坂口　和靖	47	12.8	14.9	14.9	17.0	14.9	8.5	6.4	2.1	2.1		6.4	3.14
科学・技術の世界（1単位）	応用物理が支える最新技術Ⅰ	基礎1-53組	火1	笹倉　弘理	48		10.4	64.6	16.7	8.3							3.61
科学・技術の世界（1単位）	応用物理が支える最新技術Ⅱ	基礎1-53組	火1	山根　啓作	30	6.7	23.3	36.7	20.0	6.7						6.7	3.44
科学・技術の世界（1単位）	化学のフロントランナーⅠ	基礎1-53組	月5	坂口　和靖	38	13.2	7.9	15.8	18.4	15.8	7.9	7.9	5.3	5.3		2.6	3.10
科学・技術の世界（1単位）	化学のフロントランナーⅡ	基礎1-53組	月5	坂口　和靖	27	11.1	14.8	14.8	11.1	14.8	14.8	3.7	7.4	3.7		3.7	3.10
科学・技術の世界（1単位）	現代生物科学への誘いⅠ　夏	基礎1-53組	木1	山口　淳二	21	4.8	14.3	14.3	19.0	14.3			4.8	4.8		23.8	2.50
科学・技術の世界（1単位）	現代生物科学への誘いⅠ　春	基礎1-53組	木1	山口　淳二	39	10.3	28.2	7.7	17.9	7.7	5.1	10.3	2.6		7.7	2.6	3.16
特別講義	グローバル基礎科目		火6	シュルーター　智子	1					100.0							3.00
人間と文化	ムーミン谷の仲間たち		木4	池田　文人	1										100.0		0.70
環境と人間（1単位）	ナノテクノロジーが拓くバイオサイエンスの新潮流	基礎1-53組	金5	居城　邦治	11	27.3	18.2		18.2		9.1	9.1	18.2				3.32
環境と人間（1単位）	ナノテクノロジーが拓く光・マテリアル革命	基礎1-53組	金5	居城　邦治	23	26.1	34.8	13.0		8.7	4.3	4.3	4.3			4.3	3.56
環境と人間（1単位）	人類進化史Ⅰ	基礎1-53組	水5	中澤　祐一	73	27.4	31.5	24.7	2.7	2.7	2.7	2.7			5.5		3.70
環境と人間（1単位）	人類進化史Ⅱ	基礎1-53組	水5	中澤　祐一	26	30.8	26.9	19.2	23.1								3.87
人間と文化（1単位）	ムーミン谷の仲間たち　夏	基礎1-53組	木4	池田　文人	26	11.5	15.4	3.8	30.8				15.4		23.1		2.74
人間と文化（1単位）	ムーミン谷の仲間たち　春	基礎1-53組	木4	池田　文人	60	15.0	5.0	8.3	13.3	21.7	10.0	6.7	5.0		15.0		2.87

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度１学期　全学教育（学部）
11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月12日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
特別講義（1単位）	グローバル基礎科目（リーダーシップとチームワーク）	基礎1-53組	火5	シュルーター　智子	201	0.5	8.5	26.9	35.8	10.9	3.0	2.5	6.0	3.0	3.0		3.17
特別講義（1単位）	グローバル基礎科目（リーダーシップとチームワーク）	基礎1-53組	火6	シュルーター　智子	78		6.4	15.4	26.9	14.1	10.3	7.7	3.8	1.3	14.1		2.78
特別講義（1単位）	グローバル基礎科目（国際理解と海外留学）	基礎1-53組	火6	シュルーター　智子	91			16.5	26.4	20.9	12.1	3.3		2.2	18.7		2.66
特別講義（1単位）	グローバル基礎科目（国際理解と海外留学）	基礎1-53組	火5	シュルーター　智子	205		1.5	15.1	38.5	31.7	3.9	2.4	2.0		4.9		3.08
環境と人間	「モノ」＋「コト」＋「ヒト」＝北大総合博物館	基礎1-53組	木5	江田　真毅	44	2.3	6.8	11.4	22.7	22.7	4.5	11.4	11.4			6.8	2.83
環境と人間	２０３０年エレクトロニクスの旅	基礎1-53組	水5	富田　章久	50	4.0	30.0	22.0	14.0	12.0	6.0	2.0				10.0	3.22
環境と人間	グローバル環境科学入門	基礎1-53組	金5	山中　康裕	14	7.1	28.6	7.1	7.1	14.3	14.3					21.4	2.76
環境と人間	フィールド科学への招待	基礎1-53組	金5	四ツ倉　典滋	21		19.0	19.0	47.6	9.5	4.8						3.45
環境と人間	マリンバイオマスの探索と利用	基礎1-53組	金5	川合　祐史	52	1.9	3.8	5.8	13.5	30.8	17.3	9.6	1.9			15.4	2.54
環境と人間	宇宙惑星探査の新展開	基礎1-53組	金5	高橋　幸弘	77		5.2	6.5	22.1	24.7	13.0	5.2	5.2	1.3	3.9	13.0	2.53
環境と人間	感染症と免疫	基礎1-53組	木5	鈴木　定彦	35	14.3	17.1	14.3	17.1	8.6	5.7	8.6	11.4			2.9	3.23
環境と人間	気候変動を科学する	基礎1-53組	火5	谷本　陽一	45	11.1	6.7	22.2	17.8	15.6	20.0		2.2			4.4	3.20
環境と人間	競馬の世界	基礎1-53組	火5	片桐　成二	321	3.4	4.4	17.1	19.6	22.1	12.8	8.4	2.8	2.8	0.9	5.6	2.90
環境と人間	資源と環境	基礎1-53組	金5	廣吉　直樹	33		18.2	51.5	12.1	6.1	9.1			3.0			3.49
環境と人間	触媒化学のフロンティア	基礎1-53組	金5	長谷川　淳也	25	4.0	4.0	24.0	24.0	20.0	8.0	12.0	4.0				3.18
環境と人間	生物の多様性	基礎1-53組	水5	柁原　宏	65	4.6	15.4	16.9	16.9	24.6	12.3	4.6				4.6	3.18
環境と人間	生命を支える共生システム-細胞から生態系レベルまで-	基礎1-53組	金5	江澤　辰広	13	15.4	7.7	15.4	7.7	7.7		30.8	15.4				3.04
環境と人間	地球に暮らす～生活と土木・建築技術の関わり～	基礎1-53組	木4	横田　弘	34	5.9	11.8	17.6	17.6	14.7	5.9	5.9	5.9		8.8	5.9	2.87
健康と社会	かむことと健康	基礎1-53組	水5	山口　泰彦	341	1.8	5.9	14.1	21.7	25.2	17.6	5.6	1.8			6.5	2.94
健康と社会	がん・生命科学から社会科学へ	基礎1-53組	木3	園下　将大	87	6.9	11.5	20.7	14.9	9.2	19.5	9.2	1.1	4.6		2.3	3.10
健康と社会	アイソトープの基本と応用：社会・医療を支えるアイソトープ	基礎1-53組	水5	久下　裕司	1				100.0								3.30
健康と社会	運動とリハビリテーション科学	基礎1-53組	水5	遠山　晴一	27	33.3	37.0	18.5								11.1	3.60
健康と社会	健康スポーツ科学特論	基礎1-53組	木4	山仲　勇二郎	58	10.3	6.9	10.3	20.7	5.2	10.3	6.9	13.8			15.5	2.66
健康と社会	健康長寿と口腔科学１	基礎1-53組	木5	舩橋　誠	301	5.6	27.6	28.2	10.6	12.3	0.3	6.0	3.0			6.3	3.32
健康と社会	創薬・生命・医療科学とその周辺	基礎1-53組	火5	南　雅文	127	3.1	9.4	20.5	29.9	23.6	5.5	7.1				0.8	3.28
人間と文化	観光創造学への招待～TDR、世界遺産、Cool Japanを超えて	基礎1-53組	水5	下休場　千秋	67		7.5	52.2	31.3	6.0						3.0	3.44
人間と文化	経済経営入門	基礎1-53組	木5	安部　由起子	48		6.3	8.3	18.8	14.6	10.4	10.4	2.1	10.4	18.8		2.41
人間と文化	私たちの世界：セックス・ジェンダー・セクシュアリティを考える（2019）	基礎1-53組	火5	瀬名波　栄潤	47	6.4	23.4	27.7	23.4	10.6	4.3	2.1		2.1			3.51
人間と文化	論理的思考を「囲碁」で養い人工知能との対戦を体感してみよう	基礎1-53組	集中	藤田　修	18	11.1	22.2	16.7	11.1	11.1	11.1	5.6		5.6		5.6	3.17
特別講義	International Business 3	基礎1-53,54組	集中	永井　裕久	10	10.0	10.0	30.0	20.0		10.0					20.0	2.87
特別講義	International Business 4	基礎1-53,54組	集中	朱　藝	19	5.3	26.3	21.1	10.5	10.5	10.5		5.3			10.5	3.11
一般教育演習（ﾌﾚｯｼｭﾏﾝｾﾐﾅｰ）	International Archaeological Field School in Rebun Island	基礎1-53組	集中	加藤　博文	4		75.0									25.0	3.00
一般教育演習（ﾌﾚｯｼｭﾏﾝｾﾐﾅｰ）	「だいち」で地球を観る	基礎1-53組	木4	古屋　正人	9		11.1	22.2	33.3	11.1	11.1	11.1					3.26
一般教育演習（ﾌﾚｯｼｭﾏﾝｾﾐﾅｰ）	「よい授業」とは何かを考え実践する	基礎1-53組	水5	飯田　直弘	12			41.7	33.3	16.7		8.3					3.33
一般教育演習（ﾌﾚｯｼｭﾏﾝｾﾐﾅｰ）	なぜ貧しい国はなくならないのか	基礎1-53組	水5	合崎　英男	21	4.8	14.3	23.8	9.5	23.8	4.8	4.8	14.3				3.21

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度１学期　全学教育（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月12日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	インドネシアで日本語を教える	基礎1-53組	集中	山下　好孝	5	20.0	20.0	60.0									3.88
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	キャリアデザインー自分の未来を自分で考えようー	基礎1-53組	木5	亀野　淳	22	9.1	4.5	31.8	18.2	9.1	18.2	4.5	4.5				3.31
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	グローバル・キャリア・デザイン１	基礎1-53組	集中	荒井　克俊	20	5.0	15.0	30.0	20.0	5.0	15.0	10.0					3.37
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	グローバルキャリアセミナー	基礎1-52組	金5	式部　絢子	10		30.0	10.0	40.0	10.0	10.0						3.46
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	ゲノムを考える	基礎1-53組	木2	小柳　香奈子	23	8.7	17.4	8.7	30.4	21.7			8.7			4.3	3.22
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	ディスカバー北大	基礎1-53組	木2	山本　堅一	20	25.0	30.0	20.0	25.0								3.84
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	トピックス生物学	基礎1-53組	火5	藤田　知道	7		42.9	14.3	14.3	14.3	14.3						3.53
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	フィールド体験型プログラムー人間と環境科学ー（１）	基礎1-53組	集中	日浦　勉	97		5.2	43.3	26.8	6.2	1.0					17.5	2.91
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	ブラドボク～都市と社会基盤を考える～	基礎1-53組	水5	泉　典洋	23	47.8	21.7	8.7	13.0			4.3		4.3			3.82
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	マイコン制御ロボットをつくる	基礎1-53組	木5	田中　孝之	23	8.7	4.3	13.0	17.4	21.7	17.4		4.3		4.3	8.7	2.84
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	モノづくり実習ー電子回路に親しもう	基礎1-53組	金5	河本　充司	21		19.0	9.5	66.7					4.8			3.36
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	我が国の食と農	基礎1-53組	水5	清水池　義治	10	10.0	10.0	10.0		60.0	10.0						3.27
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	海と湖と火山と森林の自然	基礎1-53組	集中	長里　千香子	25		92.0		4.0							4.0	3.81
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	海のフィールドで試す１	基礎1-53組	集中	大西　広二	20	15.0	15.0	25.0	15.0	20.0			5.0			5.0	3.37
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	海のフィールドで試す２	基礎1-53組	集中	大西　広二	20	15.0	20.0	40.0	20.0	5.0							3.74
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	海のフィールドに出よう１	基礎1-53組	集中	大西　広二	20	5.0	20.0	25.0	20.0	5.0		5.0				20.0	2.87
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	海のフィールドに出よう２	基礎1-53組	集中	大西　広二	20		20.0	40.0	20.0	15.0	5.0						3.53
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	企業がかかえる課題をみんなで解決しよう！Ⅰ	基礎1-53組	集中	金子　純一	4	50.0	25.0	25.0									4.08
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	極限環境微生物学入門	基礎1-53組	金5	森川　正章	23		13.0	17.4	26.1	26.1	17.4						3.28
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	健康と科学	基礎1-53組	木4	玉井　美保	12		33.3	41.7		8.3	8.3					8.3	3.35
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	工学的創成実験Ⅱ（機械学習するコンピュータ・動きをデザインするシステム制御）	基礎1-53組	金5	川村　秀憲	17		11.8	52.9	17.6		5.9					11.8	3.17
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	考え方の技術	基礎1-52組	木5	小林　由子	11	18.2	36.4	18.2	9.1		9.1					9.1	3.45
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	考古学フィールドワーク入門	基礎1-53組	集中	高瀬　克範	15	20.0	73.3									6.7	3.79
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	国際交流を実践する	基礎1-52組	木4	平田　未季	1		100.0										4.00
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	私たちの生活と家畜	基礎1-53組	火5	髙橋　昌志	24		83.3	12.5	4.2								3.93
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	森・里・海連環学　北大・京大合同演習	基礎1-53組	集中	仲岡　雅裕	10			100.0									3.70
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	森林科学への招待	基礎1-53組	火5	幸田　圭一	19	5.3	10.5	36.8	10.5	21.1	10.5	5.3					3.39
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	人文科学研究の世界にふれる	基礎1-53組	木2	村田　勝幸	23	17.4	21.7	39.1	8.7	8.7						4.3	3.61
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	人文地理学の基礎	基礎1-53組	火5	林　琢也	23		17.4	21.7	21.7	4.3	8.7	17.4	8.7				3.16
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	数について	基礎1-53組	火5	小林　真平	14		35.7	50.0	7.1							7.1	3.51
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	世界をリードする北大の水環境研究	基礎1-53組	水5	岡部　聡	11	36.4		9.1	9.1	18.2		9.1	9.1		9.1		3.20
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	生き物を測る ー分子，細胞，組織，個体までー	基礎1-53組	水5	大友　康平	3	66.7	33.3										4.20
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	生物の環境適応	基礎1-53組	水5	笠原　康裕	23		8.7	34.8	34.8	17.4	4.3						3.42
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	大学生のための情報社会入門	基礎1-53組	火5	重田　勝介	23	8.7	13.0	30.4	8.7	13.0	4.3	13.0			8.7		3.18
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	地球環境とエネルギー	基礎1-53組	水5	村井　祐一	14		35.7	35.7	7.1	14.3	7.1						3.61

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度１学期　全学教育（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月12日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	地球環境と北極域の科学	基礎1-53組	木5	杉本　敦子	12	16.7	41.7	16.7		16.7						8.3	3.50
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	天然物化学への招待	基礎1-53組	火5	松浦　英幸	23	8.7	17.4	21.7	13.0	13.0	13.0	8.7	4.3				3.33
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	田舎に行こう！ーライフストーリーインタビュー	基礎1-52組	火5	式部　絢子	10	10.0	20.0	40.0	10.0	10.0						10.0	3.34
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	動物医科学と現代社会	基礎1-53組	水5	稲葉　睦	15	26.7	66.7	6.7									4.06
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	南極学入門ー雪と氷から見た地球環境ー	基礎1-53組	木5	杉山　慎	23	4.3	13.0	21.7	26.1	17.4	4.3	4.3	8.7				3.29
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	日本語のコミュニケーションスタイル	基礎1-52組	水5	鄭　惠先	4		50.0	25.0	25.0								3.75
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	農業・農村で協同を学ぶ	基礎1-53組	集中	小林　国之	15			86.7								13.3	3.21
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	発展途上国からの留学生と学ぶ理科系英語	基礎1-53組	金5	豊田　和弘	17	5.9	17.6	23.5	29.4	17.6	5.9						3.49
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	病気を考える	基礎1-53組	火5	木村　享史	23	8.7	21.7	34.8	21.7	8.7						4.3	3.51
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	文化としての日本マンガ	基礎1-52組	月4	小林　由子	11	18.2		9.1	36.4	27.3		9.1					3.35
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	暮らしの中のサイエンス	基礎1-53組	水5	鈴木　明大	23	34.8	30.4	21.7	8.7	4.3							3.93
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	北海道東部の水域生態系	基礎1-53組	集中	仲岡　雅裕	10	10.0	20.0	20.0	20.0	30.0							3.53
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	北海道北部の自然と人々のくらし2019夏	基礎1-53組	集中	佐藤　冬樹	30		100.0										4.00
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	牧場のくらしと自然・夏季編	基礎1-53組	集中	河合　正人	24		20.8	79.2									3.76
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	陸と海と空を廻る流れの科学	基礎1-53組	木3	渡部　靖憲	23	13.0	8.7		39.1	26.1	13.0						3.33
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	歴史学をはじめよう！	基礎1-53組	木2	橋本　雄	23	34.8	26.1		4.3	17.4	4.3	4.3			8.7		3.48
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	話しことばを科学する	基礎1-52組	火2	平田　未季	12	25.0	33.3	8.3	8.3				16.7			8.3	3.33
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	あなたの知らない物質文化の世界	基礎1-53組	集中	中澤　祐一	12		16.7	16.7	25.0	25.0						16.7	2.86
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	がんの科学	基礎1-53組	木4	東野　史裕	23	21.7	21.7	13.0	26.1	13.0				4.3			3.58
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	カオスとフラクタル	基礎1-53組	水5	郷原　一壽	14	7.1	21.4	14.3	7.1	21.4	14.3		14.3				3.24
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	クイズで学ぶ化学と科学	基礎1-53組	木5	大谷　文章	18			33.3	22.2	33.3		5.6			5.6		3.13
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	ゲノムサイエンスの新展開	基礎1-53組	火5	廣瀬　哲郎	16	6.3	31.3	43.8	12.5	6.3							3.74
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	コンピューターグラフィックスの基礎と応用	基礎1-53組	木2	土橋　宜典	23	52.2	26.1	13.0		4.3					4.3		3.93
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	ニューロンから脳へ	基礎1-53組	木2	神谷　温之	22	4.5	27.3	13.6	4.5		27.3	4.5	13.6			4.5	3.05
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	バイオテクノロジーの展開（創成科目型）	基礎1-53組	木2	大井　俊彦	8	50.0		25.0		12.5			12.5				3.70
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	ミクロの世界を探る人体のしくみと病気	基礎1-53組	木4	髙岡　晃教	23	21.7	26.1	13.0	26.1	4.3	4.3	4.3					3.67
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	医学・生命科学研究への招待	基礎1-53組	水5	山野邉　貴信	5	20.0	40.0		20.0							20.0	3.12
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	医学統計とデータサイエンス	基礎1-53組	木4	横田　勲	3	100.0											4.30
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	一コマから広がる漫画の世界	基礎1-53組	木5	布施　泉	11	9.1	9.1	36.4	18.2	9.1	9.1					9.1	3.22
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	応用化学への招待	基礎1-53組	火5	忠永　清治	20	5.0	25.0	55.0	15.0								3.75
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	化学から見た生命	基礎1-53組	金5	坂口　和靖	23	13.0	13.0	17.4	13.0	13.0	8.7	8.7			8.7	4.3	3.04
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	化学の奥深さを体験しよう	基礎1-53組	金5	武田　定	13	15.4	30.8	30.8	7.7	7.7	7.7						3.72
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	化学物質と健康	基礎1-53組	水5	室本　竜太	4		25.0	25.0	25.0	25.0							3.50
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	外国語としての関西弁	基礎1-53組	火5	山下　好孝	23	8.7	60.9	13.0	8.7	8.7							3.84
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	蛙（あ）学への招待	基礎1-53組	木5	鈴木　誠	22	27.3	4.5	31.8	18.2	4.5	9.1				4.5		3.55

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度１学期　全学教育（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月12日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	幹細胞研究の基礎	基礎1-53組	木2	近藤　亨	23			4.3	39.1	17.4	8.7	17.4	13.0				2.87
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	感染症と社会（インフルエンザ、新型インフルエンザ、O157、食中毒）	基礎1-53組	木4	小幡和　柾志	20	15.0	5.0	25.0	20.0	35.0							3.48
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	癌を学ぶ	基礎1-53組	金5	秋田　弘俊	23	4.3	17.4	43.5	4.3	21.7	8.7						3.52
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	記憶の仕組みを理解する	基礎1-53組	木5	野村　洋	22	13.6	40.9	18.2	13.6	4.5						9.1	3.48
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	工学的創成実験Ⅰ（応用物理学最前線/無機材料の不思議な世界）	基礎1-53組	金5	忠永　清治	10	10.0	60.0	20.0	10.0								3.90
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	社会保障の諸課題	基礎1-53組	水5	榎本　芳人	5		80.0									20.0	3.20
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	食べ物が食卓に届くまで	基礎1-53組	木5	小関　成樹	23		30.4	43.5	17.4		4.3	4.3					3.62
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	生活に根差したリハビリテーション	基礎1-53組	火5	井上　貴雄	11		9.1	36.4	18.2	18.2	9.1		9.1				3.28
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	素晴らしき無線生活 A to Z	基礎1-53組	火5	大鐘　武雄	23	4.3	26.1	26.1	21.7	8.7	4.3					8.7	3.29
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	唾液のサイエンス～知られざるその能力～	基礎1-53組	水5	髙橋　茂	11		9.1	9.1	45.5	27.3		9.1					3.23
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	大学での学びと研究入門－合言葉は「挑戦」－	基礎1-53組	木2	宮本　淳	2		50.0		50.0								3.65
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	頭が痛い、熱が出た、こんな時どうする？家庭の医学	基礎1-53組	木4	村上　学	23	8.7	17.4		30.4	39.1			4.3				3.33
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	日本の思想を読む	基礎1-53組	木2	眞壁　仁	10	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0							3.66
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	日本経済史入門	基礎1-53組	金5	満薗　勇	5	40.0	40.0	20.0									4.06
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	聞く力・話す力のトレーニング	基礎1-53組	水5	三上　直之	23		4.3	34.8	26.1	21.7	13.0						3.33
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	北海道の観光戦略を考える	基礎1-53組	水5	北村　倫夫	23	13.0	26.1	26.1	26.1	8.7							3.69
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	北大に風車を建てようプロジェクト	基礎1-53組	木2	山田　邦雅	22	4.5	18.2	13.6	22.7	22.7	4.5	4.5	9.1				3.27
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	北大エコキャンパス探求	基礎1-53組	金5	大原　昌宏	23	4.3	4.3	17.4		13.0	8.7	21.7	13.0		17.4		2.51
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	北大サイエンスへの招待	基礎1-53組	木3	黒木　喜美子	21			42.9	57.1								3.47
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	北大脳科学への招待	基礎1-53組	火5	小川　宏人	16	6.3	12.5	12.5	12.5	18.8	25.0	6.3	6.3				3.15
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	未来を変えるマテリアル工学 －最先端科学で材料をデザインする－	基礎1-53組	木2	菊地　竜也	8			62.5	12.5	25.0							3.48
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	免疫・アレルギーの最前線	基礎1-53組	木4	柏倉　淳一	17	23.5	17.6	41.2	11.8	5.9							3.81
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	歴史からみる中国の経済と社会	基礎1-53組	木2	松村　史穂	14	14.3	21.4	7.1	14.3	28.6				7.1	7.1		3.19
体育学Ａ	エアロビックダンス1	基礎1-5,53組	金3	山田　泰子	26		3.8	19.2	23.1	23.1	3.8	3.8	19.2			3.8	2.90
体育学Ａ	サッカー1	基礎1-5,53組	金3	小田　史郎	44			9.1	61.4	20.5	9.1						3.22
体育学Ａ	サッカー1	基礎41-44,53組	金2	小田　史郎	47			19.1	55.3	21.3	2.1					2.1	3.23
体育学Ａ	サッカー1	基礎31-35,53組	金1	小田　史郎	48		8.3	8.3	62.5	14.6		4.2	2.1				3.28
体育学Ａ	ショートテニス1&からだ作り・うごき作り1	基礎11-15,53組	水3	池田　恵子	21		4.8	23.8	28.6	19.0	14.3	4.8				4.8	3.08
体育学Ａ	ショートテニス1&からだ作り・うごき作り1	基礎11-15,53組	水3	保延　光一	14		14.3	50.0	7.1	21.4	7.1						3.49
体育学Ａ	ソフトテニス１	基礎26-30,53組	火3	吉野　佳奈	38	5.3	13.2	13.2	15.8	15.8	13.2	13.2	5.3			5.3	3.00
体育学Ａ	ソフトテニス１	基礎16-20,53組	月1	吉野　佳奈	39	5.1	15.4	15.4	15.4	17.9	15.4	12.8				2.6	3.16
体育学Ａ	ソフトテニス１	基礎21-25,53組	月2	吉野　佳奈	41	4.9	12.2	14.6	17.1	17.1	14.6	14.6	2.4			2.4	3.10
体育学Ａ	ソフトテニス１	基礎6-10,53組	火2	吉野　佳奈	40	5.0	15.0	15.0	15.0	17.5	15.0	15.0	2.5				3.19
体育学Ａ	ソフトボール1	基礎21-25,53組	月2	島崎　百恵	42			50.0	21.4	23.8	4.8						3.40
体育学Ａ	ソフトボール1	基礎16-20,53組	月1	島崎　百恵	43		7.0	53.5	20.9	9.3	4.7					4.7	3.35

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度１学期　全学教育（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月12日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
体育学Ａ	ネット型ボールゲーム1	基礎1-53組	集中	池田　恵子	5			20.0	20.0							60.0	1.40
体育学Ａ	ネット型ボールゲーム2	基礎1-53組	集中	崎田　嘉寛	5		20.0	60.0		20.0							3.62
体育学Ａ	ネット型ボールゲーム3	基礎1-53組	集中	池田　恵子	17		11.8	23.5	52.9		5.9					5.9	3.25
体育学Ａ	ネット型ボールゲーム4	基礎1-53組	集中	崎田　嘉寛	5		40.0	40.0	20.0								3.74
体育学Ａ	ネット型ボールゲーム5	基礎1-53組	集中	山仲　勇二郎	10		10.0	20.0	40.0							30.0	2.46
体育学Ａ	バスケットボール1	基礎1-53組	集中	柴田　啓介	38			68.4	13.2							18.4	2.97
体育学Ａ	バドミントン1＆卓球1	基礎36-40,53組	月3	柚木　孝敬	24	4.2	29.2	16.7	12.5	12.5	12.5		8.3		4.2		3.28
体育学Ａ	バドミントン1＆卓球1	基礎36-40,53組	月3	阿部　匡樹	24		45.8	33.3	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2				3.62
体育学Ａ	バドミントン1＆卓球1	基礎21-25,53組	月2	柚木　孝敬	30	6.7	23.3	16.7	30.0	13.3		3.3	3.3			3.3	3.37
体育学Ａ	バドミントン1＆卓球1	基礎21-25,53組	月2	阿部　匡樹	18	5.6	27.8	11.1	27.8	5.6	16.7		5.6				3.41
体育学Ａ	バドミントン1＆卓球1	基礎16-20,53組	月1	阿部　匡樹	23	13.0	17.4	21.7	8.7	17.4	4.3	8.7		4.3		4.3	3.23
体育学Ａ	バドミントン1＆卓球1	基礎16-20,53組	月1	柚木　孝敬	22	9.1	18.2	13.6	18.2	13.6	9.1	9.1				9.1	3.09
体育学Ａ	バドミントン2＆ソフトテニス2	基礎1-53組	集中	阿部　匡樹	19		21.1	31.6	26.3	10.5	5.3					5.3	3.34
体育学Ａ	バドミントン3＆ソフトテニス3	基礎1-53組	集中	柚木　孝敬	20		20.0	25.0	30.0	15.0		5.0				5.0	3.28
体育学Ａ	バドミントン4＆ソフトテニス4	基礎1-53組	集中	阿部　匡樹	19		15.8	31.6	42.1	5.3						5.3	3.35
体育学Ａ	バドミントン5＆ソフトテニス5	基礎1-53組	集中	柚木　孝敬	20	5.0	5.0	25.0	30.0	15.0	5.0					15.0	2.92
体育学Ａ	バレーボール1	基礎41-44,53組	金2	石澤　伸弘	54		3.7	13.0	22.2	31.5	20.4	5.6	1.9			1.9	3.02
体育学Ａ	バレーボール1	基礎49-52,53組	水1	山崎　貴史	30		20.0	10.0	46.7	6.7	10.0		6.7				3.31
体育学Ａ	バレーボール1	基礎31-35,53組	金1	石澤　伸弘	54	7.4		7.4	20.4	27.8	20.4	5.6	7.4			3.7	2.92
体育学Ａ	バレーボール1＆ショートテニス1	基礎26-30,53組	火3	山仲　勇二郎	15		6.7	20.0	20.0	33.3	13.3		6.7				3.16
体育学Ａ	バレーボール1＆ショートテニス1	基礎6-10,53組	火2	山仲　勇二郎	16		6.3	18.8	56.3	12.5	6.3						3.34
体育学Ａ	バレーボール1＆ショートテニス1	基礎6-10,53組	火2	崎田　嘉寛	14		7.1	28.6	35.7	21.4	7.1						3.36
体育学Ａ	バレーボール1＆ショートテニス1	基礎26-30,53組	火3	池田　恵子	15	6.7	20.0	26.7	20.0	20.0		6.7					3.49
体育学Ａ	バレーボール1&ユニバーサルスポーツ/レクリエーション1	基礎45-48,53組	水2	保延　光一	15		13.3	53.3	13.3	13.3	6.7						3.53
体育学Ａ	バレーボール1&ユニバーサルスポーツ/レクリエーション1	基礎45-48,53組	水2	山崎　貴史	15		20.0	40.0	13.3	13.3	13.3						3.48
体育学Ａ	バレーボール1&ユニバーサルスポーツ/レクリエーション1	基礎49-52,53組	水1	保延　光一	29	3.4	20.7	10.3	24.1	13.8	3.4	13.8	10.3				3.19
体育学Ａ	フットサル１	基礎26-30,53組	火3	吉田　充	31		9.7	32.3	32.3	16.1	6.5				3.2		3.33
体育学Ａ	ボールゲーム１	基礎36-40,53組	月3	植田　俊	29	6.9	6.9	20.7	24.1	20.7	13.8	6.9					3.29
体育学Ａ	卓球2	基礎1-53組	集中	石岡　丈昇	43	9.3	30.2	34.9	2.3	2.3	2.3	9.3			9.3		3.39
体育学Ｂ	講義	基礎1-53組	火5	保延　光一	99	10.1	11.1	16.2	15.2	8.1	10.1	11.1	7.1	4.0	1.0	6.1	2.94
体育学Ｂ	講義	基礎1-53組	月5	瀧澤　一騎	121	4.1	5.0	10.7	31.4	19.8	11.6	8.3	1.7	4.1	1.7	1.7	2.99
情報学Ｉ		基礎10-13組	月1	近野　敦	168	0.6	1.8	5.4	13.1	19.6	24.4	14.3	12.5	5.4	0.6	2.4	2.61
情報学Ｉ		基礎7-9組	金4	平林　義治	148	3.4	12.2	14.2	21.6	23.0	14.2	6.8	2.7		0.7	1.4	3.16
情報学Ｉ		基礎50-52組	月3	岡嶋　孝治	155	3.2	14.8	19.4	20.6	16.8	9.7	7.1	3.2	1.9	2.6	0.6	3.16
情報学Ｉ		基礎22-24組	月4	高前田　伸也	161	4.3	7.5	24.8	20.5	26.1	5.6	3.7	4.3	0.6	2.5		3.21

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度１学期　全学教育（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月12日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
情報学Ｉ		基礎26-27組	火2	菊地　竜也	109	5.5	11.9	22.0	22.0	24.8	8.3	2.8			1.8	0.9	3.30
情報学Ｉ		基礎1-5組	火3	重田　勝介	192	0.5	3.1	15.1	29.7	27.6	14.6	2.6	2.6	1.6	2.6		3.05
情報学Ｉ		基礎28-29,34組	火4	重田　勝介	158	6.3	15.2	24.7	22.8	13.9	8.9	2.5	2.5	0.6	1.3	1.3	3.33
情報学Ｉ		基礎31-33組	水1	川崎　了	161	0.6	6.2	14.3	22.4	26.1	13.0	7.5	7.5		2.5		3.01
情報学Ｉ		基礎42-44組	水2	髙井　伸雄	155	2.6	14.8	29.7	14.2	18.1	10.3	5.8	2.6		1.9		3.29
情報学Ｉ		基礎20-21,30組	水4	能村　貴宏	160	6.3	15.6	23.1	22.5	18.8	6.9	2.5	1.3		3.1		3.34
情報学Ｉ		基礎53-54組	木1	クック　エマ	25	4.0	8.0	12.0	20.0	20.0	12.0		20.0			4.0	2.92
情報学Ｉ		基礎39-41組	木2	飯塚　博幸	156	5.8	7.7	19.9	24.4	17.3	13.5	3.8	5.1	0.6	1.3	0.6	3.18
情報学Ｉ		基礎6,14-15組	木3	布施　泉	154	4.5	7.1	16.9	16.9	21.4	20.8	5.2	5.2	0.6	0.6	0.6	3.10
情報学Ｉ		基礎19,45-46組	木4	松下　拓	160	2.5	13.1	25.6	18.1	16.3	13.8	5.6	0.6	2.5	0.6	1.3	3.21
情報学Ｉ		基礎25,38組	金1	村井　祐一	109	0.9	7.3	16.5	22.0	20.2	10.1	8.3	7.3		7.3		2.94
情報学Ｉ		基礎16-18組	金2	山下　倫央	161	2.5	8.1	16.8	24.2	19.9	12.4	4.3	8.1		3.7		3.07
情報学Ｉ		基礎35-37組	金3	平林　義治	153	4.6	16.3	24.2	22.9	13.1	7.8	4.6	3.3			3.3	3.27
情報学Ｉ		基礎47-49組	月2	平田　拓	161	5.6	9.9	16.1	23.0	16.1	14.3	3.7	6.8	0.6	3.7		3.12
統計学		基礎35-36組	水1	石井　利昌	61	3.3	4.9	11.5	14.8	13.1	9.8	18.0	8.2	6.6	9.8		2.62
統計学		基礎37-38組	水1	田中　嘉浩	65	7.7	9.2	7.7	9.2	15.4	12.3	7.7	9.2	7.7	6.2	7.7	2.56
統計学		基礎39-40組	水1	長谷川　光	77	5.2	13.0	10.4	10.4	18.2	7.8	5.2	20.8	5.2		3.9	2.81
統計学		基礎41-42組	金1	中村　永友	77	14.3	15.6	15.6	11.7	10.4	7.8	6.5	11.7		1.3	5.2	3.11
統計学		基礎43-44組	金1	山田　智哉	77	2.6	13.0	18.2	10.4	9.1	15.6	6.5	11.7	3.9		9.1	2.76
統計学		基礎45-46組	金2	中村　永友	90	12.2	15.6	22.2	14.4	8.9	4.4	3.3	5.6	1.1	8.9	3.3	3.09
統計学		基礎47-49組	金2	水田　正弘	114	4.4	10.5	10.5	16.7	20.2	20.2	10.5	5.3			1.8	3.05
統計学		基礎50-52組	金2	山田　智哉	99	1.0	30.3	9.1	24.2	13.1	7.1	4.0	3.0	3.0		5.1	3.16
統計学		基礎1-10,53組	金2	園　信太郎	52	19.2	7.7	17.3	5.8	13.5	7.7	9.6	7.7		11.5		3.03
統計学		基礎11-12,53組	火2	大西　真一	83	3.6	9.6	9.6	9.6	13.3	9.6	10.8	10.8	8.4	2.4	12.0	2.44
統計学		基礎13-15,53組	火3	大西　真一	81	4.9	9.9	8.6	8.6	8.6	9.9	11.1	9.9	9.9	6.2	12.3	2.33
インターンシップA	国際2019	基礎1-52組	集中	山口　淳二	51	3.9	7.8	43.1	39.2	3.9				2.0			3.51
インターンシップA	国内2019	基礎1-52組	火5,水6,集中	亀野　淳	48	4.2	14.6	8.3	16.7	25.0	16.7	14.6					3.16
インターンシップB	国際2019	基礎1-52組	集中	山口　淳二	1		100.0										4.00
インターンシップB	国内2019	基礎1-52組	火5,水6,集中	亀野　淳	7			14.3	42.9	28.6		14.3					3.13
英語Ｉ		英語Ｉ　51組	月3	對馬　康博	33		21.2	9.1	27.3	12.1	12.1	12.1	6.1				3.18
英語Ｉ		英語Ｉ　52組	水4	レジー・カバシオ・フ	28	10.7	17.9	17.9	14.3	14.3	14.3	7.1	3.6				3.36
英語Ｉ		英語Ｉ　53組	水4	ハンセン　ポール　サ	28	3.6	21.4	17.9	25.0	7.1	17.9	7.1					3.36
英語Ｉ		英語Ｉ　54組	水4	GAYMAN JEFFRY JOSEPH	29		13.8	34.5	24.1	17.2	3.4	3.4				3.4	3.31
英語Ｉ		英語Ｉ　55組	水4	TANAKA JAY MATSUO	29		10.3	13.8	48.3	17.2		3.4				6.9	3.11
英語Ｉ		英語Ｉ　56組	水4	Piers Williamson	28		7.1	35.7	28.6	10.7	14.3	3.6					3.34

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度１学期　全学教育（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月12日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
英語Ⅰ		英語Ⅰ 57組	水4	張　ジュヒョク	29	10.3	31.0	17.2	6.9	17.2	13.8					3.4	3.44
英語Ⅰ		英語Ⅰ 58組	水4	ピーター・リームスト	29		17.2	17.2	13.8	34.5	13.8	3.4					3.27
英語Ⅰ		英語Ⅰ 59組	金3	ピーター・リームスト	31	6.5	3.2	12.9	19.4	25.8	19.4	3.2	3.2	3.2		3.2	2.99
英語Ⅰ		英語Ⅰ 60組	金3	原　由理枝	32	6.3	21.9	34.4	9.4	18.8		3.1	6.3				3.48
英語Ⅰ		英語Ⅰ 61組	金3	張　ジュヒョク	33	12.1	33.3	6.1	9.1	18.2	15.2	6.1					3.47
英語Ⅰ		英語Ⅰ 62組	金3	及川　陽子	31	6.5	9.7	9.7	16.1	25.8	22.6	3.2	3.2			3.2	3.08
英語Ⅰ		英語Ⅰ 63組	金3	土田　映子	32		15.6	37.5	25.0	12.5	6.3	3.1					3.45
英語Ⅰ		英語Ⅰ 64組	金3	長島　美織	32	3.1	15.6	15.6	15.6	28.1	9.4	3.1	6.3			3.1	3.15
英語Ⅰ		英語Ⅰ 65組	金3	鈴木　志のぶ	33	3.0	9.1	27.3	18.2	12.1	15.2	9.1	6.1				3.21
英語Ⅰ		英語Ⅰ 66組	金3	志堅原　郁子	31	3.2	9.7	16.1	25.8	19.4	12.9	6.5	3.2	3.2			3.15
英語Ⅰ		英語Ⅰ 67組	金1	レジー・カパシオ・フ	35	2.9	14.3	22.9	28.6	17.1		2.9	5.7			5.7	3.18
英語Ⅰ		英語Ⅰ 68組	金1	ハンセン　ポール　サ	33		12.1	21.2	33.3	15.2	9.1	6.1	3.0				3.27
英語Ⅰ		英語Ⅰ 69組	金1	岡本　亮輔	35	2.9	11.4	5.7	17.1	34.3	22.9		5.7				3.12
英語Ⅰ		英語Ⅰ 70組	金1	TANAKA JAY MATSUO	34		14.7		38.2	23.5	17.6		2.9			2.9	3.09
英語Ⅰ		英語Ⅰ 71組	金1	サーマン　ジョン	33		30.3	30.3	15.2	18.2				3.0	3.0		3.43
英語Ⅰ		英語Ⅰ 72組	金1	奥　聡	35	5.7	5.7	17.1	17.1	22.9	5.7	2.9	14.3	2.9	2.9	2.9	2.91
英語Ⅰ		英語Ⅰ 73組	金1	上田　雅信	34	2.9	2.9	5.9	20.6	20.6	11.8	14.7	14.7			5.9	2.71
英語Ⅰ		英語Ⅰ 74組	金1	園田　勝英	34	5.9	11.8	5.9	20.6	29.4	11.8		8.8			5.9	3.00
英語Ⅰ		英語Ⅰ 75組	金1	及川　陽子	32	9.4	3.1	15.6	18.8	15.6	25.0	3.1	9.4				3.13
英語Ⅰ		英語Ⅰ 76組	金1	長島　美織	34	2.9	8.8	8.8	29.4	23.5	14.7	5.9	2.9			2.9	3.07
英語Ⅰ		英語Ⅰ 77組	金1	志堅原　郁子	34	5.9	5.9	17.6	5.9	20.6	20.6	5.9	8.8	2.9	5.9		2.89
英語Ⅰ		英語Ⅰ 78組	金1	渡部　淳	34	5.9	11.8	26.5	14.7	5.9	5.9	11.8	11.8		2.9	2.9	3.05
英語Ⅰ		英語Ⅰ 01組	金4	CAPOBIANCO PAUL JOSE	31	3.2	9.7	3.2	35.5	38.7	6.5		3.2				3.22
英語Ⅰ		英語Ⅰ 02組	金4	ハンセン　ポール　サ	31		12.9	22.6	29.0	12.9	6.5	3.2			12.9		3.04
英語Ⅰ		英語Ⅰ 03組	金4	ピーター・リームスト	31	6.5	9.7	22.6	12.9	25.8	16.1	6.5					3.28
英語Ⅰ		英語Ⅰ 04組	金4	RICHARDSON PETER	32	6.3	15.6	25.0	28.1	9.4	12.5			3.1			3.40
英語Ⅰ		英語Ⅰ 05組	金4	Piers Williamson	32	3.1	9.4	37.5	18.8	9.4	9.4	3.1	9.4				3.31
英語Ⅰ		英語Ⅰ 06組	金4	土永　孝	31	3.2	19.4	12.9	29.0	16.1	3.2	3.2	12.9				3.25
英語Ⅰ		英語Ⅰ 07組	月4	イアン・　マンビー	29		17.2	17.2	17.2	20.7	17.2	3.4	6.9				3.20
英語Ⅰ		英語Ⅰ 08組	月4	レジー・カパシオ・フ	28		17.9	14.3	17.9	32.1	14.3	3.6					3.26
英語Ⅰ		英語Ⅰ 09組	月4	Piers Williamson	27	3.7	25.9	25.9	29.6	11.1	3.7						3.57
英語Ⅰ		英語Ⅰ 10組	月4	小林　敏彦	27	3.7	3.7	14.8	18.5	22.2	22.2	7.4		7.4			2.98
英語Ⅰ		英語Ⅰ 11組	月4	十枝内　康隆	27	3.7	14.8	11.1	22.2	22.2	14.8	11.1					3.22
英語Ⅰ		英語Ⅰ 12組	金3	CAPOBIANCO PAUL JOSE	31	6.5	6.5	12.9	12.9	51.6	9.7						3.25
英語Ⅰ		英語Ⅰ 13組	金3	レジー・カパシオ・フ	33	9.1	3.0	27.3	30.3	6.1	9.1	9.1				6.1	3.16

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度１学期　全学教育（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月12日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
英語Ⅰ		英語Ⅰ 14組	金3	ハンセン ポール サ	33	3.0	6.1	21.2	30.3	12.1	15.2	6.1			6.1		3.11
英語Ⅰ		英語Ⅰ 15組	金3	上田　雅信	30	6.7	3.3	3.3	6.7	30.0	10.0	20.0	16.7			3.3	2.73
英語Ⅰ		英語Ⅰ 16組	金3	RICHARDSON PETER	31	6.5	9.7	16.1	25.8	22.6	12.9		3.2			3.2	3.20
英語Ⅰ		英語Ⅰ 17組	金3	TANAKA JAY MATSUO	30		6.7	23.3	40.0	20.0	10.0						3.32
英語Ⅰ		英語Ⅰ 18組	金3	Piers Williamson	30		13.3	46.7	26.7	6.7	3.3	3.3					3.51
英語Ⅰ		英語Ⅰ 19組	金3	大野　公裕	31		9.7	22.6	22.6	22.6	9.7	9.7				3.2	3.13
英語Ⅰ		英語Ⅰ 20組	金3	熊谷　由美子	32		6.3	6.3	31.3	25.0	18.8	9.4				3.1	2.98
英語Ⅰ		英語Ⅰ 21組	金3	奥　聡	31	6.5	9.7	9.7	12.9	41.9	12.9	3.2				3.2	3.13
英語Ⅰ		英語Ⅰ 22組	水3	CAPOBIANCO PAUL JOSE	35		11.4	11.4	31.4	37.1	2.9		5.7				3.22
英語Ⅰ		英語Ⅰ 23組	水3	レジー・カパシオ・フ	36	2.8	8.3	13.9	44.4	19.4			2.8			8.3	3.07
英語Ⅰ		英語Ⅰ 24組	水3	GAYMAN JEFFRY JOSEPH	35		5.7	37.1	48.6	5.7					2.9		3.40
英語Ⅰ		英語Ⅰ 25組	水3	ハンセン ポール サ	35	2.9	17.1	34.3	14.3	17.1	5.7	2.9			5.7		3.32
英語Ⅰ		英語Ⅰ 26組	水3	RICHARDSON PETER	35	5.7	20.0	22.9	34.3	14.3	2.9						3.53
英語Ⅰ		英語Ⅰ 27組	水3	TANAKA JAY MATSUO	34		11.8	14.7	44.1	20.6	2.9		2.9			2.9	3.23
英語Ⅰ		英語Ⅰ 28組	水3	大友　瑠璃子	33	3.0	6.1	9.1	9.1	24.2	24.2	9.1	12.1	3.0			2.87
英語Ⅰ		英語Ⅰ 29組	水3	鈴木　志のぶ	34		2.9	14.7	14.7	23.5	26.5	2.9	8.8	5.9			2.87
英語Ⅰ		英語Ⅰ 30組	水3	ピーター・リームスト	37	5.4	10.8	13.5	18.9	29.7	13.5	5.4				2.7	3.17
英語Ⅰ		英語Ⅰ 31組	金2	CAPOBIANCO PAUL JOSE	32	6.3	12.5	18.8	9.4	40.6	3.1		6.3			3.1	3.20
英語Ⅰ		英語Ⅰ 32組	金2	レジー・カパシオ・フ	35	8.6		22.9	11.4	25.7	17.1	11.4	2.9				3.15
英語Ⅰ		英語Ⅰ 33組	金2	TANAKA JAY MATSUO	34		8.8	14.7	44.1	17.6	11.8	2.9					3.27
英語Ⅰ		英語Ⅰ 34組	金2	サーマン　ジョン	35		8.6	54.3	17.1	5.7	5.7	5.7			2.9		3.39
英語Ⅰ		英語Ⅰ 35組	金2	岡本　亮輔	36	2.8	5.6	16.7	25.0	13.9	8.3	11.1	16.7				3.01
英語Ⅰ		英語Ⅰ 36組	金2	ピーター・リームスト	35	8.6	2.9	20.0	14.3	25.7	14.3	5.7	5.7			2.9	3.10
英語Ⅰ		英語Ⅰ 37組	金2	土田　映子	36	2.8	8.3	30.6	30.6	5.6	8.3	8.3	2.8		2.8		3.25
英語Ⅰ		英語Ⅰ 38組	金2	志堅原　郁子	36	5.6	5.6	13.9	36.1	16.7	2.8	11.1	2.8	2.8	2.8		3.10
英語Ⅰ		英語Ⅰ 39組	金2	渡部　淳	35	17.1	31.4	17.1	11.4	11.4	8.6		2.9				3.64
英語Ⅰ		英語Ⅰ 40組	月3	Piers Williamson	35		11.4	22.9	40.0	11.4	5.7	2.9			5.7		3.23
英語Ⅰ		英語Ⅰ 41組	月3	CAPOBIANCO PAUL JOSE	36	5.6	8.3	16.7	25.0	36.1	8.3						3.32
英語Ⅰ		英語Ⅰ 42組	月3	レジー・カパシオ・フ	35	2.9	17.1	2.9	40.0	25.7	5.7					5.7	3.16
英語Ⅰ		英語Ⅰ 43組	月3	GAYMAN JEFFRY JOSEPH	34		8.8	29.4	44.1	17.6							3.43
英語Ⅰ		英語Ⅰ 44組	月3	イアン・　マンビー	34		8.8	17.6	14.7	23.5	23.5	2.9	8.8				3.08
英語Ⅰ		英語Ⅰ 45組	月3	RICHARDSON PETER	34	5.9	11.8	26.5	29.4	14.7		5.9	2.9	2.9			3.34
英語Ⅰ		英語Ⅰ 46組	月3	カワイ・カサンドラ	34	2.9	14.7	11.8	20.6	32.4	8.8		5.9			2.9	3.16
英語Ⅰ		英語Ⅰ 47組	月3	ピーター・リームスト	33		12.1	18.2	18.2	24.2	15.2	9.1	3.0				3.16
英語Ⅰ		英語Ⅰ 48組	月3	小林　敏彦	34	2.9	5.9	14.7	17.6	20.6	20.6	11.8		5.9			2.99

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度１学期　全学教育（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月12日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
英語Ⅰ		英語Ⅰ 49組	月3	田代　亜紀子	32	6.3	9.4	15.6	18.8	34.4	15.6						3.29
英語Ⅰ		英語Ⅰ 50組	月3	十枝内　康隆	35	5.7	8.6	8.6	34.3	31.4	8.6	2.9					3.28
英語Ⅱ		英語Ⅱ 51組	月1	原田　真見	51	5.9	3.9	21.6	19.6	13.7	5.9	13.7	5.9			9.8	2.86
英語Ⅱ		英語Ⅱ 01組	火2	原田　真見	48	2.1	2.1	14.6	35.4	18.8	18.8	2.1		2.1		4.2	3.02
英語Ⅱ		英語Ⅱ 02組	火2	原田　真見	46	2.2	15.2	19.6	17.4	19.6	6.5	10.9	4.3			4.3	3.10
英語Ⅱ		英語Ⅱ 03組	火2	原田　真見	47	6.4	10.6	17.0	19.1	21.3	14.9	10.6					3.25
英語Ⅱ		英語Ⅱ 04組	火2	原田　真見	46		13.0	15.2	23.9	21.7	10.9	10.9				4.3	3.07
英語Ⅱ		英語Ⅱ 05組	金3	原田　真見	46	2.2	8.7	23.9	10.9	23.9	10.9	17.4	2.2				3.14
英語Ⅱ		英語Ⅱ 06組	金3	原田　真見	47	2.1	6.4	19.1	17.0	14.9	14.9	21.3	2.1	2.1			3.02
英語Ⅱ		英語Ⅱ 07組	金3	原田　真見	45	2.2	4.4	15.6	26.7	22.2	13.3	13.3	2.2				3.11
英語Ⅱ		英語Ⅱ 08組	水3	原田　真見	48	4.2	12.5	22.9	14.6	22.9	6.3	12.5	2.1			2.1	3.19
英語Ⅱ		英語Ⅱ 09組	水3	原田　真見	49	6.1	4.1	20.4	14.3	8.2	14.3	28.6	2.0			2.0	2.98
英語Ⅱ		英語Ⅱ 10組	水3	原田　真見	49	2.0	10.2	8.2	10.2	14.3	18.4	32.7	2.0			2.0	2.85
英語Ⅱ		英語Ⅱ 11組	水3	原田　真見	46		15.2	15.2	15.2	19.6	10.9	21.7	2.2				3.10
英語Ⅱ		英語Ⅱ 12組	月4	原田　真見	44	4.5	6.8	9.1	18.2	9.1	29.5	18.2	4.5				2.98
英語Ⅱ		英語Ⅱ 13組	月4	原田　真見	42			23.8	23.8	19.0	14.3	14.3	4.8				3.05
英語Ⅱ		英語Ⅱ 14組	月4	原田　真見	43		2.3	16.3	20.9	18.6	14.0	11.6	9.3			7.0	2.77
英語Ⅱ		英語Ⅱ 15組	月4	原田　真見	42	4.8	7.1	23.8	11.9	19.0	21.4	11.9					3.19
英語Ⅱ		英語Ⅱ 16組	金4	原田　真見	51		3.9	11.8	21.6	23.5	13.7	19.6	2.0			3.9	2.87
英語Ⅱ		英語Ⅱ 17組	金4	原田　真見	49	2.0	14.3	26.5	14.3	16.3	8.2	16.3	2.0				3.24
英語Ⅱ		英語Ⅱ 18組	金4	原田　真見	51	2.0	9.8	19.6	13.7	21.6	5.9	23.5	2.0			2.0	3.04
英語Ⅱ		英語Ⅱ 19組	金4	原田　真見	52	5.8	7.7	9.6	21.2	17.3	11.5	11.5	9.6	1.9		3.8	2.92
英語Ⅱ		英語Ⅱ 20組	木4	原田　真見	51	3.9	9.8	17.6	17.6	21.6	15.7	11.8	2.0				3.18
英語Ⅱ		英語Ⅱ 21組	木4	原田　真見	53	1.9	9.4	22.6	7.5	20.8	9.4	18.9	9.4				3.05
英語Ⅱ		英語Ⅱ 22組	木4	原田　真見	53	1.9	11.3	15.1	11.3	22.6	15.1	17.0	3.8			1.9	3.02
英語Ⅱ		英語Ⅱ 23組	金2	原田　真見	53	1.9	5.7	15.1	28.3	18.9	13.2	11.3	3.8			1.9	3.06
英語Ⅱ		英語Ⅱ 24組	金2	原田　真見	52	1.9	1.9	15.4	11.5	21.2	17.3	19.2	7.7			3.8	2.81
英語Ⅱ		英語Ⅱ 25組	金2	原田　真見	52	3.8	1.9	17.3	17.3	19.2	11.5	23.1	3.8			1.9	2.95
英語Ⅱ		英語Ⅱ 26組	水4	原田　真見	53		11.3	9.4	20.8	13.2	17.0	24.5	3.8				2.98
英語Ⅱ		英語Ⅱ 27組	水4	原田　真見	52	5.8	3.8	11.5	17.3	13.5	23.1	21.2	1.9			1.9	2.95
英語Ⅱ		英語Ⅱ 28組	水4	原田　真見	52	3.8	3.8	13.5	15.4	21.2	23.1	19.2					3.03
英語Ⅱ		英語Ⅱ 29組	水4	原田　真見	52	1.9	7.7	17.3	19.2	11.5	15.4	23.1	1.9			1.9	3.00
英語Ⅱ		英語Ⅱ 30組	木2	原田　真見	52		11.5	15.4	11.5	21.2	15.4	17.3	1.9			5.8	2.90
英語Ⅱ		英語Ⅱ 31組	木2	原田　真見	51	3.9	13.7	21.6	11.8	15.7	15.7	13.7	2.0			2.0	3.15
英語Ⅱ		英語Ⅱ 32組	木2	原田　真見	52	1.9	5.8	9.6	15.4	23.1	9.6	26.9	5.8			1.9	2.86

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度１学期　全学教育（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月12日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
英語Ⅱ		英語Ⅱ 33組	木2	原田　真見	52	5.8	7.7	23.1	21.2	9.6	13.5	13.5	3.8			1.9	3.15
英語Ⅱ		英語Ⅱ 34組	木3	原田　真見	50	2.0	12.0	14.0	22.0	22.0	14.0	8.0	6.0				3.15
英語Ⅱ		英語Ⅱ 35組	木3	原田　真見	50	4.0	8.0	12.0	12.0	18.0	20.0	16.0	4.0			6.0	2.86
英語Ⅱ		英語Ⅱ 36組	木3	原田　真見	51		5.9	25.5	11.8	17.6	7.8	23.5	2.0	3.9		2.0	2.93
英語Ⅱ		英語Ⅱ 37組	木3	原田　真見	51	3.9	7.8	17.6	11.8	23.5	5.9	21.6	7.8				3.04
英語Ⅱ		英語Ⅱ 38組	金1	原田　真見	51	5.9	2.0	15.7	15.7	25.5	17.6	11.8	5.9				3.06
英語Ⅱ		英語Ⅱ 39組	金1	原田　真見	52	1.9	3.8	21.2	15.4	11.5	9.6	21.2	11.5	1.9		1.9	2.87
英語Ⅱ		英語Ⅱ 40組	月3	原田　真見	51	5.9	7.8	25.5	21.6	3.9	13.7	17.6	2.0			2.0	3.15
英語Ⅱ		英語Ⅱ 41組	月3	原田　真見	52	5.8	5.8	23.1	11.5	15.4	15.4	17.3	3.8			1.9	3.07
英語Ⅱ		英語Ⅱ 42組	月3	原田　真見	51	9.8	11.8	25.5	7.8	13.7	11.8	13.7	2.0	2.0		2.0	3.20
英語Ⅱ		英語Ⅱ 43組	月3	原田　真見	51	5.9	15.7	11.8	17.6	15.7	9.8	15.7	3.9	2.0		2.0	3.09
英語Ⅱ		英語Ⅱ 44組	水1	原田　真見	51	5.9	11.8	11.8	9.8	19.6	19.6	11.8	5.9	2.0		2.0	3.01
英語Ⅱ		英語Ⅱ 45組	水1	原田　真見	53	3.8	7.5	15.1	15.1	20.8	17.0	5.7	9.4	1.9		3.8	2.94
英語Ⅱ		英語Ⅱ 46組	水1	原田　真見	52	5.8	5.8	15.4	15.4	17.3	13.5	15.4	9.6		1.9		3.00
英語Ⅱ		英語Ⅱ 47組	水1	原田　真見	52	3.8	1.9	17.3	21.2	15.4	15.4	13.5	5.8	3.8		1.9	2.92
英語Ⅱ		英語Ⅱ 48組	月1	原田　真見	50	2.0	4.0	20.0	18.0	14.0	18.0	16.0	4.0	2.0		2.0	2.95
英語Ⅱ		英語Ⅱ 49組	月1	原田　真見	51	5.9	5.9	21.6	15.7	9.8	13.7	17.6	5.9			3.9	2.99
英語Ⅱ		英語Ⅱ 50組	月1	原田　真見	51	2.0	5.9	13.7	15.7	23.5	9.8	21.6	3.9	2.0		2.0	2.91
ドイツ語Ⅰ		文独 01組	月2,木4	杉浦　康則	38	2.6	10.5	23.7	23.7	21.1	7.9	5.3	5.3				3.26
ドイツ語Ⅰ		文独 02組	月2,木4	佐藤　和枝	39	5.1	5.1	20.5	10.3	5.1	15.4	7.7	28.2		2.6		2.85
ドイツ語Ⅰ		文独 03組	月2,木4	中村　寿	36	2.8	13.9	27.8	19.4	13.9	19.4					2.8	3.29
ドイツ語Ⅰ		文独 04組	月2,木4	江口　豊	38		7.9	23.7	15.8	15.8	13.2	10.5	10.5		2.6		3.01
ドイツ語Ⅰ		理独A 01組	月1,水2	江口　豊	36		2.8	5.6	22.2	8.3	16.7	8.3	27.8		8.3		2.56
ドイツ語Ⅰ		理独A 02組	月1,水2	塩谷　幸子	38	7.9	18.4	13.2	13.2	7.9	21.1	5.3	10.5			2.6	3.13
ドイツ語Ⅰ		理独A 03組	月1,水2	佐藤　和枝	37	2.7	5.4	13.5	24.3	16.2	13.5	8.1	10.8		2.7	2.7	2.91
ドイツ語Ⅰ		理独A 04組	月1,水2	荻原　達夫	36	8.3	13.9	16.7	8.3	22.2	11.1	2.8	5.6		5.6	5.6	2.99
ドイツ語Ⅰ		理独A 05組	月1,水2	中村　寿	36	2.8	11.1	13.9	2.8	19.4	44.4					5.6	2.95
ドイツ語Ⅰ		理独A 06組	月1,水2	寺田　龍男	36	2.8	22.2	13.9	13.9	13.9	8.3	13.9	11.1				3.16
ドイツ語Ⅰ		理独A 07組	月1,水2	齋藤　拓也	37	8.1	10.8	13.5	16.2	13.5	13.5	5.4	16.2	2.7			3.06
ドイツ語Ⅰ		理独B 01組	火4,金4	岡崎　朝美	36	5.6	2.8	25.0	30.6	16.7	16.7		2.8				3.29
ドイツ語Ⅰ		理独B 02組	火4,金4	齋藤　拓也	35	5.7	11.4	11.4	14.3	25.7	11.4	11.4	2.9		5.7		3.04
ドイツ語Ⅰ		理独B 03組	火4,金4	阿部　和夫	37	5.4	13.5	18.9	21.6	16.2	5.4	10.8	8.1				3.23
ドイツ語Ⅰ		理独B 04組	火4,金4	荻原　達夫	36	5.6	16.7	22.2	30.6	8.3	8.3	8.3					3.40
ドイツ語Ⅰ		理独B 05組	火4,金4	佐藤　和枝	35	2.9		31.4	20.0	11.4	14.3	14.3	5.7				3.12
ドイツ語Ⅰ		理独B 06組	火4,金4	橋本　聡	35	5.7	5.7	11.4	17.1	17.1	11.4	17.1	8.6		5.7		2.89

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度１学期　全学教育（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月12日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
ドイツ語Ⅰ		理独C 01組	水3,木3	江口　豊	34	5.9	8.8	20.6	14.7	8.8	20.6	2.9	5.9		11.8		2.94
ドイツ語Ⅰ		理独C 02組	水3,木3	鈴木　純一	34	8.8	14.7	14.7	14.7	11.8	14.7	11.8	8.8				3.19
ドイツ語Ⅰ		理独C 03組	水3,木3	寺田　龍男	33	6.1	12.1	30.3	24.2	6.1	6.1	9.1	6.1				3.34
ドイツ語Ⅰ		理独C 04組	水3,木3	橋本　聡	34	8.8	20.6	5.9	11.8	2.9	11.8	8.8	20.6	2.9	5.9		2.90
ドイツ語Ⅰ		理独C 05組	水3,木3	杉浦　康則	34	2.9	11.8	26.5	17.6	26.5	8.8		2.9			2.9	3.25
ドイツ語Ⅰ		理独C 06組	水3,木3	中村　寿	32		6.3	6.3	12.5	15.6	53.1	6.3					2.94
ドイツ語Ⅰ		理独C 07組	水3,木3	岡﨑　朝美	32		9.4	31.3	25.0	3.1	25.0		6.3				3.25
ドイツ語Ⅱ	（１年２学期再履修）	基礎1-52組	月1,水1	橋本　聡	50		2.0		6.0	6.0	10.0	8.0	22.0		46.0		1.67
フランス語Ⅰ		仏語 01組	月2,木4	竹中　のぞみ	35	8.6	5.7	25.7	17.1	17.1	8.6	8.6	8.6				3.23
フランス語Ⅰ		仏語 11組	水3,木3	長野　督	40	7.5	22.5	15.0	10.0	2.5	15.0	12.5	10.0		5.0		3.11
フランス語Ⅰ		仏語 10組	水3,木3	伊藤　直哉	41	7.3		14.6	2.4	7.3	24.4	19.5	24.4				2.75
フランス語Ⅰ		仏語 09組	月1,水2	鍋島　孝子	33	3.0	21.2	15.2	24.2	15.2	9.1	9.1	3.0				3.31
フランス語Ⅰ		仏語 08組	月1,水2	竹中　のぞみ	35	5.7	28.6	14.3	8.6	5.7	14.3	8.6	5.7	2.9	2.9	2.9	3.12
フランス語Ⅰ		仏語 07組	月1,水2	鍋島　孝子	36	5.6	13.9	13.9	8.3	8.3	8.3	19.4	16.7		5.6		2.88
フランス語Ⅰ		仏語 02組	月2,木4	金山　準	36	5.6	19.4	8.3	19.4	19.4	13.9	5.6	8.3				3.22
フランス語Ⅰ		仏語 03組	月2,木4	長野　督	34	5.9	23.5	14.7	14.7	17.6	8.8	5.9	5.9		2.9		3.26
フランス語Ⅰ		仏語 04組	月2,木4	伊藤　直哉	32	6.3	9.4	15.6	6.3	18.8	6.3	18.8	18.8				2.97
フランス語Ⅰ		仏語 05組	火4,金4	鍋島　孝子	42		9.5	19.0	7.1	9.5	14.3	14.3	11.9		14.3		2.66
フランス語Ⅰ		仏語 06組	火4,金4	金山　準	41	7.3	7.3	22.0	17.1	17.1	19.5	2.4	7.3				3.22
フランス語Ⅱ	（１年２学期再履修）	基礎1-52組	月1,水1	竹中　のぞみ	15						20.0	13.3	20.0		6.7	40.0	1.29
ロシア語Ⅰ		露語 04組	水3,木3	杉浦　秀一	32	9.4	31.3	12.5	6.3	6.3	3.1	6.3	21.9			3.1	3.18
ロシア語Ⅰ		露語 03組	月1,水2	宇佐見　森吉	28	7.1	17.9	25.0	10.7	14.3	3.6	3.6	14.3			3.6	3.19
ロシア語Ⅰ		露語 02組	火4,金4	ブンティロフ　ゲオル	23	17.4	30.4	8.7	4.3	21.7	4.3	4.3	4.3			4.3	3.39
ロシア語Ⅰ		露語 01組	月2,木4	宇佐見　森吉	39	7.7	46.2	10.3	5.1	5.1	10.3	7.7	5.1			2.6	3.44
ロシア語Ⅱ	（１年２学期再履修）	基礎1-52組	月1,水1	杉浦　秀一	5				40.0	20.0						40.0	1.92
中国語Ⅰ		中国語 01組	月2,木4	楊　ウェンチー	40	5.0	22.5	15.0	10.0	15.0	5.0		17.5	2.5		7.5	2.96
中国語Ⅰ		中国語 20組	水3,木3	楊　彩虹	37	5.4	16.2	2.7	13.5	13.5	13.5	18.9	8.1	2.7	5.4		2.86
中国語Ⅰ		中国語 19組	水3,木3	西　茹	38	5.3	2.6	13.2	18.4	21.1	10.5	5.3	5.3	2.6	15.8		2.71
中国語Ⅰ		中国語 18組	水3,木3	渡邉　浩平	39	10.3	7.7	5.1	7.7	12.8	20.5	28.2	5.1	2.6			2.91
中国語Ⅰ		中国語 17組	水3,木3	田邉　鉄	39	2.6	7.7	7.7	10.3	20.5	12.8	25.6	7.7	2.6		2.6	2.77
中国語Ⅰ		中国語 16組	水3,木3	楊　彩虹	39	5.1	10.3	10.3	12.8	17.9	12.8	2.6	15.4	7.7	2.6	2.6	2.78
中国語Ⅰ		中国語 15組	月1,水2	田邉　鉄	39	2.6	7.7	7.7	20.5	12.8	20.5	12.8	12.8		2.6		2.89
中国語Ⅰ		中国語 14組	月1,水2	唐　イ	39	2.6	20.5	15.4	12.8	15.4	7.7	10.3	12.8			2.6	3.08
中国語Ⅰ		中国語 13組	月1,水2	西　茹	40	2.5	15.0	17.5	7.5		17.5	5.0	20.0	5.0	10.0		2.71
中国語Ⅰ		中国語 12組	月1,水2	藤野　陽平	38	2.6	10.5	13.2	10.5	18.4	26.3	5.3	7.9		2.6	2.6	2.93

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度１学期　全学教育（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月12日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
中国語Ⅰ		中国語 11組	月1,水2	楊　彩虹	41	2.4	12.2	9.8	12.2	12.2	9.8	19.5	9.8	4.9	4.9	2.4	2.71
中国語Ⅰ		中国語 10組	火4,金4	楊　彩虹	38	5.3	18.4	10.5	10.5	13.2	13.2	10.5	13.2		2.6	2.6	2.97
中国語Ⅰ		中国語 09組	火4,金4	藤野　陽平	38	2.6	13.2	15.8	7.9	15.8	18.4	2.6	15.8	5.3	2.6		2.90
中国語Ⅰ		中国語 02組	月2,木4	西　茹	37	10.8	10.8	2.7	18.9	10.8	13.5	2.7	18.9		10.8		2.83
中国語Ⅰ		中国語 03組	月2,木4	霜島　かおり	39	2.6	10.3	20.5	17.9	15.4	5.1	7.7	15.4		2.6	2.6	2.97
中国語Ⅰ		中国語 04組	月2,木4	清水　賢一郎	38	13.2	7.9	13.2	15.8	10.5	15.8	18.4	5.3				3.16
中国語Ⅰ		中国語 05組	月2,木4	趙　萌	40	7.5	10.0	15.0	12.5	5.0	5.0	12.5	22.5	5.0		5.0	2.76
中国語Ⅰ		中国語 06組	火4,金4	網谷　義男	40		7.5	12.5	35.0	10.0	17.5	10.0	7.5				3.07
中国語Ⅰ		中国語 07組	火4,金4	楊　彩虹	40	5.0	10.0	20.0	20.0	10.0	10.0	10.0	5.0	7.5		2.5	2.99
中国語Ⅰ		中国語 08組	火4,金4	渡邉　浩平	37		10.8	2.7		13.5	13.5	18.9	32.4	8.1			2.47
中国語Ⅱ	（１年２学期再履修）	基礎1-52組	月1,水1	藤野　陽平	42				7.1	2.4	4.8	9.5	40.5		7.1	28.6	1.51
スペイン語Ⅰ		西語 02組	月2,木4	PAICHADZE SVETLANA	43	11.6	20.9	27.9	9.3	4.7	7.0	9.3	4.7	4.7			3.36
スペイン語Ⅰ		西語 03組	火4,金4	増田　哲子	43	4.7	14.0	14.0	16.3	11.6	16.3	4.7	11.6	7.0			3.01
スペイン語Ⅰ		西語 04組	火4,金4	PAICHADZE SVETLANA	43	2.3	11.6	14.0	23.3	25.6	11.6		7.0	2.3	2.3		3.11
スペイン語Ⅰ		西語 05組	月1,水2	LOPEZ JARA SANTIAGO	43	2.3	7.0	11.6	14.0	9.3	18.6	11.6	16.3	9.3			2.74
スペイン語Ⅰ		西語 06組	水3,木3	増田　哲子	42		14.3	16.7	7.1	21.4	4.8	11.9	14.3	4.8		4.8	2.80
スペイン語Ⅰ		西語 01組	月2,木4	LOPEZ JARA SANTIAGO	43	7.0	23.3	16.3	16.3	9.3	11.6	9.3	4.7			2.3	3.27
スペイン語Ⅱ	（１年２学期再履修）	基礎1-52組	月1,水1	PAICHADZE SVETLANA	17			5.9	5.9	5.9	5.9	5.9	11.8	17.6	41.2		1.58
韓国語Ⅰ		韓国語 01組	月2,木4	玄　武岩	38	2.6	26.3	13.2	10.5	18.4	13.2	2.6	7.9	2.6	2.6		3.17
韓国語Ⅰ		韓国語 02組	火4,金4	金　ソンミン	34	11.8	17.6	17.6	14.7	11.8	8.8	2.9	8.8	2.9		2.9	3.21
韓国語Ⅰ		韓国語 03組	月1,水2	曺　順姫	40	5.0	10.0	20.0	15.0	12.5	10.0	2.5	17.5	2.5		5.0	2.93
韓国語Ⅰ		韓国語 04組	水3,木3	金　ソンミン	40	7.5	12.5	10.0	20.0	10.0	7.5	20.0	7.5		2.5	2.5	2.98
韓国語Ⅱ	（１年２学期再履修）	基礎1-52組	月1,水1	玄　武岩	3						33.3	33.3	33.3				2.33
英語演習	初級：Be Understood　発信型英語の基礎	基礎1-52組	水1	奥　聡	25	8.0	8.0	12.0	16.0	20.0	8.0	8.0	8.0			12.0	2.80
英語演習	初級：Rethinking how to read English	基礎1-52組	月3	上田　雅信	23	8.7	13.0	34.8	8.7	13.0	8.7	4.3	4.3			4.3	3.28
英語演習	初級：SRAで学ぶ英語	基礎1-52組	木4	長島　美織	24	4.2	16.7	20.8	20.8	25.0				4.2	4.2	4.2	3.13
英語演習	初級：ハンバーガーの歴史	基礎1-52組	火2	本堂　知彦	24	4.2	12.5	8.3	20.8	37.5	8.3	4.2				4.2	3.12
英語演習	初級：偉人伝を読む	基礎1-52組	金3	川嵜　義和	25	4.0	4.0	16.0	28.0	20.0	16.0	4.0	4.0			4.0	3.05
英語演習	初級：英語で学ぶ東南アジア	基礎1-52組	水4	田代　亜紀子	22	4.5	13.6	18.2	27.3	27.3	9.1						3.38
英語演習	初級：英字新聞読解初級	基礎1-52組	集中	張　ジュヒョク	23	26.1	34.8	17.4	8.7							13.0	3.44
英語演習	初級：食の楽しみ	基礎1-52組	火3	及川　陽子	30	20.0	13.3	13.3	23.3	16.7	3.3	3.3	3.3			3.3	3.39
英語演習	初級：報道で学ぶ総合英語	基礎1-52組	木1	鈴木　志のぶ	25			8.0	8.0	28.0	28.0	12.0	4.0	12.0			2.63
英語演習	初級：漫画・アニメの言語科学	基礎1-52組	火5	原　由理枝	23		8.7	4.3	17.4		17.4	21.7	17.4	4.3		8.7	2.44
英語演習	上級：Critical Thinking: Principles and Applications in Education	基礎1-52組	火4	TANAKA JAY MATSUO	3	33.3	66.7										4.10
英語演習	上級：海外短期語学研修	基礎1-52組	集中	長島　美織	20	5.0	60.0	35.0									3.91

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度１学期　全学教育（学部）
11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月12日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
英語演習	上級：留学支援英語Ⅰ2019（１）	基礎1-52組	月1	長島　美織	9	22.2	33.3	11.1	11.1							22.2	3.07
英語演習	上級：留学支援英語Ⅰ2019（１）	基礎1-52組	月3	長島　美織	9		44.4	22.2	33.3								3.70
英語演習	上級：留学支援英語Ⅰ2019（１）	基礎1-52組	火2	長島　美織	14	14.3		64.3	21.4								3.70
英語演習	上級：留学支援英語Ⅰ2019（１）	基礎1-52組	火3	長島　美織	20	20.0		45.0	35.0								3.68
英語演習	上級：留学支援英語Ⅰ2019（１）	基礎1-52組	水3	長島　美織	15	33.3		6.7	60.0								3.66
英語演習	上級：留学支援英語Ⅰ2019（１）	基礎1-52組	水4	長島　美織	7	42.9		57.1									3.96
英語演習	上級：留学支援英語Ⅰ2019（１）	基礎1-52組	木2	長島　美織	19	21.1		57.9	15.8							5.3	3.57
英語演習	上級：留学支援英語Ⅰ2019（１）	基礎1-52組	水5	長島　美織	7	28.6	14.3		14.3	14.3						28.6	2.70
英語演習	上級：留学支援英語Ⅰ2019（１集中）	基礎1-52組	集中	長島　美織	19	5.3	84.2									10.5	3.59
英語演習	上級：留学支援英語Ⅱ2019（１）	基礎1-52組	金2	長島　美織	5	20.0	60.0		20.0								3.92
英語演習	上級：留学支援英語Ⅱ2019（１集中）	基礎1-52組	集中	長島　美織	20	50.0	20.0	10.0	5.0							15.0	3.49
英語演習	上級：留学支援英語Ⅲ2019（１）	基礎1-52組	金5	長島　美織	7	71.4	28.6										4.21
英語演習	中級：Active Listening and Language Development	基礎1-52組	火4	金　娥凛	6	33.3	50.0									16.7	3.43
英語演習	中級：An Introduction to Critical Thinking	基礎1-52組	金4	カワイ・カサンドラ	3	66.7	33.3										4.20
英語演習	中級：An Introduction to Critical Thinking	基礎1-52組	金3	カワイ・カサンドラ	4	25.0	50.0	25.0									4.00
英語演習	中級：Approaches to Second Language Teaching: Reading and Writing	基礎1-52,54組	火3	TANAKA JAY MATSUO	5	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0							3.66
英語演習	中級：BBCニュースの英語を聴く	基礎1-52組	水4	土田　映子	28	3.6	3.6	14.3	28.6	10.7		10.7	17.9		10.7		2.77
英語演習	中級：BBCニュースの英語を聴く	基礎1-52組	水3	土田　映子	28	7.1	3.6	10.7	10.7	21.4	17.9	3.6	10.7	10.7	3.6		2.75
英語演習	中級：Being Young in Super-Ageing Japan	基礎1-52組	火2	ホメリヒ　カローラ	1	100.0											4.30
英語演習	中級：How We Learn Languages	基礎1-52,54組	木4	RICHARDSON PETER	4	25.0		25.0		25.0					25.0		2.93
英語演習	中級：How We Learn Languages	基礎1-52,54組	木2	RICHARDSON PETER	1										100.0		0.70
英語演習	中級：Ideas: Discussing Contemporary Social Issues	基礎1-52,54組	木3	ハンセン　ポール　サ	5		40.0	40.0							20.0		3.22
英語演習	中級：Indigenous Peoples and Education	基礎1-52,54組	木3	GAYMAN JEFFRY JOSEPH	1			100.0									3.70
英語演習	中級：Interpersonal Communication	基礎1-52,54組	火2	レジー・カバシオ・フ	1			100.0									3.70
英語演習	中級：Introduction to Forest Science（森林科学入門）	基礎1-52組	木5	中村　太士	17		23.5	11.8	35.3	11.8	5.9	5.9	5.9				3.31
英語演習	中級：Invitation to Sociology	基礎1-52組	木1	櫻井　義秀	2		50.0	50.0									3.85
英語演習	中級：Law, Rights, and Legal Culture	基礎1-52組	火5	長谷川　晃	1		100.0										4.00
英語演習	中級：Personal Stories and Religion	基礎1-52,54組	水4	RICHARDSON PETER	7	28.6	28.6	28.6	14.3								3.90
英語演習	中級：Practicing Basic Natural Everyday English	基礎1-52,54組	火3	Piers Williamson	12	8.3	33.3	16.7	8.3	25.0	8.3						3.56
英語演習	中級：Practicing Basic Natural Everyday English	基礎1-52,54組	水3	Piers Williamson	13	15.4	38.5	23.1	15.4	7.7							3.79
英語演習	中級：Practicing Basic Natural Everyday English	基礎1-52,54組	火2	Piers Williamson	15	20.0	33.3	13.3	13.3	13.3	6.7						3.71
英語演習	中級：Reading an essay on mind and its evolution	基礎1-52組	月2	上田　雅信	23	8.7	21.7	17.4	26.1	17.4			8.7				3.44
英語演習	中級：SRAで学ぶ英語	基礎1-52組	金2	長島　美織	23		43.5	21.7	13.0			4.3	8.7	4.3		4.3	3.29
英語演習	中級：Space Exploration	基礎1-52組	月5	戸谷　剛	11	9.1	27.3	27.3	9.1	27.3							3.61
英語演習	中級：Theories and Methodologies of Second Language Teaching	基礎1-52,54組	木1	TANAKA JAY MATSUO	1		100.0										4.00

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度１学期　全学教育（学部）
11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月12日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
英語演習	中級：World Cultures and Anthropology	基礎1-52,54組	水5	CAPOBIANCO PAUL JOSE	1						100.0						2.70
英語演習	中級：World Cultures and Anthropology	基礎1-52,54組	水2	CAPOBIANCO PAUL JOSE	2	50.0							50.0				3.15
英語演習	中級：『ファッションが教えてくれること』を観る2019	基礎1-52組	月5	十枝内　康隆	25		32.0	68.0									3.80
英語演習	中級：アメリカ人批評家による宮崎駿論	基礎1-52組	火1	本堂　知彦	24	8.3	8.3	8.3	12.5	29.2	16.7	4.2	4.2	4.2		4.2	2.96
英語演習	中級：キャンパス英語2019（１）	基礎1-52組	月2	長島　美織	19		84.2									15.8	3.37
英語演習	中級：キャンパス英語2019（１）	基礎1-52組	火1	長島　美織	18	5.6	50.0	5.6	33.3							5.6	3.54
英語演習	中級：キャンパス英語2019（１）	基礎1-52組	木1	長島　美織	20	40.0	30.0	5.0	10.0	10.0						5.0	3.74
英語演習	中級：シェイクスピアの研究論文を読む	基礎1-52組	木3	宮下　弥生	11	9.1	18.2	18.2	18.2	9.1			9.1			18.2	2.85
英語演習	中級：ニューヨークタイムズの記事を読む	基礎1-52組	月3	大野　公裕	23	4.3	8.7	21.7	8.7	13.0	17.4	13.0	13.0				3.05
英語演習	中級：ニューヨークタイムズの記事を読む	基礎1-52組	月4	大野　公裕	23		17.4	39.1	34.8		4.3					4.3	3.41
英語演習	中級：ファンタジーとSFで学ぶ英語リーディング	基礎1-52組	金4	熊谷　由美子	30		13.3	16.7	10.0	23.3	20.0		16.7				3.05
英語演習	中級：医学の英文献を読む	基礎1-52組	火1	伊　敏	10	10.0	30.0	30.0	20.0							10.0	3.40
英語演習	中級：英語で学ぶ世界の水と衛生	基礎1-52組	金5	北島　正章	11		18.2	18.2	18.2	27.3					18.2		2.95
英語演習	中級：英語で学ぶ世界遺産	基礎1-52組	火2	田代　亜紀子	24	8.3	12.5	12.5	12.5	20.8	25.0	8.3					3.23
英語演習	中級：英語で学ぶ生物学	基礎1-52組	月5	吉田　郁也	20	10.0	20.0	25.0	15.0	5.0	10.0	5.0			10.0		3.26
英語演習	中級：英語で学ぶ電波の歴史	基礎1-52組	火5	山本　学	6	16.7	16.7	33.3	16.7	16.7							3.67
英語演習	中級：英語で推理を楽しむ	基礎1-52組	木2	及川　陽子	22		22.7	27.3	9.1	9.1	4.5	13.6	13.6				3.20
英語演習	中級：英語で読むバイオサイエンス	基礎1-52組	木5	佐藤　真理	2	100.0											4.30
英語演習	中級：英語の歌を聴く・読む	基礎1-52組	集中	土永　孝	40	10.0	17.5	12.5	32.5	7.5	2.5	5.0	2.5			10.0	3.12
英語演習	中級：英字新聞読解中級	基礎1-52組	火3	張　ジュヒョク	25	16.0	36.0	20.0	8.0	16.0	4.0						3.72
英語演習	中級：英日翻訳の基礎	基礎1-52組	木2	佐藤　美希	15		13.3	33.3	26.7	13.3	13.3						3.41
英語演習	中級：英文法解法演習2019	基礎1-52組	月4	對馬　康博	24	12.5	16.7	16.7	20.8	8.3	4.2	12.5	4.2			4.2	3.24
英語演習	中級：化学系に求められる英語力を身につける	基礎1-52組	火5	藤原　政司	8		37.5	12.5	37.5						12.5		3.29
英語演習	中級：科学ジャーナリズムの英語	基礎1-52組	木2	松王　政浩	9	22.2		44.4	22.2		11.1						3.63
英語演習	中級：海外短期語学研修	基礎1-52組	集中	長島　美織	1		100.0										4.00
英語演習	中級：観光研究へのアプローチ	基礎1-52組	月2	西川　克之	4		75.0		25.0								3.83
英語演習	中級：共通語としての英語	基礎1-52組	水1	大友　瑠璃子	14	7.1	7.1	21.4	21.4	7.1	14.3	14.3		7.1			3.09
英語演習	中級：語彙と読解	基礎1-52組	金2	園田　勝英	20	25.0	45.0	10.0	5.0	10.0						5.0	3.71
英語演習	中級：口頭英作文	基礎1-52組	木2	五十嵐　洋介	10	40.0	40.0	20.0									4.06
英語演習	中級：宗教社会学	基礎1-52組	木4	岡本　亮輔	12	8.3	8.3	50.0	25.0							8.3	3.37
英語演習	中級：宗教社会学	基礎1-52組	木3	岡本　亮輔	23	4.3		21.7	26.1	34.8	4.3	4.3	4.3				3.20
英語演習	中級：重大感染症の端緒論文を読む	基礎1-52組	火4	小華和　柾志	15	13.3	6.7	6.7	26.7	13.3	20.0		6.7			6.7	3.04
英語演習	中級：初学者のための経済学	基礎1-52組	月5	須賀　宣仁	5	20.0		40.0								40.0	2.34
英語演習	中級：人にやさしい先端テクノロジを英語で学ぶ	基礎1-52組	火5	金井　理	6	16.7	50.0				16.7				16.7		3.28
英語演習	中級：水の観光―ヨーロッパにおける海水浴とスパ・タウンの文化史	基礎1-52組	火1	西川　克之	7		28.6	57.1					14.3				3.54

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度１学期　全学教育（学部）
11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月12日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
英語演習	中級：生物から学んだ新しい材料	基礎1-52組	火5	CHO HAI JUN	3	33.3	66.7										4.10
英語演習	中級：地球の環境の足跡	基礎1-52組	水5	ビジュ　バスデバン	1				100.0								3.30
英語演習	中級：中東社会を英語で理解する	基礎1-52組	木2	太田　敬子	3		66.7	33.3									3.90
英語演習	中級：報道で学ぶ総合英語	基礎1-52組	水2	鈴木　志のぶ	11		27.3	9.1	18.2	9.1	18.2		9.1	9.1			3.06
英語演習	中級：免疫学の最新知見に関する論文を読む「腸内細菌叢と免疫」	基礎1-52組	水5	大橋　和彦	2	50.0	50.0										4.15
英語演習	中級：洋楽と洋画で学ぶ口語英文法	基礎1-52組	月5	小林　敏彦	27	3.7	3.7	14.8	18.5	22.2	22.2	7.4	3.7	3.7			3.01
英語演習	中級：歴史における国際経験	基礎1-52組	木5	ラフェイ　ミシェル	2		50.0		50.0								3.65
ドイツ語演習	基礎：Chatten auf Deutsch - チャットで学ぶ文法・作文・会話	基礎1-52組	水5	藤本　純子	2			50.0	50.0								3.50
ドイツ語演習	基礎：ドイツ語ステップアップ（１）	基礎1-52組	木2	マティアス・グリューー	4					25.0		25.0		25.0		25.0	1.58
ドイツ語演習	初級：ドイツの生活と社会	基礎1-52組	金5	Randhage Sabine Mart	4	50.0										50.0	2.15
ドイツ語演習	初級：ドイツ語で物語を読んでみる	基礎1-52組	木4	鈴木　純一	4		25.0	50.0								25.0	2.85
ドイツ語演習	入門：ドイツ語で日常のコミュニケーションⅠ	基礎1-52組	水4	Randhage Sabine Mart	29	24.1	10.3	13.8	6.9	17.2	13.8	10.3				3.4	3.32
ドイツ語演習	入門：ドイツ語で日常のコミュニケーションⅠ	基礎1-52組	水5	Randhage Sabine Mart	27	18.5	11.1	14.8	18.5	14.8	11.1	7.4		3.7			3.35
ドイツ語演習	入門：ドイツ語スタートライン（１）	基礎1-52組	月5	マティアス・グリューー	23		4.3	13.0	34.8	30.4	8.7		8.7				3.13
ドイツ語演習	入門：ドイツ出身のキャラクターたち	基礎1-52組	金5	杉浦　康則	24	4.2	20.8	20.8	16.7	4.2	16.7	8.3	4.2			4.2	3.18
ドイツ語演習	入門：ミュンヘン観光	基礎1-52組	金5	阿部　和夫	25	8.0	16.0	16.0	24.0	16.0	4.0	8.0	8.0				3.30
ドイツ語演習	入門：国際的な視点から見たドイツⅠ	基礎1-52組	木4	Randhage Sabine Mart	21	28.6	23.8	4.8	14.3	9.5	4.8	4.8			4.8	4.8	3.39
ドイツ語演習	入門：国際的な視点から見たドイツⅠ	基礎1-52組	木5	Randhage Sabine Mart	20	25.0	25.0	15.0	15.0	5.0				15.0			3.43
ドイツ語演習	入門：日常生活のためのドイツ語コミュニケーションⅠ	基礎1-52組	金3	Randhage Sabine Mart	14	28.6		7.1	14.3	35.7	7.1		7.1				3.37
ドイツ語演習	入門：日本の若者のためのドイツ語　Ⅰ	基礎1-52組	火5	Randhage Sabine Mart	30	43.3	26.7	6.7	3.3	3.3	3.3	6.7	3.3			3.3	3.70
ドイツ語演習	入門：日本の若者のためのドイツ語　Ⅰ	基礎1-52組	火4	Randhage Sabine Mart	29	34.5	17.2	13.8	3.4	13.8	6.9	3.4			3.4	3.4	3.50
ドイツ語演習	入門：聞く・話す・読む・書くドイツ語（Ⅰ）	基礎1-52組	木5	寺田　龍男	25	12.0	16.0	24.0	8.0	16.0	4.0	16.0	4.0				3.34
フランス語演習	基礎：Level II	基礎1-52組	月4	CLERCQ LUCIEN LAUREN	14		28.6	7.1	14.3	21.4	7.1				7.1	14.3	2.76
フランス語演習	基礎：Level II	基礎1-52組	金2	CLERCQ LUCIEN LAUREN	8	12.5		25.0		12.5	12.5	12.5				25.0	2.46
フランス語演習	基礎：基礎講読19A	基礎1-52組	火3	伊藤　直哉	9	55.6	22.2									22.2	3.28
フランス語演習	初級：フランス語のテクストを読む	基礎1-52組	木3	竹内　修一	3		33.3				33.3					33.3	2.23
フランス語演習	初級：仏検３級傾向と対策	基礎1-52組	水5	長野　督	17	17.6	23.5	11.8	5.9	5.9	11.8	17.6			5.9		3.27
フランス語演習	上級：Histoire de la Revolution francaise	基礎1-52組	水5	松嶌　明男	1				100.0								3.30
フランス語演習	入門：Level Ⅰ	基礎1-52組	月3	CLERCQ LUCIEN LAUREN	25		4.0	12.0	12.0	12.0	12.0	24.0	20.0			4.0	2.64
フランス語演習	入門：Level Ⅰ	基礎1-52組	火1	CLERCQ LUCIEN LAUREN	25		4.0	32.0	12.0	8.0	20.0	12.0	4.0	4.0		4.0	2.92
フランス語演習	入門：Level Ⅰ	基礎1-52組	木1	CLERCQ LUCIEN LAUREN	24	4.2	8.3	20.8	8.3	8.3	12.5	12.5	16.7			8.3	2.77
フランス語演習	入門：Level Ⅰ	基礎1-52組	木2	CLERCQ LUCIEN LAUREN	25		20.0	16.0	4.0	20.0	16.0	16.0	8.0				3.08
フランス語演習	入門：Level Ⅰ	基礎1-52組	金3	CLERCQ LUCIEN LAUREN	25	4.0	20.0	40.0	12.0	4.0		4.0				16.0	3.06
ロシア語演習	基礎：会話Ⅱ	基礎1-52組	火5	プンティロフ　ゲオル	3		33.3			66.7							3.33
ロシア語演習	初級：会話Ⅲ	基礎1-52組	金2	プンティロフ　ゲオル	4	50.0	50.0										4.15

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度１学期　全学教育（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月12日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
ロシア語演習	初級：講読	基礎1-52組	木5	杉浦　秀一	2	100.0											4.30
ロシア語演習	入門：会話Ⅰ	基礎1-52組	水5	ブンティロフ　ゲオル	22	4.5	59.1	27.3	9.1								3.87
ロシア語演習	入門：会話Ⅰ	基礎1-52組	月5	アンナ　サヴィヌイフ	14	14.3	14.3	7.1	28.6	14.3		7.1	7.1	7.1			3.20
ロシア語演習	入門：総合Ⅰ	基礎1-52組	木5	宇佐見　多佳子	24	16.7	33.3	20.8	12.5	12.5						4.2	3.61
中国語演習	基礎：読み物で基礎固め	基礎1-52組	月5	清水　賢一郎	16	6.3	25.0	12.5	6.3	12.5	12.5	12.5				12.5	2.94
中国語演習	基礎：発音・リスニング力を鍛える中国語	基礎1-52組	水1	今野　美香	15	13.3	46.7	6.7								33.3	2.69
中国語演習	初級：現代中国を読む	基礎1-52組	水5	渡邉　浩平	23		4.3	30.4	39.1	8.7	8.7			8.7			3.17
中国語演習	初級：中国語でのコミュニケーション-1	基礎1-52組	火2	伊　敏	4		50.0		25.0							25.0	2.83
中国語演習	初級：中国語会話　大学生活	基礎1-52組	火5	云　肖梅	17	23.5	5.9	11.8	23.5	5.9		17.6	11.8				3.28
中国語演習	中級：ネイティブの中国語表現	基礎1-52組	火2	西　茹	1		100.0										4.00
中国語演習	中級：海外短期語学研修	基礎1-52組	集中	西　茹	2	100.0											4.30
中国語演習	中級：時事ニュースを中国語で読む	基礎1-52組	火5	徐　行	2		50.0	50.0									3.85
中国語演習	中級：中国の教育事情を学ぶ	基礎1-52組	水5	張　揚	1	100.0											4.30
中国語演習	中級：中国語中級	基礎1-52組	月5	岩谷　將	1		100.0										4.00
中国語演習	入門：はじめての中国語	基礎1-52組	火2	楊　ウェンチー	25	4.0	20.0	20.0	4.0	4.0	20.0	12.0	16.0				3.10
中国語演習	入門：音から学ぶ中国語入門	基礎1-52組	木1	渡邉　浩平	25		20.0	28.0	40.0	12.0							3.52
中国語演習	入門：教科書連動！ドリルで学ぶ中国語	基礎1-52組	月5	長井　裕子	24	8.3	33.3	16.7	8.3	4.2	4.2		16.7	4.2		4.2	3.20
中国語演習	入門：初めての中国語会話	基礎1-52組	水5	楊　彩虹	30	6.7	26.7	33.3	13.3	10.0	3.3			3.3		3.3	3.45
中国語演習	入門：初めての中国語会話	基礎1-52組	木1	楊　彩虹	30	3.3	30.0	30.0	10.0	20.0		3.3	3.3				3.53
中国語演習	入門：初めての中国語会話	基礎1-52組	火3	楊　彩虹	30		30.0	16.7	20.0	6.7	16.7	6.7				3.3	3.28
中国語演習	入門：中国語を話してみよう	基礎1-52組	木5	楊　ウェンチー	25	4.0	24.0	12.0	20.0	16.0			8.0	4.0		12.0	2.92
スペイン語演習	初級：表現するための筆記コミュニケーション　Ⅱ	基礎1-52組	水5	LOPEZ JARA SANTIAGO	8	12.5	37.5	12.5								37.5	2.50
スペイン語演習	中級：時事スペイン語中級講読	基礎1-52組	木5	山下　好孝	10	50.0	30.0	10.0						10.0			3.82
スペイン語演習	入門：スペイン語をはじめよう！	基礎1-52組	木5	PAICHADZE SVETLANA	25	44.0	40.0	16.0									4.08
スペイン語演習	入門：スペイン語会話のイントネーションとリズム	基礎1-52組	水2	岩澤　マリア	22	22.7	50.0	9.1		4.5	9.1				4.5		3.73
スペイン語演習	入門：スペイン語初歩	基礎1-52組	木3	増田　哲子	24	16.7	8.3	20.8	12.5	12.5	8.3	4.2	4.2	8.3		4.2	3.10
スペイン語演習	入門：スペイン語文法入門	基礎1-52組	水4	岩澤　康裕	16	31.3	18.8		6.3	25.0	6.3					12.5	3.22
スペイン語演習	入門：表現するための口頭コミュニケーション　Ⅰ	基礎1-52組	木5	LOPEZ JARA SANTIAGO	18	16.7	11.1	5.6	5.6	22.2	22.2	5.6		11.1			3.06
スペイン語演習	入門：表現するための口頭コミュニケーション　Ⅰ	基礎1-52組	金5	LOPEZ JARA SANTIAGO	11	9.1	9.1	9.1	36.4	18.2	18.2						3.33
スペイン語演習	入門：表現するための筆記コミュニケーション　Ⅰ	基礎1-52組	月5	LOPEZ JARA SANTIAGO	21	4.8	4.8	4.8	14.3	33.3	38.1						3.07
韓国語演習	基礎：さまざまな場面での会話文を学ぼう	基礎1-52組	木5	松田　由紀	10	20.0	20.0	10.0	20.0		10.0	10.0				10.0	3.19
韓国語演習	初級：エッセイを読んで語彙力アップ！	基礎1-52組	木4	金　京愛	5	20.0	40.0	20.0	20.0								3.86
韓国語演習	初級：海外短期語学研修	基礎1-52組	集中	玄　武岩	1	100.0											4.30
韓国語演習	初級：楽しくしゃべろう！韓国語	基礎1-52組	月5	千　永柱	2			100.0									3.70
韓国語演習	中級：現代の韓国の教育と社会	基礎1-52組	月5	宋　美蘭	1		100.0										4.00

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度１学期　全学教育（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月12日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
韓国語演習	入門：今日から使える韓国語	基礎1-52組	火5	金　娥凛	25	8.0	8.0	8.0	28.0	24.0	12.0		12.0				3.17
外国語特別演習	イタリア語　入門：はじめてのイタリア語	基礎1-52組	水5	望月　由美子	25	4.0	20.0	24.0	20.0	8.0	16.0	4.0	4.0				3.36
外国語特別演習	ギリシア語　入門：古典ギリシア語入門	基礎1-52組	月5	川嵜　義和	7	28.6		28.6								42.9	2.29
外国語特別演習	ハンガリー語　入門：ハンガリー語で話してみよう	基礎1-52組	水3	ダナ・ハシモトヴァー	23	4.3	21.7	8.7	8.7	17.4	26.1	8.7	4.3				3.18
外国語特別演習	フィンランド語　入門：be動詞だけで多彩な表現を	基礎1-52組	木5	水本　秀明	30	6.7	13.3	26.7	30.0	13.3	10.0						3.47
外国語特別演習	ポーランド語　入門：はじめてのポーランド語	基礎1-52組	水5	佐光　伸一	19	15.8	15.8		15.8	10.5	5.3	10.5	10.5	5.3		10.5	2.79
外国語特別演習	ラテン語　入門：古典ラテン語入門	基礎1-52組	木1	川嵜　義和	19	10.5	21.1	10.5	15.8	21.1		10.5	5.3			5.3	3.18
自然科学実験	（化学・生物）	基礎1-15,30-33,53組	火4,火5	柳澤　達也	78	6.4	19.2	19.2	15.4	23.1	9.0		1.3	3.8	2.6		3.28
自然科学実験	（化学・生物）	基礎16-19,27-29組	水4,水5	梅澤　大樹	110	8.2	10.0	27.3	24.5	19.1	7.3	0.9	1.8	0.9			3.41
自然科学実験	（化学・生物）	基礎20-26組	木4,木5	加藤　徹	115	8.7	18.3	24.3	21.7	18.3	4.3		0.9		3.5		3.43
自然科学実験	（化学・地球惑星科学）	基礎1-15,30-33,53組	火4,火5	柳澤　達也	9		22.2	33.3	33.3		11.1						3.52
自然科学実験	（化学・地球惑星科学）	基礎20-26組	木4,木5	加藤　徹	9		44.4	22.2	22.2	11.1							3.67
自然科学実験	（化学・地球惑星科学）	基礎16-19,27-29組	水4,水5	梅澤　大樹	13	7.7	23.1	7.7	23.1	30.8	7.7						3.43
自然科学実験	（生物・地球惑星科学）	基礎1-15,30-33,53組	火4,火5	柳澤　達也	13	7.7		30.8	38.5	7.7		7.7		7.7			3.22
自然科学実験	（物理・化学）	基礎1-15,30-33,53組	火4,火5	柳澤　達也	68	2.9	16.2	25.0	22.1	20.6	1.5	4.4	2.9		4.4		3.28
自然科学実験	（物理・化学）	基礎16-19,27-29組	水4,水5	梅澤　大樹	124	4.8	17.7	16.9	23.4	17.7	8.1	3.2	2.4	0.8	4.0	0.8	3.23
自然科学実験	（物理・化学）	基礎20-26組	木4,木5	加藤　徹	124	2.4	11.3	25.8	32.3	12.9	7.3	1.6	1.6	0.8	4.0		3.26
自然科学実験	（物理・生物）	基礎16-19,27-29組	水4,水5	梅澤　大樹	80		16.3	26.3	27.5	16.3	10.0	1.3		2.5			3.34
自然科学実験	（物理・生物）	基礎1-15,30-33,53組	火4,火5	柳澤　達也	39	7.7	10.3	15.4	43.6	12.8	5.1				5.1		3.31
自然科学実験	（物理・生物）	基礎20-26組	木4,木5	加藤　徹	76	1.3	15.8	22.4	21.1	26.3	6.6	1.3	2.6		2.6		3.28
自然科学実験	（物理・地球惑星科学）	基礎16-19,27-29組	水4,水5	梅澤　大樹	46	6.5	15.2	30.4	32.6	4.3	10.9						3.52
自然科学実験	（物理・地球惑星科学）	基礎20-26組	木4,木5	加藤　徹	51	5.9	15.7	21.6	37.3	13.7	2.0	3.9					3.46
自然科学実験	（物理・地球惑星科学）	基礎1-15,30-33,53組	火4,火5	柳澤　達也	34	8.8	17.6	32.4	23.5	8.8	5.9			2.9			3.51
人文・社会科学の基礎	教育学入門Ⅰ（教育問題と教育学）	基礎1-53組	木2	宮崎　隆志	100	4.0	25.0	15.0	15.0	24.0	4.0	2.0	2.0			9.0	3.14
人文・社会科学の基礎	教育学入門Ⅱ（公認心理師の職責）	基礎1-53組	金1	渡邊　誠	45		2.2	8.9	13.3	20.0	8.9	11.1	15.6	6.7	13.3		2.42
人文・社会科学の基礎	経済・経営学入門Ⅱ	基礎1-53組	木2	岩田　智	80	7.5	7.5	8.8	16.3	11.3	10.0	15.0	15.0	3.8		5.0	2.77
人文・社会科学の基礎	経済・経営学入門Ⅲ	基礎1-53組	水4	佐々木　潔	86	5.8	8.1	17.4	24.4	16.3	12.8	1.2	9.3		2.3	2.3	3.09
人文・社会科学の基礎	人文科学入門Ⅰ	基礎1-53組	水4	藏田　伸雄	92	7.6	27.2	26.1	20.7	10.9	2.2	1.1		1.1	3.3		3.50
人文・社会科学の基礎	人文科学入門Ⅱ	基礎1-53組	水4	千葉　惠	40	7.5	22.5	22.5	20.0	2.5		5.0	10.0			10.0	3.11
人文・社会科学の基礎	人文科学入門Ⅲ	基礎1-53組	木2	竹内　康浩	66	3.0	9.1	9.1	13.6	16.7	12.1	10.6	12.1	1.5	12.1		2.69
人文・社会科学の基礎	人文科学入門Ⅳ	基礎1-53組	金1	佐々木　亨	60	3.3	8.3	26.7	28.3	23.3	5.0					5.0	3.23
人文・社会科学の基礎	政治学入門	基礎1-53組	木2	鈴木　一人	76	2.6	2.6	10.5	13.2	13.2	13.2	10.5	6.6	9.2	3.9	14.5	2.29
人文・社会科学の基礎	法学入門Ⅰ（民事法Ⅰ）	基礎1-53組	金1	根本　尚徳	236	0.4	0.8	4.2	14.8	10.6	14.4	12.7	10.6	9.3	11.4	10.6	2.08
人文・社会科学の基礎	法学入門Ⅲ（公法・刑事法）	基礎1-53組	水4	津田　智成	236	18.2	24.6	22.5	12.7	10.2	3.4	1.7	4.2	1.7		0.8	3.55
人文・社会科学の基礎	法学入門Ⅳ（法学基礎）	基礎1-53組	木2	田口　正樹	10			30.0	10.0	30.0	20.0					10.0	2.88

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度１学期　全学教育（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月12日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
線形代数学Ⅰ	(16組は学生番号末尾２桁が「４で除して余り１」)	基礎16,19組	金3	山下　博	64	1.6	10.9	17.2	12.5	12.5	17.2	10.9	4.7	6.3	4.7	1.6	2.83
線形代数学Ⅰ	(16組は学生番号末尾２桁が「４で除して余り２」)	基礎16,18組	金3	黒田　紘敏	65	6.2	15.4	21.5	16.9	13.8	4.6	10.8	7.7	3.1			3.21
線形代数学Ⅰ	(16組は学生番号末尾２桁が「４で除して余り３」)	基礎16,17組	金3	田邊　顕一朗	64	4.7	9.4	25.0	18.8	9.4	3.1	10.9	3.1	15.6			2.96
線形代数学Ⅰ	(16組は学生番号末尾２桁が「４の倍数」)	基礎16,20組	金3	行木　孝夫	61	1.6	21.3	6.6	14.8	18.0	9.8	8.2	18.0		1.6		3.02
線形代数学Ⅰ	(21組は学生番号末尾２桁が「４で除して余り１」)	基礎21,24組	金3	後藤　良彰	63	1.6	14.3	23.8	20.6	14.3	7.9	11.1	6.3				3.23
線形代数学Ⅰ	(21組は学生番号末尾２桁が「４で除して余り２」)	基礎21,23組	金3	石川　剛郎	61	4.9	19.7	21.3	11.5	18.0	6.6	13.1	1.6	3.3			3.25
線形代数学Ⅰ	(21組は学生番号末尾２桁が「４で除して余り３」)	基礎21,22組	金3	寺本　敬	59	11.9	15.3	22.0	10.2	8.5	5.1	8.5	15.3			3.4	3.16
線形代数学Ⅰ	(21組は学生番号末尾２桁が「４の倍数」)	基礎21,25組	金3	吉永　正彦	58	6.9	13.8	6.9	20.7	15.5	20.7	5.2	3.4	6.9			3.07
線形代数学Ⅰ	(28組は学生番号末尾２桁が「３で除して余り１」)	基礎28,30組	水3	松本　健司	62	6.5	8.1	19.4	11.3	19.4	17.7	9.7	4.8	3.2			3.10
線形代数学Ⅰ	(28組は学生番号末尾２桁が「３で除して余り２」)	基礎28,29組	水3	行木　孝夫	63	3.2	17.5	14.3	15.9	6.3	15.9	4.8	19.0		3.2		3.02
線形代数学Ⅰ	(28組は学生番号末尾２桁が「３の倍数」)	基礎28,31組	水3	秋田　利之	65	4.6	24.6	9.2	13.8	13.8	10.8	6.2	3.1	6.2	1.5	6.2	2.96
線形代数学Ⅰ	(32組は学生番号末尾奇数)	基礎32,33組	水3	石川　剛郎	62	4.8	24.2	12.9	11.3	21.0	11.3	8.1	6.5				3.27
線形代数学Ⅰ	(32組は学生番号末尾偶数)	基礎32,34組	水3	新井　朝雄	65	4.6	13.8	12.3	16.9	24.6	12.3	10.8	3.1	1.5			3.16
線形代数学Ⅰ	(35組は学生番号末尾２桁が「４で除して余り１」)	基礎35,38組	月2	有馬　研一郎	59	6.8	10.2	6.8	15.3	20.3	23.7	6.8	5.1		1.7	3.4	2.97
線形代数学Ⅰ	(35組は学生番号末尾２桁が「４で除して余り２」)	基礎35,37組	月2	久保　英夫	58	3.4	22.4	5.2	22.4	6.9	22.4	12.1	3.4			1.7	3.13
線形代数学Ⅰ	(35組は学生番号末尾２桁が「４で除して余り３」)	基礎35,36組	月2	小林　康明	58	6.9	24.1	10.3	5.2	13.8	6.9	10.3	6.9	3.4	8.6	3.4	2.89
線形代数学Ⅰ	(35組は学生番号末尾２桁が「４の倍数」)	基礎35,39組	月2	洞　彰人	56	3.6	14.3	19.6	23.2	19.6	12.5	3.6	3.6				3.30
線形代数学Ⅰ	(40組は学生番号末尾２桁が「４で除して余り１」)	基礎40,43組	月2	小室　直人	54	1.9	16.7	31.5	9.3	9.3	3.7	3.7	3.7	1.9	9.3	9.3	2.84
線形代数学Ⅰ	(40組は学生番号末尾２桁が「４で除して余り２」)	基礎40,42組	月2	秋田　利之	60	5.0	18.3	11.7	5.0	28.3	11.7	5.0	8.3	5.0		1.7	3.04
線形代数学Ⅰ	(40組は学生番号末尾２桁が「４で除して余り３」)	基礎40,41組	月2	正宗　淳	60	8.3	18.3		20.0	25.0		8.3	13.3	5.0		1.7	3.01
線形代数学Ⅰ	(40組は学生番号末尾２桁が「４の倍数」)	基礎40,44組	月2	泉屋　周一	63	6.3	9.5	12.7	11.1	20.6	19.0	9.5	4.8	6.3			3.00
線形代数学Ⅰ	(45組は学生番号末尾２桁が「４で除して余り１」)	基礎45,48組	月4	笠原　雪夫	63	1.6	9.5	20.6	11.1	20.6	15.9	14.3	3.2	1.6		1.6	3.03
線形代数学Ⅰ	(45組は学生番号末尾２桁が「４で除して余り２」)	基礎45,47組	月4	松本　健司	56	3.6	10.7	16.1	12.5	19.6	17.9	14.3	1.8	3.6			3.06
線形代数学Ⅰ	(45組は学生番号末尾２桁が「４で除して余り３」)	基礎45,46組	月4	大本　亨	59	5.1	20.3	13.6	15.3	30.5	1.7	1.7	5.1	3.4	1.7	1.7	3.18
線形代数学Ⅰ	(45組は学生番号末尾２桁が「４の倍数」)	基礎45,49組	月4	足立　二郎	60	5.0	15.0	11.7	18.3	18.3	13.3	8.3	6.7	1.7		1.7	3.10
線形代数学Ⅰ	(50組は学生番号末尾奇数)	基礎50,51組	月4	八ツ井　智章	69	4.3	7.2	18.8	23.2	26.1	13.0	1.4	4.3		1.4		3.20
線形代数学Ⅰ	(50組は学生番号末尾偶数)	基礎50,52組	月4	佐藤　剛	71	4.2	12.7	11.3	22.5	14.1	22.5	5.6	2.8			4.2	3.07
線形代数学Ⅰ	(この講義は英語で行われます)	基礎1-52組	火1	Michele Torielli	9			33.3	11.1	22.2						33.3	2.27
線形代数学Ⅰ		基礎26組	金3	澁川　陽一	46	4.3	8.7	10.9	19.6	17.4	15.2	13.0	8.7		2.2		3.00
線形代数学Ⅰ		基礎27組	金3	齋藤　睦	47	6.4	12.8	25.5	8.5	14.9	12.8	12.8	4.3	2.1			3.20
線形代数学Ⅱ			水5	山下　博	17		23.5	11.8	17.6	5.9	5.9	11.8	5.9		5.9	11.8	2.72
線形代数学Ⅱ		基礎54組	火5	Borislav Yordanov	8	37.5	62.5										4.11
微分積分学Ⅰ	(20組は学生番号末尾２桁が「４で除して余り１」)	基礎17,20組	月3	小林　保幸	62	4.8	12.9	14.5	17.7	25.8	11.3	4.8	4.8	3.2			3.17
微分積分学Ⅰ	(20組は学生番号末尾２桁が「４で除して余り２」)	基礎18,20組	月3	栄　伸一郎	65	4.6	16.9	13.8	15.4	16.9	7.7	12.3	9.2	1.5		1.5	3.09
微分積分学Ⅰ	(20組は学生番号末尾２桁が「４で除して余り３」)	基礎19,20組	月3	岩崎　克則	54	5.6	16.7	14.8	14.8	16.7	7.4	11.1	7.4	3.7	1.9		3.10

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度１学期　全学教育（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月12日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
微分積分学Ⅰ	(20組は学生番号末尾２桁が「４の倍数」)	基礎16,20組	月3	松本　圭司	62	3.2	22.6	16.1	14.5	14.5	6.5	6.5	6.5	9.7			3.10
微分積分学Ⅰ	(25組は学生番号末尾２桁が「４で除して余り１」)	基礎22,25組	月3	寺本　央	60	6.7	16.7	18.3	20.0	13.3	8.3	5.0	3.3	6.7	1.7		3.18
微分積分学Ⅰ	(25組は学生番号末尾２桁が「４で除して余り２」)	基礎23,25組	月3	寺西　功哲	61	4.9	16.4	6.6	18.0	13.1	13.1	18.0	6.6	1.6		1.6	3.01
微分積分学Ⅰ	(25組は学生番号末尾２桁が「４で除して余り３」)	基礎24,25組	月3	神保　秀一	56	3.6	17.9	7.1	14.3	17.9	12.5	14.3	8.9	3.6			3.02
微分積分学Ⅰ	(25組は学生番号末尾２桁が「４の倍数」)	基礎21,25組	月3	正宗　淳	57	3.5	8.8		12.3	28.1		12.3	24.6	8.8		1.8	2.61
微分積分学Ⅰ	(30組は学生番号末尾２桁が「４で除して余り１」)	基礎27,30組	月2	坂井　哲	60	5.0	10.0	13.3	23.3	18.3	11.7	5.0	3.3	1.7	8.3		3.00
微分積分学Ⅰ	(30組は学生番号末尾２桁が「４で除して余り２」)	基礎28,30組	月2	新井　朝雄	59	5.1	13.6	15.3	16.9	22.0	16.9		3.4	5.1	1.7		3.13
微分積分学Ⅰ	(30組は学生番号末尾２桁が「４で除して余り３」)	基礎29,30組	月2	石川　剛郎	56	7.1	28.6	12.5	12.5	7.1	5.4	10.7	16.1				3.25
微分積分学Ⅰ	(30組は学生番号末尾２桁が「４の倍数」)	基礎26,30組	月2	小林　保幸	59	3.4	10.2	20.3	15.3	18.6	11.9	5.1	6.8	8.5			3.03
微分積分学Ⅰ	(38組は学生番号末尾２桁が「３で除して余り１」)	基礎36,38組	水3	本多　俊一	59	3.4	5.1	15.3	11.9	15.3	16.9	11.9	11.9	5.1	1.7	1.7	2.79
微分積分学Ⅰ	(38組は学生番号末尾２桁が「３で除して余り２」)	基礎37,38組	水3	松本　圭司	60	1.7	20.0	11.7	15.0	13.3	18.3	3.3	10.0	5.0		1.7	3.02
微分積分学Ⅰ	(38組は学生番号末尾２桁が「３の倍数」)	基礎35,38組	水3	浅原　啓輔	64	3.1	14.1	10.9	12.5	15.6	9.4	14.1	4.7	9.4	1.6	4.7	2.76
微分積分学Ⅰ	(43組は学生番号末尾２桁が「４で除して余り１」)	基礎40,43組	金4	加藤　正和	56	5.4	30.4	10.7	19.6	8.9	7.1	10.7	3.6		1.8	1.8	3.28
微分積分学Ⅰ	(43組は学生番号末尾２桁が「４で除して余り２」)	基礎41,43組	金4	浅原　啓輔	56	3.6	16.1	17.9	17.9	16.1	10.7	3.6	3.6	7.1	1.8	1.8	3.06
微分積分学Ⅰ	(43組は学生番号末尾２桁が「４で除して余り３」)	基礎42,43組	金4	陳　蘊剛	55	5.5	12.7	14.5	9.1	23.6	10.9	12.7	5.5	3.6		1.8	3.02
微分積分学Ⅰ	(43組は学生番号末尾２桁が「４の倍数」)	基礎39,43組	金4	洞　彰人	55	3.6	3.6	38.2	16.4	16.4	5.5	12.7	3.6				3.26
微分積分学Ⅰ	(46組は学生番号末尾奇数)	基礎45,46組	金4	寺西　功哲	61	4.9	13.1	11.5	9.8	21.3	26.2	3.3	6.6	3.3			3.07
微分積分学Ⅰ	(46組は学生番号末尾偶数)	基礎44,46組	金4	坂井　哲	72	4.2	12.5	11.1	26.4	19.4	8.3	2.8	2.8	6.9	5.6		3.00
微分積分学Ⅰ	(49組は学生番号末尾奇数)	基礎48,49組	金4	田邊　顕一朗	73	4.1	9.6	24.7	20.5	9.6	2.7	9.6	2.7	16.4			2.95
微分積分学Ⅰ	(49組は学生番号末尾偶数)	基礎47,49組	金4	宮尾　忠宏	65	4.6	6.2	3.1	18.5	12.3	29.2	7.7	10.8	3.1		4.6	2.75
微分積分学Ⅰ	(52組は学生番号末尾奇数)	基礎51,52組	木2	神保　秀一	69	5.8	11.6	10.1	15.9	15.9	13.0	11.6	8.7	7.2			2.96
微分積分学Ⅰ	(52組は学生番号末尾偶数)	基礎50,52組	木2	神田　雄高	68	2.9	14.7	2.9	26.5	22.1	16.2	2.9	5.9		1.5	4.4	2.99
微分積分学Ⅰ	(この講義は英語で行われます)	基礎1-52組	木1	Roumyana Kirova Yord	6	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7						3.50
微分積分学Ⅰ		基礎34組	月2	栄　伸一郎	48	4.2	16.7	14.6	14.6	16.7	14.6	6.3	6.3			6.3	3.03
微分積分学Ⅰ		基礎33組	月2	寺本　央	43	7.0	16.3	20.9	16.3	11.6	4.7	9.3	4.7	4.7	4.7		3.12
微分積分学Ⅰ		基礎32組	月2	小林　政晴	46	4.3	17.4	17.4	17.4	13.0	13.0	6.5	4.3		2.2	4.3	3.10
微分積分学Ⅰ		基礎31組	月2	山内　和幸	50	4.0	8.0	4.0	16.0	12.0	22.0	10.0	16.0			8.0	2.67
微分積分学Ⅱ			火5	古畑　仁	13	7.7	15.4	15.4	15.4	7.7	7.7	7.7	7.7	15.4			2.95
数学概論	級数入門	基礎16-52組	水5	秦泉寺　雅夫	8	25.0	12.5	12.5	12.5		25.0			12.5			3.25
数学概論	微分方程式入門	基礎16-52組	木1	岩崎　克則	4	25.0	25.0	25.0						25.0			3.25
入門線形代数学	(学生番号末尾２桁が「３で除して余り１」)	基礎1-53組	月5	小林　真平	48	4.2	20.8	12.5	18.8	22.9	8.3	10.4				2.1	3.25
入門線形代数学	(学生番号末尾２桁が「３で除して余り２」)	基礎1-53組	月5	山下　博	42		11.9	9.5	16.7	23.8	7.1	14.3	4.8	9.5	2.4		2.82
入門線形代数学	(学生番号末尾２桁が「３の倍数」)	基礎1-53組	月5	久保　英夫	56		16.1	7.1	19.6	7.1	26.8	17.9	1.8	1.8	1.8		2.97
入門微分積分学	(学生番号末尾２桁が「３で除して余り１」)	基礎1-53組	木1	神保　秀一	64	1.6	9.4	15.6	15.6	15.6	18.8	9.4	9.4	4.7			2.96
入門微分積分学	(学生番号末尾２桁が「３で除して余り２」)	基礎1-53組	木1	本多　尚文	67	3.0	35.8			35.8			16.4			9.0	2.96

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度１学期　全学教育（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月12日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
入門微分積分学	(学生番号末尾２桁が「３の倍数」)	基礎1-53組	木1	秦泉寺　雅夫	68	2.9	10.3	11.8	13.2	22.1	14.7	8.8	2.9	5.9	7.4		2.84
物理学Ⅰ	(25組は学生番号末尾奇数)	基礎24,25組	水2	中山　隆一	75	5.3	16.0	16.0	14.7	24.0	10.7	5.3	2.7	4.0	1.3		3.18
物理学Ⅰ	(25組は学生番号末尾偶数)	基礎25,26組	水2	泉　典洋	71	7.0	5.6	14.1	22.5	16.9	15.5	7.0	5.6	2.8	1.4	1.4	3.03
物理学Ⅰ	(34組は学生番号末尾奇数)	基礎34,36組	金2	白井　和貴	71	5.6	15.5	18.3	18.3	23.9	11.3	5.6	1.4				3.32
物理学Ⅰ	(34組は学生番号末尾偶数)	基礎34,37組	金2	松井　利仁	71	4.2	11.3	15.5	16.9	19.7	12.7	9.9	2.8	4.2	2.8		3.04
物理学Ⅰ	(40組は学生番号末尾奇数)	基礎38,40組	金2	松田　理	70	4.3	10.0	10.0	17.1	22.9	8.6	1.4	21.4	1.4		2.9	2.91
物理学Ⅰ	(40組は学生番号末尾偶数)	基礎39,40組	金2	合川　正幸	73	5.5	13.7	12.3	15.1	17.8	15.1	13.7	4.1	1.4		1.4	3.09
物理学Ⅰ	(41組は学生番号末尾奇数)	基礎27,41組	水2	野々山　貴行	74	9.5	14.9	35.1	13.5	8.1	9.5	4.1	4.1			1.4	3.42
物理学Ⅰ	(41組は学生番号末尾偶数)	基礎41,49組	水2	辻見　裕史	73	4.1	15.1	20.5	13.7	19.2	11.0	6.8	8.2			1.4	3.18
物理学Ⅰ	(45組は学生番号末尾奇数)	基礎43,45組	火4	山本　徹	75	4.0	12.0	20.0	17.3	14.7	12.0	9.3	6.7		4.0		3.10
物理学Ⅰ	(45組は学生番号末尾偶数)	基礎44,45組	火4	三寺　史夫	70	1.4	4.3	11.4	27.1	20.0	12.9	11.4	8.6		1.4	1.4	2.94
物理学Ⅰ	(48組は学生番号末尾奇数)	基礎46,48組	火4	雲林院　宏	71	4.2	9.9	7.0	23.9	14.1	16.9	8.5	2.8	9.9	2.8		2.87
物理学Ⅰ	(48組は学生番号末尾偶数)	基礎47,48組	火4	奥田　浩司	71	11.3	11.3	18.3	19.7	15.5	16.9	4.2	2.8				3.34
物理学Ⅰ	(51組は学生番号末尾奇数)	基礎50,51組	水2	武貞　正樹	72	5.6	11.1	15.3	16.7	23.6	20.8	4.2		1.4		1.4	3.18
物理学Ⅰ	(51組は学生番号末尾偶数)	基礎51,52組	水2	速水　賢	73	5.5	15.1	15.1	15.1	16.4	16.4	5.5	4.1	1.4		5.5	3.05
物理学Ⅰ	(この講義は英語で行われます)	基礎1-53組	月5	朴　銀鏡	7	28.6	42.9		14.3	14.3							3.84
物理学Ⅰ		基礎32,33組	金2	久保川　厚	95	3.2	16.8	22.1	7.4	17.9	14.7	7.4	7.4	2.1		1.1	3.14
物理学Ⅰ		基礎1-10,16,17,53組	水2	堀田　健司	99	3.0	22.2	25.3	11.1	14.1	9.1	4.0	7.1	3.0		1.0	3.25
物理学Ⅰ		基礎18,19組	水2	石井　一暢	102	5.9	5.9	11.8	22.5	23.5	14.7	10.8	1.0	1.0	2.0	1.0	3.06
物理学Ⅰ		基礎20,21組	水2	根本　幸児	100	2.0	18.0	8.0	15.0	22.0	13.0	10.0	9.0			3.0	3.02
物理学Ⅰ		基礎30,31組	金2	木村　真明	102	7.8	12.7		8.8	29.4	8.8	19.6	6.9			5.9	2.85
物理学Ⅰ		基礎11-15,28,29組	金2	野嵜　龍介	112	5.4	13.4	14.3	22.3	23.2	8.0	6.3	2.7	3.6	0.9		3.18
物理学Ⅰ		基礎35,42組	火4	徂徠　和夫	94	3.2	8.5	12.8	19.1	20.2	17.0	12.8	5.3		1.1		3.06
物理学Ⅰ		基礎22,23組	水2	小林　一道	99	3.0	13.1	12.1	18.2	14.1	9.1	8.1	7.1	4.0	11.1		2.82
物理学Ⅱ	(１年２学期再履修)	基礎1-53組	金5	堀内　渉	26		3.8	7.7	7.7	15.4	3.8	3.8	7.7	11.5	11.5	26.9	1.70
化学Ⅰ	(20組は学生番号末尾２桁が「４で除して余り１」)	基礎6-10,17,20,53組	水1	鱒渕　友治	65	4.6	15.4	12.3	16.9	15.4	15.4	6.2	12.3			1.5	3.09
化学Ⅰ	(20組は学生番号末尾２桁が「４で除して余り２」)	基礎11-15,18,20,53組	水1	丸田　悟朗	76	5.3	7.9	18.4	2.6	25.0	23.7	3.9	7.9	2.6		2.6	2.98
化学Ⅰ	(20組は学生番号末尾２桁が「４で除して余り３」)	基礎19,20組	水1	川口　俊一	64	4.7	9.4	15.6	21.9	18.8	14.1	9.4	4.7			1.6	3.13
化学Ⅰ	(20組は学生番号末尾２桁が「４の倍数」)	基礎1-5,16,20,53組	水1	島田　敏宏	62	8.1	12.9	22.6	14.5	21.0	11.3	6.5	3.2				3.32
化学Ⅰ	(23組は学生番号末尾奇数)	基礎21,23組	水1	竹内 浩	73	4.1	6.8	8.2	16.4	27.4	12.3	8.2	9.6		4.1	2.7	2.86
化学Ⅰ	(23組は学生番号末尾偶数)	基礎22,23組	水1	三浦　篤志	74	5.4	16.2	17.6	14.9	10.8	14.9	6.8	12.2			1.4	3.15
化学Ⅰ	(27組は学生番号末尾２桁が「３で除して余り１」)	基礎25,27組	水1	小林　厚志	66	6.1	13.6	15.2	15.2	15.2	15.2	12.1	6.1			1.5	3.13
化学Ⅰ	(27組は学生番号末尾２桁が「３で除して余り２」)	基礎26,27組	水1	原田　潤	66	4.5	9.1	12.1	16.7	22.7	16.7	9.1	6.1	3.0			3.05
化学Ⅰ	(27組は学生番号末尾２桁が「３の倍数」)	基礎24,27組	水1	中島　祐	66	7.6	6.1	16.7	15.2	19.7	16.7	7.6	10.6				3.11
化学Ⅰ	(32組は学生番号末尾２桁が「４で除して余り１」)	基礎29,32組	金4	野呂　真一郎	56	1.8	10.7	16.1	30.4	12.5	12.5	12.5	3.6				3.17

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度１学期　全学教育（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月12日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
化学Ⅰ	(32組は学生番号末尾２桁が「４で除して余り２」)	基礎30,32組	金4	加藤　優	62	4.8	14.5	17.7	17.7	17.7	16.1	3.2	6.5			1.6	3.20
化学Ⅰ	(32組は学生番号末尾２桁が「４で除して余り３」)	基礎31,32組	金4	神谷　裕一	63	3.2	12.7	15.9	23.8	15.9	7.9	11.1	6.3			3.2	3.09
化学Ⅰ	(32組は学生番号末尾２桁が「４の倍数」)	基礎28,32組	金4	豊田　和弘	57	5.3	24.6	14.0	7.0	8.8	15.8	17.5	5.3	1.8			3.18
化学Ⅰ	(35組は学生番号末尾奇数)	基礎33,35組	金4	廣川　淳	71	1.4	12.7	14.1	19.7	21.1	15.5	9.9	2.8			2.8	3.07
化学Ⅰ	(35組は学生番号末尾偶数)	基礎34,35組	金4	角五　彰	69	7.2	8.7	13.0	15.9	21.7	13.0	5.8	8.7	2.9		2.9	3.01
化学Ⅰ	(39組は学生番号末尾２桁が「３で除して余り１」)	基礎37,39組	火4	伊丹　俊夫	62	8.1	11.3	16.1	24.2	16.1	12.9	9.7				1.6	3.25
化学Ⅰ	(39組は学生番号末尾２桁が「３で除して余り２」)	基礎38,39組	火4	青沼　仁志	62	3.2	17.7	21.0	21.0	16.1	8.1	6.5	4.8			1.6	3.26
化学Ⅰ	(39組は学生番号末尾２桁が「３の倍数」)	基礎36,39組	火4	高倉　栄男	64	9.4	10.9	14.1	26.6	9.4	10.9	9.4	7.8			1.6	3.19
化学Ⅰ	(44組は学生番号末尾２桁が「４で除して余り１」)	基礎41,44組	水4	加美山　隆	60	3.3	11.7	16.7	18.3	15.0	16.7	11.7	3.3		3.3		3.09
化学Ⅰ	(44組は学生番号末尾２桁が「４で除して余り２」)	基礎42,44組	水4	樋口　幹雄	61	4.9	13.1	9.8	13.1	16.4	19.7	9.8	9.8			3.3	2.98
化学Ⅰ	(44組は学生番号末尾２桁が「４で除して余り３」)	基礎43,44組	水4	伏見　公志	60	5.0	10.0	11.7	18.3	23.3	10.0	13.3	5.0	1.7	1.7		3.06
化学Ⅰ	(44組は学生番号末尾２桁が「４の倍数」)	基礎40,44組	水4	惠良田　知樹	60	10.0	20.0	13.3	10.0	15.0	5.0	11.7	15.0				3.21
化学Ⅰ	(49組は学生番号末尾２桁が「４で除して余り１」)	基礎46,49組	金3	豊田　和弘	60	1.7	10.0	10.0	18.3	13.3	16.7	10.0	8.3	6.7	1.7	3.3	2.77
化学Ⅰ	(49組は学生番号末尾２桁が「４で除して余り２」)	基礎47,49組	金3	小林　正人	56	3.6	8.9	14.3	16.1	19.6	16.1	8.9	5.4	3.6	3.6		2.97
化学Ⅰ	(49組は学生番号末尾２桁が「４で除して余り３」)	基礎48,49組	金3	七分　勇勝	66	4.5	15.2	13.6	25.8	12.1	18.2	3.0	7.6				3.23
化学Ⅰ	(49組は学生番号末尾２桁が「４の倍数」)	基礎45,49組	金3	八木　一三	61	4.9	13.1	14.8	13.1	18.0	21.3	8.2	1.6	1.6		3.3	3.07
化学Ⅰ	(52組は学生番号末尾奇数)	基礎50,52組	水4	朝倉　清高	69	2.9	7.2	15.9	11.6	15.9	20.3	13.0	8.7		2.9	1.4	2.91
化学Ⅰ	(52組は学生番号末尾偶数)	基礎51,52組	水4	竹内 浩	75	2.7	8.0	9.3	18.7	14.7	16.0	14.7	9.3		1.3	5.3	2.80
化学Ⅱ	(１年２学期再履修)	基礎1-53組	火1	髙橋　正行	17	11.8		11.8	11.8	23.5	17.6	5.9	5.9			11.8	2.76
生物学Ⅰ	(30組は学生番号末尾奇数)	基礎28,30組	金3	千葉　由佳子	73	4.1	11.0	9.6	20.5	20.5	17.8	12.3	4.1				3.11
生物学Ⅰ	(30組は学生番号末尾偶数)	基礎29,30組	金3	綿引　雅昭	72	6.9	8.3	9.7	23.6	23.6	12.5	5.6	6.9	1.4	1.4		3.11
生物学Ⅰ	(この講義は英語で行われます)	基礎1-53組	火3	Maria Helena Fortuna	5	20.0	20.0		20.0	20.0		20.0					3.38
生物学Ⅰ		基礎24,25組	火2	田島　健次	97	5.2	9.3	11.3	12.4	11.3	17.5	11.3	20.6			1.0	2.91
生物学Ⅰ		基礎1-5,26,27,53組	月3	有賀　早苗	101	7.9	7.9	25.7	8.9	21.8	5.9	5.9	13.9	2.0			3.15
生物学Ⅰ		基礎31,32組	金3	山下　正兼	102	4.9	10.8	15.7	14.7	21.6	18.6	4.9	4.9		2.9	1.0	3.09
生物学Ⅰ		基礎33,34組	金3	髙田　泰弘	95	5.3	9.5	11.6	20.0	23.2	15.8	10.5	3.2	1.1			3.13
生物学Ⅰ		基礎35,36組	月4	有賀　早苗	98	8.2	5.1	18.4	11.2	23.5	6.1	4.1	15.3	7.1		1.0	2.95
生物学Ⅰ		基礎37,38組	月4	北田　一博	91	5.5	8.8	13.2	14.3	19.8	20.9	9.9	4.4			3.3	3.02
生物学Ⅰ		基礎39,40組	月4	加藤　敦之	88	4.5	5.7	12.5	27.3	18.2	17.0	9.1	3.4	2.3			3.09
生物学Ⅰ		基礎41,42組	月4	藤田　知道	93	5.4	7.5	16.1	15.1	23.7	19.4	6.5	4.3		1.1	1.1	3.10
生物学Ⅰ		基礎43,44組	月4	木村　敦	99	5.1	9.1	14.1	17.2	18.2	23.2	6.1	5.1	1.0	1.0		3.10
生物学Ⅰ		基礎6-9,45,46,53組	月3	小川　宏人	93	5.4	10.8	12.9	17.2	24.7	12.9	11.8	4.3				3.15
生物学Ⅰ		基礎10-15,47,48,53組	月3	黒岩　麻里	109	6.4	7.3	11.9	19.3	25.7	13.8	9.2	3.7	1.8	0.9		3.10
生物学Ⅰ		基礎49,50組	火4	山崎　健一	99	4.0	13.1	25.3	24.2	12.1	10.1	7.1				4.0	3.23
生物学Ⅰ		基礎51,52組	火4	有賀　早苗	98	8.2	6.1	18.4	14.3	24.5	7.1	5.1	12.2	1.0	1.0	2.0	3.05

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度１学期　全学教育（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月12日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
生物学Ⅰ		基礎22,23組	火2	北村　秀光	99	5.1	9.1	14.1	18.2	18.2	18.2	13.1	2.0			2.0	3.08
生物学Ⅰ		基礎20,21組	火2	水波　誠	94	5.3	11.7	14.9	14.9	23.4	13.8	7.4	4.3	2.1	2.1		3.11
生物学Ⅰ		基礎16,17組	火2	遠藤　俊徳	94	5.3	28.7	19.1	18.1	9.6	4.3	4.3	2.1	4.3	4.3		3.30
生物学Ⅰ		基礎18,19組	火2	三輪　京子	93	4.3	10.8	18.3	15.1	19.4	12.9	10.8	7.5			1.1	3.12
生物学Ⅱ	（１年２学期再履修）	基礎1-53組	月5	荻原　克益	13					15.4	30.8	7.7	15.4	15.4	7.7	7.7	1.98
地球惑星科学Ⅰ		基礎1-20,53組	木2	大園　真子	84	2.4	6.0	17.9	31.0	11.9	15.5	4.8	2.4	4.8	3.6		3.03
地球惑星科学Ⅰ		基礎21-27組	木2	栗谷　豪	108	5.6	9.3	13.0	14.8	20.4	19.4	6.5	3.7	4.6		2.8	2.98
地球惑星科学Ⅰ		基礎46-52組	火2	蓬田　清	142	4.9	18.3	16.2	26.1	15.5	7.7	5.6		5.6			3.26
地球惑星科学Ⅰ		基礎34-39組	火2	亀田　純	107	7.5	10.3	14.0	19.6	22.4	7.5	4.7	7.5	0.9		5.6	3.04
地球惑星科学Ⅰ		基礎40-45組	火2	永井　隆哉	117	3.4	10.3	12.8	18.8	17.1	16.2	10.3	5.1	2.6		3.4	2.97
地球惑星科学Ⅰ		基礎28-33組	火2	村井　芳夫	100	5.0	10.0	15.0	15.0	22.0	19.0	4.0	5.0	1.0	3.0	1.0	3.06
日本語Ⅰ		基礎1-52組	火1,木1	小森　千佳江	12		16.7	16.7	8.3	8.3	16.7	16.7	8.3		8.3		2.87
日本語Ⅲ		基礎1-52組	月1,水1	鄭　惠先	2					100.0							3.00
日本語Ⅳ		基礎1-52組	月5,金5	小林　由子	1		100.0										4.00
日本事情		基礎1-53組	火2	髙橋　彩	6	16.7	50.0	33.3									3.95
初級日本語Ⅲ		基礎54組	水5,金5	屋方　淳子	5	80.0	20.0										4.24
中級日本語ⅠA	やりとり	基礎53組	火4,木4	今泉　智子	2			50.0						50.0			2.35
中級日本語ⅠA	やりとり	基礎53組	月1,水1	山本　さやか	2					50.0			50.0				2.50
中級日本語ⅠA	表現	基礎53組	火3,木3	浅井　美佐	2					50.0					50.0		1.85
中級日本語ⅠA	表現	基礎53組	月2,水2	藤原　安佐	2							50.0			50.0		1.50
中級日本語ⅠA	理解	基礎53組	月3,水3	藤原　安佐	2							50.0		50.0			1.65
中級日本語ⅠA	理解	基礎53組	火2,木2	二村　年哉	2					50.0					50.0		1.85
中級日本語ⅠB	やりとり	基礎53組	金4	小森　千佳江	4		50.0						50.0				3.00
中級日本語ⅠB	表現	基礎53組	金3	佐藤　梓	4		25.0	50.0						25.0			3.10
中級日本語ⅠB	理解	基礎53組	金2	延与　由美子	4	25.0	25.0			25.0		25.0					3.40
中級日本語ⅡA	やりとり	基礎53組	火4,木4	阿部　仁美	4				50.0	50.0							3.15
中級日本語ⅡA	やりとり	基礎53組	月1,水1	小森　千佳江	8				50.0	12.5		25.0				12.5	2.60
中級日本語ⅡA	表現	基礎53組	火3,木3	水谷　圭子	6			16.7		33.3	16.7	16.7	16.7				2.78
中級日本語ⅡA	表現	基礎53組	月2,水2	富田　麻知子	8						37.5	25.0		12.5	25.0		1.89
中級日本語ⅡA	理解	基礎53組	火2,木2	平塚　真理	7		14.3	28.6	14.3		14.3		14.3			14.3	2.77
中級日本語ⅡA	理解	基礎53組	月3,水3	梅田　悦雄	5		40.0	20.0	20.0		20.0						3.54
中級日本語ⅡB	やりとり	基礎53組	金4	今泉　智子	8	12.5	25.0	12.5	25.0	25.0							3.58
中級日本語ⅡB	表現	基礎53組	金3	水谷　圭子	8		12.5		37.5		25.0	12.5	12.5				2.95
中級日本語ⅡB	理解	基礎53組	金2	山本　さやか	8	12.5	25.0	12.5	12.5	12.5	12.5		12.5				3.38
中級日本語ⅢA	やりとり	基礎53組	月1,水1	佐藤　梓	7			14.3	42.9	14.3		28.6					3.03

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度１学期　全学教育（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月12日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
中級日本語ⅢA	やりとり	基礎53組	火4,木4	桑澤　ゆま	5		40.0	20.0		40.0							3.54
中級日本語ⅢA	表現	基礎53組	月2,水2	佐藤　梓	6				50.0			16.7		33.3			2.37
中級日本語ⅢA	表現	基礎53組	火3,木3	市川　明美	4				50.0		25.0			25.0			2.58
中級日本語ⅢA	理解	基礎53組	火2,木2	佐藤　章	7	14.3	42.9		28.6	14.3							3.70
中級日本語ⅢA	理解	基礎53組	月3,水3	平田　未季	5			40.0	20.0	20.0		20.0					3.20
中級日本語ⅢB	やりとり	基礎53組	金4	水谷　圭子	4		25.0	50.0	25.0								3.68
中級日本語ⅢB	表現	基礎53組	金3	山本　さやか	4			50.0	25.0		25.0						3.35
中級日本語ⅢB	理解	基礎53組	金2	佐藤　章	4	25.0	75.0										4.08
上級日本語A	やりとり（ロールプレイ）	基礎53組	月1,水1	阿部　仁美	1			100.0									3.70
上級日本語A	表現（バイオグラフィを作成する）	基礎53組	火3,木3	式部　絢子	2	50.0				50.0							3.65
上級日本語A	理解（クリティカル・リーディング）	基礎53組	火2,木2	式部　絢子	1		100.0										4.00
上級日本語B	やりとり（インタビュー・プロジェクト）	基礎53組	金4	延与　由美子	1			100.0									3.70
上級日本語B	表現（プレゼンテーション）	基礎53組	金3	梅田　悦雄	1				100.0								3.30
上級日本語B	表現（プロジェクト・ワーク）	基礎53組	水2	延与　由美子	1		100.0										4.00
上級日本語B	理解（講義を聴く）	基礎53組	水3	今泉　智子	1		100.0										4.00
上級日本語B	理解（日本社会探究）	基礎53組	金2	二村　年哉	3	33.3		33.3		33.3							3.67
実践日本語Ⅰ	日本語で思考する	基礎53組	水2	髙橋　彩	3	33.3	66.7										4.10
実践日本語Ⅰ	日本語の歴史	基礎53組	水5	伊藤　孝行	15		100.0										4.00
実践日本語Ⅱ	経済用語入門（基礎）	基礎53組	木5	伊藤　祥子	5	100.0											4.30
実践日本語Ⅱ	社会・時事問題	基礎53組	月4	佐々田　博教	8		25.0	25.0	12.5	12.5	12.5		12.5				3.30
実践日本語Ⅱ	風刺画から見た日本近代史	基礎53組	水4	シルツ　ミヒャエル	9	33.3	66.7										4.10
発展アカデミック日本語	アカデミックライティング	基礎53組	月4	伊藤　孝行	9	66.7	11.1	22.2									4.13
発展ビジネス日本語	企業研究1	基礎53組	月5	伊藤　孝行	5		100.0										4.00
英語再履修		基礎1-52組	月5	大友　瑠璃子	14			7.1	7.1	14.3	7.1	14.3	14.3	7.1	28.6		2.01
英語再履修		基礎1-52組	火1	及川　陽子	16			6.3	25.0	25.0	18.8	12.5				12.5	2.60
英語再履修		基礎1-52組	火3	土永　孝	26	7.7	7.7	3.8	11.5	11.5	11.5	7.7	23.1			15.4	2.46
英語再履修		基礎1-52組	木5	大友　瑠璃子	32			3.1	15.6	9.4	18.8	15.6	12.5	3.1	21.9		2.21
英語再履修		基礎1-52組	水1	河合　靖	10				40.0	10.0	20.0					30.0	2.16
英語再履修		基礎1-52組	水2	大野　公裕	17	11.8	5.9	11.8	23.5	11.8	17.6					17.6	2.78
英語再履修		基礎1-52組	木1	及川　陽子	9			22.2	33.3	11.1	22.2					11.1	2.86
英語再履修		基礎1-52組	火5	田代　亜紀子	18				5.6	11.1	22.2	11.1	16.7			33.3	1.71

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度２学期　全学教育（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月12日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
思索と言語	ことばを科学する：人間の再発見	基礎1-53組	木1	奥　聡	142	13.4	2.1	16.2	9.9	12.0	19.7	3.5	9.2	2.1	2.1	9.9	2.78
思索と言語	アイヌ語を通して文化を学ぶ(2)	基礎1-53組	月5	北原　次郎太	295	12.2	18.3	12.9	12.2	10.5	10.2	8.8	4.7	2.0	8.1		3.10
思索と言語	言語と論理の哲学―入門	基礎1-53組	月5	野村　恭史	328	3.7	12.8	18.3	10.1	22.3	17.4	4.0	4.6		0.3	6.7	3.00
思索と言語	大学生のための聖書入門	基礎1-53組	火1	佐々木　啓	233	11.6	15.0	16.3	19.3	14.6	6.0	0.4	2.6			14.2	3.00
思索と言語(論文指導)	知能と機械	基礎1-15,53組	木3	佐野　勝彦	4		75.0		25.0								3.83
思索と言語(論文指導)	南東欧の言語と文化	基礎1-15,53組	木3	菅井　健太	7		57.1	28.6	14.3								3.81
思索と言語(論文指導)	仏教入門	基礎1-15,53組	木3	林寺　正俊	20	5.0	20.0	30.0	25.0	15.0			5.0				3.50
歴史の視座	Science and Technology in History	基礎16-52,54組	水1	瀬戸　治	119	10.1	12.6	15.1	16.0	10.1	6.7	6.7	7.6	7.6	7.6		2.94
歴史の視座	イギリス現代史	基礎1-15,53組	木3	長谷川　貴彦	77	3.9	18.2	14.3	13.0	9.1	3.9	10.4	13.0	1.3	5.2	7.8	2.78
歴史の視座	古代ローマと奴隷制	基礎1-53組	月5	砂田　徹	133	6.0	12.8	10.5	16.5	9.0	8.3	8.3	12.0	2.3	14.3		2.75
歴史の視座	考古学とはどんな学問か	基礎1-15,53組	木3	高瀬　克範	78	3.8	23.1	24.4	25.6	11.5	1.3			2.6	7.7		3.30
歴史の視座	日本との関係からみる韓国文化	基礎1-15,53組	木3	權　錫永	21	9.5	14.3	4.8	33.3	9.5	14.3		9.5			4.8	3.12
歴史の視座	日本におけるエスニックビジネスの発展	基礎1-53組	木1	韓　載香	157	26.8	16.6	5.7	15.3	10.2	6.4	5.7	3.2	0.6	9.6		3.28
歴史の視座	日本古代史研究の素材と方法	基礎1-15,53組	木3	小倉　真紀子	27		3.7	14.8	22.2	18.5	25.9	7.4	3.7			3.7	2.93
歴史の視座	北海道の歴史と文化	基礎1-53組	火1	谷本　晃久	223	4.5	8.5	13.9	13.9	21.1	18.4	10.8	1.3	0.4		7.2	2.91
歴史の視座(論文指導)	政党と北海道Ⅱ	基礎1-15,53組	金1	井上　敬介	24		8.3	25.0	20.8	25.0	12.5	4.2				4.2	3.13
歴史の視座(論文指導)	北海道大学の歴史	基礎1-53組	月5	近藤　健一郎	30	6.7	10.0	13.3	16.7	23.3	3.3	3.3	23.3				3.06
芸術と文学	Jコミック研究	基礎1-15,53組	木3	阿部　嘉昭	48	2.1	22.9	31.3	25.0	10.4	2.1					6.3	3.36
芸術と文学	シェイクスピアへの誘い	基礎1-15,53組	金1	宮下　弥生	292	17.8	16.1	15.8	13.7	10.3	8.2	3.4	3.8	1.7	9.2		3.21
芸術と文学	ドイツ語圏の文化史：映画、音楽劇、流行歌	基礎1-53組	月5	小川　佐和子	140	3.6	10.0	9.3	19.3	13.6	10.7	10.7	14.3	8.6			2.85
芸術と文学	ロシアと幻想	基礎1-15,53組	木3	大西　郁夫	24		4.2	20.8	20.8	37.5	8.3					8.3	2.98
芸術と文学	近現代美術の諸相	基礎1-53組	月5	浅沼　敬子	87	8.0	9.2	20.7	12.6	21.8	11.5	10.3	1.1		4.6		3.16
芸術と文学	札響と音楽文化	基礎1-53組	木5	三浦　洋	40	2.5	2.5	15.0	17.5	17.5	27.5	7.5	10.0				2.98
芸術と文学	宗教的視点より見る「音楽」～東西の宗教音楽の共通点と相違点を探る～	基礎1-53組	木1	出雲路　英淳	80	1.3	6.3	13.8	25.0	21.3	17.5	3.8				11.3	2.83
芸術と文学	中国奇譚漫遊	基礎1-53組	月5	武田　雅哉	277	3.6	34.7	28.5	22.7	0.7	0.4	1.8	1.4		5.4	0.7	3.49
芸術と文学(論文指導)	日本ミステリを読むⅡ	基礎1-53組	月5	井上　貴翔	33	3.0	6.1	9.1	9.1	18.2	12.1	18.2	15.2	3.0	3.0	3.0	2.65
芸術と文学(論文指導)	日本中世文学を考える	基礎1-15,53組	木3	野本　東生	1	100.0											4.30
芸術と文学(論文指導)	魯迅を読みながら考えて書く	基礎1-53組	木1	清水　賢一郎	14	35.7	35.7	7.1	21.4								3.94
社会の認識	こころの進化	基礎1-53組	火1	瀧本　彩加	411	5.8	3.9	9.5	13.4	16.1	15.3	9.7	15.1		3.2	8.0	2.64
社会の認識	マーケティング入門	基礎1-53組	火1	坂川　裕司	17	35.3		17.6	5.9	5.9	11.8	11.8	5.9		5.9		3.29
社会の認識	マイクロ・マクロ社会心理学入門	基礎1-53組	火1	髙橋　伸幸	52	5.8	15.4	9.6	5.8	19.2	11.5	5.8	13.5	1.9	3.8	7.7	2.75
社会の認識	巨大IT企業と情報に関する法政策	基礎1-15,53組	木3	中川　晶比兒	7		14.3	14.3		14.3		28.6			14.3	14.3	2.29
社会の認識	経済学とゲーム理論	基礎1-53組	木1	町野　和夫	83	8.4	12.0	15.7	15.7	4.8	6.0	7.2	4.8	1.2	13.3	10.8	2.62
社会の認識	経済史入門	基礎1-53組	火1	高井　哲彦	24	20.8	45.8	12.5	20.8								3.88
社会の認識	現代社会と宗教文化	基礎1-53組	月5	岡本　亮輔	126	3.2	3.2	13.5	28.6	22.2	18.3	4.8	3.2			3.2	3.04

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度２学期　全学教育（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月12日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
社会の認識	後期中等教育の再考ーいじめ問題を中心に	基礎1-15,53組	金1	間宮　正幸	20	20.0	20.0	20.0	15.0	20.0						5.0	3.50
社会の認識	社会的包摂と居場所づくり	基礎1-53組	月5	木村　純	44		15.9	40.9	4.5	31.8	2.3					4.5	3.32
社会の認識	初学者のための法律学入門－法曹への誘いー	基礎1-53組	火1	小名木　明宏	67	4.5	4.5	6.0	3.0	10.4	16.4	11.9	25.4	9.0	1.5	7.5	2.33
社会の認識	職場を巡る法～人々の意識、仕組みと法制度～	基礎1-53組	火1	城戸　亮	4	25.0	25.0		50.0								3.73
社会の認識	人文・社会科学のための統計的方法論	基礎1-53組	木1	中島　晃	8		50.0	25.0								25.0	2.93
社会の認識	水俣病を通して学ぶ環境社会学	基礎1-53組	月5	笹岡　正俊	25		36.0	8.0	12.0	8.0	20.0	4.0			12.0		3.09
社会の認識	大学生と学習意欲	基礎1-53組	火1	山本　堅一	98	30.6	19.4	12.2	6.1	6.1	4.1	4.1	4.1	1.0	12.2		3.31
社会の認識	都市地理学入門Ⅱ	基礎1-53組	木1	橋本　雄一	183	5.5	13.1	14.8	18.6	15.3	10.4	13.1	2.7			6.6	3.01
社会の認識	日本の労働	基礎1-15,53組	木3	上原　慎一	2			50.0	50.0								3.50
社会の認識	日本国憲法	基礎16-52組	水1	常本　照樹	263	3.4	8.0	12.2	16.3	17.1	16.0	6.1	5.3	4.6		11.0	2.69
社会の認識	日本国憲法	基礎1-5,10-15,53組	木3	西村　裕一	31	6.5	3.2	6.5	6.5	22.6	12.9	12.9	12.9	6.5		9.7	2.50
社会の認識	描かれた動物から読みとく文化	基礎1-53組	火1	山口　未花子	165	18.2	23.6	15.8	17.0	4.8	7.9	4.2	2.4		6.1		3.42
社会の認識	法的思考を学ぶ	基礎1-53組	月5	岩川　隆嗣	16	25.0	31.3	18.8	6.3	6.3		6.3				6.3	3.56
社会の認識	明治期キリスト教思想家を考える	基礎1-53,54組	月5	ラフェイ　ミシェル	1			100.0									3.70
社会の認識(論文指導)	ルールとペナルティーの機能	基礎1-15,53組	木3	小名木　明宏	7		100.0										4.00
社会の認識(論文指導)	社会と心（精神）	基礎1-15,53組	金1	高橋　泰城	18	11.1	77.8	11.1									4.00
社会の認識(論文指導)	社会学から考える環境と合意形成	基礎1-15,53組	木3	平川　全機	1	100.0											4.30
社会の認識(論文指導)	組織現象の理解と説明	基礎1-53組	月5	相原　基大	6	66.7	16.7	16.7									4.15
社会の認識(論文指導)	地域マーケティングと広報	基礎1-53組	月5	北村　倫夫	24	4.2	29.2	45.8	12.5	4.2						4.2	3.58
社会の認識(論文指導)	日本の公共政策	基礎1-15,53組	木3	宮脇　淳	5	40.0		40.0								20.0	3.20
科学・技術の世界	Integrated Science Ⅰ	基礎1-53,54組	木1	瀬戸　治	12		8.3	8.3	33.3	33.3	8.3		8.3				3.13
科学・技術の世界	サイエンスを再演する（科学史入門）	基礎1-53組	木1	川本　思心	192	3.6	5.7	10.9	13.0	16.7	14.1	10.4	6.8	7.8	7.3	3.6	2.60
科学・技術の世界	ゼロからはじめる「科学力」養成講座２（自然科学２）	基礎1-53組	月5	鈴木　久男	9	11.1	44.4	11.1		11.1	11.1					11.1	3.30
科学・技術の世界	医遺伝学	基礎1-53組	月5	畠山　鎮次	120	14.2	7.5	10.8	22.5	16.7		14.2	13.3	0.8			3.15
科学・技術の世界	科学技術とリスクの哲学	基礎1-53組	木1	松王　政浩	48	2.1	4.2	18.8	25.0	31.3	16.7				2.1		3.18
科学・技術の世界	科学的に思考する	基礎1-53組	月5	橋元　明彦	50	2.0	62.0	4.0	18.0		4.0					10.0	3.42
科学・技術の世界	科学哲学入門２	基礎1-53組	火1	松王　政浩	18		11.1	22.2	16.7	33.3					16.7		2.93
科学・技術の世界	心理学概論	基礎1-15,53組	木3	河原　純一郎	260	10.0	21.9	10.4	13.1	8.5	9.6	7.7	15.0	2.3		1.5	3.14
科学・技術の世界	生命科学の最前線	基礎1-53組	火1	黒川　孝幸	49	6.1	10.2	20.4	14.3	20.4	6.1	6.1	6.1	4.1	2.0	4.1	2.99
科学・技術の世界	専門志向者のための物理学２	基礎16-52組	水1	羽部　朝男	27	18.5	22.2	7.4	11.1	11.1	14.8	7.4	3.7			3.7	3.30
科学・技術の世界	代数的手法の現実世界への応用	基礎16-52組	水1	朝倉　政典	56	3.6	1.8	8.9	12.5	7.1	7.1	10.7	1.8	5.4	28.6	12.5	1.91
科学・技術の世界	地球惑星科学のフロンティア	基礎1-53組	月5	日置　幸介	75	5.3	12.0	12.0	17.3	20.0	13.3	5.3	5.3	5.3	2.7	1.3	2.99
科学・技術の世界	文系のための物理学	基礎1-15,53組	木3	川本　思心	15	26.7	26.7	13.3	13.3		6.7		13.3				3.59
科学・技術の世界	野生生物保全論入門	基礎1-15,53組	木3	立澤　史郎	60		33.3	35.0	11.7	5.0	6.7	1.7	1.7		5.0		3.45
科学・技術の世界(論文指導)	認知心理学への招待	基礎1-15,53組	木3	森本　琢	2		50.0	50.0									3.85

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度２学期　全学教育（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月12日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
科学・技術の世界（1単位）	ノーベル賞の化学Ⅲ	基礎1-53組	月5	坂口　和靖	31	12.9	12.9	19.4	16.1	19.4	9.7	3.2	6.5				3.36
科学・技術の世界（1単位）	ノーベル賞の化学Ⅳ	基礎1-53組	月5	坂口　和靖	22	13.6	13.6	9.1	9.1	13.6	9.1	9.1		18.2		4.5	2.81
科学・技術の世界（1単位）	化学のフロントランナーⅢ	基礎1-53組	月5	坂口　和靖	23	8.7	8.7	26.1	26.1	13.0	8.7		4.3			4.3	3.26
科学・技術の世界（1単位）	化学のフロントランナーⅣ	基礎1-53組	月5	坂口　和靖	14	7.1	35.7	21.4	7.1	21.4			7.1				3.55
科学・技術の世界（1単位）	現代生物科学への誘いⅡ　秋	基礎16-52組	水1	山口　淳二	116	6.9	11.2	8.6	22.4	13.8	14.7	6.9	6.0	2.6	6.0	0.9	2.96
科学・技術の世界（1単位）	現代生物科学への誘いⅡ　冬	基礎16-52組	水1	山口　淳二	77	5.2	9.1	11.7	13.0	11.7	6.5	6.5	14.3	1.3	7.8	13.0	2.48
特別講義	大学と社会－先輩からの熱いメッセージー	基礎1-53組	木5	亀野　淳	3		66.7					33.3					3.43
環境と人間（1単位）	食料生産と環境保全　秋	基礎1-53組	水5	平野　高司	56	1.8	3.6	10.7	12.5	5.4	25.0	5.4	21.4	8.9	5.4		2.54
環境と人間（1単位）	食料生産と環境保全　冬	基礎1-53組	水5	平野　高司	20			5.0	25.0	5.0	5.0		30.0		10.0	20.0	1.97
特別講義（1単位）	大学と社会－先輩からの熱いメッセージー秋	基礎1-53組	木5	亀野　淳	29	13.8	13.8		20.7	20.7	6.9	3.4	3.4	17.2			2.96
特別講義（1単位）	大学と社会－先輩からの熱いメッセージー冬	基礎1-53組	木5	亀野　淳	20	15.0	10.0	20.0		10.0	15.0		10.0	20.0			2.89
環境と人間	Current Perspectives in Biology	基礎1-53,54組	木5	Kevin Wakeman	10	80.0	10.0	10.0									4.21
環境と人間	くらしと動物	基礎1-53組	火5	安居院　高志	121	9.1	9.9	13.2	14.9	14.0	10.7	7.4	8.3			12.4	2.82
環境と人間	サケ学入門（サケ・マスと人との関わり）	基礎1-53組	木5	工藤　秀明	146	4.1	13.7	14.4	15.1	13.7	13.0	11.0	7.5	4.1	2.1	1.4	2.97
環境と人間	海と生命	基礎1-53組	火5	都木　靖彰	296	4.7	16.2	19.9	20.3	13.9	11.5	8.1	3.7	1.0	0.7		3.26
環境と人間	海のふしぎー海と人との関わりー	基礎1-53組	金5	綿貫　豊	135	3.0	8.9	12.6	19.3	22.2	14.8	7.4	4.4	3.7	3.7		2.97
環境と人間	寒冷圏の科学	基礎1-53組	木5	渡部　直樹	53	5.7	15.1	18.9	18.9	15.1	9.4		13.2	3.8			3.18
環境と人間	湿原の科学	基礎1-53組	金5	井上　京	322	2.2	7.5	7.1	22.0	21.7	11.5	7.8	11.2	1.6		7.5	2.76
環境と人間	脊椎動物の生態と進化	基礎1-53組	水5	坪田　敏男	121	0.8	5.0	12.4	14.9	32.2	21.5	7.4	1.7		4.1		2.96
環境と人間	大気と海洋の環境変化	基礎1-53組	金5	鈴木　光次	60		1.7	13.3	16.7	16.7	11.7	8.3	10.0			21.7	2.32
環境と人間	農耕地のバイオマス－食料、エネルギー、有用物質の生産	基礎1-53組	木5	山田　敏彦	14		21.4	50.0	21.4		7.1						3.61
健康と社会	なぜ病気になるのか―治療医学から予防医学へ―	基礎1-53組	水5	橋野　聡	202	6.9	15.3	30.2	19.8	14.4	7.4	2.0			4.0		3.39
健康と社会	キャンパス・アクセシビリティ入門	基礎1-53組	木2	立田　祐子	41	4.9	17.1	14.6	29.3	19.5	4.9	7.3			2.4		3.30
健康と社会	魚をたべる	基礎1-53組	水5	岸村　栄毅	173	0.6	6.4	6.9	12.1	13.9	20.2	20.8	13.9			5.2	2.65
健康と社会	健康長寿と口腔科学２	基礎1-53組	木5	舩橋　誠	460	5.9	18.0	13.3	27.0	6.5	15.2	10.0	0.7			3.5	3.20
健康と社会	口腔における生体防御機構	基礎1-53組	水5	田村　正人	116	8.6	7.8	24.1	16.4	25.0	7.8	3.4	4.3			2.6	3.24
人間と文化	アイヌ・先住民研究の現在	基礎1-53組	木5	山崎　幸治	74	5.4	14.9	23.0	20.3	13.5	9.5	4.1	1.4			8.1	3.13
人間と文化	グローバル・ラーニング入門	基礎1-53組	木3	髙橋　彩	13		30.8	38.5	30.8								3.67
人間と文化	メディアと観光への新たな視座	基礎1-53組	火5	玄　武岩	122	8.2	13.9	19.7	20.5	13.9	8.2	4.1	1.6		4.9	4.9	3.11
人間と文化	ロシア史入門	基礎1-53組	木3	長縄　宣博	37	2.7	8.1	13.5	24.3	2.7	16.2			8.1	21.6	2.7	2.49
人間と文化	価値対立時代の対話学	基礎1-53組	水5	尾崎　一郎	42	2.4	7.1	14.3	26.2	23.8	16.7	2.4			7.1		3.05
人間と文化	誰でもプログラミング	基礎1-53組	火5	布施　泉	106	12.3	13.2	13.2	20.8	15.1	7.5	2.8	6.6	0.9		7.5	3.09
一般教育演習(ﾌﾚｯｼｭﾏﾝｾﾐﾅｰ)	「国際交流」を考える	基礎1-52組	水4	青木　麻衣子	10		20.0	60.0	10.0						10.0		3.42
一般教育演習(ﾌﾚｯｼｭﾏﾝｾﾐﾅｰ)	はじめての数学演義	基礎1-53組	木2	山下　博	20	5.0	25.0	20.0	35.0	5.0						10.0	3.26
一般教育演習(ﾌﾚｯｼｭﾏﾝｾﾐﾅｰ)	アカデミック・プレゼンテーション	基礎1-52組	木3	山田　智久	2	100.0											4.30

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度２学期　全学教育（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月12日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	エネルギー問題ゲームの創作	基礎1-53組	木2	原　亮一	22	22.7	27.3	4.5	31.8	9.1					4.5		3.59
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	グローバルキャリアセミナー	基礎1-52組	金5	式部　絢子	9			11.1	11.1	22.2	44.4	11.1					2.90
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	スポーツと身体を考える	基礎1-53組	木4	山崎　貴史	23	8.7	17.4	39.1	17.4	13.0					4.3		3.51
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	タンジブルな情報科学入門	基礎1-53組	木2	布施　泉	22	4.5	22.7	13.6	40.9	4.5	4.5	4.5				4.5	3.32
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	ピーター・バーガー『社会学への招待』を読む	基礎1-53組	水5	杉浦　秀一	12	16.7	41.7	41.7									3.93
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	フィールド研究入門～海のデータを読み解く～	基礎1-53組	水5	大木　淳之	8	25.0	25.0	25.0					12.5	12.5			3.38
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	モノづくり実習－電子回路に親しもう	基礎1-53組	金5	河本　充司	23			8.7	87.0							4.3	3.19
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	稲作と人の暮らし-田植え・稲刈り・ご飯・わら加工-	基礎1-53組	集中	山田　敏彦	25	20.0	12.0	8.0	40.0							20.0	2.96
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	海外の学生と日本語で世界の課題を話し合おう－オンライン協働学習－	基礎1-52組	木5	鄭　惠先	4		25.0	50.0		25.0							3.60
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	巨大津波は北海道を襲うか	基礎1-53組	木5	谷岡　勇市郎	14	14.3	42.9	7.1	14.3	14.3						7.1	3.49
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	建築と都市	基礎1-53組	木5	菊田　弘輝	22			13.6	54.5	27.3			4.5				3.21
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	工学的創成実験Ⅲ（光子のエネルギーの測定・IoTものづくり入門）	基礎1-53組	火5	三輪　修一郎	11		54.5	36.4							9.1		3.59
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	工学的創成実験Ⅳ（材料と力から構造物を考える）	基礎1-53組	火5	杉山　隆文	23	30.4	21.7	17.4	21.7	8.7							3.80
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	考え方の技術	基礎1-52組	木5	小林　由子	7		28.6	71.4									3.79
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	札幌をフィールドワークする	基礎1-52組	月4	青木　麻衣子	9		11.1	77.8							11.1		3.40
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	使って学ぶ統計学	基礎1-53組	木5	岩間　徳兼	9	11.1	22.2	11.1	11.1	11.1	22.2		11.1				3.30
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	実践！フィールド生態学	基礎1-53組	木4	中路　達郎	22	4.5	40.9	18.2	4.5	18.2			4.5			9.1	3.29
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	食べ物の安全と安心	基礎1-53組	水5	園山　慶	9		11.1	11.1	22.2	11.1	11.1	33.3					2.99
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	食物連鎖網は可視化できるのか～生物と生物のつながりの解明への挑戦～	基礎1-53組	火5	力石　嘉人	23	4.3	21.7	30.4	26.1		4.3	4.3		8.7			3.35
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	数理的思考とコンピュータ：コンピュータは電気羊の夢を見るか？	基礎1-53組	水5	工藤　峰一	23		13.0	26.1	21.7	13.0	13.0	4.3				8.7	3.05
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	世界の7000の言語と日本語	基礎1-52組	火2	平田　未季	12		16.7	33.3	25.0	16.7	8.3						3.45
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	生物資源のかしこい利用	基礎1-53組	木5	近藤　則夫	4		100.0										4.00
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	田舎に行こう！－ライフストーリーインタビュー	基礎1-52組	火5	式部　絢子	12	8.3	8.3	8.3	25.0	8.3	16.7	8.3		8.3		8.3	2.80
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	動物のからだ	基礎1-53組	水5	昆　泰寛	4	100.0											4.30
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	日本の大学改革の動向を考える	基礎1-53組	木3	上山　浩次郎	9			44.4	44.4			11.1					3.37
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	脳と代謝の情報を読み解く	基礎1-53組	木4	西川　淳	12	8.3	41.7	33.3	16.7								3.81
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	複雑現象のルールを探る数学的方法	基礎1-53組	火5	由利　美智子	23	17.4	43.5	21.7	13.0		4.3						3.84
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	文化としての日本マンガ	基礎1-52組	月5	小林　由子	10	10.0	20.0		30.0	30.0						10.0	3.12
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	北海道大学を発見しよう	基礎1-52組	火3	奥本　素子	8		100.0										4.00
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	北大対ゴジラ：映画『シン・ゴジラ』をもとに学ぶ放射線・放射能の科学	基礎1-53組	木5	小崎　完	21	28.6	23.8	19.0	23.8						4.8		3.70
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	未来の農業 -環境調和とIT-	基礎1-53組	水5	石井　一暢	16	6.3	6.3	18.8	25.0	31.3						12.5	2.98
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	留学を促進する	基礎1-52組	水3	髙橋　彩	3	33.3	66.7										4.10
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	量子ビームとプラズマ応用の世界	基礎1-53組	火5	山内　有二	12		8.3	16.7	41.7	16.7	8.3	8.3					3.24
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	論文の読み方・調べ方	基礎1-53組	水5	金沢　英之	13	23.1	30.8	30.8	7.7	7.7							3.85
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	「アイロニー」と「ユーモア」を考える	基礎1-53組	水5	村松　正隆	22	9.1	13.6	9.1	18.2	4.5	18.2	9.1	13.6			4.5	2.98

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度２学期　全学教育（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月12日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	マテリアル製造プロセスの最前線 -創り方が変われば世界が変わる-	基礎1-53組	木2	上田　幹人	7		28.6	28.6	14.3		14.3				14.3		3.16
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	メディカルLab. サイエンスSeason Ⅳ	基礎1-53組	金5	政氏　伸夫	11		9.1	18.2	18.2	27.3	18.2		9.1				3.13
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	化学・タイムトラベル	基礎1-53組	金5	景山　義之	15		13.3	33.3	40.0		13.3						3.45
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	感染症、拠点作りとネットワーク形成のシミュレーション演習	基礎1-52組	火4	小華和　柾志	3	33.3	66.7										4.10
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	感染症について学ぼう-ロールプレイングを用いて	基礎1-53組	木4	小華和　柾志	22	18.2	9.1	13.6	18.2	40.9							3.48
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	現代有機化学演習	基礎1-53組	金5	鈴木　孝紀	19	47.4	31.6	15.8	5.3								4.06
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	国際政治とアフリカ	基礎1-53組	水5	鍋島　孝子	16		25.0	18.8	37.5							18.8	2.93
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	裁判から見たアメリカの政治・社会	基礎1-53組	火5	会沢　恒	4			100.0									3.70
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	女性とホルモン	基礎1-53組	木3	佐川　正	14			21.4	21.4	35.7	21.4						3.15
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	身近な光とレーザの応用を学び体験しよう	基礎1-53組	木4	岡本　淳	20	10.0	20.0	35.0	20.0	15.0							3.64
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	生殖と発生の生物学	基礎1-53組	火5	小谷　友也	22	18.2	27.3	40.9	13.6								3.84
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	地域社会と健康～人々の健康を支える地域保健～	基礎1-53組	火5	平野　美千代	6		16.7	16.7	33.3	16.7					16.7		3.00
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	批評と翻訳：文学研究者のお仕事	基礎1-53組	水5	安達　大輔	10		40.0	20.0	20.0	10.0						10.0	3.30
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	聞く力・話す力の理論編	基礎1-53組	木3	三上　直之	8			25.0	50.0	25.0							3.33
一般教育演習(フレッシュマンセミナー)(論文指導)	本当に二酸化炭素は減らすべきか!?	基礎1-53組	火5	藤井　義明	16		12.5	43.8	43.8								3.56
体育学Ａ	Tボール1	基礎19-21,50-52,53組	月2	植田　俊	34	11.8	38.2	8.8	14.7	8.8	5.9		11.8				3.51
体育学Ａ	インドア・サッカー２	基礎47-49,53組	金1	石澤　伸弘	29		3.4	6.9	20.7	20.7	13.8	10.3	20.7		3.4		2.74
体育学Ａ	インドア・サッカー２	基礎1-5,53組	金2	石澤　伸弘	22		4.5	9.1	22.7	27.3	9.1	4.5	18.2		4.5		2.83
体育学Ａ	サッカー2	基礎11-15,53組	木2	小田　史郎	19			31.6	26.3	21.1	15.8	5.3					3.22
体育学Ａ	ショートテニス6＆Tボール1	基礎22-24,53組	月3	池田　恵子	10		30.0	40.0	20.0	10.0							3.64
体育学Ａ	ショートテニス6＆Tボール1	基礎22-24,53組	月3	山仲　勇二郎	15		33.3	20.0	26.7	6.7			6.7			6.7	3.29
体育学Ａ	ショートテニス6＆バレーボール2	基礎19-21,50-52,53組	月2	崎田　嘉寛	14		28.6	21.4	28.6	14.3						7.1	3.31
体育学Ａ	ショートテニス6＆バレーボール2	基礎16-18,44-46,53組	月1	崎田　嘉寛	11		36.4		27.3	18.2		18.2					3.32
体育学Ａ	ショートテニス6＆バレーボール2	基礎19-21,50-52,53組	月2	池田　恵子	15		13.3	40.0	26.7	6.7	6.7					6.7	3.27
体育学Ａ	ショートテニス6＆バレーボール2	基礎16-18,44-46,53組	月1	池田　恵子	19		15.8	31.6	26.3	10.5						15.8	2.98
体育学Ａ	トレーニング1	基礎16-18,44-46,53組	月1	瀧澤　一騎	17		64.7	29.4	5.9								3.87
体育学Ａ	バスケットボール2	基礎42-43,53組	水2	畝中　智志	16	6.3	6.3	50.0	18.8	12.5			6.3				3.49
体育学Ａ	バスケットボール2	基礎6-10,53組	水1	畝中　智志	31		6.5	16.1	29.0	22.6	16.1		3.2			6.5	2.99
体育学Ａ	バスケットボール2	基礎35-38,53組	火2	佐藤　洋一郎	13		15.4	23.1	38.5			23.1					3.27
体育学Ａ	バドミントン6	基礎35-38,53組	火2	島崎　百恵	33			15.2	39.4	30.3	6.1	9.1					3.14
体育学Ａ	バドミントン6	基礎11-15,53組	木2	瀧澤　一騎	19		5.3	15.8	26.3	10.5	15.8	21.1			5.3		2.93
体育学Ａ	バドミントン6	基礎39-41,53組	火3	島崎　百恵	32		3.1	15.6	40.6	21.9	3.1	12.5	3.1				3.13
体育学Ａ	バドミントン６＆卓球３	基礎22-24,53組	月3	柚木　孝敬	20	5.0	10.0	25.0	10.0	20.0	15.0	10.0	5.0				3.21
体育学Ａ	バドミントン６＆卓球３	基礎1-5,53組	金2	柚木　孝敬	46	2.2	34.8	6.5	13.0	2.2	17.4	6.5	8.7			8.7	3.02
体育学Ａ	バドミントン６＆卓球３	基礎22-24,53組	月3	阿部　匡樹	19		10.5	42.1	26.3	21.1							3.48

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度２学期　全学教育（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月12日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
体育学Ａ	バドミントン６＆卓球３	基礎25-27,31-34,53組	木3	阿部　匡樹	47	2.1	72.3	8.5	4.3		6.4	2.1	2.1			2.1	3.70
体育学Ａ	バレーボール2&からだ作り・うごき作り2	基礎28-30,53組	水3	崎田　嘉寛	14		14.3	14.3	28.6	21.4	7.1	7.1			7.1		3.09
体育学Ａ	バレーボール2&からだ作り・うごき作り2	基礎42-43,53組	水2	保延　光一	11	27.3	9.1	27.3	18.2		9.1	9.1					3.60
体育学Ａ	バレーボール2&からだ作り・うごき作り2	基礎42-43,53組	水2	崎田　嘉寛	9		11.1	22.2	11.1	11.1	22.2	11.1				11.1	2.82
体育学Ａ	バレーボール2&からだ作り・うごき作り2	基礎28-30,53組	水3	保延　光一	15	13.3	6.7	46.7	13.3	6.7	6.7					6.7	3.39
体育学Ａ	バレーボール2&フットサル2	基礎6-10,53組	水1	山仲　勇二郎	12			33.3	33.3	25.0	8.3						3.31
体育学Ａ	バレーボール2&フットサル2	基礎6-10,53組	水1	山崎　貴史	20		5.0	25.0	30.0	15.0		5.0			20.0		2.82
体育学Ａ	バレーボール3&からだ作り・うごき作り2	基礎25-27,31-34,53組	木3	保延　光一	17		5.9	23.5	23.5	47.1							3.29
体育学Ａ	バレーボール3&からだ作り・うごき作り2	基礎25-27,31-34,53組	木3	山崎　貴史	14			21.4	57.1	21.4							3.32
体育学Ａ	フットサル２	基礎39-41,53組	火3	山田　秀樹	27	3.7		25.9	37.0	14.8	11.1			3.7		3.7	3.12
体育学Ａ	フットサル２	基礎25-27,31-34,53組	木3	瀧澤　一騎	37		24.3	35.1	21.6	2.7	2.7	8.1				5.4	3.33
体育学Ａ	フットサル２	基礎35-38,53組	火2	山田　秀樹	22	4.5	13.6	9.1	18.2	22.7	9.1	4.5	9.1			9.1	2.89
体育学Ａ	フットサル２＆サッカー２	基礎16-18,44-46,53組	月1	山仲　勇二郎	22		4.5	4.5	22.7	31.8	27.3	4.5				4.5	2.90
体育学Ａ	フットサル２＆サッカー２	基礎19-21,50-52,53組	月2	山仲　勇二郎	34	5.9	5.9	23.5	29.4	20.6	11.8					2.9	3.26
体育学Ａ	卓球３＆からだ作り・うごき作り2	基礎11-15,53組	木2	保延　光一	9		44.4			11.1	11.1		11.1			22.2	2.63
体育学Ｂ	講義	基礎1-53組	火5	崎田　嘉寛	210	3.8	3.8	10.5	13.3	18.6	16.7	11.0	12.4	4.3	5.7		2.73
体育学Ｂ	講義	基礎1-53組	木1	池田　恵子	186	0.5	2.2	10.2	25.8	26.3	12.4	8.1	5.9	1.1	0.5	7.0	2.78
体育学Ｂ	講義	基礎1-53組	火1	阿部　匡樹	81		1.2	4.9	16.0	25.9	28.4	7.4	8.6	2.5		4.9	2.67
情報学Ⅱ		基礎43-47組	月2	長尾　光悦	49	4.1	44.9	12.2	6.1	8.2	6.1	2.0	4.1	4.1	8.2		3.26
情報学Ⅱ		基礎48-52組	月1	長尾　光悦	40	5.0	30.0	10.0	12.5	10.0	10.0		7.5	7.5	2.5	5.0	3.01
情報学Ⅱ		基礎16-19組	月3	沼澤　政信	36	11.1	25.0	19.4	8.3	5.6	2.8	8.3	2.8	2.8	5.6	8.3	3.03
情報学Ⅱ		基礎33-37組	月4	三谷　和史	63		1.6	14.3	19.0	12.7	22.2	17.5	6.3	1.6	4.8		2.78
情報学Ⅱ		基礎1-15,53組	火2	中島　潤	54	5.6	14.8	1.9	5.6	13.0	9.3	7.4	18.5	1.9	7.4	14.8	2.33
情報学Ⅱ		基礎1-15,53組	火3	布施　泉	89	5.6	11.2	12.4	22.5	13.5	16.9	4.5	3.4		3.4	6.7	2.94
情報学Ⅱ		基礎20-23組	水2	工藤　峰一	27	3.7	7.4	3.7	14.8	11.1	14.8	11.1	22.2		7.4	3.7	2.57
情報学Ⅱ		基礎24-27組	水4	工藤　峰一	36	8.3	13.9	13.9	11.1	11.1	11.1	11.1	2.8	11.1	5.6		2.89
情報学Ⅱ		基礎1-52組	水5	布施　泉	23	13.0	4.3	8.7	13.0	13.0	4.3	4.3	17.4			21.7	2.44
情報学Ⅱ		基礎28-32組	金4	伊藤　敏彦	112	39.3	30.4	17.0	5.4	0.9	2.7		0.9	0.9	2.7		3.85
情報学Ⅱ		基礎38-42組	金1	酒井　雅裕	43	4.7	16.3	18.6	4.7	14.0	14.0	2.3	7.0		16.3	2.3	2.80
統計学		基礎33-34組	金3	中村　永友	72	26.4	15.3	11.1	6.9	8.3	5.6	6.9	9.7		1.4	8.3	3.15
統計学		基礎31-32組	火3	鈴川　晶夫	75	9.3	10.7	9.3	20.0	16.0	17.3	4.0	5.3	2.7	5.3		3.04
統計学		基礎28-30組	火4	大西　真一	83	6.0	10.8	9.6	12.0	13.3	8.4	10.8	12.0	8.4	6.0	2.4	2.69
統計学		基礎26-27組	火2	飯塚　博幸	87	5.7	17.2	19.5	19.5	8.0	12.6	8.0	4.6	2.3	2.3		3.20
統計学		基礎16-17組	火2	髙木　真吾	67	6.0	11.9	16.4	9.0	17.9	10.4	10.4	9.0		9.0		2.94
統計学		基礎22-23組	火3	柿沢　佳秀	67	7.5	23.9	16.4	16.4	4.5	11.9	7.5	6.0	1.5	1.5	3.0	3.20

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度２学期　全学教育（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月12日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
統計学		基礎20-21組	金2	中村　永友	81	7.4	18.5	24.7	11.1	16.0	6.2	4.9	7.4		1.2	2.5	3.26
統計学		基礎18-19組	火2	中村　篤祥	61	8.2	8.2	14.8	14.8	16.4	11.5	9.8	1.6	4.9	1.6	8.2	2.83
統計学		基礎24-25組	火2	今井　英幸	61	8.2	14.8	4.9	11.5	16.4	18.0	6.6	9.8	1.6	4.9	3.3	2.88
英語Ⅲ	初級：総合基礎	基礎31-34組	水4	長島　美織	24	4.2	12.5	12.5	4.2	16.7	8.3	12.5	16.7	8.3	4.2		2.74
英語Ⅲ	初級：総合基礎	基礎35-40組	金3	鈴木　志のぶ	26	3.8	3.8	7.7	7.7	15.4	15.4	15.4	15.4		3.8	11.5	2.42
英語Ⅲ	初級：総合基礎	基礎41-46組	月3	十枝内　康隆	15	6.7	6.7	20.0	20.0	6.7	20.0	13.3	6.7				3.13
英語Ⅲ	初級：総合基礎	基礎47-52組	水4	上田　雅信	19	5.3	26.3	10.5	15.8	10.5	10.5	5.3				15.8	2.91
英語Ⅲ	初級：総合基礎	基礎16-22組	月4	十枝内　康隆	16		18.8	6.3	18.8	12.5	12.5	25.0	6.3				3.01
英語Ⅲ	初級：総合基礎	基礎6-15組	水2	辻本　篤	27	7.4	18.5	25.9	22.2	3.7	3.7				18.5		3.09
英語Ⅲ	初級：総合基礎	基礎23-30組	金2	川嵜　義和	24	4.2	12.5	29.2	8.3	12.5	4.2	4.2	4.2			20.8	2.70
英語Ⅲ	初級：総合基礎	基礎16-22組	月4	ピーター・リームスト	8	12.5	25.0	12.5	12.5				12.5			25.0	2.66
英語Ⅲ	初級：総合基礎	基礎1-5組	月4	原田　真見	4			25.0	25.0	25.0						25.0	2.50
英語Ⅲ	中級：CALL	基礎31-34組	水4	辻本　篤	50	2.0	12.0	50.0	28.0	4.0	2.0				2.0		3.53
英語Ⅲ	中級：CALL	基礎35-40組	金3	辻本　篤	50		4.0	44.0	24.0	18.0				4.0	6.0		3.20
英語Ⅲ	中級：CALL	基礎41-46組	月3	辻本　篤	50	2.0	6.0	54.0	26.0	6.0					6.0		3.40
英語Ⅲ	中級：CALL	基礎47-52組	水4	土永　孝	40		15.0	15.0	7.5	7.5	20.0	7.5	25.0			2.5	2.84
英語Ⅲ	中級：CALL	基礎23-30組	金2	土永　孝	50	4.0	10.0	12.0	6.0	12.0	20.0	6.0	28.0			2.0	2.81
英語Ⅲ	中級：CALL	基礎16-22組	月4	辻本　篤	50		8.0	60.0	22.0	10.0							3.57
英語Ⅲ	中級：CALL	基礎1-5組	月4	大野　公裕	28	3.6	10.7	14.3	28.6	10.7	10.7	7.1	3.6			10.7	2.90
英語Ⅲ	中級：スピーキング	基礎16-22組	月4	RICHARDSON PETER	30		16.7	23.3	36.7	16.7	6.7						3.42
英語Ⅲ	中級：スピーキング	基礎6-15組	水2	レジー・カバシオ・フ	29		17.2	24.1	20.7	10.3	10.3	3.4	6.9			6.9	3.07
英語Ⅲ	中級：スピーキング	基礎6-15組	水2	GAYMAN JEFFRY JOSEPH	30			43.3	43.3	13.3							3.43
英語Ⅲ	中級：スピーキング	基礎6-15組	水2	河合　剛	30	13.3	10.0	16.7	13.3	3.3	16.7	6.7	10.0		10.0		3.00
英語Ⅲ	中級：スピーキング	基礎1-5組	月4	Piers Williamson	30		10.0	3.3	3.3	23.3	13.3	10.0	23.3		13.3		2.48
英語Ⅲ	中級：スピーキング	基礎47-52組	水4	Piers Williamson	30	23.3	30.0	20.0	13.3	10.0				3.3			3.72
英語Ⅲ	中級：スピーキング	基礎47-52組	水4	TANAKA JAY MATSUO	11			9.1	72.7	18.2							3.28
英語Ⅲ	中級：スピーキング	基礎41-46組	月3	イアン・　マンビー	14		7.1	21.4	28.6	14.3	7.1	7.1			7.1	7.1	2.86
英語Ⅲ	中級：スピーキング	基礎41-46組	月3	RICHARDSON PETER	30	3.3	6.7	20.0	43.3	13.3	3.3	3.3		3.3		3.3	3.18
英語Ⅲ	中級：スピーキング	基礎35-40組	金3	サーマン　ジョン	30		3.3	63.3	23.3	6.7	3.3						3.54
英語Ⅲ	中級：スピーキング	基礎35-40組	金3	ピーター・リームスト	12		8.3	25.0	50.0		8.3					8.3	3.13
英語Ⅲ	中級：スピーキング	基礎31-34組	水4	河合　剛	23	34.8	26.1	26.1		8.7		4.3					3.87
英語Ⅲ	中級：スピーキング	基礎23-30組	金2	河合　剛	30	30.0	20.0	23.3	10.0	10.0		3.3		3.3			3.69
英語Ⅲ	中級：スピーキング	基礎23-30組	金2	サーマン　ジョン	30		20.0	40.0	26.7	6.7		3.3			3.3		3.46
英語Ⅲ	中級：スピーキング	基礎16-22組	月4	イアン・　マンビー	17			35.3	23.5	17.6	23.5						3.25
英語Ⅲ	中級：ライティング	基礎6-15組	水2	CAPOBIANCO PAUL JOSE	25		20.0	8.0	20.0	20.0	12.0		16.0	4.0			3.04

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度２学期　全学教育（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月12日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
英語Ⅲ	中級：ライティング	基礎16-22組	月4	CAPOBIANCO PAUL JOSE	25	8.0	20.0	20.0	24.0	8.0	8.0	4.0	4.0	4.0			3.34
英語Ⅲ	中級：ライティング	基礎6-15組	水2	RICHARDSON PETER	25		16.0	36.0	16.0	32.0							3.46
英語Ⅲ	中級：ライティング	基礎47-52組	水4	ハンセン　ポール　サ	10	10.0	10.0	30.0	10.0	30.0	10.0						3.44
英語Ⅲ	中級：ライティング	基礎47-52組	水4	レジー・カバシオ・フ	7	28.6	14.3	28.6								28.6	2.86
英語Ⅲ	中級：ライティング	基礎16-22組	月4	カワイ・カサンドラ	17	11.8	11.8	17.6	11.8	17.6						29.4	2.55
英語Ⅲ	中級：ライティング	基礎1-5組	月4	GAYMAN JEFFRY JOSEPH	25			32.0	56.0	12.0							3.39
英語Ⅲ	中級：ライティング	基礎31-34組	水4	RICHARDSON PETER	25	4.0	8.0	24.0	64.0								3.49
英語Ⅲ	中級：ライティング	基礎35-40組	金3	レジー・カバシオ・フ	13		38.5	23.1	7.7	23.1	7.7						3.55
英語Ⅲ	中級：ライティング	基礎23-30組	金2	TANAKA JAY MATSUO	25	8.0	4.0	20.0	60.0	4.0	4.0						3.45
英語Ⅲ	中級：ライティング	基礎23-30組	金2	ピーター・リームスト	25	8.0	16.0	12.0	20.0	16.0	12.0	4.0	8.0			4.0	3.14
英語Ⅲ	中級：ライティング	基礎35-40組	金3	CAPOBIANCO PAUL JOSE	4	25.0	50.0	25.0									4.00
英語Ⅲ	中級：ライティング	基礎41-46組	月3	ハンセン　ポール　サ	6		33.3	50.0	16.7								3.73
英語Ⅲ	中級：ライティング	基礎41-46組	月3	レジー・カバシオ・フ	5		80.0		20.0								3.86
英語Ⅲ	中級：ライティング	基礎6-15組	水2	ハンセン　ポール　サ	25	4.0	20.0	36.0	28.0		4.0	4.0			4.0		3.46
英語Ⅲ	中級：リーディング	基礎47-52組	水4	ピーター・リームスト	38	2.6	7.9	26.3	10.5	21.1	15.8	2.6	2.6	2.6	5.3	2.6	2.98
英語Ⅲ	中級：リーディング	基礎35-40組	金3	山田　義裕	27	3.7	7.4	7.4	18.5	37.0	14.8		7.4			3.7	3.00
英語Ⅲ	中級：リーディング	基礎35-40組	金3	志堅原　郁子	40		10.0	22.5	32.5	20.0	7.5	7.5					3.28
英語Ⅲ	中級：リーディング	基礎31-34組	水4	CAPOBIANCO PAUL JOSE	40	2.5	15.0	25.0	30.0	17.5	7.5		2.5				3.40
英語Ⅲ	中級：リーディング	基礎23-30組	金2	ホルスト　マーク	26	3.8	19.2	7.7	26.9	11.5	19.2	7.7				3.8	3.15
英語Ⅲ	中級：リーディング	基礎23-30組	金2	及川　陽子	25	4.0	8.0	16.0	4.0	28.0	8.0	20.0	8.0			4.0	2.89
英語Ⅲ	中級：リーディング	基礎23-30組	金2	大友　瑠璃子	34	2.9	8.8	23.5	8.8	14.7	17.6	2.9	14.7	2.9		2.9	2.95
英語Ⅲ	中級：リーディング	基礎1-5組	月4	河合　靖	32	3.1	12.5	6.3	28.1	12.5	25.0	6.3	3.1			3.1	3.05
英語Ⅲ	中級：リーディング	基礎16-22組	月4	上田　雅信	40	5.0	17.5	20.0	30.0	2.5	10.0	2.5	12.5				3.30
英語Ⅲ	中級：リーディング	基礎6-15組	水2	奥　聡	40	2.5	10.0	12.5	15.0	32.5	10.0		7.5	2.5		7.5	2.89
英語Ⅲ	中級：リーディング	基礎6-15組	水2	冨成　絢子	41	7.3	7.3	12.2	22.0	7.3	14.6	9.8	17.1			2.4	2.96
英語Ⅲ	中級：リーディング	基礎41-46組	月3	志堅原　郁子	40		12.5	20.0	32.5	15.0	2.5	2.5	10.0	2.5		2.5	3.11
英語Ⅲ	中級：リーディング	基礎41-46組	月3	岡本　亮輔	39	5.1		17.9	23.1	23.1	12.8	7.7	7.7			2.6	3.02
英語Ⅲ	中級：リーディング	基礎47-52組	水4	園田　勝英	40	5.0	7.5	17.5	15.0	32.5	15.0	2.5	2.5			2.5	3.15
英語Ⅲ	中級：リーディング	基礎6-15組	水2	田代　亜紀子	40	2.5	12.5	7.5	20.0	32.5	7.5	7.5	10.0				3.10
英語Ⅲ	中級：リーディング	基礎16-22組	月4	レジー・カバシオ・フ	26	7.7	26.9	15.4	26.9	3.8	11.5	3.8				3.8	3.38
英語Ⅲ	中級：リスニング	基礎35-40組	金3	長島　美織	24	4.2	20.8	25.0	20.8	4.2	4.2	4.2	8.3	4.2		4.2	3.17
英語Ⅲ	中級：リスニング	基礎35-40組	金3	土永　孝	35	11.4	2.9	8.6	8.6	14.3	11.4	11.4	28.6		2.9		2.80
英語Ⅲ	中級：リスニング	基礎41-46組	月3	濵井　祐三子	16	6.3	18.8	18.8	18.8	18.8		18.8					3.33
英語Ⅲ	中級：リスニング	基礎41-46組	月3	小林　敏彦	28	3.6	10.7	17.9	17.9	32.1	17.9						3.28
英語Ⅲ	中級：リスニング	基礎47-52組	水4	岡本　亮輔	35	2.9	2.9	5.7	25.7	25.7		31.4				5.7	2.79

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度２学期　全学教育（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月12日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
英語Ⅲ	中級：リスニング	基礎47-52組	水4	天田　顕徳	14	7.1	7.1	28.6	14.3	35.7						7.1	3.19
英語Ⅲ	中級：リスニング	基礎1-5組	月4	岡本　亮輔	35	2.9	5.7	8.6	8.6	20.0	5.7	42.9	5.7				2.81
英語Ⅲ	中級：リスニング	基礎6-15組	水2	濵井　祐三子	35	8.6	20.0	20.0	14.3	5.7	5.7	5.7	14.3			5.7	3.12
英語Ⅲ	中級：リスニング	基礎6-15組	水2	天田　顕徳	35	2.9	11.4	5.7	28.6	42.9	5.7					2.9	3.17
英語Ⅲ	中級：リスニング	基礎16-22組	月4	ハンセン　ポール　サ	34	2.9	17.6	14.7	20.6	14.7	8.8	5.9	5.9	8.8			3.08
英語Ⅲ	中級：リスニング	基礎16-22組	月4	小林　敏彦	35	2.9	11.4	14.3	20.0	28.6	20.0	2.9					3.23
英語Ⅲ	中級：リスニング	基礎23-30組	金2	長島　美織	35		20.0	31.4	11.4	14.3	5.7	8.6	8.6				3.29
英語Ⅲ	中級：リスニング	基礎23-30組	金2	園田　勝英	34	5.9	11.8	8.8	17.6	38.2	5.9		5.9	5.9			3.11
英語Ⅲ	中級：リスニング	基礎31-34組	水4	鈴木　志のぶ	17		11.8	29.4	11.8	11.8	5.9	11.8	11.8	5.9			3.02
英語Ⅳ	初級	基礎16-22組	水3	土田　映子	13		7.7	23.1	23.1	7.7	30.8	7.7					3.16
英語Ⅳ	初級	基礎23-26組	水3	長島　美織	17	11.8	5.9	11.8		17.6	17.6	23.5				11.8	2.72
英語Ⅳ	初級	基礎27-30組	月3	カワイ・カサンドラ	3	33.3										66.7	1.43
英語Ⅳ	初級	基礎41-46組	火4	大友　瑠璃子	15		20.0		26.7	6.7	13.3	20.0		13.3			2.83
英語Ⅳ	初級	基礎1-5組	金4	張　ジュヒョク	7	42.9	14.3		14.3				14.3			14.3	3.17
英語Ⅳ	初級	基礎31-34組	火2	山田　義裕	24	4.2	8.3	16.7	12.5	20.8	12.5	4.2	8.3			12.5	2.77
英語Ⅳ	初級	基礎35-40組	金4	土永　孝	32	3.1	31.3	6.3	6.3	6.3	12.5	12.5	9.4			12.5	2.82
英語Ⅳ	初級	基礎16-22組	水3	土永　孝	11		9.1	27.3		18.2	9.1		18.2			18.2	2.53
英語Ⅳ	初級	基礎6-15組	金3	川嵜　義和	22	4.5	9.1	18.2	18.2	18.2	9.1	13.6	4.5			4.5	3.03
英語Ⅳ	初級	基礎47-52組	火3	大友　瑠璃子	21	4.8	4.8	9.5	19.0	14.3	14.3	9.5	4.8	9.5		9.5	2.60
英語Ⅳ	中級	基礎47-52組	火3	西　真木子	40	10.0	7.5	22.5	17.5	17.5	17.5	5.0	2.5				3.30
英語Ⅳ	中級	基礎47-52組	火3	鈴木　志のぶ	14			7.1	14.3	28.6	21.4	7.1	7.1		14.3		2.58
英語Ⅳ	中級	基礎47-52組	火3	土田　映子	40		7.5	30.0	25.0	15.0	12.5	5.0	5.0				3.24
英語Ⅳ	中級	基礎47-52組	火3	レジー・カバシオ・フ	7	28.6	28.6	14.3	14.3							14.3	3.37
英語Ⅳ	中級	基礎47-52組	火3	濵井　祐三子	40	5.0	12.5	22.5	12.5	17.5	15.0	5.0	7.5			2.5	3.16
英語Ⅳ	中級	基礎47-52組	火3	ハンセン　ポール　サ	40	10.0	12.5	20.0	37.5	15.0	2.5				2.5		3.44
英語Ⅳ	中級	基礎47-52組	火3	熊谷　由美子	40		7.5	10.0	15.0	17.5	30.0		15.0			5.0	2.80
英語Ⅳ	中級	基礎41-46組	火4	西　真木子	40	10.0	7.5	30.0	2.5	27.5	15.0		7.5				3.30
英語Ⅳ	中級	基礎41-46組	火4	鈴木　志のぶ	13		15.4	15.4	7.7	38.5	7.7	7.7	7.7				3.13
英語Ⅳ	中級	基礎41-46組	火4	土田　映子	37	2.7	10.8	10.8	29.7	27.0	13.5				5.4		3.14
英語Ⅳ	中級	基礎41-46組	火4	熊谷　由美子	40		7.5	15.0	17.5	30.0	12.5	7.5	5.0			5.0	2.94
英語Ⅳ	中級	基礎41-46組	火4	張　ジュヒョク	40	25.0	22.5	12.5	15.0	12.5	10.0		2.5				3.63
英語Ⅳ	中級	基礎41-46組	火4	奥　聡	17	5.9	11.8	17.6	17.6	11.8	5.9	5.9	11.8			11.8	2.84
英語Ⅳ	中級	基礎41-46組	火4	Piers Williamson	40	2.5	35.0	45.0	5.0	10.0		2.5					3.70
英語Ⅳ	中級	基礎35-40組	金4	志聖原　郁子	40		20.0	17.5	27.5	15.0	10.0	7.5		2.5			3.27
英語Ⅳ	中級	基礎35-40組	金4	天田　顕徳	32	3.1	6.3	18.8	28.1	21.9	9.4	3.1				9.4	2.99

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度２学期　全学教育（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月12日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
英語Ⅳ	中級	基礎35-40組	金4	金　娥凛	40	5.0	2.5	7.5	25.0	32.5	22.5	5.0					3.12
英語Ⅳ	中級	基礎35-40組	金4	熊谷　由美子	40		7.5	10.0	17.5	20.0	27.5		15.0			2.5	2.89
英語Ⅳ	中級	基礎35-40組	金4	TANAKA JAY MATSUO	40	5.0	7.5	12.5	47.5	12.5	10.0		2.5			2.5	3.24
英語Ⅳ	中級	基礎35-40組	金4	レジー・カバシオ・フ	35	17.1	28.6	17.1	8.6	8.6	5.7		5.7			8.6	3.32
英語Ⅳ	中級	基礎31-34組	火2	本堂　知彦	40	5.0	10.0	10.0	7.5	32.5	20.0	7.5	7.5				3.07
英語Ⅳ	中級	基礎31-34組	火2	田代　亜紀子	25	8.0	12.0	8.0	20.0	32.0	8.0		8.0			4.0	3.12
英語Ⅳ	中級	基礎31-34組	火2	土田　映子	40			15.0	22.5	30.0	15.0	5.0	7.5		5.0		2.90
英語Ⅳ	中級	基礎31-34組	火2	TANAKA JAY MATSUO	12	8.3	8.3	16.7	25.0	16.7	8.3	8.3				8.3	3.05
英語Ⅳ	中級	基礎31-34組	火2	西川　克之	39	7.7	15.4	15.4	17.9	10.3	5.1	10.3	15.4			2.6	3.10
英語Ⅳ	中級	基礎27-30組	月3	大野　公裕	40	5.0	22.5	32.5	12.5	17.5	5.0		5.0				3.49
英語Ⅳ	中級	基礎27-30組	月3	原田　真見	19	15.8		5.3	5.3	15.8	10.5	10.5		31.6		5.3	2.36
英語Ⅳ	中級	基礎27-30組	月3	天田　顕徳	17	5.9	11.8	17.6	17.6	29.4	17.6						3.32
英語Ⅳ	中級	基礎27-30組	月3	Piers Williamson	40		40.0	32.5	17.5	10.0							3.68
英語Ⅳ	中級	基礎27-30組	月3	GAYMAN JEFFRY JOSEPH	40		2.5	40.0	47.5	7.5					2.5		3.39
英語Ⅳ	中級	基礎23-26組	水3	大野　公裕	41		17.1	24.4	29.3	17.1	7.3		2.4			2.4	3.31
英語Ⅳ	中級	基礎23-26組	水3	原田　真見	40	7.5	2.5	12.5	12.5	12.5	10.0	15.0	15.0	12.5			2.71
英語Ⅳ	中級	基礎23-26組	水3	Piers Williamson	41	4.9	31.7	31.7	14.6	9.8	7.3						3.62
英語Ⅳ	中級	基礎23-26組	水3	GAYMAN JEFFRY JOSEPH	40			37.5	42.5	7.5	10.0				2.5		3.30
英語Ⅳ	中級	基礎16-22組	水3	園田　勝英	40	5.0	10.0	7.5	17.5	37.5	7.5	10.0	5.0				3.13
英語Ⅳ	中級	基礎16-22組	水3	鈴木　志のぶ	21		23.8	19.0	14.3	28.6	9.5	4.8					3.35
英語Ⅳ	中級	基礎16-22組	水3	田代　亜紀子	40	2.5	10.0	15.0	12.5	22.5	22.5	7.5	7.5				3.08
英語Ⅳ	中級	基礎16-22組	水3	奥　聡	30	6.7	10.0	13.3	16.7	23.3	6.7		10.0	3.3		10.0	2.84
英語Ⅳ	中級	基礎16-22組	水3	岡本　亮輔	39	5.1	7.7	2.6	25.6	30.8	15.4	12.8					3.10
英語Ⅳ	中級	基礎16-22組	水3	濵井　祐三子	40		7.5	27.5	30.0	10.0	10.0	2.5	10.0			2.5	3.14
英語Ⅳ	中級	基礎16-22組	水3	上田　雅信	24	8.3	16.7	16.7	12.5	20.8	16.7		8.3				3.30
英語Ⅳ	中級	基礎16-22組	水3	CAPOBIANCO PAUL JOSE	40	5.0	17.5	7.5	15.0	27.5	25.0		2.5				3.24
英語Ⅳ	中級	基礎6-15組	金3	土田　映子	40		10.0	12.5	15.0	27.5	15.0	12.5	7.5				3.03
英語Ⅳ	中級	基礎6-15組	金3	金　娥凛	40	2.5	12.5	17.5	20.0	35.0	10.0	2.5					3.29
英語Ⅳ	中級	基礎6-15組	金3	張　ジェヒョク	40	5.0	32.5	22.5	10.0	15.0	7.5	7.5					3.50
英語Ⅳ	中級	基礎6-15組	金3	熊谷　由美子	40	5.0	7.5	10.0	25.0	12.5	25.0	5.0	10.0				3.08
英語Ⅳ	中級	基礎6-15組	金3	ショーン　クランキー	39	2.6	7.7		10.3	15.4	10.3	15.4	30.8			7.7	2.46
英語Ⅳ	中級	基礎6-15組	金3	Piers Williamson	40		22.5	35.0	12.5	17.5	2.5	7.5			2.5		3.39
英語Ⅳ	中級	基礎6-15組	金3	TANAKA JAY MATSUO	40	7.5	2.5	30.0	10.0	40.0		5.0				5.0	3.18
英語Ⅳ	中級	基礎6-15組	金3	RICHARDSON PETER	41	4.9	7.3	19.5	26.8	22.0	14.6	2.4		2.4			3.24
英語Ⅳ	中級	基礎6-15組	金3	及川　陽子	41	4.9	9.8	4.9	22.0	17.1	7.3	22.0	12.2				2.96

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度２学期　全学教育（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月12日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
英語Ⅳ	中級	基礎1-5組	金4	及川　陽子	40	5.0	17.5	10.0	27.5	15.0	10.0	10.0	5.0				3.24
英語Ⅳ	中級	基礎1-5組	金4	RICHARDSON PETER	40	2.5	5.0	35.0	27.5	22.5	5.0	2.5					3.38
英語Ⅳ	中級	基礎1-5組	金4	ピーター・リームスト	36		11.1	19.4	11.1	22.2	13.9	5.6	2.8			13.9	2.76
英語Ⅳ	中級	基礎1-5組	金4	CAPOBIANCO PAUL JOSE	31	6.5	19.4	19.4	12.9	29.0	3.2		9.7				3.35
ドイツ語Ⅰ	（１学期再履修）	基礎1-52組	火1,木1	寺田　龍男	20		10.0	5.0		10.0	20.0	10.0	15.0			30.0	1.96
ドイツ語Ⅱ	（金４はＣＡＬＬ授業）	理独Ｂ 01組	火4,金4	岡崎　朝美	38	7.9	23.7	23.7	13.2	7.9	7.9	2.6	7.9		5.3		3.30
ドイツ語Ⅱ	（金４はＣＡＬＬ授業）	理独Ｂ 02組	火4,金4	齋藤　拓也	34	5.9	11.8	11.8	20.6	11.8	14.7	8.8	11.8			2.9	3.03
ドイツ語Ⅱ	（金４はＣＡＬＬ授業）	理独Ｂ 03組	火4,金4	阿部　和夫	39	5.1	17.9	7.7	15.4	17.9	10.3	5.1	20.5				3.07
ドイツ語Ⅱ	（金４はＣＡＬＬ授業）	理独Ｂ 04組	火4,金4	荻原　達夫	33	3.0	24.2	21.2	12.1	15.2	15.2	6.1	3.0				3.35
ドイツ語Ⅱ	（金４はＣＡＬＬ授業）	理独Ｂ 05組	火4,金4	佐藤　和枝	35	2.9	20.0	20.0	14.3	17.1	8.6		14.3		2.9		3.19
ドイツ語Ⅱ	（金４はＣＡＬＬ授業）	理独Ｂ 06組	火4,金4	寺田　龍男	33	9.1	12.1	27.3	18.2	6.1	12.1	9.1			6.1		3.25
ドイツ語Ⅱ	（水２はＣＡＬＬ授業）	理独Ａ 01組	月1,水2	杉浦　康則	37	2.7	13.5	5.4	24.3	13.5	13.5	10.8	10.8	2.7		2.7	2.92
ドイツ語Ⅱ	（水２はＣＡＬＬ授業）	理独Ａ 03組	月1,水2	佐藤　和枝	37	5.4	13.5	16.2	13.5	16.2	18.9	5.4	2.7		2.7	5.4	3.01
ドイツ語Ⅱ	（水２はＣＡＬＬ授業）	理独Ａ 04組	月1,水2	荻原　達夫	38	13.2	7.9	13.2	18.4	7.9	13.2	7.9	5.3	5.3	5.3	2.6	2.94
ドイツ語Ⅱ	（水２はＣＡＬＬ授業）	理独Ａ 05組	月1,水2	中村　寿	34		14.7	17.6	14.7	8.8	29.4	11.8				2.9	3.06
ドイツ語Ⅱ	（水２はＣＡＬＬ授業）	理独Ａ 06組	月1,水2	橋本　聡	38		18.4	15.8	7.9	5.3	5.3	7.9	23.7	2.6		13.2	2.56
ドイツ語Ⅱ	（水２はＣＡＬＬ授業）	理独Ａ 07組	月1,水2	阿部　和夫	37	5.4	18.9	2.7	13.5	18.9	5.4	18.9	16.2				3.01
ドイツ語Ⅱ	（水２はＣＡＬＬ授業）	理独Ａ 02組	月1,水2	塩谷　幸子	41	7.3	31.7	7.3	9.8	7.3	19.5	9.8	4.9			2.4	3.24
ドイツ語Ⅱ	（水３はＣＡＬＬ授業）	理独Ｃ 01組	水3,木3	江口　豊	33	3.0	15.2	18.2	18.2	15.2	12.1	3.0	6.1	3.0	6.1		3.05
ドイツ語Ⅱ	（水３はＣＡＬＬ授業）	理独Ｃ 02組	水3,木3	齋藤　拓也	34	5.9	17.6	11.8	8.8	5.9	14.7	17.6	14.7			2.9	2.96
ドイツ語Ⅱ	（水３はＣＡＬＬ授業）	理独Ｃ 03組	水3,木3	寺田　龍男	32	6.3	18.8	25.0	18.8	18.8	6.3		6.3				3.42
ドイツ語Ⅱ	（水３はＣＡＬＬ授業）	理独Ｃ 04組	水3,木3	橋本　聡	33	9.1	27.3	12.1	6.1	12.1	6.1	6.1	15.2			6.1	3.10
ドイツ語Ⅱ	（水３はＣＡＬＬ授業）	理独Ｃ 05組	水3,木3	杉浦　康則	35	2.9	11.4	25.7	8.6	22.9	14.3	11.4	2.9				3.21
ドイツ語Ⅱ	（水３はＣＡＬＬ授業）	理独Ｃ 07組	水3,木3	岡崎　朝美	32	9.4	31.3	15.6	6.3	9.4	3.1	12.5	9.4	3.1			3.31
ドイツ語Ⅱ	（水３はＣＡＬＬ授業）	理独Ｃ 06組	水3,木3	中村　寿	31		12.9	9.7	22.6	22.6	29.0	3.2					3.15
ドイツ語Ⅱ	（木４はＣＡＬＬ授業）	文独 02組	月2,木4	佐藤　和枝	40	7.5	15.0	10.0	10.0	10.0	20.0	5.0	12.5		2.5	7.5	2.85
ドイツ語Ⅱ	（木４はＣＡＬＬ授業）	文独 01組	月2,木4	橋本　聡	38	7.9	18.4	10.5	21.1	10.5	13.2		13.2	2.6	2.6		3.14
ドイツ語Ⅱ	（木４はＣＡＬＬ授業）	文独 03組	月2,木4	中村　寿	39	5.1	12.8	5.1	33.3	17.9	23.1					2.6	3.18
ドイツ語Ⅱ	（木４はＣＡＬＬ授業）	文独 04組	月2,木4	塩谷　幸子	37	10.8	21.6	16.2	18.9	5.4	13.5	5.4	5.4			2.7	3.31
フランス語Ⅰ	（１学期再履修）	基礎1-52組	火1,木1	鍋島　孝子	8				12.5		25.0	25.0	12.5		25.0		2.09
フランス語Ⅱ	（火４はＣＡＬＬ授業）	仏語 05組	火4,金4	竹中　のぞみ	39	7.7	17.9	17.9	28.2	10.3	7.7	5.1			2.6	2.6	3.29
フランス語Ⅱ	（火４はＣＡＬＬ授業）	仏語 06組	火4,金4	金山　準	39	15.4	23.1	25.6	20.5	5.1	5.1	2.6	2.6				3.61
フランス語Ⅱ	（月１はＣＡＬＬ授業）	仏語 09組	月1,水2	金山　準	35	8.6	14.3	22.9	8.6	8.6	20.0	2.9	5.7	2.9	2.9	2.9	3.09
フランス語Ⅱ	（月１はＣＡＬＬ授業）	仏語 08組	月1,水2	竹中　のぞみ	35	2.9	28.6	17.1	11.4	8.6	5.7	2.9	11.4	2.9	2.9	5.7	3.03
フランス語Ⅱ	（月１はＣＡＬＬ授業）	仏語 07組	月1,水2	長野　督	36	11.1	13.9	13.9	11.1	8.3	19.4	8.3	8.3		5.6		3.09

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度２学期　全学教育（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月12日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
フランス語Ⅱ	(木３はＣＡＬＬ授業)	仏語 10組	水3,木3	金山　準	41	22.0	14.6	4.9	17.1	19.5	9.8	2.4	4.9		4.9		3.31
フランス語Ⅱ	(木３はＣＡＬＬ授業)	仏語 11組	水3,木3	鍋島　孝子	39	5.1	35.9	15.4	23.1	5.1	10.3		2.6			2.6	3.47
フランス語Ⅱ	(木４はＣＡＬＬ授業)	仏語 02組	月2,木4	金山　準	36	11.1	5.6	19.4	25.0	16.7	13.9	8.3					3.31
フランス語Ⅱ	(木４はＣＡＬＬ授業)	仏語 03組	月2,木4	鍋島　孝子	35	5.7	25.7	20.0	20.0	14.3	2.9		5.7		5.7		3.33
フランス語Ⅱ	(木４はＣＡＬＬ授業)	仏語 04組	月2,木4	竹中　のぞみ	33		18.2	12.1	18.2	21.2	15.2	3.0	6.1			6.1	3.01
フランス語Ⅱ	(木４はＣＡＬＬ授業)	仏語 01組	月2,木4	長野　督	35	5.7	17.1	11.4	17.1	17.1	14.3	8.6	5.7		2.9		3.15
ロシア語Ⅰ	(１学期再履修)	基礎1-52組	火1,木1	佐光　伸一	3				33.3				33.3			33.3	1.77
ロシア語Ⅱ		露語 02組	火4,金4	ブンティロフ　ゲオル	24	20.8	16.7	25.0	12.5	16.7			4.2			4.2	3.48
ロシア語Ⅱ		露語 01組	月2,木4	宇佐見　森吉	39	12.8	30.8	20.5	2.6	7.7	7.7	5.1	7.7	2.6		2.6	3.36
ロシア語Ⅱ		露語 03組	月1,水2	宇佐見　森吉	26	7.7	19.2	26.9	3.8	3.8		11.5	11.5		11.5	3.8	2.92
ロシア語Ⅱ		露語 04組	水3,木3	杉浦　秀一	34	14.7	11.8	11.8	5.9	5.9	14.7	14.7	14.7	2.9		2.9	2.97
中国語Ⅰ	(１学期再履修)	基礎1-52組	火1,木1	楊　彩虹	50			2.0	10.0	10.0	14.0	8.0	20.0		4.0	32.0	1.69
中国語Ⅱ	(火４はＣＡＬＬ授業)	中国語 09組	火4,金4	王　冰	40	7.5	10.0	15.0	15.0	15.0	22.5	5.0	5.0	2.5		2.5	3.07
中国語Ⅱ	(火４はＣＡＬＬ授業)	中国語 10組	火4,金4	張　雷	37	5.4	32.4	18.9	16.2	8.1	2.7	8.1	2.7	2.7		2.7	3.35
中国語Ⅱ	(火４はＣＡＬＬ授業)	中国語 08組	火4,金4	渡邉　浩平	37	13.5	5.4	10.8	5.4	16.2	8.1	10.8	18.9		10.8		2.78
中国語Ⅱ	(火４はＣＡＬＬ授業)	中国語 07組	火4,金4	唐　イ	38	21.1	18.4	2.6	13.2	18.4		2.6	23.7				3.26
中国語Ⅱ	(火４はＣＡＬＬ授業)	中国語 06組	火4,金4	㊝　玉芝	40	7.5	15.0	7.5	30.0	15.0	12.5	7.5	5.0				3.25
中国語Ⅱ	(月１はＣＡＬＬ授業)	中国語 12組	月1,水2	藤野　陽平	37	5.4	29.7	18.9	13.5	8.1	8.1	5.4	2.7			8.1	3.21
中国語Ⅱ	(月１はＣＡＬＬ授業)	中国語 11組	月1,水2	楊　彩虹	39	7.7	28.2	7.7	7.7	12.8	17.9	2.6	5.1	5.1	2.6	2.6	3.10
中国語Ⅱ	(月１はＣＡＬＬ授業)	中国語 15組	月1,水2	王　冰	38	13.2	13.2	2.6	5.3	5.3	23.7	10.5	10.5	5.3	7.9	2.6	2.72
中国語Ⅱ	(月１はＣＡＬＬ授業)	中国語 14組	月1,水2	徐　蘭巧	41	4.9	17.1	7.3	24.4	17.1	7.3	14.6	4.9			2.4	3.11
中国語Ⅱ	(月１はＣＡＬＬ授業)	中国語 13組	月1,水2	唐　イ	38	13.2	7.9	13.2	15.8	15.8	10.5	7.9	13.2		2.6		3.11
中国語Ⅱ	(月２はＣＡＬＬ授業)	中国語 05組	月2,木4	長井　裕子	39	7.7	12.8	10.3	10.3	15.4	15.4	10.3	12.8	2.6	2.6		2.97
中国語Ⅱ	(月２はＣＡＬＬ授業)	中国語 04組	月2,木4	清水　賢一郎	38	7.9	18.4	13.2	21.1	13.2	7.9	5.3	7.9		2.6	2.6	3.16
中国語Ⅱ	(月２はＣＡＬＬ授業)	中国語 03組	月2,木4	楊　ウェンチー	38	2.6	28.9	23.7	13.2	10.5	2.6		13.2	2.6		2.6	3.26
中国語Ⅱ	(月２はＣＡＬＬ授業)	中国語 02組	月2,木4	西　茹	37	8.1	24.3	21.6	8.1	5.4	8.1	8.1	13.5		2.7		3.25
中国語Ⅱ	(月２はＣＡＬＬ授業)	中国語 01組	月2,木4	楊　彩虹	37	5.4	37.8	18.9		8.1	16.2		10.8	2.7			3.37
中国語Ⅱ	(木３はＣＡＬＬ授業)	中国語 17組	水3,木3	田邉　鉄	38	5.3	15.8	13.2	21.1	10.5	13.2	7.9	7.9	2.6	2.6		3.09
中国語Ⅱ	(木３はＣＡＬＬ授業)	中国語 16組	水3,木3	徐　蘭巧	40	5.0	22.5	2.5	10.0	27.5	12.5	7.5	5.0		7.5		3.03
中国語Ⅱ	(木３はＣＡＬＬ授業)	中国語 18組	水3,木3	㊝　玉芝	38	10.5	26.3	18.4	10.5	2.6	7.9	15.8	2.6	2.6		2.6	3.27
中国語Ⅱ	(木３はＣＡＬＬ授業)	中国語 19組	水3,木3	西　茹	37	5.4	21.6	21.6	18.9	10.8		8.1	10.8		2.7		3.27
中国語Ⅱ	(木３はＣＡＬＬ授業)	中国語 20組	水3,木3	藤野　陽平	37	5.4	16.2	13.5	16.2	18.9	10.8	5.4	5.4			8.1	3.01
スペイン語Ⅰ	(１学期再履修)	基礎1-52組	火1,木1	PAICHADZE SVETLANA	15			6.7	6.7		26.7	6.7	20.0		26.7	6.7	1.93
スペイン語Ⅱ		西語 06組	水3,木3	PAICHADZE SVETLANA	42	9.5	19.0	11.9	19.0	14.3	14.3	7.1				4.8	3.22
スペイン語Ⅱ		西語 05組	月1,水2	増田　哲子	43	4.7	11.6	16.3	9.3	4.7	14.0	14.0	14.0	7.0		4.7	2.76

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度２学期　全学教育（学部）
11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月12日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
スペイン語Ⅱ		西語 04組	火4,金4	LOPEZ JARA SANTIAGO	42	7.1	11.9	19.0	11.9	14.3	11.9	7.1	14.3		2.4		3.10
スペイン語Ⅱ		西語 01組	月2,木4	LOPEZ JARA SANTIAGO	45	15.6	11.1	11.1	22.2	15.6	2.2	13.3	4.4		4.4		3.21
スペイン語Ⅱ		西語 02組	月2,木4	増田　哲子	43	9.3	14.0	20.9	14.0	16.3	11.6	4.7	2.3	2.3		4.7	3.17
スペイン語Ⅱ		西語 03組	火4,金4	PAICHADZE SVETLANA	45	15.6	11.1	17.8	22.2	6.7	11.1	4.4	6.7			4.4	3.24
韓国語Ⅰ	（１学期再履修）	基礎1-52組	火1,木1	玄　武岩	5	20.0		20.0	20.0			20.0	20.0				3.12
韓国語Ⅱ		韓国語 02組	火4,金4	呉　明熙	33	6.1	15.2	27.3	15.2	12.1	3.0	3.0	6.1	3.0	9.1		3.11
韓国語Ⅱ		韓国語 03組	月1,水2	曺　順姫	37	2.7	13.5	10.8	16.2	16.2	10.8	13.5	5.4	8.1		2.7	2.87
韓国語Ⅱ		韓国語 04組	水3,木3	金　ソンミン	38	7.9	5.3	13.2	10.5	21.1	21.1	13.2	5.3		2.6		3.01
韓国語Ⅱ		韓国語 01組	月2,木4	玄　武岩	39	7.7	23.1	7.7	20.5	7.7	10.3	10.3	5.1		2.6	5.1	3.08
英語演習	初級：Pronunciation and Oral Recitation	基礎1-52組	金4	カワイ・カサンドラ	8	12.5	62.5									25.0	3.04
英語演習	初級：The study of western civilization	基礎1-52組	水5	Tyrel Eskelson	5			20.0	80.0								3.38
英語演習	初級：英語で読書～多読で広げる英語の世界	基礎1-52組	月5	濵井　祐三子	24	16.7	12.5	25.0	29.2	8.3						8.3	3.35
英語演習	初級：英語を通して、医療に触れてみよう！	基礎1-52組	金5	尾崎　倫孝	21	4.8	23.8	33.3	9.5	9.5		4.8	4.8			9.5	3.20
英語演習	初級：原著で読むバイオテクノロジー	基礎1-52組	火5	幸田　敏明	24	4.2	25.0	20.8	25.0	8.3	4.2					12.5	3.14
英語演習	初級：言語と社会	基礎1-52組	水1	大友　瑠璃子	19	5.3	5.3	15.8	15.8	26.3	15.8	5.3	5.3	5.3			3.04
英語演習	初級：児童文学で学ぶ英語リーディング	基礎1-52組	金2	熊谷　由美子	30		6.7	6.7	6.7	33.3	20.0	6.7	10.0			10.0	2.63
英語演習	初級：食の楽しみ	基礎1-52組	木4	及川　陽子	25	8.0	20.0	12.0	12.0	8.0	12.0	20.0	4.0			4.0	3.09
英語演習	初級：地質学の歴史	基礎1-52組	火1	PYTHON MARIE	3						33.3	66.7					2.43
英語演習	上級：Language and the Mind: An Introduction to Cognitive Linguistics	基礎1-52,54組	木5	RICHARDSON PETER	1					100.0							3.00
英語演習	上級：Gaming International Relations	基礎1-52,54組	火3	Piers Williamson	7		28.6			28.6			28.6		14.3		2.67
英語演習	上級：リスニングとパブリックスピーキング	基礎1-52組	木2	大野　由夏	9		66.7	33.3									3.90
英語演習	上級：英語資格試験対策講座2019（２）	基礎1-52組	金2	長島　美織	10	60.0										40.0	2.58
英語演習	上級：英語資格試験対策講座2019（２）	基礎1-52組	水1	長島　美織	10	50.0		20.0	10.0	10.0						10.0	3.52
英語演習	上級：北方生物圏フィールドバイオサイエンス	基礎1-52組	水5	星野　洋一郎	4	25.0	25.0	50.0									3.93
英語演習	上級：留学支援英語Ⅰ2019（２）	基礎1-52組	火4	長島　美織	2	100.0											4.30
英語演習	上級：留学支援英語Ⅰ2019（２）	基礎1-52組	火3	長島　美織	9	66.7		22.2								11.1	3.69
英語演習	上級：留学支援英語Ⅰ2019（２）	基礎1-52組	火2	長島　美織	16			93.8	6.3								3.68
英語演習	上級：留学支援英語Ⅰ2019（２）	基礎1-52組	月3	長島　美織	17	52.9		17.6	29.4								3.90
英語演習	上級：留学支援英語Ⅰ2019（２）	基礎1-52組	水4	長島　美織	5	80.0		20.0									4.18
英語演習	上級：留学支援英語Ⅰ2019（２）	基礎1-52組	月2	長島　美織	8	75.0		12.5								12.5	3.69
英語演習	上級：留学支援英語Ⅱ2019（２）	基礎1-52組	木2	長島　美織	9	77.8		22.2									4.17
英語演習	上級：留学支援英語Ⅱ2019（２）	基礎1-52組	月4	長島　美織	10	20.0		20.0	50.0							10.0	3.25
英語演習	上級：留学支援英語Ⅲ2019（２）	基礎1-52組	水5	長島　美織	7	100.0											4.30
英語演習	中級：Animal-Human-Technology: Thoughts and Theories	基礎1-52,54組	月5	ハンセン　ポール　サ	4	25.0		25.0							50.0		2.35
英語演習	中級：Approaches to Second Language Teaching: Speaking and Listening	基礎1-52組	火3	TANAKA JAY MATSUO	10		10.0	20.0	10.0	10.0	10.0					40.0	2.04

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度２学期　全学教育（学部）
11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月12日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
英語演習	中級：High School Education in Canada	基礎1-52組	火5	岡部　敦	3	100.0											4.30
英語演習	中級：Introduction to Intercultural Communication	基礎1-52,54組	金2	CAPOBIANCO PAUL JOSE	7					14.3			14.3	71.4			1.43
英語演習	中級：Introduction to Marine Science 「海洋科学入門」	基礎1-52組	火3	バウア・ジョン・リチ	15			40.0	33.3	13.3		6.7			6.7		3.18
英語演習	中級：Language and Society	基礎1-52組	水4	冨成　絢子	23	8.7	8.7	4.3	21.7	26.1	4.3	8.7	13.0	4.3			3.00
英語演習	中級：Language and Society	基礎1-52組	木3	冨成　絢子	3			33.3		33.3		33.3					3.00
英語演習	中級：Music and Culture	基礎1-52,54組	水5	ハンセン　ポール　サ	6		16.7	16.7	16.7				16.7		33.3		2.40
英語演習	中級：Music and Culture	基礎1-52,54組	火4	ハンセン　ポール　サ	1			100.0									3.70
英語演習	中級：Personal Stories and Religion	基礎1-52,54組	木3	RICHARDSON PETER	3			33.3							66.7		1.70
英語演習	中級：Practicing Basic Natural Everyday English	基礎1-52,54組	金4	Piers Williamson	14		7.1	7.1	21.4	21.4	7.1	14.3		7.1	14.3		2.59
英語演習	中級：Reading an essay on mind and its evolution	基礎1-52組	月3	上田　雅信	24	4.2	12.5	29.2	20.8	20.8	4.2	4.2	4.2				3.36
英語演習	中級：Theories of Second Language Learning	基礎1-52,54組	水2	TANAKA JAY MATSUO	8		25.0		12.5	12.5		12.5				37.5	2.08
英語演習	中級：popular scienceを読む	基礎1-52組	水1	原田　真見	24	25.0	4.2	25.0	12.5	4.2	12.5	8.3				8.3	3.23
英語演習	中級：キャンパス英語2019（２）	基礎1-52組	木5	長島　美織	20	15.0		65.0	10.0							10.0	3.38
英語演習	中級：キャンパス英語2019（２）	基礎1-52組	金3	長島　美織	19	31.6		42.1	26.3								3.78
英語演習	中級：ニューヨークタイムズの記事を読む	基礎1-52組	木3	大野　公裕	24		25.0	16.7	25.0	8.3	8.3		4.2			12.5	3.00
英語演習	中級：ニューヨークタイムズの記事を読む	基礎1-52組	木5	大野　公裕	24	12.5	12.5	37.5	12.5	12.5		8.3		4.2			3.45
英語演習	中級：モチベーションの心理学	基礎1-52組	火5	大谷　和大	25	4.0	4.0	20.0	24.0	16.0	16.0	8.0	4.0		4.0		3.07
英語演習	中級：異文化間コミュニケーションの実践	基礎1-52組	水3	山田　悦子	9	33.3	22.2	22.2	11.1		11.1						3.81
英語演習	中級：映画の英語の読解と聴解	基礎1-52組	火1	山田　義裕	25	4.0	8.0	16.0	16.0	20.0	16.0	4.0				16.0	2.74
英語演習	中級：英語で学ぶ仏教の基礎	基礎1-52組	木5	林寺　正俊	14	14.3		28.6	21.4	21.4		7.1	7.1				3.33
英語演習	中級：英語で巡る世界の旅	基礎1-52組	木5	樋渡　雅人	23		26.1	30.4	21.7	8.7	8.7					4.3	3.38
英語演習	中級：英語で読む分子生物学	基礎1-52組	水5	安田　元昭	28	7.1	7.1	25.0	25.0				28.6		3.6	3.6	2.94
英語演習	中級：英国ロックの歴史	基礎1-52組	月4	松井　美穂	23	4.3	21.7	17.4	13.0	13.0	17.4	4.3	8.7				3.27
英語演習	中級：英日翻訳の基礎	基礎1-52組	木2	佐藤　美希	22		18.2	18.2	27.3	4.5	22.7	4.5	4.5				3.25
英語演習	中級：英文法の学び直し	基礎1-52組	火3	山田　義裕	25	4.0	8.0	12.0	20.0	24.0	20.0	4.0				8.0	2.95
英語演習	中級：観光研究へのアプローチ	基礎1-52組	月2	西川　克之	23	8.7	30.4	8.7	17.4	17.4		4.3	8.7			4.3	3.28
英語演習	中級：語彙と読解	基礎1-52組	金1	園田　勝英	23	13.0	43.5		21.7	8.7			4.3	4.3		4.3	3.41
英語演習	中級：人間の社会行動に関する英語文献を読む	基礎1-52組	火1	高橋　泰城	24	29.2	41.7	16.7								12.5	3.54
英語演習	中級：多読で読むミステリー	基礎1-52組	木2	原田　真見	23	13.0	17.4	30.4	13.0	8.7	4.3		8.7			4.3	3.37
英語演習	中級：電気電子工学技術者のための実用英語―アメリカのアマチュア無線免許試験準拠	基礎1-52組	水3	河合　剛	6		66.7		16.7	16.7							3.72
英語演習	中級：日本の地誌	基礎1-52組	水5	仁平　尊明	30	3.3	16.7	10.0	30.0	26.7	10.0			3.3			3.27
英語演習	中級：北海道：明治と平成	基礎1-52組	木5	ラフェイ　ミシェル	2			50.0		50.0							3.35
ドイツ語演習	基礎：Chatten auf Deutsch - チャットで学ぶ文法・作文・会話	基礎1-52組	水5	藤本　純子	19	5.3	26.3	10.5	10.5	10.5	21.1	10.5				5.3	3.14
ドイツ語演習	基礎：ありのままのドイツ	基礎1-52組	火5	阿部　和夫	24	8.3	16.7	29.2	12.5	4.2	4.2		16.7			8.3	3.09
ドイツ語演習	基礎：ドイツの日常生活における言語と文化Ⅱ	基礎1-52組	水2	浅野　友紀	11	27.3	18.2		54.5								3.70

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度２学期　全学教育（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月12日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
ドイツ語演習	基礎：ドイツ語で日常のコミュニケーション Ⅱ	基礎1-52組	水5	Randhage Sabine Mart	25	20.0	12.0	28.0	8.0	16.0		4.0	8.0			4.0	3.37
ドイツ語演習	基礎：ドイツ語で日常のコミュニケーション Ⅱ	基礎1-52組	水4	Randhage Sabine Mart	30	16.7	10.0	13.3	16.7	6.7		16.7	10.0	6.7		3.3	3.01
ドイツ語演習	基礎：ドイツ語の物語を読む	基礎1-52組	月3	佐藤　和枝	25	8.0	8.0	4.0	16.0	20.0	16.0	12.0	12.0			4.0	2.89
ドイツ語演習	基礎：ドイツ語スタートライン（２）	基礎1-52組	月5	マティアス・グリュー	7		28.6			28.6		14.3	14.3			14.3	2.61
ドイツ語演習	基礎：国際的な視点から見たドイツ Ⅱ	基礎1-52組	木4	Randhage Sabine Mart	24	16.7	25.0	33.3	12.5	4.2		4.2		4.2			3.63
ドイツ語演習	基礎：国際的な視点から見たドイツ Ⅱ	基礎1-52組	金3	Randhage Sabine Mart	16	25.0	12.5	25.0	12.5	18.8	6.3						3.64
ドイツ語演習	基礎：独文解釈入門	基礎1-52組	金5	荻原　達夫	23	17.4	34.8	4.3	17.4				13.0			13.0	3.13
ドイツ語演習	基礎：日常生活のためのドイツ語コミュニケーション Ⅱ	基礎1-52組	木5	Randhage Sabine Mart	11	36.4	18.2	9.1	9.1	9.1					18.2		3.33
ドイツ語演習	基礎：日本の若者のためのドイツ語 Ⅱ	基礎1-52組	火4	Randhage Sabine Mart	6	16.7		16.7	33.3	16.7		16.7					3.32
ドイツ語演習	基礎：日本の若者のためのドイツ語 Ⅱ	基礎1-52組	火5	Randhage Sabine Mart	23	13.0	13.0	8.7	4.3	21.7	21.7	13.0	4.3				3.17
ドイツ語演習	初級：「ドイツ語の扉」10章～12章	基礎1-52組	木2	浅野　友紀	7	28.6	14.3		14.3	28.6						14.3	3.13
ドイツ語演習	初級：ドイツの生活と社会	基礎1-52組	金2	Randhage Sabine Mart	4	25.0			75.0								3.55
ドイツ語演習	初級：ドイツの日常生活における言語と文化Ⅲ	基礎1-52組	水3	浅野　友紀	1											100.0	0.00
ドイツ語演習	初級：ドイツ語ステップアップ（２）	基礎1-52組	木2	マティアス・グリュー	2		50.0									50.0	2.00
ドイツ語演習	中級：ドイツ語で哲学・思想のテキストを読む	基礎1-52組	水5	田口　茂	2	100.0											4.30
ドイツ語演習	中級：文法と読解中心のドイツ語	基礎1-52組	木5	清水　誠	1		100.0										4.00
ドイツ語演習	入門：ドイツの日常生活における言語と文化Ⅰ	基礎1-52組	火2	浅野　友紀	27	7.4	14.8		25.9	29.6	3.7	3.7				14.8	2.84
フランス語演習	基礎：Level II	基礎1-52組	月3	CLERCQ LUCIEN LAUREN	25	8.0	24.0	12.0	8.0	12.0	4.0	8.0	24.0				3.14
フランス語演習	基礎：Level II	基礎1-52組	火2	CLERCQ LUCIEN LAUREN	25	8.0	4.0	12.0	12.0	24.0	4.0	4.0	16.0	8.0	4.0	4.0	2.69
フランス語演習	基礎：Level II	基礎1-52組	金2	CLERCQ LUCIEN LAUREN	14	7.1	14.3	14.3	7.1	21.4	7.1	7.1	7.1			14.3	2.79
フランス語演習	基礎：基礎講読19B	基礎1-52組	水1	竹中　のぞみ	29	13.8	10.3	6.9	17.2	10.3	6.9	6.9	20.7		6.9		2.95
フランス語演習	基礎：基礎講読19C	基礎1-52組	木2	金山　準	30	26.7	13.3	10.0	6.7	6.7	3.3	6.7	6.7			20.0	2.85
フランス語演習	基礎：仏検４級傾向と対策	基礎1-52組	火3	長野　督	29	20.7	31.0	13.8	6.9	10.3	6.9			3.4	6.9		3.45
フランス語演習	初級：Level III	基礎1-52組	金1	CLERCQ LUCIEN LAUREN	2	50.0	50.0										4.15
フランス語演習	初級：Vassilis Alexakis, Papa et autres nouvelles	基礎1-52組	木3	白水　浩信	6	50.0			50.0								3.80
フランス語演習	入門：Level I	基礎1-52組	火3	CLERCQ LUCIEN LAUREN	23		26.1	13.0	13.0	17.4	4.3	4.3	8.7			13.0	2.87
フランス語演習	入門：Level I	基礎1-52組	月4	CLERCQ LUCIEN LAUREN	24	4.2	16.7	12.5		4.2	4.2	4.2	25.0	25.0		4.2	2.39
フランス語演習	入門：Level I	基礎1-52組	木1	CLERCQ LUCIEN LAUREN	20		20.0	15.0		15.0	20.0	10.0	10.0			10.0	2.78
フランス語演習	入門：Level I	基礎1-52組	木2	CLERCQ LUCIEN LAUREN	25		24.0	16.0	12.0	12.0	8.0		8.0	8.0		12.0	2.76
ロシア語演習	基礎：会話Ⅱ	基礎1-52組	月5	アンナ　サヴィヌイフ	10	10.0	10.0	20.0	10.0		20.0	10.0	10.0			10.0	2.87
ロシア語演習	基礎：総合Ⅱ	基礎1-52組	木5	宇佐見　多佳子	24	8.3	25.0	16.7	16.7	12.5	8.3	4.2	8.3				3.39
ロシア語演習	基礎：総合Ⅱ	基礎1-52組	水5	宇佐見　森吉	9	33.3	22.2	11.1	22.2		11.1						3.77
ロシア語演習	初級：会話Ⅳ	基礎1-52組	金2	プンティロフ　ゲオル	1	100.0											4.30
ロシア語演習	初級：講読	基礎1-52組	木5	杉浦　秀一	1	100.0											4.30
ロシア語演習	入門：会話Ⅰ	基礎1-52組	火5	プンティロフ　ゲオル	16	56.3	31.3									12.5	3.67

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度２学期　全学教育（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月12日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
中国語演習	基礎：音から学ぶ中国語基礎	基礎1-52組	木5	渡邉　浩平	22	13.6	4.5	18.2	31.8	13.6			9.1		9.1		3.15
中国語演習	基礎：基礎中国語会話	基礎1-52組	月4	楊　彩虹	29	13.8	24.1	20.7	10.3	10.3	17.2	3.4					3.52
中国語演習	基礎：基礎中国語会話	基礎1-52組	火3	楊　彩虹	30	3.3	33.3	13.3	23.3	13.3	6.7		3.3			3.3	3.39
中国語演習	基礎：好吃！食エッセイで中国語	基礎1-52組	木2	長井　裕子	25	8.0	16.0	16.0	8.0	20.0		8.0	16.0			8.0	2.94
中国語演習	基礎：中国古典を読む	基礎1-52組	火1	近藤　浩之	30	13.3	36.7	13.3	16.7	6.7	3.3		3.3			6.7	3.44
中国語演習	基礎：中国語でコミュニケーションしてみよう	基礎1-52組	水5	王　冰	17	5.9	5.9		23.5	17.6	29.4		17.6				2.94
中国語演習	基礎：中国語で書いてみよう	基礎1-52組	火3	楊　ウェンチー	24	4.2	8.3	45.8	4.2	20.8	8.3		4.2			4.2	3.28
中国語演習	基礎：中国語で書いてみよう	基礎1-52組	木2	楊　ウェンチー	25	4.0	12.0	24.0	24.0	20.0	4.0		4.0	8.0			3.20
中国語演習	基礎：中国語で書いてみよう	基礎1-52組	月5	楊　ウェンチー	15	6.7	13.3	20.0	26.7	20.0	6.7					6.7	3.22
中国語演習	基礎：中国語で話すために	基礎1-52組	火5	藤野　陽平	22	4.5	18.2	13.6	4.5	13.6	13.6	13.6	9.1	9.1			2.94
中国語演習	基礎：中国語を楽しく覚えよう！	基礎1-52組	木5	楊　ウェンチー	18	5.6	22.2	16.7	11.1	5.6	16.7	11.1	11.1				3.21
中国語演習	基礎：中国語会話	基礎1-52組	水4	楊　彩虹	29	10.3	27.6	13.8	13.8	6.9	13.8	6.9	3.4			3.4	3.32
中国語演習	基礎：中国語会話と読解	基礎1-52組	水1	唐　イ	29	20.7	20.7	13.8	17.2	6.9	3.4	3.4	6.9			6.9	3.31
中国語演習	基礎：話したくなる中国語	基礎1-52組	金3	張　雷	24	8.3	12.5	20.8	20.8	16.7	4.2	8.3	4.2			4.2	3.20
中国語演習	基礎：話す中国語	基礎1-52組	水4	𠮷　玉芝	23	8.7	26.1	13.0	8.7	21.7	8.7	4.3	8.7				3.35
中国語演習	基礎：話す中国語	基礎1-52組	金5	𠮷　玉芝	24	12.5	20.8	8.3	33.3	4.2			4.2			16.7	2.99
中国語演習	初級：ネイティブの中国語表現	基礎1-52組	水5	西　茹	4		75.0	25.0									3.93
中国語演習	上級：時事ニュースで学ぶ中国語	基礎1-52組	火5	楊　彩虹	4	25.0		50.0								25.0	2.93
中国語演習	中級：中国語でのコミュニケーション-2	基礎1-52組	火1	伊　敏	4			50.0								50.0	1.85
中国語演習	入門：はじめての中国語	基礎1-52組	火2	楊　ウェンチー	23	4.3	30.4	17.4	13.0	4.3	4.3	8.7	4.3	4.3	4.3	4.3	3.09
スペイン語演習	基礎：スペインのテクストでスペイン語文法を学ぶ	基礎1-52組	金3	石井　登	13	7.7	7.7	23.1	30.8	15.4						15.4	2.97
スペイン語演習	基礎：スペイン語を使ってみよう	基礎1-52組	水4	増田　哲子	24	20.8	16.7	12.5	20.8	12.5	8.3		8.3				3.48
スペイン語演習	基礎：スペイン語訳『セロ弾きのゴーシュ』を読む	基礎1-52組	木2	岩澤　康裕	24	20.8	16.7	12.5	4.2	20.8	16.7					8.3	3.24
スペイン語演習	基礎：表現するための口頭コミュニケーション　II	基礎1-52組	木5	LOPEZ JARA SANTIAGO	14	7.1	42.9	7.1	14.3	7.1	7.1		7.1			7.1	3.31
スペイン語演習	基礎：表現するための口頭コミュニケーション　II	基礎1-52組	金5	LOPEZ JARA SANTIAGO	14	7.1	21.4	21.4	14.3	14.3						21.4	2.86
スペイン語演習	基礎：表現するための筆記コミュニケーション　II	基礎1-52組	火5	LOPEZ JARA SANTIAGO	24	16.7	4.2	8.3	16.7	16.7	20.8		4.2			12.5	2.89
スペイン語演習	上級：時事スペイン語上級講読	基礎1-52組	木5	山下　好孝	7	71.4	28.6										4.21
スペイン語演習	中級：表現するための筆記コミュニケーション　III	基礎1-52組	水5	LOPEZ JARA SANTIAGO	9	33.3	22.2	11.1	11.1							22.2	3.10
韓国語演習	基礎：さまざまな場面での会話文を学ぼう	基礎1-52組	木5	呉　明熙	24	20.8	12.5	16.7	20.8	16.7	8.3	4.2					3.52
韓国語演習	基礎：楽しくしゃべろう！韓国語	基礎1-52組	月5	金　娥凜	22	4.5	22.7	9.1	22.7	27.3	9.1		4.5				3.35
韓国語演習	基礎：韓国語読解	基礎1-52組	月5	李　連珠	15	46.7	40.0	6.7		6.7							4.05
韓国語演習	初級：エッセイを読んで語彙力アップ！	基礎1-52組	木4	千　永柱	4	25.0	25.0									50.0	2.08
韓国語演習	入門：今日から使える韓国語	基礎1-52組	火5	松田　由紀	24	8.3	4.2	12.5	12.5	12.5	4.2	12.5	20.8	4.2	4.2	4.2	2.66
外国語特別演習	イタリア語　入門：はじめてのイタリア語	基礎1-52組	水5	望月　由美子	25	8.0	40.0	12.0	4.0	8.0	16.0		4.0			8.0	3.27
外国語特別演習	イタリア語　初級：イタリア語を読む	基礎1-52組	木3	谷古宇　尚	2		50.0									50.0	2.00

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度２学期　全学教育（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月12日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
外国語特別演習	イタリア語　入門：イタリア語学入門	基礎1-52組	月5	チェスパ　マリアンナ	21	28.6	23.8	33.3			9.5					4.8	3.67
外国語特別演習	インドネシア語：入門	基礎1-52組	木5	田代　亜紀子	22	13.6	13.6	18.2	9.1	13.6	4.5	18.2	9.1				3.24
外国語特別演習	チェコ語　入門：話してみようチェコ語	基礎1-52組	水4	橋本　聡	24		20.8	8.3	12.5	4.2	12.5	12.5	4.2	12.5		12.5	2.51
外国語特別演習	ハンガリー語　入門：ハンガリー語で話してみよう	基礎1-52組	水3	ダナ・ハシモトヴァー	22	13.6	18.2	18.2	9.1	9.1	4.5	4.5	4.5	4.5		13.6	2.92
外国語特別演習	フィンランド語　基礎：コミュニケーション力と文法理解を深める	基礎1-52組	火5	水本　秀明	29	3.4	3.4	41.4	31.0	10.3	10.3						3.43
外国語特別演習	フィンランド語　入門：be動詞だけで多彩な表現を	基礎1-52組	火4	水本　秀明	29		20.7	27.6	24.1	3.4	13.8	3.4				6.9	3.20
外国語特別演習	ラテン語　基礎：古典ラテン語基礎	基礎1-52組	木1	川嵜　義和	2	100.0											4.30
自然科学実験	(ISP)	基礎54組	火4,火5	神谷　裕一	7		57.1	28.6	14.3								3.81
自然科学実験	(化学・生物)	基礎34-35,42-46組	木4,木5	加藤　徹	123	4.1	17.9	29.3	25.2	13.0	7.3	0.8	0.8		1.6		3.44
自然科学実験	(化学・生物)	基礎36-41組	水4,水5	梅澤　大樹	122	5.7	18.0	27.0	23.8	11.5	6.6	0.8	0.8	3.3	2.5		3.36
自然科学実験	(化学・生物)	基礎47-52組	火4,火5	柳澤　達也	114	6.1	21.1	28.1	16.7	15.8	7.0	0.9	0.9		3.5		3.42
自然科学実験	(化学・地球惑星科学)	基礎36-41組	水4,水5	梅澤　大樹	1										100.0		0.70
自然科学実験	(生物・地球惑星科学)	基礎47-52組	火4,火5	柳澤　達也	1			100.0									3.70
自然科学実験	(生物・地球惑星科学)	基礎36-41組	水4,水5	梅澤　大樹	1	100.0											4.30
自然科学実験	(生物・地球惑星科学)	基礎34-35,42-46組	木4,木5	加藤　徹	3				33.3	33.3					33.3		2.33
自然科学実験	(物理・化学)	基礎34-35,42-46組	木4,木5	加藤　徹	112	6.3	18.8	18.8	22.3	19.6	4.5	1.8	1.8	4.5	1.8		3.29
自然科学実験	(物理・化学)	基礎36-41組	水4,水5	梅澤　大樹	68	2.9	17.6	11.8	30.9	17.6	10.3	2.9	2.9	2.9			3.25
自然科学実験	(物理・化学)	基礎47-52組	火4,火5	柳澤　達也	83	2.4	16.9	25.3	22.9	15.7	7.2	2.4		3.6	3.6		3.25
自然科学実験	(物理・生物)	基礎47-52組	火4,火5	柳澤　達也	52	3.8	9.6	26.9	26.9	23.1	3.8	1.9		1.9	1.9		3.31
自然科学実験	(物理・生物)	基礎34-35,42-46組	木4,木5	加藤　徹	65	7.7	12.3	24.6	16.9	20.0	10.8			6.2	1.5		3.26
自然科学実験	(物理・生物)	基礎36-41組	水4,水5	梅澤　大樹	65	3.1	13.8	29.2	21.5	21.5	4.6		3.1		1.5	1.5	3.32
自然科学実験	(物理・地球惑星科学)	基礎47-52組	火4,火5	柳澤　達也	58	1.7	13.8	29.3	27.6	19.0	5.2		1.7	1.7			3.38
自然科学実験	(物理・地球惑星科学)	基礎34-35,42-46組	木4,木5	加藤　徹	58	3.4	20.7	24.1	22.4	24.1	1.7	1.7		1.7			3.44
自然科学実験	(物理・地球惑星科学)	基礎36-41組	水4,水5	梅澤　大樹	59	3.4	16.9	20.3	32.2	22.0		3.4				1.7	3.38
心理学実験		基礎1,5-15,53組	木1,木2	森本　琢	11			45.5		9.1	18.2	18.2	9.1				3.05
心理学実験		基礎2,16-27組	木1,木2	安達　真由美	40	10.0	12.5	20.0	20.0	25.0	5.0	2.5	2.5			2.5	3.32
心理学実験		基礎4,40-52組	木1,木2	河原　純一郎	25		12.0	24.0	20.0	20.0	16.0	4.0				4.0	3.15
心理学実験		基礎3,28-39組	木1,木2	川端　康弘	25	4.0	12.0	28.0	20.0	16.0	8.0	12.0					3.32
人文・社会科学の基礎	経済・経営学入門Ⅰ	基礎1-53組	火4	小山　光一	268	9.3	27.6	19.4	9.3	11.2	9.7	3.0	5.6	1.1	0.4	3.4	3.32
人文・社会科学の基礎	人文科学入門Ⅴ	基礎1-53組	水3	宮内　泰介	244		1.6	3.7	14.3	32.0	20.9	13.1	9.0	0.8	4.5		2.72
人文・社会科学の基礎	法学入門Ⅱ（民事法Ⅱ）	基礎1-53組	火4	根本　尚徳	202	0.5	12.4	16.8	12.9	17.8	10.4	7.9	4.0	3.0	5.4	8.9	2.71
線形代数学Ⅰ	学生番号末尾奇数		火1	田邊　顕一朗	8		12.5	12.5	12.5	25.0		12.5		25.0			2.66
線形代数学Ⅰ	学生番号末尾偶数		月5	朝倉　政典	19	10.5	15.8	10.5	36.8	15.8			5.3			5.3	3.27
線形代数学Ⅰ		基礎54組	水2,金3	Borislav Yordanov	7	14.3	71.4	14.3									4.00
線形代数学Ⅱ	(16組は学生番号末尾奇数)	基礎16,17組	火3	齋藤　睦	38	10.5	15.8	15.8	13.2	15.8	2.6	5.3	7.9	2.6	5.3	5.3	2.99

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度２学期　全学教育（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月12日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
線形代数学Ⅱ	(16組は学生番号末尾偶数)	基礎16,18組	火3	新井　朝雄	33	3.0	9.1	18.2	21.2	18.2	6.1	6.1	9.1	3.0		6.1	2.93
線形代数学Ⅱ	(19組は学生番号末尾奇数)	基礎19,20組	火3	山下　博	39		12.8	17.9	15.4	15.4	12.8	5.1	7.7	2.6	2.6	7.7	2.81
線形代数学Ⅱ	(19組は学生番号末尾偶数)	基礎19,21組	火3	松本　健司	36	5.6	8.3	16.7	13.9	22.2	13.9	8.3	11.1				3.10
線形代数学Ⅱ	(22組は学生番号末尾奇数)	基礎22,23組	月2	大本　亨	41	4.9	19.5	12.2	14.6	7.3	7.3	19.5	4.9	4.9		4.9	2.94
線形代数学Ⅱ	(22組は学生番号末尾偶数)	基礎22,24組	月2	有馬　研一郎	27	3.7	7.4	7.4	11.1	25.9	14.8	7.4	7.4	11.1		3.7	2.70
線形代数学Ⅱ	(25組は学生番号末尾奇数)	基礎25,26組	月2	澁川　陽一	46	4.3	28.3	6.5	21.7	10.9	4.3	8.7	4.3		8.7	2.2	3.07
線形代数学Ⅱ	(25組は学生番号末尾偶数)	基礎25,27組	月2	跡部　発	33	9.1	15.2	9.1	12.1	21.2	6.1	9.1	6.1	3.0	3.0	6.1	2.92
線形代数学Ⅱ	(28組は学生番号末尾奇数)	基礎28,29組	月2	山内　和幸	31	6.5	9.7	9.7	19.4	9.7	19.4	6.5	12.9			6.5	2.88
線形代数学Ⅱ	(28組は学生番号末尾偶数)	基礎28,30組	月2	足立　二郎	26	3.8	15.4	15.4	7.7	23.1	19.2	3.8	3.8	3.8		3.8	3.02
線形代数学Ⅱ	(31組は学生番号末尾奇数)	基礎31,32組	月2	佐藤　譲	48	2.1	20.8	4.2	27.1	25.0	6.3	6.3	8.3				3.20
線形代数学Ⅱ	(31組は学生番号末尾偶数)	基礎31,33組	月2	松本　健司	45	4.4	11.1	15.6	11.1	20.0	20.0	4.4	6.7	2.2		4.4	2.98
線形代数学Ⅱ	(34組は学生番号末尾２桁が「３で除して余り１」)	基礎34,36組	月2	佐藤　元彦	40	5.0	15.0	15.0	15.0	17.5	10.0	10.0	10.0			2.5	3.09
線形代数学Ⅱ	(34組は学生番号末尾２桁が「３で除して余り２」)	基礎34,35組	月2	齋藤　睦	43	7.0	30.2	14.0	9.3	14.0	7.0	2.3	7.0	2.3	4.7	2.3	3.19
線形代数学Ⅱ	(34組は学生番号末尾２桁が「３の倍数」)	基礎34,37組	月2	森田　英章	28	3.6	14.3	25.0	14.3	7.1	10.7	3.6	14.3	3.6		3.6	3.03
線形代数学Ⅱ	(38組は学生番号末尾奇数)	基礎38,39組	月4	新井　朝雄	33	3.0	15.2	9.1	18.2	12.1	21.2	6.1	6.1	3.0		6.1	2.90
線形代数学Ⅱ	(38組は学生番号末尾偶数)	基礎38,40組	月4	大野　航太	39	5.1	17.9	7.7	20.5	10.3	2.6	10.3	2.6	10.3	5.1	7.7	2.70
線形代数学Ⅱ	(41組は学生番号末尾奇数)	基礎41,42組	月4	小林　康明	33	6.1	18.2	12.1	15.2	15.2	6.1	3.0	6.1	3.0	3.0	12.1	2.80
線形代数学Ⅱ	(41組は学生番号末尾偶数)	基礎41,43組	月4	佐藤　元彦	41	4.9	17.1	12.2	17.1	14.6	12.2	7.3	14.6				3.14
線形代数学Ⅱ	(44組は学生番号末尾奇数)	基礎44,45組	月4	朝倉　政典	51		11.8	3.9	3.9	23.5	2.0	13.7	23.5		11.8	5.9	2.37
線形代数学Ⅱ	(44組は学生番号末尾偶数)	基礎44,46組	月4	小林　政晴	45	6.7	28.9	8.9	8.9	13.3	20.0		8.9		2.2	2.2	3.20
線形代数学Ⅱ	(47組は学生番号末尾奇数)	基礎47,48組	月3	佐藤　剛	29	3.4	24.1	24.1	6.9	6.9	10.3	10.3				13.8	2.96
線形代数学Ⅱ	(47組は学生番号末尾偶数)	基礎47,49組	月3	澁川　陽一	42	4.8	19.0	7.1	31.0	16.7	4.8	4.8	7.1			4.8	3.13
線形代数学Ⅱ	(50組は学生番号末尾奇数)	基礎50,51組	月3	森田　英章	27	7.4	14.8	11.1	18.5	11.1	11.1		11.1	7.4		7.4	2.86
線形代数学Ⅱ	(50組は学生番号末尾偶数)	基礎50,52組	月3	八ツ井　智章	39	2.6	10.3	17.9	17.9	7.7	23.1	5.1	7.7			7.7	2.90
線形代数学Ⅱ	(この講義は英語で行われます)	基礎1-52組	火1	Michele Torielli	1							100.0					2.30
微分積分学Ⅰ	学生番号末尾奇数		月5	小林　政晴	18	5.6	27.8	11.1	11.1	11.1	16.7	5.6				11.1	3.04
微分積分学Ⅰ	学生番号末尾偶数		火1	坂井　哲	22	9.1	22.7	13.6	13.6	13.6	4.5	4.5			18.2		3.02
微分積分学Ⅰ		基礎54組	月2,木2	Borislav Yordanov	7	14.3	42.9	42.9									3.91
微分積分学Ⅱ	(18組は学生番号末尾奇数)	基礎17,18組	金3	笹山　智司	54	1.9	13.0	7.4	11.1		20.4	16.7	11.1	14.8		3.7	2.54
微分積分学Ⅱ	(18組は学生番号末尾偶数)	基礎16,18組	金3	松本　圭司	58	1.7	15.5	15.5	12.1	17.2	8.6	10.3	8.6	5.2	1.7	3.4	2.89
微分積分学Ⅱ	(21組は学生番号末尾奇数)	基礎20,21組	金3	長谷川　雄之	61	6.6	18.0	18.0	19.7	14.8	1.6	3.3	9.8	4.9		3.3	3.13
微分積分学Ⅱ	(21組は学生番号末尾偶数)	基礎19,21組	金3	秦泉寺　雅夫	50	6.0	6.0	10.0	14.0	38.0	12.0	4.0	6.0			4.0	3.01
微分積分学Ⅱ	(24組は学生番号末尾奇数)	基礎23,24組	金3	加藤　正和	60	5.0	26.7	21.7	13.3	10.0	6.7	10.0	1.7	1.7	1.7	1.7	3.30
微分積分学Ⅱ	(24組は学生番号末尾偶数)	基礎22,24組	金3	戸松　玲治	60	3.3	23.3	8.3	5.0	10.0	8.3	25.0	8.3	5.0		3.3	2.87
微分積分学Ⅱ	(27組は学生番号末尾奇数)	基礎26,27組	火3	神田　雄高	51	3.9	9.8	2.0	31.4	19.6	11.8	5.9	5.9	5.9	3.9		2.91

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度２学期　全学教育（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月12日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
微分積分学Ⅱ	(27組は学生番号末尾偶数)	基礎25,27組	火3	松下　大介	55	3.6	7.3	10.9	16.4	12.7	12.7	12.7	14.5		9.1		2.76
微分積分学Ⅱ	(30組は学生番号末尾奇数)	基礎29,30組	火3	栄　伸一郎	54	7.4	16.7	7.4	16.7	16.7	13.0	11.1	5.6	3.7		1.9	3.06
微分積分学Ⅱ	(30組は学生番号末尾偶数)	基礎28,30組	火3	齋藤　幸子	54	7.4	9.3	7.4	13.0	14.8	14.8	11.1	16.7	1.9	1.9	1.9	2.86
微分積分学Ⅱ	(33組は学生番号末尾奇数)	基礎32,33組	水3	戸松　玲治	59	5.1	8.5	6.8	11.9	13.6	13.6	20.3	11.9	6.8		1.7	2.75
微分積分学Ⅱ	(33組は学生番号末尾偶数)	基礎31,33組	水3	船川　大樹	51	3.9	9.8	5.9	11.8	9.8	15.7	19.6	13.7	9.8			2.71
微分積分学Ⅱ	(37組は学生番号末尾２桁が「３で除して余り１」)	基礎35,37組	水3	本多　俊一	49		12.2	16.3	14.3	10.2	2.0	8.2	24.5	6.1	4.1	2.0	2.69
微分積分学Ⅱ	(37組は学生番号末尾２桁が「３で除して余り２」)	基礎36,37組	水3	神保　秀一	54	1.9	5.6	11.1	18.5	14.8	18.5	16.7	5.6	5.6		1.9	2.82
微分積分学Ⅱ	(37組は学生番号末尾２桁が「３の倍数」)	基礎34,37組	水3	古畑　仁	51	3.9	23.5	23.5	13.7	11.8	7.8	3.9		7.8	3.9		3.19
微分積分学Ⅱ	(40組は学生番号末尾奇数)	基礎39,40組	水3	洞　彰人	54	7.4	1.9	33.3	22.2	11.1	16.7	1.9	5.6				3.30
微分積分学Ⅱ	(40組は学生番号末尾偶数)	基礎38,40組	水3	小林　真平	47	2.1	4.3	17.0	21.3	4.3	17.0	2.1	19.1	8.5		4.3	2.70
微分積分学Ⅱ	(43組は学生番号末尾奇数)	基礎42,43組	金4	陳　蘊剛	53	9.4	7.5	7.5	18.9	5.7	7.5	9.4	20.8	7.5		5.7	2.69
微分積分学Ⅱ	(43組は学生番号末尾偶数)	基礎41,43組	金4	由利　美智子	56	7.1	21.4	8.9	10.7	25.0	17.9	3.6	3.6			1.8	3.23
微分積分学Ⅱ	(46組は学生番号末尾奇数)	基礎45,46組	火3	大本　亨	62	4.8	19.4	9.7	8.1	12.9	11.3	14.5	17.7		1.6		3.00
微分積分学Ⅱ	(46組は学生番号末尾偶数)	基礎44,46組	火3	正宗　淳	56	8.9	17.9	23.2	1.8	10.7	10.7	8.9	1.8	12.5		3.6	2.99
微分積分学Ⅱ	(49組は学生番号末尾奇数)	基礎48,49組	金4	笹山　智司	49		12.2	14.3	24.5		16.3	8.2	16.3			8.2	2.78
微分積分学Ⅱ	(49組は学生番号末尾偶数)	基礎47,49組	金4	小林　真平	48	2.1	10.4	18.8	25.0	2.1	10.4	14.6	4.2	6.3		6.3	2.85
微分積分学Ⅱ	(52組は学生番号末尾奇数)	基礎51,52組	金4	笠原　雪夫	32	3.1	15.6	9.4	15.6	15.6	6.3	12.5	9.4	3.1		9.4	2.77
微分積分学Ⅱ	(52組は学生番号末尾偶数)	基礎50,52組	金4	長谷川　雄之	52	5.8	15.4	11.5	19.2	9.6	1.9	3.8	19.2	9.6		3.8	2.83
微分積分学Ⅱ	(この講義は英語で行われます)	基礎1-52組	木1	Simona Settepanella	5	20.0			20.0	20.0		40.0					3.04
微分積分学Ⅱ		基礎54組	月2,木2	Borislav Yordanov	7	28.6	57.1	14.3									4.04
数学概論	極限の順序交換	基礎16-52組	月1	松本　圭司	3		33.3			33.3				33.3			2.67
物理学Ⅰ	(１学期再履修)	基礎1-53組	金5	根本　幸児	41	2.4	17.1	4.9	14.6	24.4	12.2	14.6	4.9			4.9	2.95
物理学Ⅰ		基礎54組	火3,金2	PETTITT ALEXANDER	7	14.3		42.9	14.3		14.3		14.3				3.34
物理学Ⅱ	(16-20組,43組は学生番号末尾2桁が「３の倍数」)	基礎1-20,43,53組	水4	小田　研	107	5.6	9.3	13.1	16.8	20.6	10.3	10.3	10.3			3.7	2.99
物理学Ⅱ	(25組は学生番号末尾奇数)	基礎24,25組	水2	山本　哲生	73	2.7	9.6	16.4	5.5	32.9	16.4	5.5	8.2			2.7	3.01
物理学Ⅱ	(25組は学生番号末尾偶数)	基礎25,26組	水2	網塚　浩	69	4.3	13.0	15.9	17.4	7.2	23.2	8.7	8.7	1.4			3.10
物理学Ⅱ	(41組は学生番号末尾奇数)	基礎27,41組	水2	田口　敦清	75	10.7	8.0	25.3	20.0	24.0		6.7	2.7			2.7	3.30
物理学Ⅱ	(41組は学生番号末尾偶数)	基礎41,44組	水2	合川　正幸	69	4.3	15.9	13.0	15.9	18.8	11.6	7.2	7.2		1.4	4.3	3.03
物理学Ⅱ	(この講義は英語で行われます)	基礎1-53組	月5	朴　銀鏡	10	20.0	40.0	10.0	30.0								3.82
物理学Ⅱ	(学生番号末尾2桁が「３で除して余り１」)	基礎16-20,43組	水4	末廣　一彦	105	6.7	17.1	20.0	20.0	18.1	8.6	4.8	2.9	1.0		1.0	3.32
物理学Ⅱ	(学生番号末尾2桁が「３で除して余り１」)	基礎31-35組	火4	北　孝文	79	3.8	16.5	11.4	19.0	16.5	12.7	8.9	8.9		2.5		3.10
物理学Ⅱ	(学生番号末尾2桁が「３で除して余り１」)	基礎36-40組	火4	塚本　卓	81	8.6	18.5	17.3	17.3	14.8	4.9	6.2	7.4		2.5	2.5	3.21
物理学Ⅱ	(学生番号末尾2桁が「３で除して余り１」)	基礎21-23,28,29組	水4	堀田　健司	81	4.9	21.0	16.0	8.6	16.0	14.8	4.9	7.4	3.7	1.2	1.2	3.12
物理学Ⅱ	(学生番号末尾2桁が「３で除して余り２」)	基礎36-40組	火4	松永　悟明	75	4.0	10.7	25.3	14.7	12.0	13.3	9.3	9.3			1.3	3.14
物理学Ⅱ	(学生番号末尾2桁が「３で除して余り２」)	基礎31-35組	火4	辻見　裕史	76	3.9	15.8	22.4	15.8	21.1	7.9	1.3	9.2			2.6	3.21

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度２学期　全学教育（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月12日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
物理学Ⅱ	(学生番号末尾2桁が「３で除して余り２」)	基礎16-20,43組	水4	堀内　渉	96	3.1	11.5	16.7	14.6	18.8	13.5	6.3	7.3	3.1	3.1	2.1	2.96
物理学Ⅱ	(学生番号末尾2桁が「３で除して余り２」)	基礎21-23,28,29組	水4	石井　一暢	77	6.5	6.5	11.7	16.9	26.0	18.2	9.1	3.9			1.3	3.09
物理学Ⅱ	(学生番号末尾2桁が「３の倍数」)	基礎36-40組	火4	井原　慶彦	74	14.9	20.3	16.2	24.3	8.1	4.1	4.1	1.4	5.4	1.4		3.39
物理学Ⅱ	(学生番号末尾2桁が「３の倍数」)	基礎31-35組	火4	中山　隆一	81	4.9	11.1	14.8	16.0	21.0	12.3	13.6	2.5			3.7	3.06
物理学Ⅱ	(学生番号末尾2桁が「３の倍数」)	基礎21-23,28,29組	水4	今野　滋	84	4.8	8.3	27.4	17.9	9.5	19.0	2.4	9.5			1.2	3.19
物理学Ⅱ		基礎54組	火3,金2	周　波	7		14.3	14.3		28.6	28.6		14.3				3.01
物理学Ⅱ		基礎30,42組	水4	奥田　浩司	96	5.2	14.6	12.5	15.6	17.7	18.8	12.5	2.1			1.0	3.15
物理学Ⅱ		基礎45,46組	水2	小笹　隆司	98	5.1	13.3	9.2	20.4	22.4	10.2	4.1	13.3	1.0		1.0	3.08
物理学Ⅱ		基礎47,48組	水2	冨岡　克広	94	1.1	2.1	14.9	25.5	23.4	10.6	9.6	8.5	1.1	1.1	2.1	2.92
物理学Ⅱ		基礎49,50組	水2	山本　夕可	91	5.5	11.0	15.4	15.4	15.4	15.4	6.6	6.6	2.2	1.1	5.5	2.94
物理学Ⅱ		基礎51,52組	水2	大原　潤	99	6.1	11.1	10.1	13.1	29.3	14.1	11.1	2.0	1.0	1.0	1.0	3.09
化学Ⅰ	(１学期再履修)	基礎1-53組	水5	伊丹　俊夫	16	12.5	18.8	25.0	12.5	6.3	6.3	6.3		6.3		6.3	3.19
化学Ⅰ		基礎54組	月4,水3	周　睿風	7	14.3		28.6	28.6	14.3		14.3					3.37
化学Ⅱ	(18組は学生番号末尾奇数)	基礎16,18組	金1	市川　聡	75	9.3	18.7	9.3	14.7	14.7	6.7	12.0	6.7	6.7		1.3	3.07
化学Ⅱ	(18組は学生番号末尾偶数)	基礎17,18組	金1	崎浜　婧子	74	6.8	13.5	8.1	23.0	18.9	12.2	8.1	4.1	4.1		1.4	3.09
化学Ⅱ	(21組は学生番号末尾奇数)	基礎19,21組	金1	渡邉　瑞貴	73	8.2	16.4	12.3	11.0	11.0	5.5	11.0	11.0	8.2	2.7	2.7	2.88
化学Ⅱ	(21組は学生番号末尾偶数)	基礎20,21組	金1	丸田　悟朗	74	5.4	10.8	6.8	17.6	21.6	18.9	9.5	5.4	2.7		1.4	3.01
化学Ⅱ	(24組は学生番号末尾奇数)	基礎22,24組	金1	松本　謙一郎	74	2.7	16.2	27.0	10.8	17.6	13.5	5.4	1.4	4.1		1.4	3.21
化学Ⅱ	(24組は学生番号末尾偶数)	基礎23,24組	金1	伊藤　肇	74	4.1	13.5	12.2	13.5	12.2	12.2	10.8	10.8	5.4	5.4		2.86
化学Ⅱ	(27組は学生番号末尾奇数)	基礎25,27組	金3	山田　幸司	74	4.1	8.1	16.2	16.2	27.0	10.8	10.8	5.4			1.4	3.09
化学Ⅱ	(27組は学生番号末尾偶数)	基礎26,27組	金3	尾瀬　農之	72	6.9	33.3	20.8	26.4	8.3	4.2						3.64
化学Ⅱ	(33組は学生番号末尾奇数)	基礎31,33組	月3	松田　冬彦	76	6.6	11.8	11.8	14.5	25.0	14.5	7.9	5.3			2.6	3.10
化学Ⅱ	(33組は学生番号末尾偶数)	基礎32,33組	月3	沖野　龍文	71	2.8	12.7	16.9	21.1	15.5	18.3	8.5	1.4	1.4		1.4	3.15
化学Ⅱ	(37組は学生番号末尾２桁が「３で除して余り１」)	基礎6-10,35,37,53組	月3	福士　幸治	64	7.8	1.6	6.3	4.7	3.1	10.9	7.8	43.8		10.9	3.1	2.30
化学Ⅱ	(37組は学生番号末尾２桁が「３で除して余り２」)	基礎11-15,36,37,53組	月3	髙野　勇太	76	2.6	9.2	26.3	27.6	18.4	3.9	7.9	3.9				3.29
化学Ⅱ	(37組は学生番号末尾２桁が「３の倍数」)	基礎1-5,34,37,53組	月3	薬師寺　文華	66	3.0	13.6	15.2	24.2	21.2	6.1	4.5	6.1			6.1	3.06
化学Ⅱ	(40組は学生番号末尾奇数)	基礎38,40組	月3	山本　拓矢	67	3.0	14.9	14.9	9.0	16.4	17.9	11.9	10.4			1.5	3.03
化学Ⅱ	(40組は学生番号末尾偶数)	基礎39,40組	月3	小澤　修二	73	6.8	6.8	11.0	5.5	12.3	21.9	20.5	8.2	4.1		2.7	2.79
化学Ⅱ	(43組は学生番号末尾奇数)	基礎41,43組	金3	小西　克明	76	7.9	9.2	17.1	10.5	21.1	19.7	7.9	6.6				3.17
化学Ⅱ	(43組は学生番号末尾偶数)	基礎42,43組	金3	猪熊　泰英	69	2.9	5.8	4.3	10.1	18.8	15.9	15.9	20.3	1.4	2.9	1.4	2.66
化学Ⅱ	(46組は学生番号末尾奇数)	基礎44,46組	金3	中島　一紀	68	7.4	11.8	11.8	11.8	14.7	10.3	5.9	23.5		1.5	1.5	2.95
化学Ⅱ	(46組は学生番号末尾偶数)	基礎45,46組	金3	松浦　英幸	76	11.8	14.5	10.5	15.8	17.1	11.8	7.9	10.5				3.22
化学Ⅱ	(49組は学生番号末尾奇数)	基礎47,49組	金3	南　篤志	71	2.8	9.9	14.1	18.3	18.3	11.3	12.7	7.0	2.8	1.4	1.4	2.96
化学Ⅱ	(49組は学生番号末尾偶数)	基礎48,49組	金3	鈴木　孝洋	75	5.3	6.7	10.7	13.3	21.3	22.7	10.7	4.0	2.7		2.7	2.93
化学Ⅱ	(52組は学生番号末尾奇数)	基礎50,52組	月4	朝倉　清高	67	4.5	7.5	17.9	22.4	22.4	14.9	7.5	1.5			1.5	3.17

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度２学期　全学教育（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月12日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
化学Ⅱ	(52組は学生番号末尾偶数)	基礎51,52組	月4	沖野　龍文	77	6.5	10.4	10.4	15.6	19.5	27.3	3.9	1.3	1.3		3.9	3.04
化学Ⅱ		基礎29組	金3	坂入　信夫	46	6.5	10.9	17.4	10.9	19.6	21.7	8.7	2.2			2.2	3.13
化学Ⅱ		基礎30組	金3	梅澤　大樹	49	6.1	12.2	18.4	18.4	12.2	8.2	10.2	10.2	4.1			3.11
化学Ⅱ		基礎54組	月4,水3	ARTEAGA ARTEAGA FERN	7	14.3		28.6	28.6	28.6							3.47
化学Ⅱ		基礎28組	金3	松田　冬彦	47	6.4	10.6	12.8	17.0	17.0	21.3	6.4	6.4			2.1	3.09
生物学Ⅰ	(１学期再履修)	基礎1-53組	月5	森川　正章	15	20.0		6.7		20.0	6.7		26.7			20.0	2.42
生物学Ⅰ		基礎54組	木3	Maria Helena Fortuna	7		14.3	71.4			14.3						3.60
生物学Ⅱ	(33組は学生番号末尾奇数)	基礎31,33組	金2	秋元　信一	57	5.3	10.5	14.0	15.8	22.8	17.5	3.5	8.8	1.8			3.12
生物学Ⅱ	(33組は学生番号末尾偶数)	基礎32,33組	金2	吉澤　和徳	52	7.7	7.7	13.5	13.5	15.4	21.2	7.7	7.7	3.8		1.9	2.98
生物学Ⅱ	(この講義は英語で行われます)	基礎1-53,54組	火1	Maria Helena Fortuna	9			22.2	22.2	22.2		33.3					2.99
生物学Ⅱ		基礎47,48組	火2	加藤　徹	81	4.9	11.1	16.0	16.0	30.9	8.6	8.6	1.2			2.5	3.16
生物学Ⅱ		基礎40,41組	金2	野田　隆史	75	5.3	12.0	12.0	14.7	20.0	20.0	6.7	4.0	1.3		4.0	3.02
生物学Ⅱ		基礎38,39組	金2	大原　雅	80	7.5	7.5	13.8	15.0	27.5	12.5	10.0	3.8			2.5	3.09
生物学Ⅱ		基礎36,37組	金2	岡松　優子	72	5.6	9.7	19.4	11.1	23.6	13.9	8.3	4.2			4.2	3.07
生物学Ⅱ		基礎34,35組	金2	相馬　雅代	68	1.5	8.8	35.3	17.6	7.4	10.3	5.9	4.4		8.8		3.09
生物学Ⅱ		基礎49,50組	火2	松島　俊也	70	5.7	11.4	12.9	17.1	17.1	12.9	10.0	8.6	2.9	1.4		3.05
生物学Ⅱ		基礎51,52組	火2	鈴木　仁	72	5.6	8.3	8.3	11.1	27.8	13.9	8.3	15.3			1.4	2.95
生物学Ⅱ		基礎30,44組	火2	越川　滋行	84	8.3	13.1	14.3	11.9	13.1	14.3	11.9	11.9			1.2	3.09
生物学Ⅱ		基礎28,29組	火2	高木　昌興	77	3.9	7.8	7.8	14.3	26.0	14.3	10.4	7.8	2.6	1.3	3.9	2.83
生物学Ⅱ		基礎14-15,26,27,53組	月1	柁原　宏	85	3.5	8.2	16.5	15.3	21.2	21.2	11.8	1.2			1.2	3.10
生物学Ⅱ		基礎10-13,24,25,53組	月1	小亀　一弘	71	7.0	9.9	19.7	11.3	26.8	15.5	4.2	4.2			1.4	3.20
生物学Ⅱ		基礎6-9,22,23,53組	月1	阿部　剛史	73	4.1	34.2	13.7	9.6	16.4	6.8	2.7	5.5	2.7		4.1	3.25
生物学Ⅱ		基礎1-5,20,21,53組	月1	鈴木　利治	78	7.7	19.2	19.2	9.0	5.1	7.7	12.8	5.1	1.3	7.7	5.1	2.93
生物学Ⅱ		基礎18,19組	金2	勝　義直	81	6.2	9.9	13.6	18.5	17.3	19.8	9.9	1.2	1.2		2.5	3.09
生物学Ⅱ		基礎16,17組	金2	吉田　郁也	88	1.1	3.4	8.0	18.2	17.0	14.8	9.1	21.6		2.3	4.5	2.65
生物学Ⅱ		基礎45,46組	火2	和多　和宏	82	6.1	8.5	11.0	18.3	24.4	15.9	4.9	4.9			6.1	2.98
生物学Ⅱ		基礎42,43組	金2	堀口　健雄	82	8.5	7.3	18.3	12.2	19.5	19.5	7.3	4.9	1.2		1.2	3.13
地球惑星科学Ⅱ		基礎47-52組	木2	坂本　尚義	173	5.2	8.1	15.6	17.9	19.7	19.7	4.0	5.2	3.5		1.2	3.07
地球惑星科学Ⅱ		基礎41-46組	木2	谷本　陽一	157	3.8	11.5	19.1	13.4	23.6	16.6	3.2	3.2			5.7	3.06
地球惑星科学Ⅱ		基礎1-22,53組	木3	高橋　幸弘	111	2.7	8.1	5.4	15.3	13.5	14.4	15.3	14.4	0.9		9.9	2.59
地球惑星科学Ⅱ		基礎29-34組	木2	石渡　正樹	160	5.0	11.3	15.0	15.0	20.6	18.1	6.3	3.1	1.3		4.4	3.04
地球惑星科学Ⅱ		基礎23-28組	木2	佐々木　克徳	158	5.1	13.9	10.1	21.5	22.8	8.9	9.5	4.4	0.6		3.2	3.10
地球惑星科学Ⅱ		基礎35-40組	木2	倉本　圭	136	5.1	11.0	15.4	14.0	22.8	16.9	7.4	3.7			3.7	3.08
日本語Ⅱ		基礎1-52組	火1,木1	小森　千佳江	11				27.3		27.3	9.1	27.3		9.1		2.45
初級日本語Ⅰ		基礎54組	水5,金5	長谷川　洋枝	7	28.6	14.3	14.3	28.6		14.3						3.66

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度２学期　全学教育（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月12日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
初級日本語Ⅱ		基礎54組	月5,木5	黄　美花	7	28.6		57.1		14.3							3.77
初級日本語Ⅳ		基礎54組	水5,金5	黄　美花	5	40.0	40.0			20.0							3.92
中級日本語ⅠA	やりとり	基礎53組	月1,水1	山本　さやか	1							100.0					2.30
中級日本語ⅠA	表現	基礎53組	月2,水2	藤原　安佐	2					50.0				50.0			2.00
中級日本語ⅠA	理解	基礎53組	月3,水3	藤原　安佐	2					50.0	50.0						2.85
中級日本語ⅡA	やりとり	基礎53組	火4,木4	阿部　仁美	1											100.0	0.00
中級日本語ⅡA	やりとり	基礎53組	月1,水1	小森　千佳江	3					33.3	33.3			33.3			2.23
中級日本語ⅡA	表現	基礎53組	火3,木3	水谷　圭子	4						25.0	50.0				25.0	1.83
中級日本語ⅡA	理解	基礎53組	月3,水3	梅田　悦雄	3			33.3	33.3							33.3	2.33
中級日本語ⅢA	やりとり	基礎53組	月1,水1	今井　史子	4		25.0	50.0		25.0							3.60
中級日本語ⅢA	やりとり	基礎53組	火4,木4	桑澤　ゆま	7	14.3	28.6	28.6	14.3		14.3						3.67
中級日本語ⅢA	表現	基礎53組	火3,木3	市川　明美	2				50.0	50.0							3.15
中級日本語ⅢA	表現	基礎53組	月2,水2	山本　さやか	12			25.0	8.3	8.3	16.7	25.0	16.7				2.81
中級日本語ⅢA	理解	基礎53組	火2,木2	佐藤　章	5		40.0	60.0									3.82
中級日本語ⅢA	理解	基礎53組	月3,水3	平田　未季	6		33.3	16.7		16.7	33.3						3.35
上級日本語A	やりとり（コミュニケーション・スタディ）	基礎53組	火1,木1	式部　絢子	6		16.7		33.3	16.7	16.7	16.7					3.10
上級日本語A	やりとり（ロールプレイ）	基礎53組	月1,水1	阿部　仁美	2		100.0										4.00
上級日本語A	表現（バイオグラフィを作成する）	基礎53組	火3,金2	式部　絢子	3				66.7			33.3					2.97
上級日本語A	表現（書く技法）	基礎53組	月2,金3	佐藤　章	1		100.0										4.00
上級日本語A	理解（クリティカル・リーディング）	基礎53組	火2,木2	式部　絢子	5			60.0			20.0	20.0					3.22
上級日本語A	理解（情報検索と分析）	基礎53組	月3,水3	山本　さやか	3		33.3		33.3		33.3						3.33
上級日本語B	やりとり（ディベート）	基礎53組	水1	二村　年哉	1				100.0								3.30
上級日本語B	表現（プロジェクト・ワーク）	基礎53組	水2	延与　由美子	3		33.3	66.7									3.80
実践日本語Ⅰ	言語における多様性	基礎53組	火3	野澤　俊介	8	25.0	50.0	12.5			12.5						3.88
実践日本語Ⅰ	日本史	基礎53組	月4	BULL JONATHAN EDWARD	16	6.3	25.0	56.3	6.3	6.3							3.74
実践日本語Ⅱ	経済用語入門（発展）	基礎53組	水4	伊藤　祥子	11	63.6	27.3	9.1									4.16
実践日本語Ⅱ	日本社会用語入門	基礎53組	火5	Ｓｕｓａｎｎｅ　Ｋｌ	5	20.0	20.0	20.0		20.0		20.0					3.46
発展アカデミック日本語	アカデミックライティング	基礎53組	月4	野澤　俊介	6	16.7	83.3										4.05
発展ビジネス日本語	企業研究2	基礎53組	月5	伊藤　孝行	2	100.0											4.30
英語再履修		基礎1-52組	木4	張　ジュヒョク	30	3.3	23.3		13.3	13.3	13.3	6.7	6.7	3.3		16.7	2.60
英語再履修		基礎1-52組	木1	河合　靖	7				14.3		14.3	28.6	28.6			14.3	2.09
英語再履修		基礎1-52組	火1	張　ジュヒョク	11	9.1	9.1	9.1	18.2		27.3		27.3				2.97
英語再履修		基礎1-52組	火5	冨成　絢子	40			5.0	5.0	5.0	10.0	20.0	30.0	2.5	2.5	20.0	1.87
英語再履修		基礎1-52組	水1	河合　剛	10	10.0	10.0	10.0					10.0		60.0		1.82

北海道大学

出典：教務情報システム

成績評価分布状況表

令和元年度１学期　理学部（学部）
11段階評価対象者（平成27年度以降入学者）［すべての学籍区分］

令和 2年 3月26日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
基礎数学A		数学科	水2,金2	洞　彰人	66	6.1	27.3	12.1	15.2	9.1		3.0	1.5	7.6	6.1	12.1	2.79
基礎数学演習A		数学科	木3,木4	朝倉　政典	49	6.1	2.0	6.1	6.1	24.5	6.1	20.4	18.4	4.1	6.1		2.59
基礎数学C		数学科	火2,木2	久保　英夫	63	1.6	4.8	14.3	7.9	7.9	9.5	9.5	1.6	11.1	14.3	17.5	2.01
基礎数学演習C		数学科	金3,金4	久保　英夫	53	1.9	18.9	18.9	5.7	15.1	7.5	3.8	5.7	3.8	17.0	1.9	2.73
代数学基礎		数学科	月2,木3	齋藤　睦	54	3.7	16.7	22.2	1.9	9.3	13.0		5.6	3.7	11.1	13.0	2.56
代数学基礎演習		数学科	火3,火4	跡部　発	46	8.7	15.2	8.7	6.5	21.7	4.3	6.5	8.7	2.2	8.7	8.7	2.70
幾何学基礎		数学科	月3,木2	吉永　正彦	45	11.1	17.8	15.6	6.7	4.4	13.3	4.4	6.7	13.3		6.7	2.85
幾何学基礎講究		数学科	月3,木2	吉永　正彦	43	20.9	11.6		7.0	11.6	4.7	2.3	11.6	20.9		9.3	2.57
解析学基礎A		数学科	水2	戸松　玲治	43	7.0	14.0		9.3	2.3	16.3	11.6	16.3			23.3	2.27
解析学基礎演習A		数学科	金3,金4	戸松　玲治	43	2.3	11.6	4.7	25.6	4.7	7.0		18.6			25.6	2.28
数理科学基礎		数学科	金2	久保　英夫	40		27.5	12.5		7.5	10.0	12.5	2.5	2.5	15.0	10.0	2.53
代数学B		数学科	水2	松下　大介	11	18.2	18.2	9.1	9.1	9.1			18.2	18.2			2.96
幾何学C		数学科	水3	小林　真平	9		44.4	22.2		22.2						11.1	3.27
解析学C		数学科	月4	小林　政晴	9	66.7								11.1	22.2		3.13
解析学D		数学科	木4	宮尾　忠宏	8		12.5	37.5	12.5			12.5	12.5			12.5	2.84
解析学E		数学科	火4	由利　美智子	9	11.1	55.6	11.1		22.2							3.78
数理科学B		数学科	金2	松本　健司	5		40.0		20.0							40.0	2.26
数理科学講究		数学科	金2	松本　健司	3		66.7		33.3								3.77
代数学続論	圏論入門	数学科	月2,水4	澁川　陽一	8	25.0			12.5			25.0	12.5		25.0		2.49
代数学続論	続・環論（ホモロジー代数とアーベル圏）	数学科	火3,金3	朝倉　政典	12	8.3		16.7		25.0			41.7		8.3		2.62
幾何学続論	リーマン幾何学	数学科	火3,金3	古畑　仁	5	40.0			20.0					40.0			2.78
数理解析学続論	バナッハ空間論	数学科	火2,木2	浜向　直	12	50.0	25.0			8.3		8.3				8.3	3.59
数理解析学続論	偏微分方程式論入門	数学科	火2,木2	黒田　紘敏	6	33.3	16.7			16.7						33.3	2.60
数学特別講義	全変動流型方程式（解析学）	数学科	集中	浜向　直	2		50.0							50.0			2.50
数学特別講義	複素領域における線形微分方程式（解析学）	数学科	集中	本多　尚文	1											100.0	0.00
数学講読	平成31年度1学期 みえる化プロジェクト	数学科	集中	本多　尚文	2		100.0										4.00
微分積分学続論			月2	黒田　紘敏	79	11.4	11.4	13.9	8.9	5.1	6.3	7.6	6.3	3.8	6.3	19.0	2.46
代数学・幾何学序論			月3	秋田　利之	63	4.8	14.3	6.3	4.8	19.0	9.5	11.1	9.5	6.3		14.3	2.51
数学総合講義Ⅰ	非線形現象の数理モデリング	数学科	集中	長山　雅晴	5	20.0	20.0			40.0				20.0			3.06
物理数学Ⅰ		物理学科	火2	小林　達夫	43	9.3	18.6	7.0	7.0	9.3	2.3	4.7	32.6	4.7		4.7	2.78
物理数学演習Ⅰ		物理学科	火3,火4	速水　賢	38	10.5	7.9	13.2	13.2	15.8	10.5	7.9	2.6		18.4		2.81
力学Ⅰ		物理学科	金2	松永　悟明	42	4.8	14.3	14.3	11.9	21.4	19.0					14.3	2.85
熱物理学		物理学科	水2	北　孝文	45	22.2	13.3	11.1	6.7	11.1	15.6		8.9	6.7		4.4	3.12
量子力学Ⅱ		物理学科	月2	山本　昌司	39	7.7	5.1	15.4	17.9	12.8	10.3	7.7	10.3	5.1	7.7		2.85
物理学外国語文献講読Ⅱ		物理学科	水1,水2	柳澤　達也	38	18.4	15.8		10.5	44.7			7.9	2.6			3.30

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度１学期　理学部（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月26日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
現代物理学			月3	末廣　一彦	54	9.3	16.7	16.7	16.7	9.3	11.1		1.9	3.7		14.8	2.88
物性物理学	固体の構造と群論	物理学科	木2	河本　充司	22	31.8	18.2	4.5		18.2	4.5			4.5		18.2	2.98
物性物理学	電子バンドと金属・半導体	物理学科	火2	小田　研	36	2.8	13.9	44.4	8.3	2.8	11.1					16.7	2.98
素粒子物理学		物理学科	月2,水2	鈴木　久男	7		28.6									71.4	1.14
量子力学演習Ⅱ		物理学科	月3,月4	大原　潤	32	12.5	3.1	12.5	12.5	18.8	15.6		15.6			9.4	2.83
電磁気学Ⅰ		物理学科	木2	中山　隆一	49	8.2	10.2	10.2	12.2	8.2	12.2	6.1	4.1	16.3		12.2	2.50
電磁気学Ⅱ		物理学科	木1	三品　具文	43	7.0	11.6	14.0	14.0	16.3	9.3	11.6	7.0	2.3		7.0	2.91
統計力学Ⅱ		物理学科	金2	山本　昌司	42	4.8	4.8	9.5	21.4	14.3	19.0	4.8	11.9	4.8	4.8		2.83
物理学実験Ⅰ		物理学科	火3,火4,水3,水4	井原　慶彦	17	17.6	35.3		23.5	11.8			5.9			5.9	3.42
物理学実験Ⅱ		物理学科	火3,火4,水3,水4	井原　慶彦	16	18.8	31.3	6.3	12.5	18.8		6.3	6.3				3.53
物理学実験Ⅲ		物理学科	火3,火4,水3,水4	井原　慶彦	25		8.0	12.0	60.0	12.0			4.0			4.0	3.18
物理学実験Ⅳ		物理学科	火3,火4,水3,水4	井原　慶彦	26	11.5	11.5	19.2	11.5	7.7	23.1		3.8		3.8	7.7	3.01
物理学卒業研究Ⅰ		物理学科	集中	野嵜　龍介	34	52.9	14.7	5.9				20.6	5.9				3.67
電磁気学演習Ⅰ		物理学科	木3,木4	中山　隆一	38	5.3	10.5	15.8	13.2	13.2	13.2	13.2		10.5		5.3	2.82
電磁気学演習Ⅱ		物理学科	木3,木4	末廣　一彦	22	13.6	68.2	9.1						4.5		4.5	3.70
力学演習Ⅰ		物理学科	金3,金4	松永　悟明	37	10.8	16.2	8.1	16.2	13.5	21.6	8.1				5.4	3.12
熱物理学演習		物理学科	水3,水4	北　孝文	38	10.5	21.1	13.2	13.2	7.9	13.2		10.5	2.6		7.9	3.04
統計力学演習Ⅱ		物理学科	金3,金4	奥田　浩司	30	6.7	10.0	13.3	6.7	23.3	13.3	13.3	6.7			6.7	2.90
現代天文学			月4	祖徠　和夫	90	4.4	6.7	8.9	5.6	13.3	13.3	8.9	8.9	11.1	17.8	1.1	2.35
物理学実験Ｂ	プログラミング入門	物理学科	木3	速水　賢	1											100.0	0.00
物理学特別講義Ａ	インフレーション宇宙における原始密度揺らぎと重力波	物理学科	集中	小林　達夫	2		50.0									50.0	2.00
物理学特別講義Ａ	近傍銀河の電波観測	物理学科	集中	祖徠　和夫	13		30.8			7.7				46.2		15.4	1.92
物理学特別講義Ａ	大強度ハドロンビームを用いた原子核物理	物理学科	集中	木村　真明	8		62.5									37.5	2.50
物理学特別講義Ａ	複雑ネットワークの数理	物理学科	集中	根本　幸児	4	75.0			25.0								4.05
物理学特別講義Ａ	物性研究への橋渡し	物理学科	集中	吉田　紘行	5		20.0			20.0						60.0	1.40
物理学特別講義Ａ	量子情報の基礎と応用	物理学科	集中	井原　慶彦	12	41.7	58.3										4.13
物理化学Ⅰ		化学科	水2	武田　定	81	6.2	17.3	9.9	16.0	18.5	8.6	7.4	11.1		3.7	1.2	3.06
有機化学Ⅲ		化学科	月2	及川　英秋	80	6.3	8.8	15.0	16.3	21.3	12.5	2.5	3.8	3.8	10.0		2.93
無機化学Ⅰ		化学科	木2	分島　亮	79	3.8	7.6	5.1	16.5	15.2	24.1	13.9	11.4		2.5		2.87
分析化学Ⅰ		化学科	火2	上野　貢生	77	3.9	5.2	10.4	24.7	18.2	11.7	11.7	9.1	1.3	2.6	1.3	2.92
化学実験Ⅱ		化学科	火4,金3,金4	前田　理	75	6.7	8.0	16.0	20.0	20.0	16.0	9.3	4.0				3.19
計算機実習		化学科	火3	武次　徹也	76	10.5	11.8	13.2	15.8	7.9	18.4	6.6	10.5		2.6	2.6	3.05
化学講読		化学科	木1	カートハウス　オラフ	83	6.0	14.5	10.8	12.0	15.7	12.0	9.6	7.2			12.0	2.80
有機反応化学		化学科	金1	南　篤志	68	2.9	4.4	5.9	7.4	14.7	14.7	11.8	2.9	8.8		26.5	2.02
熱・統計力学Ⅱ		化学科	金2	武田　定	3		66.7						33.3				3.33

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度１学期　理学部（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月26日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
基礎物理化学			月2	佐田　和己	87	2.3	6.9	16.1	18.4	17.2	9.2	6.9	5.7	10.3	3.4	3.4	2.74
量子化学Ⅰ		化学科	火2	小林　正人	72	2.8	11.1	8.3	11.1	8.3	12.5	8.3	8.3	9.7	5.6	13.9	2.32
電気化学		化学科	木2	村越　敬	72	8.3	6.9	8.3	16.7	12.5	13.9	12.5	11.1	5.6		4.2	2.81
物理学通論		化学科	火1	丸田　悟朗	54	3.7	9.3	7.4	22.2	14.8	7.4	7.4	3.7	3.7	1.9	18.5	2.48
化学のための数学		化学科	木3	竹内 浩	68	5.9	5.9	7.4	13.2	16.2	22.1	13.2	2.9	1.5	2.9	8.8	2.68
無機化学Ⅲ		化学科	水2	加藤　昌子	68	2.9	14.7	11.8	14.7	25.0	13.2	2.9	4.4	4.4		5.9	2.94
分析化学Ⅱ		化学科	金2	三浦　篤志	78	1.3	5.1	15.4	5.1	10.3	9.0	29.5	16.7		3.8	3.8	2.59
基礎有機化学			月3	鈴木　孝紀	100	6.0	8.0	17.0	16.0	17.0	10.0	8.0	13.0	3.0		2.0	2.99
生物化学Ⅱ		化学科	木1	村上　洋太	60	6.7	8.3	15.0	11.7	28.3	13.3	3.3	6.7	1.7		5.0	3.00
遺伝生化学		化学科	木2	髙橋　正行	11	9.1	9.1		72.7	9.1							3.43
情報生化学		化学科	金2	坂口　和靖	71	9.9	12.7	11.3	11.3	9.9	12.7	12.7	9.9	2.8	1.4	5.6	2.88
触媒化学		化学科	水2	福岡　淳	10	30.0	30.0		10.0				20.0			10.0	3.22
分子生理学		化学科	火2	髙岡　晃教	7		28.6	14.3	28.6	14.3			14.3				3.33
化学実験Ⅴ		化学科	月3,月4,火3,火4,木1,木3,木4,木	坂口　和靖	71	15.5	18.3	18.3	19.7	9.9	11.3	1.4	4.2			1.4	3.44
化学実験Ⅵ		化学科	月3,月4,火3,火4,木1,木3,木4,木	澤村　正也	74	4.1	8.1	14.9	9.5	16.2	14.9	17.6	10.8		2.7	1.4	2.89
ナノ物性化学		化学科	月2	西井　準治	7		14.3	14.3		14.3				28.6	28.6		2.01
化学特別講義Ⅱ	化学反応動力学理論	化学科	集中	武次　徹也	6		16.7	16.7		16.7	16.7	16.7				16.7	2.62
化学特別講義Ⅱ	世界を先導する生物・高分子化学 IA （原子・分子・高分子・生体高分子薄膜と関連する集合体の最前線）	化学科	集中	佐田　和己	7					57.1	14.3				14.3	14.3	2.20
化学特別講義Ⅱ	世界を先導する生物・高分子化学 IIA（生物化学を基礎とした創薬 ）	化学科	集中	坂口　和靖	4	100.0											4.30
化学特別講義Ⅱ	世界を先導する分子化学 IB （ナノ複合材料化学の最前線）	化学科	集中	村越　敬	4	100.0											4.30
科学論文演習		生物科学科［生物学］	木3,木4	Maria Helena Fortuna	38		2.6	47.4	23.7	26.3							3.43
生物学特別講義Ⅰ	博物館から伝える野生動物の姿	生物科学科［生物学］	集中	柁原　宏	19	5.3	10.5	5.3	10.5	10.5	21.1	5.3	5.3	21.1		5.3	2.51
生物学特別講義Ⅱ	植物の環境ストレス応答と耐性獲得の分子機構	生物科学科［生物学］	集中	伊藤　秀臣	16	25.0	37.5	6.3	6.3							25.0	3.01
生物学特別講義Ⅲ	生物現象のための数理的研究	生物科学科［生物学］	集中	田中　暢明	18	27.8	5.6	22.2	11.1	16.7			5.6			11.1	3.22
生物学特別講義Ⅳ	卵形成、卵成熟を中心とした分子発生学	生物科学科［生物学］	集中	山下　正兼	14		14.3	42.9		28.6						14.3	3.01
生物学特別講義Ⅴ	適応進化の分子遺伝学	生物科学科［生物学］	集中	越川　滋行	23	21.7		13.0		26.1		17.4				21.7	2.60
生物学特別講義Ⅵ	ビッグデータ分析時代のバイオインフォマティクスアプローチ	生物科学科［生物学］	集中	藤田　知道	1			100.0									3.70
生体高分子学実験Ⅱ		生物科学科［高分子機能学］	月3,月4,火3,火4,木3,木4,木5,木	黒川　孝幸	40	10.0	10.0	27.5	27.5	15.0	5.0	2.5	2.5				3.45
実験生物科学		生物科学科［高分子機能学］	金2	黒川　孝幸	43	9.3	18.6	25.6	16.3	9.3	9.3	4.7	4.7	2.3			3.38
細胞構造科学Ⅱ		生物科学科［高分子機能学］	水2,金2	金城　政孝	41	4.9	14.6	7.3	26.8	17.1	24.4	2.4	2.4				3.23
細胞構造科学Ⅲ		生物科学科［高分子機能学］	火2,金3	北村　朗	40	2.5	12.5	17.5	27.5	20.0	12.5	5.0	2.5				3.27
生命情報科学演習		生物科学科［高分子機能学］	木1,木2	中岡　慎治	41	2.4	53.7		17.1	12.2		2.4	7.3	4.9			3.43
科学英語講読		生物科学科［高分子機能学］	集中	黒川　孝幸	32	9.4	21.9	12.5	12.5	12.5	15.6					15.6	2.95
分子遺伝科学Ⅱ		生物科学科［高分子機能学］	水2,金2	相沢　智康	40	5.0	15.0	17.5	17.5	20.0	10.0	10.0	5.0				3.24
系統分類学Ⅰ		生物科学科［生物学］	月2	角井　敬知	35		5.7	48.6	22.9	22.9							3.47

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度１学期　理学部（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月26日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
環境生物学Ⅰ		生物科学科［生物学］	火2	森川　正章	38	10.5	5.3	15.8	13.2	13.2	10.5	7.9	23.7				3.02
形態機能学Ⅰ		生物科学科［生物学］	金4	加藤　敦之	33	9.1	9.1	6.1	27.3	15.2	21.2	9.1	3.0				3.18
多様性生物学Ⅰ		生物科学科［生物学］	木2	柁原　宏	62	4.8	12.9	21.0	16.1	19.4	14.5	4.8	4.8	1.6			3.23
細胞生物学Ⅰ		生物科学科［生物学］	水3	三輪　京子	48	6.3	6.3	18.8	16.7	16.7	16.7	10.4	8.3				3.12
細胞生物学Ⅱ		生物科学科［生物学］	火2	黒岩　麻里	43	7.0	11.6	11.6	11.6	16.3	27.9	4.7	2.3	2.3		4.7	3.00
機能生物学Ⅰ		生物科学科［生物学］	水2	北田　一博	50	2.0	16.0	26.0	14.0	14.0	8.0	12.0	4.0	4.0			3.18
基礎生物学実習		生物科学科［生物学］	金2,金3,金4	加藤　徹	42	4.8	7.1	11.9	19.0	28.6	11.9	11.9	2.4		2.4		3.08
植物系統分類学実習		生物科学科［生物学］	木3,木4	小亀　一弘	20		95.0			5.0							3.95
動物系統分類学実習		生物科学科［生物学］	月3,月4	柁原　宏	37	2.7	10.8	24.3	35.1	16.2	10.8						3.39
生態学実習		生物科学科［生物学］	火3,火4	加藤　徹	38	5.3	18.4	31.6	15.8	21.1	7.9						3.50
遺伝学実習		生物科学科［生物学］	水3,水4	吉田　磨仁	4	25.0	75.0										4.08
行動神経生物学Ⅰ		生物科学科［生物学］	水2	松島　俊也	36	8.3	8.3	13.9	13.9	22.2	19.4	5.6	2.8	5.6			3.09
生殖発生生物学Ⅰ		生物科学科［生物学］	木2	勝　義直	37	8.1	10.8	13.5	21.6	21.6	21.6	2.7					3.29
分子遺伝学		生物科学科［生物学］	金2	北田　一博	37	10.8	5.4	13.5	10.8	29.7	10.8	16.2				2.7	3.09
系統進化学		生物科学科［生物学］	金3	増田　隆一	43	11.6	11.6	14.0	16.3	11.6	16.3	9.3	2.3		4.7	2.3	3.10
脳と行動の進化		生物科学科［生物学］	木1	水波　誠	34	5.9	11.8	11.8	17.6	23.5	14.7	11.8		2.9			3.14
環境分子生物学		生物科学科［生物学］	水1	山崎　健一	31	6.5	12.9	6.5	16.1	6.5	25.8	9.7	12.9	3.2			2.97
生物科学技術基礎論		生物科学科［生物学］	集中	山下　正兼	5		20.0		40.0				20.0			20.0	2.52
細胞生物学概論			月4	山口　淳二	112	3.6	2.7	10.7	8.9	26.8	11.6	13.4	9.8		8.0	4.5	2.63
研究林実習		生物科学科［生物学］	集中	加藤　徹	23		8.7	21.7	47.8	13.0	8.7						3.36
基礎高分子合成化学		生物科学科［高分子機能学］	水1,金4	門出　健次	40	5.0	20.0	15.0	15.0	27.5	7.5	7.5	2.5				3.32
有機化学演習		生物科学科［高分子機能学］	水1,金4	門出　健次	41	4.9	17.1	29.3	12.2	19.5	7.3		9.8				3.36
分子生物学概論		生物科学科［高分子機能学］	水2,木2	尾瀬　農之	42	14.3	19.0	21.4	23.8	14.3	4.8			2.4			3.54
臨海実習Ⅰ		生物科学科［生物学］	集中	角井　敬知	23		43.5	39.1	13.0		4.3						3.73
臨海実習Ⅱ		生物科学科［生物学］	集中	小亀　一弘	9		100.0										4.00
海洋生態学実習		生物科学科［生物学］	集中	仲岡　雅裕	19		5.3	47.4	42.1		5.3						3.49
海藻学実習		生物科学科［生物学］	集中	本村　泰三	9			100.0									3.70
高分子機能学基礎実験		生物科学科［高分子機能学］	金3,金4	黒川　孝幸	43	2.3	4.7	18.6	34.9	16.3	18.6	2.3				2.3	3.17
生物系の熱力学		生物科学科［高分子機能学］	火2,金1	玉置　信之	43	7.0	16.3	16.3	18.6	14.0	11.6	7.0	4.7	4.7			3.20
生物系の溶液論		生物科学科［高分子機能学］	火2,木2	黒川　孝幸	44	4.5	13.6	13.6	20.5	22.7	11.4	11.4		2.3			3.19
生物系の反応速度論		生物科学科［高分子機能学］	水1,水2	北村　朗	43	4.7	11.6	16.3	7.0	34.9	9.3	7.0	4.7	2.3	2.3		3.09
生物系の分光学		生物科学科［高分子機能学］	火2,金5	金城　政孝	39	7.7	25.6	7.7	23.1	12.8	7.7	7.7	7.7				3.33
生物系の物質輸送論		生物科学科［高分子機能学］	月2,木2	菊川　峰志	37	2.7	16.2	10.8	27.0	27.0	8.1	5.4	2.7				3.26
生物系の統計力学		生物科学科［高分子機能学］	月2,金3	芳賀　永	36	5.6	8.3	11.1	22.2	22.2	25.0	5.6					3.19
高分子機能学特別講義	論文解読で俯瞰する細胞生物学の最先端	生物科学科［高分子機能学］	集中	上原　亮太	3		33.3		33.3	33.3							3.43

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度１学期　理学部（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月26日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
生物系のための有機化学			月3	比能　洋	101	4.0	14.9	24.8	15.8	13.9	13.9		7.9	2.0	3.0		3.19
生物系のための物理学			月2	佐藤　勝彦	130	4.6	10.8	13.8	13.8	31.5	9.2	4.6	3.1	2.3		6.2	2.98
地球惑星科学のための物理数学Ⅰ		地球惑星科学科	水3	稲津　將	57	8.8	5.3	7.0	14.0	21.1	15.8	14.0	10.5	1.8		1.8	2.92
地球惑星科学のための物理数学Ⅰ演習		地球惑星科学科	水4	稲津　將	53	9.4	3.8	11.3	18.9	22.6	9.4	18.9	5.7				3.08
地球惑星科学のための古典力学		地球惑星科学科	木3	勝俣　啓	71	7.0	8.5			43.7			31.0	9.9			2.67
地球惑星科学のための古典力学演習		地球惑星科学科	木4	勝俣　啓	52	11.5	17.3			26.9			28.8	15.4			2.73
地球惑星科学セミナー		地球惑星科学科	火5	栗谷　豪	60	8.3	63.3			18.3			6.7	1.7		1.7	3.59
地球内部物理学		地球惑星科学科	火4	日置　幸介	70	2.9	5.7	11.4	14.3	17.1	14.3	11.4	10.0	5.7		7.1	2.67
地球惑星科学実験Ⅱ		地球惑星科学科	水3,水4	沢田　健	52	13.5	21.2	19.2	23.1	9.6	5.8	5.8	1.9				3.51
地球惑星科学特別講義	星・惑星形成の基礎と関連する電波観測の現状	地球惑星科学科	集中	石渡　正樹	7		14.3			42.9			14.3			28.6	2.14
地球惑星科学特別講義	惑星測地学概論	地球惑星科学科	集中	古屋　正人	40	57.5	7.5		2.5	2.5						30.0	2.93
地球惑星基礎化学		地球惑星科学科	火2	坂本　尚義	58	6.9	1.7	12.1		15.5	12.1	15.5	12.1	15.5		8.6	2.36
堆積学		地球惑星科学科	火4	渡邊　剛	61	4.9	4.9	4.9	8.2	9.8	8.2	11.5	9.8	16.4	16.4	4.9	2.12
鉱物学		地球惑星科学科	火3	永井　隆哉	67	4.5	11.9	16.4	13.4	14.9	10.4	11.9	4.5	9.0		3.0	2.90
地球化学		地球惑星科学科	月4	坂本　尚義	60	3.3	23.3	26.7	18.3	10.0			5.0	8.3		5.0	3.15
変動帯岩石科学		地球惑星科学科	月2	竹下　徹	52	7.7	9.6	5.8	28.8	7.7	11.5	3.8	5.8	5.8	1.9	11.5	2.70
火山学		地球惑星科学科	水2	中川　光弘	75	9.3	13.3	8.0	12.0	12.0	13.3	8.0	6.7	4.0	2.7	10.7	2.72
地球惑星物質科学実習		地球惑星科学科	金1,金2,金3,金4,金5	川野　潤	30	6.7	6.7	10.0	6.7	13.3	13.3	20.0	16.7	6.7			2.76
情報実習		地球惑星科学科	金3,金4	倉本　圭	27	14.8	44.4			7.4			3.7	29.6			3.01
惑星大気構造学		地球惑星科学科	木2	倉本　圭	72	5.6	8.3	13.9	12.5	20.8	12.5	1.4	6.9	1.4		16.7	2.65
海洋地質学		地球惑星科学科	火3	沢田　健	73	8.2	11.0	12.3	19.2	24.7	9.6	9.6	2.7			2.7	3.15
地震学		地球惑星科学科	火2	吉澤　和範	71	8.5	14.1	18.3	12.7	9.9	11.3	8.5	5.6			11.3	2.93
気象学		地球惑星科学科	月3	稲津　將	73	13.7	24.7	9.6	15.1	21.9	8.2		2.7	4.1			3.40
地球計測実習		地球惑星科学科	金3,金4	髙橋　浩晃	26	11.5	15.4	23.1	19.2	23.1			3.8			3.8	3.37
地質学実習		地球惑星科学科	金3,金4,金5	伊庭　靖弘	16	12.5	12.5	31.3	18.8	18.8	6.3						3.54
現代地球惑星科学概論１			月4	高橋　幸弘	88	2.3	9.1	14.8	22.7	11.4	17.0	9.1		1.1		12.5	2.78
地球惑星流体力学Ⅰ	［平成２８年度以降理学部進級者用］	地球惑星科学科	月3	石渡　正樹	7					14.3			14.3			71.4	0.71
地球惑星流体力学Ⅱ	［平成２８年度以降理学部進級者用］	地球惑星科学科	月3	石渡　正樹	5					20.0						80.0	0.60
理学特別講義Ⅰ	獣医骨学実習	地球惑星科学科	集中		1	100.0											4.30
理学特別講義Ⅱ	生命科学研究概論	地球惑星科学科	集中		1		100.0										4.00
理学特別講義Ⅲ	疫学基礎	地球惑星科学科	集中		1			100.0									3.70
理学特別講義Ⅲ	環境毒性学	地球惑星科学科	集中		1	100.0											4.30
理学特別講義Ⅲ	古脊椎動物学	地球惑星科学科	集中		1	100.0											4.30
理学特別講義Ⅲ	鳥類学	地球惑星科学科	集中		1			100.0									3.70
理学特別講義Ⅲ	薬理学基礎	地球惑星科学科	集中		1			100.0									3.70

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度１学期　理学部（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月26日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
理学共通講義Ⅰ	人為的影響下の海洋生物多様性（公害、過剰暴露、気候変動）		集中	Maria Helena Fortuna	7	14.3	42.9	14.3	14.3						14.3		3.43
理学共通演習Ⅰ	キャリアシンキング「現代社会の課題発見と解決策の提案」～理学部の先輩と未来を考える～		集中	中冨　晶子	21	4.8	23.8	42.9	14.3							14.3	3.21
電磁気学Ⅱ			火1	周　波	3			33.3			33.3		33.3				2.80
電磁気学演習Ⅱ			火2	周　波	2			50.0					50.0				2.85
物理化学C			火2	周　睿風	3				33.3				66.7				2.43
有機化学C			月2	ARTEAGA ARTEAGA FERN	2		50.0	50.0									3.85
量子力学Ⅱ		物理学科（ISP）	金3	朴　銀鏡	3		33.3	33.3					33.3				3.23
統計力学Ⅱ		物理学科（ISP）	木3	PETTITT ALEXANDER	3	33.3							66.7				2.77
物理学実験Ⅰ		物理学科（ISP）	火3,火4,水3,水4	井原　慶彦	3		33.3			66.7							3.33
物理学実験Ⅱ		物理学科（ISP）	火3,火4,水3,水4	井原　慶彦	3	33.3	66.7										4.10
物理学外国語文献講読Ⅱ		物理学科（ISP）	水1,水2	柳澤　達也	3	33.3	33.3		33.3								3.87
量子力学演習Ⅱ		物理学科（ISP）	金4	朴　銀鏡	3	33.3	33.3			33.3							3.77
統計力学演習Ⅱ		物理学科（ISP）	木4	PETTITT ALEXANDER	3	33.3							66.7				2.77
化学実験E		化学科（ISP）	月3月4,火3,火4,水3,水4,木3	坂口　和靖	2		50.0		50.0								3.65
化学実験F		化学科（ISP）	月3月4,火3,火4,水3,水4,木3	澤村　正也	2		100.0										4.00
生態学実習		生物科学科［生物学］（ISP）	火3,火4	加藤　徹	1			100.0									3.70
系統分類学Ⅰ		生物科学科［生物学］（ISP）	月2	柁原　宏	1	100.0											4.30
形態機能学Ⅰ		生物科学科［生物学］（ISP）	金4,金5	綿引　雅昭	1		100.0										4.00
生殖発生生物学Ⅰ		生物科学科［生物学］（ISP）	木2	勝　義直	1		100.0										4.00
環境生物学Ⅰ		生物科学科［生物学］（ISP）	火1	森川　正章	1		100.0										4.00
分子遺伝学		生物科学科［生物学］（ISP）	金2	北田　一博	2			100.0									3.70
系統進化学		生物科学科［生物学］（ISP）	金3	増田　隆一	1		100.0										4.00
脳と行動の進化		生物科学科［生物学］（ISP）	木1	水波　誠	2		50.0		50.0								3.65
臨海実習Ⅰ		生物科学科［生物学］（ISP）	集中	角井　敬知	1		100.0										4.00
臨海実習Ⅱ		生物科学科［生物学］（ISP）	集中	小亀　一弘	1		100.0										4.00
海洋生態学実習		生物科学科［生物学］（ISP）	集中	仲岡　雅裕	1				100.0								3.30

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度１学期　理学部（学部）

秀評価対象者(平成17年度以降入学者)［すべての学籍区分］

※１．無欠＝評価せず

令和 2年 3月26日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	秀(%)	優(%)	良(%)	可(%)	不可(%)	無欠(%)	GPA
基礎数学Ａ		数学科	水2, 金2	洞　彰人	6	16.7	50.0	16.7		16.7		2.50
基礎数学演習Ａ		数学科	木3, 木4	朝倉　政典	1					100.0		0.00
基礎数学Ｃ		数学科	火2, 木2	久保　英夫	5				60.0	40.0		0.60
基礎数学演習Ｃ		数学科	金3, 金4	久保　英夫	1					100.0		0.00
代数学基礎		数学科	月2, 木3	齋藤　睦	7			42.9	14.3	42.9		1.00
代数学基礎演習		数学科	火3, 火4	跡部　発	3			33.3		66.7		0.67
幾何学基礎		数学科	月3, 木2	吉永　正彦	4		25.0		50.0	25.0		1.25
幾何学基礎講究		数学科	月3, 木2	吉永　正彦	4			25.0	25.0	50.0		0.75
解析学基礎Ａ		数学科	水2	戸松　玲治	4	25.0		50.0	25.0			2.25
解析学基礎演習Ａ		数学科	金3, 金4	戸松　玲治	3		33.3		66.7			1.67
数理科学基礎		数学科	金2	久保　英夫	2			50.0		50.0		1.00
代数学Ｂ		数学科	水2	松下　大介	2				50.0	50.0		0.50
幾何学Ｃ		数学科	水3	小林　真平	4					100.0		0.00
解析学Ｃ		数学科	月4	小林　政晴	2					100.0		0.00
解析学Ｄ		数学科	木4	宮尾　忠宏	1					100.0		0.00
数理科学Ｂ		数学科	金2	松本　健司	1						100.0	0.00
代数学続論	続・環論（ホモロジー代数とアーベル圏）	数学科	火3, 金3	朝倉　政典	1					100.0		0.00
幾何学続論	リーマン幾何学	数学科	火3, 金3	古畑　仁	1					100.0		0.00
数学特別講義	全変動流型方程式（解析学）	数学科	集中	浜向　直	1					100.0		0.00
数学特別講義	複素領域における線形微分方程式（解析学）	数学科	集中	本多　尚文	1					100.0		0.00
微分積分学続論			月2	黒田　紘敏	6		16.7	16.7		66.7		0.83
代数学・幾何学序論			月3	秋田　利之	5	20.0		20.0	20.0	40.0		1.40
量子力学Ⅱ		物理学科	月2	山本　昌司	1			100.0				2.00
物理学外国語文献講読Ⅱ		物理学科	水1, 水2	柳澤　達也	1			100.0				2.00
現代物理学			月3	末廣　一彦	5		40.0	20.0		40.0		1.60
物性物理学	固体の構造と群論	物理学科	木2	河本　充司	5	20.0		20.0		60.0		1.20
物性物理学	電子バンドと金属・半導体	物理学科	火2	小田　研	4		50.0			50.0		1.50
素粒子物理学		物理学科	月2, 水2	鈴木　久男	1					100.0		0.00
電磁気学Ⅱ		物理学科	木1	三品　具文	2			50.0		50.0		1.00
統計力学Ⅱ		物理学科	金2	山本　昌司	2			100.0				2.00
物理学実験Ⅰ		物理学科	火3, 火4, 水3, 水4	井原　慶彦	1					100.0		0.00
物理学実験Ⅱ		物理学科	火3, 火4, 水3, 水4	井原　慶彦	1	100.0						4.00
物理学実験Ⅲ		物理学科	火3, 火4, 水3, 水4	井原　慶彦	2		50.0			50.0		1.50
物理学実験Ⅳ		物理学科	火3, 火4, 水3, 水4	井原　慶彦	2					100.0		0.00
物理学卒業研究Ⅰ		物理学科	集中	野嵜　龍介	4				50.0	50.0		0.50

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度１学期　理学部（学部）

秀評価対象者(平成17年度以降入学者)［すべての学籍区分］

※１．無欠＝評価せず

令和 2年 3月26日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	秀(%)	優(%)	良(%)	可(%)	不可(%)	無欠(%)	GPA
電磁気学演習Ⅰ		物理学科	木3,木4	中山　隆一	3		66.7			33.3		2.00
電磁気学演習Ⅱ		物理学科	木3,木4	末廣　一彦	1					100.0		0.00
熱物理学演習		物理学科	水3,水4	北　孝文	1		100.0					3.00
統計力学演習Ⅱ		物理学科	金3,金4	奥田　浩司	3		33.3			66.7		1.00
現代天文学			月4	祖徠　和夫	4		25.0		25.0	50.0		1.00
物理学特別講義Ａ	インフレーション宇宙における原始密度揺らぎと重力波	物理学科	集中	小林　達夫	1					100.0		0.00
物理学特別講義Ａ	近傍銀河の電波観測	物理学科	集中	祖徠　和夫	2			50.0		50.0		1.00
物理学特別講義Ａ	大強度ハドロンビームを用いた原子核物理	物理学科	集中	木村　真明	1					100.0		0.00
物理学特別講義Ａ	複雑ネットワークの数理	物理学科	集中	根本　幸児	1				100.0			1.00
物理学特別講義Ａ	物性研究への橋渡し	物理学科	集中	吉田　紘行	1					100.0		0.00
物理学特別講義Ａ	量子情報の基礎と応用	物理学科	集中	井原　慶彦	1	100.0						4.00
有機化学Ⅲ		化学科	月2	及川　英秋	1		100.0					3.00
基礎物理化学			月2	佐田　和己	2		50.0			50.0		1.50
物理学通論		化学科	火1	丸田　悟朗	1		100.0					3.00
ナノ物性化学		化学科	月2	西井　準治	1					100.0		0.00
生物科学研究実習	（留年者用）	生物科学科［生物学］	集中	小川　宏人	1	100.0						4.00
生物学特別講義Ⅰ	博物館から伝える野生動物の姿	生物科学科［生物学］	集中	柁原　宏	1					100.0		0.00
細胞生物学概論			月4	山口　淳二	1					100.0		0.00
海洋生態学実習		生物科学科［生物学］	集中	仲岡　雅裕	1				100.0			1.00
地球内部物理学		地球惑星科学科	火4	日置　幸介	1				100.0			1.00
地球惑星科学特別講義	惑星測地学概論	地球惑星科学科	集中	古屋　正人	1					100.0		0.00
地球惑星基礎化学		地球惑星科学科	火2	坂本　尚義	1					100.0		0.00
火山学		地球惑星科学科	水2	中川　光弘	1					100.0		0.00
地震学		地球惑星科学科	火2	吉澤　和範	1				100.0			1.00
気象学		地球惑星科学科	月3	稲津　將	1		100.0					3.00
現代地球惑星科学概論１			月4	高橋　幸弘	5		40.0	20.0		40.0		1.60

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度２学期　理学部（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月26日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
数学卒業研究		数学科	集中	本多　尚文	48	52.1	33.3	4.2					2.1	2.1		6.3	3.79
基礎数学B		数学科	火2,木2	岩崎　克則	56	7.1	10.7	8.9	10.7	8.9	8.9	7.1	7.1	5.4	1.8	23.2	2.30
基礎数学演習B		数学科	水3,水4	吉永　正彦	54	11.1	13.0	5.6	7.4	7.4	11.1	14.8	11.1	7.4	11.1		2.68
コンピュータ		数学科	火3,火4	行木　孝夫	49	24.5	14.3	12.2	8.2	4.1	4.1	4.1	16.3	12.2			3.12
解析学基礎B		数学科	木2	正宗　淳	33	6.1	12.1			30.3		3.0	18.2	6.1		24.2	2.15
解析学基礎演習B		数学科	金3,金4	正宗　淳	24	12.5	25.0			29.2			12.5	16.7		4.2	2.83
代数学A		数学科	水3	松下　大介	28	14.3	10.7	14.3	10.7	7.1	7.1	10.7		10.7		14.3	2.69
代数学演習		数学科	火3,火4	田邊　顕一朗	24		37.5		4.2		4.2		20.8	4.2	4.2	25.0	2.24
代数学C		数学科	月4	松本　圭司	24		25.0	12.5	16.7	16.7	8.3	4.2	8.3	8.3			3.08
幾何学A		数学科	金2	石川　剛郎	28	21.4	28.6	21.4	3.6	7.1	3.6	3.6	3.6	3.6		3.6	3.48
幾何学B		数学科	火2	秋田　利之	31	6.5	6.5	12.9	9.7	3.2			32.3	6.5	6.5	16.1	2.18
幾何学演習		数学科	木3,木4	石川　剛郎	22	27.3	13.6	18.2	4.5	18.2	4.5		9.1	4.5			3.44
解析学A		数学科	月2	洞　彰人	35	5.7	17.1	17.1	14.3	20.0		2.9		11.4		11.4	2.82
解析学B		数学科	水2	浜向　直	32	9.4	6.3	15.6	6.3	25.0	6.3	12.5	3.1	3.1	9.4	3.1	2.80
解析学F		数学科	金1	坂井　哲	15	13.3	20.0	6.7	13.3	6.7				6.7	6.7	26.7	2.37
解析学G		数学科	火3	長谷部　高広	7	42.9	57.1										4.13
数理科学A		数学科	月3	長山　雅晴	31	16.1		3.2	6.5	3.2	9.7	16.1	6.5	12.9	9.7	16.1	2.08
数理科学演習		数学科	水4,水5	長山　雅晴	20	5.0	10.0		5.0	25.0	30.0		15.0	5.0	5.0		2.73
代数学続論	Reflections Groups and Coxeter Groups	数学科	水4	Simona Settepanella	3	33.3	33.3									33.3	2.77
代数学続論	ユニタリ表現論	数学科	金3	山下　博	5			20.0			20.0	20.0				40.0	1.74
幾何学続論	K3 曲面上の力学系	数学科	月3	岩崎　克則	1		100.0										4.00
幾何学続論	多様体続論・横断正則性	数学科	木3	秦泉寺　雅夫	2	100.0											4.30
数理解析学続論	自由確率論入門	数学科	水2	長谷部　高広	2	50.0										50.0	2.15
数理解析学続論	数理モデリングの基礎	数学科	月2	長山　雅晴	2	100.0											4.30
数理解析学続論	非線形数学（パターン形成とその時間発展）	数学科	木2	栄　伸一郎	4	50.0	50.0										4.15
数学講読	令和元年度第2学期	数学科	集中	本多　尚文	25	48.0	36.0	16.0									4.10
確率・統計入門		数学科	水1	古畑　仁	66	4.5	28.8		28.8			1.5		36.4			2.70
統計学		数学科	火1	大本　亨	18	16.7	11.1			16.7	11.1	5.6				38.9	2.09
ベクトル解析			月1	吉永　正彦	81	4.9	12.3	6.2	7.4	11.1	3.7	7.4	11.1	4.9	30.9		2.27
基礎数学D		数学科	水2,金2	神保　秀一	63	3.2	6.3	4.8	7.9	4.8	14.3	4.8	9.5	27.0		17.5	1.93
基礎数学演習D		数学科	木3,木4	栄　伸一郎	53	7.5	15.1	9.4	13.2	15.1	7.5	1.9		15.1		15.1	2.56
数学総合講義Ⅰ	周期的均質化法入門とその応用1	数学科	集中	黒田　紘敏	1											100.0	0.00
数学総合講義Ⅰ	周期的均質化法入門とその応用2	数学科	集中	正宗　淳	1											100.0	0.00
数学総合講義Ⅰ	情報理論とポートフォリオ理論	数学科	集中	正宗　淳	4		75.0			25.0							3.75
数学総合講義Ⅰ	数理による計算機の革新	数学科	集中	本多　尚文	12	8.3	8.3		8.3	25.0	16.7					33.3	2.17

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度２学期　理学部（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月26日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
数学総合講義Ⅱ	Graph Theory - From Introductory Concepts to Matchings	数学科	木5	Simona Settepanella	5	80.0										20.0	3.44
物理数学Ⅱ		物理学科	火2	根本　幸児	38	5.3	15.8	13.2	13.2	18.4	2.6	7.9	15.8			7.9	2.90
物理数学演習Ⅱ		物理学科	火3,火4	堀内　渉	33	9.1	6.1	15.2	15.2	6.1	6.1	9.1	6.1	12.1	3.0	12.1	2.51
力学Ⅱ		物理学科	水2	中山　隆一	44	6.8	9.1	13.6	9.1	15.9	15.9	2.3	6.8	11.4	2.3	6.8	2.69
振動と波動の物理			月2	河本　充司	42	7.1	16.7	7.1	9.5	2.4	2.4		11.9			42.9	1.93
量子力学Ⅰ		物理学科	金2	山本　昌司	43	7.0	4.7	11.6	16.3	11.6	16.3	16.3	9.3	2.3	4.7		2.86
量子力学Ⅰ		地球惑星科学科	金2	山本　昌司	16				6.3	18.8	25.0	6.3	18.8	12.5	12.5		2.18
物理学外国語文献講読Ⅰ		物理学科	月3,月4	根本　幸児	40	20.0	7.5	32.5	2.5	12.5		12.5	10.0	2.5			3.33
物性物理学	物質の磁性	物理学科	火2	網塚　浩	21	23.8	33.3	14.3	4.8	14.3						9.5	3.47
量子力学演習Ⅰ		物理学科	金3,金4	大原　潤	38	5.3	15.8	10.5	13.2	13.2	7.9	5.3	10.5	10.5	2.6	5.3	2.74
相対論		物理学科	木2	小林　達夫	18	44.4	5.6	5.6		11.1			11.1			22.2	2.89
統計力学Ⅰ		物理学科	木2	北　孝文	44	25.0	15.9	22.7	9.1	2.3		4.5	13.6		2.3	4.5	3.31
統計力学Ⅰ		地球惑星科学科	木2	北　孝文	36	5.6	11.1	5.6	2.8	2.8	2.8	19.4	19.4	8.3	11.1	11.1	2.14
物理学実験Ⅰ		物理学科	火3,火4,水3,水4	武貞　正樹	20	15.0		30.0		35.0		10.0		5.0		5.0	3.09
物理学実験Ⅱ		物理学科	火3,火4,水3,水4	武貞　正樹	21	23.8		33.3		28.6		9.5		4.8			3.38
物理学実験Ⅲ		物理学科	火3,火4,水3,水4	武貞　正樹	15	26.7		46.7		13.3		13.3					3.58
物理学実験Ⅳ		物理学科	火3,火4,水3,水4	武貞　正樹	14	21.4		42.9		21.4		14.3					3.48
物理学外国語文献講読Ⅲ		物理学科	木3,木4	木村　真明	35	14.3	31.4	8.6	25.7	11.4	2.9		2.9			2.9	3.51
物理学卒業研究Ⅱ		物理学科	集中	野嵜　龍介	33	30.3	36.4	6.1	3.0			18.2	6.1				3.62
力学演習Ⅱ		物理学科	水3,水4	岡本　崇	35	20.0	8.6	11.4	8.6	20.0	11.4	8.6	5.7	2.9	2.9		3.18
統計力学演習Ⅰ		物理学科	木3,木4	北　孝文	36	5.6	16.7	8.3	13.9	16.7	13.9	11.1	8.3			5.6	2.97
場の理論		物理学科	水2	小林　達夫	27	44.4	7.4	18.5	3.7	3.7	3.7		7.4			11.1	3.37
原子核物理学		物理学科	金3,金4	木村　真明	19		21.1	10.5					26.3			42.1	1.76
物理学特別講義Ａ	Galactic Archaeology: deciphering galaxy formation in the local universe	物理学科	集中	岡本　崇	2											100.0	0.00
物理学特別講義Ａ	素粒子実験物理学	物理学科	集中	鈴木　久男	4					75.0						25.0	2.25
物理学特別講義Ａ	不安定核の相関・励起と原子核密度汎関数理論	物理学科	集中	木村　真明	6	16.7		33.3					16.7			33.3	2.28
化学実験Ⅳ		化学科	月3,月4,火3,火4,木5,木6,木7,木8	石森　浩一郎	74	4.1	12.2	14.9	24.3	18.9	14.9	5.4	1.4	1.4		2.7	3.15
物理化学Ⅱ		化学科	木1	村越　敬	84	3.6	11.9	14.3	15.5	17.9	9.5	9.5	4.8	8.3	2.4	2.4	2.88
物理化学Ⅲ		化学科	金2	石森　浩一郎	84	7.1	10.7	15.5	23.8	8.3	6.0	4.8	7.1	9.5		7.1	2.85
有機化学Ⅰ		化学科	火2	澤村　正也	96	4.2	3.1	2.1	10.4	11.5	14.6	6.3	25.0	9.4	4.2	9.4	2.23
有機化学Ⅱ		化学科	水2	谷野　圭持	89	5.6	5.6	5.6	9.0	16.9	13.5	14.6	7.9	6.7	7.9	6.7	2.46
無機化学Ⅱ		化学科	水1	加藤　昌子	81	2.5	12.3	9.9	22.2	21.0	9.9	7.4	6.2	1.2		7.4	2.90
生物化学Ⅰ		化学科	木2	坂口　和靖	85	8.2	7.1	16.5	9.4	10.6	16.5	10.6	1.2	7.1	4.7	8.2	2.69
化学実験Ⅰ		化学科	月3,月4,火3,火4,木5,木6,木7,木8	加藤　昌子	77	5.2	14.3	29.9	24.7	14.3	7.8			2.6		1.3	3.38
化学実験Ⅲ		化学科	月3,月4,火3,火4,木5,木6,木7,木8	加藤　昌子	78	9.0	6.4	14.1	9.0	17.9	11.5	11.5	14.1		5.1	1.3	2.89

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度２学期　理学部（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月26日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
化学文献講読		化学科	集中	坂口　和靖	66	62.1	24.2	7.6				3.0		1.5		1.5	4.01
化学研究実験		化学科	集中	坂口　和靖	66	63.6	21.2	6.1	3.0			3.0			1.5	1.5	3.99
基礎磁気化学		化学科	木1	分島　亮	34	11.8	8.8	23.5	2.9	11.8	17.6	17.6	2.9			2.9	3.12
物質電子論		化学科	金2	佐田　和己	49	4.1	14.3	8.2	12.2	10.2	18.4	6.1	12.2	4.1	4.1	6.1	2.71
熱・統計力学Ⅰ		化学科	火2	武田　定	35	5.7	14.3	11.4	14.3	17.1	8.6	8.6	8.6		5.7	5.7	2.87
量子化学Ⅱ		化学科	水2	前田　理	26	19.2	15.4	19.2	15.4	7.7		3.8	7.7		11.5		3.22
固体化学		化学科	月1	原田　潤	37		13.5	10.8	13.5	16.2	13.5	13.5	10.8			8.1	2.76
分子分光学		化学科	金3	内田　毅	47	4.3	17.0	17.0	8.5	10.6	17.0	6.4	6.4	2.1	2.1	8.5	2.86
錯体化学		化学科	金1	小林　厚志	66	7.6	10.6	13.6	16.7	15.2	12.1	10.6	4.5	3.0		6.1	2.95
有機合成化学		化学科	木2	鈴木　孝洋	52	3.8	9.6	9.6	13.5	7.7	15.4	13.5	3.8	11.5		11.5	2.50
有機金属化学		化学科	水1	清水　洋平	46	2.2	10.9	6.5	6.5	10.9	4.3	23.9	6.5	4.3	4.3	19.6	2.18
有機機器分析		化学科	火1	石垣　侑祐	128	5.5	6.3	7.8	10.2	11.7	10.2	14.8	10.9	3.9	0.8	18.0	2.34
機能生化学		化学科	月2	村上　洋太	53	9.4	9.4	7.5	9.4	20.8	18.9	3.8	11.3		1.9	7.5	2.83
化学特別講義Ⅱ	物理化学特別講義 2019	化学科	集中	村越　敬	4	100.0											4.30
生物科学研究実習		生物科学科［生物学］	集中	小川　宏人	42		95.2									4.8	3.81
生物科学文献講読		生物科学科［生物学］	集中	小川　宏人	1											100.0	0.00
生物多様性概論			月2	山口　淳二	52	9.6	13.5	3.8	9.6	3.8	13.5	17.3	11.5	3.8	5.8	7.7	2.60
基礎生化学実習		生物科学科［生物学］	火3,火4,水3,水4,木3,木4,金3,金4	荻原　克益	39	5.1	5.1	23.1	10.3	25.6	5.1	17.9	5.1			2.6	3.04
生物学特別講義Ⅵ	現代生物科学の研究技法	生物科学科［生物学］	集中	小川　宏人	1				100.0								3.30
生物学特別講義Ⅵ	生物多様性と気候変動：バルト海からの教訓	生物科学科［生物学］	集中	Maria Helena Fortuna	6		100.0										4.00
生体高分子学実験Ⅰ		生物科学科［高分子機能学］	月3,月4,火3,火4,水3,水4,木3,木4	黒川　孝幸	43	4.7	18.6	25.6	14.0	16.3	11.6	4.7	4.7				3.35
生体高分子学実験Ⅲ		生物科学科［高分子機能学］	月4,火4,水4,木4,金4	出村　誠	39	2.6	89.7	5.1			2.6						3.96
高分子機能学文献講読		生物科学科［高分子機能学］	集中	出村　誠	39	5.1	74.4	2.6	10.3		5.1	2.6					3.83
高分子機能学卒業研究		生物科学科［高分子機能学］	集中	出村　誠	39	15.4	64.1	12.8	5.1	2.6							3.95
生命有機化学		生物科学科［高分子機能学］	火1,木2	門出　健次	43	7.0	14.0	20.9	4.7	18.6	9.3	11.6	9.3		4.7		3.08
細胞構造科学Ⅰ		生物科学科［高分子機能学］	火2,金1	出村　誠	42	11.9	19.0	14.3	19.0	4.8	14.3	7.1	9.5				3.31
細胞情報科学Ⅰ		生物科学科［高分子機能学］	水2,金3	中村　公則	39	5.1	12.8	15.4	15.4	12.8	17.9	10.3	10.3				3.12
細胞情報科学Ⅱ		生物科学科［高分子機能学］	火2,木2	綾部　時芳	39	12.8	12.8	15.4	15.4	15.4	10.3	5.1	10.3			2.6	3.20
分子遺伝科学Ⅰ		生物科学科［高分子機能学］	木2,金2	上原　亮太	43	2.3	23.3	16.3	25.6	18.6	2.3	7.0	4.7				3.35
レオロジー		生物科学科［高分子機能学］	火3,木3	黒川　孝幸	39	5.1	15.4	23.1	15.4	17.9	10.3	2.6	7.7		2.6		3.24
系統分類学Ⅱ		生物科学科［生物学］	月2	堀口　健雄	35	2.9	14.3	20.0	11.4	31.4	20.0						3.29
環境生物学Ⅱ		生物科学科［生物学］	水1	鈴木　仁	43	7.0	4.7	4.7	18.6	18.6	9.3	20.9	16.3				2.89
形態機能学Ⅱ		生物科学科［生物学］	火2	髙田　泰弘	37	2.7	10.8	18.9	10.8	21.6	18.9	13.5	2.7				3.13
多様性生物学Ⅱ		生物科学科［生物学］	水2	小亀　一弘	56	8.9	16.1	21.4	17.9	14.3	5.4	3.6	1.8	8.9		1.8	3.19
多様性生物学Ⅲ		生物科学科［生物学］	木2	越川　滋行	53	9.4	7.5	17.0	18.9	18.9	7.5	9.4	11.3				3.17

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度２学期　理学部（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月26日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
細胞生物学Ⅲ		生物科学科［生物学］	月4	和多　和宏	46	6.5	10.9	8.7	19.6	19.6	28.3	2.2	2.2			2.2	3.13
機能生物学Ⅱ		生物科学科［生物学］	月3	松島　俊也	46	8.7	10.9	6.5	26.1	8.7	26.1	6.5	2.2			4.3	3.07
機能生物学Ⅲ		生物科学科［生物学］	火2	加藤　敦之	43	7.0	16.3	7.0	11.6	18.6	20.9	11.6	2.3			4.7	3.03
基礎形態学実習		生物科学科［生物学］	火3,火4,水3,水4,木3,木4,金3,金4	綿引　雅昭	41	7.3	12.2	9.8	12.2	22.0	17.1	12.2	7.3				3.11
形態機能学実習		生物科学科［生物学］	月3,月4,火3,火4,木3,木4,金3,金4	藤田　知道	19	5.3	5.3	57.9	21.1	5.3		5.3					3.55
環境生物学実習		生物科学科［生物学］	月3,月4,火3,火4,木3,木4,金3,金4	森川　正章	30	3.3	13.3	20.0	43.3	16.7				3.3			3.38
行動神経生物学実習		生物科学科［生物学］	月3,月4,火3,火4,木3,木4,金3,金4	松島　俊也	14	7.1	28.6	21.4	14.3	28.6							3.57
発生学実習		生物科学科［生物学］	月3,月4,火3,火4,木3,木4,金3,金4	黒岩　麻里	22		9.1	22.7	9.1	27.3	13.6	4.5	9.1	4.5			3.02
行動神経生物学Ⅱ		生物科学科［生物学］	水2	小川　宏人	23	4.3	4.3	17.4	34.8	17.4	13.0	4.3	4.3				3.21
生殖発生生物学Ⅱ		生物科学科［生物学］	木2	木村　敦	34	5.9	8.8	14.7	17.6	11.8	26.5	5.9	5.9	2.9			3.08
生物統計学		生物科学科［生物学］	集中	相馬　雅代	6		16.7									83.3	0.67
生物学特別実習Ⅰ		生物科学科［生物学］	集中	加藤　敦之	2	50.0		50.0									4.00
応用生物有機化学		生物科学科［高分子機能学］	月2,金2	西村　紳一郎	38	10.5	18.4	15.8	5.3	15.8	10.5		7.9	10.5		5.3	2.97
生物系の電解質論		生物科学科［高分子機能学］	水1,金1	グン　剣萍	44			9.1	18.2	11.4	29.5	27.3	2.3	2.3			2.77
生物系の量子力学		生物科学科［高分子機能学］	水1,金2	芳賀　永	41	4.9	12.2	12.2	19.5	17.1	14.6		9.8	7.3	2.4		2.99
生体高分子物性論		生物科学科［高分子機能学］	月3,水3	キング　ダニエル	39	5.1	7.7	10.3	20.5	7.7	17.9	10.3	15.4	2.6		2.6	2.87
生物系の分析化学		生物科学科［高分子機能学］	水2,金3	相沢　智康	42	7.1	9.5	9.5	26.2	19.0	7.1	14.3	7.1				3.14
生物系のＸ線結晶学		生物科学科［高分子機能学］	水2,金4	姚　閔	43	2.3	9.3	20.9	16.3	16.3	16.3	9.3	7.0		2.3		3.08
基礎化学英語		生物科学科［高分子機能学］	火2,金3	Garcia Martin Fayna	43	4.7	4.7	14.0	16.3	20.9	20.9	4.7	11.6		2.3		2.99
地球惑星科学のための物理数学Ⅱ		地球惑星科学科	火3	倉本　圭	61	4.9	13.1	16.4	9.8	23.0	8.2	3.3	8.2	3.3		9.8	2.85
地球惑星科学のための物理数学Ⅱ演習		地球惑星科学科	火4	倉本　圭	57	7.0	12.3	14.0	3.5	15.8	15.8	8.8	10.5	7.0		5.3	2.81
地球惑星科学のための電磁気学		地球惑星科学科	木3	橋本　武志	63	3.2	12.7	12.7	7.9	12.7	11.1	6.3	17.5	6.3	6.3	3.2	2.66
地球惑星科学実験Ⅰ		地球惑星科学科	月3,月4	栗谷　豪	29	6.9	10.3	17.2	20.7	20.7		10.3	6.9	6.9			3.10
陸水循環物理学		地球惑星科学科	水3	知北　和久	60	8.3	10.0	18.3	11.7	11.7	8.3	10.0	15.0	3.3	1.7	1.7	2.97
地球環境学		地球惑星科学科	月2	杉本　敦子	60	6.7	6.7	13.3	13.3	15.0	21.7	10.0	10.0			3.3	2.95
惑星学		地球惑星科学科	金4	鎌田　俊一	64	3.1	9.4	15.6	18.8	15.6	12.5	6.3	4.7	1.6	6.3	6.3	2.81
宇宙測地学		地球惑星科学科	金4	古屋　正人	50	6.0	8.0	6.0	6.0	10.0	16.0	18.0	20.0	4.0		6.0	2.58
地球惑星科学実験Ⅲ		地球惑星科学科	火3,火4	亀田　純	35	8.6	5.7	34.3	14.3	14.3	14.3		5.7			2.9	3.27
地球惑星科学実験Ⅳ		地球惑星科学科	木3,木4	中川　光弘	24	20.8	45.8	12.5	4.2	4.2			4.2	8.3			3.62
地球惑星科学特別講義	地球外物質科学 － 太陽系の起源と進化	地球惑星科学科	集中	圦本　尚義	40	17.5	27.5			15.0	5.0					35.0	2.44
マグマ科学		地球惑星科学科	火2	栗谷　豪	65	4.6	9.2	12.3	10.8	13.8	7.7	9.2	12.3	10.8	6.2	3.1	2.61
地球史		地球惑星科学科	水3	沢田　健	64	4.7	7.8	10.9	7.8	14.1	12.5	12.5	12.5	9.4		7.8	2.57
古生物学		地球惑星科学科	火2	伊庭　靖弘	57	14.0	7.0	36.8	14.0	10.5	8.8	5.3	1.8		1.8		3.43
有機地球化学		地球惑星科学科	金2	鈴木　徳行	55	9.1	10.9	9.1	12.7	10.9	9.1	3.6	10.9	7.3	5.5	10.9	2.57
鉱物物理化学		地球惑星科学科	水4	永井　隆哉	53		1.9	9.4	11.3	20.8	13.2	13.2	24.5	1.9		3.8	2.59

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度２学期　理学部（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月26日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
野外巡検		地球惑星科学科	集中	竹下　徹	13	15.4	15.4	15.4		15.4						38.5	2.31
流体力学		地球惑星科学科	月5	石渡　正樹	50	18.0	14.0	6.0	6.0	10.0	8.0	10.0	2.0	10.0		16.0	2.64
流体力学		物理学科	月5	石渡　正樹	18	27.8	11.1	5.6	16.7	11.1	11.1					16.7	3.03
地球惑星電磁気学		地球惑星科学科	月3	橋本　武志	57	3.5	22.8	29.8	12.3	8.8	5.3	1.8	3.5		1.8	10.5	3.10
データ解析学		地球惑星科学科	金3	青山　裕	45	4.4	6.7	8.9	2.2	13.3	11.1	17.8	2.2	6.7	11.1	15.6	2.16
地球惑星科学文献講読	（留年者用）	地球惑星科学科	集中	栗谷　豪	1		100.0										4.00
地球惑星科学文献講読		地球惑星科学科	集中	栗谷　豪	60	3.3	65.0			20.0			6.7			5.0	3.48
地球惑星科学研究	（留年者用）	地球惑星科学科	集中	栗谷　豪	1		100.0										4.00
地球惑星科学研究		地球惑星科学科	集中	栗谷　豪	60	5.0	65.0			21.7			3.3			5.0	3.53
地球連続体力学		地球惑星科学科	水4	蓬田　清	51	23.5	7.8	5.9	17.6	5.9				33.3		5.9	2.64
岩石変形学		地球惑星科学科	水2	竹下　徹	56	3.6	7.1	8.9	17.9	7.1	10.7	3.6	14.3	5.4		21.4	2.28
海洋気候物理学		地球惑星科学科	金3	見延　庄士郎	61	11.5	13.1	14.8	18.0	6.6	11.5	8.2	3.3	8.2		4.9	3.00
地球資源科学		地球惑星科学科	木2	山本　順司	65	9.2	13.8	36.9	12.3	12.3	6.2	4.6	1.5			3.1	3.40
宇宙物理学		地球惑星科学科	水1	徂徠　和夫	24	4.2	4.2	16.7	20.8	12.5	4.2	8.3	8.3	4.2	16.7		2.65
宇宙物理学		物理学科	水1	徂徠　和夫	11		9.1		18.2		18.2		9.1	18.2	27.3		2.01
現代地球惑星科学概論２			月2	長谷部　文雄	104	5.8	9.6	10.6	13.5	19.2	14.4	7.7	3.8	1.0	1.9	12.5	2.71
理学共通演習Ⅱ	アクティブラーニングで学ぶ自然科学2019		集中	小田　研	27	40.7	22.2	37.0									4.01
複素関数論入門			木1	周　波	3		33.3						66.7				2.67
複素関数論入門演習			木2	周　波	3		33.3						66.7				2.67
フーリエ解析学入門			木1	PETTITT ALEXANDER	3	33.3		33.3							33.3		2.90
フーリエ解析学入門演習			木2	PETTITT ALEXANDER	2			50.0							50.0		2.20
量子力学Ⅰ			水1	朴　銀鏡	3	33.3			33.3			33.3					3.30
統計力学Ⅰ			月1	周　波	3		33.3	33.3				33.3					3.33
量子力学演習Ⅰ			水2	朴　銀鏡	2	50.0	50.0										4.15
統計力学演習Ⅰ			月2	周　波	3		33.3	33.3				33.3					3.33
データ処理入門			金2	河本　充司	7			100.0									3.70
物理化学B			火2	周　睿風	1		100.0										4.00
有機化学B			木1	ARTEAGA ARTEAGA FERN	2		100.0										4.00
無機化学B			金1	孫　宇	1					100.0							3.00
多様性生物学Ⅱ			水2	Kevin Wakeman	9	22.2	11.1	22.2	22.2				22.2				3.40
多様性生物学Ⅲ			木2	Kevin Wakeman	7	14.3	71.4	14.3									4.00
細胞生物学Ⅲ			月4	TEH OOI KOCK	8	12.5	12.5	12.5	12.5	37.5	12.5						3.38
機能生物学Ⅱ			月3	PATZKE NINA	8	37.5	25.0	12.5	12.5			12.5					3.78
機能生物学Ⅲ			火2	TEH OOI KOCK	7	14.3	14.3	28.6		28.6		14.3					3.43
力学Ⅱ		物理学科（ISP）	金3	PETTITT ALEXANDER	1				100.0								3.30

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度２学期　理学部（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月26日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
物理学実験Ⅲ		物理学科（ISP）	火3,火4,水3,水4	武貞　正樹	3			100.0									3.70
物理学実験Ⅳ		物理学科（ISP）	火3,火4,水3,水4	武貞　正樹	3	66.7				33.3							3.87
物理学外国語文献講読Ⅰ		物理学科（ISP）	月3,月4	根本　幸児	1	100.0											4.30
物理学外国語文献講読Ⅲ		物理学科（ISP）	木3,木4	木村　真明	3			66.7	33.3								3.57
力学演習Ⅱ		物理学科（ISP）	金4	PETTITT ALEXANDER	1				100.0								3.30
相対論		物理学科（ISP）	木2	小林　達夫	3	66.7		33.3									4.10
場の理論		物理学科（ISP）	水2	小林　達夫	1	100.0											4.30
原子核物理学		物理学科（ISP）	金3,金4	木村　真明	3		33.3	33.3						33.3			2.90
物性物理学	物質の磁性	物理学科（ISP）	火2	網塚　浩	3	100.0											4.30
化学実験Ａ		化学科（ISP）	月3,月4,火3,火4,木3,木4,木5,木	加藤　昌子	1	100.0											4.30
基礎生化学実習		生物科学科［生物学］（ISP）	火3,火4,木3,木4,木5,木6,金5,金	荻原　克益	6		33.3	33.3	16.7		16.7						3.57
基礎形態学実習		生物科学科［生物学］（ISP）	火3,火4,木3,木4,木5,木6,金5,金	綿引　雅昭	6				66.7	33.3							3.20
行動神経生物学実習		生物科学科［生物学］（ISP）	月3,月4,火3,火4,木5,木6,木7,木	松島　俊也	1				100.0								3.30
発生学実習		生物科学科［生物学］（ISP）	月3,月4,火3,火4,木5,木6,木7,木	黒岩　麻里	1	100.0											4.30
系統分類学Ⅱ		生物科学科［生物学］（ISP）	月2	堀口　健雄	1		100.0										4.00
形態機能学Ⅱ		生物科学科［生物学］（ISP）	火2	千葉　由佳子	2		50.0			50.0							3.50
行動神経生物学Ⅱ		生物科学科［生物学］（ISP）	水2	小川　宏人	1		100.0										4.00
生殖発生生物学Ⅱ		生物科学科［生物学］（ISP）	木2	木村　敦	1			100.0									3.70
環境生物学Ⅱ		生物科学科［生物学］（ISP）	水1	鈴木　仁	1		100.0										4.00
生物学特別講義Ⅲ	神経生物学セミナー Ａ	生物科学科［生物学］（ISP）	集中	田中　暢明	1	100.0											4.30

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度２学期　理学部（学部）

秀評価対象者(平成17年度以降入学者)［すべての学籍区分］

※１．無欠＝評価せず

令和 2年 3月26日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	秀(%)	優(%)	良(%)	可(%)	不可(%)	無欠(%)	GPA
数学卒業研究		数学科	集中	本多　尚文	4	25.0	25.0	25.0		25.0		2.25
基礎数学Ｂ		数学科	火2, 木2	岩崎　克則	4	25.0		50.0		25.0		2.00
基礎数学演習Ｂ		数学科	水3, 水4	吉永　正彦	2					100.0		0.00
コンピュータ		数学科	火3, 火4	行木　孝夫	2	50.0		50.0				3.00
解析学基礎Ｂ		数学科	木2	正宗　淳	7				14.3	57.1	28.6	0.20
解析学基礎演習Ｂ		数学科	金3, 金4	正宗　淳	4					100.0		0.00
代数学Ａ		数学科	水3	松下　大介	6				33.3	66.7		0.33
代数学演習		数学科	火3, 火4	田邊　顕一朗	3					100.0		0.00
代数学Ｃ		数学科	月4	松本　圭司	5		20.0			80.0		0.60
幾何学Ａ		数学科	金2	石川　剛郎	5			40.0		60.0		0.80
幾何学Ｂ		数学科	火2	秋田　利之	6					66.7	33.3	0.00
幾何学演習		数学科	木3, 木4	石川　剛郎	3			33.3		66.7		0.67
解析学Ａ		数学科	月2	洞　彰人	9		11.1			77.8	11.1	0.38
解析学Ｂ		数学科	水2	浜向　直	6			16.7	16.7	66.7		0.50
解析学Ｆ		数学科	金1	坂井　哲	3					100.0		0.00
数理科学Ａ		数学科	月3	長山　雅晴	6					83.3	16.7	0.00
数理科学演習		数学科	水4, 水5	長山　雅晴	2			50.0		50.0		1.00
幾何学続論	K3 曲面上の力学系	数学科	月3	岩崎　克則	1					100.0		0.00
数理解析学続論	非線形数学（パターン形成とその時間発展）	数学科	木2	栄　伸一郎	1				100.0			1.00
数学講読	令和元年度第2学期	数学科	集中	本多　尚文	3	33.3	66.7					3.33
確率・統計入門		数学科	水1	古畑　仁	9	11.1	44.4			44.4		1.78
統計学		数学科	火1	大本　亨	5	20.0			20.0	60.0		1.00
ベクトル解析			月1	吉永　正彦	9	22.2			22.2	55.6		1.11
基礎数学Ｄ		数学科	水2, 金2	神保　秀一	7		14.3		28.6	57.1		0.71
基礎数学演習Ｄ		数学科	木3, 木4	栄　伸一郎	2			50.0		50.0		1.00
数学総合講義Ⅰ	周期的均質化法入門とその応用2	数学科	集中	正宗　淳	1	100.0						4.00
数学総合講義Ⅰ	情報理論とポートフォリオ理論	数学科	集中	正宗　淳	1					100.0		0.00
数学総合講義Ⅰ	数理による計算機の革新	数学科	集中	本多　尚文	2	50.0				50.0		2.00
数学総合講義Ⅱ	Graph Theory - From Introductory Concepts to Matchings	数学科	木5	Simona Settepanella	1					100.0		0.00
振動と波動の物理			月2	河本　充司	1					100.0		0.00
量子力学Ⅰ		物理学科	金2	山本　昌司	1		100.0					3.00
量子力学Ⅰ		地球惑星科学科	金2	山本　昌司	1			100.0				2.00
物理学外国語文献講読Ⅰ		物理学科	月3, 月4	根本　幸児	1		100.0					3.00
物性物理学	物質の磁性	物理学科	火2	網塚　浩	1	100.0						4.00
量子力学演習Ⅰ		物理学科	金3, 金4	大原　潤	1		100.0					3.00

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度２学期　理学部（学部）

秀評価対象者(平成17年度以降入学者)［すべての学籍区分］

※１．無欠＝評価せず

令和 2年 3月26日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	秀(%)	優(%)	良(%)	可(%)	不可(%)	無欠(%)	GPA
相対論		物理学科	木2	小林　達夫	1	100.0						4.00
統計力学Ⅰ		地球惑星科学科	木2	北　孝文	1				100.0			1.00
物理学実験Ⅰ		物理学科	火3,火4,水3,水4	武貞　正樹	1		100.0					3.00
物理学実験Ⅳ		物理学科	火3,火4,水3,水4	武貞　正樹	1		100.0					3.00
物理学外国語文献講読Ⅲ		物理学科	木3,木4	木村　真明	1	100.0						4.00
物理学卒業研究Ⅱ		物理学科	集中	野嵜　龍介	2				100.0			1.00
力学演習Ⅱ		物理学科	水3,水4	岡本　崇	1					100.0		0.00
場の理論		物理学科	水2	小林　達夫	1		100.0					3.00
原子核物理学		物理学科	金3,金4	木村　真明	1			100.0				2.00
物理化学Ⅲ		化学科	金2	石森　浩一郎	1				100.0			1.00
化学文献講読		化学科	集中	坂口　和靖	1			100.0				2.00
化学研究実験		化学科	集中	坂口　和靖	1			100.0				2.00
基礎磁気化学		化学科	木1	分島　亮	1				100.0			1.00
熱・統計力学Ⅰ		化学科	火2	武田　定	1		100.0					3.00
地球惑星科学のための物理数学Ⅱ		地球惑星科学科	火3	倉本　圭	2					100.0		0.00
地球惑星科学のための物理数学Ⅱ演習		地球惑星科学科	火4	倉本　圭	1					100.0		0.00
マグマ科学		地球惑星科学科	火2	栗谷　豪	2			50.0		50.0		1.00
流体力学		地球惑星科学科	月5	石渡　正樹	2	50.0				50.0		2.00
流体力学		物理学科	月5	石渡　正樹	3	33.3	33.3	33.3				3.00
地球惑星電磁気学		地球惑星科学科	月3	橋本　武志	2					100.0		0.00
データ解析学		地球惑星科学科	金3	青山　裕	2					100.0		0.00
地球惑星科学文献講読		地球惑星科学科	集中	栗谷　豪	1					100.0		0.00
地球惑星科学研究		地球惑星科学科	集中	栗谷　豪	1					100.0		0.00
地球連続体力学		地球惑星科学科	水4	蓬田　清	1					100.0		0.00
岩石変形学		地球惑星科学科	水2	竹下　徹	1					100.0		0.00
現代地球惑星科学概論２			月2	長谷部　文雄	5		20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	1.50

北海道大学

出典：教務情報システム

成績評価分布状況表

令和元年度１学期　国際本部（学部）
11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)［すべての学籍区分］

令和 2年 3月16日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
国際交流Ⅰ	Globalization and Sustainability: Local Knowledge and Diversity		水3	鳥山　まどか	2		100.0										4.00
国際交流Ⅰ	Introduction to Robotics		月4	RAVANKAR ANKIT	5		20.0	40.0	20.0	20.0							3.54
国際交流Ⅰ	School Education and Society in Japan		水3	鳥山　まどか	2		50.0		50.0								3.65
国際交流Ⅱ	Agriculture in Hokkaido		火5	柏木　純一	1								100.0				2.00
国際交流Ⅱ	Approaches to Second Language Teaching: Reading and Writing		火3	TANAKA JAY MATSUO	1				100.0								3.30
国際交流Ⅱ	Being Young in Super-Ageing Japan		火2	ホメリヒ　カローラ	4	50.0		25.0	25.0								3.90
国際交流Ⅱ	Career Planning		金4	FIRKOLA PETER	9			44.4	55.6								3.48
国際交流Ⅱ	Contemporary Philosophy (Lecture) : Dynamic Epistemic Logic and its Applications		集中	佐野　勝彦	2			50.0			50.0						3.20
国際交流Ⅱ	Countries and Cultures		月5	ラフェイ　ミシェル	4		25.0	50.0	25.0								3.68
国際交流Ⅱ	Culture I (Theory)		火4	Ｓｕｓａｎｎｅ　Ｋｌ	1										100.0		0.70
国際交流Ⅱ	Gender and Sexuality in Contemporary Japan		火1	クック　エマ	2		50.0		50.0								3.65
国際交流Ⅱ	Historical International Experiences		木5	ラフェイ　ミシェル	4		25.0	25.0								50.0	1.93
国際交流Ⅱ	How We Learn Languages		木2	RICHARDSON PETER	6			50.0	16.7						33.3		2.63
国際交流Ⅱ	Ideas: Discussing Contemporary Social Issues		木3	ハンセン　ポール　サ	1	100.0											4.30
国際交流Ⅱ	Ideas: Discussing Contemporary Social Issues		火4	ハンセン　ポール　サ	1	100.0											4.30
国際交流Ⅱ	Indigenous Peoples and Education		木3	GAYMAN JEFFRY JOSEPH	1		100.0										4.00
国際交流Ⅱ	Introduction to Japanese Politics		火5	佐々田　博教	1					100.0							3.00
国際交流Ⅱ	Introduction to Japanese Studies II (Culture)		水4	Ｓｕｓａｎｎｅ　Ｋｌ	1		100.0										4.00
国際交流Ⅱ	Introduction to Social Theory		水3	クック　エマ	3				33.3		33.3				33.3		2.23
国際交流Ⅱ	Japanese History (Theory & Practice) I		木3	BULL JONATHAN EDWARD	1										100.0		0.70
国際交流Ⅱ	Japanese Management		木4	FIRKOLA PETER	6		33.3	33.3	16.7		16.7						3.57
国際交流Ⅱ	Law, Rights, and Legal Culture		火5	長谷川　晃	3		100.0										4.00
国際交流Ⅱ	Logic (Seminar): Introduction to Logic		集中	佐野　勝彦	2				50.0						50.0		2.00
国際交流Ⅱ	Philosophy(Lecture): Introduction to Enactivism: Moving to Know, Knowing to Move		集中	田口　茂	3		33.3	33.3								33.3	2.57
国際交流Ⅱ	Planet Earth and Environmental Footprint		水5	ビジュ　パスデバン	1			100.0									3.70
国際交流Ⅱ	Practicing Basic Natural Everyday English		火2	Piers Williamson	1				100.0								3.30
国際交流Ⅱ	Practicing Basic Natural Everyday English		水3	Piers Williamson	1			100.0									3.70
国際交流Ⅱ	Regional Revitalization/Tourism Workshop(Urahoro)		集中	Ｓｕｓａｎｎｅ　Ｋｌ	3	66.7		33.3									4.10
国際交流Ⅱ	Regional Sciences (Lecture): General Theory of Invasive Alien Species Management		集中	池田　透	2						50.0				50.0		1.70
国際交流Ⅱ	The Truth of Human Language Syntax		木4	奥　聡	1				100.0								3.30
国際交流Ⅱ	World Cultures and Anthropology		水5	CAPOBIANCO PAUL JOSE	1				100.0								3.30

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度２学期　国際本部（学部）
11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)

令和 2年 3月10日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
国際交流Ⅱ	Approaches to Second Language Teaching: Speaking and Listening		火3	TANAKA JAY MATSUO	2		100.0										4.00
国際交流Ⅱ	Contemporary Japanese Society		木3	FIRKOLA PETER	3			100.0									3.70
国際交流Ⅱ	Contemporary Japanese Society		木4	FIRKOLA PETER	2				100.0								3.30
国際交流Ⅱ	Environmental Science for Biological Resources		金5	佐藤　冬樹	3	66.7		33.3									4.10
国際交流Ⅱ	Field Bioscience in the Northern Biosphere		水5	星野　洋一郎	5		20.0	40.0								40.0	2.28
国際交流Ⅱ	Gaming International Relations		火3	Piers Williamson	2						50.0		50.0				2.35
国際交流Ⅱ	General Biology II		火1	Maria Helena Fortuna	1						100.0						2.70
国際交流Ⅱ	History of Geology		火1	PYTHON MARIE	1					100.0							3.00
国際交流Ⅱ	Hokkaido: Then and Now		木5	ラフェイ　ミシェル	2	50.0	50.0										4.15
国際交流Ⅱ	Introduction to Intercultural Communication		月5	CAPOBIANCO PAUL JOSE	1		100.0										4.00
国際交流Ⅱ	Introduction to Intercultural Communication		金2	CAPOBIANCO PAUL JOSE	3		33.3	33.3	33.3								3.67
国際交流Ⅱ	Introduction to Japanese Studies II (Culture)		水3	野澤　俊介	1				100.0								3.30
国際交流Ⅱ	Japanese Foreign Policy		火4	佐々田　博教	1										100.0		0.70
国際交流Ⅱ	Language and the Mind: An Introduction to Cognitive Linguistics		木5	RICHARDSON PETER	1				100.0								3.30
国際交流Ⅱ	Music Psychology		火5	安達　真由美	1			100.0									3.70
国際交流Ⅱ	Sustainability Studies beyond Hollywood Film (2019)		水4	瀬名波　栄潤	1		100.0										4.00
国際交流Ⅱ	Theories of Second Language Learning		水2	TANAKA JAY MATSUO	2			50.0								50.0	1.85
国際交流Ⅱ	Thinking about Christian Meiji Thinkers		月5	ラフェイ　ミシェル	3			33.3	33.3				33.3				3.00

北海道大学

出典：教務情報システム

【通算ＧＰＡ】（在学中の各学期を通算したＧＰＡ）

$$\frac{\text{((各学期に評価を受けた科目で得たＧＰ)×(その科目の単位数)の合計)の総和}}{\text{(各学期に評価を受けた科目の単位数の合計)の総和}}$$

※　ＧＰＡの計算は，小数点第３位以下を切り捨てとする。

ＧＰＡは各学期末にＷｅｂ上から閲覧可能になる。全学及び学部ごとのＧＰＡの平均値が付記され，学生が自分の学習状況を数値で客観的に知り，次の学期の履修計画等に役立てることができる。

なお，ＧＰＡは，成績証明書にも記載される。

（３）成績の確認

１）履修の手続きをした科目の単位及び評価を確認するため，次の時期に成績をＷｅｂ上から閲覧可能にする。なお，学期毎の成績公開日及び成績確認期間は掲示にて周知する。

（成績が閲覧可能となる時期）

第１学期　　９月下旬　　第２学期　　３月下旬

※４年次第２学期については，別途期日が設定されるため，掲示をよく確認すること。

Ｗｅｂ上から成績を確認し，不明な点がある場合は，速やかに理学部教務担当窓口に問い合わせること。

（４）成績評価に関する申立て制度

理学部授業科目について，学生が成績評価に関する質問や異議申立てを必要とする場合に，学生からの申立てを受け付ける制度を実施する。

（申立てを受け付ける場合）

学生からの申立てを受け付ける場合は，次のとおりとする。

１）シラバスに記載してある成績評価方法や授業中に指示のあった成績評価方法と，異なる成績評価方法により評価されたことを，学生が客観的・具体的事実をもって示すことが出来る場合

２）明らかに誤記入によるものと思われる場合で，学生が客観的・具体的事実をもって示すことができる場合

（申立ての受付）

学生からの申立ては，理学部教務担当窓口に所定の様式を用意し，当該学期の所定の期間に受け付ける。受付の期間については，学期ごとに定める。

（５）既修得単位の認定

本学入学前に本学，他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位（外国の大学又は短期大学における学修の成果を含む）については，本学部の授業科目を履修したものとみなし，単位を認定することがある。手続きは，２年次進級時に行うので，希望者はすみやかに理学部教務担当へ申し出ること。

１）全学教育科目の既修得単位認定について

２年次学生が申請可能な全学教育科目は，「基礎科目：数学概論」（２年次以降開講科目）のみである。

２）理学部専門科目の既修得単位認定について

２年次以降の所属学科において理学部専門科目の既修得単位認定を行うことがある。

○北海道大学理学部規程

平成７年４月１日

海大達第８号

(趣旨)

第１条　北海道大学理学部（以下「本学部」という。）の教育課程等に関し必要な事項は,北海道大学通則（平成７年海大達第２号。以下「通則」という。）に定めるもののほか,この規程の定めるところによる。

(目的)

第１条の２　本学部は,自然科学全般にわたる基礎的な知識及び技術を教授することにより,大学院における修学及び研究に必要な観察力及び創造力を有し,並びに社会に貢献するために必要な自然科学に関する基礎的素養を有する人材を育成することを目的とする。

(学科及び専修分野)

第２条　本学部に，次の５学科を置く。

数学科

物理学科

化学科

生物科学科

地球惑星科学科

２　前項に規定する学科のうち,生物科学科に履修上の区分として,次に掲げる専修分野を設ける。

生物学専修分野

高分子機能学専修分野

(学科分属)

第３条　通則第３条第１項の規定により本学部の第２年次に進級した者を,学科に配属（以下「学科分属」という。）する。

２　学科分属に関し必要な事項は，学部長が別に定める。

(在学年限)

第４条　本学部においては，第２年次進級以降に６年を超えて在学することはできない。

(授業科目及び単位)

第５条　授業科目及び単位(インテグレイテッドサイエンスプログラムを履修する学生に係るものを除く。）は，別表第１の１及び第２の１のとおりとする。

２　インテグレイテッドサイエンスプログラムを履修する学生の授業科目及び単位については，別表第１の２及び別表第２の２のとおりとする。

（授業の方法）

第５条の２　授業は，講義，演習，実験若しくは実習又は講義及び演習の併用により行う。

２　前項の授業は，文部科学大臣が別に定めるところにより，多様なメディアを高度に利用して，当該授業を行う教室等以外の場所で行うことがある。

（単位数の計算の基準）

第６条　各授業科目の単位数を定めるに当たっては，１単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし，授業の方法に応じ，当該授業による教育効果，授業時間外に必要な学修等を考慮して，次の基準により単位数を計算するものとする。ただし，全学教育科目にあっては，北海道大学全学教育科目規程（平成７年海大達第３号。以下「全学教育科目規程」という。）の定めるところによる。

(1)　講義については，15時間の授業をもって１単位とする。

(2)　演習については，15時間又は30時間の授業をもって１単位とする。

(3)　実験及び実習については，30時間又は45時間の授業をもって１単位とする。

(4)　講義及び演習の併用により行う場合については，第１号及び第２号に規定する基準を考慮して学部長が定める時間の授業をもって１単位とする。

（履修方法）

第７条　学生は，履修しようとする授業科目について，学期の始めに学部長に届け出なければならない。

２　履修方法の細目について必要な事項（全学教育科目の履修に関するものを除く。）は，学部長が別に定める。

（他学科履修等）

第８条　学生は，他学科及び他学部の授業科目（全学教育科目を除く。），北海道大学専門横断科目規程（平成31年海大達第50号）に定める専門横断科目並びに北海道大学国際交流科目規程（平成９年海大達第50号）に定める国際交流科目（以下「国際交流科目」という。）を履修することができる。

２　他学科の授業科目及び国際交流科目については学部長の，他学部の授業科目については学部長及び当該学部長の許可を受けなければならない。

３　第１項，北海道大学の第１年次の学生に係る履修，修学等に関する規程（平成22年海大達第317号。以下「第１年次規程」という。）第６条及び北海道大学インテグレイテッド

サイエンスプログラム規程（平成29年海大達第204号。）第21条の規定により履修した授業科目について修得した単位は，第15条に規定する単位に算入することができる。

４　前項の規定により算入することができる単位数は，学部長が別に定める。

（他の大学又は短期大学における履修等）

第９条　本学部において教育上有益と認めるときは，学生が他の大学若しくは短期大学の授業科目を履修し，又は外国の大学若しくは短期大学に留学することを認めることがある。

２　前項の規定により履修した授業科目について修得した単位又は学修した成果については，第１年次規程第７条第２項の規定により修得したものとみなす単位数と合わせて30単位を超えない範囲で本学部における授業科目の履修により修得した単位とみなすことができる。ただし，前条第３項の規定により算入する単位があるときは，これと合わせて30単位を超えることはできない。

（大学以外の教育施設等における学修）

第９条の２　本学部において教育上有益と認めるときは，学生が行う短期大学，高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を，本学部における授業科目の履修とみなし，単位を与えることがある。

２　前項の規定により与えることのできる単位数は，第８条第３項，前条第２項本文及び第１年次規程第８条第２項の規定の規定により修得したものとみなす単位数と合わせて30単位を超えないものとする。

３　第１項の規定により単位を与えることのできる学修の範囲，単位の認定方法等については，学部長が別に定める。

（休学期間中の外国の大学における学修）

第９条の３　本学部において教育上有益と認めるときは，学生が休学期間中に外国の大学において学修した成果について，本学部における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

２　前項の規定により修得したものとみなすことのできる単位数は，第８条第３項，第９条第２項本文，前条第２項及び第１年次規程第９条第２項の規定により修得したものとみなす単位数と合わせて30単位を超えないものとする。

（入学前の既修得単位等）

第10条　本学部の第２年次に進級した者の，本学の入学前に本学，他の大学若しくは短期大学において履修した授業科目について修得した単位（大学設置基準（昭和31年文部省令第28号）第31条又は短期大学設置基準（昭和50年文部省令第21号）第17条に規定する科目等

履修生として履修した授業科目について修得した単位を含む。）又は外国の大学若しくは短期大学において学修した成果（第１年次規程第10条第１項の規定により第１年次において修得した単位とみなされたものを除く。）については，進級後の本学部における授業科目の履修により修得した単位とみなすことができる。

２　本学部の第２年次に進級した者の，本学の入学前に第９条の２第１項の規定により学修した成果（第１年次規程第10条第２項の規定により第１年次において単位を与えられたものを除く。）については，進級後の本学部における授業科目の履修とみなし，単位を与えることができる。

３　前２項の規定により修得したものとみなし，又は与えることのできる単位数は，本学において修得した単位以外のものについては，第８条第３項，第９条第２項本文，第９条の２第２項及び前条第２項の規定により本学部において修得したものとみなす単位数並びに第１年次規程第10条第３項の規定により修得したものとみなす単位数と合わせて30単位を超えないものとする。

４　第１項の規定により履修したとみなすことのできる授業科目の範囲及び第２項の規定により単位を与えることのできる学修の範囲並びにそれらの単位の認定方法等については，学部長が別に定める。

（編入学等）

第11条　本学部に通則第14条の規定により入学を志願する者又は通則第15条の規定により転入学を志願する者があるときは，教授会の議を経て，総長が入学を許可することがある。

２　編入学等に関し必要な事項は，学部長が別に定める。

（転部）

第11条の２　本学部に通則第16条の２の規定により転部を志願する者があるときは，学部長が転部を許可することがある。

２　転部に関し必要な事項は，学部長が別に定める。

（休学期間）

第12条　本学部においては，第２年次進級以降に３年を超えて休学することはできない。ただし，通算して４年（第１年次において休学した期間を含む。）を超えて休学することはできない。

（試験）

第13条　試験は，科目試験及び論文試験とする。

２　科目試験は，当該授業科目の授業が終了した学期末に行う。ただし，これによりがたい

場合は，臨時に行うことがある。

3　論文試験は，所定の科目試験に合格した者に対して行う。

4　前３項の規定にかかわらず，全学教育科目の試験については，全学教育科目規程の定めるところによる。

（成績）

第14条　授業科目の成績の評価は，A^{+}，A，A^{-}，B^{+}，B，B^{-}，C^{+}，C，D，D^{-}及びFのいずれかの評語を付すことにより行うものとし，A^{+}，A，A^{-}，B^{+}，B，B^{-}，C^{+}及びCを合格とする。

2　前項に定めるもののほか，授業科目の成績の評価については，北海道大学の学士課程における授業科目の成績の評価に関する規程（平成27年海大達第49号）の定めるところによる。

（卒業認定）

第15条　本学に４年以上在学し，本学部において，所定の授業科目を履修し，全学教育科目46単位以上及び専門科目80単位以上を修得し，かつ，学部長が別に定める卒業に必要な基準を満たした者について，教授会の議を経て，総長が卒業を認定する。

2　前項の単位のうち，第５条の２第２項に規定する授業の方法により修得した単位数については，30単位を超えないものとする。

（早期卒業の認定）

第15条の２　本学部の第２年次に進級後，本学部に２年６月以上在学した者で，前条第１項に規定する卒業に必要な単位を優秀な成績で修得したと認められ，かつ，学部長が別に定める卒業に必要な基準を満たした者に対しては，教授会の議を経て，総長が卒業を認定することがある。

2　早期卒業に関し必要な事項は，学部長が別に定める。

（特別聴講学生）

第16条　本学部において，特定の授業科目を履修し，単位を修得しようとする他の大学若しくは短期大学又は外国の大学若しくは短期大学の学生があるときは，特別聴講学生として学部長が受入れを許可することがある。

2　特別聴講学生は，学年又は学期ごとに許可する。

3　特別聴講学生に係る試験については，第13条の規定を準用する。

（外国人留学生）

第17条　通則第46条の規定により入学を許可された外国人留学生は，定員外とすることがで

きる。

附　則

1　この規程は，平成７年４月１日から施行する。

2　平成７年３月31日に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成７年４月１日以降に在学者の属する年次に入学する者については,改正後の北海道大学理学部規程の規定にかかわらず，なお従前の例による。

附　則（平成10年３月９日海大達第14号）

1　この規程は，平成10年４月１日から施行する。

2　平成10年３月31日に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成10年４月１日以降に在学者の属する年次に入学する者については,改正後の北海道大学理学部規程別表の規定にかかわらず，なお従前の例による。

附　則（平成11年３月２日海大達第12号）

1　この規程は，平成11年４月１日から施行する。

2　平成11年３月31日に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成11年４月１日以降に在学者の属する年次に入学する者については,改正後の北海道大学理学部規程別表の規定にかかわらず，なお従前の例による。

附　則（平成12年４月１日海大達第29号）

1　この規程は，平成12年４月１日から施行する。

2　平成12年３月31日に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成12年４月１日以降に在学者の属する年次に入学する者に係る授業科目及び単位については,改正後の北海道大学理学部規程別表の規定にかかわらず，なお従前の例による。

附　則（平成12年12月20日海大達第136号）

この規程は，平成13年１月６日から施行する。

附　則（平成13年４月１日海大達第37号）

1　この規程は，平成13年４月１日から施行する。

2　平成13年３月31日に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成13年４月１日以降に在学者の属する年次に入学する者については,改正後の北海道大学理学部規程別表の規定にかかわらず，なお従前の例による。

附　則（平成15年４月１日海大達第21号）

この規程は，平成15年４月１日から施行する。

附　則（平成16年３月22日海大達第24号）

1　この規程は，平成16年４月１日から施行する。

2　平成16年３月31日に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成16年４月１日以降に在学者の属する年次に入学する者については，改正後の別表の規定（全学教育科目の数理系，物理系，化学系及び生物系に係る部分を除く。）にかかわらず，なお従前の例による。

附　則（平成17年３月28日海大達第28号）

1　この規程は，平成17年４月１日から施行する。

2　平成17年３月31日に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び同年４月１日以降に在学者の属する年次に入学する者については，改正後の第14条の規定にかかわらず，なお従前の例による。

附　則（平成18年４月１日海大達第74号）

1　この規程は，平成18年４月１日から施行する。

2　平成18年３月31日に本学に在学する者（以下この項において「在学者」という。）及び同年４月１日以降に在学者の属する年次に入学する者については，改正後の第２条第２項，第３条及び第４条，第12条及び別表の規定にかかわらず，なお従前の例による。

附　則（平成19年４月１日海大達第118号）

1　この規程は，平成19年４月１日から施行する。

2　平成19年３月31日に本学に在学する者（以下この項において「在学者」という。）及び同年４月１日以降に在学者の属する年次に入学する者については，改正後の別表の規定にかかわらず，なお従前の例による。

附　則（平成20年４月１日海大達第66号）

この規程は，平成20年４月１日から施行する。

附　則（平成21年４月１日海大達第99号）

1　この規程は，平成21年４月１日から施行する。

2　平成21年３月31日に本学に在学する者（以下この項において「在学者」という。）及び同年４月１日以降に在学者の属する年次に入学する者については，改正後の別表の規定にかかわらず，なお従前の例による。

附　則（平成23年４月１日海大達第105号）

1　この規程は，平成23年４月１日から施行する。

2　平成23年３月31日に本学に在学する者（以下この項において「在学者」という。）及び同年４月１日以降に在学者の属する年次に入学する者については，改正後の第２条から第

４条まで，第８条から第10条まで，第12条，第15条，第15条の２，第17条及び別表の規定にかかわらず，なお従前の例による。

附　則（平成24年４月１日海大達第51号）

１　この規程は，平成24年４月１日から施行する。

２　平成24年３月31日に本学に在学する者（以下この項において「在学者」という。）及び同年４月１日以降に在学者の属する年次に入学する者については，改正後の別表第１及び別表第２の規定にかかわらず，なお従前の例による。

３　前項の規定にかかわらず，別表第２の改正規定による改正後の規定は，平成23年４月１日以降に本学の第１年次に入学した者（以下この項において「平成23年度以降入学者」という。）及び平成23年度以降入学者の属する年次に入学した者について適用する。

附　則（平成26年４月１日海大達第117号）

１　この規程は，平成26年４月１日から施行する。

２　平成26年３月31日に本学に在学する者（以下この項において「在学者」という。）及び同年４月１日以降に在学者の属する年次に入学する者については，改正後の別表第２の規定にかかわらず，なお従前の例による。

３　前項の規定にかかわらず，改正後の別表第２の規定は，平成23年４月１日以降に本学の第１年次に入学した者であって，かつ，平成26年４月１日以降に第２年次に進級する者（以下この項において「平成26年度以降進級者」という。）及び平成26年度以降進級者の属する年次に入学する者について適用する。

附　則（平成27年４月１日海大達第105号）

１　この規程は，平成27年４月１日から施行する。

２　平成27年３月31日に本学に在学する者（以下この項において「在学者」という。）及び同年４月１日以降に在学者の属する年次に入学する者については，改正後の第14条の規定，第15条第１項及び第15条の２第１項の規定（学部長が別に定める卒業に必要な基準を満たした者に係る部分に限る。）並びに別表第１の規定にかかわらず，なお従前の例による。

附　則（平成28年４月１日海大達第73号）

１　この規程は，平成28年４月１日から施行する。

２　平成28年３月31日に本学に在学する者（以下この項において「在学者」という。）及び同年４月１日以降に在学者の属する年次に入学する者については，改正後の別表第１及び別表第２（数学科の表を除く。）の規定にかかわらず，なお従前の例による。

３　前項の規定にかかわらず，改正後の別表第２のうち生物科学科（生物学）の表及び地球

惑星科学科の表の規定は，平成28年４月１日以降に第２年次に進級する者（以下この項において「平成28年度以降進級者」という。）及び平成28年度以降進級者の属する年次に入学する者について適用する。

附　則（平成29年４月１日海大達第102号）

１　この規程は，平成29年４月１日から施行する。

２　平成29年３月31日に本学に在学する者（以下この項において「在学者」という。）及び同年４月１日以降に在学者の属する年次に入学する者については，改正後の別表第１及び別表第２の規定にかかわらず，なお従前の例による。

３　前項の規定にかかわらず，改正後の別表第２の規定（物理学科に係る部分に限る。）は，平成29年４月１日以降に第２年次に進級する者（以下この項において「平成29年度以降進級者」という。）及び平成29年度以降進級者の属する年次に入学する者について適用する。

附　則（平成29年10月１日海大達第208号）

この規程は，平成29年10月１日から施行する。

附　則（平成30年４月１日海大達第63号）

１　この規程は，平成30年４月１日から施行する。

２　平成30年３月31日に本学に在学する者（以下この項において「在学者」という。）及び同年４月１日以降に在学者の属する年次に入学する者については，改正後の別表第２の１の規定にかかわらず，なお従前の例による。

３　前項の規定にかかわらず，改正後の別表第２の１の規定は，平成30年４月１日以降に第２年次に進級する者（以下この項において「平成30年度以降進級者」という。）及び平成30年度以降進級者の属する年次に入学する者について適用する。

附　則（平成31年４月１日海大達第90号）

１　この規程は，平成31年４月１日から施行する。

２　平成31年３月31日に本学に在学する者（以下この項において「在学者」という。）及び同年４月１日以降に在学者の属する年次に入学する者については，改正後の別表第２の１の規定にかかわらず，なお従前の例による。

別表第１の１（第５条関係）

全学教育科目

区分		授業科目	単位	備考	
教養	一般教育演習（フレッシュマンセ		［2］	一般教育演習（フレッシュマンセミナー）及び総合	46単位以上を修

科目	ミナー)			科目から4単位以上を修得すること。	得すること。
		論文指導			
	総合科目	環境と人間	[1]又は[2]		
		健康と社会	[1]又は[2]		
		人間と文化	[1]又は[2]		
		特別講義	[1]又は[2]		
	主題別科目	思索と言語	[1]又は[2]	主題別科目5科目から3科目以上,6単位以上を修得すること。	
		歴史の視座	[1]又は[2]		
		芸術と文学	[1]又は[2]		
		社会の認識	[1]又は[2]		
		科学・技術の世界	[1]又は[2]		
		論文指導			
	外国語科目	英語Ⅰ	1	1 英語Ⅰ, 英語Ⅱ, 英語Ⅲ及び英語Ⅳの4単位を修得すること。 2 外国語科目のうちから英語以外の1か国語を選択し,4単位を修得すること。	
		英語Ⅱ	1		
		英語Ⅲ	1		
		英語Ⅳ	1		
		ドイツ語Ⅰ	2		
		ドイツ語Ⅱ	2		
		フランス語Ⅰ	2		
		フランス語Ⅱ	2		
		ロシア語Ⅰ	2		

		ロシア語Ⅱ	2		
		スペイン語Ⅰ	2		
		スペイン語Ⅱ	2		
		中国語Ⅰ	2		
		中国語Ⅱ	2		
		韓国語Ⅰ	2		
		韓国語Ⅱ	2		
	外国語演習	英語演習	[2]	2単位以上を修得すること。	
		ドイツ語演習	[2]		
		フランス語演習	[2]		
		ロシア語演習	[2]		
		スペイン語演習	[2]		
		中国語演習	[2]		
		韓国語演習	[2]		
		外国語特別演習	[2]		
	共通科目	体育学A	[1]	1　共通科目から情報学Ⅰを含み4単位以上を修得すること。 2　インターンシップA及びインターンシップBの単位は，卒業に必要な単位数に算入することができない。	
		体育学B	2		
		情報学Ⅰ	2		
		情報学Ⅱ	2		
		統計学	2		
		インターンシップA	[2]		
		インターンシップB	[1]		
基礎科目	(文系) (数学)	人文・社会科学の基礎	[2]	1　線形代数学Ⅰ,線形代数学Ⅱ，微分積分学Ⅰ，微分積分学Ⅱ，物理学Ⅰ，物理学Ⅱ，化学Ⅰ，化学Ⅱ，生物学Ⅰ，生物学Ⅱ，地球惑星科学Ⅰ及び地球惑星科学Ⅱのうちから合	
		入門線形代数学	2		
		入門微分積分学	2		
		線形代数学Ⅰ	2		
		線形代数学Ⅱ	2		
		微分積分学Ⅰ	2		
		微分積分学Ⅱ	2		

		数学概論	[2]	わせて16単位以上を修得	
	（理科）	物理学Ⅰ	2	すること。	
		物理学Ⅱ	2	2　入門線形代数学及び入	
		化学Ⅰ	2	門微分積分学は，進級及	
		化学Ⅱ	2	び卒業に必要な単位数に	
		生物学Ⅰ	2	算入することができな	
		生物学Ⅱ	2	い。	
		地球惑星科学Ⅰ	2	3　自然科学実験2単位を必	
		地球惑星科学Ⅱ	2	修とする。	
	（実験系）	心理学実験	2		
		自然科学実験	[1]		
日本語科目及び日本事情に関する科目		日本語Ⅰ	2	1　外国人留学生を対象と	
		日本語Ⅱ	2	して開講する授業科目で	
		日本語Ⅲ	2	ある。	
		日本語Ⅳ	2	2　日本語Ⅰ，日本語Ⅱ，日	
		日本事情	2	本語Ⅲ及び日本語Ⅳは，	
				外国語科目又は外国語演	
				習として履修することが	
				できる。	
				3　日本事情は，教養科目	
				（外国語科目及び外国語	
				演習を除く。）として履	
				修することができる。	

注　単位欄中の数字に［　］のつけてある授業科目は，複数の講義題目により行われ，それぞれ一の授業科目として履修することができる。

別表第１の２（第５条関係）

全学教育科目（インテグレイテッドサイエンスプログラム）

区分		授業科目	単位	備考	
教養科目	一般教育演習		[2]	一般教育演習	46単位以上
	（フレッシュ	論文指導		（フレッシュマ	を修得するこ

	マンセミナー)			ンセミナー）及び総合科目から6単位以上を修得すること。	と。
	総合科目	環境と人間	［1］又は［2］		
		健康と社会	［1］又は［2］		
		人間と文化	［1］又は［2］		
		特別講義	［1］又は［2］		
	主題別科目	思索と言語	［1］又は［2］	主題別科目5科目から科学・技術の世界4単位を含み3科目以上，8単位以上を修得すること。	
		歴史の視座	［1］又は［2］		
		芸術と文学	［1］又は［2］		
		社会の認識	［1］又は［2］		
		科学・技術の世界	［1］又は［2］		
		論文指導			
	外国語演習	英語演習	［2］	2単位以上を修得すること。	
	共通科目	情報学Ⅰ	2	2単位を修得すること。	
基礎科目	（数学）	線形代数学I	2	1　線形代数学Ⅰ，線形代数学Ⅱ，微分積分学Ⅰ，微分積分学Ⅱ，物理学Ⅰ，物理学Ⅱ，化学Ⅰ，化学Ⅱ，生物学Ⅰ及び生物学Ⅱのうちから合せて16単位以上を修得すること。 2　自然科学実	
		線形代数学Ⅱ	2		
		微分積分学I	2		
		微分積分学Ⅱ	2		
	（理科）	物理学I	2		
		物理学Ⅱ	2		
		化学Ⅰ	2		
		化学Ⅱ	2		
		生物学I	2		
		生物学Ⅱ	2		
	（実験系）	自然科学実験	［1］		

				験2単位を必修とする。	
日本語科目及び日本事情に関する科目		初級日本語Ⅰ	2	8単位を修得すること。	
		初級日本語Ⅱ	2		
		初級日本語Ⅲ	2		
		初級日本語Ⅳ	2		

注　単位欄中の数字に［　］のつけてある授業科目は，複数の講義題目により行われ，それぞれ一の授業科目として履修することができる。

別表第２の１（第５条関係）

専門科目

数学科

区分	分野	授業科目	単位	備考
必修科目		数学卒業研究	16	80単位以上を修得すること。
選択必修科目A	数学	微分積分学続論	2	2以上の分野に係る授業科目のうちから6単位以上を修得すること。
		代数学・幾何学序論	2	
		ベクトル解析	2	
	物理学	現代物理学	2	
		振動と波動の物理	2	
		現代天文学	2	
	化学	基礎有機化学	2	
		基礎物理化学	2	
	生物学	細胞生物学概論	2	
		生物多様性概論	2	
	高分子機能学	生物系のための有機化学	2	
		生物系のための物理学	2	
	地球惑星科学	現代地球惑星科学概論1	2	

		現代地球惑星科学概論2	2	
選択必修科目B		基礎数学A	4	32単位以上を修得すること。
		基礎数学演習A	2	
		基礎数学B	4	
		基礎数学演習B	2	
		基礎数学C	4	
		基礎数学演習C	2	
		基礎数学D	4	
		基礎数学演習D	2	
		コンピュータ	2	
		代数学基礎	4	
		代数学基礎演習	2	
		幾何学基礎	4	
		幾何学基礎講究	2	
		解析学基礎A	2	
		解析学基礎演習A	2	
		解析学基礎B	2	
		解析学基礎演習B	2	
		数理科学基礎	2	
		確率・統計入門	2	
		統計学	2	
選択科目		代数学A	2	
		代数学演習	2	
		代数学B	2	
		代数学C	2	
		幾何学A	2	
		幾何学B	2	
		幾何学演習	2	
		幾何学C	2	

		解析学A	2	
		解析学B	2	
		解析学C	2	
		解析学D	2	
		解析学E	2	
		解析学F	2	
		解析学G	2	
		数理科学A	2	
		数理科学演習	2	
		数理科学B	2	
		数理科学講究	2	
		代数学続論	[2]	
		幾何学続論	[2]	
		数理解析学続論	[2]	
		数学特別講義	[2]	
		数学総合講義Ⅰ	[1]	
		数学総合講義Ⅱ	[2]	
		数学講読	[2]	
		理学共通講義Ⅰ	[1]	
		理学共通講義Ⅱ	[2]	
		理学共通演習Ⅰ	[1]	
		理学共通演習Ⅱ	[2]	
		理学特別講義Ⅰ	[1]	
		理学特別講義Ⅱ	[2]	
		理学特別講義Ⅲ	[3]	
		理学特別講義Ⅳ	[4]	

注　単位欄中の数字に［　］のつけてある授業科目は，複数の講義題目により行われ，それぞれ一の授業科目として履修することができる。

物理学科

区分	分野	授業科目	単位	備考

必修科目		物理数学Ⅰ	2	80単位以上を修得すること。
		力学Ⅰ	2	
		力学Ⅱ	2	
		熱物理学	2	
		電磁気学Ⅰ	2	
		量子力学Ⅰ	2	
		統計力学Ⅰ	2	
		物理学実験Ⅰ	2	
		物理学実験Ⅱ	2	
		物理学実験Ⅲ	2	
		物理学実験Ⅳ	2	
		物理学外国語文献講読Ⅰ	2	
		物理学外国語文献講読Ⅱ	2	
		物理学卒業研究Ⅰ	5	
		物理学卒業研究Ⅱ	5	
選択必修科目	数学	微分積分学続論	2	2以上の分野に係る授業科目のうちから6単位以上を修得すること。
		代数学・幾何学序論	2	
		ベクトル解析	2	
	物理学	現代物理学	2	
		振動と波動の物理	2	
		現代天文学	2	
	化学	基礎有機化学	2	
		基礎物理化学	2	
	生物学	細胞生物学概論	2	
		生物多様性概論	2	
	高分子機能学	生物系のための有機化学	2	
		生物系のための物理	2	

		学			
	地球惑星科学	現代地球惑星科学概論1	2		
		現代地球惑星科学概論2	2		
選択科目		物理数学Ⅱ	2		
		電磁気学Ⅱ	2		
		量子力学Ⅱ	2		
		統計力学Ⅱ	2		
		物理数学演習Ⅰ	2		
		物理数学演習Ⅱ	2		
		電磁気学演習Ⅰ	2		
		力学演習Ⅰ	2		
		熱物理学演習	2		
		量子力学演習Ⅰ	2		
		統計力学演習Ⅰ	2		
		物理学総合演習	2		
		相対論	2		
		場の理論	2		
		原子核物理学	2		
		素粒子物理学	2		
		宇宙物理学	2		
		流体力学	2		
		物性物理学	[2]		
		量子力学特論	[2]		
		凝縮系物理学特論	[2]		
		現代物理学特論	[2]		
		物理学実験A	[2]		
		物理学実験B	[1]		
		物理学特別講義A	[2]		

		物理学特別講義B	［1］		
		理学共通講義Ⅰ	［1］		
		理学共通講義Ⅱ	［2］		
		理学共通演習Ⅰ	［1］		
		理学共通演習Ⅱ	［2］		
		理学特別講義Ⅰ	［1］		
		理学特別講義Ⅱ	［2］		
		理学特別講義Ⅲ	［3］		
		理学特別講義Ⅳ	［4］		

注　単位欄中の数字に［　］のつけてある授業科目は，複数の講義題目により行われ，それぞれ一の授業科目として履修することができる。

化学科

区分	分野	授業科目	単位	備考
必修科目		物理化学Ⅰ	2	80単位以上を修得すること。
		物理化学Ⅱ	2	
		物理化学Ⅲ	2	
		有機化学Ⅰ	2	
		有機化学Ⅱ	2	
		有機化学Ⅲ	2	
		無機化学Ⅰ	2	
		無機化学Ⅱ	2	
		分析化学Ⅰ	2	
		生物化学Ⅰ	2	
		化学実験Ⅰ	2	
		化学実験Ⅱ	1	
		化学実験Ⅲ	1	
		化学実験Ⅳ	3	
		化学実験Ⅴ	2	
		化学実験Ⅵ	3	
		計算機実習	1	

		化学講読	1	
		化学文献講読	2	
		化学研究実験	12	
選択必修科目	数学	微分積分学続論	2	2以上の分野に係る授業科目のうちから6単位以上を修得すること。
		代数学・幾何学序論	2	
		ベクトル解析	2	
	物理学	現代物理学	2	
		振動と波動の物理	2	
		現代天文学	2	
	化学	基礎有機化学	2	
		基礎物理化学	2	
	生物学	細胞生物学概論	2	
		生物多様性概論	2	
	高分子機能学	生物系のための有機化学	2	
		生物系のための物理学	2	
	地球惑星科学	現代地球惑星科学概論1	2	
		現代地球惑星科学概論2	2	
選択科目		無機化学Ⅲ	2	
		基礎磁気化学	2	
		錯体化学	2	
		分析化学Ⅱ	2	
		有機合成化学	2	
		有機金属化学	2	
		有機反応化学	2	
		有機機器分析	2	
		化学のための数学	2	

		物理学通論	2	
		量子化学Ⅰ	2	
		量子化学Ⅱ	2	
		電気化学	2	
		固体化学	2	
		物質電子論	2	
		分子分光学	2	
		熱・統計力学Ⅰ	2	
		熱・統計力学Ⅱ	2	
		生物化学Ⅱ	2	
		情報生化学	2	
		機能生化学	2	
		遺伝生化学	2	
		分子生理学	2	
		触媒化学	2	
		ナノ物性化学	2	
		化学特別講義Ⅰ	[2]	
		化学特別講義Ⅱ	[1]	
		理学共通講義Ⅰ	[1]	
		理学共通講義Ⅱ	[2]	
		理学共通演習Ⅰ	[1]	
		理学共通演習Ⅱ	[2]	
		理学特別講義Ⅰ	[1]	
		理学特別講義Ⅱ	[2]	
		理学特別講義Ⅲ	[3]	
		理学特別講義Ⅳ	[4]	

注　単位欄中の数字に［　］のつけてある授業科目は，複数の講義題目により行われ，それぞれ一の授業科目として履修することができる。

生物科学科（生物学）

区分	分野	授業科目	単位	備考

選択必修科目A		生物科学研究実習 生物科学文献講読	6 2	6単位又は2単位を修得すること。	80単位以上を修得すること。
選択必修科目B	数学	微分積分学続論 代数学・幾何学序論 ベクトル解析	2 2 2	2以上の分野に係る授業科目のうちから6単位以上を修得すること。	
	物理学	現代物理学 振動と波動の物理 現代天文学	2 2 2		
	化学	基礎有機化学 基礎物理化学	2 2		
	生物学	細胞生物学概論 生物多様性概論	2 2		
	高分子機能学	生物系のための有機化学 生物系のための物理学	2 2		
	地球惑星科学	現代地球惑星科学概論1 現代地球惑星科学概論2	2 2		
選択必修科目C		多様性生物学Ⅰ 多様性生物学Ⅱ 多様性生物学Ⅲ 細胞生物学Ⅰ 細胞生物学Ⅱ 細胞生物学Ⅲ 機能生物学Ⅰ 機能生物学Ⅱ 機能生物学Ⅲ 科学論文演習	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	18単位以上を修得すること。	

選択必修科目D		基礎生物学実習	3	6単位以上を修得すること。
		基礎生化学実習	3	
		基礎形態学実習	3	
選択必修科目E		植物系統分類学実習	2	4単位以上を修得すること。
		動物系統分類学実習	2	
		生態学実習	2	
		遺伝学実習	2	
		研究林実習	2	
選択必修科目F		形態機能学実習	2	4単位以上を修得すること。
		環境生物学実習	2	
		行動神経生物学実習	2	
		発生学実習	2	
選択科目		系統分類学Ⅰ	2	
		系統分類学Ⅱ	2	
		形態機能学Ⅰ	2	
		形態機能学Ⅱ	2	
		行動神経生物学Ⅰ	2	
		行動神経生物学Ⅱ	2	
		生殖発生生物学Ⅰ	2	
		生殖発生生物学Ⅱ	2	
		環境生物学Ⅰ	2	
		環境生物学Ⅱ	2	
		分子遺伝学	2	
		系統進化学	2	
		脳と行動の進化	2	
		環境分子生物学	2	
		生物統計学	1	
		生物科学技術基礎論	1	
		臨海実習Ⅰ	1	
		臨海実習Ⅱ	1	

		海洋生態学実習	1	
		海藻学実習	1	
		生物学特別実習Ⅰ	[1]	
		生物学特別実習Ⅱ	[2]	
		生物学特別講義Ⅰ	[1]	
		生物学特別講義Ⅱ	[1]	
		生物学特別講義Ⅲ	[1]	
		生物学特別講義Ⅳ	[1]	
		生物学特別講義Ⅴ	[1]	
		生物学特別講義Ⅵ	[2]	
		理学共通講義Ⅰ	[1]	
		理学共通講義Ⅱ	[2]	
		理学共通演習Ⅰ	[1]	
		理学共通演習Ⅱ	[2]	
		理学特別講義Ⅰ	[1]	
		理学特別講義Ⅱ	[2]	
		理学特別講義Ⅲ	[3]	
		理学特別講義Ⅳ	[4]	

注　単位欄中の数字に［　］のつけてある授業科目は，複数の講義題目により行われ，それぞれ一の授業科目として履修することができる。

生物科学科（高分子機能学）

区分	分野	授業科目	単位	備考
必修科目		高分子機能学基礎実験	2	80単位以上を修得すること。
		生体高分子学実験Ⅰ	4	
		生体高分子学実験Ⅱ	4	
		生体高分子学実験Ⅲ	4	
		高分子機能学文献講読	4	
		高分子機能学卒業研	12	

		究		
選択必修科目	数学	微分積分学続論	2	2以上の分野に係る授業科目のうちから6単位以上を修得すること。
		代数学・幾何学序論	2	
		ベクトル解析	2	
	物理学	現代物理学	2	
		振動と波動の物理	2	
		現代天文学	2	
	化学	基礎有機化学	2	
		基礎物理化学	2	
	生物学	細胞生物学概論	2	
		生物多様性概論	2	
	高分子機能学	生物系のための有機化学	2	
		生物系のための物理学	2	
	地球惑星科学	現代地球惑星科学概論1	2	
		現代地球惑星科学概論2	2	
選択科目		分子生物学概論	2	
		生物系の熱力学	2	
		生物系の溶液論	2	
		生物系の反応速度論	2	
		生物系の電解質論	2	
		生物系の量子力学	2	
		生物系の分光学	2	
		生物系の物質輸送論	2	
		生物系の統計力学	2	
		生体高分子物性論	2	
		生命有機化学	2	

		基礎高分子合成化学	2	
		応用生物有機化学	2	
		分子遺伝科学Ⅰ	2	
		分子遺伝科学Ⅱ	2	
		実験生物科学	2	
		細胞構造科学Ⅰ	2	
		細胞構造科学Ⅱ	2	
		細胞構造科学Ⅲ	2	
		細胞情報科学Ⅰ	2	
		細胞情報科学Ⅱ	2	
		生物系の分析化学	2	
		生物系のX線結晶学	2	
		生命情報科学演習	2	
		有機化学演習	2	
		レオロジー	2	
		科学英語講読	2	
		基礎化学英語	2	
		高分子機能学特別講義	［1］	
		理学共通講義Ⅰ	［1］	
		理学共通講義Ⅱ	［2］	
		理学共通演習Ⅰ	［1］	
		理学共通演習Ⅱ	［2］	
		理学特別講義Ⅰ	［1］	
		理学特別講義Ⅱ	［2］	
		理学特別講義Ⅲ	［3］	
		理学特別講義Ⅳ	［4］	

注　単位欄中の数字に［　］のつけてある授業科目は，複数の講義題目により行われ，それぞれ一の授業科目として履修することができる。

地球惑星科学科

区分	分野	授業科目	単位	備考	
必修科目		地球惑星科学セミナー 地球惑星科学文献講読 地球惑星科学研究	1 4 12		80単位以上を修得すること。
選択必修科目A	数学	微分積分学続論 代数学・幾何学序論 ベクトル解析	2 2 2	2以上の分野に係る授業科目のうちから6単位以上を修得すること。	
	物理学	現代物理学 振動と波動の物理 現代天文学	2 2 2		
	化学	基礎有機化学 基礎物理化学	2 2		
	生物学	細胞生物学概論 生物多様性概論	2 2		
	高分子機能学	生物系のための有機化学 生物系のための物理学	2 2		
	地球惑星科学	現代地球惑星科学概論1 現代地球惑星科学概論2	2 2		
選択必修科目B		地球惑星科学のための物理数学Ⅰ 地球惑星科学のための物理数学Ⅰ演習 地球惑星科学のための古典力学	2 1 2	8単位以上を修得すること。	

		地球惑星科学のための古典力学演習	1		
		地球惑星基礎化学	2		
		堆積学	2		
		鉱物学	2		
		地球惑星物質科学実習	3		
		情報実習	2		
選択必修科目C		地球惑星科学のための物理数学Ⅱ	2	10単位以上を修得すること。	
		地球惑星科学のための物理数学Ⅱ演習	1		
		地球惑星科学のための電磁気学	2		
		地球連続体力学	2		
		データ解析学	2		
		惑星学	2		
		マグマ科学	2		
		岩石変形学	2		
		地球史	2		
		量子力学Ⅰ	2		
		統計力学Ⅰ	2		
		地球惑星科学実験Ⅰ	2		
選択必修科目D		惑星大気構造学	2	10単位以上を修得すること。	
		海洋地質学	2		
		地球化学	2		
		火山学	2		
		地震学	2		
		変動帯岩石科学	2		
		地球内部物理学	2		

		気象学	2	
		地球惑星科学実験Ⅱ	2	
		地球計測実習	2	
		地質学実習	4	
選択科目		地球惑星電磁気学	2	
		陸水循環物理学	2	
		鉱物物理化学	2	
		地球環境学	2	
		古生物学	2	
		有機地球化学	2	
		海洋気候物理学	2	
		流体力学	2	
		地球資源科学	2	
		宇宙測地学	2	
		宇宙物理学	2	
		地球惑星科学実験Ⅲ	2	
		地球惑星科学実験Ⅳ	2	
		野外巡検	2	
		地球惑星流体力学Ⅰ	1	
		地球惑星流体力学Ⅱ	1	
		相対論	2	
		地球惑星科学特別講義	[1]	
		理学共通講義Ⅰ	[1]	
		理学共通講義Ⅱ	[2]	
		理学共通演習Ⅰ	[1]	
		理学共通演習Ⅱ	[2]	
		理学特別講義Ⅰ	[1]	
		理学特別講義Ⅱ	[2]	
		理学特別講義Ⅲ	[3]	

		理学特別講義Ⅳ	［4］	

注　単位欄中の数字に［　］のつけてある授業科目は，複数の講義題目により行われ，それぞれ一の授業科目として履修することができる。

別表第２の２（第５条関係）

専門科目（インテグレイテッドサイエンスプログラム）

インテグレイテッドサイエンスプログラム共通科目群

<table>
<tr><th colspan="3">区分</th><th rowspan="2">分野</th><th rowspan="2">授業科目</th><th rowspan="2">単位</th><th colspan="3">備考</th></tr>
<tr><th>物理学科</th><th>化学科</th><th>生物科学科（生物学専修分野）</th><th>物理学科</th><th>化学科</th><th>生物科学科（生物学専修分野）</th></tr>
<tr><td rowspan="9">必修科目</td><td rowspan="9">選択科目</td><td rowspan="9">選択科目</td><td rowspan="5">数学</td><td>常微分方程式入門</td><td>1</td><td rowspan="9">必修科目から22単位以上及び選択必修科目から10単位以上を修得すること。</td><td rowspan="9">必修科目から20単位以上及び選択科目から28単位以上を修得すること。</td><td rowspan="9">生物学分野の選択必修科目から18単位以上を修得すること。
2　生物学分野以外の分野（数学，物理学及び化学）から2以上の分野に係る授業科目のうちから6単位以上修得すること。</td></tr>
<tr><td>常微分方程式入門演習</td><td>1</td></tr>
<tr><td>ベクトル解析入門</td><td>1</td></tr>
<tr><td>ベクトル解析入門演習</td><td>1</td></tr>
<tr><td rowspan="5">物理学</td><td>複素関数論入門</td><td>1</td></tr>
<tr><td>複素関数論入門演習</td><td>1</td></tr>
<tr><td>フーリエ解析学入門</td><td>1</td></tr>
<tr><td>フーリエ解析学入</td><td>1</td></tr>
</table>

				門演習				
				電磁気学Ⅰ	2			
				電磁気学Ⅱ	2			
				量子力学Ⅰ	2			
				統計力学Ⅰ	2			
選択必修科目				現代物理学	2			
必修科目				電磁気学演習Ⅰ	1			
				電磁気学演習Ⅱ	1			
				量子力学演習Ⅰ	1			
				統計力学演習Ⅰ	1			
				プログラミング入門	1			
				データ処理入門	1			
選択必修科目	必修科目		化学	物理化学A	2			
				物理化学B	2			
				物理化学C	2			

				有機化学A	2			
				有機化学B	2			
				有機化学C	2			
				無機化学A	2			
				無機化学B	2			
				分析化学	2			
				生物化学	2			
	選択科目	選択必修科目	生物学	多様性生物学Ⅰ	2			
				多様性生物学Ⅱ	2			
				多様性生物学Ⅲ	2			
				細胞生物学Ⅰ	2			
				細胞生物学Ⅱ	2			
				細胞生物学Ⅲ	2			
				機能生物学Ⅰ	2			
				機能生物学Ⅱ	2			
				機能生物学Ⅲ	2			

				科学論文演習	2			
		選択科目		科学者倫理	1			
				特別実習Ⅰ	［1］			
				特別実習Ⅱ	［2］			
				ISP特別講義Ⅰ	［1］			
				ISP特別講義Ⅱ	［2］			
				ISP特別講義Ⅲ	［3］			
				ISP特別講義Ⅳ	［4］			

注　単位欄中の数字に［　］のつけてある授業科目は，複数の講義題目により行われ，それぞれ一の授業科目として履修することができる。

物理学科

区分	授業科目	単位	備考	
必修科目	力学Ⅰ	2	36単位以上を修得すること。	インテグレイテッドサイエンスプログラム共通科目群に掲げる授業科目から修得した単位と合わせて，80単位以上を修得すること。
	力学Ⅱ	2		
	量子力学Ⅱ	2		
	統計力学Ⅱ	2		
	物理学実験Ⅰ	2		
	物理学実験Ⅱ	2		
	物理学実験Ⅲ	2		
	物理学実験Ⅳ	2		
	物理学外国語文献講読Ⅰ	2		
	物理学外国語文献講読Ⅱ	2		

	物理学外国語文献講読Ⅲ	2		
	物理学卒業研究Ⅰ	5		
	物理学卒業研究Ⅱ	5		
	力学演習Ⅰ	1		
	力学演習Ⅱ	1		
	量子力学演習Ⅱ	1		
	統計力学演習Ⅱ	1		
選択科目	相対論	2	4単位以上を修得すること。	
	場の理論	2		
	原子核物理学	2		
	素粒子物理学	2		
	宇宙物理学	2		
	物性物理学	[2]		
	量子力学特論	[2]		
	凝縮系物理学特論	[2]		
	現代物理学特論	[2]		
	物理学特別講義	[2]		
	理学特別講義Ⅰ	[1]		
	理学特別講義Ⅱ	[2]		
	理学特別講義Ⅲ	[3]		
	理学特別講義Ⅳ	[4]		

注　単位欄中の数字に［　］のつけてある授業科目は，複数の講義題目により行われ，それぞれ一の授業科目として履修することができる。

化学科

区分	授業科目	単位	備考	
必修科目	化学特別研究A1	3	20単位以上を修得すること。	インテグレイテッドサイエンスプログラム共通科目群に掲げる授業科目から修得した単位
	化学特別研究A2	3		
	化学特別研究B1	6		
	化学特別研究B2	6		
	化学文献講読1	1		

	化学文献講読2	1		と合わせて，80単位以上を修得すること。
選択科目	化学実験A	2	12単位以上を修得すること。	
	化学実験B	2		
	化学実験C	2		
	化学実験D	2		
	化学実験E	2		
	化学実験F	2		
	計算機実習	1		
	化学特別講義Ⅰ	［2］		
	化学特別講義Ⅱ	［1］		
	理学特別講義Ⅰ	［1］		
	理学特別講義Ⅱ	［2］		
	理学特別講義Ⅲ	［3］		
	理学特別講義Ⅳ	［4］		

注　単位欄中の数字に［　］のつけてある授業科目は，複数の講義題目により行われ，それぞれ一の授業科目として履修することができる。

生物科学科（生物学）

区分	授業科目	単位	備考	
選択必修科目B	生物科学研究実習	6	6単位又は2単位を修得すること。	インテグレイテッドサイエンスプログラム共通科目群に掲げる授業科目から修得した単位と合わせて，80単位以上を修得すること。
	生物科学文献講読	2		
選択必修科目D	基礎生物学実習	3	6単位以上を修得すること。	
	基礎生化学実習	3		
	基礎形態学実習	3		
選択必修科目E	植物系統分類学実習	2	4単位以上を修得すること。	
	動物系統分類学実習	2		
	生態学実習	2		
	遺伝学実習	2		
	研究林実習	2		
選択必修科目F	形態機能学実習	2	4単位以上を修得すること。	
	環境生物学実習	2		

	行動神経生物学実習	2		
	発生学実習	2		
選択科目	系統分類学Ⅰ	2		
	系統分類学Ⅱ	2		
	形態機能学Ⅰ	2		
	形態機能学Ⅱ	2		
	行動神経生物学Ⅰ	2		
	行動神経生物学Ⅱ	2		
	生殖発生生物学Ⅰ	2		
	生殖発生生物学Ⅱ	2		
	環境生物学Ⅰ	2		
	環境生物学Ⅱ	2		
	分子遺伝学	2		
	系統進化学	2		
	脳と行動の進化	2		
	環境分子生物学	2		
	生物統計学	1		
	生物科学技術基礎論	1		
	臨海実習Ⅰ	1		
	臨海実習Ⅱ	1		
	海洋生態学実習	1		
	海藻学実習	1		
	生物学特別実習Ⅰ	［1］		
	生物学特別実習Ⅱ	［2］		
	生物学特別講義Ⅰ	［1］		
	生物学特別講義Ⅱ	［1］		
	生物学特別講義Ⅲ	［1］		
	生物学特別講義Ⅳ	［1］		
	生物学特別講義Ⅴ	［1］		
	生物学特別講義Ⅵ	［2］		

	理学特別講義Ⅰ	［1］		
	理学特別講義Ⅱ	［2］		
	理学特別講義Ⅲ	［3］		
	理学特別講義Ⅳ	［4］		

注　単位欄中の数字に［　］のつけてある授業科目は，複数の講義題目により行われ，それぞれ一の授業科目として履修することができる。

出典：理学研究院・理学部規程集

○北海道大学通則

平成７年４月１日
海大達第２号

第１章　総則

（目的）

第１条　北海道大学（以下「本学」という。）は，教育基本法（平成18年法律第120号）の精神に則り，学術文化の中心として広く知識を授けるとともに，深く専門の学術を教授研究し，平和的民主的な国家社会の形成に寄与することを目的とし，かつ，最高の教育機関として国家社会の向上を図り，もって人類の永遠の平和と福利に貢献することをその使命とする。

（学部及び学科又は課程）

第２条　本学に，次の学部及び学科又は課程を置く。

文学部　人文科学科

教育学部　教育学科

法学部　法学課程

経済学部　経済学科，経営学科

理学部　数学科，物理学科，化学科，生物科学科，地球惑星科学科

医学部　医学科，保健学科

歯学部　歯学科

薬学部　薬科学科，薬学科

工学部　応用理工系学科，情報エレクトロニクス学科，機械知能工学科，環境社会工学科

農学部　生物資源科学科，応用生命科学科，生物機能化学科，森林科学科，畜産科学科，生物環境工学科，農業経済学科

獣医学部　共同獣医学課程

水産学部　海洋生物科学科，海洋資源科学科，増殖生命科学科，資源機能化学科

２　各学部の学生の収容定員は，別表のとおりとする。

（共同教育課程）

第２条の２　前条第１項の学科又は課程のうち，獣医学部共同獣医学課程は，大学設置基準（昭和31年文部省令第28号）第43条第１項の共同教育課程とし，本学及び帯広畜産大学が共同して教育課程を編成するものとする。

（現代日本学プログラム課程）

第２条の３　本学に，第46条に規定する外国人留学生のための学位プログラムとして，現代日本学プログラム課程（以下「現代日本学プログラム」という。）を置く。

（インテグレイテッドサイエンスプログラム）

第２条の４　本学に，第46条に規定する外国人留学生のための教育プログラムとして，インテグレイテッドサイエンスプログラムを置く。

（学部への進級）

第３条　本学に入学した第１年次の学生に係る修学指導，学籍管理等については，国立大学法人北海道大学高等教育推進機構（以下「機構」という。）において行うこととし，第１年次において所定の授業科目を履修し，所定の単位を修得した学生は，第２条第１項に掲げる学部に進級するものとする。

２　前項の規定にかかわらず，現代日本学プログラムの第１年次の学生に係る進級は，別に定めるところによる。

３　第２年次以降に所属する学部，学科等の決定は，別に定めるところによる。

（大学院）

第４条　本学に，大学院を置く。

２　大学院については，別に定める。

第２章　学部

第１節　学年，学期及び休業日

（学年及び学期）

第５条　学年は，４月１日に始まり，翌年３月31日に終わる。

２　学年を分けて，次の２学期とする。

第１学期　４月１日から９月30日まで

第２学期　10月１日から翌年３月31日まで

３　学部，機構及び現代日本学プログラムにおいて必要と認めるときは，前項に定める各学期の開始日及び終了日を変更することができる。

４　学部，機構及び現代日本学プログラムにおいて必要と認めるときは，第２項に定める各学期を分けて，授業を行う期間を定めることができる。

（休業日）

第６条　授業を行わない日（以下「休業日」という。）は，次のとおりとする。

日曜日及び土曜日

国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日

春季休業日

夏季休業日

冬季休業日

２　前項の春季休業日，夏季休業日及び冬季休業日は，学部，機構及び現代日本学プログラムにおいて別に定める。

３　臨時の休業日は，その都度総長が定める。

４　学部，機構及び現代日本学プログラムにおいて必要と認めるときは，休業日に授業を行うことができる。

第２節　修業年限及び在学年限

（修業年限）

第７条　修業年限は，４年とする。ただし，医学部医学科，歯学部歯学科，薬学部薬学科及び獣医学部共同獣医学課程にあっては，６年とする。

（在学年限）

第８条　在学年限は，８年とする。ただし，医学部医学科，歯学部歯学科，薬学部薬学科及び獣医学部共同獣医学課程にあっては，12年とする。

２　学部（第１年次の学生にあっては，本学）及び現代日本学プログラムにおいて必要と認めるときは，進級等の基準を設け，同一年次等において在学することのできる年限を定めることができる。

第３節　入学

（入学等の時期）

第９条　入学，再入学，転入学，編入学及び転部の時期は，４月とする。ただし，学部及び現代日本学プログラムにおいて必要と認めたときは，10月とすることができる。

（入学資格）

第10条　本学に入学することのできる者は，次の各号のいずれかに該当する者とする。

(1)　高等学校又は中等教育学校を卒業した者

(2)　通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）

(3)　外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

(4)　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

(5)　専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

(6)　文部科学大臣の指定した者

(7)　高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第１号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第２条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）

(8)　本学において，個別の入学資格審査により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，18歳に達したもの

（入学出願手続）

第11条　前条に規定する者で入学を志願するものは，所定の期日までに，別に定める書類に第35条第１項第１号に規定する検定料を添えて提出しなければならない。

（入学試験）

第12条　前条に規定する入学出願手続を行った者に対しては，入学試験を行う。

２　入学試験については，別に定める。

（入学）

第13条　前条に規定する入学試験を受験した者に対して，総長は，北海道大学入学者選抜委員会の議を経て，合格及び不合格の決定を行う。

２　前項の規定により入学試験に合格した者で，所定の期日までに，別に定める書類を提出したもののうち，第35条第１項第２号に規定する入学料を納付した者又は第36条第１項の規定により入学料の免除若しくは第２項の規定により入学料の徴収の猶予を申請した者に対して，総長が入学を許可する。

（編入学等の資格）

第14条　次の各号のいずれかに該当する者については，学部及び現代日本学プログラムにおいて選考し，当該学部の教授会（現代日本学プログラムにあっては，現代日本学プログラム課程運営委員会。第15条第１項において同じ。）の議を経て，総長が入学を許可することができる。

(1)　本学の中途退学者で，再び同一の学部に入学を志願する者

(2)　他の大学に２年以上在学し，所定の授業科目を履修し，所定の単位を修得した中途退学者又は外国において学校教育における16年の課程に14年以上在学し，所定の学修の成果を有する中途退学者で，入学を志願する者

(3)　本学若しくは他の大学を卒業した者又は外国において学校教育における16年の課程を修了した者で，入学を志願する者

(4)　学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第７項の規定により学士の学位を授与された者で，入学を志願する者

(5)　短期大学若しくは高等専門学校を卒業した者又は外国において学校教育における14年の課程を修了した者で，入学を志願する者

(6)　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者で，入学を志願する者

(7)　専修学校の専門課程（修業年限が２年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。第21条第１項及び同条第３項において同じ。）を修了した者（学校教育法第90条第１項に規定する者に限る。）で，入学を志願する者

(8)　高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。第21条第１項及び同条第３項において同じ。）の専攻科の課程（修業年限が２年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。第21条第１項及び同条第３項において同じ。）を修了した者（学校

教育法第90条第１項に規定する者に限る。）で，入学を志願する者

２　前項に規定する者のほか，他の大学に１年以上在学し，所定の授業科目を履修し，所定の単位を修得した中途退学者又は外国において学校教育における16年の課程に13年以上在学し，所定の学修の成果を有する中途退学者で，法学部の第２年次に入学を志願する者については，法学部において，選考の上入学を許可することができる。

（転入学）

第15条　他の大学から本学に転入学を志願する者がある場合は，欠員のあるときに限り，学部及び現代日本学プログラムにおいて選考し，当該学部の教授会の議を経て，総長が入学を許可することができる。ただし，当該学部に別段の定めがある場合は，欠員がないときにあっても入学を許可することができる。

２　前項の規定により転入学を志願する者は，その際在学する大学の学部長又は学長の許可証を願書に添えなければならない。

（編入学等の入学出願手続等）

第16条　第11条及び第13条の規定は，前２条の規定により入学する場合に準用する。

（転部）

第16条の２　一の学部の学生であって他の学部に転部を志願する者がある場合は，欠員のあるときに限り，学部において選考の上，学部長が転部を許可することができる。ただし，当該学部に別段の定めがある場合は，欠員がないときにあっても転部を許可することができる。

２　前項の規定により転部を志願する者は，その際在学する学部長の許可証を願書に添えなければならない。

第４節　教育課程及び履修方法等

（教育課程の編成方針）

第16条の３　本学は，本学，学部，学科又は課程及び現代日本学プログラムの教育上の目的を達成するために必要な授業科目を自ら開設し，体系的に教育課程を編成するものとする。

２　教育課程の編成に当たっては，本学は，学部，学科又は課程及び現代日本学プログラムの専攻に係る専門の学芸を教授するとともに，幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い，豊かな人間性を涵養するよう適切に配慮しなければならない。

（教育課程の編成方法）

第17条　教育課程は，次に掲げる授業科目区分により開講する授業科目をもって編成する。

(1)　教養科目

(2)　基礎科目

(3)　専門科目

(4)　国際交流科目

2　前項に規定するもののほか，外国人留学生のための授業科目区分として日本語科目及び日本事情に関する科目を置くことができる。

3　第１項第１号及び第２号並びに前項の授業科目区分の授業科目のうち，複数学部の学生（第１年次の学生を含む。）を対象として共通の教育内容をもって開講される授業科目を全学教育科目（獣医学部共同獣医学課程においては，一般教養教育科目）と称する。

4　第１項第３号の授業科目区分の授業科目のうち，複数学部の学生を対象として共通の教育内容をもって開講される授業科目を専門横断科目と称する。

5　授業科目並びに授業科目の単位数及び履修方法に関し必要な事項は，学部及び現代日本学プログラムの定めるところによる。

6　前項の単位数を定めるに当たっては，１単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし，授業の方法に応じ，当該授業による教育効果，授業時間外に必要な学修等を考慮して，次の基準により単位数を計算するものとする。

(1)　講義及び演習については，15時間から30時間までの範囲で学部及び現代日本学プログラムが定める時間の授業をもって１単位とする。

(2)　実験，実習及び実技については，30時間から45時間までの範囲で学部及び現代日本学プログラムが定める時間の授業をもって１単位とする。ただし，芸術等の分野における個人指導による実技の授業については，学部が定める時間の授業をもって１単位とすることができる。

(3)　一の授業科目について，講義，演習，実験，実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合の単位数を計算するに当たっては，その組み合わせに応じ，前２号に規定する基準を考慮して学部及び現代日本学プログラムが定める時間の授業をもって１単位とする。

7　前項の規定にかかわらず，卒業論文，卒業研究等の授業科目については，これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には，これらに必要な学修等を考慮して，単位数を定めることができる。

8　第３項の全学教育科目に関し必要な事項は，北海道大学全学教育科目規程（平成７年海大達第３号）の定めるところによる。

9　第４項の専門横断科目に関し必要な事項は，北海道大学専門横断科目規程（平成31年海大達第50号）の定めるところによる。

10　第１項第４号の国際交流科目に関し必要な事項は，北海道大学国際交流科目規程（平成９年海大達第50号）の定めるところによる。

（授業の方法）

第17条の２　授業は，講義，演習，実験，実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

2　前項の授業は，文部科学大臣が別に定めるところにより，多様なメディアを高度に利用して，当該

授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

３　第１項の授業を，外国において履修させることができる。前項の規定により，多様なメディアを高度に利用して，当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても，同様とする。

（成績評価基準等の明示等）

第17条の３　学部，機構及び現代日本学プログラムは，学生に対して，授業の方法及び内容並びに１年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。

２　学部，機構及び現代日本学プログラムは，学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては，客観性及び厳格性を確保するため，学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに，当該基準に従って適切に行うものとする。

（教育内容等の改善のための組織的な研修等）

第17条の４　学部は，当該学部の授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

（履修科目登録の上限）

第17条の５　学部，機構及び現代日本学プログラムは，学生が各年次にわたって適切に授業科目を履修するため卒業要件として学生が修得すべき単位数について，学生が１年間又は１学期に履修科目として登録することができる単位数の上限を定めるよう努めるものとする。

２　学部，機構及び現代日本学プログラムは，その定めるところにより，所定の単位を優れた成績をもって修得した学生については，前項に定める上限を超えて履修科目の登録を認めることができる。

（単位の授与等）

第18条　一の授業科目を履修した学生に対しては，試験の上単位を与えるものとする。ただし，卒業論文，卒業研究等の授業科目については，学修の成果を評価して単位を与えることができる。

（他学科又は他学部における授業科目の履修）

第18条の２　学部において，教育上有益と認めるときは，学生が他の学科又は他の学部の専門科目及び専門横断科目並びに国際交流科目を履修することを認めることができる。

２　前項の規定の実施に関し必要な事項は，学部の定めるところによる。

３　第１項の規定により学生が履修した授業科目について修得した単位の取扱いについては，学部の定めるところによる。

（他の大学又は短期大学における授業科目の履修等）

第19条　学部において，教育上有益と認めるときは，学生が他の大学又は短期大学の授業科目を履修することを認めることができる。

２　前項の規定の実施に当たっては，当該大学又は短期大学との間において，履修できる授業科目の範囲等必要な事項について協議するものとする。

３　前２項の規定により学生が履修した授業科目について修得した単位は，60単位を超えない範囲で当

該学部における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

４　前３項の規定は，学生が外国の大学又は短期大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合について準用する。

（大学以外の教育施設等における学修）

第19条の２　学部において，教育上有益と認めるときは，学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を，当該学部における授業科目の履修とみなし，単位を与えることができる。

２　前項の規定により与えることのできる単位数は，前条第３項の規定により修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

（休学期間中の外国の大学における学修）

第19条の３　学部において教育上有益と認めるときは，学生が休学期間中に外国の大学において学修した成果について，本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

２　前項の規定により修得したものとみなすことのできる単位数は，第19条第３項，前条第１項及び第28条第２項の規定により当該学部において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

（入学前の既修得単位等の認定及び在学年数の取扱い）

第20条　学部において，教育上有益と認めるときは，新たに本学の第１年次に入学した学生が，入学前に本学，他の大学若しくは短期大学において履修した授業科目について修得した単位（大学及び短期大学において科目等履修生として履修した授業科目について修得した単位を含む。）又は外国の大学若しくは短期大学において学修した成果を，本学に入学した後の当該学部における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

２　学部において，教育上有益と認めるときは，新たに本学の第１年次に入学した学生が，入学前に行った第19条の２第１項に規定する学修を，本学に入学した後の当該学部における授業科目の履修とみなし，単位を与えることができる。

３　前２項の規定により修得したものとみなし，又は与えることのできる単位数は，本学において修得した単位以外のものについては，第19条第３項，第19条の２第１項，前条第１項及び第28条第２項の規定により当該学部において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

４　本学における科目等履修生（大学又は短期大学の学生以外の者に限る。）として一定の単位（学校教育法第90条の規定により入学資格を有した後，修得したものに限る。）を修得した者が，本学に入学する場合において，当該単位の修得により一の学部の教育課程の一部を履修したと認められるときは，第１項の規定により入学した後に修得したものとみなすことのできる当該単位数，その修得した期間その他当該学部が必要と認める事項を勘案し，当該学部が定める期間を教授会（教授会に属する職員のうちの一部の者をもって構成される代議員会，専門委員会等を含む。以下同じ。）の議を経て，

本学における在学年数に算入することができる。ただし，その期間は，修業年限の２分の１を超えてはならない。

（編入学生等の既修得単位等及び在学年数の取扱い）

第21条　第14条及び第15条の規定により入学を許可された者の，入学前に本学，他の大学，短期大学若しくは高等専門学校において履修した授業科目について修得した単位又は専修学校の専門課程，高等学校の専攻科の課程若しくは外国の大学若しくは短期大学において学修した成果は，その一部又は全部を当該学部の教授会の議を経て，当該学部における授業科目の履修とみなし，単位を与えることができる。

２　学部において，教育上有益と認めるときは，前項に規定する者が，入学前に行った第19条の２第１項に規定する学修（前項の規定を適用したものを除く。）を，本学に入学した後の当該学部における授業科目の履修とみなし，単位を与えることができる。この場合において与えることのできる単位数については，前条第３項の規定を準用する。

３　第１項に規定する者の入学前の本学，他の大学，短期大学，高等専門学校，専修学校の専門課程，高等学校の専攻科の課程又は外国の大学若しくは短期大学における在学年数については，その一部又は全部を当該学部の教授会の議を経て，本学における在学年数に算入することができる。

第５節　休学，転学，留学，退学，除籍及び懲戒

（休学）

第22条　学生が疾病その他の事由により２月以上修学できないときは，休学願に，疾病の場合は医師の診断書を，その他の事由の場合は詳細な事由書を添えて当該学部長（第１年次の学生にあっては国立大学法人北海道大学高等教育推進機構長，現代日本学プログラムの学生（第１年次の学生を除く。）にあっては現代日本学プログラム課程長。以下この節及び第40条第２項において同じ。）に提出し，許可を得てその学年の終わりまで休学することができる。

第23条　疾病のため修学が不適当と認められる学生に対しては，当該学部長は，休学を命ずる。

（復学）

第24条　休学している学生が，休学期間中にその事由が消滅したときは，復学願に医師の診断書又は詳細な事由書を添えて当該学部長に提出し，許可を得て復学することができる。

（休学期間）

第25条　休学期間は，４年を超えることができない。ただし，医学部医学科，歯学部歯学科，薬学部薬学科及び獣医学部共同獣医学課程にあっては，６年を超えることができない。

２　第８条第２項の規定は，休学期間について準用する。

（休学期間の取扱い）

第26条　休学期間は，在学年数に算入しない。

（他大学への転学）

第27条　学生が他の大学に転学を志願するときは，事由を記した書類を当該学部長に提出し，その許可を受けなければならない。

（留学）

第28条　学部において，教育上有益と認めるときは，学生が外国の大学又は短期大学に留学することを認めることができる。

２　第19条第２項及び第３項の規定は，留学の実施及び学修の成果の取扱いについて準用する。

３　留学期間は，在学年数に算入する。

（退学）

第29条　学生が退学しようとするときは，詳細な事由を記した退学願を当該学部長に提出し，その許可を受けなければならない。

（除籍）

第30条　次の各号のいずれかに該当する学生は，当該学部の教授会（第１年次の学生に係るものにあっては国立大学法人北海道大学高等教育推進機構学務委員会，現代日本学プログラムの学生（第１年次の学生を除く。）に係るものにあっては現代日本学プログラム課程運営委員会。次条において同じ。）の議を経て，総長が除籍する。

(1)　第８条に規定する在学年限に達し，なお所定の単位を修得していないとき。

(2)　欠席が長期にわたるとき，又は成業の見込みがないとき。

(3)　第36条第５項，第７項又は第８項の規定により納付すべき入学料を納付しないとき。

(4)　授業料の納付を怠り督促を受け，なお納付しないとき。

（懲戒）

第31条　総長は，学生が本学の規則に違反し，又はその本分に反する行為があったときは，当該学部の教授会の議を経て，懲戒する。ただし，同一の事由により懲戒すべき学生が複数の学部（現代日本学プログラムを含む。）にいるとき及び第１年次の学生が含まれるときは，当該学部の教授会及び教育研究評議会の議を経て，懲戒する。

２　懲戒は，譴責，停学及び退学とする。

（停学期間の取扱い）

第32条　停学期間は，在学年数に算入しない。

（第１年次の学生に関する読み替え）

第32条の２　第18条の２から第20条まで及び第28条の規定は，第１年次の学生（現代日本学プログラムの学生を除く。）の授業科目の履修等について準用する。この場合において，第18条の２第１項，第19条から第20条まで及び第28条中「学部において」とあるのは「本学において」と，第18条の２第１項中「他の学科又は他の学部の専門科目及び専門横断科目並びに国際交流科目」とあるのは「国際交流科目」（インテグレイテッドサイエンスプログラムを履修する学生にあっては「学部の専門科目及

び専門横断科目並びに国際交流科目」）と，同条第２項中「学部」とあり，第19条から第19条の３まで及び第20条第１項から第３項まで中「当該学部」とあるのは「本学」と読み替えるものとする。

（現代日本学プログラムの学生に関する読み替え）

第32条の３　第18条の２から第21条まで及び第28条の規定は，現代日本学プログラムの学生の授業科目の履修等について準用する。この場合において，次の表の左欄に掲げる規定中同表の中欄に掲げる字句は，それぞれ同表の右欄に掲げる字句と読み替えるものとする。

第18条の2第1項, 第19条第1項, 第19条の2第1項, 第19条の3第1項, 第20条第1項, 第20条第2項, 第21条第2項, 第28条第1項	学部において	現代日本学プログラムにおいて
第18条の2第1項	他の学科又は他の学部の専門科目及び専門横断科目並びに国際交流科目	学部の専門科目及び専門横断科目並びに国際交流科目
第18条の2第2項, 第18条の2第3項	学部	現代日本学プログラム
第19条第3項, 第19条の2第1項, 第19条の3第2項, 第20条第1項, 第20条第2項, 第20条第3項, 第20条第4項, 第21条第2項	当該学部	現代日本学プログラム
第20条第4項	一の学部	現代日本学プログラム
第20条第4項	教授会	現代日本学プログラム課程運営委員会
第21条第1項, 第21条第3項	当該学部の教授会	現代日本学プログラム課程運営委員会
第21条第1項	当該学部における	現代日本学プログラムにおける

第６節　卒業及び学位

（卒業）

第33条　本学に第７条に規定する年限以上在学し，所定の授業科目を履修し，所定の単位を修得し，かつ，当該学部の定める卒業に必要な基準を満たした学部の学生に対しては，当該学部の教授会の議を経て，総長が卒業を認定する。

２　本学に第７条に規定する年限以上在学し，所定の授業科目を履修し，所定の単位を修得した現代日本学プログラムの学生に対しては，現代日本学プログラム課程運営委員会の議を経て，総長が卒業を認定する。

３　前２項の単位のうち，第17条の２第２項に規定する授業の方法により修得した単位数は，60単位を超えないものとする。ただし，卒業に124単位を超える単位の修得が必要な場合において，同項に規定する授業以外の方法により64単位以上を修得しているときは，この限りでない。

（早期卒業）

第33条の２　医学部医学科，歯学部歯学科，薬学部薬学科及び獣医学部共同獣医学課程を除き本学に３年以上在学した者で，卒業に必要な単位を優秀な成績で修得したと認められ，かつ，当該学部の定める卒業に必要な基準を満たした学部の学生に対しては，前条第１項の規定にかかわらず，当該学部の定めるところにより，教授会の議を経て，総長が卒業を認定することができる。

２　本学に３年以上在学した者で，卒業に必要な単位を優秀な成績で修得したと認めた現代日本学プログラムの学生に対しては，前条第２項の規定にかかわらず，現代日本学プログラムの定めるところにより，現代日本学プログラム課程運営委員会の議を経て，総長が卒業を認定することができる。

（学位）

第34条　前２条の規定により卒業を認定した者に対し，総長が学士の学位を授与する。

２　学士の学位に関し必要な事項は，北海道大学学位規程（昭和33年海大達第12号）の定めるところによる。

第７節　検定料，入学料及び授業料

（検定料，入学料及び授業料の額）

第35条　本学における検定料及び入学料の額並びに授業料の年額は，次のとおりとする。

(1)　検定料　17,000円

(2)　入学料　282,000円

(3)　授業料の年額　535,800円

２　本学の入学者選抜において，出願書類等による選抜（以下「第１段階目の選抜」という。）を行い，その合格者に限り学力検査その他による選抜（以下「第２段階目の選抜」という。）を行う場合の検定料の額は，前項第１号の規定にかかわらず，第１段階目の選抜に係る額は4,000円とし，第２段階目の選抜に係る額は13,000円とする。

3　現代日本学プログラム及びインテグレイテッドサイエンスプログラムにおける入学者選抜に係る検定料の額は，第１項第１号の規定にかかわらず，5,000円とする。

4　第14条及び第15条に規定する編入学等及び転入学に係る検定料の額は，第１項第１号の規定にかかわらず，30,000円とする。

（入学料の免除及び徴収猶予）

第36条　特別な事情により入学料の納付が著しく困難であると認められる者に対しては，その者からの申請に基づき，入学料の全額又は半額を免除することができる。

2　経済的理由により入学料の納付期限までに入学料の納付が困難であり，かつ，学業優秀と認められる者又は特別な事由により入学料の納付期限までに入学料の納付が困難であると認められる者に対しては，その者からの申請に基づき，入学料の徴収を猶予することができる。

3　第１項の規定により入学料の免除又は前項若しくは第６項の規定により入学料の徴収の猶予を申請した者に対しては，入学料の免除若しくは徴収の猶予が許可され，又は不許可とされるまでの間は，入学料の徴収を猶予する。

4　第１項の規定により入学料の免除又は第２項の規定により入学料の徴収の猶予を申請した者が入学前に入学を辞退したときは，納付すべき入学料を納付しなければならない。

5　第１項の規定により入学料の免除又は第２項の規定により入学料の徴収の猶予を申請した者が，入学料の免除の不許可若しくは半額免除の許可又は徴収の猶予の許可若しくは不許可を告知されたときは，所定の期日までに納付すべき入学料を納付しなければならない。

6　前項の規定により入学料の免除の不許可又は半額免除の許可を告知された者は，所定の期日までに納付すべき入学料の徴収の猶予の申請をすることができる。

7　前項の規定により入学料の徴収の猶予を申請した者が，徴収の猶予の許可又は不許可を告知されたときは，所定の期日までに納付すべき入学料を納付しなければならない。

8　第３項の規定により入学料の徴収を猶予された者及び第５項又は前項の規定により入学料の徴収の猶予を申請し，その許可を告知された者が，当該猶予の期間中に退学を願い出たときは，所定の期日までに納付すべき入学料を納付しなければならない。

9　前各項に定めるもののほか，入学料の免除及び徴収猶予の取扱いに関し必要な事項は，別に定める。

（授業料）

第37条　授業料は，各年度に係る授業料について，前期（毎年４月１日から９月30日までとする。以下同じ。）及び後期（毎年10月１日から翌年３月31日までとする。以下同じ。）の２期に区分して納付するものとし，前期にあっては５月，後期にあっては11月にそれぞれ年額の２分の１に相当する額を納付しなければならない。ただし，総長が特に必要と認めた場合には，この項本文の規定による納付の時期を延期することができる。

2　納付期限は，別にこれを定める。

３　前２項の規定にかかわらず，前期に係る授業料を納付するときに，当該年度の後期に係る授業料を併せて納付することができる。

４　入学年度の前期又は前期及び後期に係る授業料については，第１項及び第２項の規定にかかわらず，入学を許可されるときに納付することができる。

（休学者の授業料）

第38条　前期又は後期の全期間を通じて休学するときは，その期分の授業料を免除する。

２　前期又は後期の期間の全部又は一部の期間を休学するときの授業料の免除の取扱いについては，別に定める。

３　休学により授業料を免除された者が前期又は後期の中途において復学したときは，その者の授業料の年額の12分の１に相当する額（その額に10円未満の端数があるときは，これを切り上げるものとする。以下同じ。）に復学した日の属する月から当該前期又は後期の末日までの月数（１月未満の端数があるときは，これを１月とする。）を乗じて得た額を，復学した日の属する月に納付しなければならない。

（学年の中途で卒業する者の授業料）

第38条の２　特別の事情により，学年の中途で卒業する者の授業料の額は，その者の授業料の年額の12分の１に相当する額に在学する月数を乗じて得た額とし，当該学年の５月に納付しなければならない。ただし，卒業する月が10月以後であるときは，後期に在学する期間に係る授業料を11月に納付しなければならない。

２　前項に定めるもののほか，学年の中途で卒業する者の授業料の取扱いについては，別に定める。

（退学者等の授業料）

第39条　前期又は後期の中途において退学し，又は退学を命ぜられ若しくは除籍された場合においては，別に定める場合を除き，これらの場合のいずれかに該当することとなった日の属する期に係る授業料を納付しなければならない。

２　停学を命ぜられた期間中であっても，当該期間分の授業料を納付しなければならない。

（授業料の免除及び徴収の猶予）

第40条　経済的事由により納付が困難であり，かつ，学業優秀と認められる学生又は特別な事情により授業料の納付が著しく困難であると認められる学生に対しては，授業料の全部若しくは一部を免除することができる。

２　前項に規定する授業料の免除の許可を受けようとする学生は，所定の期日までに，事由を付して当該学部長を経て総長に願い出なければならない。

３　授業料の免除を許可する学生は，各期ごとに定める。

４　第２項の規定により授業料の免除の許可を願い出た学生に対しては，授業料の全部若しくは一部の免除が許可され，又は不許可とされるまでの間は，授業料の徴収を猶予する。

5　授業料の免除を申請した学生が，免除の不許可又は一部免除の許可を告知されたときは，所定の期日までに，納付すべき授業料を納付しなければならない。

6　授業料の免除の許可若しくは第４項の規定による徴収の猶予（以下この項において「許可等」という。）を受けている学生の当該許可等を受けることとなった事由が消滅したときは，当該許可等を取り消すものとし，当該学生は，所定の期日までに納付すべき授業料を納付しなければならない。

7　前各項に定めるもののほか，授業料の免除及び徴収の猶予の取扱いに関し必要な事項は，別に定める。

（検定料等の還付）

第41条　既納の検定料，入学料及び授業料は，還付しない。ただし，次の各号のいずれかに該当するときは，納付した者の申出により当該各号に定める額を還付する。

(1)　本学の入学者選抜において，第１段階目の選抜を行い，第２段階目の選抜を行う場合に，検定料を納付した者が，第１段階目の選抜で不合格となったとき　第35条第２項に定める第２段階目の選抜に係る額に相当する額

(2)　大学入試センター試験を受けた者に対して行う本学の入学者を選抜するための試験において，検定料を納付した者が，当該試験の受験に必要な大学入試センター試験の科目を受験しなかったことが明らかとなったとき　第35条第２項に定める第２段階目の選抜に係る額に相当する額

(3)　前期に係る授業料を納付したときに後期に係る授業料を併せて納付した者が，その年の９月末日までに後期の全期間を通じて休学を願い出たとき又は退学し若しくは退学を命ぜられたとき　後期に係る授業料に相当する額

(4)　入学を許可されるときに授業料を納付した者が，その年の３月31日までに入学を辞退したとき　当該授業料に相当する額

第８節　聴講生，科目等履修生，特別聴講学生，日本語研修生，研究生及び外国人留学生

（聴講生）

第42条　本学において一又は複数の授業科目を聴講しようとする者がある場合は，当該学部において適当と認め，かつ，支障のないときに限り，聴講生として許可することができる。

2　聴講生に関して必要な事項は，北海道大学聴講生規程（平成７年海大達第21号）の定めるところによる。

（科目等履修生）

第43条　本学において一又は複数の授業科目を履修し，単位を修得しようとする本学の学生以外の者がある場合は，当該学部において適当と認め，かつ，支障のないときに限り，科目等履修生として許可することができる。

2　科目等履修生に関し必要な事項は，北海道大学科目等履修生規程（平成５年海大達第32号）の定めるところによる。

（特別聴講学生）

第44条　本学において特定の授業科目を履修し，単位を修得しようとする他の大学若しくは短期大学又は外国の大学若しくは短期大学の学生がある場合は，当該大学又は短期大学との協議に基づき，学部において，特別聴講学生として許可することができる。

２　前項の規定によるもののほか，「北海道地区国立大学における教養教育の単位互換に関する協定書（平成26年２月28日締結）」に基づき，本学において特定の全学教育科目を履修し，単位を修得しようとする北海道地区の他の国立大学の学生がある場合は，機構において，特別聴講学生として許可することができる。

３　前２項の規定によるもののほか，本学において専門横断科目又は国際交流科目のうち日本語，日本文化及び日本事情に関する特定の授業科目を履修し，単位を修得しようとする外国の大学の学生がある場合は，当該大学との協議に基づき，機構において，特別聴講学生として許可することができる。

４　前項の特別聴講学生は，日本語・日本文化研修生と称する。

５　第１項から第３項までの規定によるもののほか，Hokkaidoユニバーサルキャンパス・イニシアチブにおいて実施するHokkaidoサマー・インスティテュートに係る専門横断科目を履修し，単位を修得しようとする他の大学又は外国の大学の学生がある場合は，当該他の大学又は外国の大学との協議に基づき，機構において，特別聴講学生として許可することができる。この場合において，外国の大学の学生に係る許可については，当該外国の大学との協議に基づかないことができるものとする。

６　特別聴講学生に係る検定料及び入学料は，徴収しない。

７　特別聴講学生に係る授業料の額は，北海道大学における聴講生等の検定料等の額に関する規程（昭和53年海大達第15号。以下「検定料等規程」という。）の定めるところによる。

８　特別聴講学生に係る授業料は，１単位ごとに，本学が指定する日までに納付しなければならない。ただし，特別聴講学生が北海道大学における特別聴講学生及び特別研究学生に係る授業料等の不徴収に関する規程（平成16年海大達第267号）に基づく学生であるときは，授業料を徴収しない。

９　特別聴講学生に係る既納の授業料は，還付しない。

（日本語研修生）

第44条の２　本学において日本語教育プログラムを受講しようとする外国の国籍を有する者がある場合は，機構において，日本語研修生として許可することができる。

（研究生）

第45条　本学において特定の専門的事項について研究しようとする者がある場合は，当該学部において適当と認め，かつ，支障のないときに限り，研究生として許可することができる。

２　研究生に関し必要な事項は，北海道大学研究生規程（平成３年海大達第３号）の定めるところによる。

（外国人留学生）

第46条　外国人であって第12条又は第14条の規定によらないで本学に入学を志願する者がある場合は，支障のないときに限り，外国人留学生（この条において「留学生」という。）として選考の上，総長が入学を許可することができる。

２　前項に規定する留学生として入学できる者の資格は，別に定める。

３　第１項の規定により入学を許可する留学生について，総長が特に必要と認めた場合には，入学料及び授業料を徴収しないことができる。

４　留学生は，定員外とすることができる。

５　留学生には，本通則を準用する。

第２章の２　特別の課程

第46条の２　総長は，学校教育法第105条に規定する特別の課程として本学の学生以外の者を対象とした履修証明プログラムを編成し，これを修了した者に対し，修了の事実を証する証明書を交付することができる。

２　前項に定めるもののほか，履修証明プログラムに関し必要な事項は，別に定めるところによる。

第３章　教育職員免許

第47条　本学において，教育職員免許法（昭和24年法律第147号）に規定する基礎資格を取得し，かつ，専門科目について所要の単位を修得した者は，同法に規定する教育職員免許状授与の所要資格を取得することができる。

２　前項に規定する所要資格の取得方法及び取得することができる教育職員免許状の種類については，教育職員免許状授与の所要資格の取得に関する規程（昭和51年海大達第29号）の定めるところによる。

第４章　公開講座

第48条　社会人の教養を高め，文化の向上に資するため，本学に公開講座を開設することができる。

２　公開講座講習料の額は，検定料等規程の定めるところによる。

３　公開講座講習料は，受講の申込みをするときに納付しなければならない。

４　既納の公開講座講習料は，還付しない。

附　則

１　この規程は，平成７年４月１日から施行する。

２　平成７年３月31日に本学に在学する者（以下「本学在学者」という。）及び平成７年４月１日以降に本学在学者の属する年次に入学する者（以下「平成７年度以降編入学生」という。）については，改正後の北海道大学通則（以下「新規程」という。）の規定にかかわらず，なお従前の例による。

３　教養部は，新規程の規定にかかわらず，平成７年３月31日に一般教育課程，医学課程又は歯学課程に在学する者（以下「教養部在学者」という。）及び平成７年４月１日以降に教養部在学者の属する年次に入学する者が，当該課程に在学しなくなる日までの間，存続するものとする。

４　文学部の哲学科，史学科，文学科及び行動科学科，理学部化学第二学科，工学部の精密工学科及び

電気工学科並びに水産学部の水産増殖学科，水産食品学科，水産化学科及び漁業学科は，新規程第２条の規定にかかわらず，本学在学者及び平成７年度以降編入学生が当該学科に在学しなくなる日までの間，存続するものとする。

５　平成４年４月１日以降に改組を行った学科の改組前の学科については，本学在学者及び平成７年度以降編入学生が当該学科に在学しなくなる日までの間，存続するものとする。

６　平成22年度から平成36年度までの医学部医学科及び医学部の入学定員及び収容定員並びに全学部の入学定員及び収容定員の総計は，別表の規定にかかわらず，次の各号の表のとおりとする。

(1)　医学部医学科

年度	入学定員	収容定員
平成22年度	107	612
平成23年度	107	624
平成24年度	107	636
平成25年度	107	648
平成26年度	107	660
平成27年度から平成31年度まで	107	667
平成32年度	100	660
平成33年度	100	653
平成34年度	100	646
平成35年度	100	639
平成36年度	100	632

(2)　医学部

年度	入学定員	収容定員
平成22年度	287	1,372
平成23年度	287	1,384
平成24年度	287	1,396
平成25年度	287	1,408
平成26年度	287	1,420
平成27年度から平成28年度まで	287	1,427
平成29年度	287	1,407
平成30年度から平成31年度まで	287	1,387
平成32年度	280	1,380
平成33年度	280	1,373

平成34年度	280	1,366
平成35年度	280	1,359
平成36年度	280	1,352

(3)　全学部の総計

年度	入学定員	収容定員
平成22年度	2,492	10,532
平成23年度	2,485	10,567
平成24年度	(2,525) 2,485	(10,612) 10,572
平成25年度	(2,525) 2,485	(10,657) 10,577
平成26年度	(2,525) 2,485	(10,702) 10,582
平成27年度	(2,525) 2,485	(10,732) 10,572
平成28年度	(2,525) 2,485	(10,755) 10,555
平成29年度	(2,525) 2,485	(10,775) 10,535
平成30年度から平成31年度まで	(2,525) 2,485	(10,755) 10,515
平成32年度	(2,518) 2,478	(10,748) 10,508
平成33年度	(2,518) 2,478	(10,741) 10,501
平成34年度	(2,518) 2,478	(10,734) 10,494
平成35年度	(2,518) 2,478	(10,727) 10,487
平成36年度	(2,518) 2,478	(10,720) 10,480

附　則（平成８年４月１日海大達第14号）

1　この規程は，平成８年４月１日から施行する。

2　工学部機械工学第二学科は，改正後の北海道大学通則第２条の規定にかかわらず，平成８年３月31日に本学に在学する者（以下「本学在学者」という。）及び平成８年４月１日以降に本学在学者の属する年次に入学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間，存続するものとする。

附　則（平成９年４月１日海大達第14号）

1　この規程は，平成９年４月１日から施行する。

2　工学部の建築工学科及び衛生工学科は，改正後の北海道大学通則第２条の規定にかかわらず，平成９年３月31日に本学に在学する者（以下「本学在学者」という。）及び平成９年４月１日以降に本学在学者の属する年次に入学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間，存続するものとする。

附　則（平成９年６月12日海大達第49号）

この規程は，平成９年６月12日から施行する。

附　則（平成10年４月１日海大達第28号）

この規程は，平成10年４月１日から施行する。

附　則（平成11年４月１日海大達第20号）

この規程は，平成11年４月１日から施行する。

附　則（平成11年９月29日海大達第48号）

この規程は，平成11年９月29日から施行する。

附　則（平成12年４月１日海大達第21号）

この規程は，平成12年４月１日から施行する。

附　則（平成12年12月20日海大達第136号）

この規程は，平成13年１月６日から施行する。

附　則（平成13年４月１日海大達第30号）

この規程は，平成13年４月１日から施行する。

附　則（平成13年７月25日海大達第80号）

この規程は，平成13年７月25日から施行する。

附　則（平成14年４月１日海大達第28号）

この規程は，平成14年４月１日から施行する。

附　則（平成15年３月19日海大達第８号）

この規程は，平成15年３月19日から施行し，平成15年３月７日から適用する。

附　則（平成15年９月17日海大達第55号）

この規程は，平成15年10月１日から施行する。ただし，別表の改正規定は，平成16年４月１日から施行する。

附　則（平成15年10月15日海大達第118号）

この規程は，平成15年10月15日から施行し，平成15年９月19日から適用する。

附　則（平成15年12月17日海大達第122号）

この規程は，平成15年12月17日から施行する。ただし，改正後の第41条第１号の規定は平成14年４月１日から，改正後の第３条第１項の規定は平成15年10月１日から適用する。

附　則（平成16年４月１日海大達第73号）

１　この規則は，平成16年４月１日から施行する。

２　平成11年３月31日に本学に在学する者（以下「本学在学者」という。）に係る授業料の額及び同年４月１日以降に本学在学者の属する年次に入学した者に係る授業料の額は，改正後の第35条第１項第３号の規定にかかわらず，なお従前の例による。

附　則（平成16年12月22日海大達第268号）

この規則は，平成16年12月22日から施行する。ただし，改正後の第44条第４項の規定は，平成16年４月１日から適用する。

附　則（平成17年４月１日海大達第44号）

１　この規則は，平成17年４月１日から施行する。

２　工学部の材料工学科，応用化学科，情報工学科，電子工学科，システム工学科，応用物理学科，原子工学科，機械工学科，土木工学科，建築都市学科，環境工学科及び資源開発工学科は，改正後の第２条及び別表の規定にかかわらず，平成17年３月31日に本学に在学する者（以下「本学在学者」という。）及び同年４月１日以降に本学在学者の属する年次に入学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間，存続するものとする。

附　則（平成17年10月４日海大達第225号）

この規則は，平成17年10月４日から施行し，平成17年４月１日から適用する。

附　則（平成18年１月23日海大達第１号）

１　この規則は，平成18年１月23日から施行する。ただし，第46条第３項の改正規定は，平成18年４月１日から施行する。

２　平成18年３月31日に本学に在学する外国人留学生（以下この項において「本学在学者」という。）に係る定員及び同年４月１日以降に本学在学者の属する年次に入学した外国人留学生に係る定員は，改正後の第46条第３項の規定にかかわらず，なお従前の例による。

附　則（平成18年４月１日海大達第23号）

１　この規則は，平成18年４月１日から施行する。

２　薬学部の総合薬学科並びに水産学部の水産海洋科学科，海洋生産システム学科，海洋生物生産科学科及び海洋生物資源化学科は，改正後の第２条及び別表の規定にかかわらず，平成18年３月31日に在学する者（以下「本学在学者」という。）及び同年４月１日以降に本学在学者の属する年次に入学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間，存続するものとする。

附　則（平成19年１月22日海大達第１号）

１　この規則は，平成19年１月22日から施行する。ただし，第17条の改正規定，第17条の３を第17条の４とし，第17条の２の次に１条を加える改正規定及び第18条第２項を削る改正規定は，平成19年４月１日から施行する。

２　この規則の施行日の前日から引き続き在学する者及びこの規則の施行日の前日までに入学手続を終了した者の除籍については，改正後の第30条第３号の規定にかかわらず，なお従前の例による。

附　則（平成19年４月１日海大達第37号）

１　この規則は，平成19年４月１日から施行する。

２　平成19年度における改正後の別表の規定の適用については，医学部の項中「５」とあるのは「10」とし，「25」とあるのは「30」とし，総計の項中「75」とあるのは「80」とし，同表備考第３号中「第２年次編入学定員」とあるのは「第２年次編入学定員５名及び第３年次編入学定員５名」とする。

附　則（平成19年11月１日海大達第260号）

この規則は，平成19年11月１日から施行する。ただし，改正後の第14条第１項第４号の規定は平成17年10月１日から，改正後の第１条の規定は平成18年12月22日から適用する。

附　則（平成19年12月26日海大達第267号）

この規則は，平成19年12月26日から施行する。ただし，第16条の次に１条を加える改正規定，第17条の見出しの改正規定，同条第５項第２号の次に１号を加える改正規定，第17条の４を第17条の５とする改正規定，第17条の３の改正規定及び同条を第17条の４とし，第17条の２の次に１条を加える改正規定は，平成20年４月１日から施行する。

附　則（平成20年12月22日海大達第157号）

この規則は，平成20年12月22日から施行し，改正後の第37条第１項及び第38条の２第１項の規定は，平成21年度に係る授業料から適用する。

附　則（平成21年４月１日海大達第31号）

この規則は，平成21年４月１日から施行する。

附　則（平成22年４月１日海大達第56号）

この規則は，平成22年４月１日から施行する。

附　則（平成22年12月20日海大達第316号）

１　この規則は，平成23年４月１日から施行する。

２　平成23年３月31日に本学に在学する者（以下この項において「本学在学者」という。）及び同年４月１日以降に本学在学者の属する年次に入学する者については，改正後の北海道大学通則の規定にかかわらず，なお従前の例による。

３　理学部の地球科学科は，改正後の第２条及び別表の規定にかかわらず，平成23年３月31日に在学する者（以下この項において「本学在学者」という。）及び同年４月１日以降に本学在学者の属する年

次に入学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間，存続するものとする。

附　則（平成23年３月23日海大達第33号）

この規則は，平成23年３月23日から施行する。

附　則（平成23年４月１日海大達第55号）

この規則は，平成23年４月１日から施行する。

附　則（平成24年４月１日海大達第19号）

１　この規則は，平成24年４月１日から施行する。

２　平成24年３月31日に本学に在学する者（以下「本学在学者」という。）及び同年４月１日以降に本学在学者の属する年次に入学する者については，改正後の北海道大学通則の規定にかかわらず，なお従前の例による。

３　農学部の農業工学科及び獣医学部の獣医学科は，改正後の第２条及び別表の規定にかかわらず，本学在学者及び平成24年４月１日以降に本学在学者の属する年次に入学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間，存続するものとする。

附　則（平成25年10月15日海大達第107号）

この規則は，平成25年10月15日から施行する。

附　則（平成26年８月25日海大達第174号）

この規則は，平成26年８月25日から施行する。

附　則（平成27年４月１日海大達第44号）

１　この規則は，平成27年４月１日から施行する。

２　平成27年３月31日に本学に在学する者（以下この項において「在学者」という。）及び同年４月１日以降に在学者の属する年次に入学する者については，改正後の第33条第１項及び第33条の２第１項の規定（当該学部の定める卒業に必要な基準を満たした学部の学生に係る部分に限る。）にかかわらず，なお従前の例による。

附　則（平成27年９月25日海大達第228号）

この規則は，平成27年９月25日から施行する。

附　則（平成28年４月１日海大達第39号）

この規則は，平成28年４月１日から施行する。

附　則（平成28年７月１日海大達第115号）

この規則は，平成28年７月１日から施行する。

附　則（平成28年10月１日海大達第135号）

この規程は，平成28年10月１日から施行する。

附　則（平成28年10月１日海大達第196号）

この規則は，平成28年10月１日から施行する。

附　則（平成29年４月１日海大達第47号）

この規則は，平成29年４月１日から施行する。

附　則（平成29年10月１日海大達第201号）

この規則は，平成29年10月１日から施行する。

附　則（平成30年８月１日海大達第117号）

この規則は，平成30年８月１日から施行する。

附　則（平成30年10月１日海大達第138号）

１　この規則は，平成31年４月１日から施行する。

２　この規則の施行日の前日までに第30条第４号の規定に該当し除籍となった者に係る復籍については，改正後の北海道大学通則の規定にかかわらず，なお従前の例による。

附　則（平成31年４月１日海大達第41号）

この規則は，平成31年４月１日から施行する。

別表（第２条関係）

学部	学科又は課程	入学定員	編入学定員	収容定員
文学部	人文科学科	185		740
教育学部	教育学科	50	10	220
法学部	法学課程	200	20	850
経済学部	経済学科	100		400
	経営学科	90		360
	計	190		760
理学部	数学科	50		200
	物理学科	35		140
	化学科	75		300
	生物科学科	80		320
	地球惑星科学科	60		240
	計	300		1,200
医学部	医学科	100	5	625
	保健学科			
	看護学専攻	70		280
	放射線技術科学専攻	37		148
	検査技術科学専攻	37		148
	理学療法学専攻	18		72

	作業療法学専攻	18		72
	計	280	5	1,345
歯学部	歯学科	53		318
薬学部	薬科学科	50		200
	薬学科	30		180
	計	80		380
工学部				
	応用理工系学科	160	10	640
	情報エレクトロニクス学科	180		720
	機械知能工学科	120		480
	環境社会工学科	210		840
	計	670	10	2,700
農学部	生物資源科学科	36		144
	応用生命科学科	30		120
	生物機能化学科	35		140
	森林科学科	36		144
	畜産科学科	23		92
	生物環境工学科	30		120
	農業経済学科	25		100
	計	215		860
獣医学部	共同獣医学課程	(80)		(480)
		40		240
水産学部	海洋生物科学科	54		216
	海洋資源科学科	53		212
	増殖生命科学科	54		216
	資源機能化学科	54		216
	計	215		860
総計		(2,518)		(10,713)
		2,478	45	10,473

備考

1　学部及び学科又は課程の入学定員は，学生が第２年次に進級した場合の入学定員である。

2　教育学部の編入学定員は，第３年次編入学定員である。

3　法学部の編入学定員は，第２年次編入学定員10名及び第３年次編入学定員10名である。

4　医学部の医学科の編入学定員は，第２年次編入学定員である。

5　工学部の編入学定員は，高等専門学校卒業者の第３年次編入学定員である。

6　獣医学部及び総計の（　）書きの数字は，本学及び帯広畜産大学の合計数である。

出典：国立大学法人北海道大学規則集

○国立大学法人北海道大学における教授会への意見聴取事項等に係る規程

平成27年４月１日

海大達第42号

（目的）

第１条　この規程は，学校教育法（昭和22年法律第26号。次条及び第３条において「学教法」という。）第93条の規定に基づき，総長が決定を行うに当たり教授会（これに相当する機関及び教授会に属する職員のうち一部の者をもって構成される代議員会，専門委員会等を含む。以下同じ。）の意見を聴取する事項等を定めることを目的とする。

（教授会への意見聴取事項）

第２条　学教法第93条第２項の規定に基づき，総長は，次に掲げる教育研究に関する重要な事項について決定を行うに当たり，教授会の意見を聴取するものとする。

(1)　教育研究組織の長（病院長を除く。）候補者の選考に関すること。

(2)　学生の入学に関すること。

(3)　学生の除籍及び復籍に関すること。

(4)　学生の懲戒に関すること。

(5)　学生の卒業及び修了並びに学位の授与に関すること。

(6)　教員候補者の教育研究業績の審査に関すること。

(7)　教員の教育研究組織を異にする配置換に関すること（教育研究評議会の審議事項となるものを除く。第９号において同じ。）。

(8)　教員の申出に基づく出向又は職種を異にする配置換に関すること。

(9)　教員の降任に関すること。

(10)　客員教員候補者の教育研究業績の審査に関すること。

(11)　教育課程の編成に関すること（総長が別に定める先導的又は全学的な教育プログラムを除く。）。

（その他の教育研究に関する事項）

第３条　学教法第93条第３項の規定に基づき，教授会は，前条各号に掲げる事項のほか，総長及び当該教授会が置かれる組織の長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し，及び意見を述べることができるものとする。

（雑則）

第４条　この規程に定めるもののほか，総長が決定を行うに当たっての教授会への意見聴取について必要な事項は，総長が別に定める。

附　則

この規程は，平成27年４月１日から施行する。

附　則（平成30年10月１日海大達第137号）

この規程は，平成30年10月１日から施行する。

出典：国立大学法人北海道大学規則集

○北海道大学学位規程

昭和33年９月10日

海大達第12号

（趣旨）

第１条　学位規則（昭和28年文部省令第９号）第13条の規定に基づき，北海道大学（以下「本学」という。）が授与する学位については，北海道大学通則（平成７年海大達第２号）及び北海道大学大学院通則（昭和29年海大達第３号。以下「大学院通則」という。）に定めるもののほか，この規程の定めるところによる。

（専攻分野の名称）

第２条　本学において授与する学士，修士及び博士の学位には，別表第１に定める専攻分野の名称を付記するものとする。

（専門職学位課程を修了した者に授与する学位）

第２条の２　大学院通則第３条に規定する専門職学位課程を修了した者に授与する専門職学位は，別表第１に定めるとおりとする。

（大学院の課程による者の学位論文等の提出）

第３条　本学大学院の修士課程による者が学位論文又は特定の課題についての研究の成果の審査を受けようとするときは，当該学位論文又は特定の課題についての研究の成果を，研究科又は学院（以下「研究科等」という。）の長に提出しなければならない。

２　本学大学院の博士課程による者が学位論文の審査を受けようとするときは，当該学位論文，論文目録，論文内容の要旨及び履歴書を研究科等の長に提出しなければならない。

（論文提出による博士の学位授与の申請）

第４条　大学院通則第25条第２項の規定による博士の学位の授与を申請しようとする者は，第18条の規定による学位申請書に，学位論文，論文目録，履歴書及び論文審査手数料を添え，総長に提出しなければならない。

２　本学大学院の博士課程において所定の修業年限以上在学し，所定の単位を修得したのみで退学した者が，再入学しないで博士の学位の授与を申請するときも，前項の規定による。ただし，退学してから１年以内に学位論文を提出するときは，論文審査手数料を納付することを要しない。

３　論文審査手数料の額は，北海道大学における聴講生等の検定料等の額に関する規程（昭和53年海大達第15号）の定めるところによる。

４　既納の論文審査手数料は還付しない。

（学位論文及び資料）

第５条　第３条又は前条第１項若しくは第２項の規定により提出する学位論文は，一篇に限る。ただし，参考として他の論文を添付することができる。

２　審査のため必要があるときは，学位論文の訳文，模型又は標本等の資料を提出させることができる。

３　第３条第１項の規定により提出された学位論文及び特定の課題についての研究の成果並びに同条第２項又は前条第１項若しくは第２項の規定により提出された学位論文は，返還しない。

（学位の授与に係る審査等）

第６条　学位論文の提出があったときは，第３条第２項の場合にあっては研究科等の長が，第４条第１項又は第２項の場合にあっては，第２条に規定する専攻分野の名称に応じて総長が，当該研究科等の教授会（教授会に属する職員のうちの一部の者をもって構成される代議員会，専門委員会等を含む。以下同じ。）に，学位論文の審査，試験及び試問（第３条第２項の場合にあっては審査及び試験。以下同じ。）（以下「審査等」という。）を付託する。

２　試験は，学位論文を中心として，これに関連のある学術について行う。

３　試問は，第４条第１項又は第２項の規定により学位論文を提出した者に対し，口答試問及び筆答試問により行う。この場合，外国語を課すものとし，その種類は，研究科等の教授会の定めるところによる。

４　大学院通則第25条第２項ただし書の規定により，試問を免除することができるのは，第４条第２項の規定により学位の授与を申請する者が，退学してから研究科等の教授会が定める年限内に学位論文を提出したときとする。

５　大学院通則第25条第２項ただし書に規定する試問以外の方法とは，学位の授与を申請する者の経歴及び学位論文以外の業績の審査とし，当該審査は，研究科等の教授会が特に認めたときに行うことができる。

６　第３条第１項の規定により提出された学位論文及び特定の課題についての研究の成果の審査及び試験に関する事項は，各研究科等の長が別に定める。

７　大学院通則第22条第２項に規定する試験及び審査に関する事項は，各研究科等の長が別に定める。

（審査委員）

第７条　研究科等の教授会は，当該研究科等の研究指導を担当する教授（客員教授及び特任

教授を含む。）のうちから３名以上の審査委員を選定して，前条第１項の審査等を行う。

２　前項の研究科等の教授会は，審査等のため必要があると認めるときは，次に掲げる者を前項の審査委員の一部の者として充てることができる。

(1)　当該研究科等の研究指導を担当する准教授，講師又は助教（客員准教授並びに特任准教授，特任講師及び特任助教を含む。）

(2)　他の研究科等の研究指導を担当する教授，准教授，講師又は助教

(3)　他の大学若しくは外国の大学の大学院又は研究所等の教員等

３　前２項の規定により審査委員に選定された者のほか，第１項の研究科等の教授会は，審査等のため必要があると認めるときは，同項に規定する教授又は前項第１号に規定する准教授と同等の能力を有すると認める者を審査委員に加えることができる。

第８条　削除

（審査期間）

第９条　審査委員は，第３条第２項又は第４条第１項若しくは第２項の規定により学位論文が提出された日から１年以内に，審査等を終了しなければならない。ただし，特別の事由があるときは，当該研究科等の教授会の議を経て，その期間を１年以内に限り延長することができる。

（審査委員の報告）

第10条　審査委員は，審査等を終了したときは，ただちにその結果を当該研究科等の教授会に報告しなければならない。

（教授会の審議）

第11条　研究科等の教授会は，前条の報告に基づき，第３条第２項の規定により学位論文を提出した者にあっては，課程の修了の可否について，第４条第１項又は第２項の規定により学位論文を提出した者にあっては，学位の授与の可否について審議する。

２　前項の教授会は，構成員の３分の２以上の出席がなければ，議事を開くことができない。

３　海外出張中，休職期間中その他当該研究科等の教授会が特に認めた事由のため出席することができない構成員は，前項に規定する定足数算定の基礎数に算入しない。

４　第１項に規定する事項に係る議事は，出席構成員の３分の２以上で決するものとする。

５　卒業の可否については学部の教授会（現代日本学プログラム課程にあっては，現代日本学プログラム課程運営委員会。次条第２項及び第16条において同じ。）が，修士課程の修了の可否については研究科等の教授会が，専門職学位課程の修了の可否については当該課程を置く研究科又は教育部の教授会が審議する。

６　前項の教授会の定足数及び議決の方法は，各学部，各研究科等又は教育部の長（現代日本学プログラム課程にあっては，現代日本学プログラム課程長。次条第２項において同じ。）が別に定める。

（報告）

第12条　前条第１項の規定に基づき，学位の授与の可否について審議する研究科等の教授会が，同条第４項の議決をしたときは，当該研究科等の長は，学位論文とともに学位論文の内容の要旨，審査の要旨，試験の結果の要旨及び試問の成績を総長に報告しなければならない。

２　前条第１項又は第５項の規定に基づき，学部，研究科等又は教育部の教授会が卒業又は修士課程，博士課程若しくは専門職学位課程の修了の可否について議決したときは，当該学部，研究科等又は教育部の長は，可とした者を総長に報告しなければならない。

３　前項の博士課程の修了の認定をした者を報告するに際しては，当該者の学位論文，学位論文の内容の要旨，審査の要旨及び試験の結果の要旨を併せて報告しなければならない。

（学位の授与）

第13条　総長は，前条第１項の報告に基づき，大学院通則第25条第２項の規定による博士の学位を授与すべき者には，学位記を授与し，学位を授与できない者には，その旨を通知する。

２　総長は，前条第２項の報告に基づき，卒業を認定又は修士課程，博士課程若しくは専門職学位課程の修了を認定した者に対し，学位記を授与する。

（学位論文要旨等の公表）

第14条　本学は，博士の学位を授与したときは，学位を授与した日から３月以内に，その学位論文の内容の要旨及び審査の要旨をインターネットの利用により公表する。

（学位論文の公表）

第15条　博士の学位を授与された者は，学位を授与された日から１年以内にその学位論文の全文をインターネットの利用により公表しなければならない。

２　前項の規定にかかわらず，博士の学位を授与された者は，やむを得ない事由があるときは，当該研究科等の教授会の承認を受けて，当該学位論文の全文に代えてその内容を要約したものをインターネットの利用により公表することができる。この場合，本学は，その論文の全文を求めに応じて閲覧に供するものとする。

３　前項の規定により学位論文の内容を要約したものを公表した者は，当該やむを得ない事由がなくなったときは，学位論文の全文をインターネットの利用により公表しなければな

らない。

４　前３項の規定により学位論文の全文又はその内容を要約したものを公表する場合には，北海道大学審査学位論文である旨を明記しなければならない。

（学位授与の取消）

第16条　学位を授与された者が，不正の方法により学位の授与を受けた事実が判明したときは，総長は，学部，研究科等又は教育部の教授会の議を経て学位の授与を取り消し，学位記を返還させ，かつ，その旨を公表する。

２　学部，研究科等又は教育部の教授会において前項の議決をするには，第11条第２項から第４項までの規定を準用する。

（財産上の利益等の受領の禁止）

第16条の２　第７条に規定する審査委員は，審査等の対象となる者から供応接待又は金銭，物品その他の財産上の利益の供与を受けてはならない。その職を退いた後にあっては，通常一般の社交の程度を超えて供応接待又は財産上の利益の供与を受けてはならない。

（登録）

第17条　本学において博士の学位を授与したときは，総長は，文部科学大臣に報告し，学位簿に登録する。

（学位記及び書類の様式等）

第18条　学位記の様式並びに学位申請書関係書類の様式及びその提出部数は，別表第２のとおりとする。

附　則

１　この規程は，昭和33年３月20日から施行する。ただし，修士の学位に関する規定は，昭和30年１月１日から適用する。

２　北海道大学学位規程（大正10年３月22日北大達第６号）は，この規程の施行にかかわらず，昭和37年３月31日（医学博士については，昭和35年３月31日）まで効力を有する。

３　本学大学院の博士課程を経ない者に対する博士の学位の授与は，本学大学院の博士課程を修了した者に同種の学位を授与した後において取扱う。

附　則（昭和33年９月17日海大達第14号）

この規程は，昭和33年４月１日から施行する。

附　則（昭和42年４月26日海大達第10号）

この規程は，昭和42年４月26日から施行し，昭和42年４月１日から適用する。

附　則（昭和43年１月17日海大達第２号）

この規程は，昭和43年１月17日から施行する。

附　則（昭和45年４月15日海大達第17号）

この規程は，昭和45年４月15日から施行する。

附　則（昭和49年５月15日海大達第13号）

この規程は，昭和49年５月15日から施行し，昭和49年４月１日から適用する。

附　則（昭和50年３月19日海大達第６号）

この規程は，昭和50年４月１日から施行する。

附　則（昭和51年４月21日海大達第12号）

この規程は，昭和51年４月21日から施行し，昭和51年４月１日から適用する。

附　則（昭和52年５月18日海大達第11号）抄

（施行期日）

１　この規程は，昭和52年５月18日から施行し，昭和52年４月１日から適用する。

附　則（昭和53年３月22日海大達第12号）

この規程は，昭和53年３月22日から施行する。ただし，第１条中北海道大学大学院通則第25条第１項の改正規定及び第２条中北海道大学学位規程第２条第２項の改正規定は，昭和53年３月１日から適用する。

附　則（昭和57年11月24日海大達第32号）

この規程は，昭和57年11月24日から施行する。

附　則（平成２年２月21日海大達第２号）

この規程は，平成２年４月１日から施行する。

附　則（平成３年９月18日海大達第38号）

この規程は，平成３年９月18日から施行し，平成３年７月１日から適用する。

附　則（平成４年６月24日海大達第31号）

この規程は，平成４年７月１日から施行する。

附　則（平成５年４月１日海大達第12号）

１　この規程は，平成５年４月１日から施行する。

２　北海道大学大学院通則の一部を改正する規程（平成５年海大達第56号）附則第２項に規定する大学院環境科学研究科に在学し，所定の課程を修了した者の修士及び博士の学位に付記する専攻分野の名称は，改正後の北海道大学学位規程別表第１の規定にかかわらず，環境科学とする。

附　則（平成７年４月１日海大達第26号）

1　この規程は，平成７年４月１日から施行する。

2　北海道大学通則の全部を改正する規程（平成７年海大達第２号）附則第４項に規定する文学部行動科学科に在学し，所定の課程を修了した者の学士の学位に付記する専攻分野の名称は，改正後の北海道大学学位規程別表第１の規定にかかわらず，行動科学とする。

附　則（平成９年４月１日海大達第17号）

この規程は，平成９年４月１日から施行する。

附　則（平成10年４月１日海大達第30号）

この規程は，平成10年４月１日から施行する。

附　則（平成11年４月１日海大達第22号）

この規程は，平成11年４月１日から施行する。

附　則（平成12年４月１日海大達第23号）

1　この規程は，平成12年４月１日から施行する。

2　北海道大学大学院通則の一部を改正する規程（平成12年海大達第22号）附則第２項に規定する大学院文学研究科行動科学専攻に在学し，所定の課程を修了した者の修士及び博士の学位に付記する専攻分野の名称は，改正後の北海道大学学位規程別表第１の規定にかかわらず，行動科学とする。

附　則（平成12年12月20日海大達第136号）

この規程は，平成13年１月６日から施行する。

附　則（平成14年４月１日海大達第30号）

この規程は，平成14年４月１日から施行する。

附　則（平成15年９月17日海大達第56号）

この規程は，平成15年10月１日から施行する。

附　則（平成16年４月１日海大達第75号）

この規程は，平成16年４月１日から施行する。

附　則（平成16年12月22日海大達第270号）

この規程は，平成16年12月22日から施行する。

附　則（平成17年４月１日海大達第46号）

1　この規程は，平成17年４月１日から施行する。

2　北海道大学大学院通則の一部を改正する規則（平成17年海大達第45号）附則第２項に規定する水産科学研究科及び地球環境科学研究科に在学し，所定の課程を修了した者の修士及び博士の学位に付記する専攻分野の名称は，改正後の別表第１の規定にかかわらず，水

産科学研究科にあっては水産科学とし，地球環境科学研究科にあっては地球環境科学とする。

附　則（平成18年４月１日海大達第25号）

1　この規程は，平成18年４月１日から施行する。

2　北海道大学通則の一部を改正する規則（平成18年海大達第23号）附則第２項に規定する薬学部に在学し，所定の課程を修了した者の学士の学位に付記する専攻分野の名称は，改正後の別表第１の規定にかかわらず，薬学とする。

3　北海道大学大学院通則の一部を改正する規則（平成18年海大達第24号）附則第２項に規定する理学研究科，薬学研究科及び農学研究科に在学し，所定の課程を修了した者の修士及び博士の学位に付記する専攻分野の名称は，改正後の別表第１の規定にかかわらず，理学研究科にあっては理学とし，薬学研究科にあっては薬学とし，農学研究科にあっては農学とする。

附　則（平成19年１月22日海大達第３号）

この規程は，平成19年４月１日から施行する。

附　則（平成19年４月１日海大達第39号）

1　この規程は，平成19年４月１日から施行する。

2　北海道大学大学院通則の一部を改正する規則（平成19年海大達第38号）附則第２項に規定する教育学研究科及び国際広報メディア研究科に在学し，所定の課程を修了した者の修士及び博士の学位に付記する専攻分野の名称は，改正後の別表第１の規定にかかわらず，教育学研究科にあっては教育学とし，国際広報メディア研究科にあっては国際広報メディアとする。

附　則（平成20年４月１日海大達第29号）

この規程は，平成20年４月１日から施行する。

附　則（平成20年12月22日海大達第159号）

この規程は，平成20年12月22日から施行する。

附　則（平成21年５月28日海大達第134号）

この規程は，平成21年５月28日から施行する。

附　則（平成22年４月１日海大達第58号）

1　この規程は，平成22年４月１日から施行する。

2　北海道大学大学院通則の一部を改正する規則（平成22年海大達第56号）附則第２項に規定する工学研究科に在学し，所定の課程を修了した者の修士及び博士の学位に付記する専

攻分野の名称は，改正後の別表第１の規定にかかわらず，工学とする。

３　平成22年３月31日に生命科学院に在学する者（以下この項において「在学者」という。）及び同年４月１日以降に在学者の属する年次に入学する者が，所定の課程を修了した場合の修士及び博士の学位に付記する専攻分野の名称は，改正後の別表第１の規定にかかわらず，生命科学とする。

附　則（平成24年４月１日海大達第21号）

１　この規程は，平成24年４月１日から施行する。

２　平成24年３月31日に生命科学院に在学する者（以下この項において「在学者」という。）及び同年４月１日以降に在学者の属する年次に入学する者が，所定の課程を修了した場合の博士の学位に付記する専攻分野の名称は，改正後の別表第１の規定にかかわらず，生命科学又は薬科学とする。

附　則（平成25年４月１日海大達第26号）

この規程は，平成25年４月１日から施行する。

附　則（平成25年５月27日海大達第87号）

この規程は，平成25年５月27日から施行する。

附　則（平成27年４月１日海大達第46号）

この規程は，平成27年４月１日から施行する。

附　則（平成28年１月１日海大達第３号）

この規程は，平成28年１月１日から施行する。

附　則（平成28年４月１日海大達第41号）

この規程は，平成28年４月１日から施行する。

附　則（平成29年４月１日海大達第49号）

１　この規程は，平成29年４月１日から施行する。

２　北海道大学大学院通則の一部を改正する規則（平成29年海大達第48号）附則第２項に規定する経済学研究科，医学研究科，歯学研究科及び獣医学研究科に在学し，所定の課程を修了した者の修士及び博士の学位に付記する専攻分野の名称は，改正後の別表第１の規定にかかわらず，経済学研究科の修士及び博士の学位にあっては経済学又は経営学とし，医学研究科の修士の学位にあっては医科学とし，医学研究科の博士の学位にあっては医学とし，歯学研究科にあっては歯学とし，獣医学研究科にあっては獣医学とする。

３　北海道大学大学院通則の一部を改正する規則（平成29年海大達第48号）附則第２項に規定する経済学研究科の会計情報専攻に在学し，所定の課程を修了した者の専門職学位の名

称は，改正後の別表第１の規定にかかわらず，会計修士（専門職）とする。

４　北海道大学大学院通則の一部を改正する規則（平成29年海大達第48号）附則第２項に規定する獣医学研究科に在学する者（以下この項において「在学者」という。）及び同年４月１日以降に在学者の属する年次に入学する者が，北海道大学大学院通則の一部を改正する規則（平成29年海大達第48号）附則第６項に規定するOne Healthに貢献する獣医科学グローバルリーダー育成プログラムを修了した場合の学位記の様式は，改正後の別表第２の規定にかかわらず，なお従前の例による。

附　則（平成30年４月１日海大達第34号）

１　この規程は，平成30年４月１日から施行する。

２　平成30年３月31日に生命科学院に在学する者（以下この項において「在学者」という。）及び同年４月１日以降に在学者の属する年次に入学する者が，所定の課程を修了した場合の学位に付記する専攻分野の名称は，改正後の別表第１の規定にかかわらず，修士の学位にあっては，生命科学又は薬科学とし，博士の学位にあっては生命科学，薬科学又は臨床薬学とする。

附　則（平成31年４月１日海大達第43号）

１　この規程は，平成31年４月１日から施行する。

２　北海道大学大学院通則の一部を改正する規則（平成31年海大達第42号）附則第２項に規定する文学研究科及び情報科学研究科に在学し，所定の課程を修了した者の修士及び博士の学位に付記する専攻分野の名称は，改正後の別表第１の規定にかかわらず，文学研究科の修士及び博士の学位にあっては文学又は学術とし，情報科学研究科の修士の学位にあっては工学又は情報科学とする。

別表第１（第２条，第２条の２関係）

１　学士

学部等	専攻分野の名称
文学部	文学
教育学部	教育学
法学部	法学
経済学部	経済学 経営学
理学部	理学
医学部	医学

	看護学 保健学
歯学部	歯学
薬学部	薬科学 薬学
工学部	工学
農学部	農学
獣医学部	獣医学
水産学部	水産学
現代日本学プログラム課程	学術

備考　専攻分野の名称中「経済学」は経済学部経済学科の卒業者の学位に，「経営学」は経済学部経営学科の卒業者の学位に，「医学」は医学部医学科の卒業者の学位に，「看護学」及び「保健学」は医学部保健学科の卒業者の学位に，「薬科学」は薬学部薬科学科の卒業者の学位に，「薬学」は薬学部薬学科の卒業者の学位に付記する。

２　修士及び博士

研究科及び学院	専攻分野の名称	
	修士	博士
法学研究科	法学	法学
水産科学院	水産科学	水産科学
環境科学院	環境科学	環境科学
理学院	理学	理学
農学院	農学	農学
生命科学院	生命科学 薬科学 ソフトマター科学	生命科学 薬科学 臨床薬学 ソフトマター科学
教育学院	教育学	教育学
国際広報メディア・観光学院	国際広報メディア 学術 観光学	国際広報メディア 学術 観光学

保健科学院	保健科学 看護学	保健科学 看護学
工学院	工学	工学
総合化学院	総合化学	理学 工学 総合化学
経済学院	経済学 経営学	経済学 経営学
医学院	医科学 公衆衛生学	医学
歯学院	—	歯学
獣医学院	—	獣医学
医理工学院	医理工学	医理工学
国際感染症学院	—	感染症学 獣医学
国際食資源学院	食資源学	食資源学
文学院	文学 学術 人間科学	文学 学術 人間科学
情報科学院	工学 情報科学	工学 情報科学

備考　一の研究科等において専攻分野の名称を複数掲げている場合，当該名称を付記する対象者の範囲は，当該研究科等が別に定める。

3　専門職学位

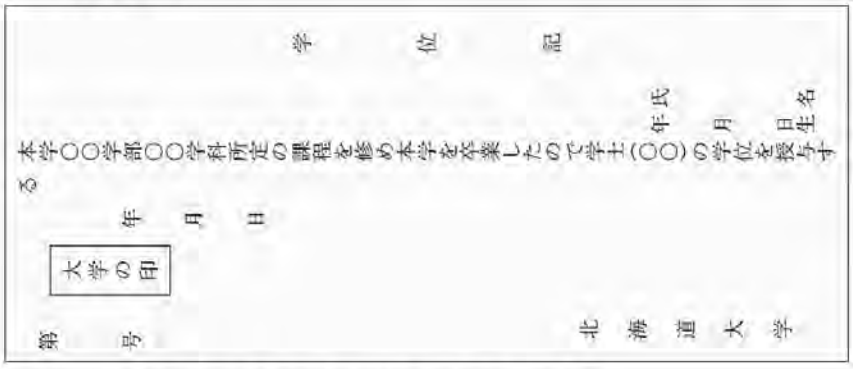
研究科，学院及び教育部	学位
法学研究科	法務博士（専門職）
経済学院	会計修士（専門職）
公共政策学教育部	公共政策学修士（専門職）

別表第２（第18条関係）

別表第2(第18条関係)

1　本学を卒業した場合の学位記の様式

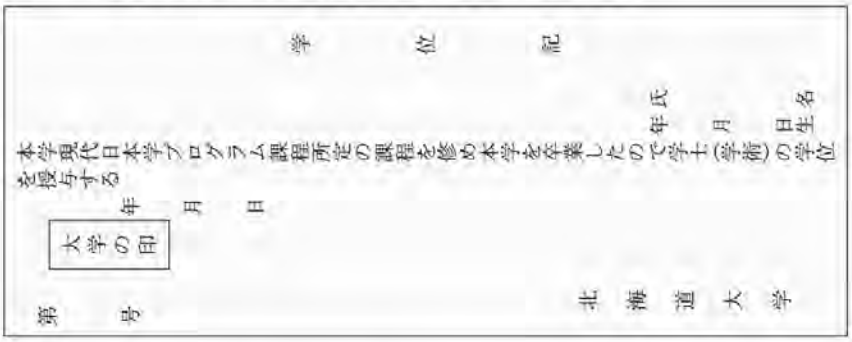
(1)　本学(共同獣医学課程及び現代日本学プログラム課程を除く。)を卒業した場合の学位記の様式



備考　「○○学科」は,法学部にあっては「法学課程」とする。

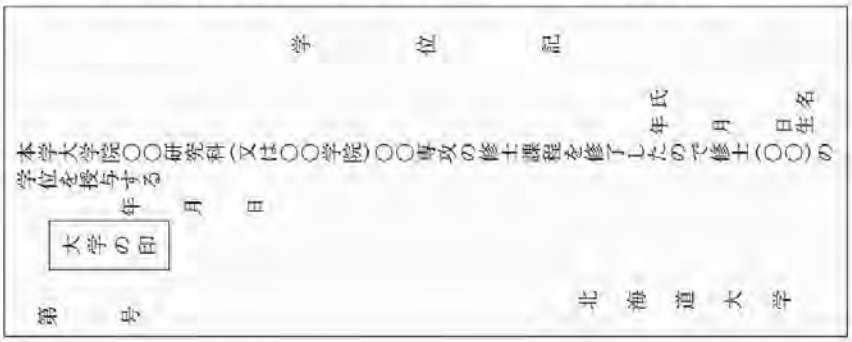
(2)　共同獣医学課程を卒業した場合の学位記の様式

(3)　現代日本学プログラム課程を卒業した場合の学位記の様式

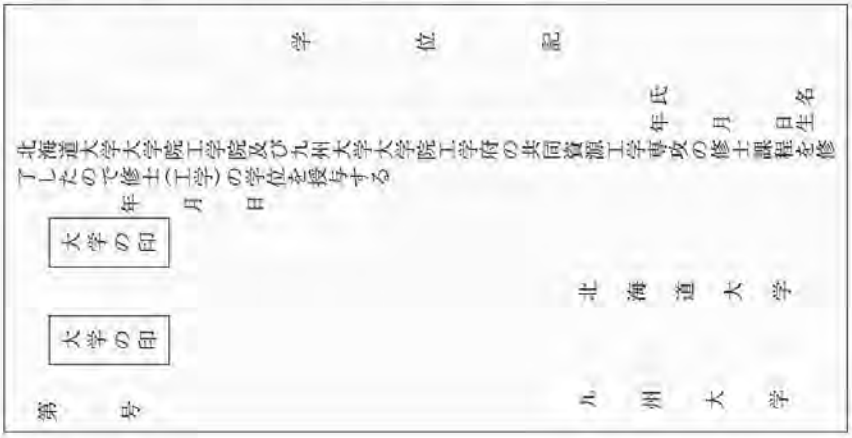


2　修士課程を修了した場合の学位記の様式

(1)　修士課程（共同資源工学専攻を除く。）を修了した場合の学位記の様式

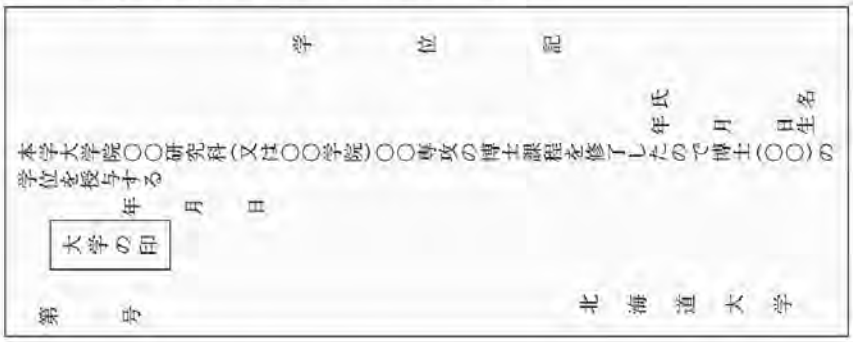


(2)　共同資源工学専攻を修了した場合の学位記の様式

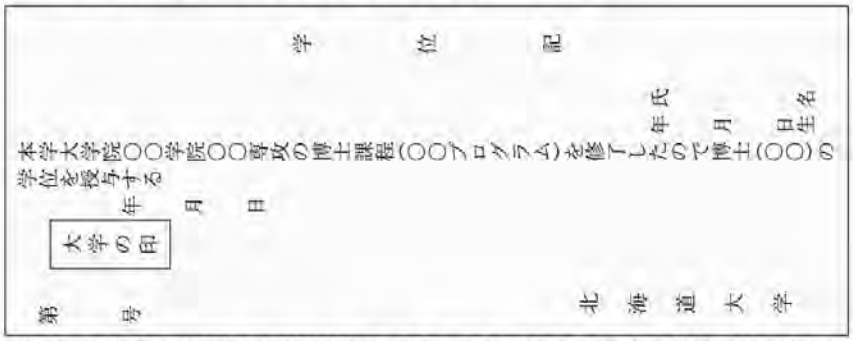


3　博士課程を修了した場合の学位記の様式

(1)　博士課程（文部科学省が所管する博士課程教育リーディングプログラム及び卓越大学院プログラムにより採択された学位プログラム（次号において「大学院学位プログラム」という。）並びに大学院通則第24条の5に規定する外国の大学の大学院と共同で研究指導を行う教育プログラム（第3号において「コチュテルプログラム」という。）を除く。）を修了した場合の学位記の様式

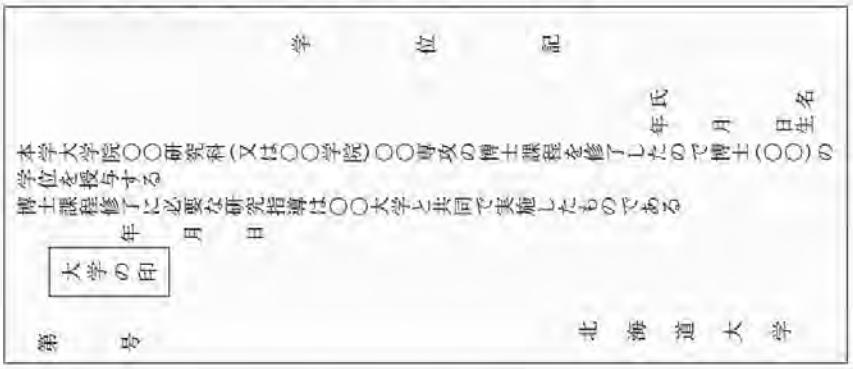


(2)　大学院学位プログラムを修了した場合の学位記の様式



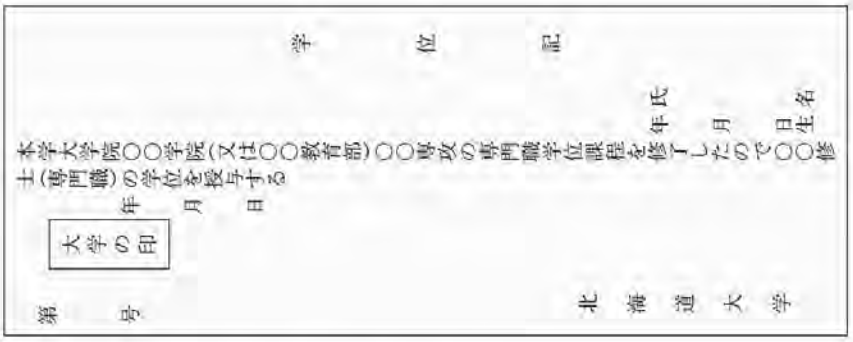
備考　学位記に付記する大学院学位プログラムの名称（○○プログラム）は，総長が別に定める。

(3)　コチュテルプログラムを修了した場合の学位記の様式

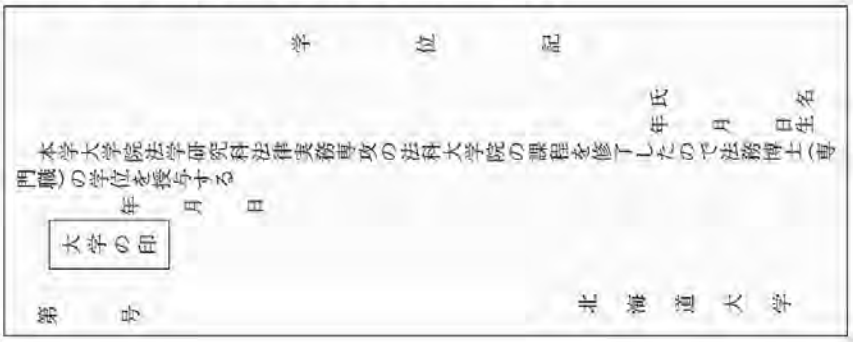


4　専門職学位課程を修了した場合の学位記の様式

(1)　専門職学位課程（法科大学院の課程を除く。）を修了した場合の学位記の様式



(2)　法科大学院の課程を修了した場合の学位記の様式



5　論文提出による場合の学位記の様式

学　　位　　記

第　　号

北　海　道　大　学

大学の印

年　　月　　日

本大学に学位論文を提出し所定の審査及び試験並びに試問に合格したので博士(○○)の学位を授与する

氏名
年月日生の

6　学位申請書関係書類の様式

(1)　学位申請書の様式

学　位　申　請　書

貴学学位規程第4条第○項の規定により学位論文，論文目録，履歴書及び論文審査手数料　　円を添え博士(○○)の学位の授与を申請します。

年　　月　　日

氏　　名(自署)

北海道大学総長　　殿

備考　(　)には，別表第1の博士に係る専攻分野の名称を記載すること。

(2)　学位申請書に添付する書類の様式

イ　論文目録の様式

論　　文　　目　　録

学位論文題目

参考論文題目

年　　月　　日

学位申請者　氏　　名(自署)

備考　1　論文題目が外国語の場合には，和訳を付すること。

2　参考論文が2種以上あるときは，列記すること。

ロ　履歴書の様式

履　　歴　　書

本　　籍
現　住　所
氏　　名
年　　月　　日生

学　歴
　　年　　月　　日
　　年　　月　　日
　　年　　月　　日
職　歴
　　年　　月　　日
　　年　　月　　日
　　年　　月　　日
研究歴
　　年　　月　　日
　　年　　月　　日
　　年　　月　　日
賞　罰
　上記のとおり相違ありません。
　　年　　月　　日
氏　　名(自署)

備考　学歴は,旧制中等学校又は新制高等学校卒業以後の履歴について年次を追って記載すること。

7　学位申請関係書類の提出部数

(1)　学位申請書正副2通

(2)　学位論文(参考論文を含む。)正副2通

(3)　論文目録2通

(4)　履歴書2通

備考　参考論文が2冊以上あるときは,現物に番号を付すること。

8　その他

学位申請書関係書類の様式については,縦書きも可とする。

出典：国立大学法人北海道大学規則集

○北海道大学理学部組織運営内規

平成18年４月１日
制定

第１章　総則

(趣旨)

第１条　この内規は，北海道大学理学部（以下「本学部」という。）の組織及び運営について定めるものとする。

第２章　北海道大学理学部の組織

(学部の組織)

第２条　本学部に，次の５学科を置く。

数学科

物理学科

化学科

生物科学科

地球惑星科学科

２　学科に，学科目を置く。

３　学科目の名称は，別表第１のとおりとする。

(学部長)

第３条　本学部に学部長を置き，本学部を兼務する教授をもって充てる。

２　学部長候補者の選考に関し必要な事項は，別に定める。

(評議員)

第４条　本学部に評議員を置き，本学部を兼務する教授をもって充てる。

２　評議員候補者の選考に関し必要な事項は，別に定める。

(学科長及び学科委員)

第５条　学科に学科長及び必要に応じ学科委員を置き，本学部を兼務する教授のうち，当該学科の担当教授をもって充てる。

２　学科長は，当該学科に関連する重要事項の整理及び連絡調整を行う。

３　学科委員は，学科長を補佐する。

４　学科長及び学科委員の選考は，当該学科の定めるところによる。

５　学科長及び学科委員の任期は，１年とし，再任を妨げない。ただし，補欠の任期は，前任者の残任期間とする。

（学部教授会）

第６条　本学部に教授会（以下「学部教授会」という。）を置く。

（審議事項）

第７条　学部教授会は,国立大学法人北海道大学における教授会への意見聴取事項等に係る規程（平成27年海大達第42号。次項において「意見聴取規程」という。）第２条第１号から第５号まで,第10号及び第11号に掲げる事項を審議し,総長に意見を述べるものとする。

２　学部教授会は，前項に定める事項のほか，次に掲げる事項を審議する。

(1)　組織運営に関すること

(2)　学術交流に関すること

(3)　学生の身分（退学，転学，留学，休学及び復学を除く。）に関すること

(4)　その他本学部に関する重要事項

（構成員）

第８条　学部教授会は，次の各号に掲げる者をもって組織する。

(1)　本学部を兼務する理学研究院専任の教授，准教授，講師及び助教

(2)　本学部を兼務する先端生命科学研究院，地球環境科学研究院及び創成科学共同研究機構所属の教授，准教授，講師及び助教

（会議の招集及び議長）

第９条　学部長は，学部教授会を招集し，その議長となる。

２　学部長に事故がある場合は，あらかじめ学部長の指名した者がその職務を代行する。

３　学部教授会は，学部長が必要と認めた場合に招集する。

４　５名以上の構成員から連名で議題提案があった場合は，学部長は，教授会を招集し議に付さなければならない。

５　構成員は，議題を提案する場合は，学部教授会の開催の少なくとも10日前までに議長に文書で提出しなければならない。

６　学部長は，学部教授会を招集する場合は，あらかじめ日時，場所及び審議事項を構成員に通知するものとする。ただし，緊急の場合は，この限りでない。

（定足数及び議決）

第10条　学部教授会は,構成員の過半数以上の出席がなければ,議事を開くことができない。ただし，出張，研修，休職，病気休暇及び授業中のため出席できない者は，定足数算定の基礎数に算入しない。

２　学部教授会の議事は，出席構成員の過半数でこれを決し，可否同数の場合は，議長の決

するところによる。

3　前２項の規定にかかわらず，定足数及び議決方法について別段の定めがある場合は，その定めるところによる。

（構成員以外の者の出席）

第11条　学部教授会が必要と認めた場合は，学部教授会に構成員以外の者の出席を求め，その者から説明又は意見を聴くことができる。

（学科長会議）

第12条　学部教授会の下に，学科長会議を置く。

（審議事項）

第13条　学科長会議は，国立大学法人北海道大学における教授会への意見聴取事項等に係る規程（平成27年海大達第42号。次項において「意見聴取規程」という。）第２条第１号から第５号まで，第10号及び第11号に掲げる事項を審議し，総長に意見を述べるものとする。

2　学科長会議は，前項に定める事項のほか，次に掲げる事項を審議する。

(1)　学部教授会の議題整理に関すること。

(2)　学科に共通する重要事項の連絡調整に関すること。

3　前２項に定めるもののほか，学部教授会の議に基づき，審議を付託された次に掲げる事項を審議する。

(1)　聴講生，科目等履修生及び研究生の受入れ等に関すること

(2)　非常勤講師（全学教育科目関係を含む。）の任用に関すること

(3)　その他学部教授会から付託された事項

4　前３項の規定に基づき，学科長会議が行った議決は，学部教授会の議決とする。

5　学科長会議は，会議の審議結果等について，学部教授会構成員に報告するものとする。

（構成員）

第14条　学科長会議は，次の各号に掲げる者をもって組織する。

(1)　学部長

(2)　理学部評議員

(3)　学科長及び学科委員

（会議の招集及び議長）

第15条　学部長は，学科長会議を招集し，その議長となる。

2　学部長に事故がある場合は，あらかじめ学部長の指名した者がその職務を代行する。

3　学科長会議は，原則として年４回開催するものとする。ただし，学部長が必要と認めた

場合は，臨時にこれを招集することがある。

４　学部長は，学科長会議を招集する場合は，あらかじめ日時，場所及び審議事項を構成員に通知するものとする。ただし，緊急の場合は，この限りでない。

第３章　各種委員会等

（常置委員会）

第16条　学部教授会の下に，学部教授会若しくは学部長が諮問又は付託する事項について審議するため，学部教育の運営に関し，必要な常置委員会を置く。

２　前項に定める常置委員会に関し必要な事項は，別に定める。

第４章　雑則

（雑則）

第17条　この内規に定めるもののほか，本学部の組織運営に関し必要な事項は，別に定める。

附　則

１　この内規は，平成18年４月１日から施行する。

２　北海道大学大学院理学研究科・理学部組織運営内規（平成12年６月２日制定）は廃止する。

附　則（平成19年３月１日）

この内規は，平成19年４月１日から施行する。

附　則（平成23年４月１日）

この内規は，平成23年４月１日から施行する。

附　則（平成27年３月24日）

この内規は，平成27年４月１日から施行する。

別表第１（第２条第３項）

学科名	学科目の名称
数学科	数学
物理学科	物理学
化学科	化学
生物科学科	生物学 高分子機能学
地球惑星科学科	地球惑星科学

出典：理学研究院・理学部規程集

理学部のアドミッション・ポリシー

理学部

●学部の理念

北海道大学理学部は，自然界を支配する基礎的な法則や理論・原理を学び，様々な自然現象の真理を解明することを理念としている。今われわれの生活を支えている様々な便利さや高度に発達した文化・文明，並びにこれらを支える世界観は，自然現象に対する純粋な知的好奇心に基づく基礎自然科学，つまり理学から生まれてきたものである。

したがって，北海道大学理学部は，基礎自然科学の発展を支える優れた研究者を育成するとともに，科学的な思考に基づき社会に貢献する人材を育成することが使命であると考え，基礎自然科学に関する以下の五つの主要分野の教育を行う。

・数学科： 代数・幾何・解析の基本を学び，それを基にそれぞれの領域の専門知識を学ぶ

・物理学科：素粒子から宇宙に至る諸々の物質のことわり（理）や自然現象の基礎的原理を学ぶとともに，新たな普遍法則を探り，また，科学全体の発展を考察する

・化学科：広範な現象や物質の構造・性質・変換過程を分子や分子集合体のレベルで理解するとともに，分子を自在に操り所望の物質を作り出す

・生物科学科：生物学と高分子機能学に分かれる。生物学では多種多様な生物を対象とし，分子や遺伝子の働き，生物と自然との関わりなど，生物の営みの基本にある原理や新しい真理を探る。高分子機能学では機能性高分子と呼ばれる新しい特性と機能をもったバイオ新素材や医薬などの開発およびこれらの生命分子の特性を解析する

・地球惑星科学科：地球や惑星における自然のメカニズムを解き明かすとともに，自然環境の問題や資源の確保，災害の軽減に関する基礎的な研究を行う。また，地球や惑星上に起こる様々な自然現象を物理的に解明し，環境科学の基礎研究としての役割ももつ。

●教育目標

それぞれの専門分野に進むための幅広い自然科学の知識を習得するとともに，獲得した知識を演習や実験・実習などを通して実践できる能力を育成する。

●求める学生像

・自然に関心をもち，自然現象のメカニズムを解明したいと考えている学生

・物事を論理的に説明したいと考えている学生

・時流に流されることのない真理を探究したいと考えている学生

・観察や実験が好きで，納得が行くまで観察や実験を続けたいと考えている学生

●後期日程の狙い

大学入試センター試験によって基礎的学力をみるとともに，数学および理科の受験科目・配点を学科ごとに定めることにより，各学科の専門教育を受ける上で必要とされる能力・資質を重点的に評価する。

出典：理学部教務委員会資料

認証評価共通基礎データ様式【大学用】様式２（2016~2019年度）

学部名	学科名	項目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	入学定員に対する平均比率	備考
総合教育部		志願者数	3,411	3,331	3,529	3,405		
		合格者数	1,235	1,250	1,264	1,220		
		入学者数	1,199	1,207	1,208	1,180	106%	総合入試に係る数値
		入学定員	1,127	1,127	1,127	1,127		
		入学定員充足率	106%	107%	107%	105%		
		在籍学生数	2,690	2,703	2,676	2,668		総合教育部（全学部の１年次）に係る数値
		収容定員	2,485	2,485	2,485	2,485		
		収容定員充足率	108%	109%	108%	107%		
理学部	数学科	志願者数	96	81	123	127		
		合格者数	16	16	18	15		学部別入試（学科別）に係る数値
		入学者数	14	13	13	13	102%	
		入学定員	13	13	13	13		
		入学定員充足率	108%	100%	100%	100%		
		在籍学生数	163	177	176	177		２～４年次に係る数値
		収容定員	150	150	150	150		
		収容定員充足率	109%	118%	117%	118%		
	物理学科	志願者数	102	103	116	138		
		合格者数	13	12	12	12		学部別入試（学科別）に係る数値
		入学者数	10	10	10	10	100%	
		入学定員	10	10	10	10		
		入学定員充足率	100%	100%	100%	100%		
		在籍学生数	127	121	128	125		２～４年次に係る数値
		収容定員	105	105	105	105		
		収容定員充足率	121%	115%	122%	119%		
	化学科	志願者数	143	136	243	181		
		合格者数	30	28	30	28		学部別入試（学科別）に係る数値
		入学者数	23	23	23	23	100%	
		入学定員	23	23	23	23		
		入学定員充足率	100%	100%	100%	100%		
		在籍学生数	231	233	234	236		２～４年次に係る数値
		収容定員	225	225	225	225		
		収容定員充足率	103%	104%	104%	105%		
	生物科学専修分野	志願者数	99	86	88	88		
		合格者数	14	12	12	12		学部別入試（学科・専修分野別）に係る数値
		入学者数	10	11	10	10	103%	
		入学定員	10	10	10	10		
		入学定員充足率	100%	110%	100%	100%		
		在籍学生数	129	128	131	131		２～４年次に係る数値
		収容定員	120	120	120	120		
		収容定員充足率	108%	107%	109%	109%		
	高生分子機能科学専修分野	志願者数	72	48	56	60		
		合格者数	7	6	7	7		学部別入試（学科・専修分野別）に係る数値
		入学者数	5	5	5	5	100%	
		入学定員	5	5	5	5		
		入学定員充足率	100%	100%	100%	100%		
		在籍学生数	129	129	125	126		２～４年次に係る数値
		収容定員	120	120	120	120		
		収容定員充足率	108%	108%	104%	105%		
	地球惑星科学科	志願者数	112	86	101	88		
		合格者数	13	11	11	11		学部別入試（学科別）に係る数値
		入学者数	10	10	10	10	100%	
		入学定員	10	10	10	10		
		入学定員充足率	100%	100%	100%	100%		
		在籍学生数	197	210	204	200		２～４年次に係る数値
		収容定員	180	180	180	180		
		収容定員充足率	109%	117%	113%	111%		
学部合計		志願者数	624	540	727	682		
		合格者数	93	85	90	85		総合入試，総合教育部の数値は含まない
		入学者数	72	72	71	71	101%	
		入学定員	71	71	71	71		
		入学定員充足率	101%	101%	100%	100%		
		在籍学生数	976	998	998	995		
		収容定員	900	900	900	900		
		収容定員充足率	108%	111%	111%	111%		

＜編入学＞

学部名	学科名	項目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	備　考
理学部	数学科	入学者数（２年次）					
		入学定員（２年次）					
		入学者数（３年次）		4	1	3	
		入学定員（３年次）		0	0	0	
		入学者数（４年次）					
		入学定員（４年次）					
	物理学科	入学者数（２年次）					
		入学定員（２年次）					
		入学者数（３年次）	4	2	5	2	
		入学定員（３年次）	0	0	0	0	
		入学者数（４年次）					
		入学定員（４年次）					
	地球惑星科学科	入学者数（２年次）					
		入学定員（２年次）					
		入学者数（３年次）	3	5	0	1	
		入学定員（３年次）	0	0	0	0	
		入学者数（４年次）					
		入学定員（４年次）					
学部合計		入学者数（２年次）	0	0	0	0	
		入学定員（２年次）	0	0	0	0	
		入学者数（３年次）	7	11	6	6	
		入学定員（３年次）	0	0	0	0	
		入学者数（４年次）	0	0	0	0	
		入学定員（４年次）	0	0	0	0	

［注］
1　学生を募集している学部・学科（課程）、研究科・専攻、専攻科・別科等ごとに行を追加して作成してください。
　なお、学部・学科等を追加する場合は、直下に追加しないと集計値がずれてしまうので、注意して下さい。
2　昼夜開講制をとっている学部については、昼間主コースと夜間主コースにそれぞれ分けて記入してください。
3　学部、学科の改組等により、新旧の学部、学科が併存している場合には、新旧両方を併記し、「備考」に記載してください。
4　学部・学科、研究科・専攻等が完成年度に達していない場合、その旨を備考に記載してください。
5　募集定員が若干名の場合は、「0」と記載し、入学者数については実入学者数を記載してください。
6　入学定員充足率は、入学定員に対する入学者の割合、収容定員充足率は、収容定員に対する在籍学生数の割合としてください。
7　入学定員に対する平均比率は、過去４年分の入学定員に対する入学者の比率を平均したものが自動計算されます。
8　編入学の定員を設定している場合、上の表（〈編入学〉の表ではない方）の入学定員には、編入学の定員を加えないでください。

出典：評価室資料

平成28年度

理学部2年次進級者アンケート

回答者数　260

1. どの入試枠で入学しましたか。
1.総合入試 2.AO入試 3.帰国子女入試 4.私費外国人留学生入試 5.その他

1	2	3	4	5	無回答
216	6	0	1	37	0
83%	2%	0%	0%	14%	0%

2. 進級した学科をお答え下さい。
1.数学科 2.物理学科 3.化学科 4.生物科学科 5.地球惑星科学科

1	2	3	4	5	無回答
43	29	62	78	48	0
17%	11%	24%	30%	18%	0%

3. 生物科学科に進学した方は専修分野を選択してください。
1.生物学 2.高分子機能学

1	2	3	4	5	無回答
40	38	0	0	0	182
15%	15%	0%	0%	0%	70%

4. 進学先はどの振り分けで決まりましたか(総合入試入学者のみお答え下さい)。
1.第1次振り分け 2.第2次振り分け 3.補充振り分け

1	2	3	4	5	無回答
159	40	9	0	0	52
61%	15%	3%	0%	0%	20%

5. 進学した学科は第何志望でしたか(総合入試入学者のみお答え下さい)。
1.第1希望 2.第2希望 3.第3希望 4.第4希望 5.第5希望以上

1	2	3	4	5	無回答
115	44	22	7	19	53
44%	17%	8%	3%	7%	20%

6. 第1志望の学部/学科はいつごろ決めましたか(総合入試入学者のみお答え下さい)。
1.大学入学前 2.1年次前半 3.夏休み 4.第1回志望調査後 5.第2回志望調査後

1	2	3	4	5	無回答
77	26	27	53	26	51
30%	10%	10%	20%	10%	20%

7. 希望の学部/学科はいつ頃から意識しはじめましたか。
1.小学校 2.中学校 3.高等学校 4.大学入学後 5.分属直前

1	2	3	4	5	無回答
7	15	141	59	34	4
3%	6%	54%	23%	13%	2%

8. 学部/学科の選択で参考にしたものを以下より選んでください[1](複数選択可)。
1.研究/教育分野 2.卒業後の進路/就職状況 3.総合教育部での成績順位
4.総合教育部での講義内容 5.予備校や大学情報誌等における評価

1	2	3	4	5	無回答
208	71	60	25	8	－
80%	27%	23%	10%	3%	－

9. 学部/学科の選択で参考にしたものを以下より選んでください[2](複数選択可)。
1.親/兄弟の意見 2.知人/友人の意見 3.高校/予備校の先生の意見
4.大学の先生の意見 5.一般的知名度

1	2	3	4	5	無回答
68	67	38	32	36	－
26%	26%	15%	12%	14%	－

10. 学部/学科の選択で参考にしたものを以下より選んでください[3](複数選択可)。
1.総合教育部主催(9月と2月)の説明会 2.理学部主催の説明会(7月の理学部DAYと6月～10月のサイエンスグローブ) 3.理学部のホームページ 4.理学部のパンフレット 5.その他

1	2	3	4	5	無回答
83	38	102	63	52	－
32%	15%	39%	24%	20%	－

11. 研究の紹介やカリキュラムの説明の他に学部/学科説明会で行った方が良いと思うことを以下より選んでください(複数選択可)。
1.教員との個別面談 2.学生主催の相談会 3.実習/実験 4.施設の見学 5.その他

1	2	3	4	5	無回答
41	60	52	110	18	－
16%	23%	20%	42%	7%	－

12. 最初の学部/学科説明会の開催時期はいつが適当だと思いますか(昨年は6月が最初)。
1.入学直後 2.大学祭の頃 3.夏休み前 4.夏休み後 5.その他

1	2	3	4	5	無回答
66	41	106	31	10	6
25%	16%	41%	12%	4%	2%

13. 学部/学科説明会は何回が適当だと思いますか(昨年度は総合教育部主催を含め3回)。
1.総合教育部機構主催(9月と2月)の2回で十分 2.理学部主催も含めて3回
3.理学部主催も含めて4回 4.理学部主催も含めて5回以上 5.その他

1	2	3	4	5	無回答
76	99	59	9	7	10
29%	38%	23%	3%	3%	4%

14. 理学部主催の説明会(理学部DAYとサイエンスグローブ)を知っていましたか。
1.両方とも知っていた 2.理学部DAYだけ知っていた
3.サイエンスグローブだけ知っていた 4.両方とも知らなかった

1	2	3	4	5	無回答
94	25	26	108	0	7
36%	10%	10%	42%	0%	3%

15. 理学部主催の説明会(理学部DAYとサイエンスグローブ)に参加しましたか。
1.参加した 2.参加しなかった(参加しなかった方のみ次の問にお答え下さい)

1	2	3	4	5	無回答
53	204	0	0	0	3
20%	78%	0%	0%	0%	1%

16. 理学部主催の説明会に参加しなかった理由はどれですか(複数選択可)。
1.日時の都合がつかなかった 2.参加の必要性を感じなかった
3.開催時期が遅すぎた 4.開催場所が不便だった 5.その他

1	2	3	4	5	無回答
68	81	3	2	56	－
26%	31%	1%	1%	22%	－

17. 大学入学前にオープンキャンパス等で北大理学部を訪れたことありますか。
1.ある 2.ない(ある方のみ次の問にお答え下さい)

1	2	3	4	5	無回答
68	191	0	0	0	1
26%	73%	0%	0%	0%	0%

18. その時の理学部の印象はどうでしたか。
1.面白かったので理学部を目指そうと思った 2.面白いとは思ったが進学までは考えなかった
3.面白くなかった 4.特に印象に残っていない 5.その他

1	2	3	4	5	無回答
39	18	1	13	13	176
15%	7%	0%	5%	5%	68%

【自由記述】

①後期学部別入試
⑯知らなかったから
学部別入試（後期日程）
①後期⑩なんとなく
①後期入試
物理学Ⅱを必ず移行点に算入しなければならないのが高校で物理未履修者にとって辛かった。
中学校の頃の夢から
後期入試
1.学部別入試（後期日程）
⑩教養科目の講議
①学部別入試
①転学部入試による
学部別入試

理学部２年次進級者アンケート

回答者数　240

1. どの入試枠で入学しましたか。
1.総合入試 2.AO入試 3.帰国子女入試 4.私費外国人留学生入試 5.その他

1	2	3	4	5	無回答
195	8	1	0	35	1
81%	3%	0%	0%	15%	0%

2. 進級した学科をお答え下さい。
1.数学科 2.物理学科 3.化学科 4.生物科学科 5.地球惑星科学科

1	2	3	4	5	無回答
35	28	57	73	47	0
15%	12%	24%	30%	20%	0%

3. 生物科学科に進学した方は専修分野を選択してください。
1.生物学 2.高分子機能学

1	2	3	4	5	無回答
38	35	0	0	0	167
16%	15%	0%	0%	0%	70%

4. 進学先はどの振り分けで決まりましたか（総合入試入学者のみお答え下さい）。
1.第1次振り分け 2.第2次振り分け 3.補充振り分け

1	2	3	4	5	無回答
149	32	5	0	1	53
62%	13%	2%	0%	0%	22%

5. 進学した学科は第何志望でしたか（総合入試入学者のみお答え下さい）。
1.第１志望 2.第2志望 3.第3志望 4.第4志望 5.第5志望以上

1	2	3	4	5	無回答
110	35	20	8	14	53
46%	15%	8%	3%	6%	22%

6. 第1志望の学部/学科はいつごろ決めましたか（総合入試入学者のみお答え下さい）。
1.大学入学前 2.1年次前半 3.夏休み 4.第1回志望調査後 5.第2回志望調査後

1	2	3	4	5	無回答
63	23	37	39	23	55
26%	10%	15%	16%	10%	23%

7. 希望の学部/学科はいつ頃から意識しはじめましたか。
1.小学校 2.中学校 3.高等学校 4.大学入学後 5.分属直前

1	2	3	4	5	無回答
7	15	149	47	21	1
3%	6%	62%	20%	9%	0%

8. 学部/学科の選択で参考にしたものを以下より選んでください[1]（複数選択可）。
1.研究/教育分野 2.卒業後の進路/就職状況 3.総合教育部での成績順位
4.総合教育部での講義内容 5.予備校や大学情報誌等における評価

1	2	3	4	5	無回答
190	68	54	25	10	－
55%	20%	16%	7%	3%	－

9. 学部/学科の選択で参考にしたものを以下より選んでください[2]（複数選択可）。
1.親/兄弟の意見 2.知人/友人の意見 3.高校/予備校の先生の意見
4.大学の先生の意見 5.一般的知名度

1	2	3	4	5	無回答
66	61	62	29	41	－
25%	24%	24%	11%	16%	－

10. 学部/学科の選択で参考にしたものを以下より選んでください[3]（複数選択可）。
1.総合教育部主催(9月と2月)の説明会 2.理学部主催の説明会(5月の理学部DAYと6月～7月のサイエンスグローブ) 3.理学部のホームページ 4.理学部のパンフレット 5.その他

1	2	3	4	5	無回答
79	36	110	67	53	－
23%	10%	32%	19%	15%	－

11. 研究の紹介やカリキュラムの説明の他に学部/学科説明会で行った方が良いと思うことを以下より選んでください（複数選択可）。
1.教員との個別面談 2.学生主催の相談会 3.実習/実験 4.施設の見学 5.その他

1	2	3	4	5	無回答
41	85	56	85	18	－
14%	30%	20%	30%	6%	－

12. 最初の学部/学科説明会の開催時期はいつが適当だと思いますか(昨年は6月が最初)。
1.入学直後 2.大学祭の頃 3.夏休み前 4.夏休み後 5.その他

1	2	3	4	5	無回答
53	49	84	40	7	6
22%	21%	35%	17%	3%	3%

13. 学部/学科説明会は何回が適当だと思いますか（昨年度は総合教育部主催を含め3回）。
1.総合教育部機構主催(9月と2月)の2回で十分 2.理学部主催も含めて3回
3.理学部主催も含めて4回 4.理学部主催も含めて5回以上 5.その他

1	2	3	4	5	無回答
74	94	54	6	7	5
31%	39%	23%	3%	3%	2%

14. 理学部主催の説明会（理学部DAYとサイエンスグローブ）を知っていましたか。
1.両方とも知っていた 2.理学部DAYだけ知っていた
3.サイエンスグローブだけ知っていた 4.両方とも知らなかった

1	2	3	4	5	無回答
73	48	15	100	3	0
31%	20%	6%	42%	1%	0%

15. 理学部主催の説明会（理学部DAYとサイエンスグローブ）に参加しましたか。
1.参加した 2.参加しなかった（参加しなかった方のみ次の問にお答え下さい）

1	2	3	4	5	無回答
46	193	0	0	0	1
19%	81%	0%	0%	0%	0%

16. 理学部主催の説明会に参加しなかった理由はどれですか（複数選択可）。
1.日時の都合がつかなかった 2.参加の必要性を感じなかった
3.開催時期が遅すぎた 4.開催場所が不便だった 5.その他

1	2	3	4	5	無回答
56	84	0	1	51	－
29%	44%	0%	1%	27%	－

17. 大学入学前にオープンキャンパス等で北大理学部を訪れたことありますか。
1.ある 2.ない（ある方のみ次の問にお答え下さい）

1	2	3	4	5	無回答
53	186	0	0	0	1
22%	78%	0%	0%	0%	0%

18. その時の理学部の印象はどうでしたか。
1.面白かったので理学部を目指そうと思った 2.面白いとは思ったが進学までは考えなかった
3.面白くなかった 4.特に印象に残っていない 5.その他

1	2	3	4	5	無回答
33	8	3	7	2	175
14%	4%	1%	3%	1%	77%

【自由記述】

設問1：学部入試
設問1：学部別入試による入学
設問1：後期入試
設問1：学部別
設問16,18：存在をしらなかった
設問11：何かあった方が良いとは思いましたが、よくわからなかったのでその他を選びました。 設問12,13：何も知らなかったので無回答にしました。
設問16：存在を知らなかったから
設問1：後期日程学部別入試
設問1：学部別入試入学です
設問1：後期入試
設問10：他学部・学科の説明会
設問1：学部別入試（後期） 人材育成本部のキャリア教育を取り入れたのは正しい判断だったと思う。大いに参考になった。
設問1：学部別入試（後期入試）
設問1：後期入試

理学部２年次進級者アンケート

回答者数　213

1. どの入試枠で入学しましたか。
1.総合入試 2.AO入試 3.帰国子女入試 4.私費外国人留学生入試 5.その他

1	2	3	4	5	無回答
177	6	0	1	28	1
83%	3%	0%	0%	13%	0%

2. 進級した学科をお答え下さい。
1.数学科 2.物理学科 3.化学科 4.生物科学科 5.地球惑星科学科

1	2	3	4	5	無回答
29	23	48	67	46	0
14%	11%	23%	31%	22%	0%

3. 生物科学科に進学した方は専修分野を選択してください。
1.生物学 2.高分子機能学

1	2	3	4	5	無回答
33	34	0	0	0	0
49%	51%	0%	0%	0%	0%

4. 進学先はどの振り分けで決まりましたか（総合入試入学者のみお答え下さい）。
1.第1次振り分け 2.第2次振り分け 3.補充振り分け

1	2	3	4	5	無回答
139	27	4	0	0	7
82%	16%	2%	0%	0%	4%

5. 進学した学科は第何志望でしたか（総合入試入学者のみお答え下さい）。
1.第１志望 2.第2志望 3.第3志望 4.第4志望 5.第5志望以上

1	2	3	4	5	無回答
114	31	14	5	6	7
67%	18%	8%	3%	4%	4%

6. 第１志望の学部・学科はいつごろ決めましたか（総合入試入学者のみお答え下さい）。
1.大学入学前 2.1年次前半 3.夏休み 4.第1回志望調査後 5.第2回志望調査後

1	2	3	4	5	無回答
53	26	24	41	27	6
31%	15%	14%	24%	16%	4%

7. 希望の学部・学科はいつ頃から意識しはじめましたか。
1.小学校 2.中学校 3.高等学校 4.大学入学後 5.分属直前

1	2	3	4	5	無回答
9	17	111	44	27	5
4%	8%	53%	21%	13%	2%

8. 学部・学科の選択で参考にしたものを以下より選んでください[1]（複数選択可）。
1.研究/教育分野 2.卒業後の進路/就職状況 3.総合教育部での成績順位
4.総合教育部での講義内容 5.予備校や大学情報誌等における評価

1	2	3	4	5	無回答
162	62	41	34	6	－
53%	20%	13%	11%	2%	－

9. 学部・学科の選択で参考にしたものを以下より選んでください[2]（複数選択可）。
1.親/兄弟の意見 2.知人/友人の意見 3.高校/予備校の先生の意見
4.大学の先生の意見 5.一般的知名度

1	2	3	4	5	無回答
56	74	41	23	35	－
24%	32%	18%	10%	15%	－

10. 学部・学科の選択で参考にしたものを以下より選んでください[3]（複数選択可）。
1.総合教育部主催(9月と2月)の説明会 2.理学部主催の説明会(5月の理学部DAYと6月～7月のサイエンスグローブ) 3.理学部のホームページ 4.理学部のパンフレット 5.その他

1	2	3	4	5	無回答
86	28	81	47	43	－
30%	10%	28%	16%	15%	－

11. 研究の紹介やカリキュラムの説明の他に学部/学科説明会で行った方が良いと思うことを以下より選んでください（複数選択可）。
1.教員との個別面談 2.学生主催の相談会 3.実習/実験 4.施設の見学 5.その他

1	2	3	4	5	無回答
38	66	35	91	22	－
15%	26%	14%	36%	9%	－

12. 最初の学部・学科説明会の開催時期はいつが適当だと思いますか(昨年は6月が最初)。
1.入学直後 2.大学祭の頃 3.夏休み前 4.夏休み後 5.その他

1	2	3	4	5	無回答
55	33	74	40	3	8
27%	16%	36%	20%	1%	4%

13. 学部・学科説明会は何回が適当だと思いますか（昨年度は総合教育部主催を含め3回）。
1.総合教育部機構主催(9月と2月)の2回で十分 2.理学部主催も含めて3回
3.理学部主催も含めて4回 4.理学部主催も含めて5回以上 5.その他

1	2	3	4	5	無回答
61	95	37	9	6	4
29%	46%	18%	4%	3%	2%

14. 理学部主催の説明会（理学部DAYとサイエンスグローブ）を知っていましたか。
1.両方とも知っていた 2.理学部DAYだけ知っていた
3.サイエンスグローブだけ知っていた 4.両方とも知らなかった

1	2	3	4	5	無回答
79	66	5	52	5	3
38%	32%	2%	25%	2%	1%

15. 理学部主催の説明会（理学部DAYとサイエンスグローブ）に参加しましたか。
1.参加した 2.参加しなかった（参加しなかった方のみ次の問にお答え下さい）

1	2	3	4	5	無回答
58	151	0	0	0	3
28%	72%	0%	0%	0%	1%

16. 理学部主催の説明会に参加しなかった理由はどれですか（複数選択可）。
1.日時の都合がつかなかった 2.参加の必要性を感じなかった
3.開催時期が遅すぎた 4.開催場所が不便だった 5.その他

1	2	3	4	5	無回答
69	41	0	1	43	－
45%	27%	0%	1%	28%	－

17. 大学入学前にオープンキャンパス等で北大理学部を訪れたことありますか。
1.ある 2.ない（ある方のみ次の問にお答え下さい）

1	2	3	4	5	無回答
45	166	1	0	0	1
21%	78%	0%	0%	0%	0%

18. その時の理学部の印象はどうでしたか。
1.面白かったので理学部を目指そうと思った 2.面白いとは思ったが進学までは考えなかった
3.面白くなかった 4.特に印象に残っていない 5.その他

1	2	3	4	5	無回答
22	13	0	8	2	0
49%	29%	0%	18%	4%	0%

【自由記述】

設問16：説明会があることを知らなかった 設問18：オープンキャンパスで理学部に来なかった。
設問1：後期
設問1：後期学部別
後期授業が終了した後の学部説明会ですが、1年間の成績が出てから開催した方が良いと思います。移行点が決定していない段階で今後3年間通うことになる学部を選ぶことになるので、前年度の最低移行点と比較しながら考えるということができず、希望している学部の移行点に届いていなかった場合、他の学部を考えざるを得なくなります。
設問1:学部別入試です。
設問1:学部別入試

理学部２年次進級者アンケート

回答者数　89

1. どの入試枠で入学しましたか。
1.総合入試 2.AO入試 3.帰国子女入試 4.私費外国人留学生入試 5.その他

1	2	3	4	5	無回答
71	2	0	0	16	0
80%	2%	0%	0%	18%	－

2. 進級した学科をお答え下さい。
1.数学科 2.物理学科 3.化学科 4.生物科学科 5.地球惑星科学科

1	2	3	4	5	無回答
12	11	12	28	26	0
13%	12%	13%	31%	29%	－

3. 生物科学科に進学した方は専修分野を選択してください。
1.生物学 2.高分子機能学

1	2	3	4	5	無回答
18	10	0	0	0	0
64%	36%	0%	0%	0%	－

4. 進学先はどの振り分けで決まりましたか（総合入試入学者のみお答え下さい）。
1.第1次振り分け 2.第2次振り分け 3.補充振り分け

1	2	3	4	5	無回答
52	4	2	0	0	13
90%	7%	3%	0%	0%	－

5. 進学した学科は第何志望でしたか（総合入試入学者のみお答え下さい）。
1.第１志望 2.第２志望 3.第３志望 4.第４志望 5.第５志望以上

1	2	3	4	5	無回答
43	11	6	0	3	8
68%	17%	10%	0%	5%	－

6. 第１志望の学部・学科はいつごろ決めましたか（総合入試入学者のみお答え下さい）。
1.大学入学前 2.1年次前半 3.夏休み 4.第1回志望調査後 5.第2回志望調査後

1	2	3	4	5	無回答
20	6	13	12	11	9
32%	10%	21%	19%	18%	－

7. 希望の学部・学科はいつ頃から意識しはじめましたか。
1.小学校 2.中学校 3.高等学校 4.大学入学後 5.分属直前

1	2	3	4	5	無回答
7	11	38	23	10	0
8%	12%	43%	26%	11%	－

8. 学部・学科の選択で参考にしたものを以下より選んでください[1]（複数選択可）。
1.研究/教育分野 2.卒業後の進路/就職状況 3.総合教育部での成績順位
4.総合教育部での講義内容 5.予備校や大学情報誌等における評価

1	2	3	4	5	無回答
80	15	16	13	3	－
63%	12%	13%	10%	2%	－

9. 学部・学科の選択で参考にしたものを以下より選んでください[2]（複数選択可）。
1.親/兄弟の意見 2.知人/友人の意見 3.高校/予備校の先生の意見
4.大学の先生の意見 5.一般的知名度

1	2	3	4	5	無回答
31	28	20	9	12	－
31%	28%	20%	9%	12%	－

10. 学部・学科の選択で参考にしたものを以下より選んでください[3]（複数選択可）。
1.総合教育部主催(9月と2月)の説明会 2.理学部主催の説明会(5月の理学部DAYと6月～7月のサイエンスグローブ) 3.理学部ホームページ 4.理学部パンフレット 5.その他

1	2	3	4	5	無回答
35	13	30	21	16	－
30%	11%	26%	18%	14%	－

11. 研究の紹介やカリキュラムの説明の他に学部/学科説明会で行った方が良いと思うことを以下より選んでください（複数選択可）。
1.教員との個別面談 2.学生主催の相談会 3.実習/実験 4.施設の見学 5.その他

1	2	3	4	5	無回答
15	21	27	40	8	－
14%	19%	24%	36%	7%	－

12. 最初の学部・学科説明会の開催時期はいつが適当だと思いますか(昨年度は6月が最初)。
1.入学直後 2.大学祭の頃 3.夏休み前 4.夏休み後 5.その他

1	2	3	4	5	無回答
17	18	40	8	4	2
20%	21%	46%	9%	5%	－

13. 学部・学科説明会は何回が適当だと思いますか（昨年度は総合教育部主催を含め3回）。
1.総合教育部機構主催(9月と2月)の2回で十分 2.理学部主催も含めて3回
3.理学部主催も含めて4回 4.理学部主催も含めて5回以上 5.その他

1	2	3	4	5	無回答
33	29	21	2	3	1
38%	33%	24%	2%	3%	－

14. 理学部主催の説明会（理学部DAYとサイエンスグローブ）を知っていましたか。
1.両方とも知っていた 2.理学部DAYだけ知っていた
3.サイエンスグローブだけ知っていた 4.両方とも知らなかった

1	2	3	4	5	無回答
30	17	2	38	0	2
34%	20%	2%	44%	0%	－

15. 理学部主催の説明会（理学部DAYとサイエンスグローブ）に参加しましたか。
1.参加した 2.参加しなかった（参加しなかった方のみ次の問にお答え下さい）

1	2	3	4	5	無回答
26	63	0	0	0	0
29%	71%	0%	0%	0%	－

16. 理学部主催の説明会に参加しなかった理由はどれですか（複数選択可）。
1.日時の都合がつかなかった 2.参加の必要性を感じなかった
3.開催時期が遅すぎた 4.開催場所が不便だった 5.その他

1	2	3	4	5	無回答
18	15	0	1	20	－
33%	28%	0%	2%	37%	－

17. 大学入学前にオープンキャンパス等で北大理学部を訪れたことありますか。
1.ある 2.ない（ある方のみ次の問にお答え下さい）

1	2	3	4	5	無回答
30	59	0	0	0	0
34%	66%	0%	0%	0%	－

18. その時の理学部の印象はどうでしたか。
1.面白かったので理学部を目指そうと思った 2.面白いとは思ったが進学までは考えなかった
3.面白くなかった 4.特に印象に残っていない 5.その他

1	2	3	4	5	無回答
16	6	0	5	1	2
57%	21%	0%	18%	4%	－

【自由記述】

自分の移行点を知ってから説明会があるといいのでは。
設問1：後期学部別入試
設問1：後期学部入試で
設問1：私は後期入試より当該学部に入学いたしました。
設問11:大学院後の進路について 設問12、設問13:現行の内容では開催しなくて良い。
設問1:学部入試 設問18:知らなかった

出典：理学部２年次進級者アンケート

・ 出前授業の実績を示す資料

取組組織	実施件数			
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
数学科	2	1	2	2
物理学科	12	6	15	5
地球惑星科学科	4	5	3	2

出典：教員への照会データ

平成２８年度数学部門ＦＤ報告書

実施日時（場所）：７月２１日（木）13:00～14:00（理学部３号館３０９室）
参加人数：３０名（内訳：教員２２，事務職員２，院生６）
＜実施概要＞
講師：　樋口直樹氏（人材育成本部・S-cubic）
題目：　DC・PDのキャリア意識改革／実践参加システムの構築と推進

「博士人材のキャリアパス（多様化・支援・創出に関する問題点など)」をテーマとして，人材育成本部の樋口直樹先生にご講演いただいた。北海道大学における理工系博士の実態と施策，S-cubicによるキャリア教育とキャリアデザインの支援体制に関する説明があり，学生への進路指導のあり方について情報の共有を図った。

質疑応答では，S-cubicで開催されている様々なキャリアパスセミナーに関する実地的な内容，特に，赤い糸会や緑の会などの実践参加型プログラムに参加する企業や，博士インターンシップ実施企業が求める学生像など具体的な事例について質問がいくつかあり，数学専攻の学生に対するプレゼンテーション指南等具体的なエピソードを交えた説明があった。

参加者には，企業が求める博士人材の資質や支援の広がりについて考える良い機会になったと考える。

実施日時（場所）：１２月１日（木）12:10～12:50（理学部４号館５０１室）
参加人数：３１名（内訳：教員２９，事務職員２）
＜実施概要＞
講師：　正宗淳先生，行木孝夫先生（数学部門）
題目：　WeBWorK：online homework system for math and sciences courses

オンライン学習システム「WeBWorKs」で実現できる教育メリットを，正宗先生と行木先生に，講義法の概念を解説と実演により紹介いただいた。全学教育・数学科目において能動的・主体的な学習形態を促すための工夫，効果的な学習方法について議論した。当日は，各自インターネット接続できる端末を持ち込み実演しながら，導入にあたっての問題点などについて議論が行われた。

参加者には，授業改善に一層の推進を図る良い機会となった。

平成２８年度物理学科・物性物理学専攻合同ＦＤ報告書

実施日時（場所）：２月１５日（水）14:00～15:30（理学部２号館４０４室）
参加人数：２２名
＜実施概要＞
「アクティブラーニング」をテーマとして，アクティブラーニング推進室の難波准教授をお招きし，アクティブラーニングが求められるようになった経緯と現状，そして今後「主体的・対話的で深い学び」の実現へ向けた方向性などについて，講演をしていただいた。引き続きアクティブラーニングを実践しておられる木村准教授に，具体的な授業の内容について講演をしていただいた。
その後，教員間での討論を行い，グループ学習や講義の合間に幾度か学生への質問をなげかけるなど，様々な形態のアクティブラーニングを議論し，個々の授業との「相性」などを討論する一方，基幹講義，演習，そして卒業研究といった総合的な物理教育の視点から，「主体的・対話的な学び」について討論を行った。

平成２８年度理学部化学科ＦＤ報告書

実施日時（場所）：２月２３日（木）13:00～14:30（理学部７号館３１０室）
参加人数：３６名
＜実施概要＞
「アクティブラーニング型授業とは何か　～授業形態に応じた導入のポイント～」をテーマとして，高等教育推進機構高等教育研修センターの山本堅一特任准教授に，
１．アクティブラーニング型授業とは何か
２．アクティブラーニング型授業を実践するためのポイント
３．アクティブラーニングと学習動機
などについて，解りやすい授業をしていただいた。特に，アクティブラーニングの浸透を阻む要因としての
１．教員にとっての壁
２．学生にとっての壁
３．学習環境の壁
の話は多くの教員にとって大いに参考になったと思われる。その中でも，カリキュラムにある各授業間（教員間）の密接な連携の重要さとその実現に向けての努力の必要性を改めて認識させられた。
この山本特任准教授の授業の最後に１５分ほど時間を割いて，まさにアクティブラーニングが行われた。化学科の教員が数名ずつのグループに分かれて，各教員が行っている授業や実験・実習にどのようにすれば効果的なアクティブラーニングを取り入れられるか，導入に際して困難な事柄は何か，などのディスカッションが行われ，グループの代表者が発表し，また全体として質疑応答する形式であった。まさに，教員が学生になった気分でアクティブラーニングを体験したといえる。質疑応答も活発で，大変有意義な研修であった。

平成２８年度生物科学科(生物学)・自然史科学専攻・生命システム科学コース・地球惑星システム科学分野合同ＦＤ報告書

実施日時（場所）：２月７日（火）14:00～15:00（理学部７号館219/220室）
参加人数：４６名
＜実施概要＞

生物科学科（生物学専修）・理学院（自然史科学専攻）・生命科学院（生命システム科学コース）合同ＦＤ研修として行った。

講師として，今年度新設された理学部/理学院学生生活相談室のカウンセラー・佐藤淳子先生を迎え，「理学部・理学院学生生活相談室の活動利用の現状と今後の課題」についてお話いただいた。

主な講演内容は以下の通りであった。

・学生生活相談室利用状況
・事例の紹介：(1)自発的来談（1回で終結），(2)自発的来談（継続），(3)指導教官のみ来談，(4)指導教官の紹介，(5)指導教官の紹介（保健センターと並行）
・今後の課題：(1)自殺予防及び自殺未遂/既遂時の対応，(2)指導教官との連携，(3)広報活動（潜在的ニーズの掘り起こし）

その後，活発な質疑応答となり，理学部内の学生生活相談室の存在，およびその利用法を知るよい機会になったと思われる。

平成２８年度地球惑星科学科ＦＤ報告書

実施日時（場所）：２月１３日（月）16:30～17:30（理学部本館Ｎ３０８室）
参加人数：１９名（地球惑星科学は１３名）
＜実施概要＞
　フィリピン大学ディリマン校 Amelia Guevara 教授に
“Women, Gender and Development: The Philippine Experience”
というタイトルで講演をいただき，その後討論を行った。
　日本は Gender Gap Report 2016 の世界ランキングで 111 位と先進国中最低レベルだが，フィリピンは 7 位でアジアの中ではトップである。ゲバラ教授も含め，フィリピン科学技術省の重要ポストの半数を女性が占め，フィリピン大学でも女性の教授が数多く活躍している。講演ではこうしたフィリピン国内の紹介も含め，世界のジェンダー問題に対する動きについて広くレビューをしていただいた。ジェンダーの問題は，単に男女の平等というだけでなく，持続的，安定的な社会の発展のために重要な視点であることが強調された。

講師：Amelia Guevara 教授
　フィリピン大学ディリマン校の化学科教授，フィリピン大学全校の副総長を歴任後，フィリピン科学技術省に入り，Undersecretary（副大臣相当）などを務めた。今年からフィリピン大学ディリマン校に戻り教鞭をとっている。

平成２８年度宇宙理学専攻ＦＤ報告書

実施日時（場所）：２月８日（水）10:30～11:30（理学部２号館４０４室）
参加人数：２９名
＜実施概要＞

「教育における著作権関係について」をテーマとして，布施教授に講演をしていただいた。これまで，学校などの教育機関において，授業を目的とし，必要と認められる限度において，公表された著作物を複製することができるとされてきた。しかし，昨今の授業形態の変化にともない，著作物の扱われ方も大きく変化している。たとえば，資料をウェブサイトにアップし，その資料を学生が授業時間外に，閲覧，ダウンロード等の利用をするなどである。このような事態にかんがみ，文化審議会著作権分科会の法制・基本問題小委員会では，授業の過程での著作権の扱い方について審議しており，権利制限規定，補償金請求権などが審議されている。今後，補償金について議論が進む可能性がある。このような内容をお話しいただき，その後教員間において，討論を行った。

平成２８年度理学部生物科学科（高分子機能学）ＦＤ報告書

先端生命科学研究院でFDSD研修会「総会2016」
実施日時（場所）：２月１３日（月）15:00～17:00（理学部５号館大講堂）
参加人数：教員４９名及び事務部３１名，総数８０名　北大時報３月号報告
＜実施概要＞
　教育・研究担当の全教員（特任，客員を含む）及び研究室の事務・技術職員を対象とし，同研究院の諸研究・教育活動報告とともに理学・生命科学事務部の若手代表による業務活動報告を実施した。

生命科学院FD研修「ルーブリック入門」
実施日時（場所）：９月１５日（木）（シオノギ創薬イノベーションセンター１Ｆ
産学コミュニティホール）
参加人数：教員２０名　北大時報１０月号報告
＜実施概要＞
　本学高等教育研修センターから講師を招き，アクティブ・ラーニング形式の学修成果に係る評価に使用されるルーブリック評価について学習した。参加した教員のほとんどが「ルーブリックは初めて聞く程度」だったが，講演終了後には，若手教員からも実践する際の考え方の確認や課題について積極的な質問や意見交換もあり，アクティブ・ラーニング授業を担当する各教員も学修行動調査や学習到達度調査の評価方法の改善を再認識する研修となった。

自然科学のためのアクティブラーニング
２０１５年４月コースFDとして活用報告
実施日時（場所）：３月１１日（木）13:30～16:40（理学部３０９教室）
参加人数：教員３５名，学生１０名，学外者６名　北大時報５月号報告
＜実施概要＞
　自然科学を教える大学教員のためのアクティブラーニング事例を学ぶシンポジウムを開催した。先端生命科学研究院からは，教員１名が講師として講演。４人の教員による具体的な実践例と「学習効果や課題」について紹介された。

研修・集会以外のFD活動

【教育改善】

・オープン教材（Open Educational Resources : OER)『北大・JEOL 第1回NMR技術演習セミナー』の配信開始　北大プレスリリース(2016.11.8)
・Research Ethics Workshop for IGP students（研究倫理ワークショップ）開催（2016.12.13)
・授業参観科目の提供「全学教育科目（はじめての生命科学)」(2016.12.26)
・シラバス作成ガイドラインの作成
・新PGAにともなう卒業認定基準の導入
・英語外部試験の活用とスコア把握
・海外渡航費支援(部局評価に基づく資源の再配分事業)
・TOEIC&TOEFL-ITP受験料支援(部局評価に基づく資源の再配分事業)
・理学アクティブラーニング推進室（H27.4～）との活動連携
・スーパーグローバル大学創成支援事業（新渡戸カレッジ・新渡戸スクール）
・生命科学院ソフトマター専攻設置に向けての教育体制の構築

【その他】

国際化

・海外ラーニング・サテライト（スウェーデン・カロリンスカ研究所＆北大）
事業報告会：平成28年6月9日「食・健康・医療に貢献するカロリンスカ研究所ジョイント先端顕微鏡講習コース」
・北大サマーインシュチュート（３件，先端的光学顕微鏡による生命科学研究，創薬イノベーションセミナー，北欧型サービスデザインワークショップ）
・学生交流検討中（スペイン・バルセロナ大学，スウェーデン・カロリンスカ研究所）
・日中韓フォーサイト事業(JSPS A3プログラム）参加
・IGPプログラム「次世代の生命科学グローバルリーダー養成プログラム」博士学位審査会とGP審査。修了者表彰式(2017.2.10)(4th 国際シンポ),WS(国際本部），2nd 交流会(理国際化支援室)
・国際化チームの設置。外国人教員に向けての事務メールの英語化促進。
・GI-CoRE拠点 4th (GSS)ソフトマターグローバルステーション(H28-)

出典：理学・生命科学事務部庶務担当データ

平成２９年度数学科ＦＤ報告書

第１回

実施日時（場所）：平成 29 年 6 月 21 日（水）12：00-12：50（理学部 4 号館 501 室）

参加人数：17 名（内訳　数学部門教員 15 名、事務職員 2 名）

＜実施概要＞

講師：柴　恭史　氏（プール学院大学教育学部教育学科特任講師）

題目：理系専門職養成プログラムの在り方

近年、大学に対して、社会との接続性を高めたプログラムが要請されるようになっていることを踏まえ、一定の専門性を修めつつ実戦的な応用力も兼ね備えた人間、いわゆる「専門職人材（高度専門職業人）」を養成することへの理解を深めることを目的とした。このFDでは、アメリカで近年盛んになっている理系専門職の養成の一つである「専門理学修士号（Professional Science Master’s）」について、その意図と具体的なプログラムの構成をプール学院の柴恭史氏にご紹介頂き、その後、活発な意見交換を行った。

第２回

実施日時（場所）：平成 29 年 12 月 14 日（木）12：00-12：50（理学部 4 号館 501 室）

参加人数：28 名（内訳　数学部門教員 24 名、非常勤講師 2 名、事務職員 2 名）

題目：線形Ⅱ問題を考える（フリーディスカッション）　進行／久保英夫教授

＜実施概要＞

全学教育科目「線形代数学 II」を履修する学生が、最近、特に減少していることを受け、この問題に関するフリーディスカッションを行い、その打開策を模索する契機とすることを目的とした。高校のカリキュラムから外れた行列を無理なく導入するための工夫やオンライン教材であるWebWorkを効果的に用いることにより、抽象的なベクトル空間の概念について時間をかけて丁寧に説明することの重要性を再確認した。併せて、「線形代数学 I」で提供する内容をブラシュアップすることについても意見交換を行った。

第３回

実施日時（場所）：平成３０年２月２２日（木）15:00～17:10（理学部３号館３０９室）

参加人数：24 名（内訳　数学部門教員 13 名、北大他学部・他大学 11 名）

＜実施概要＞

「数理データサイエンス一般科目設計おける e-ラーニングの動向」をテーマとして、特にWeBWorkに関する理解を深めることを目的とした。MDSC 兼務の大本教授、正宗教授の基調報告から始まり、金沢大学（牛島氏）、北海道大学（坂井氏）、東北大学（田中氏）での取り組みの現況に関する３つの講演と、国際的な e-ラーニングの潮流に関する講演（柴氏）が行われた。各講演の後には、参加者を交えた活発な質疑応答がなされた。

平成２９年度化学科ＦＤ報告書

実施日時（場所）：９月２９日（金）15:00～16:20（理学部７号館7－３１０講義室）
参加人数：７２名（うち化学科教員３６名）

＜実施概要＞

「科学研究の信頼性について」をテーマとして，（有）アイ・キュー・エイ 代表取締役社長、（株）マスターコントロール 顧問 長谷川義和氏（1972 年化学科卒)に、最近の成果主義を背景に、科学研究でも捏造や改ざんによる事件が多数発生している中で、人間の弱さが「嘘」として現れること、それを防ぐために必要な様々な取り組みについて、最近の事例を交えつつ企業研究における現場の視点からご講義頂いた。
特に、科学研究における捏造事件を防ぐには、

1. 多段階のチェック体制が必要であり、
2. 多数の人間が関わる共同研究においては特に責任の所在を明らかにすること、
3. 信頼性を確保するために必要な徹底した資料保存のルールの策定が必要であり有効である

ことが具体例とともに紹介され、基礎科学研究を推進する大学の研究現場においてもこのような取り組みが正に必要になってきていることを改めて認識させられた。

講演後半では長谷川氏のご専門分野である非臨床安全性試験 (GLP) に関し、その歴史、何故 GLP が必要なのか、GLP の仕組みはどうなっているのか、GLP がグローバルな標準となっている点に関して説明して頂き、「科学研究の信頼性」確保の可能性と信頼性を疑われた時の対策についてご講義頂いた。

講演後の質疑応答では、具体的な GLP の取り組み事例等に関した活発な議論が行われるなど、大変有意義な研修であった。

平成２９年度物理学科・物性物理学専攻ＦＤ報告書

実施日時（場所）：６月１６日（金）１５：００～１６：３０（理学部２号館４０８室）
参加人数：２６名
＜実施概要＞

「米国の大学における物理教育研究」をテーマとして、外国人招聘教員として来学中のコロラド大学ボルダー校教授 Steven Pollock 氏に物理学部門の教員および ISP 教員を対象として講演いただいた。同氏は全米大学協会が推進している理系教育の組織的教育変革の中核メンバーの一人であり、また、コロラド大学ボルダー校は、そのパイロット校に選ばれ、物理、化学、生物のほぼ全ての科目をアクティブラーニングにしたことで注目されている。講演では、米国の理系基礎科目におけるアクティブラーニングの内容や組織的取り組みについて紹介された。また、その後の質疑では、大人数の学生を対象に行っているアクティブラーニングの教育効果や今後の課題等について討論を行った。

実施日時（場所）：２月１３日（火）１４：００～１５：００（理学部５号館２０６室）
参加人数：２６名
＜実施概要＞

「大学院教育における国際連携」をテーマとして、理学研究院国際化支援室・室長の河村裕教授をお招きし、物理学部門教員および物性物理学専攻担当教員を対象に大学院教育において国際連携が求められるようになった経緯、ダブル・ディグリー、ジョイント・ディグリー、コチュテルの国際共同学位プログラムの概要について講演いただくと共に、大学院教育の国際化に向けた取組事例や部局間協定の例などについて紹介していただいた。物性物理学専攻では海外の大学との連携を検討していることもあり、その後の質疑では、それぞれの国際共同学位プログラムの定義における違い、意義や課題に関して活発な討論が行われた。また、参加教員から海外インターンシップ特論の履修者数を増やすことでも大学院教育の国際化に貢献できることが分った等の感想が述べられた。

平成２９年度地球惑星科学科ＦＤ報告書

実施日時（場所）：２月１６日（金）10:30～12:00（理学部２号館409室）
参加人数：１８名
＜実施概要＞

「学生に分かりやすく，満足度の高い授業を行うために」をテーマとして，平成２８年度２学期および平成２９年度１学期の授業アンケートにおいて評価点の高かった下記の２人の教員にお願いし，１人３０分程度の講演をしていただいた．講演者，講演タイトルは下記の通りである．

講演者，講演タイトル：
山本順司（総合博物館），「一方的授業における擬似アクティブ・ラーニング」
倉本　圭（宇宙惑星科学分野），「授業で心掛けていること：惑星大気構造学の場合」

山本順司先生からは，毎回の授業で簡単な質問を課し，次回の授業ではすべての受講生からの回答を授業のはじめにパワーポイントで紹介するほか，すべての受講生に回答に対する返事を書いて返却するという時間をかけたきめ細かい授業を行っていることが報告された．また，北大の全学教育で主催されたアクティブラーニングの講習会に参加されるなど，本人が日頃授業の質を高めようと努力されていることが窺えた．倉本　圭先生からは，授業では言葉を語尾まではっきり話すことや（実際，「教員の話し方は聞き取りやすかった」の項目の評価点数が大変高い），ご自身が大学時代に受けた講義である教員がされていたことを参考に，板書を大変丁寧に書くことを心掛けているというお話があった．また，授業の最初に前回授業の復習を行ったり，あまり難しい数式を使わずに物理を理解させたり，練習問題を多く与えたり等，学生に対して気配りをしていることが窺えた．

今回は，地球惑星科学科教員が属する各分野で年度末行事がほぼ終了したこともあり，参加者がやや少なかったが，大変ためになる講演をしていただき，多くの質疑応答がなされた．また，予定よりも講演会は早く終了したが，講演会後に地球惑星科学科で最近問題となっている学生の成績格差の広がりや，留年生の増加について議論が行われた．忌憚のない意見交換がなされ，これらの問題点について今後教員がより注意していくことを確認した．短い時間ではあったが，今回の地球惑星科学科ＦＤはかなり実質を伴ったものになったように感じる．

地球惑星科学科長，竹下　徹

平成２９年度地球惑星システム科学分野ＦＤ報告書

自然史科学専攻合同 FD 研修会

実施日時（場所）：7 月 26 日（水）13:30～14:30（理学部 5 号館 201 講義室）

参加人数：35 名（自然史科学専攻教員として）

＜実施概要＞

「インターネット（オンライン）コースと大学院教育」をテーマとして，カルフォルニア大学サンタバーバラ校の Toshiro Tanimoto 教授を講師に招き，FD を行なった．米国におけるインターネットを利用した地球惑星科学系の大学院教育の現状を紹介していただき，その効果について説明を受けた．講義後，インターネットを利用するときの容易さ困難さについて議論を深めた．

地球惑星科学科 FD

実施日時（場所）：2 月 16 日（金）10:30～12:00（理学部 2 号館 2-409 室）

参加人数：18 名（地球科学科教員として）

＜実施概要＞

「学生に分かりやすく，満足度の高い授業を行うために」をテーマとして，地球惑星科学科で学生授業アンケートの評価が高いお二人の先生に講義をしていただいた．

山本順司「一方的授業における擬似アクティブ・ラーニング」

倉本　圭「授業で心掛けていること：惑星大気構造学の場合」

お二人の先生とも，授業の準備とレポート課題に工夫をして，授業を毎年改善する努力を重ねていることが印象的であった．学生の反応に対する適切なフィードバックが良い授業をするための条件であることが改めて理解できた．FD とは直接関係ないが，満足度の高い授業と卒研の研究室人気とは必ずしも強く相関しないことは興味深い．

平成29年度 生物科学科（生物学）・生命システム科学コース 合同FD報告書

実施日時（場所）：2月7日（水）15:00～17:00（理学部5号館813室）
参加人数：19名
＜実施概要＞
講師：武田弘子 先生（北海道大学保健センター カウンセラー）
題目：メンタルヘルス講習会

自殺者の総数が減り続ける中、若者の死因の第1位は「自殺」です。北海道大学においても、毎年のように命を絶つ学生がいることも事実です。私たち教員は学生に対してどのように対応するべきであるのか、どのような対応は間違いなのか、ということはわかりません。わからない中で、研究室に来なくなってしまった学生や休みがちの学生の対応をしなくてはいけません。本FD講習会におきまして、保健センターで日々学生の対応をしているカウンセラーの武田先生をお招きして、自殺者数の現状、その原因、そして北大での取り組みについて説明を受けました。その後、メンタルヘルスの問題が起きている人、あるいはメンタルヘルスの危機を経験している人に提供する支援である「メンタルヘルス・ファーストエイド」の講習を受けました。この目的は、疾患の診断についてではなく、精神疾患やメンタルヘルスの危機的状況の一連の症状を認識して、最初に助けを申し出たり、助けを提供して、その人を適切な治療やその他の支援に導く方法を知ることにあります。一連の説明の後、学生に対する「良い対応」「悪い対応」のビデオを見ました。そして二人一組になって学生役と職員役を演じることで、学生に対する対応を体験し学ぶことができました。

参加者した先生方にとりましては、学生対応の助けになったのではないかと思われます。

出典：理学・生命科学事務部庶務担当データ

＜別紙＞

平成３０年度数学部門ＦＤ報告書

１．実施日時：平成 30 年 7 月 26 日（木）12：30-13：30（理学部 4 号館 501 室）
参加人数：21 名
＜実施概要＞
題目：「数学専攻新カリキュラム及び入試全般について」
進行役：洞　彰人教授（学科主任）、久保　英夫教授
（内容）（１）数学専攻新カリキュラムについて：今年度から修士課程のカリキュラムが改定されたので、実施状況の報告、改善点の指摘、周知の徹底等が行われた。（２）入学試験について：学部の学力保証型 AO 入試と大学院博士後期課程夏季入試に関し、新しい仕組の構築の進捗状況が報告された。（３）WeBWork について：年ごとに工夫を重ねて使いやすくなっている WeBWork について、現状の説明と将来の展望に関する話し合いが行われた。

２．実施日時：平成 30 年 11 月 29 日（木）15：00-16：00（理学部 3 号館 202）
参加人数：23 名
＜実施概要＞
題目：「高大接続の危険地帯」
講師：菅原　満　氏（私立札幌旭丘高等学校）
長尾　良平　氏（北海道札幌南高等学校）
（内容）現職の高校教諭２名を講師に迎え、高校の数学カリキュラムの構成及び数学教育の現状について理解を深めることを目的として開催した。講師の先生方が実際の授業で数学の面白さを生徒に感じてもらうための工夫や取り組みについては、参加した多くの教員が関心を示し、大学初年時の学生に対して円滑な授業を行うためのヒントを得られる良い機会となった。

３．実施日時：平成 31 年 3 月 11 日（月）13：00-14：00（理学部 4 号館 501）
＜実施概要＞
題目：全学「数学」科目における３１年度からの e-ラーニング環境について
講師：大本　亨　教授（MDS センター副センター長）
（開催案内文より）：数理・データサイエンス教育研究センター（MDS センター）の

支援のもと，２９年度より，全学「数学」科目における自習用 e-ラーニング教材 WeBWorK（米国数学教育協会作成）を試験的に導入・運用してきました．使い方によってはたいへん有用ですし，学生からも高評価を得ています．３１年度からは，原則的にすべての入学生が WeBWorK（ジェネリック問題セット）を利用できる環境になります．この FD において，３１年度の全学数学科目を担当するすべての教員の方々に，まず何をしなくてはいけないか（学生に向けた説明），WeBWorK を授業・成績評価に取り入れるにはどうすればよいか，問題セットをカスタマイズするにはどうすればよいか，などをご説明します．また，MDS センターにおける WeBWorK 開発の進捗と今後の計画についてもご報告します．

平成３０年度化学科ＦＤ報告書

実施日時（場所）：３月６日（水）15:00～16:20（理学部７号館７－３１０室）
参加人数：43 名

＜実施概要＞

「小樽商科大学におけるアクティブ・ラーニング展開の成果と課題」という演題で、小樽商科大学商学部社会情報学科准教授の大津晶先生に、学長補佐としてアクティブ・ラーニング推進事業を担当されたご経験をもとにご講義いただいた。

初めにアクティブ・ラーニング(AL)の定義を紹介され、AL はアクティブ・ラーナー、すなわち能動的に学修する学生を育成するための手段の一つであるということを説明された。続いて、小樽商大で実際に取り組まれた AL 環境の整備（教室のリノベーション）、先端 ICT (respon) を活用した多様な AL 手法の開発、LMS（学習管理システム）を活用した AL の効果の検証について紹介された。さらに、活用事例として実際に行われている、卒業生によるオムニバス講義、初年時キャリア教育として導入した大規模クラス（360 名）の AL、地域連携型 PBL（問題解決型学習）について、準備の仕方、評価の仕方、問題点を含めてご紹介いただいた。AL は学生の能動的な学修参加を取り入れるので教員が行うことは少ないようなイメージがあるが、実際には通常の講義に比べて準備とマネージメントが大変であるということ、また、全ての講義に AL を導入することは現実的ではないということにも触れられた。

講演後の質疑応答では、今後 AL の導入を検討している複数の教員から AL 環境の整備や ICT の活用の仕方等について質問があり、より具体的な説明を受けた。また、AL の講義では深い議論をじっくり行うことはできないのではとの意見があり、講義のマネージメント（事前のシナリオ設計）が重要であるということを説明いただくなど活発な議論が行われ、大変有意義な研修であった。

＜別紙＞

平成３０年度物理学科ＦＤ報告書

１．実施日時（場所）：１１月１３日（火）11:00-12:00（理学部 2 号館 408 室）

参加人数：20 名

＜実施概要＞

「修学困難な学生に対する修学カリキュラム」をテーマとして，・・・・・・・・・・

２．物理学科・物性物理学専攻合同 FD

詳細は物性物理学専攻

＜別紙＞

平成３０年度　物性物理学専攻・物理部門　ＦＤ報告書

実施日時（場所）：2月21日（木）13:00～14:15（理学部2号館2-11室）

参加人数：21名

実施概要

「学生のキャリア意識改革による博士課程進学者の増加に向けた取り組み」をテーマとして、人材育成本部の樋口直樹特任教授を講師として招きワークショップ形式で意見交換を行った。

【背景および討論内容】

近年、博士課程をはじめとする大学院の充足率向上が課題となっている。理学院の専攻の多くは、工学系などと比べ企業との接点が少なく、社会が大学院教育に求めていることを踏まえた学生のキャリア形成に関する指導・教育はあまり多くなかった。これまで、民間企業への就職は修士課程修了者が有利であり、したがって博士課程へ進学する者は大部分がアカデミアを志向するという漠然とした意識が働いていた。一方で、企業戦略が複雑・多様化する現在では学生が思いも寄らない多くの場面で博士人材が求められている（例えば、製鉄会社で水産科学院の博士が求められている事例など）。本FDでは、そのような企業のニーズの現状が紹介され、また博士課程学生と企業のマッチングを図る赤い糸会の取り組みを積極的に利用することで、実際に博士学生の就職率が向上することが示された。今後の教育では、博士課程への進学は「就職に不利である」→「就職に有利である」という意識改革を促し、アカデミアのみならず民間企業への道を提示していくことの重要性が認識された。これによって博士課程への進学率の増加が期待されるとともに、社会で活躍する人材の輩出により一層の努力をしていくことが確認された。

【今後の具体的方針】

専攻・部門において、企業で博士課程の学生が求められている現状やS-cubicによる就職支援の取り組みを紹介し、博士課程への進学を積極的にプロモートしていく努力が必要。

- 修士課程入学時の大学院ガイダンスや、より効果的には大学二年次の学部移行ガイダンスにおいて早い時期からS-cubicの取り組み、企業における博士人材のニーズを紹介することが重要。
- 実行教育課程表を修正し、S-cubicで主催する大学院共通科目「キャリアマネジメントセミナー（MOT関連）」等を推奨科目（指定科目）に認定することをH31年度の検討事項とする。本科目の履修を促すことで学生の意識改革を図る。

＜別紙＞

平成３０年度地球惑星科学科（専攻）ＦＤ報告書

１．実施日時（場所）：2019 年２月５日（火）16:50～17:35（理学部本館 N308 号室）
参加人数：４５名

＜実施概要＞

●題名　「学科教務のお仕事」

●講師　　稲津將（当学科教授　今年度の学科教務委員）

●内容　　理学部地球惑星科学科の教員として必要な学部教育に関する基礎知識、様々な問題に対する対処法、学科イベントのこれまでとこれから、等様々な話題について説明を受け、教員全体で議論した。FD で使用したプレゼンファイルは今後新任教員への学科教育の説明等にも使用予定。

●出席者：日置・稲津・勝俣・中川・橋本・馬上・川崎・小笹・Python・伊庭・鎌田・小林・大島・高橋浩・吉村・三寺・蓬田・谷岡・佐々木・竹下・沢田・山下・山本正・鈴木・亀田・川野・石渡・栗谷・篠崎・吉澤・佐藤・高橋幸・村井・青山・山本順・渡邊・古屋・永井・堀之内・久保川・小高・坱本・倉本・高田・大園
以上 45 名が参加

＜別紙＞

平成３０年度　理学部生物科学科（生物学）・生命科学院生命システム科学コース・理学院自然史科学専攻 合同ＦＤ報告書

１．実施日時（場所）：2月8日（金）15:00～16:15（理学部5号館305室）

参加人数：25名

＜実施概要＞

合同開催FDとして、マズル・ミハウ先生（高等教育推進機構）から、「Teaching in English in diverse classrooms」をテーマとして、英語による授業における教員の心構えについて考え、言葉だけでなく、国際的で多様な文化を背景とした授業を行っているという理解が重要であることを学ぶ機会を得た。

ISP プログラム留学生や大学院での留学生など、アジアをはじめ多様な文化や教育背景を持つ多国籍の学生を教える機会が増えてきた。また留学生と日本人を同じクラスで教える機会も増えている。このようなクラスで学習の効率化をどのように実現するのか（コミュニケーションの取り方、英語の発音、日本人学生にどう対応するのか、などについて、またparaphrase, make it visible（筆談）、配布物による助け、ビデオの活用、事前学習（学生側）と事前準備（教員側）の重要性、グループワークの利用、respect your students (reveal personal details)、平易にゆっくりと話す、など）、短時間に数多くのポイントを例示していただき、また意見交換を行なった。今後、教員がそれぞれの経験や状況に応じて工夫していくために大変有意義な研修となった。

２．実施日時（場所）：3月14日（木）15:00～16:00（理学部5号館201室）

参加人数：

＜実施概要＞

合同開催FDとして、佐藤淳子先生（理学部/理学研究院・学生生活相談室　カウンセラー）から、「学生生活相談室の具体的利用法～架空事例の紹介」をテーマとしてFDを予定している。佐藤カウンセラーからのお話は、学生や教職員のメンタルヘルスの健全性の確保、危機的状況回避のため等に大変貴重なものになる。

＜別紙＞

平成３０年度生物科学科（高分子専修）ＦＤ報告書

１．実施日時（場所）：１２月６日（木）14:00～16:00（総合博物館　N-308 室）

参加人数：６６名参加（学内５２［教職員 48 名，学生４名］，学外１４名［企業・団体等 11 名，他３名］）。

＜実施概要＞

「SDGs 勉強会 in 北大 vol.001」をテーマとして，ワークショップを開催。

・第一部：ファカルティ・デベロップメント FD 講演会

◉ SDGs.TV／（株）TREE 代表取締役　水野雅弘 氏

「SDGs 達成に取り組む世界の動き」

◉ 科学技術振興機構

経理部長（前・科学と社会 推進部部長）　柴田孝博 氏

「科学技術イノベーション（STI）と SDGs：科学と社会の関係」

持続可能な社会推進室　植田奈穂子 氏

「科学技術イノベーション（STI）と SDGs：JST 持続可能な社会推進室」

◉ 北海道大学 先端生命科学研究院 教授　出村誠

「北大の科学技術研究と SDGs」

・第二部：意見交換会

第一部の講師を囲んで幅広く SDGs に関心ある参加者との意見交換会。

２．実施日時（場所）：２月１２日（火）15:00～17:00（理学部７号館３１０室）

参加人数：７０名（研究院等教職員 41 名、事務部 27 名、他２名）

＜実施概要＞

平成 30 年度 FDSD 研修会「総会 2018」

教育・研究担当の全教員および研究室の事務・技術職員を対象とし、同研究院の諸研究・教育活動報告とともに、理学・生命科学事務部の業務報告も実施。

プログラムは３部構成

(1) 第３期中期計画と研究・教育・教育支援環境、研究推進（GI-CoRE GSS 活動、産学連携・産業創出部門、先端研究基盤共用促進事業、WPI）、教育改革（大学入学共通テストの英語認定試験、学部シラバスの英語化、IGP プログラム新規採択）、FD 参加状況アンケート、DP 対応カリキュラムマップ、アセスメントポリシー策定などの他、研究・教育環境、リスクマネジメント、サスティナブル活動について今年度の主な活動報告。

(2) 持続可能な開発目標(SDGs)と科学技術イノベーション

12／6 日に主催した公開 FD 講演会「SDGs 勉強会 in 北大 vol.001」の中から、日本学術振興機構経営企画部持続可能な社会推進室の講演録をビデオ上映。

(3) 教えて！理学・生命科学事務部の活動

理学・生命科学事務部の各担当業務への事前質問を整理し、各担当から、活動の紹介。サイネージの活用、地震発生時緊急連絡体制、設備市場の利用方法、険物保管庫の設置と利用説明会の予定などについて説明。

出典：理学・生命科学事務部庶務担当データ

令和元年度数学科（専攻）ＦＤ報告書

１．実施日時（場所）：6 月 11 日（火）（理学部 4 号館 501 室）
参加人数：23 名
＜実施概要＞
題目：「魅力ある数学科目の授業に向けて」
講師：神保秀一教授、坂井哲教授（講演時は准教授）
内容：学生をひきつける魅力的な数学の授業とはどのようなものか、また、そのような授業を行うにはどのような工夫が必要か、という事をテーマに、2 名の講師に、それぞれの取り組みについてご紹介いただいた。実際に授業で使用しているプレゼンテーションや、学生に興味とやる気を持たせる工夫やアイデアなど、良い点・改善点ともに共有することができ、非常に有意義な研修会となった。

２．実施日時（場所）：10 月 2 日（水）15：30-17：00（理学部 4 号館 501 室）
参加人数：24 名
＜実施概要＞
題目：「多様な背景を持つ学生への理解と対応
～主に発達障害・精神的課題を抱える学生について～」
講師：斉藤　美香氏（札幌学院大学心理学部臨床心理学科 准教授）
内容：発達障害や精神疾患を背景にもつ学生への対応を求められることが増加していることから、専門家である斉藤美香氏を講師にお招きし、近の学生の心理的特徴、発達障害や精神疾患の基礎知識と対応の留意点について、具体例をもとにご説明いただいた。参加教員からは、「発達障害の学生が何を困難に感じているかについてよく分かった」、「これまでは発達障害の学生への接し方が分からず戸惑うこともあったが、専門家の意見により理解を深めることができた」、「進路や就職活動の状況が学生の精神面に大きく影響しているとわかり、改めてサポートの必要性を感じた」等の意見が寄せられた。

令和元年度 物理学部門・物性物理学専攻ＦＤ報告書

１．実施日時：２月２８日（金）～３月２日（月） （e ラーニング）
参加人数：２２名
＜実施概要＞
「研究内容発信に効果的なグラフィックデザインについて」をテーマとして、大津珠子 理学研究院付け准教授にご講演いただく予定でしたが、物理学部門の新型ウイルス感染拡大防止策の一環として、開催方式を e ラーニングに変更しました。大津先生作成の電子教材を聴講し、感想や質問を電子メールで集めました。

内容
大津先生がこれまで実践してきた「グラフィックデザイン」「研究アウトリーチ活動」を事例に、デザイン（コミュニケーション）の基本的な考え方の解説。デザインの効果や重要性を適切に理解することが情報発信力の向上に繋がること、さらに視覚表現を高度化することが科学技術コミュニケーションの円滑化に大きく作用することを紹介。

電子教材
（1）サイエンスとデザイン（7:53）
（2）図版の使い方（8:27）
（3）デジカメの使い方（8:05）

感想
■ 絵が下手なのでイラストで表現することを苦手としていましたが、ネット上に沢山のイラストがあることが分ったので、これらを使ってみようと思います。
■ 特に三つ目の「デジカメの使い方」が参考になりました。構図だけを考えるのではなく、背景に注意すること、また人物撮影のポイントなど、８年前のビデオとは言え、今でも参考になります。杉山先生のネクタイ姿、はじめて見ました。
■ なかなかアウトリーチの資料を作成するのは難しいものですが参考にさせていただきます。
■ 研究室で、物理学会に向けて発表練習を企画、パワー・ポイント・ファイル作りに入っておりました。毎回皆で意見交換しますが、その際必ず、
○分野外聴衆にも理解できる、できないまでも興味喚起できる、ものになっているか？
○１０分でまくし立てる中で、人々に記憶に残る、頭にインプットしやすいものになっているか？

〇説明がもれたとしても、パワー・ポイント画面のみで聴衆が何がしか想像できるものになっているか？

を議論します。

拝聴した教材には、商品広告とは違う科学トピックの特殊性、「ただでは興味をもってもらえない」話題、論題に、いかに視線を傾けてもらうか、そのヒントがありました。

私どもの扱う、群論や場の理論、高等数学に関する題材は、拝聴した教材には登場しませんが、一段二段高い視点から、科学、学術、ということに共通の広報技術というものを、感じ取ることができました。

例えば、私が愛する概念に、“ポスターの真髄は空白である”という、逆説的な銘があります。ぎちぎち詰めない、スペイスこそが、料理（論題）を生かすというものがありますが、まさにそこを指摘する文言、スライドに遭遇し、手を打ちました。

ありがとうございました。

■ 一般向け講演や印刷物で気を付けなければいけないことを、改めて確認できた。

■ 我流と経験でデザインをしているのでこのような別の視点からの”具体的な”やりかたの内容は今後の参考になりました。今後、フロンティア入試などの募集で高校生などに紹介活動をしなければいけないのでそのような場合の効果的な情報発信の方法など助言がいただければと思います。

■ 普段研究に関連した図表を作成するときなどは、Simplicity, Style, Surprising に視点・思考がいっており（今思えば)、講演のポスター制作をする時も同様の考えでした。Sensibility と Sympathy という観点は持っていなかったので、ハッとしました。サイエンティフィック・デザインの言語化・体系化は非常に参考になりました。

■ グラフィックデザインについては参考になりました。動画中ではアウトリーチ活動などの一般向けの工夫を中心に説明されていましたが、科研費の申請書などにのせる図版やレイアウトなどについても、コツなど教えていただけると助かります。

■ 非常に役立つ情報をありがとうございます。

令和元年度　生物科学科（生物学専攻）・生命科学院生命システム科学コース
合同ＦＤ報告書

１．実施日時（場所）：2020 年２月１８日（火）15:00～16:30（理学部５号館 5-813 室）
参加人数：２６名（教員２５名，技術職員１名）

＜実施概要＞

「発達障害学生の対応と理解」をテーマとして，北海道大学・学生相談センター・アクセスビリティ支援室の立田祐子氏に講演を依頼した。

発達障害をもつ学生は，勉学に必要なスキル（アカデミック・スキル），人間関係の構築と円滑化に必要なスキル（対人スキル），日常生活に必要なスキル（ライフスキル／自己管理スキル）の３面に困難さを持ち，それらは相互に影響する。アクセスビリティ支援室を訪れる発達障害の学生は１年生に多く，２年生以降は少なくなる。特に自然科学実験や情報学実習のレポート課題に悩みをもつ学生が多いのとことであった。現在，発達障害は医学的に ASD（自閉症スペクトラム障害），ADHD（注意欠陥多動性障害），LD(限局性学習障害)の３つに分類されるが，今回の講演では北大学生に多い ASD と ADHD について，発達障害を持つ学生の特徴や困難，およびそれに対する対応策について解説していただいた。最後にアクセスビリティ支援室で対応した北大学生の事例４つについて紹介してもらった。

障害を持つ学生の具体的なトラブルや対応についての内容が豊富であり，大変参考になった。約１時間の講演後，学科内の教員から多くの質問があり，活発な議論が行われた。専門科目や研究活動での指導に役立つばかりでなく，逆にアクセスビリティ支援室の活動について学科内からの提案もあり，非常に有益なＦＤとなった。

令和元年度生物科学科（高分子機能学）・生命科学院生命科学専攻
（生命融合科学コース）・ソフトマター専攻 ＦＤ報告書

１．実施日時（場所）：4 月 18 日（木）00:00～00:00（シオノギ創薬イノベーションセンター・産学コミュニティホール）
参加人数：35 名

＜実施概要＞　教育環境改善に係る FD 研修会「ハラスメント防止のために」が行われました。https://life.sci.hokudai.ac.jp/fa/topic/6505

２．実施日時（場所）：9 月 19 日（木）00:00～00:00（シオノギ創薬イノベーションセンター・産学コミュニティホール）
参加人数：45 名

＜実施概要＞　FD 研修「大学評価における TOP10%論文の重要性」：9 月 19 日（木）シオノギ創薬イノベーションセンター・産学コミュニティホールにて，大学力強化推進本部・研究推進ハブ・URA ステーション・主任 URA　岡田直資氏を講師としてお招きし，大学評価における被引用数 TOP10%論文の重要性について FD 研修会を実施しました（参加者約 45 名）。　https://life.sci.hokudai.ac.jp/fa/topic/6914

３．実施日時（場所）：2 月 10 日（月）00:00～00:00（理学部 7 号館 310 室）
参加人数：77 名（研究院等教職員 44 名，事務部 30 名，他 3 名）

＜実施概要＞　令和元年度 FDSD 研修会「総会 2019」を開催。教育・研究担当の全教員及び研究室の事務・技術職員を対象とし，同研究院の諸研究・教育活動報告とともに，理学・生命科学事務部の業務報告も実施しました。
https://life.sci.hokudai.ac.jp/fa/topic/7406

４．その他の FD（教育改善に係る活動）
(1) 学科の専門科目のシラバス作成要領を作成し、記載事項を標準化
(2) ４学期制を活用した「留年せずに協定大学への６ヶ月交換留学」を可能にする改善
(3) ICT 環境改善（新渡戸ポートフォリオのバージョンアップ、クリッカー新型導入）
(4) 全学教育科目の新しい講義題目の提案：一般教育演習(SDGs と生命科学)

出典:理学･生命科学事務部庶務担当データ

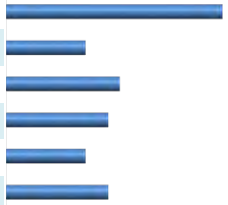
アクティブラーニングに関するアンケート調査

1 ALについてご存じですか。	教員	率(%)
① 知っている	18	62%
② 知らなかったが、今回知った	8	28%
③ まだよくわからない	2	7%
④ 知る必要はないと考えている	0	0%
⑤ さらに知りたい	1	3%

2 以下のAL型授業に関して、実施(受講)したことがあるものにチェックして下さい。	教員	率(%)
① 演習	13	10.0%
② ゼミ	14	10.8%
③ 実験	13	10.0%
④ 実習	6	4.6%
⑤ フィールドワーク	2	1.5%
⑥ 動画を使った講義	10	7.7%
⑦ クリッカーを使った講義	8	6.2%
⑧ 質問・演習問題・見にレポートを多く取り入れた講義	7	5.4%
⑨ (デモ)実験を取り入れた講義	9	6.9%
⑩ グループ・ワーク	15	11.5%
⑪ グループ・ディスカッション	12	9.2%
⑫ ディベート	4	3.1%
⑬ PBLなどの課題発見解決学修	6	4.6%
⑭ ブレインストーミング	6	4.6%
⑮ 反転授業	1	0.8%
⑯ 学生同士のピア評価	4	3.1%
⑰ その他	0	0.0%

3 アクティブラーニングに取り組むための講習等を開催した場合	教員	率(%)
① ぜひ参加したい	8	28%
② 機会があったら参加したい	21	72%
③ 特に参加したくない	0	0%

4 アクティブラーニングに取り組むための講習等として、どのようなものを希望しますか	教員	率(%)
① アクティブラーニングのケーススタディを紹介するような勉強の機会	19	31.1%
② アクティブラーニングを実際に設計してみるために必要な手法やシラバス設計のための参加型ワークショップ	7	11.5%
③ アクティブラーニングに使えるツール(道具や手法の紹介)の提供	10	16.4%
④ アクティブラーニング授業の見学の機会	9	14.8%
⑤ アクティブラーニングを取り入れた授業設計を相談できる場所(機会・人)	7	11.5%
⑥ アクティブラーニングを取り入れた授業の際のアシスタント	9	14.8%



5 その他ご意見・お気づきの点などございましたらお教え下さい。

- アクティブラーニングは既存授業とは別にアクティブラーニングスキル思考を身につけることを+αで取り入れる意識が必要に感じました。（知識習得は既存授業・知識活用停車区はアクティブラーニング）
- アクティブラーニングが目的ではなく、効果的なアクティブラーニングによって、アクティブな人材を育成することが目的であることが確認できた。アクティブラーニングの成果を確認する方法の開発がされるとよい。学生や生徒の問題発見力を確認し評価できる教師の能力を鍛えないといけないようだ。多様な人材を多様に評価できる仕組みが必要か。
- 次回も開催希望！
- ALについて大学との共通点がかなりあると思いました。高校教員なのですが、是非これからも情報を頂ければと思います。
- 特別な(名前の付いた)手法や「グループ」ではなく個々の志向がアクティブになっている授業・学習(授業外を含めて)が日常でありデフォルトなことで形になっていくことで「アクティブラーニングをやる」という状態からさらに一歩踏み出せるのではないかと考えます。大変勉強になりました。
- 教員を目指す学生に対しても広く宣伝してほしい。内容も充実していて大変興味深かったので、次回があればぜひ参加したい。
- 学生であっても教員がどのように考えて授業を設計して実践しているのか知ることが出来、興味深かった。

出典：理学研究院AL推進室・ALP企画シンポジウム
「専門教育のためのアクティブラーニング」アンケート

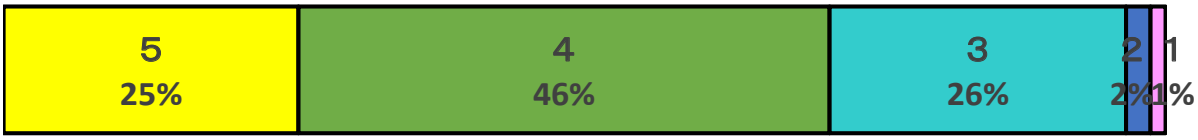
平成28年度　理学部　第1学期　授業アンケート集計結果

授業アンケート　全体平均

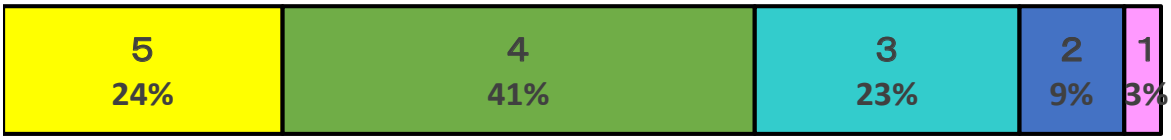
アンケート評価ポイント（5 強くそう思う, 4 そう思う, 3 どちらとも言えない, 2 そう思わない, 1 全くそう思わない）

問A　シラバス（授業計画）は、授業の目標、内容を明確に示していた。

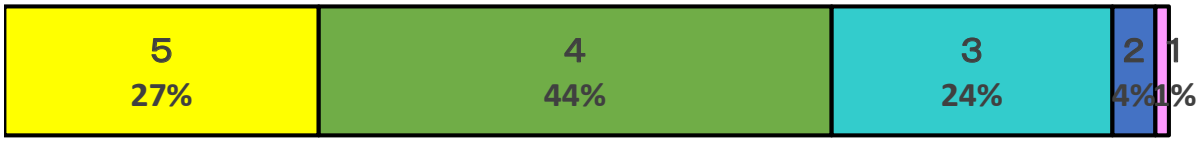
問B　授業はシラバスにそって行われていた。



問C　教員の説明はわかりやすかった。



問D　教員は学生の質問、発言などに適切に対応した。



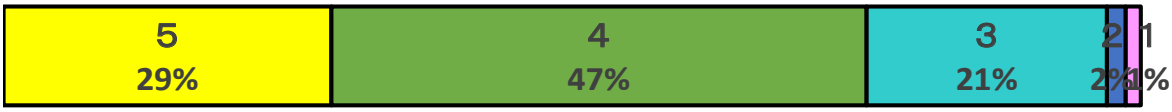
問E　授業全体として満足できるものであった。

平成28年度　理学部　第2学期　授業アンケート集計結果

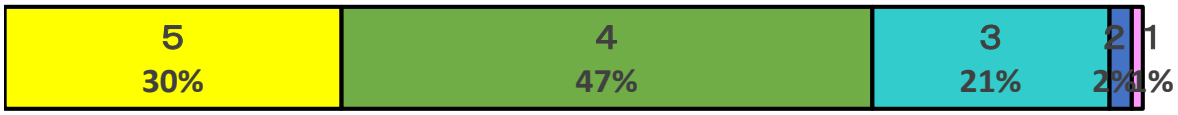
授業アンケート　全体平均

アンケート評価ポイント（ 5 強くそう思う, 4 そう思う, 3 どちらとも言えない 2 そう思わない, 1 全くそう思わない）

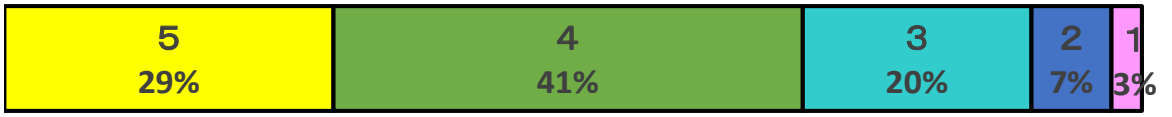
問A　シラバス（授業計画）は、授業の目標、内容を明確に示していた。



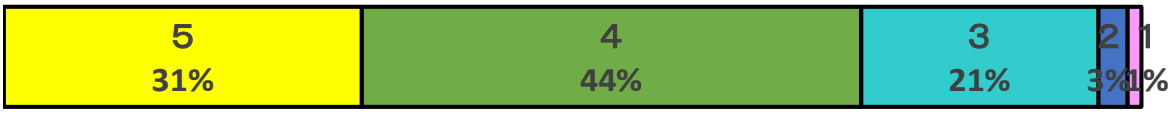
問B　授業はシラバスにそって行われていた。



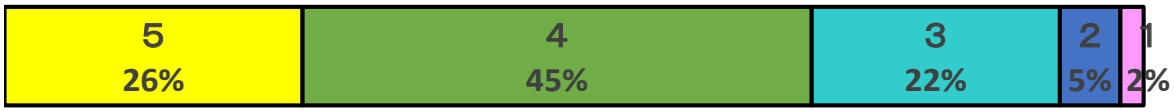
問C　教員の説明はわかりやすかった。



問D　教員は学生の質問、発言等に適切に対応した。



問E　授業全体として満足できるものであった。

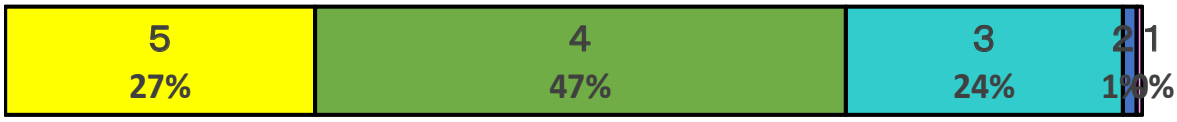


平成29年度　理学部　第1学期　授業アンケート集計結果

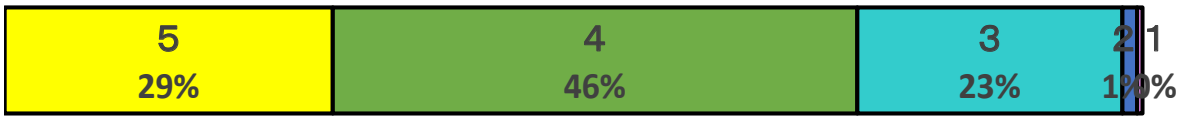
授業アンケート　全体平均

アンケート評価ポイント（5 強くそう思う, 4 そう思う, 3 どちらとも言えない, 2 そう思わない, 1 全くそう思わない）

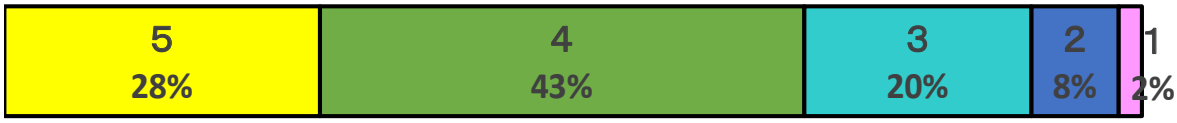
問A　シラバス（授業計画）は、授業の目標、内容を明確に示していた。



問B　授業はシラバスにそって行われていた。

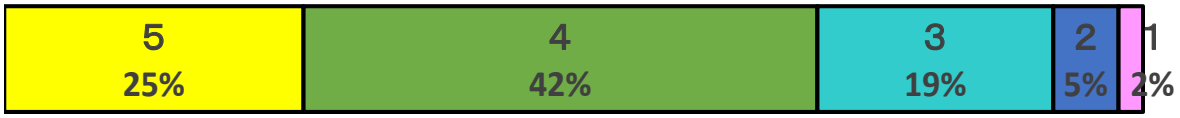


問C　教員の説明はわかりやすかった。



問D　教員は学生の質問、発言等に適切に対応した。

問E　授業全体として満足できるものであった。



平成29年度　理学部　第2学期　授業アンケート集計結果

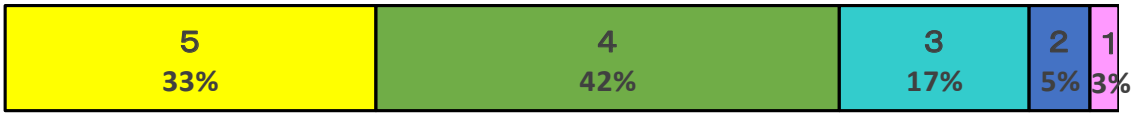
授業アンケート　全体平均

アンケート評価ポイント（ 5 強くそう思う, 4 そう思う, 3 どちらとも言えない, 2 そう思わない, 1 全くそう思わない）

問A　シラバス（授業計画）は、授業の目標、内容を明確に示していた。

問B　授業はシラバスにそって行われていた。

問C　教員の説明はわかりやすかった。



問D　教員は学生の質問、発言等に適切に対応した。

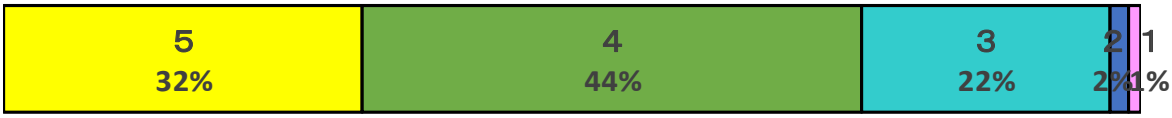
問E　授業全体として満足できるものであった。

平成30年度　理学部　第1学期　授業アンケート集計結果

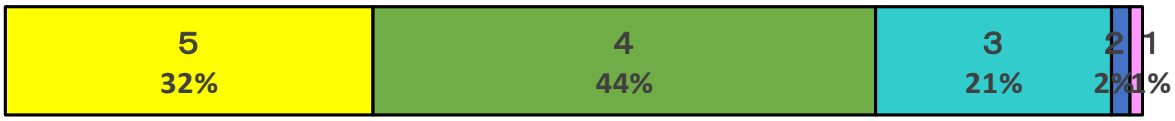
授業アンケート　全体平均

アンケート評価ポイント（ 5 強くそう思う, 4 そう思う, 3 どちらとも言えない, 2 そう思わない, 1 全くそう思わない）

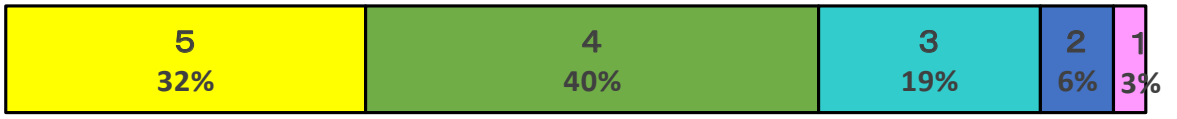
問A　シラバス（授業計画）は、授業の目標、内容を明確に示していた。



問B　授業はシラバスにそって行われていた。

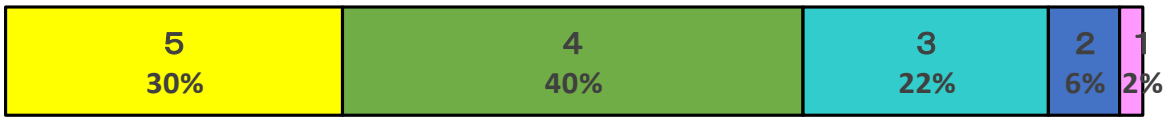


問C　教員の説明はわかりやすかった。



問D　教員は学生の質問、発言等に適切に対応した。

問E　授業全体として満足できるものであった。



平成30年度　理学部　第2学期　授業アンケート集計結果

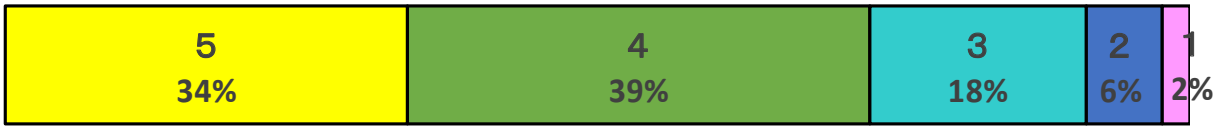
授業アンケート　全体平均

アンケート評価ポイント（ 5 強くそう思う, 4 そう思う, 3 どちらとも言えない, 2 そう思わない, 1 全くそう思わない）

問A シラバスは、授業の目標、内容を明快に示していた。

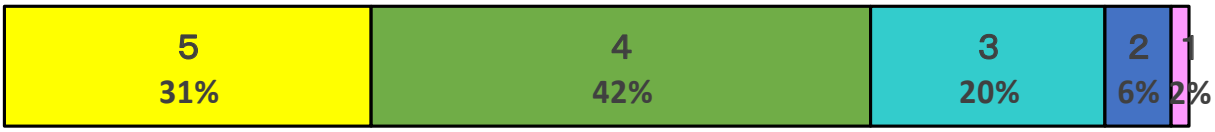
問B 授業はシラバスにそって行われていた。

問C 教員の説明はわかりやすかった。



問D 教員は学生の質問・発言などに適切に対応した。

問E 授業全体として満足できるものであった。

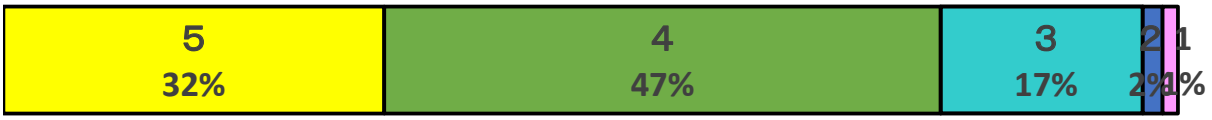


令和元年度　理学部　第1学期　授業アンケート集計結果

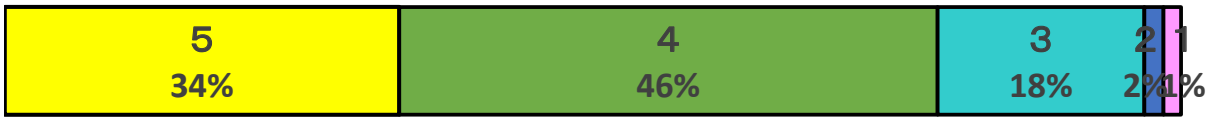
授業アンケート　全体平均

アンケート評価ポイント（ 5 強くそう思う, 4 そう思う, 3 どちらとも言えない, 2 そう思わない, 1 全くそう思わない）

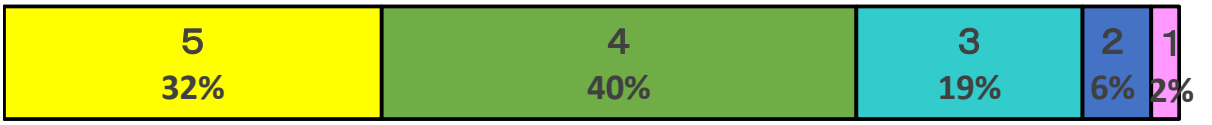
問A シラバスは、授業の目標、内容を明快に示していた。



問B 授業はシラバスにそって行われていた。

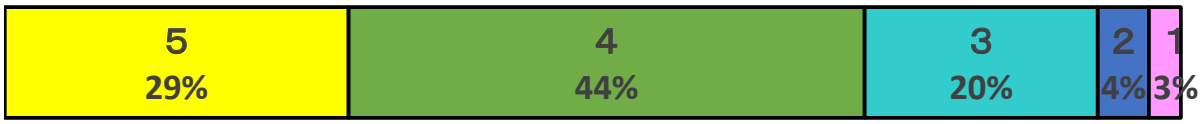


問C 教員の説明はわかりやすかった。



問D 教員は学生の質問・発言などに適切に対応した。

問E 授業全体として満足できるものであった。



令和元年度　理学部　第2学期　授業アンケート集計結果

授業アンケート　全体平均

アンケート評価ポイント（5 強くそう思う，4 そう思う，3 どちらとも言えない，2 そう思わない，1 全くそう思わない）

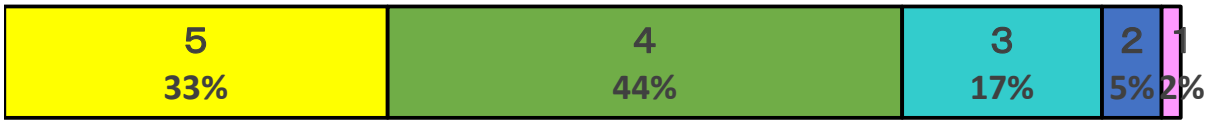
問A シラバスは、授業の目標、内容を明快に示していた。

問B 授業はシラバスにそって行われていた。

問C 教員の説明はわかりやすかった。

問D 教員は学生の質問・発言などに適切に対応した。

問E 授業全体として満足できるものであった。



出典：理学部専門科目授業アンケート

・ 標準修業年限内卒業（修了）率

2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
86.56％	83.06％	83.61％	79.22％

（算出方法）

標準修業年限内卒業（修了）率※注１ ＝

標準修業年限で卒業（修了）した者の数

÷ 標準修業年限（例：４年制学部であれば４年）前の入学者数

※注１　長期履修制度を利用している学生及び編入学による学生については、基本的に算入しないでください。算入する場合には、その旨を明記してください。

出典：理学部教務関係資料

・　「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率

2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
94.70%	96.72%	96.07%	92.18%

（算出方法）

「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率※注１・２ ＝

Ａのうち、（標準修業年限×1.5）年間に学位を取得した者の数※注３

÷ （標準修業年限×1.5）年前の入学者数（Ａ）

※注１　長期履修制度を利用している学生及び編入学による学生については、基本的に算入しないでください。算入する場合には、その旨を明記してください。

※注２　「標準修業年限×1.5」の算出において、端数がある場合は、１年として切り上げる。

※注３　博士課程においては、便宜上、単位取得満期退学後に学位を取得した者を含める。

出典：理学部教務関係資料

資料Ⅰ(理学部)-51 学部生論文発表数･会議発表数(2016～2019年度)

◎学部学生による論文発表数・会議発表数の推移

年度	学部学生が共著の論文数	国内会議発表件数		国際会議発表件数	
		本人発表	共同研究者発表	本人発表	共同研究者発表
2016	3	34	9	3	4
2017	3	44	29	2	7
2018	5	58	21	5	3
2019	5	11	13	1	8

出典：教員への照会データ

日本初、ハルトプライズ地域予選において北海道大学の学生チームが優勝しました。

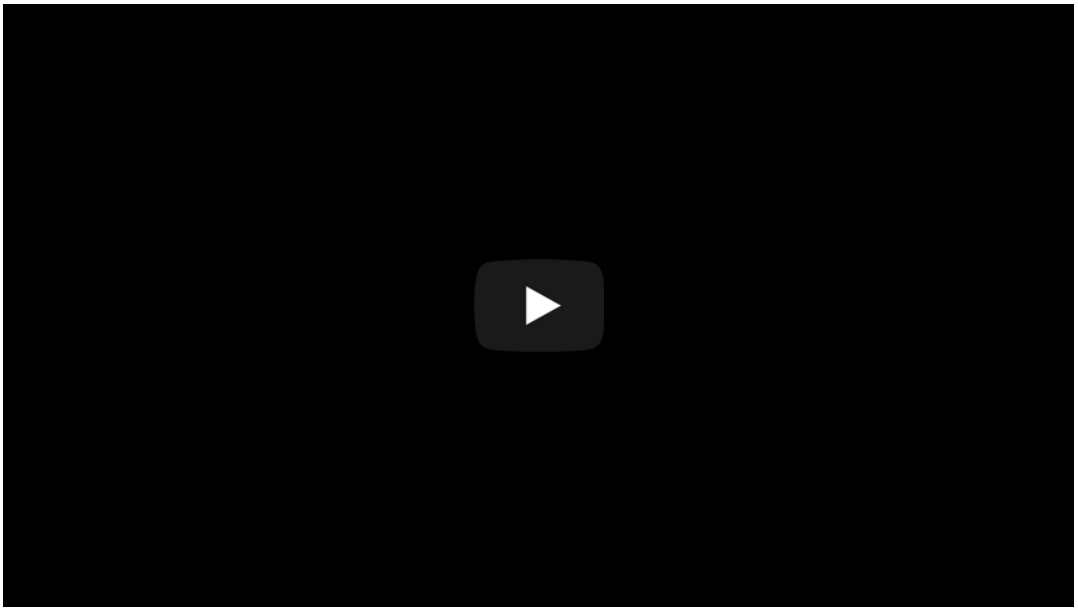
勝利チーム「アクアモウ（AQUAMOU）」のメンバーとハルトプライズ・ディレクター、審査員ら。東京地域予選にて。（写真：ハルトプライズ提供）

このたび、4月27日に東京で開催されたハルトプライズ地域予選において、北海道大学の学生４人からなるチーム「アクアモウ（AQUAMOU）」が、日本の大学チームとして初めて優勝しました。

ハルトプライズ（Hult Prize）は、ハルトプライズ財団が主催する世界最大の学生起業アイディアコンペで、2009年より毎年開催されているものです。国連が示すSDGs（Sustainable Development Goals）に関連したテーマが毎年設けられ、世界中の学生が起業アイディアを競います。今年は「若者の雇用：10年で１万人の雇用を生むベンチャーの基礎を築く」をテーマに、勝利チームには起業資金として100万ドル（約１億１千万円）が贈られます。

世界29都市で地域予選が開催され、東京予選には京都大学、デ・ラ・サール大学（フィリピン）、ロンドン・クイーン・マリー大学（イギリス）などから約45チームが参加しました。ナイジェリアからの留学生でリーダーを務めるイフェアニー・チュクさん（水産科学院修士２年）、同じくナイジェリアからの留学生ケルビン・イコグバさん（工学院修士１年）、錦織秀伸さん（水産科学院修士２年）、そしてインドからの留学生ランジャニ・ラジャゴパルさん（Integrated Science Program・理学部２年）の４人からなるアクアモウは、入念な準備と研

ぎ澄まされたプランによって並み居る強豪校を破り見事優勝を果たし、全世界の地域代表40チームの一つに選ばれるという快挙を成し遂げました。



ハルトプライズ2019東京地域予選の様子（動画：ハルトプライズ提供）

リーダーのイフェアニーさんは東京予選を次のように振り返ります。「会場に着いた時は私もチームメンバーもその雰囲気に圧倒されましたが、北大で入念に準備を重ねてきたことを思い出し、自信を取り戻すことができました。地域予選に勝ち、今はニューヨーク本戦を戦う６チームに入ることだけを考えています。」

また、北大ハルトプライズ・キャンパスディレクターとしてチームを支援してきた坪井里奈さん（国際食資源学院）は、予選の勝者としてアクアモウの名前が呼ばれた時の感動を思い返し、「彼らのことを本当に心から誇りに思っています。彼らがこれからどうなるのか楽しみで仕方ありません。」と期待に胸を膨らませます。

チーム名の「アクアモウ」とは、英語で水産物の養殖を意味する「Aquaculture（アクアカルチャー）」と、日本語でネットワークを意味する「網（モウ）」を合わせた彼らの造語です。彼らのビジネスプランは、成長の早いティラピアという魚を用いて持続可能な水産養殖ネットワークをつくり、地方の若者の雇用を創出しようというものであり、まずはナイジェリアで始め、さらにアフリカの各地域に広げていくことを計画しています。

このビジネスプランの提案により、見事東京予選を勝ち抜いたアクアモウの次のステップは、この夏にロンドンで行われるアクセラレータープログラム、いわゆるトレーニングイベントとなります。ここで40チームが６チームまで絞られ、残ったチームだけがニューヨークの本

戦に進むこととなります。

　現在、アクアモウはロンドンでのトレーニングイベントへの参加に向け準備を進めております。本戦出場を目指す彼らへのご声援をよろしくお願いします。

※ロンドンへの渡航費確保のためクラウドファンディングによる支援を募集中。

（外部リンク：https://actnow.jp/project/aquamou/detail）

左からケルビン・イコグバ（Kelvin Ikogba）さん、ランジャニ・ラジャゴパル（Ranjani Rajagopal）さん、坪井里奈さん、イフェアニー・チュク（Ifeanyi Chukwu）さん、錦織秀伸さん。（写真：ハルトプライズ提供）

出典：北海道大学ホームページ

平成28年度理学部卒業時アンケート

◎指示のない限り，次から回答
1. 全くそう思わない 2. そう思わない 3. どちらともいえない 4. そう思う 5. 強くそう思う

回答者数 189

[1] 所属学科をお答えください。
1.数学科 2.物理学科 3.化学科 4.生物化学科 5.地球惑星科学科

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
23	19	42	69	36	0	－
12%	10%	22%	37%	19%	0%	

[2] 生物科学科の方は専修分野を選択してください。
1.生物学 2.高分子機能学

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
30	38	0	0	0	120	－
16%	20%	0%	0%	0%	64%	

[3] 学部授業(2～4年次)で十分な専門知識を修得できたと思う。

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
3	33	42	89	22	0	3.50
2%	17%	22%	47%	12%	0%	

[4] 学部授業で(2～4年次)で問題発見能力は身に付いたと思う。

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
2	17	47	99	24	0	3.67
1%	9%	25%	52%	13%	0%	

[5] 自身の能力を高めるために卒業研究は重要であると思う。

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
6	11	13	86	72	0	4.10
3%	6%	7%	46%	38%	0%	

[6] 全学教育【総合教育部】(1年次)における教育に満足している。
※学部一貫教育(旧カリ)学生は全学教育(1年次)に関し回答してください。

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
8	32	52	73	23	1	3.38
4%	17%	28%	39%	12%	1%	

[7] 学部共通科目(2年次)における教育に満足している。
※学部一貫教育(旧カリ)学生は学部共通科目(1～2年次)に関し回答してください。

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
3	20	56	95	13	2	3.51
2%	11%	30%	50%	7%	1%	

[8] 学部専門科目(2～4年次)における教育に満足している。

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
1	18	45	103	22	0	3.67
1%	10%	24%	54%	12%	0%	

[9] 4年間の学生生活における教育に満足している。

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
2	14	26	73	23	51	3.73
1%	7%	14%	39%	12%	27%	

[10-1] 各学科で特徴的な科目についてお答えください。
数学卒業研究(4年次)などの授業に満足している。
(数学科の学生だけ回答してください)

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
1	2	2	9	9	0	4.00
4%	9%	9%	39%	39%	0%	

外国語文献購読・必修科目演習・物理学実験の授業に満足している。
(物理学科の学生だけ回答してください)

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
2	1	5	9	2	0	3.42
11%	5%	26%	47%	11%	0%	

必修科目演習、化学文献購読などの授業に満足している。
(化学科の学生だけ回答してください)

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
1	7	13	18	2	1	3.32
2%	17%	31%	43%	5%	2%	

興味や進路によって自由に選択できる臨海実習を含めた多彩な実習に満足している。
(生物科学科(生物学)の学生だけ回答してください)

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
0	1	1	11	18	0	4.48
0%	3%	3%	35%	58%	0%	

高分子機能学文献購読・卒業研究の授業に満足している。
(生物科学科(高分子機能学)の学生だけ回答してください)

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
2	2	7	19	8	0	3.76
5%	5%	18%	50%	21%	0%	

地球惑星科学セミナー、各実習・演習、および野外巡検や地質学実習などに満足している。
(地球惑星科学科の学生だけ回答してください)

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
2	0	5	17	12	0	4.03
6%	0%	14%	47%	33%	0%	

[10-2] 各学科で特徴的な科目は、専門基礎能力を身に付ける点で教育効果が高いと思う。

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
3	19	37	101	29	0	3.71
2%	10%	20%	53%	15%	0%	

[10-3] 各学科で特徴的な科目は、問題発見能力を養う点で教育効果が高いと思う。

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
6	21	61	82	19	0	3.46
3%	11%	32%	43%	10%	0%	

[10-4] 各学科で特徴的な科目は、ディベート能力や発表能力を身に付ける点で
教育効果が高いと思う。

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
5	40	75	60	9	0	3.15
3%	21%	40%	32%	5%	0%	

[11] TAによる指導は学部授業の教育補助として役立ったと思う。

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
3	22	44	91	27	2	3.63
2%	12%	23%	48%	14%	1%	

[12] TA制度を学部授業でもっと拡充すべきだと思う。

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
8	22	75	54	29	1	3.39
4%	12%	40%	29%	15%	1%	

[13] TAの指導が役立った授業を選択してください。(複数回答可)
1.講義 2.演習 3.学部実験 4.全学自然科学実験 5.その他(裏面に記入)

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
7	57	126	45	2	－	－
3%	24%	53%	19%	1%	－	

[14] TAの指導があまり効果的でなかった授業を選択してください。(複数回答可)
1.講義 2.演習 3.学部実験 4.全学自然科学実験 5.その他(裏面に記入)

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
93	29	13	32	1	－	－
55%	17%	8%	19%	1%	－	

[15] 卒業後の進路をお教えください。
1.北大大学院進学 2.他大学院進学 3.就職 4.その他 5.未定

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
137	15	31	1	5	0	－
72%	8%	16%	1%	3%	0%	

【自由記述】

全学理系基礎科目のクラス毎による講義内容、成績評価基準に差があり不公平に感じる
臨海実習ではTAの指導が大いに役に立ったと思う。

平成29年度理学部卒業時アンケート

回答者数　166

[1] 所属学科をお答えください。※地球科学科を含む
1.数学科 2.物理学科 3.化学科 4.生物科学科 5.地球惑星科学科※

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
24	18	39	40	45	0	－
14%	11%	23%	24%	27%	0%	

[2] 生物科学科の方は専修分野を選択してください。
1.生物学 2.高分子機能学

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
21	19	0	0	0	0	－
53%	48%	0%	0%	0%	0%	

[3] 学部授業（2～4年次）で十分な専門知識を修得できたと思う。

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
10	26	44	71	13	2	3.31
6%	16%	27%	43%	8%	1%	

[4] 学部授業で（2～4年次）で問題発見能力は身に付いたと思う。

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
4	18	45	83	16	0	3.54
2%	11%	27%	50%	10%	0%	

[5] 自身の能力を高めるために卒業研究は重要であると思う。

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
8	8	12	68	70	0	4.11
5%	5%	7%	41%	42%	0%	

[6] 全学教育【総合教育部】（1年次）における教育に満足している。
※学部一貫教育（旧カリ）学生は全学教育（1年次）に関し回答してください。

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
22	30	41	48	23	2	3.12
13%	18%	25%	29%	14%	1%	

[7] 学部共通科目（2年次）における教育に満足している。
※学部一貫教育（旧カリ）学生は学部共通科目（1～2年次）に関し回答してください。

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
8	19	41	79	16	3	3.47
5%	12%	25%	48%	10%	2%	

[8] 学部専門科目（2～4年次）における教育に満足している。

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
6	14	34	82	28	2	3.68
4%	9%	21%	50%	17%	1%	

[9] 4年間の学生生活における教育に満足している。

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
4	9	25	59	18	51	3.68
3%	8%	22%	51%	16%	31%	

[10-1] 各学科で特徴的な科目についてお答えください。
数学卒業研究（4年次）などの授業に満足している。
（数学科の学生だけ回答してください）

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
3	0	4	9	7	1	3.74
13%	0%	17%	39%	30%	4%	

外国語文献購読・必修科目演習・物理学実験の授業に満足している。
（物理学科の学生だけ回答してください）

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
3	4	5	4	2	0	2.89
17%	22%	28%	22%	11%	0%	

必修科目演習、化学文献購読などの授業に満足している。
（化学科の学生だけ回答してください）

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
4	7	12	12	3	1	3.08
11%	18%	32%	32%	8%	3%	

興味や進路によって自由に選択できる臨海実習を含めた多彩な実習に満足している。
（生物科学科（生物学）の学生だけ回答してください）

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
0	0	2	6	12	0	4.50
0%	0%	10%	30%	60%	31%	

高分子機能学文献購読・卒業研究の授業に満足している。
（生物科学科（高分子機能学）の学生だけ回答してください）

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
3	0	2	9	4	0	3.61
17%	0%	11%	50%	22%	0%	

地球惑星科学セミナー、各実習・演習、および野外巡検や地質学実習などに満足している。
（地球惑星科学科（地球科学科を含む）の学生だけ回答してください）

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
1	3	10	11	20	0	4.02
2%	7%	22%	24%	44%	0%	

[10-2] 各学科で特徴的な科目は、専門基礎能力を身に付ける点で教育効果が高いと思う。

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
5	12	29	85	31	4	3.77
3%	7%	18%	52%	19%	2%	

[10-3] 各学科で特徴的な科目は、問題発見能力を養う点で教育効果が高いと思う。

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
6	16	50	71	21	2	3.52
4%	10%	30%	43%	13%	1%	

[10-4] 各学科で特徴的な科目は、ディベート能力や発表能力を身に付ける点で
教育効果が高いと思う。

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
11	22	69	41	20	3	3.23
7%	13%	42%	25%	12%	2%	

[11] TAによる指導は学部授業の教育補助として役立ったと思う。

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
9	9	40	75	30	3	3.66
6%	6%	25%	46%	18%	2%	

[12] TA制度を学部授業でもっと拡充すべきだと思う。

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
8	19	60	52	25	2	3.41
5%	12%	37%	32%	15%	1%	

[13] TAの指導が役立った授業を選択してください。（複数回答可）
1.講義 2.演習 3.学部実験 4.全学自然科学実験 5.その他（裏面に記入）

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
16	56	111	50	1	－	－
7%	24%	47%	21%	0%	－	

[14] TAの指導があまり効果的でなかった授業を選択してください。（複数回答可）
1.講義 2.演習 3.学部実験 4.全学自然科学実験 5.その他（裏面に記入）

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
77	17	8	15	1	－	－
66%	14%	7%	13%	1%	－	

[15] 卒業後の進路をお教えください。
1.北大大学院進学 2.他大学院進学 3.就職 4.その他 5.未定

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
126	14	20	3	1	2	－
77%	9%	12%	2%	1%	1%	

【自由記述】

必修科目などでⅠとⅡに分かれている授業（力学Ⅰ、Ⅱなど）で、それぞれの学期ごとに教員が異なると内容に一貫性がないことがある。教員を同じにするか、コンセンサスを計るべき。
なにもない
演習の際にTAさんが一部の学生と仲良くなってしまい、ずっとおしゃべりしていて質問しづらいことがあった。 全学教育について、一部のクラスのみ地球惑星科学Ⅱと心理学実験を両方履修できる等、移行点に影響する不平等が存在した。問題だと思う。

平成30年度理学部卒業時アンケート

回答者数　123

[1] 所属学科をお答えください。※地球科学科を含む
1.数学科 2.物理学科 3.化学科 4.生物科学科 5.地球惑星科学科※

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
18	18	30	34	23	0	－
15%	15%	24%	28%	19%	－	

[2] 生物科学科の方は専修分野を選択してください。
1.生物学 2.高分子機能学

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
19	15	0	0	0	0	－
56%	44%	0%	0%	0%	－	

[3] 学部授業（2～4年次）で十分な専門知識を修得できたと思う。

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
1	14	29	54	25	0	3.72
1%	11%	24%	44%	20%	－	

[4] 学部授業で（2～4年次）で問題発見能力は身に付いたと思う。

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
1	8	29	67	17	1	3.75
1%	7%	24%	55%	14%	－	

[5] 自身の能力を高めるために卒業研究は重要であると思う。

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
2	4	10	42	65	0	4.33
2%	3%	8%	34%	53%	－	

[6] 全学教育【総合教育部】（1年次）における教育に満足している。

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
12	13	34	48	15	1	3.34
10%	11%	28%	39%	12%	－	

[7] 学部共通科目（2年次）における教育に満足している。

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
1	10	33	62	15	2	3.66
1%	8%	27%	51%	12%	－	

[8] 学部専門科目（2～4年次）における教育に満足している。

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
2	9	25	62	24	1	3.80
2%	7%	20%	51%	20%	－	

[9] 4年間の学生生活における教育に満足している。

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
2	2	8	35	17	59	3.98
3%	3%	13%	55%	27%	－	

[10-1] 各学科で特徴的な科目についてお答えください。
数学卒業研究（4年次）などの授業に満足している。
（数学科の学生だけ回答してください）

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
1	0	0	6	10	1	4.41
6%	0%	0%	35%	59%	－	

外国語文献購読・必修科目演習・物理学実験の授業に満足している。
（物理学科の学生だけ回答してください）

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
0	0	6	7	4	1	3.88
0%	0%	35%	41%	24%	－	

必修科目演習、化学文献購読などの授業に満足している。
（化学科の学生だけ回答してください）

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
0	7	8	9	5	1	3.41
0%	24%	28%	31%	17%	－	

興味や進路によって自由に選択できる臨海実習を含めた多彩な実習に満足している。
（生物科学科（生物学）の学生だけ回答してください）

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
0	1	1	2	15	0	4.63
0%	5%	5%	11%	79%	－	

高分子機能学文献購読・卒業研究の授業に満足している。
（生物科学科（高分子機能学）の学生だけ回答してください）

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
0	0	4	7	4	0	4.00
0%	0%	27%	47%	27%	－	

地球惑星科学セミナー、各実習・演習、および野外巡検や地質学実習などに満足している。
（地球惑星科学科（地球科学科を含む）の学生だけ回答してください）

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
0	3	2	12	6	0	3.91
0%	13%	9%	52%	26%	－	

[10-2] 各学科で特徴的な科目は、専門基礎能力を身に付ける点で教育効果が高いと思う。

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
1	8	27	62	24	1	3.82
1%	7%	22%	51%	20%	－	

[10-3] 各学科で特徴的な科目は、問題発見能力を養う点で教育効果が高いと思う。

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
1	13	42	52	13	2	3.52
1%	11%	35%	43%	11%	－	

[10-4] 各学科で特徴的な科目は、ディベート能力や発表能力を身に付ける点で
教育効果が高いと思う。

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
8	14	42	40	17	2	3.36
7%	12%	35%	33%	14%	－	

[11] TAによる指導は学部授業の教育補助として役立ったと思う。

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
2	4	30	60	25	2	3.84
2%	3%	25%	50%	21%	－	

[12] TA制度を学部授業でもっと拡充すべきだと思う。

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
1	12	52	36	19	3	3.50
1%	10%	43%	30%	16%	－	

[13] TAの指導が役立った授業を選択してください。（複数回答可）
1.講義 2.演習 3.学部実験 4.全学自然科学実験 5.その他（裏面に記入）

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
6	46	75	21	1	0	－
4%	31%	50%	14%	1%	－	

[14] TAの指導があまり効果的でなかった授業を選択してください。（複数回答可）
1.講義 2.演習 3.学部実験 4.全学自然科学実験 5.その他（裏面に記入）

1	2	3	4	5	無回答	評価点数
58	13	11	12	0	0	－
62%	14%	12%	13%	0%	－	

[15] 卒業後の進路をお教えください。
1.北大大学院進学 2.他大学院進学 3.就職 4.その他 5.未定

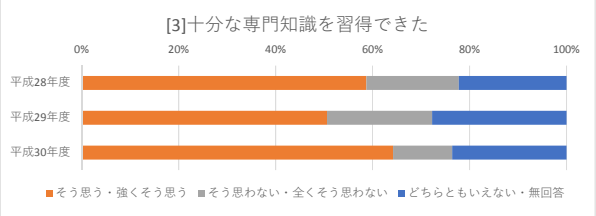
1	2	3	4	5	無回答	評価点数
97	10	12	2	0	2	－
80%	8%	10%	2%	0%	－	

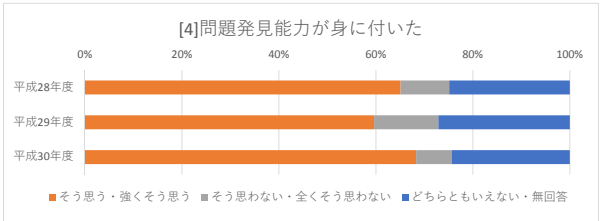
【自由記述】

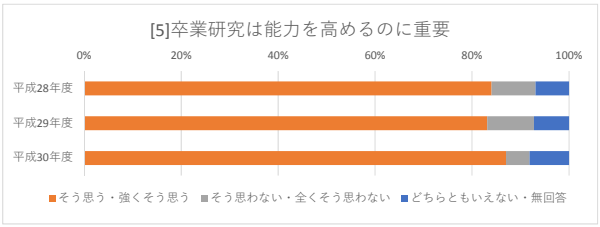
[設問13]地質学実習・野外巡検等のフィールドワークを伴う実習。
地球惑星科学実験

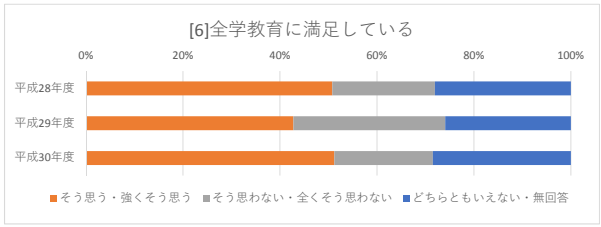
出典：理学部卒業時アンケート

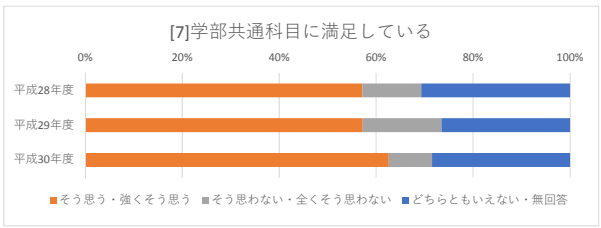
授業の満足度・達成度・効果に関する卒業時アンケート結果の分析

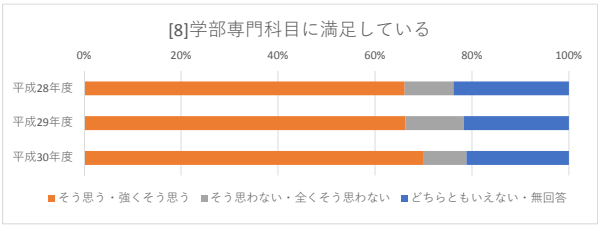


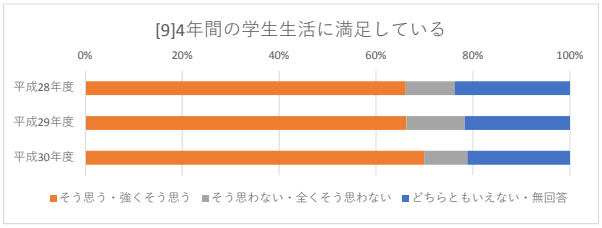


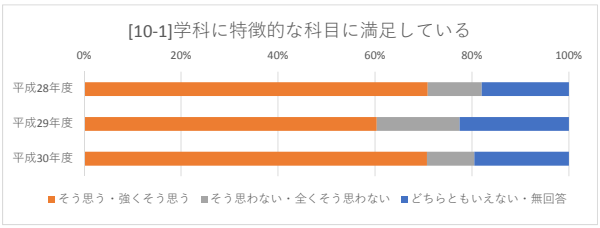


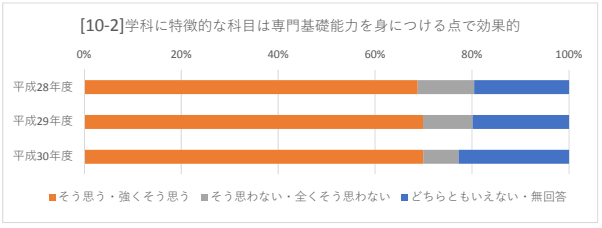


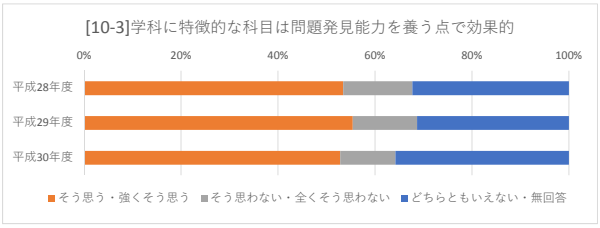


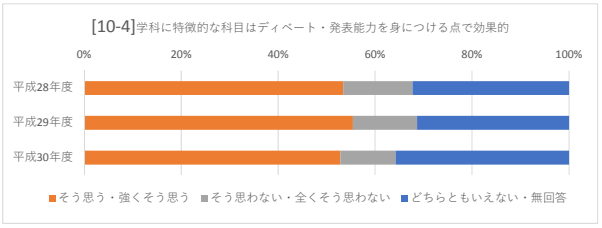


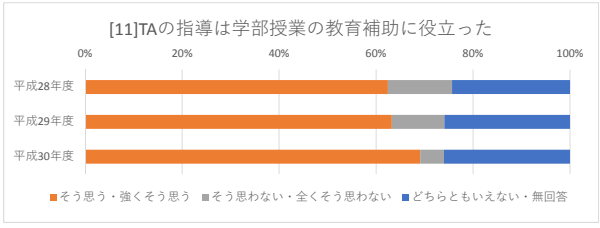


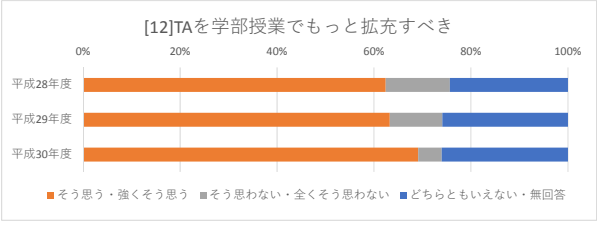












[10]における学科に特徴的な科目
数学科：数学卒業研究
物理学科：外国語文献購読・必修科目演習・物理学実験
化学科：必修科目演習・化学文献購読
生物科学科（生物学）：臨海実習などの多彩な実習
生物科学科（高分子機能学）：高分子機能学文献購読・卒業研究
地球惑星科学科：地球惑星セミナー，各実習・演習，野外巡検・地質学実習

回答者数　平成28年度189名，平成29年度167名，平成30年度123名

出典：理学部卒業時アンケート

R2.3 理学部卒業時アンケート（学部教育全体についてお聞きします）

授与式終了後に提出してください

指示のない限り，次から回答してください.
1. 全くそう思わない
2. そうおもわない
3. どちらともいえない
4. そう思う
5. 強くそう思う

学部課程で実施している教育全般、各学科で特徴的な教育、ティーチングアシスタント(TA)制度、全学教育（1年次）に関する意識調査です。皆様のご協力をお願いいたします。

[1] 所属学科をお答えください。※地球科学科を含む
1. 数学科 2. 物理学科 3. 化学科 4. 生物科学科 5. 地球惑星科学科※

[2] 生物科学科の方は専修分野を選択してください。
1. 生物学 2. 高分子機能学

[3] 学部授業(2～4年次)で十分な専門知識を修得できたと思う。

[4] 学部授業(2～4年次)で問題発見能力は身に付いたと思う。

[5] 自身の能力を高めるために卒業研究は重要であると思う。

[6] 全学教育【総合教育部】(1年次)における教育に満足している。

[7] 学部共通科目(2年次)における教育に満足している。

[8] 学部専門科目(2～4年次)における教育に満足している。

[9] 4年間の学生生活における教育に満足している。

[10-1] 各学科で特徴的な科目についてお答えください。

数学卒業研究(4年次)などの授業に満足している。
（数学科の学生だけ回答してください）

外国語文献購読・必修科目演習・物理学実験の授業に満足している。
（物理学科の学生だけ回答してください）

必修科目演習、化学文献講読などの授業に満足している。
（化学科の学生だけ回答してください）

興味や進路によって自由に選択できる臨海実習を含めた多彩な実習に満足している。
（生物科学科(生物学)の学生だけ回答してください）

高分子機能学文献講読・卒業研究の授業に満足している。
（生物科学科(高分子機能学)の学生だけ回答してください）

地球惑星科学セミナー、各実習・演習、および野外巡検や地質学実習などに満足している。
（地球惑星科学科（地球科学科を含む）の学生だけ回答してください）

[10-2] 各学科で特徴的な科目は、専門基礎能力を身に付ける点で教育効果が高いと思う。

[10-3] 各学科で特徴的な科目は、問題発見能力を養う点で教育効果が高いと思う。

[10-4] 各学科で特徴的な科目は、ディベート能力や発表能力を身に付ける点で教育効果が高いと思う。

[11] TAによる指導は学部授業の教育補助として役立ったと思う。

[12] TA制度を学部授業でもっと拡充すべきだと思う。

[13] TAの指導が役立った授業を選択してください。（複数回答可）
1.講義 2.演習 3.学部実験 4.全学自然科学実験 5.その他（裏面に記入）

[14] TAの指導があまり効果的でなかった授業を選択してください。（複数回答可）
1.講義 2.演習 3.学部実験 4.全学自然科学実験 5.その他（裏面に記入）

[15] 卒業後の進路をお教えください。
1.北大大学院進学 2.他大学院進学 3.就職 4.その他 5.未定

学部教育全般、少人数教育などの各学科で特徴的な教育、TA制度、全学教育(1年次)等について、ご意見があれば裏面に自由にご記入ください。TAの指導が役立った授業あるいは効果的でなかった授業で「その他」を選んだ方は、その授業名を裏面に記入してください。

出典：理学部卒業時アンケート